

平成17年度

2005年

# 講義要綱・シラバス

# 目 次

---

日吉設置共通授業科目	1
------------	---

---

少人数セミナー形式授業科目	89
---------------	----

---

【文学部設置の少人数セミナー形式科目】	90
---------------------	----

【経済学部設置の少人数セミナー形式科目】	91
----------------------	----

【法学部設置の少人数セミナー形式科目】	100
---------------------	-----

【商学部設置の少人数セミナー形式科目】	105
---------------------	-----

【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】	116
----------------------	-----

---

学部独自設置授業科目	125
------------	-----

---

1 文学部	126
-------	-----

2 経済学部	
〔基礎教育科目〕	132
〔専門教育科目〕	142
〔総合教育科目〕	150

3 法学部	
〔数学・統計・情報処理科目〕	153
法律学科	156
政治学科	165
〔社会科学科目〕	165
〔政治学科目 - 基礎科目 (必修)〕	169
〔政治学科目 - 選択科目〕	171
〔政治学科目 - 集中学習科目〕	173

4 商学部	
〔基礎科目 類 (基礎必修科目)〕	178
〔基礎科目 類 (基礎必修科目)〕	178
〔専攻科目 類 (専攻核科目)〕	180
〔専攻科目 類 (専攻基本科目)〕	183
〔総合教育科目 ( 類 )〕	183
〔総合教育科目 ( 類 )〕	184
〔基礎科目 類〕	185

〔基礎科目 類 A群〕	185
〔基礎科目 類 B群〕	186
〔基礎科目 類 C群〕	187
〔専攻科目 類〕	187
〔専攻科目 類〕	188
〔総合教育科目 ( 類 )〕	190
〔自主選択科目〕	191
5 医学部	
第1学年	
〔基礎科学必修科目〕	192
〔医学基礎教育科目〕	194
〔人文・社会科学科目 ( 選択履修 )〕	195
6 理工学部	
〔基礎教育科目〕	196
〔専門基礎科目〕	200
〔総合教育科目〕	230

---

## 研究所設置講座、履修案内 235

---

1 メディア・コミュニケーション研究所	236
2 体育科目 ( 体育研究所 )	239
体育学講義	239
体育学演習	241
体育実技A ( ウィークリー・スポーツ )	242
体育実技A ( シーズン・スポーツ )	252
体育実技B ( ウィークリー・スポーツ )	254
体育実技B ( シーズン・スポーツ )	255
3 保健管理センター	260
4 外国語教育研究センター	261
5 情報処理教育室	263
6 教養研究センター	266
7 国際センター	268
8 言語文化研究所	270
9 知的資産センター	274
10 教職課程センター	275
11 外国語学校	278

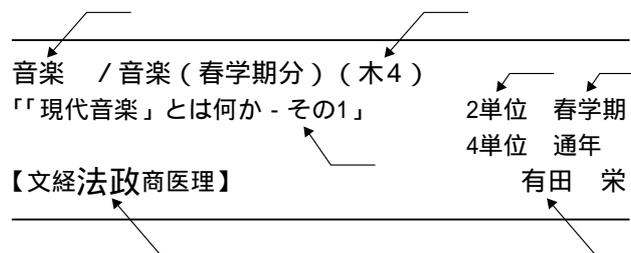


# 日吉設置共通授業科目

【科目の掲載順について】

日吉設置共通授業科目は、原則として科目名の50音順（アイウエオ順）で、同じ科目名の中では担当者名の50音順に掲載しています。ただし、同じ担当者が「」「」という科目名で春学期と秋学期を継続して授業を行う場合は「」の後に「」を掲載します。

<凡例>



科目名（太字部分）

学部・学年により科目名が異なる科目は科目名を複数記載しています

授業の曜日時限

曜日時限により授業の内容が異なる場合のみ曜日時限を記載しています

授業のサブタイトル

単位数

開講学期

通年 : 1年間通して行われる科目

春学期 : 春学期に開講される科目

秋学期 : 秋学期に開講される科目

春学期 / 秋学期 : 春学期と秋学期にそれぞれ開講される科目

科目設置学部

【】内の文字は以下の学部・学科を表し、それらの学部・学科の時間割にその科目が記載されています。科目を履修する場合は所属学部の時間割に記載のある登録番号（5桁の数字）で履修申告してください。

文：文学部    経：経済学部    法：法学部法律学科    政：法学部政治学科  
 商：商学部    医：医学部    理：理工学部

他学部の科目は、科目設置学部（【】内の文字が大きく表示されている学部）の時間割に記載されている登録番号で履修してください。

科目担当者

【複数の科目名が併記されている科目について】

<例1>

---

文学 a (春学期) / 文学 b (秋学期)	
文学 (通年)	
「舞踊論」	2単位 春学期 / 秋学期
	4単位 通年
【文経法政商医理】	石井 達朗

---

同一担当者の科目で、科目名に a または b がつくものがあります。これらはそれぞれ半期科目ですが、2科目を共に履修することが義務付けられています。またこれらの科目は年度末に2科目一括して成績評価されます。(春学期終了時には成績評価はされません。)なお、これらの科目を通年科目として履修する場合は年度末に成績評価されます。

<例2>

---

文学 / 文学 (春学期分)	
「フランス文学 (フランス象徴主義を読む)」	
	2単位 春学期
	4単位 通年
【文経法政商医理】	大出 敦

---

同一担当者の科目で、科目名に または がつくものがあります。原則として は春学期、は秋学期で1年間を通して継続する内容で授業が行われます。 と は共に履修することが望ましいものですが、それぞれ単独で履修することも可能です。

これらの科目を通年科目として履修する場合は (春学期分) と (秋学期分) の2つのシラバスを参照してください。継続する内容の授業については のシラバスの直後に のシラバスを掲載しています。なお、春学期と秋学期で担当者が変わる場合も継続する内容の場合は の順で掲載しています。

**履修したい授業を、どの科目名で履修登録するのかは学部によって異なります。所属する学部の時間割・履修案内などで確認した上で履修申請してください。**

【科目認定用紙について】

所属学部の時間割に記載のない科目を履修希望する場合は、科目認定用紙の提出が必要になります。

用紙は科目設置地区・所属学部の学事センター窓口で配布しています。

授業に出席して科目担当者から履修許可を得てください。(詳細は所属学部の履修案内の「第2 履修申告までの流れ」で確認してください。)

他学部に開放していない科目もあり、履修できない場合もありますので注意してください。履修申告をする場合、科目設置学部(【 】内の文字が大きく表示されている学部)の時間割に記載されている登録番号を選択してください。

科目認定用紙の提出締め切り：4月16日(土)13:00

映像・音響文化論 2単位 春学期  
 【経商医理】 杉田 敦

【授業科目の内容】

映像や音響に関連する現代美術の作品や展覧会を通じて、表現に対する意識の持ち方の変化に始まり、その背後にある文化、思想、社会の在り方とその時代的変質まで、既存の領域に拘らずに横断的に論じていく。

春期は、現代美術や現代音楽の実際の映像、音を体験しながら、ウンベルト・エーコの美学から、ヨゼフ・ボイスの芸術理論、ポスト・モダニズムに至る、現代美術の基本的な考え方に力点を置いて論じる。

【参考書】

- 『メカノ 美学の機械、科学の様式』
- 『ノード 反電子主義の美学』杉田敦（青弓社）
- 『リヒター、グールド、ベルンハルト』杉田敦（みすず書房）
- 『開かれた作品』U・エーコ（青土社）

映像・音響文化論 2単位 秋学期  
 【経商医理】 杉田 敦

【授業科目の内容】

映像や音響に関連する現代美術の作品や展覧会を通じて、表現に対する意識の持ち方の変化に始まり、その背後にある文化、思想、社会の在り方とその時代的変質まで、既存の領域に拘らずに横断的に論じていく。

秋期は、ポリティカル・コレクトネス（PC：政治的正当性）関連の問題として、セクシャリティの問題にスポットをあてつつ、それをエドワード・サイードのオリエンタリズム批判と並行するものとして、また、ファイヤアーベント、ハンス・ペーター・デュルらの過激な相対主義を延長したものとして位置づけることができるかどうか考察する。さらに、大きな物語を一掃したポスト・モダニズム以降の、物語を再建しようとする、ポスト・ポスト・モダニズムの動きについても紹介する。

【参考書】

- 『メカノ 美学の機械、科学の様式』
- 『ノード 反電子主義の美学』杉田敦（青弓社）
- 『リヒター、グールド、ベルンハルト』杉田敦（みすず書房）
- 『開かれた作品』U・エーコ（青土社）

【総合教育科目「音楽」について】

慶應義塾大学日吉キャンパスでは、塾生諸君の興味や資質に併せ、導入的な授業から、かなり深い内容を扱うものまで、多彩な音楽関連の授業を提供しています。なかには、実習や実技、演習を含む音楽の授業もあり、このことは他の一般大学にない特徴です。

履修者は、次の各講義の要項をよく読んで、自分にあった授業を見つけてください。なお、設置学部の関係でここに掲載されていない授業もありますので、詳細は音楽学研究室ホームページ<http://musicology.fbc.hc.keio.ac.jp/>も併せて参照してください。

ac.jp/も併せて参照してください。

音楽 / 音楽（春学期分）（木4）  
 「現代音楽」とは何か その1」 2単位 春学期  
 4単位 通年

【文経法政商医理】 有田 栄

【授業科目の内容】

クラシックなレパートリーと比べて、一見、難解で取り付きにくい印象を与える「現代音楽（同時代音楽）」。しかし個々の作品をじっくり聴いてみれば、そこには、この上なく人間的な響きがあり、豊かなアイディアがあり、日常生活までも生き生きと輝かせる驚きや感動がある。この授業では、現代の音楽の「難しさ」を一つ一つ解きほぐしながら、作品の歴史的・社会的背景を考えていく。歴史の中で繰り返し問われてきた普遍的な問いに、芸術家たちはどのように答えようとするのか。それを探ることは、翻って自分自身の考え方や感性を、歴史と現在の座標の中で問うことでもあるからだ。授業では、教養として必要な概説的な知識から、各自が他の芸術・学問領域へと興味を広げていくための、やや専門的な事柄も学ぶ。そこから、現代芸術の楽しみ方を見つけてほしい。「その1」（春学期）は、19世紀末の「現代の夜明け」から第二次世界大戦期までを扱う予定。（内容的には、秋学期とセットで学ぶことが望ましいが、春学期のみの履修も可能。）

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

音楽 / 音楽（秋学期分）（木4）  
 「現代音楽」とは何か その2」 2単位 秋学期  
 4単位 通年

【文経法政商医理】 有田 栄

【授業科目の内容】

春学期開講の「『現代音楽』とは何か その1」の続編。秋学期の「その2」では、第二次世界大戦以後の音楽を扱う。「その1」が、どちらかという音楽史的な内容であるのに対して、「その2」は、必然的に美学的な内容も多く含まれる。個々の作曲家にスポットを当てて、彼らの思想や創作活動（作品）が、私達自身の世界観とどうかかわっているのかを考えていく予定。（内容的には、春学期とセットで学ぶことが望ましいが、秋学期から新たに履修することも可能。）

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

## 音楽 / 音楽 (春学期分) (木5)

「声の音楽 その1」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

有田 栄

## 【授業科目の内容】

人間にとって、もっとも身近な現象である「声」とその芸術について学ぶ。古今東西の音楽文化の中で、「声」は、いつも特別な意味と役割を担っている。「声」とは何か。「歌」とは何か。この問いは、ことに西欧文化圏では、「存在とは何か」という形而上学の問いそのものとも密接に結びついている。またたとえば、私達は他人の声や周囲の物音なら意図的に遮断することができるが、自分自身の声から逃れることはできない。さらに私たちは、必ずしも音響を伴わないものをも「声」と呼び、他方で、動物や無生物の発する音を「声」として聞いてしまうことがある。それは一体なぜなのか。「声にならない声」とは何か。私達の日常にあふれ出てくるこれらの不思議や疑問、そして声にまつわるさまざまな隠喩の中に、ひいては人間存在の謎に迫る鍵が隠されているのではないかと。そうした観点から、声とその音楽が持つ意味を考えていく。

授業では、教養として必要な概説的なレベルの知識に加え、各自が他の芸術・学問領域へと興味を拡げていくための、やや専門的な事柄も学ぶ。春学期の「その1」は、主に歴史的な視点から。古代から現代までの西洋音楽史を軸に、さまざまな声楽ジャンルの歴史とそのレパートリーを取り上げて論じる予定。(内容的には、秋学期とセットで学ぶことが望ましいが、春学期のみの履修も可能。)

## 【教科書】

使用しない。

## 【参考書】

授業内で適宜指示する。

## 音楽 / 音楽 (秋学期分) (木5)

「声の音楽 その2」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

有田 栄

## 【授業科目の内容】

春学期開講の「声の音楽 その1」の続編。「その2」では、20世紀以降、現代の声の芸術について、より詳しく扱う。「その1」が主として音楽史的な内容であるのに対して、「その2」は、個々の作曲家にスポットを当て、主に美学的な視点から、「声」とその芸術を論じる予定。(内容的には、春学期とセットで学ぶことが望ましいが、秋学期から新たに履修することも可能。)

## 【教科書】

使用しない。

## 【参考書】

授業内で適宜指示する。

## 音楽 (春学期) / 音楽 (秋学期)

音楽 (通年) (水5)

「18世紀のオーケストラと演奏習慣」

各2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

石井 明

## 【授業科目の内容】

この授業は今年度から通年半期科目になりますが、1年を通して履修を希望する学生のみ履修許可を与える予定です。ただし、所属学部にもよりますが、出番の少ない楽器(例えばトランペット)を用いての履修希望者については、半期のみの履修を許可する場合があります。詳しくはガイダンス時に説明を受けてください。

モーツァルト、ベートーヴェン、ハイドンなどが活躍していた18世紀後半は、オーケストラという概念が誕生して間もない頃です。その当時の作曲家達が抱いていたオーケストラ像は、現代に生きる我々のそれとは大きく異なっていました。相違点としては、グループ全体のサイズ、楽器の種類、演奏方法・概念、聴衆そして演奏会場の大きさなどを挙げることができます。18世紀後期に書かれた、交響曲と協奏曲を中心とした管弦楽曲は、スタンダード・レパートリーの一部として現代でも盛んに演奏されています。しかしそこにある姿、そして奏でられる音は、決して当時の作曲家達が求めていたものではありません。そこでこの授業では、現代のオーケストラで失われてしまったものがどのようなものなのかということ、18世紀に書かれた管弦楽曲を実際に演奏することにより模索します。

受講対象者は、弦楽器および管楽器を所有し またはそれらに常時アクセスでき かつそれを演奏するある程度の能力を備えている学生とします(今年度から、履修者にコントラバス1台を貸し出すことができるようになりました)。本来は、当時の楽器またはそれを復元したものを使用するのが理想としますが、そのような楽器を揃えることは困難なことから、現代の楽器を使用しながら当時の演奏方法を検証します。演奏および講義を通じて学んだ成果は、コンサートという形で発表を行います(年2回を予定)。

今年度は、モーツァルトに焦点を置き、ザルツブルク時代の作品だけでなく、ウィーンで書かれた後期の交響曲も取り上げる予定です。オーケストラのサイズは、18世紀中頃のものに準じたものとします(約25名)。管楽器の募集は、オーボエ、ファゴット、ホルン(それぞれ2名)とします。弦楽器は、バイオリンを10名程度募集し、ヴィオラ、チェロ、コントラバスはそれぞれ若干名とします。その他の楽器については、ガイダンス時に説明を受けてください。

履修を希望する学生は、ガイダンスに必ず出席し、そこで履修希望届を教員に提出してください。その後、教員から履修許可証が発行されます。履修許可がないと履修登録ができません。注意してください。

音楽 / 音楽 (春学期分) (金2)

「バロック期の音楽」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 石井 明

【授業科目の内容】

音楽史上では、バロック期の範囲を一般的に1600年頃から1750年までとしているが、これは、オペラの誕生からバッハの死までを指す。これ以前のルネッサンス期では、イタリアなどで教会を中心に他の芸術分野と共に音楽は飛躍的な発展を遂げた。しかし、ヨーロッパ全体では、社会が決して安定していた時期とは言えず、高度な音楽芸術の普遍とまでには至らなかった。17世紀に入り、三十年戦争が終結した頃から社会が安定し始めると、各宮廷そして都市において、これまで以上の文化的な成熟が見られるようになった。これは音楽にも強く反映され、特に、世俗音楽の発展は目覚ましいものとなった。本講義では、このような歴史的な動きを、この時代に生まれた様々なジャンルの音楽を通じて考察する。さらに、音楽の発展、音楽と社会、そして音楽と宗教との係わり合い等をも視野に入れる。

【教科書】

D. J. グラウト / C. V. パリスカ著 (戸口幸策 / 津上英輔 / 寺西基之共訳) 『新西洋音楽史』(中巻) 音楽之友社

音楽 / 音楽 (秋学期分) (金2)

「古典時代の音楽」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 石井 明

【授業科目の内容】

古典時代は、音楽史の流れの中でバロック期の後に位置付けられているが、これはこの時代が、バロックの終結後に訪れたことを意味しているのではない。バッハと同年に生まれより長生きしたヘンデルは、バッハ同様、自身が確立した作曲様式を崩すことなく晩年を過ごした。その反面、新しい音楽スタイルの模索は、ヨーロッパ各地でバッハの死以前に始まっていた。例えばバッハの息子達は、父親の影響を受けながらもそれぞれが新しい様式を作り上げていた。本講義では、まず、古典時代の音楽様式のルーツを探り、既存の音楽スタイルの変化に注目する。また、この時代の音楽は、社会の成長と共に生まれてきた新しい思想に大きく影響されたが、これを、特にハイドンとモーツァルトの作品を取り上げながら考えてみる。また、18世紀も終わりに近づくと、ヨーロッパでは社会が急変したが、このことは、ベートーヴェンの音楽に著しく影響した。このような事柄を彼の作品の中に見出すだけでなく、彼の音楽作品の中にある、ロマン派の作曲家達の手本となった要素をも考えてみる。

【教科書】

D. J. グラウト / C. V. パリスカ著 (戸口幸策 / 津上

英輔 / 寺西基之共訳) 『新西洋音楽史』(中巻) 音楽之友社

音楽a (春学期) / 音楽b (秋学期)  
音楽 (通年)

「18～19世紀のクラシック音楽の歴史を学ぶ」(春学期)  
「20世紀の音楽を学ぶ」(秋学期)

2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 石多 正男

【授業科目の内容】

**春学期** 西洋古典音楽(クラシック)を、歴史を追いながら鑑賞していただきます。とはいえ、ただ漫然と鑑賞するのではなく、音楽をさまざまな観点から知的に理解する鑑賞法を身につけていただきます。例えば、ベートーヴェンの交響曲 運命 について、それはなぜ今日でも聴衆に感動を与えるのか、どのような形式で作られ、旋律や調性の工夫はどのようなされているか、どのような楽器が使われているか、あのような激しい曲想が生み出された時代的背景はなにか、などについて考えていただきます。

**秋学期** 現在我々が日常的に耳にしている音楽(歌謡曲、ラップなどを含む)の源を探り、その本質をつきとめます。

【教科書】

石多正男著 『チャート式クラシック鑑賞術』春秋社 (3000円)

【参考書】

随時指摘する。

音楽 / 音楽 (春学期分)

「民族音楽学概論1」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 尾高 暁子

【授業科目の内容】

ブラックアフリカから東に進路をとり、諸民族の音世界を探訪する。おもに伝統音楽の代表的なジャンルや楽器、音楽の形式や理論を紹介し、伝統音楽をとりまく社会的な環境や担い手の問題にも触れる。探訪にさきだち、諸民族の音楽を研究する学問がなぜ、いかに始まったかを、方法論の変遷も確認する予定。

現在、諸民族の音楽の中には洋楽とフュージョンされ、音楽市場で消費されるものすらあるが、各民族文化の脈絡のなかで音楽が本来どう存在してきたかを、あらためて確認したい。

【教科書】

柘植元一・植村幸生編 『はじめての世界音楽』音楽之友社

【参考書】

講義中に必要におうじて紹介する。

音楽 / 音楽 (秋学期分)  
「民族音楽学概論2」 2単位 秋学期  
4単位 通年  
【文経法政商医理】 尾高 暁子

【授業科目の内容】

音楽は人間の営みとどう関係するのか？また、音楽はいかに生み出され、いかに引き継がれ、そしていかに変容するのか。近代化、植民地主義と異文化表象、観光、儀礼と音楽、個人と集団、伝承と身体、メディアの変遷、大衆文化など、いくつかの切り口から、音楽と人間のかかわりを具体的にほりおこす。

【教科書】

とくになし

【参考書】

柘植元一・植村幸生編『はじめての世界音楽』音楽之友社

音楽 a (春学期) / 音楽 b (秋学期)  
音楽 (通年)  
「ロシア・東欧のオペラ」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年  
【文経法政商医理】 加藤 浩子

【春学期授業科目の内容】

一 昨年「イタリア・オペラ」、昨年「ドイツとフランスのオペラ」に続き、今期はロシア、東欧という、比較的マイナーだが最近注目されている地域のオペラを取り上げる。

【教科書】

特に用いない。

【参考書】

講義中に指示する。

【秋学期授業科目の内容】

春学期「ロシア・東欧のオペラ」に続き、20世紀のオペラと日本のオペラ、そしてミュージカルの元祖となった喜劇オペラ(オペレッタなど)の系譜をとりあげる。

【教科書】

特に用いない。

【参考書】

講義中に指示する。

音楽 / 音楽 (春学期分)(月1)  
「音楽理論入門 (月1、教室 811)」 2単位 春学期  
4単位 通年  
【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

本授業は、西洋音楽における理論的基礎を、実習を伴いつつ学ぶ授業です。授業は、1)教科書『総合和声』に従った和声学の学習と、1)西洋音楽理論の諸問題についての講義の、2つの部分からなります。

各回に、実習課題を課します。基礎編(春学期)にお

いては、和声の原則を一通り学んだあと、簡単な4声体の和声を書けるようになることを目的とします。

内容的には高度の授業であり、予めそれなり心構えが必要ですが、多くの学生諸君のチャレンジを期待しています。

【教科書】

島崎謙他著『総合和声 実技・分析・原理』、音楽之友社、1998年。

【参考書】

U. ミヒェルス編『図解音楽事典』(日本語版監修、角倉一郎) 白水社、1989年。

野崎哲 著『新しい楽典』、音楽之友社。

音楽 / 音楽 (秋学期分)(月1)  
「音楽理論入門 (月1、教室 811)」 2単位 秋学期  
4単位 通年  
【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

音楽 音楽理論入門 (春学期)に引き続き、和声の学習と、音楽理論関連のトピックの講義を行います。

秋学期の目標は、借用和音、転調課題ができるようになることです。また、和声の学習を生かして、実際の音楽の楽曲分析も試みます。

【教科書・参考書】

音楽 音楽理論入門 と同じ。

音楽 / 音楽 (春学期分)(水3)  
「ピアノ・オルガン音楽史 (17~18世紀を中心に)  
(水3、教室 811)」 2単位 春学期  
4単位 通年  
【文経法政商医理】 佐藤 望

【授業科目の内容】

鍵盤音楽は、多声音楽の発達した西洋において、音楽的思考を具現化するための媒体、また音楽教育の媒体、娯楽的音楽の媒体として、重要な役割を果たしてきました。

本授業では、西洋音楽の歴史からとくに鍵盤音楽というジャンルを切り口として、音楽を感覚的にだけではなく、知的に把握することの意味を考えながら、人間と音楽との関係を洞察することを目的とします。本授業は、主に17~18世紀、特にバッハから古典派の鍵盤音楽を中心に扱います。

【教科書】

その都度指示する。

【参考書】

その都度指示する。

音楽 / 音楽 (秋学期分) (水3)  
 「ピアノ・オルガン音楽史 (19~20世紀を中心に)  
 (水3、教室 811)」  
 2単位 秋学期  
 4単位 通年  
**【文経法政商医理】** 佐藤 望

**【授業科目の内容】**

音楽 ピアノ・オルガン音楽史 に引き続き、鍵盤音楽の歴史を扱います。秋学期は、主に19~20世紀のピアノ音楽を、文化、社会との関連、美学との関連、私たちにとって音楽とは何かという問題とともに考えていきます。

**【教科書】**

その都度指示する。

**【参考書】**

その都度指示する。

音楽 / 音楽 (春学期分) (水5)  
 「合唱音楽の歴史 (春学期) (水5、教室811)」  
 2単位 春学期  
 4単位 通年  
**【文経法政商医理】** 佐藤 望

**【授業科目の内容】**

海外の大学には、よくコレギウム・ムジクムというものがあります。この授業は、その伝統に倣い、音楽を実際の演奏を体験します。合唱の名曲を歌うことを通じて、音楽の歴史を身体で感じ取っていきます。取り上げる曲は、古い西洋のものから、現代の日本のものまでです。

秋学期の終わりには授業時間内に演奏会を企画します。演奏会では、オーケストラとの共演も予定しています。

履修の条件は、歌うことが好きであることだけです。多数の学生の参加を期待しています。なお、春学期は、秋学期の演奏会準備という性格が強いので、春学期(音楽)・秋学期(音楽)を通して履修してください。

**【教科書】**

その都度指示します。

**【参考書】**

その都度指示します。

音楽 / 音楽 (秋学期分) (水5)  
 「合唱音楽の歴史 (秋学期) (水5、教室811)」  
 2単位 秋学期  
 4単位 通年  
**【文経法政商医理】** 佐藤 望

**【授業科目の内容】**

音楽 合唱音楽の歴史 (春学期) に引き続き、合唱音楽の歴史を歌いながら学び、秋学期は、学期の終わり近くで開かれる演奏会の準備を進めて行きます。

**【教科書】**

その都度指示します。

**【参考書】**

その都度指示します。

音楽 a (春学期) / 音楽 b (秋学期)  
 音楽 (通年)  
 「新ドイツ派 (リストとヴァーグナー)」  
 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年  
**【文経法政商医理】** 福田 弥

**【春学期授業科目の内容】**

19世紀後半のドイツ音楽界には革新と保守の対立の構図があった。前者はリスト、ヴァーグナーを中心とする新ドイツ派であり、後者はライプツィヒやウィーンの音楽家たちである。本講座では、俯瞰的な視座から前者の流れを掘り下げる。とくに新ドイツ派の標題音楽 (とくに交響詩) と楽劇について、実際の作品だけでなく、美学的な問題にも踏みこんで論ずる。彼らがめざした理想主義とも言える、壮大な世界を理解することを目標とする。

**【教科書】**

とくに指定しない。随時、プリント (楽譜を含む) を配布する。

**【参考書】**

拙著『作曲家 人と作品 リスト』音楽之友社、2005年。

**【秋学期授業科目の内容】**

19世紀のロマン主義音楽に代わって、世紀末から20世紀前半にかけて、ヨーロッパには新しい音楽が興隆した。それを近代音楽と総称するが、そこで追求された新しい音楽表現の可能性、およびその多様な様式を理解することを目標とする。作品の様式を通じて音楽史を捉えるだけでなく、時代・地域ごとの社会的背景を考慮しつつ、この時代の音楽を説明していく。

**【教科書】**

とくに指定しない。随時、プリント (楽譜を含む) を配布する。

**【参考書】**

柴田南雄『西洋音楽史4 印象派以後』、音楽之友社、1967年。(絶版)

このほかの参考書は、講義時に指示する。

化学 (実験を含む) (春学期) /  
 化学 (実験を含む) (秋学期)  
 化学 (実験を含む) (通年)  
 「[春学期] 化学結合と地球環境、[秋学期] 有機化学と生活環境」  
 3単位 春学期 / 秋学期  
 6単位 通年  
**【文経法政商】** 大場 茂

**【授業科目の内容】**

原子が結合して分子を形成します。この分子の構造を元素記号と結合の線で表わしたものが化学構造式です。この授業では化学構造式の意味、その実体を学びます。

また、科学史における化学の発展や、社会と化学との関わり、および地球を取り巻く環境問題にも触れます。これを通して、世界の路線をより良い方向に切り変えるような大局観が、諸君に少しでも芽生えることを期待しています。

【教科書】

講義では毎回プリントを配布します。実験ではテキスト（実費）を使います。

化学（実験を含む）/  
化学（実験を含む）（春学期分）

「現代化学のあけぼの」 3単位 春学期  
6単位 通年  
清水 健一

【文経法政商】

【授業科目の内容】

地球上に存在する物質はわずかに100種類ほどの原子の結びつきによりできています。しかし、その結びつき方は原子の種類により異なり、その結果として様々な個性を持った物質が生成します。講義の前半ではどのような法則にしたがって原子から分子が作られるのかを化学結合論にもとづいて平易にしかも統一的に説明します。講義の後半では、現在われわれが直面している環境、エネルギー、および腐食からの社会資本の保全などの諸問題を化学の観点から平易に説明し、これらの問題がいかに経済と密接に関連しているかについて理解を深めたいと考えています。

【実験】

定性分析、定量分析、合成実験などを教科書にしたがって行い、そこで生ずる現象の観察、結果の取扱い方などを実習する。

【教科書】

佐々木・辻岡・膳・大矢共著『大学課程一般化学』オーム社

【参考書】

ポーリング著『一般化学』（上、下）岩波書店

化学（実験を含む）/  
化学（実験を含む）（秋学期分）

「現代化学のあけぼの」 3単位 秋学期  
6単位 通年  
清水 健一

【文経法政商】

【授業科目の内容】

地球上に存在する物質はわずかに100種類ほどの原子の結びつきによりできています。しかし、その結びつき方は原子の種類により異なり、その結果として様々な個性を持った物質が生成します。講義の前半ではどのような法則にしたがって原子から分子が作られるのかを化学結合論にもとづいて平易にしかも統一的に説明します。講義の後半では、現在われわれが直面している環境、エネルギー、および腐食からの社会資本の保全などの諸問題を化学の観点から平易に説明し、これらの問題がいかに経済と密接に関連しているかについて理解を深めたい

と考えています。

【実験】

定性分析、定量分析、合成実験などを教科書にしたがって行い、そこで生ずる現象の観察、結果の取扱い方などを実習する。

【教科書】

佐々木・辻岡・膳・大矢共著『大学課程一般化学』オーム社

【参考書】

ポーリング著『一般化学』（上、下）岩波書店

化学（実験を含む）/  
化学（実験を含む）（春学期分）

3単位 春学期  
6単位 通年  
小瀬村誠治

【文経法政商】

【授業科目の内容】

子供の頃、川辺を散歩したことがあるだろう。そのとき、ふと不思議に思ったことはなかつただろうか。“なぜ、植物は光の方向に曲がるのかな”とか、“氷はなぜ水に浮くのだろう”など様々な“なぜ”を感じたと思う。時が流れ、何時しかこの“なぜ”に対して、興味が薄れていく自分に気づいたことはないだろうか。この“なぜ”には「何のために：生物学」と「どのようにして：化学」の意味を含んでいるが、講義では、身近な現象（生命、生態、環境など）を最近のトピックも交えて、化学の立場で解説していく。

授業は講義と実験とを隔週に行うが、一年後、諸君が幼い日の心と“化学の目”を持って“自然”と接することができるような講義を目指す。

【教科書】

講義用の教科書は使用しないが、実験用のテキスト（実費）は使用する。

【参考書】

特に指定しない。

化学（実験を含む）/  
化学（実験を含む）（秋学期分）

3単位 秋学期  
6単位 通年  
小瀬村誠治

【文経法政商】

【授業科目の内容】

子供の頃、川辺を散歩したことがあるだろう。そのとき、ふと不思議に思ったことはなかつただろうか。“なぜ、植物は光の方向に曲がるのかな”とか、“氷はなぜ水に浮くのだろう”など様々な“なぜ”を感じたと思う。時が流れ、何時しかこの“なぜ”に対して、興味が薄れていく自分に気づいたことはないだろうか。この“なぜ”には「何のために：生物学」と「どのようにして：化学」の意味を含んでいるが、講義では、身近な現象（生命、生態、環境など）を最近のトピックも交えて、化学の立場で解説していく。

授業は講義と実験とを隔週に行うが、一年後、諸君が幼い日の心と“化学の目”を持って“自然”と接することができるような講義を目指す。

【教科書】

講義用の教科書は使用しないが、実験用のテキスト(実費)は使用する。

【参考書】

特に指定しない。

化学 (実験を含む) /  
化学(実験を含む)(春学期分)

「物質の化学 基礎編」 3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】 志村 正

【授業科目の内容】

授業は、原則として講義と実験を隔週で行います。

【講義】

私たちのまわりには、実にさまざまな物質があふれています。物質のもつ性質、すなわち色や形状、導電性などはすべて化学構造と密接に関係しています。近年の技術向上により生み出されている“新素材”と呼ばれるものも特殊な機能をもたせるため、化学的に構造設計されたものがほとんどです。

講義では、化学の一般的な事柄を分かりやすく解説し、物質とその性質について考えていく基礎を養います。

【実験】

文科系の皆さんにとってこれから先、自分の手で化学実験を行う機会にめぐり合うことはまずありえないでしょう。実際には取り扱ってその性質を調べたり、物質を合成したりすることは、化学を理解する上で必要不可欠です。

実験では、金属イオンの系統分析、炎色反応などを行う予定です。

【教科書】

実験用テキストを実費にて配布する予定です。

化学 (実験を含む) /  
化学(実験を含む)(秋学期分)

「物質の化学 応用編」 3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】 志村 正

【授業科目の内容】

授業は、原則として講義と実験を隔週で行います。

【講義】

講義では、物質とその性質について化学的に考えていきます。

【実験】

実験では、有機化合物の合成、色素の合成と染色、化学発光などを行う予定です。

【教科書】

実験用テキストを実費にて配布する予定です。

科学史

「科学の誕生とこれからの科学」 2単位 春学期  
【経法政商】 藤田 祐幸

【授業科目の内容】

20世紀は成熟した(爛熟した)科学万能時代となり、人々の生活を明らかに変化させたが、同時に極めて多くの問題が発生した。1960年代から始まった水俣病の問題はひとつの時代の転機を象徴する事件であった。70年代の公害の時代を経て、90年代以降には、地球環境問題が国際政治の表舞台に登場するまでになった。地球温暖化問題はわれわれのライフスタイルの根本的見直しを迫る問題であるが、環境ホルモン問題と放射線被曝問題は、生殖機能や遺伝子情報のかく乱をもたらし、人類のみならず地球生態系の存続を左右する問題となりつつある。

これらの問題は、科学の『進歩』や『発展』に伴って発生したことに注目しなければならない。この講義は、科学の発展がもたらした諸問題は、科学のいっそうの進歩によって克服されるのであるか否かを、科学的に、歴史的に、哲学的に、社会的に検証することをめざしている。

【教科書】

教科書は使わない。

【参考書】

講義の中で随時紹介する。

科学史

「日本の公害史」 2単位 秋学期  
【経法政商】 藤田 祐幸

【授業科目の内容】

日本の近代化は公害の歴史でもあった。足尾銅山の鉍毒事件から水俣の水銀汚染事件まで、それぞれの公害事件の実態と、現在に残されている問題を明らかにする。そのことは、現在近代化を推し進めている国々にもおこっている問題である。公害先進国である日本が国際的に果たしうる役割を探る。

【教科書】

教科書は使わない。

【参考書】

講義の中で随時紹介する。

科学史

「世界の核開発史(マンハッタン計画と戦後の核軍縮史)」 2単位 春学期  
【経法政商】 藤田 祐幸

【授業科目の内容】

1945年8月、広島と長崎で二発の核爆弾が炸裂した。核の時代が始まった。20世紀後半の核の半世紀を多面的に追う。

【教科書】

教科書は使わない。

【参考書】

講義の中で随時紹介する。

科学史

「日本の核開発史（戦後の日本の核と原子力政策史）」  
2単位 秋学期

【経法政商】

藤田 祐幸

【授業科目の内容】

広島・長崎の惨劇は核兵器を開発した科学者たちの予測を上回るものであった。しかし、日本は米軍の軍政が終わると同時に原子力をエネルギー政策の国策として採用することになった。原子力の軍事利用と商業利用の両面から日本の核（原子力）政策の歴史をたどる。

【教科書】

教科書は使わない。

【参考書】

講義の中で随時紹介する。

漢文 a（春学期） / 漢文 b（秋学期）

漢文（通年）

「中国の伝説・怪談」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医】

種村 和史

【授業科目の内容】

漢文読解力を養成する。

様々なジャンルの古典文学作品を読み、中国古典文学に触れ、中国人の伝統的な思考様式を学ぶ。中国古典文学におけるフィクション文学として大きな位置を占める伝説・怪談ばなしを素材にし、そこに見られるテーマ（「霊魂は存在するか」「夢とうつつ」「ユートピアを求めて」）がどれほど拡がりを持っているか、日本をはじめとする周辺国にどのような影響を与えているか、逆に異文化をどのように消化しながら中国独自の文化・思想を形成してきたかを考える。そのために、時代・地理・ジャンル・思想の枠を自由に飛び越えながらに関連する様々な作品を読んでいく。

【教科書】

教員が用意します。

基礎の数学

「数学が苦手な人のための数学」 2単位 春学期  
【経商理】 小松 建三

【授業科目の内容】

数学は現在苦手だが、その状態を少しでも改善したいという意欲のある学生のみを対象とする。数学が苦手とはいえない人は、決して履修しないこと（履修しても周囲の人たちから「ウソつきだ」といわれて不愉快な思いをするだけである）。「多項式の微分ができない」、「積分記号を見たことがない」といった、かなり「重症」の人も想定している。この科目に関しては、「内容がやさしすぎてつまらない」という苦情は受け付けない。反面、

どんな初歩的な質問もOKである。

総合教育科目としての課題は「この科目を通じて友人を作ること」である。数学が苦手という共通項があり、妙なコンプレックスを持たなくてすむため、友人がしやすい環境ではあるが、それでも相当の努力をしないと、この課題の達成は困難である。しかし単なるタテマエではないので、履修する以上は真剣に取り組むことを期待する。

一変数関数の微分法と積分法を中心とする内容を予定しているが、一部若干変更する可能性もある。高校数学の復習と問題演習に重点を置く（出席重視）。また、偏微分と2変数関数の極値（経済・商・理工の必修科目で学ぶはず）についても解説する。

ガイダンス期間中の授業の際に、本当にこの科目の履修が適当であるかどうかを確かめるためのアンケート調査を行うので、履修希望者は必ず出席すること。履修申告をする前に、「共通科目の掲示板」を必ずチェックすること。自分の学部の掲示板しか見ないと、重要な掲示を見落とすことがあるので注意してほしい。科目の性質上、「抽選」はなるべく避けたいと思う。

「楽そうだから」とか、「時間割が空いてるから」という理由で履修する科目ではない。それは授業に出てみればわかる。普段は遊んでいる内部生たちが、真剣な顔付きで数学に取り組んでいる姿が見られるはずである。ウソツキ村の住人もいることはいるが、「駆け込み寺」の住人に囲まれて、この科目を選択したことを後悔しているようである。

【教科書】

なし。

【参考書】

特に指定せず。

教育学 / 教育学（春学期分）

「教育」を相対化する」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経医】

秋学期担当 眞壁 宏幹  
榊原 知美

【授業科目の内容】

「教育学」とは、「教育」という事象を解明しようとする学問です。諸君は、これまで教育（を受ける側）の当事者として、この事象に深くかかわってきています。けれどもここで、あらためて問い直してみてもうか。人間にとって、社会にとって教育とは何であるか、と。この授業ではこの問いを探求するために、二人の担当者がそれぞれの専攻分野から、教育を相対化する視点を提供します。

春学期（榊原担当）では、子どもの発達・学習について最近の心理学が明らかにしてきた実証的な知見をもとに「教育」を捉えます。子どもは生まれながらに持っている能力をもとに、家庭や幼稚園・学校などといった環境との関わりあいの中で自ら経験を積み、より高度な技能や知識を獲得しています。春学期には、子どもは生得的にどのような能力を持っているのか、また大人との関

わり、文化との関わりの中で何をどのように学習しているのか、についての理解を深め、子どもの発達・学習を支援するような教育のあり方について考えましょう。

【教科書】

指定する場合には、授業開始時に指示します。

【参考書】

授業内で随時紹介します。

教育学 / 教育学 (秋学期分)

「教育」を相対化する」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経医】

春学期担当 榎原 知美  
真壁 宏幹

【授業科目の内容】

秋学期では、「アウシュヴィッツ」を可能にした、第二次世界大戦前のドイツの思想 / 教育と、この克服を試みた戦後ドイツの思想 / 教育を考察することで、歴史教育や教育そのものの課題を追究してみたいと思います。

【教科書】

なし。

【参考書】

フランク著『夜と霧』みすず、レーヴィ著『アウシュヴィッツは終わらない』朝日選書、フロム著『自由からの逃走』東京創元社、ヴァイツゼッカー『ヴァイツゼッカー大統領演説集』岩波、近藤孝弘著『国際歴史教科書対話』中公新書

近代思想史 / 近代思想史 (春学期分)

「近代思想のポジとネガ」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

石川 晃司

【授業科目の内容】

本講義では、まず近代思想の主旋律を合理主義・「人間」中心主義として捉え、その基本的特質を中心に概述したうえで、それらの特質を批判的に検討する。さらに、以上のポジの側面に対して、ネガの流れを形成した思想について照明をあて検討することを通して、近代思想全体が抱えている問題点を剔出し、その乗り越えの視座について論じてみるつもりである。

講義にあたっては、思想をそれ自体で完結したものとして捉えるのではなく、一定の時代に一定の思想が現れなければならなかったのか、時代状況との関連を踏まえその必然的な契機まで遡ってみてゆきたいと考えている。

【教科書】

教科書は当面は使用しない。

【参考書】

石川晃司『保守主義の理路』木鐸社。その他の参考文献に関しては初回の講義時にプリントとして配布するほか、随時指摘する。

近代思想史 / 近代思想史 (秋学期分)

「現代思想論」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

石川 晃司

【授業科目の内容】

本講義では、石川担当の近代思想史 (春学期分) を承けて、近代思想との対比において現代思想を論じる。まずマルクス、ニーチェ、フロイト、フッサール、ソシュールらの思想を現代思想の淵源として論じ、さらにそれらをもとに多様な展開をみせた現代思想を統一的に捉えるように配慮したい。

講義にあたっては、思想をそれ自体で完結したものとして捉えるのではなく、一定の時代に一定の思想が現れなければならなかったのか、時代状況との関連を踏まえその必然的な契機まで遡ってみてゆきたいと考えている。

【教科書】

教科書は当面は使用しない。

【参考書】

石川晃司『保守主義の理路』木鐸社。その他の参考文献に関しては初回の講義時にプリントとして配布するほか、随時指摘する。

近代思想史 / 近代思想史 (春学期分)

「近代日本における文明の受容と拒絶」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

小野 修三

【授業科目の内容】

わが国では幕末維新时期以来、西洋文明と総称されるものに対しては、これを受容する歴史と、拒絶ないしこれ以上は不要とする歴史との、二つの対応があった。この近代の受容と拒絶との観点から、本講義は近代日本の歴史を考えて行こうと思う。

具体的には、1864年生まれの小河滋次郎という国家官僚に関する伝記的研究を中心に置くが、小河と直接また間接に関係した同時代人たちの「人と業績」も紹介して行く。また講義全般にわたってヨーロッパにおける近代思想の諸潮流に言及する。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

拙著『公私協働の発端』(時潮社)、高島通敏編『現代市民政治論』(世織書房)

近代思想史 / 近代思想史 (秋学期分)

「解体と統合の継続」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

小野 修三

【授業科目の内容】

近代とは、オランダの歴史家ホイジンガの定義では

「世界そのものの改良と完成をめざす道」であった。近代とは異なるのは「世界の外に通じる俗世放棄の道」と「きびしい現実から美しいみせかけへの逃避」の道であった（『中世の秋』1919年）。この近代を、近代以前と近代以後と比較しつつ、原典およびその翻訳を通して、説明して行く。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

随時紹介する。

近代思想史a（春学期）／近代思想史b（秋学期）  
近代思想史（通年）

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

高草木光一

【授業科目の内容】

われわれは「自由」ではないし、「平等」ではない。しかし、「自由」であるべきだと思い、「自由」を侵害するものには批判の矢を向けるし、「不平等」であることにはなにがしかの憤慨を覚える。では、われわれの価値体系の中に組み込まれた「自由」や「平等」とはいったい何なのか。社会的・歴史的存在としての自己の価値体系の検証、そこから「近代思想史」は始まると言ってもいい。われわれは、勿論無限定に「自由」や「平等」を信奉しているわけではない。それは、すぐれて「近代」的概念であり、従ってそこには自ずと歴史的限定がある。どのようにして「自由」や「平等」という概念が生まれたのか。それはいかなる射程をもっているのか。そして、それはわれわれの「現在」とどのように関わりあうのか。まずは、そうした問いから始めることにしよう。「近代」が西ヨーロッパで生み出されたものであり、「近代」の批判もまた、まずはそこで展開されたものである以上、われわれの「近代思想史」も西ヨーロッパから始めなければならない。マキャヴェリ、ルター、カルヴァン、ホップズ、ロック、ルソー、スミス、ベンサム、オウエン、サン・シモン、フーリエ、マルクス。こうした巨人たちの思惟を西ヨーロッパの歴史との関連において捉えることをこの講義は目的とする。しかし、それは、当然われわれの「現在」との緊張関係を孕むものでなければならぬだろう。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

講義の際指示する。

近代思想史 a（春学期）／近代思想史 b（秋学期）  
近代思想史（通年）

「ドイツ近代社会思想における自由と共同」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経商理】

針谷 寛

【授業科目の内容】

ヨーロッパ社会思想史における「市民社会」概念の変遷を手がかりとしながら、西欧近代社会とその思想の諸問題を検討する。材料としてはカント、ヘーゲル、マルクスなどドイツ近代の思想家の社会理論を重点的に取り上げる予定である。これらの理論を扱うに際しては歴史的なコンテクストの中で考察することに努める。これを材料にして、現代の生活についてもその特殊性をみずからの頭で考え表現する力を培ってほしい。

【教科書】

使用しない。必要に応じてレジュメを配布する。

【参考書】

講義の中で紹介する。

近代思想史 / 近代思想史（春学期分）

「独仏近代市民思想像 - - 」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

松村 宏

【授業科目の内容】

ドイツ近代思想像の定義の叙述を重ねていく行程に、その歴史的脈をさぐるというのが、本講の内容である。独仏の、英米文化圏との歴史的対応の中で、はじめて近代思想の省察が成立した。しかし、さらに日本との比較を加えないと近代世界史はわからないことになる。ヴェーバーのキリスト教と「儒教と道教」研究に日本儒学古学派研究を補充して考えていく。（本講を発展させた「西洋文明学説史」は、三田で土曜日に開講している。）

【教科書】

ヴェーバー著『職業としての政治』岩波文庫、丸山「日本の思想」岩波新書、他はプリント配布

近代思想史 / 近代思想史（秋学期分）

「独仏近代市民思想像 - - 」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

松村 宏

【授業科目の内容】

フランス近代思想像の定義の叙述を重ねていく中に、その歴史的脈をさぐるというのが、本講の内容である。独仏の、英米文化圏との歴史的対応の中で、はじめて近代思想の省察が成立したのであるが、日本との比較が近代世界史の理解に不可欠でもある。モンテスキューからコンスタン、ギゾー、トクヴィル、そしてジード、アロンまでのテキストを活用する。（本講を発展させた「西洋文明学説史」は、三田で土曜日に開講している。）

〔教科書〕

プリント配布。

近代日本と福澤諭吉 2単位 秋学期

〔文経法政商医〕 小室 正紀 (コーディネーター)

岩谷 十郎 小野 修三

樽井 正義 西澤 直子

平野 隆 松崎 欣一

〔授業科目の内容〕

福澤諭吉が死去してから、すでに百年以上が過ぎているが、近年においても慶應義塾の内外を問わず福澤諭吉に関する論評や研究は相変わらず盛んである。このことは、肯定的に見るにせよ、否定的に見るにせよ、福澤が近代日本に与えた影響が極めて大きかったことを示している。このような認識のもとに、この講義では、慶應義塾福澤研究センターの所員が講義担当者となり、講義全体をつらぬく視点を踏まえて、おのおのの専門との関連で福澤諭吉を取り上げる。福澤の人と思想を考察することを通し、単に福澤を知るだけでなく、近代日本と十九世紀後半の世界を知ることを目的としたい。

〔教科書〕

使用しない。

〔参考書〕

福澤諭吉『福翁自伝』(各種の版がある) 福澤諭吉著『福澤諭吉著作集』慶應義塾大学出版会(2002~2003年)、慶應義塾編『福澤諭吉の手紙』岩波書店(2004年)、丸山真男『文明論之概略を読む』岩波書店(1986年)

経済学 / 経済学 (春学期分)

「経済の理論と現実」 2単位 春学期

4単位 通年

〔文法政医理〕

武藤 功

〔授業科目の内容〕

ミクロ経済学の基本的内容を扱う。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

丸山徹著 新講『経済原論』岩波書店

経済学 / 経済学 (秋学期分)

「経済の理論と現実」 2単位 秋学期

4単位 通年

〔文法政医理〕

武藤 功

〔授業科目の内容〕

マクロ経済学の基本的内容を扱う。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

丸山徹著 新講『経済原論』岩波書店

経済学 / 経済学 (春学期分)

「マクロ経済学の初歩」 2単位 春学期

4単位 通年

〔文法政医理〕

吉岡 忠昭

〔授業科目の内容〕

マクロ経済学は、一国の経済全体の立場から、国民総生産・利子・物価水準などの重要な経済変数の決定について明らかにしようとするものである。これらの経済変数が経済政策によってどのような影響をうけるのかも検討する。

〔教科書〕

指定しない。

〔参考書〕

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』日本経済新聞社  
酒井泰弘著『はじめての経済学』有斐閣

経済学 / 経済学 (秋学期分)

「ミクロ経済学の初歩」 2単位 秋学期

4単位 通年

〔文法政医理〕

吉岡 忠昭

〔授業科目の内容〕

ミクロ経済学の基礎的・基本的事項のうちから重要なものを選んで講義する。また近年、様々な分野で利用されるようになってきているゲーム理論の初歩についても経済分析との関連でとりあげる。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』日本経済新聞社  
酒井泰弘著『はじめての経済学』有斐閣

経済人類学a (春学期) / 経済人類学b (秋学期)

経済人類学 (通年)

「19世紀市場社会の特異性 - 非市場社会との対比を通して - 」 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

〔文経商〕

野口 建彦

〔授業科目の内容〕

経済人類学の中心課題は、人類がおおよそ18Cまで続けてきた自給自足・自己充足を主とする経済を、個人の貨幣的利得を動機とする諸個人間の交換を主とする自己調整的市場経済へと大転換させたことによる社会的影響を考察することにあると考えます。ふえんすれば、非市場社会においては、経済が人間の社会的諸関係の中に埋め込まれているのに対して、19C市場社会では、経済が人間の社会的諸関係から切り離され、しかもその優位性を主張する仕組みになっています。経済の専横性が可能になるわけです。したがって、マルクス経済学と近代経済学の双方が非合理的・非効率的であるとか原始的であるとして、経済学の理論的対象として退けた伝統的な非

市場社会の仕組みをモデル化して、その意義を確認しながら、19世紀イギリスが作り上げた自由主義的な市場経済の歴史的特異性を示したいと思います。

【教科書】

なし。

【参考書】

K.ボラニー著(吉沢・野口・長尾・杉村訳)『大転換』東洋経済新報社(1975年 現在でも書店で入手可能)

健康科学

「健康と環境因子、病気と薬」 2単位 春学期

【商理】 手島 玲子( )

西村多美子( )

【授業科目の内容】

様々な科学物質や新薬が生み出され、人々の健康に対する認識も高まっている。本講義では、皆の健康に対する興味をさらに深めるため、「健康と環境因子」及び「病気と薬」をとりあげ、身近な話題を例に解説したい。

「健康と環境因子」- 環境がヒトにどのような影響を与え、ヒトはどのように適応しているのか -

人々の健康を左右する天然ならびに人口の身近な環境因子を取り上げ、環境因子がヒトにどのように影響を与えるか、その仕組みについて考えると同時に、ヒトの持っている防御機構についても触れてみたい。

「病気と薬」- 薬が病気に効くとは、体に現れるどのような変化であるのか -

元来生物が持つ調節機能のバランスが崩れた状態が病気であるとすれば、それをもとに戻す、あるいはもとに戻す手助けをするものが薬である。正しい使い方をすれば、安全に有効に使える薬も、使い方を誤れば、その有効性は発揮されず、安全性も保証されない。その理由を科学的に解説したい。

【教科書】

講義において、プリントを配布する。

【参考書】

講義の時に紹介する。

言語学 / 言語学(春学期分)

「人間言語の特徴」 2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医】 小屋 逸樹

【授業科目の内容】

この授業では、人間言語の特徴を他の記号体系と区別しながら概説し、世界の言語の類型と日本語の位置づけ、ソシュールやチョムスキーの言語観、また時間が許せば認知言語学の新しい知見などを解説する予定である。

【教科書】

なし。

【参考書】

ジーン・エイチソン著(田中他訳)『改訂新版 入門言語学』金星堂

言語学 / 言語学(秋学期分)

「言語の構造と機能」 2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医】 小屋 逸樹

【授業科目の内容】

この授業では、いわゆる言語学プロパーと呼ばれる音声学、形態論、統括論、意味論といった個別分野を概説する。「言語学」とは独立に「言語学」を履修しても学習上の不都合はない。各論を取り上げる際は、日本語についても言及する予定である。

【教科書】

なし。

【参考書】

小泉保著『日本語教師のための言語学入門』大修館

言語学 / 言語学(春学期分)

「大きな言語現象を知る」 2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医】 鈴村 直樹

【授業科目の内容】

授業形式は講義。対象言語はおもに日本語と英語です。中間試験と期末試験があります。

【教科書】

なし。必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

なし。必要に応じて指示します。

言語学 / 言語学(秋学期分)

「小さな言語現象を調べる」 2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医】 鈴村 直樹

【授業科目の内容】

授業形式は講義。対象言語はおもに日本語と英語です。中間試験と期末試験があります。

【教科書】

なし。必要に応じてプリントを配布します。

【参考書】

なし。必要に応じて指示します。

言語学

「英語と社会・英語と世界」 2単位 春学期

【経法政商医】 井上 逸兵

【授業科目の内容】

社会言語学、言語社会学、言語政策などの観点から、英語という本来は一民族語である言語が、様々な様相をもった「国際語」として我々の社会に関わっている有り様を論じる。一般的な言語学とは扱う内容も扱い方も異なる。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業中に指示する。

言語学

「言語と社会・言語と世界」 2単位 秋学期  
【経法政商医】 井上 逸兵

【授業科目の内容】

社会言語学、言語社会学、言語政策などの観点から、言語の社会的、政治・経済的、認知的側面を論じる。一般的な言語学とは扱う内容も扱い方も異なる。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業中に指示する。

言語認識論

「言語と人間の外界認識」 2単位 秋学期  
【経商医理】 金田一真澄

【授業科目の内容】

学生たちにとって身近で本質的な問題についてじっくり考えさせる授業を行います。テーマは、我々をとりまく様々な現象で、主に言葉についての認識や言葉を使っただけの認識に関する問題です。認識論一般や人間の意識の問題についてもできれば広げて論じるつもりです。毎回テーマを絞り、90分の前3分の2を講義に残り3分の1を演習に当て、学生が積極的に意見を交換しあえる授業を行います。

例えば、「カテゴリー」をテーマとすれば、人間の外界認識において、共通要素の有無が分類判断の基礎となるという従来の考え方と、E. ロッシュらが提唱する典型からの心的距離が分類判断の基礎となるという考え方があり、その優劣について、言語（例えば「机」）の意味の分析と関連づけて全員参加の討論を行います。その他、「言語決定論」「メタファ」「パターン認識」「時空間」「語用論」などのテーマを扱います。学生たちは時にグループに分かれてdebateを行うこともあります。

【教科書】

なし。

【参考書】

G.レイコフ『認知意味論』紀伊国屋書店  
M.ポズナー『言語への認知的接近』産業図書  
D.マクニール『マクニール心理言語学』サイエンス社  
M.ミンスキー『心の社会』産業図書

現代化学概論

2単位 秋学期  
【商理】 栄長 泰明 他

【授業科目の内容】

毎回の担当者が現代化学の最先端に関するトピックを講義する。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

現代芸術論

「第二次世界大戦後から現代までの美術」2単位 春学期  
【経商医理】 近藤 幸夫

【授業科目の内容】

第二次世界大戦後、世界の美術の中心は、パリからニューヨークへと移ります。授業では、この時期から現代までの美術の動きについての基礎的な知識の習得を目的とします。適宜、現代美術のタイムリーな話題や展覧会のはなしを織り交ぜながら授業をすすめていく予定です。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

適宜授業中に指示します。

現代芸術論

「芸術のようなもの」 2単位 春学期 / 秋学期  
【経商医理】 高桑 和巳

【授業科目の内容】

狭い意味での芸術ではなく、芸術と見なせるかどうかがあやうい事例について考えてみます。

狭い意味での芸術のなかに見られる非芸術的な点についても考えます。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

授業中に指示します。たくさん指示しますが、すべてを読む義務はありません。

現代思想論

「20世紀以降、考えるということ」 2単位 春学期 / 秋学期  
【経商医理】 高桑 和巳

【授業科目の内容】

20世紀以降の思想から、私たちが考えるうえで参考になるはずのものを、テーマや人物ごとに（ただし非体系的に）解説します。

数回ごとに完結した話をする予定。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

授業中に指示します。たくさん指示しますが、すべてを読む義務はありません。

現代思想論

「現代思想の争点」

2単位 春学期 / 秋学期

【経商医理】

田辺 秋守

【授業科目の内容】

いわゆる「現代思想」において近年どのようなことが話題になっているのか、その論争の「争点」になっている事柄を、分かりやすく紹介したい。「現代思想」はある独立した学科としてはほとんど定義不可能である。一般に欧米の大学の学科編成の中には、伝統的に「哲学」「現代哲学」という科目はあるが、「現代思想」という科目は見当たらない。イギリスの現代思想家テリー・イーグルトンはそれと同等なものとして「現代の理論」という言葉を用いている。「現代」はおおよそ20世紀初頭から現在に至る歴史概念であり、その理論として考えられるのは、哲学から社会学、精神分析から文学理論と多岐にわたる。そのなかでも特に「現代思想」として理解される理論の主要な特質は、(1)現代社会のアクチュアリティを主題化できる(2)つねに論争的になる(3)思考実験(作業仮説的思考)を必要とする思想という三点に要約できだろう。ここではおもに1960年以降に「現代思想」の基礎的な論点を用意した「哲学的」言説を取り上げたい。中心となるのはヨーロッパ、アメリカの思想家たちの議論である。しかしそうした議論がすでに現代日本の課題と地続きであり、「われわれの課題」であることがすぐに理解されると思う。

【教科書】

特になし。毎回プリントを配付する。

【参考書】

詳細な参考文献一覧は開講時に配付する。

現代社会論

「歴史の終わり」と民主主義」

2単位 秋学期

【経商医理】

荒金 直人

【授業科目の内容】

フランシス・フクヤマによれば、リベラルな民主主義は人類のイデオロギー上の進歩の終点、人類が辿り着く最後の統治形態であり、その意味で「歴史の終わり」を意味する。この授業では、フクヤマのこのような言説の分析を軸に、ヘーゲル、コジェーヴ、ニーチェなどを参照しながら、歴史と何なのか、「民主主義」というレトリックはどのように機能しているのか、「終わり」のない歴史を考えることはできるのか、「ポスト歴史」の人間像はどのようなものなのか、などの問題について考察します。

【教科書】

フクヤマの著作の抜粋のコピーをコピーセンターで購入してもらうことになると思います。それ以外にも必要に応じて資料を配布する予定です。

【参考書】

フランシス・フクヤマ著、渡辺昇一訳、『歴史の終わり』(上巻・下巻) 三笠書房、1992年。

Francis Fukuyama, The End of History and the Last

Man, The Free Press, 1992.

浅田彰著、『「歴史の終わり」を超えて』、中公文庫、1999年。

現代社会論

「国民国家と社会変動」

2単位 秋学期

【経商医理】

池田 緑

【授業科目の内容】

現代日本社会は、様々な社会システムの転換点にあります。私たちが子供の頃から「あたりまえ」と思っていたことは、じつは極めて一時代的な現象で特殊なものであり、これからは「あたりまえ」ではなくなる過程でもあります。この授業では、近代国民国家とともに発展してきた現在の社会システムとその転換を「脱工業化」と「植民地主義」という2つの視点から考えてゆきます。

まず、近代国民国家の発展を支えた「工業化」がどのように現在の社会システムを作ってきたかを、フォーダイズム、社会階層の形成、“地域”という枠組みの形成、などを通じて検討します。さらに、性差という社会制度を通して国民国家における“女性”の構築と家族制度や婚姻制度と権力、植民地主義の関係を考えます。

授業全体を通じて、多様な選択肢を前にこれからの時代を生きてゆかなければならない私たちの社会との関係について、そのヒントを模索できる授業になればよいと考えています。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

現代社会論

「高齢社会の実態と課題」

2単位 春学期

【経商医理】

岡田あおい

【授業科目の内容】

わが国は、世界に類例のない速さで人口の高齢化が進行している。高齢化が進む中で、高齢者の介護問題、年金問題、社会福祉・社会保険・老人医療の問題など、早急な解決を必要とする深刻な社会問題が山積している。こういった、いわゆる「高齢者問題」にいかに関与すべきかを真剣に考え、迅速に対処することが現代社会を生きる私たちの一つの課題なのである。

本講義は、これまで提示されてきたさまざまな高齢化社会論を整理し、わが国の「高齢社会」の実態とその動向に伴う社会変化の必要性など、「高齢社会」とそこに内在する諸問題(特に介護問題)について具体的に考えていきたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

『日本人口論』清水浩昭 放送大学

『高齢社会基礎資料』中央法規

現代生物学概論

「生命科学、生命工学の最先端」 2単位 秋学期  
**【商理】** 太田 博道 他

**【授業科目の内容】**

生命体は、タンパク質、糖、脂質等が整然と制御されて動的平衡にある化学物質の集合体と見ることもできる。また、血液が体の隅々まで流れ、神経細胞には電子が流れて刺激が伝わるように、精緻な物理現象の場であると見ることもできる。また、免疫作用や発生の仕組みを見ればトータルなシステムとして制御されていると言うこともできる。さらに遺伝子や脳のことを考えれば、情報論の概念で捉えることもできる対象である。これらの神秘を解明することは興味の尽きないところであるが、一方これらの機能を護ること、利用することも非常に重要である。

「機能を護る」とは即ち健康を保つ、回復することであり、即ち医学ということになる。「使う」一例は、食料生産であり、物質変換にも生命機能は利用されている。

本講義では、これら様々な現代生物学の科学と工学に関するトピックの中から、幾つかのテーマを選び平易に解説する。

**【参考書】**

太田博道、柳川弘志編著  
 「生命科学への招待」三共出版、本体価格2200円

現代世界史

「20世紀の国際政治史とイラク戦争」 2単位 春学期  
**【経商医理】** 齋藤 直樹

**【授業科目の内容】**

20世紀は二度にわたる世界戦争と半世紀近くに及んだ冷戦に彩られたことから、「戦争の世紀」と言われる。そうした「戦争の世紀」が終わったからといって、21世紀が調和と均衡のとれた明るく輝く世界であることが保証されているわけではない。これは2001年の「同時多発テロ事件」と2003年のイラク戦争の勃発が正確に物語るとおりである。今、21世紀を迎え世界は予想もできない混迷の時代に突入している。今後の21世紀がどのような世紀になるのだろうか。これを知るためには20世紀がどのような世紀であったのかという問いかけが行われる必要がある。20世紀の歴史は21世紀の世界に多くの教訓を与えるものであり、新世紀のための道しるべとなるはずである。本講はこうした問題意識の中で、20世紀の歴史を通観した上で、2003年に起きたイラク戦争を取りあげる。

**【教科書】**

齋藤直樹『イラク戦争と世界』現代図書

**【参考書】**

齋藤直樹『現代国際政治史』(上、下)北樹出版  
 齋藤直樹『(新版)国際機構論』北樹出版

現代日本史

「近代日本人の形成」 2単位 春学期  
**【経商医理】** 柳田 利夫

**【授業科目の内容】**

「近代国民国家」形成期の日本から、移民として海外に渡航した日本人を素材に、「近代日本人」のアイデンティティ生成のプロセスを歴史学的方法を基礎に分析します。その作業を通じて、「現代日本人」のアイデンティティを考える手がかりを掴むことを目的としています。

講義では、具体事例としてまずスポーツや葬送とアイデンティティ生成についてお話したのち、移民の出自社会における村落・家族構造、移民の人的ネットワークの形成と機能、出自社会・ホスト社会における個人の生活戦略、ホスト社会におけるアイデンティティ形成といった多少抽象的になりがちなテーマを、個別具体的な事例を扱うことで歴史学的方法の枠に引き戻しつつ議論してゆきたいと考えています。これだけの説明では分かりづらいかもかもしれませんが、理解しようとして聴講していただければ、何も難しいことはありません。

**【教科書】**

特に指定しません。

**【参考書】**

『アメリカの日系人 - 都市・社会・生活 - 』柳田利夫 (編著) 同文館、1995

『ハワイ移民佐藤常蔵書翰 - 近代日本人海外移民史料 - 』柳田利夫・赤木妙子 (編著) 慶應義塾大学出版会、1995

『リマの日系人 - ペルーにおける日系社会の多角的分析』柳田利夫 (編著) 明石書店、1997

『ペルー 太平洋とアンデスの国 近代史と日系社会』増田義郎・柳田利夫著、中央公論新社、1999

『ラテンアメリカの日系人』柳田利夫 (編著) 慶應義塾大学出版会、2002

現代メディア論

「メディア史から考える社会の変化・人間の変容」 2単位 秋学期  
**【経商医理】** 木下 京子

**【授業科目の内容】**

身近なところでコンピュータや携帯電話の急速な普及や技術の進化は、生活形態や人間関係、社会環境だけではなく、私たち自身の思考法や諸感覚にまで大きな変化をもたらしている。そこでメディアの歴史をふり返りながら、新たなメディアが成立し発展する過程や社会にもたらした影響などを様々な角度より検証し現況に照射させ、現時点で考え得るメディア論を履修者各自に展開してもらいたい。

**【教科書】**

授業時にプリントを配布。

**【参考書】**

佐藤卓己『現代メディア史』岩波書店

現代メディア論

「美術と写真の関係からメディアとしての写真映像の特性を考える」

2単位 秋学期

【経商医理】

近藤 幸夫

【授業科目の内容】

私たちが日常でなげなく消費している写真映像の存在論的な部分を、絵画と写真の歴史的な関係、美術のなかで写真が如何に使われてきたか、写真を使った現代美術作品などを通じて考えます。

美術のさまざまな局面で現われる写真の使用を検討することによって表現媒体としての写真の特性を明らかにします。授業はスライドを使用し、ある程度個々の作品を覚えることを前提とします。映像や写真に興味のない学生にとって内容の特殊性から、授業についてゆけず単位を落としてしまうことも考えられますので注意してください。日頃、現代美術や写真に興味を持っている学生、あるいは、私の「美術」をすでに受講し美術の基礎知識をもっている学生の受講を希望します。

【教科書】

ありません。

【参考書】

適宜、授業中に挙げます。

国語国文 a (春学期) / 国語国文 b (秋学期)

国語国文 (通年)

「絵入り御伽草子を読む」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経商医】

石川 透

【授業科目の内容】

御伽草子は、室町時代から江戸時代前期にかけて成立した短編の物語群である。この御伽草子の中から作品を選び、挿絵を觀賞するとともに本文を活字本で講読していきたい。また、江戸時代以前制作の、実物の絵巻物や絵入り写本を身近に閲覧する。

【教科書】

石川透『慶應義塾図書館蔵 図解御伽草子』慶應義塾大学出版会

【参考書】

石川透『魅力の御伽草子』三弥井書店

国語国文 / 国語国文 (春学期分)

「漢文入門」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経商医】

佐藤 道生

【授業科目の内容】

国文学を理解するために必要な漢詩文の知識を教授する。授業では、はじめに我が国の漢学について概説し、その後、日本人が馴染んだ漢文学作品をいくつか取り上げて読解する。尚、私が担当する秋学期の授業で取り上

げる作品とは重複しない。

【教科書】

こちらで用意する。

国語国文 / 国語国文 (秋学期分)

「漢文入門」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経商医】

佐藤 道生

【授業科目の内容】

国文学を理解するために必要な漢詩文の知識を教授する。授業では、はじめに我が国の漢学について概説し、その後、日本人が馴染んだ漢文学作品を取り上げて読解する。尚、私が担当する春学期の授業で取り上げる作品とは重複しない。

【教科書】

こちらで用意する。

自然科学総合講座

「色と紋様の総合講座」

2単位 秋学期

【法政】

秋山 豊子

【授業科目の内容】

色鮮やかな熱帯魚やクジャクの羽を見てきれいだなと思ったり、シマウマやパンダの紋様を見て面白いなど感じたりしたことはありませんか。その仕組みや遺伝的な制御はどうなっているのでしょうか？ また、その色や紋様には生きる上で何らかの機能を果たしているのでしょうか？ 私たちは、昨年度より文科省のプロジェクト研究「学術フロンティア：超表象デジタル研究センター」の中で「色と紋様の総合科学-異分野からのアプローチ-」という共同研究活動を展開してきました。「色と紋様」とは、特に動物の体色と紋様形成のことで、班員は数学、物理学、化学、生物学、心理学の自然科学分野の教員たちです。生き物の仕組みは複雑で、1分野からでは理解しにくいという実感から、異分野の知識や解析法を持ち寄って一緒に考えてみようというきっかけで始めました。縞模様と斑点模様も同じ「反応拡散方程式」で説明ができるのではとか、ヒトの蒙古斑とモルフォチョウの青い輝き、クジャクの羽、魚の虹色の体色などの共通点など興味深い話が続出して来ました。今回は、これらの研究を入門編として基礎から分かりやすく講義の形で紹介します。動物の色と紋様のしくみの面白さを実感して欲しいこととともに、このしくみをモデルに総合的な自然科学の考え方を学んで欲しいと思います。各分野の教員がオムニバス形式で担当しますので、同じテーマでもどのように異なる授業になるかも楽しんで下さい。生物の体の仕組みも、数学理論の基盤の上で、物性の変化は物理学から、反応理論は化学から説明され、生物学的には遺伝子が支配し、これを見るヒトの心理は心理学から説明される/などという私たちの「異分野からのアプローチ」をおぼろげなイメージとして、皆さんと共有できることを希望しています。

【教科書】

特に指定はしません。

【参考書】

授業時に適宜、紹介します。

自然科学特論

「21世紀を生きるために知っていたい化学」

2単位 春学期

【法政】

志村 正

【授業科目の内容】

宇宙が誕生したのはるか昔から現在まで、そしてこれから先も永遠に自然科学はきわめて重要な役割を担い続けています。時間の長さから考えれば、最も大切な学問分野であるといっても過言ではありません。しかし、その意味や内容は残念ながら科学者の中だけで取り扱われていて、なかなか一般の人々にまで伝わっていないのが実情です。

この授業では、数ある自然科学分野の中から化学を中心に将来それを専門としない法学部の学生諸君に対して、21世紀を生きるために是非知っておいていただきたい知識をできるだけ分かりやすく講義します。併せて、自然科学的な発想力と思考法を学習してもらおうと思っています。

【教科書】

講義資料はwebサイト(URLは授業でお知らせします)からダウンロードできるようにする予定です。

自然科学特論

「環境学 ・ 環境原論」

2単位 春学期

【法政】

藤田 祐幸

【授業科目の内容】

環境問題は現代の社会問題として認識されるようになったが、そこには無気力な絶望感と、打算的な楽観論とが無責任に交雑するのが現状だ。環境問題を論ずる著作や論考が巷にあふれており、いまさら個別の問題について大学の講義で取り上げる必要もない。ここでは、生命がどのような構造に支えられて“持続”的な生態系を維持しているのかを原理論的に明かにすることで、地球生態系の構造を人間の社会経済システムにとりこんで行く方向を探る。

秋学期の自然科学特論（環境学 ・ 循環型社会論）と併せて履修することが望ましい。

【教科書】

テキストは用いないが、必読的参考図書として、エントロピー学会編「“循環型社会”を問う」（藤原書店、2200円＋税）、エントロピー学会編「循環型社会を創る」（藤原書店、2400円＋税）を薦める。

自然科学特論

「環境学 ・ 循環型社会論」

2単位 秋学期

【法政】

藤田 祐幸

【授業科目の内容】

春学期で学んだ基礎理論を駆使して、持続的社会を構築するために何をなすべきか、何をしてはいけないのかを、具体的事例を検証しながら明らかにしていく。技術の問題、法制度の問題、経済学の問題など、循環型社会を作り上げていくべき社会的枠組みについて考察する。

春学期の自然科学特論。（環境学・環境原論）と併せて履修することが望ましい。

【教科書】

「循環型社会を実現するための20の視点」（エントロピー学会編・200円）を教室で頒布する。

【参考書】

授業の中で随時紹介する。

自然科学特論

「自然界の資源から有用な材料へ」

2単位 秋学期

【法政】

小野 雅之

【授業科目の内容】

高校化学でもなじみのある「金属のイオン化傾向」を念頭に置きながら、金属の製法や性質について、実作業の体験などを交えて解説します。

【教科書】

なし。

【参考書】

富永博夫・櫻井宏・白田利勝著 [資源の化学] 新化学ライブラリー 大日本図書

自然人類学

「進化の産物としての自分を知る」

2単位 春学期

【商理】

青木 健一

【授業科目の内容】

自然人類学は、生物としてのヒトが辿ってきた進化の道程を明らかにし、ヒトが進化の産物であるがために有する特徴を理解することを目的としている。ヒトの形成には、遺伝的な変化による「遺伝」進化のほか、文化的な変化による「文化」進化も大きく寄与している。この講義では、具体的な事例を踏まえて、両方の進化の原理について分かり易く解説する。進化によって獲得されたヒトの特徴はさまざまであるが、我々が日常的に行っている社会行動についても進化の視点から詳述する。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業中に参考資料を配布する。

社会科学概論

「社会学者の社会科学」

2単位 春学期

【経商医】

小野 修三

【授業科目の内容】

社会科学が社会を対象とするとした時、そしてその社会をわれわれが構成すると考える時、そこで営まれる社会科学は社会科学を営む人たるわれわれ社会学者を対

象とするという側面があるはずである。この社会学者を社会科学の正当な対象とする時、どんな社会科学が営まれるとすることが出来るであろうか。

本講義はそうした社会科学の例として、R.S.Lyndの『何のための知識か』を挙げるが、このR.S.Lyndに学びつつ、丸山真男、きだみのる、Michel Foucault、石田雄などを検討する。

【教科書】

無

【参考書】

その都度指摘する。

社会科学概論

「近代日本の異色の人間像」 2単位 秋学期

【経商医】 小野 修三

【授業科目の内容】

同時代人からは白い目で見られた人物でも、現代のわれわれにはむしろそうした人々の方がわれわれの価値観に近いものがある、と感じられることがある。本講義はそうした「異色の日本人たち」に関する私なりの伝記的理解を提示し、人間についての社会科学を営んでみたい。

【教科書】

無

【参考書】

その都度指摘する。

社会学 / 社会学（春学期分）

「子どもの社会学 - ポピュラー・カルチャーとの関わりにおいて」 2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】 小谷 敏

【授業科目の内容】

子ども世界の社会学的分析。とくにマンガ、テレビゲーム、インターネット等々、ポピュラー・カルチャーとの関わりを重視したい。

【教科書】

小谷敏著『子ども論を読む』世界思想社（2003年2000円）

【参考書】

授業中に指示します。

社会学 / 社会学（秋学期分）

「子ども世界の社会学 - 子どもの事件から」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】 小谷 敏

【授業科目の内容】

子どもの引き起す、様々な事件。その語りから、この国の大人たちの子ども観、さらには子どもたちの姿を浮きぼりにする。

【教科書】

小谷敏著『子ども論を読む』世界思想社（2003年2000円）

【参考書】

授業中に指示します。

社会学a（春学期） / 社会学b（秋学期）

社会学（通年）

「食・農・地域の社会学」 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】 土居 洋平

【授業科目の内容】

本講義では、二つのことを行います。ひとつは、社会学という学問の視点・考え方を様々な現象を通じて紹介していくことです。もうひとつは、私たちにとって最も身近な「食べること」を社会学的な視点をもって探究し、その農業生産や地域社会への広がりを考えていくことです。

前期の講義では、社会学の基本的な考え方について紹介した後に、様々なトピック毎に、社会学の考え方を紹介していきます。また、後期の講義においては「食べること」という身近な行為の背後に広がる世界を、社会学的視点から描いていきます。講義を通じて履修者各人が社会学の視点・考え方を学ぶとともに、それを使って一定のテーマについて考えていくことを期待します。

【教科書】

藤田弘夫、西原和久編『権力から読みとく現代人の社会学・入門』有斐閣（2002年） 榎瀧俊子・松村和則編『食・農・からだの社会学』新曜社

【参考書】

授業中に適宜指示します。

社会学a（春学期） / 社会学b（秋学期）

社会学（通年）

「現代社会と家族の諸相」（春学期）

「現代社会と家族の諸相手」（秋学期）

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】 長尾 真理

【授業科目の内容】

春学期 社会科学とは、様々な概念や理論体系などを使って社会の「本質」を解明する学問であると言われる。その中で、とりわけ人間の行動や行為に焦点を当て、人間相互の関係性や集団のあり方を考察することが社会学の課題となる。この授業では、社会学の基本的な考え方、個人や集団への接近法について概説する。

秋学期 春学期に概説した、社会学的な視点を踏まえて、現代家族の様々な問題を考える。特に、前半までは戸籍や国籍といった制度上の問題を、後半では子どもへの虐待等の問題を具体的に検討する。

【教科書】

講義用プリント・資料を配布する。

社会学a（春学期）／社会学b（秋学期）  
社会学（通年）  
「自己とコミュニケーションの社会学」  
2単位 春学期／秋学期  
4単位 通年  
【文経法商医理】 藤川 千歳

【授業科目の内容】

社会とは、幾多の人と人との関わりで構成されている。この視点に立って、日常社会を読み解く作業を行う。人間関係＝コミュニケーションには有形無形の様々な力が働いている。通常は意識すること無いそれらの要素を分析することを通じて、自己不安、家族病理、差別など私たちの現前に横たわっている問題を考えていきたい。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

授業の中で紹介する。

社会心理学  
「社会的認知と対人行動」 2単位 春学期  
【政商】 萩原 滋

【授業科目の内容】

春学期は、自分たちの社会的環境をいかにして把握するかという問題を取り上げる。すなわち「社会的認知」と呼ばれる研究領域を中心に、均衡理論、認知的不協和理論、帰属理論など社会心理学の代表的な理論枠組について概説し、それに依拠して行われた実験など具体的な研究事例を詳しく紹介する。また対人魅力など、対人行動の基礎となる問題も取り上げることにする。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

適宜、指示する。

社会心理学  
「メディアとコミュニケーション」 2単位 秋学期  
【政商】 萩原 滋

【授業科目の内容】

秋学期は、対人コミュニケーションからマス・コミュニケーションまで幅広く「コミュニケーション」過程に関わる諸問題を取り上げる。対人コミュニケーションに関しては「説得効果」、マス・コミュニケーションに関しては「テレビの社会的機能、对人的影響」に焦点を当てて、新旧取り混ぜて社会心理学的研究の成果を紹介する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

適宜、指示する。

宗教学a（春学期）／宗教学b（秋学期）  
宗教学（通年）  
「宗教とは何か」 2単位 春学期／秋学期  
4単位 通年  
【文経法政商医理】 由木 義文

【授業科目の内容】

宗教学とは、宗教現象を客観的・実証的に研究する学問である。本講義では春学期においてはデュルケーム、ベルグソン、モースなどの理論を用いて、宗教の定義、発生と役割などについて考察し、秋学期においては、特に日本の宗教をとりあげ、神道・仏教・新宗教の成立・展開を社会との関わりにおいて講ずる予定である。

【教科書】

由木義文著『宗教学序説』朝倉書店

【参考書】

岸本英夫著『宗教学』

住宅・建築史概論 2単位 春学期  
【経商医理】 岸本 達也

【授業科目の内容】

建築デザインとその形式は、その時代の技術、文化や社会システムと関係している。この授業では古代から近現代までのその歴史的な変遷について学びます。

【教科書】

プリントを配布する予定。

【参考書】

「三訂版 西洋建築史図集」日本建築学会編 彰国社  
「日本建築史図集 新訂版」日本建築学会編 彰国社  
「建築史」オーム社 堀口捨己ほか  
「図説 建築の歴史 西洋・日本・近代」西田雅嗣ほか 学芸出版社  
「空間・時間・建築」S.ギーディオン 丸善  
「西洋建築入門」森田慶一 東海大学出版会  
「日本建築史序説」大田博太郎 彰国社  
その他

女性学  
「セクシュアリティとジェンダー」 2単位 秋学期  
【文経商理】 西山千恵子

【授業科目の内容】

セクシュアリティは、性現象と訳されることがあります。やや抽象的ですが、女性学ではセクシュアリティ論として、性をめぐる諸問題、諸課題が論じられてきました。例えば性行動、性意識における男女差や、男女の関係、売買春、ポルノグラフィー、妊娠・避妊・出産・中絶など性と生殖に関する問題、性表現、性をめぐる欲望やファンタジー、性暴力、性教育、婚姻制度などさまざまに広がります。

一方、最近の女性学は、「女性」・「男性」という区分を自明視せず、性別を相対化して捉えようとする傾向

があります。その中で、性別についての自己同一性や、異性愛、同性愛などの議論も展開してきました。女性学のみならず、セクシュアリティをめぐる研究やセクシュアル・マイノリティ（性的少数者）の主張を反映する社会的な動き、情報、著作はますます広がりつつあります。

授業では、女性学のキーワードであるジェンダー（社会・文化的性別）概念を中心に、これらセクシュアリティ論の入門的理解を目指すとともに、現代の性をめぐる諸問題のいくつかを取り上げ検討します。ビデオ教材を使用することもあります。

**【教科書】**

特に使用しない。

**【参考書】**

授業時に適宜紹介する。

身体 / 感覚文化

「食覚・自己・社会」

2単位 春学期

【文経法政商医理】

武藤 浩史 他

**【授業科目の内容】**

普段は気にもとめないが、私たち一人一人が持つ身体は、とても興味深い働きをしている。私たちは諸感覚によって自らの身体を認識し、その身体を境界線として自己とそれを取り巻く世界を別個のものとして切り分ける。持ち主にとって身体は「個」を支えるものであり、自己組織化され「閉じた」システムだ。しかしその外に広がる世界から見れば、身体もまた自然を構成する数えきれないモノの一つにすぎない。また身体という境界線は安定したものではない。身体 / 感覚を通して認識された外界の姿は、その外界に視点を置いて自らの姿を客体視する時に、同じ身体 / 感覚を通して自己認識へと反映される。切り分けられた自己と外界は、身体を通して絶えず相互作用を繰り返し、互いの姿を規定しあうのである。こうして身体 / 感覚は私たちを取り巻く世界に、そして私たち自身に、常に新たな形を与え続ける。その相互作用の積み重ねが文化であり、ある時代、ある地域に生きる私たちは、そこにある文化の流れに巻き込まれながら身体 / 感覚の相互作用を体験し、同時に文化の変容や生成を支えていることになる。この講座では、身体のような働きを取り上げ、なかでも身体を場とした相互作用の媒介となる感覚に注目する。平成17年度は「食覚」をキーワードとする。造語であるが、食にまつわる味覚、嗅覚のみならず食卓文化の問題、食と自己と社会の問題も含めて、塾内外の、文系、理系にまたがる各界の一流の講師を招いて、「食」と「感覚」に関する我々の洞察を深めたい。

身体文化論

「ダンスと身体」

2単位 春学期

【経商理】

稲田奈緒美

**【授業科目の内容】**

身体を素材、媒体とする芸術であるダンスは、古今東西さまざまに変化してきました。それは、ダンス自体の

様式の変遷や技術の発展であると同時に、身体に関する社会的な規範、美意識、価値観、タブーなどが反映された結果でもあります。身体は個人的なものであると同時に他者とコミュニケーションし、情報を発するメディアであり、社会的、政治的な場でもあります。この授業では、様々なダンスの身体に現れた、動作、身振り、フォーム、スピード、リズム、ダンサーの体格、衣装などを取り上げることによって、身体にまつわる文化を解説します。

**【教科書】**

特に使いません。

**【参考書】**

授業時に適宜、紹介します。

人文総合講座 / 人文総合講座

「21世紀のアメリカの行方」

2単位 春学期

【経法政商】 鈴木 透（コーディネーター）

近藤 光雄 エインジ、マイケル

杉浦 章介 常山菜穂子

**【授業科目の内容】**

21世紀のアメリカは、民族構成が大きく変化しつつある中、貧富の差の増大や文化戦争など、国内には分裂の危機を抱え、一方、対外的には、冷戦の終結からテロとの戦いへという転換点を迎えて、これまで未経験の次元に足を踏み入れようとしています。この授業では、「マイノリティー」、「メディア」、「コミュニティー」、「集団的記憶の再構築」の4つのキーワードを軸に、アメリカがこの難局をどう乗り越えようとしているのか、未来のアメリカを方向づけようとする知の潮流を、現代アメリカが抱える様々な社会現象・文化現象の中から領域横断的に探り当て、アメリカ社会の現状と今後を展望します。とりわけこの授業では、こうした新たな時代状況の中で、従来からの積み残し課題と現代アメリカ社会がどう向き合おうとしているのかに着目しながら、アメリカ社会にどのような変化が忍び寄りかけてきているのかを考えるとともに、そうした新たな動きがアメリカという枠を越えていかなるインパクトを持ちうるのか、考えていきます。

**【教科書】**

使用する教科書については、開講時に指示します。

**【参考書】**

鈴木透『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』（慶應義塾大学出版会、2003）

## 心理学履修ガイド

心理学は自分の所属する学部に設置されている心理学のみ履修申告時（4月14日～16日）に申告できます。 設置学部以外の学生は定員に余裕がある場合に限って追加履修申告（5月上旬）時に申告することができます（下表参照）。 追加申告できる心理学については4月下旬に発表予定の抽選結果で確認してください。

### 【文学部設置心理学】

**履修申告時（4月14日～16日）に文学部の学生のみ申告することができます。** 法学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められます。 その場合は通年科目の「心理学」として履修し、自然科学系の科目として認められます。 通年科目の登録番号は文学部の時間割で確認してください。

心理学	小嶋 祥三	通年	4単位
心理学	増田 直衛	通年	4単位
心理学	望月 要	通年	4単位

### 【経済学部設置心理学】

**履修申告時（4月14日～16日）に経済学部の学生のみ申告することができます。** 法学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。 登録番号は経済学部の時間割で確認してください。

心理学	曾我 重司	春学期	2単位
心理学	曾我 重司	秋学期	2単位
心理学	中野 泰志	春学期	2単位
心理学	中野 泰志	秋学期	2単位
心理学	和気 洋美	春学期	2単位
心理学	和気 洋美	秋学期	2単位

### 【法学部設置心理学】

**履修申告時（4月14日～16日）に法学部の学生のみ申告することができます。** 文学部、経済学部、商学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。

\*文学部の学生が履修する場合は、同一担当者、同一曜日時限に開講する「心理学 」、「心理学 ）」を通年科目の「心理学」として履修します。 通年科目の登録番号は所属学部の掲示板で確認してください。

\*経済学部、商学部の学生が履修する場合は「心理学 」、「心理学 ）」で履修してください。その場合の登録番号は法学部の時間割で確認してください。

心理学	菅野理樹夫	春学期	2単位
心理学	菅野理樹夫	秋学期	2単位
心理学	鈴木 恒男	春学期	2単位
心理学	鈴木 恒男	秋学期	2単位
心理学	福田 真実	春学期	2単位
心理学	福田 真実	秋学期	2単位

### 【商学部設置心理学】

**履修申告時（4月14日～16日）に商学部の学生のみ申告することができます。** 経済学部、法学部の学生は定員に余裕がある場合に限って、追加履修申告時（5月上旬）に履修が認められ、自然科学系の科目として認められます。 登録番号は商学部の時間割で確認してください。

心理学	小松 英海	春学期	2単位
心理学	小松 英海	秋学期	2単位
心理学	高山 緑	春学期	2単位
心理学	高山 緑	秋学期	2単位
心理学	増田早哉子	春学期	2単位
心理学	増田早哉子	秋学期	2単位

心理学  
「こころと脳」 4単位 通年  
【文】 小嶋 祥三

【授業科目の内容】

最近テレビ番組の中に脳をあつかったものがみられる。こころ（行動）を脳で説明することは、説明になっているのだろうか。確かに行動は脳が生み出している。しかし脳の機能は行動によって説明される。こころと脳はお互いに説明し、説明される関係にある。このような点を考慮に入れて、こころと脳の間を述べる。

【教科書】

なし。

【参考書】

随時紹介する。

心理学  
「認識と行動の実験心理学」 4単位 通年  
【文】 増田 直衛

【授業科目の内容】

心理学とはどんな学問なのでしょう。おそらく多くの人々にとっては、心理学というとTVや雑誌に登場してくる性格診断やフロイトの精神分析学を思いおこすと思います。もちろん、このような分野も心理学の一部ではありますが、それらはほんの一部なのです。

ここでは心理学が自然科学の一分野として誕生してから、今日までどんな分野の学問と連携しつつ、自らの学問を築いてきたかを考えてみます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

大山 正ほか（著）「心理学のあゆみ（新版）」有斐閣新書

野口 薫ほか（著）「心理学入門（新版）」有斐閣新書

心理学 「実験心理学入門」 4単位 通年  
【文】 望月 要

【授業科目の内容】

心理学の中でも、実験心理学は、人間を含めた生物の行動の法則を、実証科学的方法で探求する分野である。この授業では、実験心理学における基本的な知識と考え方、この分野で取り上げられる興味深い現象、研究テーマとその成果などを概論的に紹介する。主に実験室の中で研究が展開される実験心理学と、現実の人間生活の関係を理解して貰うために、できる限り、応用的な研究事例を紹介しながら講義を進めてみたいと考えている。《こころ》というような曖昧な言葉で表現される現象が、厳密に科学的な方法で研究できるという事実と、そのための物の見方、考え方を身につけて貰うことが、この授業の一番の目的である。

【教科書】

使用しない。授業資料は授業用web site  
（<http://web.hc.keio.ac.jp/moc/psychology/>）で配布する。

【参考書】

授業中に随時紹介する。

心理学  
「ヒトは環境をどのように知覚するのか」2単位 春学期  
【経】 曾我 重司

【授業科目の内容】

心理学の基礎的な知識の学習を目的とする。現代心理学の方法論、人間と他の動物の比較に基づく生物としての人間の特徴、有機体を取りまく環境世界からの情報をどのように取り入れているのかなど、主に知覚・認知的側面からの現代心理学の主要なアプローチ、成果について概観する。

【教科書】

特に指定しない。（必要な資料は講義中に配布する）

【参考書】

特に指定しない。

心理学  
「ヒトは環境にどのように働きかけるのか」 2単位 秋学期  
【経】 曾我 重司

【授業科目の内容】

心理学の基礎的な知識の学習を目的とする。現代心理学の方法論、ヒトが自らを取り巻く環境に対してどのように働きかけているのか、について主に行動・個性の側面からの現代心理学の主要なアプローチ、成果について概観する。

【教科書】

特に指定しない。（必要な資料は講義中に配布する）

【参考書】

特に指定しない。

心理学  
「知覚・認知心理学の教育・福祉・支援技術への応用」 2単位 春学期  
【経】 中野 泰志

【授業科目の内容】

心理学は人間や動物の純粋な経験（現象）を整理し、その働き（機能）や意味を明らかにし、さらにその背景にあるメカニズムを探求する学問である。その究極の目的は、人間や動物の「こころ」（行動）の理解と予測であり、個々の豊かな生活（Quality of Life; QOL）を保障し、過ごしやすい社会を形成するための知見を科学的に究明していくことである。

本講義の最大の特徴は、実験心理学の研究成果を、主として障害児・者の教育・福祉や彼らの生活をより豊かにする支援技術と関連させながら紹介する点である。高

高齢化社会を目前にしている今、障害や福祉は身近な問題になりつつあり、最先端科学技術等を用いてその問題点を解決する支援技術が注目を集めつつある。「障害」そのものを理解し、支援技術等を用いて、障害がある人達の教育や福祉を実現するためには、心理学の科学的な考え方や実験・観察に基づく基礎データが極めて重要な役割を果たす。例えば、目が不自由であっても単独で行動することは可能なわけであるが、白杖（白い杖）や盲導犬が自動的に導いてくれるわけではない。白杖や盲導犬という道具を使って目の不自由な人自身が「自分はどこに行きたいのか」「そのためにはどういうルートをとるのか」「そのルートに沿って移動するためにはどういう手がかかりがあるのか」「ルート中に段差や穴や障害物はないか」「迷ってしまったときにどうするか」等を判断しながら移動するのである。このような判断がより安全に、効果的にできるためには、人が環境や地理を知覚・認知する方法を科学的に明らかにしなければならないのである。このように、本講義では、知覚・認知心理学が対象とする諸現象や科学的方法論を障害児・者の教育・福祉に関する具体的な事例や支援技術開発と関連づけながら、わかりやすく解説する。

【教科書】

なし（講義内容のポイントをまとめた資料をwebで公開する）

【参考書】

適宜紹介する。

心理学

「行動・個性の測定と発達」

2単位 秋学期

【経】

中野 泰志

【授業科目の内容】

心理学は人間や動物の純粋な経験（現象）を整理し、その働き（機能）や意味を明らかにし、さらにその背景にあるメカニズムを探求する学問である。その究極の目的は、人間や動物の「こころ」（行動）の理解と予測であり、個々の豊かな生活（Quality of Life; QOL）を保障し、過ごしやすい社会を形成するための知見を科学的に究明していくことである。

本講義では、科学としての心理学がどのような方法で行動や個性を測定するかに関する実習を実施し、データ分析を通して、心理学的測定法について解説する。また、それぞれの個性的な行動がどのようにして発達するのか、また、何らかの原因で発達が阻害された場合に、どのような困難（障害）が生じるのかを概観する。さらに、行動や個性を変えるためには、どのような取り組みが可能かについて、適宜、事例も紹介しながら、理論的に解説する。なお、本講義の最大の特徴は、実験心理学の研究成果を、主として障害児・者の教育・福祉や彼らの生活をより豊かにする支援技術と関連させながら紹介する点である。高齢化社会を目前にしている今、障害や福祉は身近な問題になりつつあり、最先端科学技術等を用いてその問題点を解決する支援技術が注目を集めつつある。「障害」そのものを理解し、支援技術等を用いて、

障害がある人達の教育や福祉を実現するためには、心理学の科学的な考え方や実験・観察に基づく基礎データが極めて重要な役割を果たす。

【教科書】

なし（講義内容のポイントをまとめた資料をwebで公開する）

【参考書】

適宜紹介する。

心理学

2単位 春学期

【経】

和気 洋美

【授業科目の内容】

本講では、ヒトの精神活動「知・情・意」のうち、主として「知」について、その実験心理学的な研究の足跡をたどり、体験的に学ぶ。

【参考書】

（臨床心理学シリーズ）松原達哉編『心理学概論』培風館

心理学

2単位 秋学期

【経】

和気 洋美

【授業科目の内容】

ヒトは未熟なままの状態、この世に誕生し、長い年月をかけて発達を遂げて完熟した“おとな”になり、やがて死に至る。この間に達成されるべき発達にとって、生後の初期および幼児期の経験は特に大切な意味をもつ。

本講では、ヒトが如何に生後の学習のよって自らの生を成し遂げるべく運命づけられているかを、その他の動物との比較対照によって明らかにし、次に学習の主体であるヒトの諸々の精神活動のうち、個性を色づける「動機づけ・性格」について特色を論じる。

【参考書】

（臨床心理学シリーズ）松原達哉編『心理学概論』培風館

心理学

「人間は環境世界をどのように認識し知覚するのか」

2単位 春学期

【法政】

菅野理樹夫

【授業科目の内容】

心理学とは何かを、どのように明らかにしようとする学問なのかについて考える。自らを取り巻く日常生活のかわり合いの中から考える。そして、その中で人間は環境をどう捉え、どのように関わりあうのか？そのとき人間は環境のことをどれだけ知っているか、あるいは環境を知っている自分のことについてどれだけ知っているのだろうか？このようなことを理解するためには何を知らなければならないかについてできるだけわかりやすく解説する。本講は古代から近代に至る「精神観」の変遷や視覚論などの認識の源について略説する。これらの

ことを知るためには基礎的な知識が必要である。たとえば、ギリシアやイスラム、そして中世ヨーロッパの認識方法、さらに現在の人間の生理学的側面である脳の構造と機能、神経系、視覚系などである。また、心理学的側面として感覚、知覚、認知、記憶、学習、発達、知能などの領域がある。

【教科書】

特になし。

【参考書】

講義の中で随時必要な文献を指示する。

以下の文献は環境心理学を理解するために必要な概念とその歴史的、哲学的背景が詳述されているので参照されたい。

1. J.J.ギブソン著、古崎敬他共訳 生態学的視覚論ーヒトの知覚世界を探る サイエンス社 1985
2. T.J.ロンバルド著、古崎、境、河野監訳 ギブソンの生態学的心理学ーその哲学的、科学史的背景 勁草書房 2000
3. 境 敦史他共著 ギブソン心理学の核心 勁草書房 2002

心理学

「動物行動学や種に特有な行動、条件反射やオペラント条件付けの学習の原理などについて」

2単位 秋学期

【法政】

菅野理樹夫

【授業科目の内容】

人間は日常生活の中で見られるさまざまな出来事を経験する。そしてそれが何故なのかと考えることがしばしばある。たとえば、人間は何故話をしたり、文字が書けるようになったり、恋愛をするようになったり、憎んでみたり、自殺したくなるのだろうか？ はたまた、どうして自転車や車の運転できるようになったり、スキーができるようになるのだろうか？ マインドコントロールなんてあるのだろうか？ アライグマは本当に餌を洗って食べるのだろうか？ ミツバチは仲間と連絡をどうやって取り合うのだろうか？ 人間を含めた動物には母性本能が本当にあるのだろうか？ こういった日常的な疑問は自然界についての不思議なことをどう理解すればいいのだろうか？ 確かに通常感じる心の世界の不思議な出来事に心理学の出発点がありますが、実際の学問としての心理学は以外に地味なものです。講義で話題にする心理学は巷間にある占いや相性テスト、心理ゲーム、未確認飛行物体（UFO）、超心理学などとは無縁です。ここで話題にする心理学は観察や実験などの事実に基づいた科学的なデータをたよりに確かめられた内容です。主に、学習や発達、動物の生態や行動、知能などを取り上げます。

【教科書】

特になし。

【参考書】

講義の中で随時必要な文献を紹介する。

心理学

「知覚認知（見る行為を考えることから論理的思考を養う）」

2単位 春学期

【法政】

鈴木 恒男

【授業科目の内容】

我々が物を見ることを日常的に行っているのに、目を開けば見えることは当たり前だと思っている。しかし、見るとは何をやっているのかに関しては、自分で行っているのに自分では分からない。

この日常的な行動である見るとの行為を考え、その行為を論理的に説明することを行う。その繰り返しから、社会科学の考え方の基本である論理的思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

必要であれば授業で紹介する。

心理学

「行動・個性（人間の行動を観察することから論理的思考を養う）」

2単位 秋学期

【法政】

鈴木 恒男

【授業科目の内容】

我々が日常的に行っている行動はほとんど無意識である。何故その行動が起こるのであろうか、その行動は何を目的としているのだろうか、等のことは意識することはほとんど無い。日常的に行っている行動を取り上げ、その行動理由その他を分けることができるのだろうかを考えると、社会科学の考え方の基本である論理的思考を身につける訓練を行うことが本講義の目的である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

必要であれば授業で紹介する。

心理学

「心理学の基礎を学ぶ（知覚・認知）」

2単位 春学期

【法政】

福田 真美

【授業科目の内容】

心理学的なもの（見方、考え方、研究の進め方について、様々なトピックスを例として解説し、心理学の基礎的な知識を身に付ける事を目的とします。簡単な観察や実習を行いません。ビデオやDVD、パーソナル・コンピュータ（プレゼンテーションソフト）などを用い、視角的にわかりやすい授業を心がけます。

【教科書】

長谷川寿一『はじめて出会う心理学』（有斐閣アルマ）有斐閣

【参考書】

授業時に提示。

心理学

「心理学の現在を学ぶ(行動・個性)」 2単位 秋学期  
【法政】 福田 真美

【授業科目の内容】

心理学の様々な領域における研究の現状について学ぶこと、社会で話題になっている事柄を心理学で理解する可能性について探します。様々な話題について、自分の視点を作り、表現していくことが大切だと考えています。

【教科書】

長谷川寿一『はじめて出会う心理学』(有斐閣アルマ)有斐閣

【参考書】

授業中に紹介します。

心理学

「知覚・認知」 2単位 春学期  
【商】 小松 英海

【授業科目の内容】

人間は外界を知覚し、その環境の中で行動している。心理学では、こうした人間の働きのうちで、知覚と認識の部分を重点的に考える。そもそも人間にとっての環境とは何で、そこから何を情報として得ているのかに焦点を当て、日常生活での経験と関連づけて考えていく。授業は基本的に講義形式で行うが、実験・デモンストレーションを随時行っていく。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義中に適宜紹介する。

心理学

「学習・個性」 2単位 秋学期  
【商】 小松 英海

【授業科目の内容】

人間は外界を知覚し、その環境の中で行動している。行動は他者を含む周囲の環境との相互作用を経る中で変容していく。このことを心理学では学習と呼んでいる。心理学では、この学習に焦点を当て、人間を含む生体の行動の法則性について考えていく。授業は基本的に講義形式で行うが、実験・デモンストレーションを随時行っていく。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

講義中に適宜紹介する。

心理学

「認知と学習」 2単位 春学期  
【商】 高山 緑

【授業科目の内容】

人の心の奥底では、いったい何が行われているのでしょうか。私たちはどのように外界から情報を受け取り、それを加工し、行動をとるのでしょうか。本講義では人間が“事物について物事を知る”といったことがどのようなメカニズムで行われているのか、そしてその能力がどのように発達していくのか学んでいきます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

心理学

「対人関係・人格の生涯発達」 2単位 秋学期  
【商】 高山 緑

【授業科目の内容】

本講義では、“生涯発達の視点”から、乳幼児から思春期、青年期を経て高齢期までを視野に入れて、それぞれの発達段階における心身の発達に関して広く学んでいきます。具体的には、最新の実証研究から得られた知見をもとに、各発達段階特有の心身の発達過程、愛着や性格の形成プロセス、対人関係、ストレスとコーピング、恋愛と結婚、仕事、ライフスタイル等のテーマを取り上げます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

心理学

2単位 春学期  
【商】 増田早哉子

【授業科目の内容】

近年人間を理解しようとする動きが盛んになるにしたがって、ひとの「心」や、「心」を対象とした学問である心理学に関する関心も高まっている。では、「心」とは何を指しているのだろうか。本講義では、心理学が対象とする様々なかたちの「心」に関する、基本的な知見を得ることを目的としている。

心理学の講義では、「心」の一側面として、環境とひととの相互作用の問題についてとりあげる。ひとは環境からの情報を、どのように知覚し、また認知しているのだろうか。また、知覚し、認知した情報に基づいて、ひとはどのように行動するのだろうか。ひとがものを見たり聴いたりする仕組み(知覚心理学)、ひとの記憶の仕組み、問題の解決の方法(認知心理学)といった領域について、日常的な現象をもとに、簡単な実験やデモンストレーションを通じて解説する。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

心理学

2単位 秋学期

【商】

増田早哉子

【授業科目の内容】

近年人間を理解しようとする動きが盛んになるにしたがって、ひとの「心」や、「心」を対象とした学問である心理学に関する関心も高まっている。では、「心」とは何を指しているのだろうか。本講義では、心理学が対象とする様々なかたちの「心」に関して、より応用的な知見を得ることを目的としている。

心理学では、「心」の一側面として、対人関係における問題についてとりあげる。我々の日常生活は、様々な人との関わりによって豊かに彩られている。ひとは生きていかざり社会的・感情的存在であるといえる。そこで本講義では、感覚が知覚・認知とどのように関わっているか（感情心理学）、対人・集団における個人の行動様式（社会心理学）、さらに様々な心的機能がどのように発達するのか（発達心理学）について、簡単な実験やデモンストレーションを通じて解説する。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業内で適宜指示する。

人類学a（春学期）／人類学b（秋学期）

人類学（通年）

「自然の中のヒト：進化と変異」2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経】

高山 博

【授業科目の内容】

ヒト（Homo sapiens）の定義を知っていますか？人類学的定義とは、他にもヒト属、ヒト科、ヒト上科という分類名があって、広義にはすべて「ヒト」または「人類」として使われています。この講義は現生種ヒト（地質学的現世に生存した人類を包括する生物学的分類単位）が、30億年の進化の中で、どのような位置に存在するか、を考えます。原始細胞から無脊椎動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類へと進化の流れをたどりながら、ヒトの特長・その起源と進化について、なるべく最新の情報を提供する予定です。

本文冒頭の質問の答えの一つが、「文化」なんです、どのような「文化」がヒトを定義できるのかについては、講義の中で紹介していくつもりです。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

講義内容に近いものとしては、埴原和郎著『人類の進化』講談社、ルーウィン.R.著（保志訳）『ここまでわか

った人類の起源と進化』てらべいあ、イミダスムック・馬場・高山著『人類の起源』集英社

人類学

「進化から見た人類の理解」

2単位 春学期

【経商】

真家 和生

【授業科目の内容】

生命誕生から現在のヒトが形成されるまでの進化過程をたどりながら、人類の特徴がどのように獲得されてきたかを講義する。履修者は人体に秘められた進化過程に伴う獲得形質を実感することを目標としてもらいたい。

【教科書】

とくに指定しない。

【参考書】

適宜紹介する。

人類学

「体のしくみから見た人類の理解」

2単位 秋学期

【経商】

真家 和生

【授業科目の内容】

人類が世界各地の環境にどのように適応して拡散移住したのか、そしてその結果として現在の人類がどのような多様性を持つに至ったかを講義する。履修者は自分がこうした多様性のなかのどのような位置にいるのかを実感することを目標としてもらいたい。また、筋骨格系の解説と人類の動作の特徴を解説。履修者は自分が人類であることをより深く実感することを目標としてもらいたい。

【教科書】

とくに指定しないが、下記の参考書に講義内容の多くが含まれている。

【参考書】

「生理人類学」富田守他著、朝倉書店

数学 / 数学（春学期分）

「2次元の線形代数」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経】

松岡 勝男

【授業科目の内容】

微分積分学とともに、もっとも基本的な数学的方法・手段の一つである線形代数学について、講義する。主に、n次元への一般化の基礎となる具体的な2次元での論理構成や計算を厳密に行う。

【教科書】

松岡勝男著 「線形代数学 2次元・3次元の線形代数」（培風館、1996年、1,470円）

数学 / 数学 (秋学期分)

「確率論の基礎」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経】

松岡 勝男

【授業科目の内容】

現在、重要性が認識されている確率論について、講義する。数理統計学の基礎としての立場から、可能な限り厳密な証明を簡潔に行う。

【教科書】

特に指定しません。

政治学 / 政治学 (春学期分)

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

出岡 直也

【授業科目の内容】

世界の政治の歴史の重要な要素は、「自由」と「平等」の拡大を求める動きがその目的を達してきた過程でしょうが、20世紀には、それが「社会主義」を目指す様々な動きと「自由に基づく競争的な選挙」という意味での「民主主義」との複雑な関係の形で現出し、21世紀に入った現在の政治も、その歴史を前提としなければ理解できません。本講義では、そうした観点からの整理で、20世紀初等から現代に至る世界（特に第二次大戦後を重視して）の政治を概観します。ただし、各時代の世界の政治につき最も重要なことは述べますが、出岡の専門ゆえ、ラテンアメリカ地域の事例が（通常の世界政治史の概観に比べ）重視されることとなります。

なお、本講義は独立して一つのテーマを扱いますが、秋学期の出岡の「政治学」と組み合わせて、より大きなテーマとして一つのまとまりを持つため、できれば「政治学」と合わせて受講することを薦めます。

【教科書】

全体を通しての教科書は使用しません。

【参考書】

個々の箇所にて指示します。

政治学 / 政治学 (秋学期分)

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

出岡 直也

【授業科目の内容】

19世紀後半から（特に20世紀）の世界の政治は、言論・結社等の自由による競争的な選挙のある政治という意味での「民主主義」と、経済的平等を目指す「左翼」運動との間の複雑な関係を一つの特徴としましたが、そうした歴史の一つの集約点が左右の政党間の競争でした。そうして形成された政党システムには、多くの国で、現在の政治でもまだ決定的に重要であり続けています。本講義は、そのような政党システムがどのような性格を

持った（そして、持つ）のかについて、一般的な議論を紹介したのち、南米諸国の具体的な歴史を紹介して、明らかにしたいと思います。

なお、本講義は独立して一つのテーマを扱いますが、春学期の出岡の「政治学」と組み合わせて、より大きなテーマとして一つのまとまりを持つため、できれば「政治学」と合わせて受講することを薦めます。

【教科書】

全体を通しての教科書は使用しません。

【参考書】

個々の箇所にて指示します。

政治学 / 政治学 (春学期分)

「統治と自治」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

小野 修三

【授業科目の内容】

今日の国民国家 (nation state) の基礎を成している諸条件に関して、「統治と自治」の観点から、近代日本の歴史的な事項を材料にして、解説を加えていきたいと考えるが、最初に説明するポイントはstateという言葉の当初の意味である。ブルクハルトがその『イタリア・ルネサンスの文化』（1860年）のなかで、マキャベリにおいては「支配者と、それに付随するものをいっしょにして、lo statoと呼ぶ。そしてこの名称はやがて不当にも、一つの領土全体を意味することになる」と述べた、その一節を理解することから、この政治学の時間は始まる。

【教科書】

無

【参考書】

高島通敏『生活者の政治学』（三一新書）、高島通敏編『現代市民政治論』（世織書房）

政治学 / 政治学 (秋学期分)

「国家と社会」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

小野 修三

【授業科目の内容】

今日の国民国家 (nation state) の基礎を成している諸条件に関して、「国家と社会」の観点から、ヨーロッパ史上の出来事を材料に、解説を加えていきたいと考える。最初に説明するポイントは国家という言葉の当初の意味である。篠原一がその『ヨーロッパの政治』（1986年）のなかで、16世紀の「国家はのち、市民革命の発生とともに生まれた国民国家と同一のものではなく、国王を中心とした中央機構の成立を意味するにすぎない」と述べた、その一節を理解することから、この政治学の時間は始まる。

【教科書】

無

【参考書】

篠原一『ヨーロッパの政治』（東京大学出版会）、高島通敏編『現代市民政治論』（世織書房）

政治学 / 政治学（春学期分）

「日本の対外関係」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】 小野 直樹

【授業科目の内容】

現在の世界政治を理解するために必要な基本的な問題を国際関係論の考え方を使いながら検討する。前期は、日本の対外関係に関わる諸問題を国家を中心的な視点として検討する。

【教科書】

特に指定しないが、関連する文献については講義の中で紹介する。

【参考書】

- 有賀、宇野他 編、『講座 国際政治 4 日本の外交』、東京大学出版会、1989年  
同、『講座 国際政治 5 外交政策』、東京大学出版会、1989年  
五百旗頭眞、『日本政治外交史』、放送大学教育振興会、1985年  
編、『戦後日本外交史』、有斐閣、1999年  
池井優、『三訂版 日本外交史概説』、慶應通信、1992年  
入江昭、『日本の外交』、中央公論社、1966年  
同、『新・日本の外交』、中央公論社、1991年  
衛藤、渡辺他 編、『国際関係論』第2版、東京大学出版会、1989年  
加藤祐三、『幕末外交と開国』、ちくま書房、2004年  
木村昌人、増田弘、『日本外交ハンドブック』、草野厚、梅本哲也 編、『現代日本外交の分析』、東京大学出版会、1995年  
佐藤英夫、『対外政策』、東京大学出版会、1989年  
田中明彦、『安全保障』、読売新聞社、1997年  
西川吉光、『日本の外交政策』、学文社、2004年  
野林健 他、『国際政治経済学入門 新版』、有斐閣、2003年  
花井等、『新外交政策論』、東洋経済新報社、1998年  
細谷千博、『日本外交の軌跡』、日本放送出版協会、1993年  
増田弘、『日米関係史概説』、南窓社、1977年  
渡辺昭夫 編、『戦後日本の対外政策』、有斐閣、1985年  
同、編、『現代日本の国際政策』、有斐閣、1997年

政治学 / 政治学（秋学期分）

「現代世界政治の主要問題」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法商医理】 小野 直樹

【授業科目の内容】

現在の世界政治を理解するために必要な基本的な問題を国際関係論の考え方を使いながら検討する。後期は、

冷戦後の世界政治の基本問題について、国際システム、囚人のジレンマ、国際統合、集合財問題といった概念を使いながら考える。

【教科書】

特に指定しないが、関連する文献については講義の中で紹介する。

【参考書】

講義の初めに配布する予定。

政治学 / 政治学（春学期分）

「政治現象理解のために（国内政治編）」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】 粕谷 祐子

【授業科目の内容】

政治現象の「なぜ」を理解したい人のための、国内政治(domestic politics - Japanese politicsではありません)に焦点をあてた入門的講義。有権者・政治家個人や集団の行動、政治制度の機能、公共政策の決定過程などを理解するための分析道具を提供する。具体的には、これらの政治現象に関し、現代の政治学においてなにが研究され、どのようなものの見方が存在し、なにが研究者間の通説として確立しているのか(しかしそれが「真理」であるかどうかはわからない)そして、一般理論をどのように個々の現実政治分析に応用できるのか、に焦点をあてる。特定の国の政治解説はしないが、理論や分析枠組みの説明をよりわかりやすくするため、あるいは理論の応用力をつけるための事例として、日本の政治を中心に世界各地の政治に言及する予定である。政治思想、政治史は本講義の対象外である。本講義を通じ、現在進行形でおこっている世界各地の政治現象を批判的に考察する能力を身に付けてもらうことを目標とする。

【教科書】

特になし。シラバス及び講義資料は講師のホームページ(<http://homepage3.nifty.com/yukokasuya/>)より授業前にダウンロードできるようにする。

【参考書】

随時紹介する。

政治学 / 政治学（秋学期分）

「政治現象理解のために（国際政治経済編）」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法商医理】 粕谷 祐子

【授業科目の内容】

政治現象の「なぜ」を理解したい人のための、国際政治経済学に焦点をあてた入門的講義。国際政治経済学は、「政治」と「市場」の相互作用を分析する国際関係論の一分野です。より具体的には、政治が市場に対しなぜ、どのように介入するのか、そして、市場は政治家の行動や政策にどのように影響するのか、を考察します。本講義では、国際政治経済学の主要なテーマに関する重要な分析枠組み及び理論の紹介、そしてそれらの現実への応

用方法を解説します。国際政治史上のできごとそのものは本講義の中心的関心ではありませんが、理論的考察に必要な範囲で紹介します。本講義を通じ、現在進行形でおこなっている国際政治経済現象を批判的に考察する能力を身に付けてもらうことが目標です。

【教科書】

特になし。シラバス及び講義資料は講師のホームページ（<http://homepage3.nifty.com/yukokasuya/>）より授業前にダウンロードできるようにする。

【参考書】

随時紹介する。

政治学 / 政治学（春学期分）

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

加地 直紀

【授業科目の内容】

政治とは、権力を獲得・維持し、あるいは行使する権力闘争である。このように定義すると、権力は政治を分析するための重要なキーワードであることがわかる。春学期は権力を中心に講義し、また権力を正当化するためのイデオロギーや、権力の暴走を防ぐ民主主義のシステムについて解説する。

【教科書】

『主要国政治システム概論』（慶應義塾大学出版会、2005年5月刊行予定）

政治学 / 政治学（秋学期分）

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

加地 直紀

【授業科目の内容】

政治とは権力闘争である。権力闘争は選挙や政策決定過程の中で露骨に行われる。秋学期は、選挙や政策決定過程を具体的に説明するとともに、日本以外の事例も挙げ、権力闘争を多面的に解説する。

【教科書】

『主要国政治システム概論』（慶應義塾大学出版会、2005年5月刊行予定）

政治学 / 政治学（春学期分）

「戦後日本政治の展開を理解する基礎」 2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

河野 武司

【授業科目の内容】

戦後日本政治の展開を歴代内閣の業績と選挙結果を通して解説し、さらにはそれらに関連する政治学の基礎知識を適宜紹介することで、学生諸君の現代日本政治のこれまでの展開を理解する目を養うことが本講義の目的です。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

石川真澄『戦後政治史』（岩波新書、1995年、780円）、その他適宜紹介します。

政治学 / 政治学（秋学期分）

「現代日本政治の諸問題を理解する基礎」2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

河野 武司

【授業科目の内容】

現代日本政治における様々なトピックスについて、現実と理論とを織り交ぜながら解説することを通して、学生諸君の現代日本政治に関する理解を深めることが本講義の目的です。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

小林良彰『現代日本の政治過程』（東京大学出版会、1997年）

河野武司他編『利益誘導政治』（芦書房、2004年）

北山俊哉・真淵勝・久米郁男『新版 はじめて出会う政治学』（有斐閣、2003年）

その他適宜紹介します。

政治学 / 政治学

「現代日本の政治過程を考える」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法商医理】

佐々木孝夫

【授業科目の内容】

現代日本の政治過程について政治学の基本をまなびながら一緒に考えます。この講義の履修によって毎日の新聞記事の内容を十分理解できるようになると考えられます。政治・社会現象の解説に関する基礎力を身につけることが本講義の目標です。

【教科書】

最初の講義で詳細を説明します。

【参考書】

講義中に指示

政治学 / 政治学（秋学期分）

「現代日本の政治過程を考える」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

佐々木孝夫

【授業科目の内容】

現代日本の政治過程について政治学の基本をまなびながら一緒に考えます。この講義の履修によって毎日の新聞記事の内容を十分理解できるようになると考えられます。政治・社会現象の解説に関する基礎力を身につけることが本講義の目標です。

【教科書】

最初の講義で詳細を説明します。

【参考書】

講義中に指示

政治学 / 政治学（春学期分）

2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

佐々木寿美

【授業科目の内容】

授業科目の内容 本講義は、現代社会において政治を考察していくための、基礎的な知識の習得を目的としています。具体的には、選挙における候補者と有権者の行動が、どのようなものによって決まるのかについて考えていくというように、政治の仕組みをそのプロセスを軸に把握し、実証的に分析するというものです。特に政治についての予備知識は必要ありませんので、現代社会を考察するための基礎知識を学びたい方であれば、学部を問わず履修して大丈夫です。

【教科書】

小林良彰『公共選択』東京大学出版会、1995年。

政治学 / 政治学（秋学期分）

2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

佐々木寿美

【授業科目の内容】

授業科目の内容 本講義は、春学期に学んだ理論をもとに、実際の社会の中で、どのような仕組みで公共政策が形成・実施されているのかについて学ぶことを目的としています。具体的には、少子高齢化が進行する日本の現状において、最も重要な公共政策の一つである「高齢者福祉政策」に焦点を当て、中央政府、地方政府、中間諸団体、民間企業、住民などの様々なアクターが、どのように関連しあいながら政策が作られ、実施されているのかを、統計的なデータをもとに学んでいきます。

【教科書】

佐々木寿美『現代社会の政策形成と住民意識』慶応義塾大学出版会、2004年。

政治学 / 政治学（春学期分）

2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

高橋 伸夫

【授業科目の内容】

現代政治学の基本的な概念、およびアプローチについて学ぶ。（春学期）においては、権力と権威、国家とナショナリズム、リーダーシップ、政党と圧力団体などの概念を中心に検討する。多くの政治学教科書が取り上げるテーマを扱うオーソドックスな政治学の講義となるだろう。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

開講時にシラバスを配布する。

政治学 / 政治学（秋学期分）

2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

高橋 伸夫

【授業科目の内容】

春学期に引き続いて現代政治学の基本的な概念、およびアプローチについて学ぶ。秋学期においては、それに加えて、多くの政治学研究者が実際に取り組んでいる諸問題 - - 例えば、権威主義体制の民主化、市民社会に関する諸問題など - - を取り上げ、政治学の幅の広さを示すということになるだろう。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

開講時にシラバスを配布する。

政治学 / 政治学（春学期分）

「カイザルのものと神のもの」 西欧政治思想史の一試論」

2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

田上 雅徳

【授業科目の内容】

西欧における政治思想の歴史的変遷を、「政治的なるもの」と宗教（キリスト教）との相克という観点から捉え直して講義します。

その際、ここでの問題設定の切実さは、ひとところよりも、たとえばテロ事件や民族紛争をテレビ等で見聞きしている皆さんの方が、よくわかっていただけのではないかと思います。つまり、現代においても宗教を理解しなければ説明しきれない政治の局面というものは存在するのです。

同時にわたしは、西欧における政治と宗教の関係のあり方が広く、西欧文化それ自体を根底で規定しているとも考えています。この考え方に立てば、本講義は西欧精神の基層を検討する試みとも言えましょう。その意味で、受講者の西欧そのものに対する理解が、講義を通して深まることを願っています。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

授業の中で適宜紹介していきますが、さしあたって、福田歓一著『政治学史』東京大学出版会、宮田光雄著『宮田光雄集、国家と宗教』岩波書店をあげておきます。

政治学 / 政治学（秋学期分）

「カイザルのものと神のもの」 西欧政治思想史の一試論」

2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

田上 雅徳

【授業科目の内容】

「政治学」の続きになります。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

授業の中で適宜紹介していきます。

政治学 / 政治学 (春学期分)

「国際政治入門」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】 細谷 雄一

【授業科目の内容】

本講義では、現代の国際政治の構造を理解することを目的とする。9.11テロ事件以来、21世紀に入って国際社会は混沌とし、混迷が続いている。そして、圧倒的なアメリカの力と、宗教的な対立に直面し、われわれは旧来の国際社会が大きく変容していると語っている。それでは、何がどのように変わりつつあるのか。そのような問題意識を前提として、国際政治の多様な問題を扱い、それぞれ領域での基本的な理解を深めたい。

【教科書】

細谷雄一・矢澤達宏編『国際学入門』(創文社)

【参考書】

田中明彦・中西寛編『新・国際政治経済の基礎知識』(有斐閣)

ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』田中明彦・村田晃嗣訳(有斐閣)

原彬久編『国際関係学講義〔新版〕』(有斐閣)

基本的な参考文献については、テキストの『国際学入門』にある読書案内を参照のこと。

政治学 / 政治学 (秋学期分)

「国際政治の歴史 イギリス外交と国際体制」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法商医理】 細谷 雄一

【授業科目の内容】

本講義では、ナポレオン戦争から現在に至るまでの国際政治の歴史を、イギリス外交の視座から検討することになる。イギリスは、ナポレオン戦争、第一次世界大戦、第二次世界大戦と三度の世界戦争で戦勝国となった。また、ウィーン体制における「欧州協調」、ヴェルサイユ体制における国際連盟、第二次世界大戦後の国際連合といずれにも中心的な大国として関与して、新しい国際体制を構築し維持する上で重要な役割を担った。しかし冷戦体制下では、米ソ二つの超大国の狭間で、世界に広がる植民地を失い影響力を衰退させてきた。このような視座から、過去200年の国際政治の歴史を振り返り、国際体制についての理解を深めることを目指す。

【教科書】

佐々木雄太・木畑洋一編『イギリス外交史』(有斐閣)

細谷雄一『外交による平和』(有斐閣)

【参考書】

細谷雄一『大英帝国の外交官たち』(筑摩書房、近刊予定)

渡邊啓貴編『ヨーロッパ国際関係史』(有斐閣)

キッシンジャー『外交(上・下)』岡崎久彦監訳(日本経済新聞社)

クレイグ=ジョージ『軍事力と現代外交』木村修三他訳(有斐閣)

ジョセフ・S・ナイ『国際紛争 理論と歴史』田中明彦・村田晃嗣訳(有斐閣)

石井修『国際政治史としての二世紀』(有信堂)

政治学 / 政治学 (春学期分)

「政治学の基礎( )」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】 真下 英二

【授業科目の内容】

政治は、我々の生活に身近であるにもかかわらず、あまりかえりみられていない。この講義では、特に理論を中心に、政治が現代社会において果たす役割と意義について考え、政治を分析する基本的な視座を修得することを目的とする。

【教科書】

特に定めない。

【参考書】

講義内で適宜指示する。

政治学 / 政治学 (秋学期分)

「政治学の基礎( )」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法商医理】 真下 英二

【授業科目の内容】

政治は、我々の生活に身近であるにもかかわらず、あまりかえりみられていない。この講義では、特に現代社会における政治現象を対象として、政治が現代社会の中で果たす役割と意義について考え、また政治を分析する基本的な視座を修得することを目的とする。

【教科書】

特に定めない。

【参考書】

講義内で適宜指示する。

政治学 / 政治学 (春学期分)

2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】 担当者未定

4月に共通掲示板参照のこと。

政治学 / 政治学 (秋学期分)

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法商医理】

担当者未定

4月に共通掲示板参照のこと。

生物学 (実験を含む) /

生物学 (実験を含む) (春学期分) /

生物科学 (実験を含む) (春学期分)

「ニュースの中の生物学」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

秋山 豊子

【授業科目の内容】

毎日のように、生物学関連の話題がニュースの中に取り上げられています。いまや、生物学も時代とともにあるという実感があります。BSEと狂牛病の問題、鳥インフルエンザ問題や野生生物との共生の問題、遺伝子診断や鑑定、遺伝子治療、遺伝子組み替え作物などの遺伝子関連の話題、クローン、キメラ、臓器移植、非配偶者間人工受精、代理母など生殖工学関連の話題、ガン、エイズ、様々な成人病などの病因解析、環境ホルモン、ダイオキシン、産業廃棄物や放射性物質による環境汚染の話題などなど、これらの話題は現代社会に生きる一般人にとって時代を読み解くキーワードとなってきました。この授業では、生物科学の入門編ではありますが、体系的な概論ではなく、これらのトピックを各回一話完結型で取り上げ、基礎用語から解説し映像資料や教材も加えて、最後に問題点のdiscussionをしてゆきたいと考えています。このため、予備知識が無くても理解できるようにプログラムされています。隔週に行われる実習は、できるだけ身近な生き物を対象とし生命現象を具体的に理解する助けになるように用意されており、以下のシラバスのように構成されています。実習の前に目的や手順を説明し、手順のプリントを配付します。講義の始めに、年間授業予定を検討しますので皆さんからも興味のあるテーマを提案して下さい。この授業で日々のニュースの中の生物学関連の話題が理解され、自分で問題認識できるようになること、そして、これまでに余り生物に触れる機会がなかった人も、精緻でファジーな生命の不思議について楽しみながら理解されれば良いと思います。

【教科書】

特に指定はしません。

【参考書】

授業時に適宜、紹介します。

生物学 (実験を含む) /

生物学 (実験を含む) (秋学期分) /

生物科学 (実験を含む) (秋学期分)

「ニュースの中の生物学」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

秋山 豊子

【授業科目の内容】

毎日のように、生物学関連の話題がニュースの中に取り上げられています。いまや、生物学も時代とともにあるという実感があります。BSEと狂牛病の問題、鳥インフルエンザ問題や野生生物との共生の問題、遺伝子診断や鑑定、遺伝子治療、遺伝子組み替え作物などの遺伝子関連の話題、クローン、キメラ、臓器移植、非配偶者間人工受精、代理母など生殖工学関連の話題、ガン、エイズ、様々な成人病などの病因解析、環境ホルモン、ダイオキシン、産業廃棄物や放射性物質による環境汚染の話題などなど、これらの話題は現代社会に生きる一般人にとって時代を読み解くキーワードとなってきました。この授業では、生物科学の入門編ではありますが、体系的な概論ではなく、これらのトピックを各回一話完結型で取り上げ、基礎用語から解説し映像資料や教材も加えて、最後に問題点のdiscussionをしてゆきたいと考えています。このため、予備知識が無くても理解できるようにプログラムされています。隔週に行われる実習は、自分のDNAの抽出・鑑定や、自分の酵素活性の測定など、できるだけ身近なテーマを対象とし生命現象を具体的に理解する助けになるように用意されています。全体は、以下のシラバスのように構成されています。実習の前に目的や手順を説明し、手順のプリントを配付します。講義の始めに、年間授業予定を検討しますので皆さんからも興味のあるテーマを提案して下さい。この授業で日々のニュースの中の生物学関連の話題が理解され、自分で問題認識できるようになること、そして、これまでに余り生物に触れる機会がなかった人も、精緻でファジーな生命の不思議について楽しみながら理解されれば良いと思います。

【教科書】

特に指定はしません。

【参考書】

授業時に適宜、紹介します。

生物学 (実験を含む) /

生物学 (実験を含む) (春学期分)

「自然観としての生態学」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

上野 健

【授業科目の内容】

我々はそれぞれ多様な自然観を感性として持っているが、それと同時に科学的な自然観を持ち合わせることは、これからの「環境の時代」を生き抜くために必要不可欠である。生物と環境の相互関係を扱う科学である生態学

は、科学的な自然観を養うための道具として適している。本科目では生態学のうち、植物に関する話題を扱う。そして、植物の生態を様々な観点から講述することにより、植物に関する科学的な自然観を獲得することを目指す。

【教科書】

特になし。

【参考書】

特になし。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(秋学期分)

「自然観としての生態学」 3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】 上野 健

【授業科目の内容】

「自然観としての生態学」に続く科目である。科学的な自然観を身につけるために、時事問題を含めたいくつかの生態学のテーマについて講義する。話題の中心は植物であるが、それだけにとどまらない。「極地の生態学」では北極と南極の環境と生物を扱う。

【教科書】

特になし。

【参考書】

特になし。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(春学期分）/  
生物科学（実験を含む）(春学期分)

「ヒトはどのあたりまで遺伝子に支配されているか？」  
3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】 小野 裕剛

【授業科目の内容】

近年の遺伝子研究の進歩にはめざましいものがあり、そこで生み出される知識や技術は、専門家以外の人には簡単に理解できるものではありません。だからといって文系学部の皆さんにとって、知らなくて良いものであるわけがありません。これらの技術は医療・農業分野の政策や法律、さらには経済活動に深く関与しているので、これからの時代を生きてゆく時に求められる判断の材料に必要と考えられるからです。講義では遺伝や遺伝子の仕組みについて、基礎から解説することが中心になりますが、それが我々ヒトにとってどのような意味を持ち、将来どのような判断を迫られる可能性があるのかについても解説を加えます。実習では実際の生物試料や模型に触れることで講義内容の理解を深めることを目指すのみでなく、一般的な『レポート』の書き方も指導していく予定です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配付します。

【参考書】

講義の中で紹介する予定です。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(秋学期分）/  
生物科学（実験を含む）(秋学期分)

「ヒトの高次生命現象を『遺伝子』で斬る」  
3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】 小野 裕剛

【授業科目の内容】

近年の遺伝子研究の進歩にはめざましいものがあり、そこで生み出される知識や技術は、専門家以外の人には簡単に理解できるものではありません。だからといって文系学部の皆さんにとって、知らなくて良いものであるわけがありません。これらの技術は医療・農業分野の政策や法律、さらには経済活動に深く関与しているので、これからの時代を生きてゆく時に求められる判断の材料に必要と考えられるからです。最近特に話題になる遺伝子診断（着床前診断）、移植医療、環境ホルモン、エイズ、アレルギー、BSE、アルツハイマーなどの高次生命現象を取り上げて、「遺伝子」という切り口から解説を加えていきます。実習では実際の生物試料や模型に触れることで講義内容の理解を深めることを目指すのみでなく、一般的な『レポート』の書き方も指導していく予定です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配付します。

【参考書】

講義の中で紹介する予定です。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(春学期分）/  
生物科学（実験を含む）(春学期分)

「ヒトの生命活動」 3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】 金谷 信宏

【授業科目の内容】

ヒトは生きている間、様々な生命活動を行います。空腹になると食物を食べます。食物は消化され、分解されてエネルギーが生成されます。そのエネルギーを使いヒトは運動することができるし、体の一部をつくり成長させることができます。これらの生命活動は細胞という、生命の基本単位で行われます。細胞の核にはDNAという高分子化合物が存在しており、その一部は遺伝子という、生命の設計図になっています。それは生殖により子孫に伝えられていくのです。このようなヒトの生命活動を生物学的に理解することが、この講義の目的です。

実験は講義内容の理解を深めるために、細胞の観察、細胞運動の観察、DNA模型作製、DNAの抽出、体細胞分裂などのテーマで隔週行われます。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

授業の時に紹介します。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(秋学期分) /  
生物科学（実験を含む）(秋学期分)

「環境因子の生物への影響」 3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】 金谷 信宏

【授業科目の内容】

今日、地球環境の悪化は深刻な問題になっています。フロンがオゾン層を破壊することにより、地上に到達する有害紫外線量が多くなり植物の生育が阻害され、ヒトの皮膚ガンが増えると予想されています。ダイオキシンなどの環境ホルモンの生殖細胞への影響も懸念されています。このような様々な環境因子が生物に対してどのような影響を及ぼすのか、また生物はそれにどのように対応しているのかを理解することが、この講義の目的です。

実験は講義内容と関連するテーマで隔週行われます。気孔の観察、浸透圧と原形質分離、酵素反応、ヒトの染色体、発がん物質による染色体異常の観察などを予定しています。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

授業の時に紹介します。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(春学期分)

「生物多様性をまなぶ」 3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】 岸 由二

【授業科目の内容】

時代は自然と共存する持続可能な未来を目指して文明次元の転換を体験しつつある。この講義では、この時代を善く生きる基礎教養として進化論の視野を基礎としつつ、微生物、植物、動物、ヒトにわたる多様多彩な生物の特性をまなぶ。講義と隔週で実施される実験では多様な生きものにふれ、理解する機会を提供する。

【教科書】

なし

【参考書】

岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店（1996年）

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(秋学期分)

「地球環境危機と生態系」 3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】 岸 由二

【授業科目の内容】

私たちの時代は、自然と共存する持続可能な未来を目指して、文明次元の転換を体験しつつある。この講義で

は、この時代を善く生きる基礎教養として地球環境危機を主体的・構造的に理解するための基本ツール、ならびに生態系に関する基本的な理解を提供する。講義と隔週で実施される実験では身近な機会を活かして生物多様性と生態系の姿にふれる。

【教科書】

なし

【参考書】

岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店（1996年）

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(春学期分)

「生命の科学」 3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】 根岸寿美子

【授業科目の内容】

我々の周囲には“バイオ”とつく言葉があふれているように、現代の我々の生活と“バイオ”は切り離せなくなっています。そこでこの講義では“バイオ”を構成しているいろいろな内容の話題を取り上げて、具体的に理解できるように話す予定です。例えば、「紫外線を長時間浴びると将来皮膚がんの恐れがあるから注意しよう」と言われていますが、では、「なぜ紫外線が皮膚がんに関連するのか」、その原因を含めたメカニズムを分かりやすく話します。ヒトを中心にして、我々が住む環境で生じているいろいろな問題を考えて理解の範囲を広げていこうというのがこの講義の目的です。隔週にある実習では出来るだけ講義に即した内容の実験を行う予定ですので、“Seeing is believing”を実感してください。

【教科書】

特に指定しません。講義内容に沿った資料プリントを配布します。

【参考書】

講義に合わせて毎回紹介します。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(秋学期分)

「生命の科学」 3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】 根岸寿美子

【授業科目の内容】

生命の科学 ではヒトの生体内で行われているシグナル伝達に注目して、ヒトが外部環境（広い意味では人間関係まで含まれる）への適応をどのような仕組みで行っているのかをわかりやすく話す予定です。例えば、コンピューターシステムの最も洗練された形と言われているヒトの脳のニューラルネットワークが故障した場合はどのように補修されるのか、記憶のメカニズムを知ることによって理解できるようになるでしょう。さらに環境ホルモンなどの化学物質が生体内ホルモンのコントロール機構に影響を与えた場合、どのような“くるい”が生体内の調節システムに生じるかなど、現代の我々の生活に密接に

関連した話題を取り上げて理解を深めることを目的としています。

【教科書】

特に指定しません。講義内容に沿った資料プリントを配布します。

【参考書】

講義に合わせて毎回紹介します。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(春学期分)

「ヒトに見る生物学」 3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】 長谷川由利子

【授業科目の内容】

最近、生命科学に関係する話題が身近な問題としてほとんど毎日のように新聞の記事やテレビ番組に取り上げられ、文系の人たちにとっても無関心ではいられなくなってきました。講義と実習を通して、近年の生命科学の著しい進歩とそれに伴って生じる問題に関心を持ち、生命について自ら考える力を養うことがこの授業の目標です。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業のときに配布します。

【参考書】

講義のときに、関連した図書を紹介します。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(秋学期分)

「ヒトに見る生物学」 3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】 長谷川由利子

【授業科目の内容】

最近、生命科学に関係する話題が身近な問題としてほとんど毎日のように新聞の記事やテレビ番組に取り上げられ、文系の人たちにとっても無関心ではいられなくなってきました。近年の生命科学の著しい進歩とそれに伴って生じる問題に関心を持ち、生命について自ら考える力を講義と実習を通して養うことがこの授業の目標です。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。必要な資料は授業のときに配布します。

【参考書】

講義のときに、関連した図書を紹介します。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(春学期分)

「生命のしくみを探る（遺伝子から見た生命）」  
3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】 福澤 利彦

【授業科目の内容】

近年、ヒトを含むさまざまな生物における遺伝子情報の解読がすすみ、「生命のしくみ」が急速に解明されつつある。バイオテクノロジーの進展は著しく、政治・経済・社会に大きなインパクトを与えている。バイオの知識と技術が我々に恩恵をもたらす一方で、「何をどこまでやるか」ということが大きな問題となっている。これからの時代においては、「生命とは何か」という本質的な問いかけに一人一人が真剣に向き合い、自分の“生命観”を持つことが必要になる。そこで本講義では、生命の設計図である遺伝子DNAの構造・機能を踏まえた上で、生命のしくみを分りやすく解説する。また、遺伝子DNAに関する応用技術・トピックなど、生物学・医学の興味深い話題も提供する。講義と平行して、多様なテーマで実習（実験）を行うことにより、生命を実感してもらう。自分の頭で生命について深く考えてもらうことが、この授業の目的である。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(秋学期分)

「生命のしくみを探る（遺伝子から見たヒト）」  
3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】 福澤 利彦

【授業科目の内容】

近年、ヒトを含むさまざまな生物における遺伝子情報の解読がすすみ、「生命のしくみ」が急速に解明されつつある。バイオテクノロジーの進展は著しく、政治・経済・社会に大きなインパクトを与えている。このような時代だからこそ、「生命とは何か」「ヒトとは何か」といった、根源的な問題を生物学的に考えることが重要になっている。そこで本講義では、ヒトに関するさまざまな生命現象をとりあげ、ミクロレベル・マクロレベル・進化的観点から多角的に分りやすく解説する。また、遺伝子が関係する身近な病気やトピックなど、医学の有用な情報も提供する。講義と平行して、多様なテーマで実習（実験）を行うことにより、生命を実感してもらう。自分の頭で生命について深く考えてもらうことが、この授業の目的である。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(春学期分)  
「生物の多様な世界」

3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】

福山 欣司

【授業科目の内容】

未知種も含めると地球上に暮らす種（species）の数は一千万から三千万種に達するのではないかとされています。これらの種は、程度の差はあるものの、お互いに異なった形態と異なった生活手段を持っています。言うならば、生物の世界には三千万通りもの多様な形態や生活様式があるわけです。

この授業では、こうした生物の多様性がどのように進化してきたかを理解することを目的とします。内容的には、細胞レベルの現象にはあまり踏み込まず、個体レベルや集団レベルと言った、いわゆる「生き物まるごと」を扱うような授業になります。授業は、講義と実習を隔週で行います。実習では毎回テーマに沿った実験や観察を行い、授業時間内にレポートを提出します。

【教科書】

特になし

【参考書】

特になし

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(秋学期分)  
「生態系とその危機」

3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】

福山 欣司

【授業科目の内容】

生物と環境あるいは生物間の調和のとれた関係を生態学（ecology）的視点から理解することを目的とします。また、生物の世界に与える人間活動の影響という観点から地球環境問題についても考えてみたいと思います。授業は、講義と実習を隔週で行います。講義では、通常の講義以外に新聞などを材料に今日的な話題を取り上げ、グループ発表を行います。実習では毎回テーマに沿った実験や観察を行い、授業時間内にレポートを提出します。

【教科書】

特になし

【参考書】

特になし

生物学（実験を含む）/  
生物学（実験を含む）(春学期分)

「どうして私たちは、今ここにいるのか？：生物の進化」  
3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】

金子 洋之

【授業科目の内容】

あなたたちは、「自分がどうして今ここにいるのか？」といった疑問を持ったことがあるだろうか？この問いは、現在、そして未来を生きていくあなたたちに、生物としての自分、そして自身の存在意義を考えさせることに繋がる大変重要なテーマである。何故なら、あなたたちの身体には、生物進化の歴史が刻まれており、両親の愛の結晶として生まれてきたといった個人レベルを越えた約38億年もの時間があなたたちの背景に存在している。この様な壮大な時間軸を背負っていることを明確に意識すれば、急速に変化を遂げている社会に個人としての尊厳無しに埋没させられがちな状況、対人関係などの些細な悩みに、全く別の視点（知的根拠）を持って立ち向かえると考えられる。さらに、あなたたちは人間社会のみでなく、地球家族の一員でもあり、ヒトのみが行うようになった自然破壊の危険を本当に自覚できるようになると思われる。

生物進化を少し紐解いてみたい。地球が46億年前に誕生し、細胞のプロトタイプが出来てきたのが38億年前。現在のバクテリアのような生き物であったと考えられている。そのうちにあるものは酸素を排出し、またはあるものは酸素を利用するシステムを獲得し、約20億年といった気が遠くなるような膨大な時間をかけて、現在のあなたたちを構成する細胞と似たものになってきた。最初は、これらの生き物（細胞）は個々に生活していたが、そのうちに互いが集合し、協調して生活する状態の多細胞生物が現れた。約18億年前のことである。多細胞生物は多様な形や生活様式を可能にするようになったと思われる。5億3000万年前のカンブリア紀と名付けられている時期では、約1万種とも推測される「かたち」の創出を試みた生き物たちが海の中に生存していた。そのうちの1種、ピカイアは私たちの先祖であり、他の多くの種は滅んでいった。やがて海から川を経由して、魚の一部が陸に上がり、最初は水部で生活していたが、代謝システムを発達させ、次第に陸の奥深くまで進出していった。繁栄を窮めた恐竜の中で冴えない連中が哺乳類への進化を遂げた。この過程でも、多くの生き物は絶滅し、ほんの一部が地球環境の変化の荒波に偶然生き残り、リスからサルへ、そしてヒトへと分かれていった。地球46億年の歴史の中で、カンブリア紀以降の進化は加速している。現在の地球上に見られる多種多様な生き物は、絶滅の危機を回避しているものであるが、ヒトはその1種にしか過ぎない。

本講義では、生物進化に軸足を置き、「どうして私たちは今ここにいるのか？」というテーマで自然科学のひとつである生物学の教養を伝えたい。具体的な講義の内

容は以下に記すが、出来る限りヴィジュアルに、先端の生命科学の情報も紹介しながら講義を進めていく。また実習では、講義の内容に関するテーマだけでなく、講義でカバーしきれない生物学の各論を含め得るように考えている。

【教科書】

特に指定せず。講義時にプリントを配布する。

【参考書】

M.ホーランド『Oh 生きもの!』(三田出版会)  
石原勝敏他『目でみる生物学』(培風館)

生物学 (実験を含む) /  
生物学(実験を含む)(秋学期分)

「私っていったい何? : 生物としての身体の成り立ち」  
3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】 金子 洋之

【授業科目の内容】

多かれ少なかれ、あなたたちは自分の身体について何らかの興味を持ったことはあるだろう。しかし、それは自身が病気の時であったり、マスコミが何らかの形で紙面を賑わしていたりする時のみであったりするのかもしれない。もう少し幅を広げた視点から、生き物としての自分を学んでみると、あなたたちは如何に精緻な生き物であるかに驚かされると思う。そして、その理解は己の潜在的な能力だけでなく、逆にその脆さをも、日々の生活の中で意識させることに繋がると考えられる。それゆえ、これらの知識は、あなたたちに個人としての自立のための知的根拠を提供する。

講義内容を少し紹介してみよう。あなたたちの身体の構造は、クラゲの身体が2段階ほど複雑になっただけである。またそのボディプランは、八エヤヒトデと一緒にある。一方、脊椎動物でもあるあなたたちは、無脊椎動物の生体防御システムを踏襲しながら、日吉と三田のバクテリアを識別して攻撃できる精密な防御システムを備えており、親兄弟での移植手術も不可能なことが多い程の生き物としての独自性を持っている。さらに脊椎動物でも最大に発達したあなたたちの脳は、本能的な、そして崇高な愛を遂行する器官であり、思考を介しての柔軟な記憶回路をも備えている。約60兆個もの細胞から成るあなたたちの身体には、機能的な無駄もあることは分かっているが、細胞どうしが協調し、互いに連携を行う効率性の高いシステムを完備した芸術品であることに気付かれることだろう。

本講義では、「私っていったい何?」というテーマのもと、自然科学のひとつである生物学の教養を伝えたい。具体的な講義の内容は以下に記すが、出来る限りヴィジュアルに、先端の生命科学の情報も紹介しながら講義を進めていく。また実習では、講義の内容に関するテーマだけでなく、講義でカバーしきれない生物学の各論を含め得るように考えている。

【教科書】

特に指定せず。講義時にプリントを配布する。

【参考書】

M.ホーランド『Oh 生きもの!』(三田出版会)  
石原勝敏他『目でみる生物学』(培風館)

生物学 (実験を含む) /  
生物学(実験を含む)(春学期分)

「誕生と死をめぐる先端生命技術」 3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】 中島 陽子

【授業科目の内容】

最近の報道によるとヒトの遺伝子の数は22,000だということです。私たちのこの精巧な身体はマウスと同じ2万個ほどのタンパク質という有能な部品により作られ運営されているということです。こうした遺伝子研究の進展は遺伝子の異状が数々の病気の原因にあることを明らかにしました。私たちは発病前にその病気になる可能性を知ることができる水晶玉を手に入れたのです。不治の病になると予告されて生きねばならぬ人の思いは如何ばかりでしょう。この水晶玉はまた、生まれてくる子どもの未来も予測できます。子供がほしいカップルのために開発された体外受精の技術を組み合わせると、病気の可能性の低い受精卵を選んで妊娠することが可能で、中絶を避ける手段として期待されています。これを含め出生前診断という技術は命の選別という人間性とその未来にかかわる課題をはらんでいます。

生命科学技術の目覚ましい発展はまた、病気の治療法の一つとして壊れたパーツを入れ替えるように病んだ臓器を取り替える臓器移植も可能にしました。移植臓器の供給元と位置づけられている脳死は人の生とは、死とは、死の時とはなどについての尽きぬ問題を提起していません。移植技術の普及向上による恒常的な臓器不足の解決策にもなり、脳死という他人の死を待たないでもすみ、拒絶反応も避けることができる胚性幹細胞から望みの臓器を分化させる技術の開発に、いま熱いまなざしが注がれています。この技術の元となる胚性幹細胞は体外受精の際の余剰胚、将来ヒトになりうる細胞の利用です。死は有性生殖の結果生じた必然にもかかわらず、洋の東西を問わず人は不老長寿を目指してきました。死を避けようという技術が、人の誕生とこのような面でも関わっています。

先端生命技術はこのように私たちの生活のあらゆる場面に深く入りこみ、相互に複雑に関係しあっています。この講義では、人の誕生と死にかかわる先端生命技術である不妊治療、出生前診断、脳死と移植医療などについて解説し、先端生命技術の受容と自己決定について一緒に考えていきたいと思えます。

現代において文系学生にこそ生命科学の基礎教養は必須であると考えますので、一年を通して履修することを勧めますが、IあるいはIIのみの履修でも完結する構成になっています。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

講義参考プリントの配布、参考書籍類の紹介を随時する予定です。

小比賀・中島著『現代生命科学入門』慶應義塾大学出版会（講義の構成と直接リンクはしませんが、現代社会で避けて通れない生命科学技術の理解のための解説読み物として紹介します。）

生物学（実験を含む）/

生物学（実験を含む）(秋学期分)

「いま地球に生きる」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

中島 陽子

【授業科目の内容】

生命の仕組みを学ぶことは、私達人間はヒトという生き物の一種であることを改めて気づかせてくれるはずで、どんなに進んだ技術をもってしても、わたしたちがもつ生物的側面を切り離すことはできません。38億年のいのちの歴史を受け継いで、いまここに生きる私たちは、相互に関係しあいながら未来へそれを引き継ぐ多くの生き物たちの一員です。この認識こそが、いま世界が抱えている環境問題や生命倫理を解く鍵になるのではないかと考えます。

講義では、人類はいまや地球の外にまで発展していますが、地球の歴史、生物の歴史の中ではどのような位置を占めているのか。ヒトを人たらしめているものは何なのか。その人類がこの地球で生きていくということは、自然からどのような制約を受け、また、自然環境へどのような影響を与えているのか。人口問題からみた地球環境問題、その一側面である貧困を含め社会と疾病の関係、といったテーマについて解説し、現在（いま）をこの地球に生きることに人として捉える生物学の視点でともに考えていきます。

現代において文系学生にこそ生命科学の基礎教養は必須であると考えますので、一年を通して履修することを勧めますが、あるいは のみの履修でも完結する構成になっています。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

講義参考プリントの配布、参考書籍類の紹介を随時する予定です。

小比賀・中島著『現代生命科学入門』慶應義塾大学出版会（講義の構成と直接リンクはしませんが、現代社会で避けて通れない生命科学技術の理解のための解説読み物として紹介します。）

生命現象の分子科学

2単位 秋学期

【商理】

柳川 弘志

【授業科目の内容】

現在の生物では遺伝情報の流れは、DNA RNA（リボ核酸） タンパク質となっている。これはセントラルドグマ（中心教義）と呼ばれている。DNAの情報がい

ったんmRNA（メッセンジャーRNA）に転写され、それからその情報がタンパク質に翻訳される。情報は核酸が、機能はタンパク質が担っている。核酸はタンパク質の働きによってつくられ、そのための情報は核酸がもっている。どちらが先に出現したのだろうか。本講では、分子生物学の立場から、生命の基本的な性格や特徴、仕組み、セントラルドグマ、生命の起源や化学進化、タンパク質と酵素の働き、RNAの基本的な性質とRNA触媒、進化分子工学、ゲノムと医療などについて、基礎から先端分野まで解説する。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

配布プリント

柳川弘志著『遺伝子情報は人類に何を問うか』ウエッジ選書、ウエッジ

柳川弘志(共著)『新しい地球史・46億年の謎』有隣堂

柳川弘志著(共著)『地球惑星科学入門』岩波講座・地球惑星科学第1巻、岩波書店

生命の科学

「生命科学の最前線の現況と問題」

2単位 春学期

【文経商医】

竹内 勤 秦 順一

\*医学部生は履修できません

岡野 栄之 相磯 貞和

末松 誠 大前 和幸

小安 重夫 中谷比呂樹

池田 康夫 鹿島 晴雄

【授業科目の内容】

最近の生命科学の進歩には著しいものがあるが、それにつれて人文、社会科学などとの接点が次第に複雑、多面化しつつある。従って、相互の理解を推進することは益々重要になってきている。このような状況に鑑み、本科目においては現在の生命科学のうち最も先端的なテーマを選定し、人文、社会、理工など他領域との接点に配慮しながら、医学部の専門研究者が平易な解説を行う予定である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

世界の政治

「現代中国の政治と日中関係」

2単位 春学期

【経商医理】

望月 敏弘

【授業科目の内容】

20世紀を中心に、現在までの中国の政治社会を歴史的に概観した後、今日の中国が抱える難問のいくつか 民主化問題・少数民族問題・日中関係などを検討していきます。ビデオ教材なども利用しながら、巨大国家・中国の実像に接近してみたいと思います。

【教科書】

とくに使用しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

小島朋之著『中国現代史』中公新書（1999年）  
天児慧著『中国とどう付き合うか』日本放送出版協会（2003年）

戦争と社会 2単位 春学期  
【経商】 松村 高夫 他

【授業科目の内容】

20世紀は 戦争の世紀 といっても過言ではないほど、戦争や虐殺がおこなわれ、地域紛争もたえなかった世紀であった。20世紀の戦争は、戦争の手段、技術あるいは規模といった点で、19世紀までの戦争とは根本的に異なる性格をもっているようにも思われる。本総合講座は、戦争にかかわるさまざまな問題を社会・歴史に関係させて考えてみようという試みである。戦争は政治、経済、社会、文化、民衆、宗教などさまざまな要因がからんでいるし、また、「戦争と社会」といっても、多様な考え方があつた。本講座では、さまざまな領域で活躍する人を、経済学部のスタッフをはじめ学内外から招いて、それぞれの立場から、戦争と社会の問題を論じてもらう。

造形・デザイン論  
「日本の造形デザイン・日本の美意識」 2単位 秋学期  
【経商医理】 木下 京子

【授業科目の内容】

美術工芸作品は、各国・各時代の文化の諸相、ひいては為政者の文化に対する理解の深さや「好み」が作品に色濃く反映される。またその時代の科学技術力や経済力、貿易状況を知る上でも重要な鍵となる。本講義では日本が中国や朝鮮半島の諸文化を摂取し、国内に定着し発展する過程など文化背景を把握し、各時代を代表する絵画・工芸作品を概観する。最終的には、作品に見える「日本の美意識」について考察したい。

【教科書】

授業時にプリントを配布。

【参考書】

辻惟雄監修『日本美術史』美術出版社

造形・デザイン論  
「ヴィジュアルの意味：すぐれた造形、良いデザインとは？」 2単位 秋学期  
【経商医理】 児島やよい

【授業科目の内容】

「造形・デザイン」を広くとらえ、日常接するもの、メディアで目にするものから、美術、建築、ファッション、映像なども含め、「ヴィジュアル」の意味を考えてみましょう。そのヴィジュアルはなぜカッコイイのか？なぜ人の心を打つのか？と。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しません。授業時にプリントを適宜配布します。

地域研究 スペイン事情  
「大西洋を往来する人びと(コロンブスから現代まで)」 2単位 春学期  
【文経商医】 八嶋由香利

【授業科目の内容】

コロンブスのアメリカ大陸発見以来、大西洋を隔てた二つの世界の間では絶えまない人の移動が続き、その規模と量、速度はグローバル化する現代社会において一層増している。この授業では「人はなぜ、どのように移動するのか」をテーマに、500年にわたるアメリカとイペリア半島間の人々の移動を追いながら、それがスペインやラテンアメリカ社会に及ぼした様々な影響を考えていく。

【教科書】

授業中にビブリオを配布。

【参考書】

授業中にビブリオを配布。

地域研究 スペイン事情  
「スペインにおけるエスニック・マイノリティ」 2単位 秋学期  
【文経商医】 八嶋由香利

【授業科目の内容】

スペインは多様な国と言われる。かつて、カタルーニャやバスクなど独自の言語、歴史、文化をもった地域は、スペインの中央と激しく対立して、自分たちの地方自治権を勝ち取った。しかし、国境を越えて人・モノが容易に移動する今日、中央 地方という図式のみでは捉えきれない複雑な社会問題を生み出されている。その一つが外国人労働者の存在であり、これは西欧や日本をも含む豊かな社会全体の課題となっている。また、スペイン社会から長い間疎外されてきたヒターノ（ジプシー）は、カタルーニャやバスクといった地域に根付いた少数民族とはまた異なった問題をもっている。本授業では、エスニック集団という視点から、現代スペイン社会の抱える国民統合とアイデンティティ、差別などの問題を検討する。

【教科書】

授業中にビブリオを配布。

【参考書】

授業中にビブリオを配布。

地域研究 中国事情  
「現代中国の歩み」 2単位 春学期 / 秋学期  
【文経商医】 宇 振領

【授業科目の内容】

1949年、新中国が建国。アヘン戦争から百余年の間、中国人民は筆舌に尽くし難い苦難災難を経て、やっと列

強の抑圧と戦乱から抜出し、独立自主の政権を樹立した。  
しかし、建国後の道程は案外挫折が多かった。当講義では、新中国建国以来に起った大きな出来事と重要な役割を果たした人物を語ることによって、中国の現代社会に対する理解を深めることを目的とする。

地域研究 中国事情  
「中国電脳事情」 2単位 春学期 / 秋学期  
【文経商医】 千田 大介

【授業科目の内容】

「電脳」と「インターネット」という切り口から、現代中国の諸問題について考察する。昨今、中国では経済発展に伴い社会のあらゆる分野でデジタル化が進み、インターネットを通じた情報発信・交流も盛んに行われており、もはやインターネットなくして現代中国理解はあり得ないと言ってもいいほどである。そこでこの授業では、まずWindows中国語処理の方法を解説した上で、インターネット上の中国語資料を活用しつつ、現代中国の社会・文化などの諸問題について考察する。授業期間を通じて、諸君がこれから将来にわたって中国を理解するための、基本的な知識・考え方・情報収集方法などを身につけることを身につけて頂きたい。

【参考書】

『電脳中国学』好文出版(2001年 ISBN 4-87220-052-7) その他は教場で指示する。

地域研究 - 北米事情  
「文化地理への入門」 2単位 春学期  
【文経商医】 近藤 光雄

【授業科目の内容】

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。全米各地の文化地理を紹介し、将来旅行、留学、滞在を考えている学生には特に有益な授業になると思います。

【教科書】

なし。

【参考書】

Luther S Luedtke, Making America, 1988

地域研究 - 北米事情  
「多様なアメリカ文化」 2単位 秋学期  
【文経商医】 近藤 光雄

【授業科目の内容】

現代、将来のアメリカを理解するために必要な基本について学びます。現在のアメリカ社会の多様性についての文化・歴史背景を探って、アメリカ社会をまとめているものは何かを探っていきます。合衆国の人びとのもつどのような価値観からアメリカ合衆国がなぜ世界や日本にたいし現在にいたる態度をとるのか。アメリカ合衆国を中心に北米社会の種々な問題を歴史、言語、文化、エスニックの巨視的観点から論じ講義をすすめます。北米

事情を履修していない学生も履修してかまいません。

【教科書】

なし。

【参考書】

Luther S Luedtke, Making America, 1988

鈴木透『実験国家：アメリカの履歴書』慶應義塾大学出版会(2003年)

地域生態文化論  
「自然と共存する都市をつくる」2単位 春学期 / 秋学期  
【文経商】 岸 由二

【授業科目の内容】

自然と共存する都市の形成は、環境回復の時代を拓く大テーマのひとつである。本講義は流域を中心とする自然ランドスケープ、ならびに生態文化複合という概念を手がかりとして、都市における自然保全、あるいは自然共生型都市づくりのモデルや実例を学ぶ。

【教科書】

なし。

【参考書】

- ・ 岸由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店(1996年)
- ・ 岸由二『リバーネーム』リトル・モア(1994年)
- ・ 慶應義塾経済学部編『変わりゆく共生空間』弘文堂(1999年)
- ・ 本間義人『国土計画を考える』中公新書(1999年)

地域文化論 2単位 秋学期  
【経商医理】 鈴木 伸一

【授業科目の内容】

現在のオーストリアは人口800万人の小国ですが、第一次世界大戦まではハプスブルク帝国の中心として、ヨーロッパでも政治的・文化的・社会的に重要な役割を担っていました。そのような「過去の栄華」は、今でもウィーン等で視覚的に体験することが出来るだけでなく、オーストリアのナショナル・アイデンティティの形成にも影響を与えています。一方で、こうしたイメージが増幅されて再生産されることにより、オーストリアの「実像」が隠蔽されてしまう傾向もみられます。

従って、本講義の主眼は、現代のオーストリアについて文化的、社会的側面等から多角的にアプローチしていくことにより、ステレオタイプ化されたイメージとは異なるオーストリアの「実像」に迫ることにあります。その際、上述した「過去の栄華」、特に19世紀以降の歴史を概観した上で、以下のような項目に焦点を当てて複合的に検証を加えていく予定です。

1. 観光立国としてのオーストリア：商品化されたイメージ
2. オーストリア近代史：オーストリアの政治的・社会的変遷(19世紀～現代)
3. 現代オーストリアの政治と社会
4. 過去の清算：ナチズムと戦後のオーストリア
5. ナショナル・アイデンティティの形成：ドイツと

オーストリア、民族問題など

6. 都市と地方

7. 世紀末ウィーンの社会と文化：19世紀から20世紀初頭のオーストリア

8. 現代オーストリアの文化：クラシック音楽と大衆音楽、カフェ文化の今昔など

---

地域文化論

「シュルレアリスムのパリ」 2単位 春学期 / 秋学期  
【経商医理】 宮川 尚理

---

〔授業科目の内容〕

パリの屋根つき商店街パサージュは、ベンヤミンが19世紀を考察するときの出発点でした。一方で、パサージュは20世紀前半の前衛運動シュルレアリスムの主要な舞台のひとつでもあります。ベンヤミンの『パサージュ論』をひとつの手掛かりに、パリを舞台にした文学作品を紹介し、19世紀後半から20世紀前半までのパリという都市の変貌を追います。『眠るパリ』、『ファントマ』など、パリを舞台にした初期の無声映画も紹介する予定です。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

ベンヤミン著『パサージュ論』岩波現代文庫、ブルトン著『ナジャ』岩波文庫など、授業の中で指示します。

「地域文化論 ～ 」の履修ガイド

「地域文化論 ～ 」は、特定の国や地域の問題を扱う際、専攻領域を問わず要求される基礎知識や背景的知識を学べるように法学部に設置された人文科学科目で、その地域の文化・社会・歴史に対する総合的な理解を深めるのが目的です。入門篇の「地域文化論 ・ 」に接続するより高度な内容の授業が、「地域文化論 ・ 」、「人文科学研究会」という名称で設置されていますので、外国研究コースとして系統立てた履修も可能です。今年度開講の授業は次の通りです。

〔A群〕 一・二年生対象

地域	科目名	担当者
イギリス	「地域文化論 」	太田
	「地域文化論 」	武藤
アメリカ	「地域文化論 」	常山
	「地域文化論 」	鈴木
ドイツ	「地域文化論 」	坂口
	「地域文化論 」	三瓶
フランス	「地域文化論 」	笠井
	「地域文化論 」	笠井
ロシア	「地域文化論 」	山田
	「地域文化論 」	山田
スペイン	「地域文化論 」	渡邊
	「地域文化論 」	斎藤
ラテンアメリカ	「地域文化論 」	大久保
	「地域文化論 」	田島
中国	「地域文化論 」	林
	「地域文化論 」	安田

〔B群〕 原則として二年生対象（各論的でより高度な内容なので、「地域文化論 ・ 」を履修済であることが望ましい）

イギリス	「地域文化論 」	横山
	「地域文化論 」	横山
アメリカ	「地域文化論 」	鈴木
	「地域文化論 」	常山
フランス	「地域文化論 」	鶴崎
	「地域文化論 」	鶴崎

〔C群〕 三田設置のゼミ形式の授業

イギリス	「人文科学研究会」	横山
イギリス	「人文科学研究会」	太田
イギリス	「人文科学研究会」	武藤
アメリカ	「人文科学研究会」	井上
アメリカ	「人文科学研究会」	鈴木
ドイツ	「人文科学研究会」	岩下
ドイツ	「人文科学研究会」	許
ドイツ	「人文科学研究会」	斎藤
ドイツ	「人文科学研究会」	三瓶
フランス	「人文科学研究会」	アンリ
ロシア	「人文科学研究会」	山田
スペイン	「人文科学研究会」	本谷
ラテンアメリカ	「人文科学研究会」	大久保
中国	「人文科学研究会」	安田
歴史	「人文科学研究会」	平林

上級学年用の授業を将来履修したい人は、なるべく一年生時に自分の希望する地域の「地域文化論 ・ 」の履修を済ませて下さい。法学部以外の学生も履修できますが、履修希望者が多い場合、法学部生が優先されることがありますので、担当者の指示に従って下さい。

地域文化論

「イギリス地域研究入門」

2単位 春学期

【経法政商医】

太田 昭子

【授業科目の内容】

日吉で開講される、イギリス地域研究の「地域文化論 ~ 」の入門講義として、イギリス社会の様々な側面を検討します（詳細は授業計画を参照して下さい）。

イギリス社会を立体的に捉えるために、歴史的展望という縦軸、他の諸国との比較という横軸を念頭において、双方からの考察を進めます。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

参考文献表などを随時配布します。

地域文化論

「イギリス的想像力とイギリス社会」

2単位 秋学期

【経法政商医】

武藤 浩史

【授業科目の内容】

主として映画を題材として、必要に応じて音楽、文学などそれ以外の芸術作品も交えながら、第二次世界大戦後のイギリス的想像力の諸相と政治・社会・文化との関係を探ってゆきたい。もっとも、戦後は戦前と繋がっているのだから、戦前のイギリス文化の伝統がどのように受け継がれ、どのように断絶しているかも、合わせて検討することになるだろう。中心を成すのはビートルズを核として世界を席卷した1960年代のイギリス発「文化革命」論である。

【教科書】

D.H.ロレンス著『チャタレー夫人の恋人』ちくま文庫

地域文化論

「アメリカ研究入門」

2単位 春学期

【経法政商医】

常山菜穂子

【授業科目の内容】

今後とも日本にとって重要な国であり続けるであろうアメリカを理解するには、統合化と多様化という相反するベクトルがこの国の推進力としてどのように作用しているのかを把握する必要があります。この授業では、アメリカに関わる問題を扱う際に欠かせない基礎知識や背景の知識を整理しながら、これら二つのベクトルを軸に実験国家としてのアメリカ文化・社会の特質を考えます。アメリカ史の概略も理解できるよう、各回のテーマを組んであります。

【教科書】

鈴木透著『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』慶應義塾大学出版会（2003年 2400円）

地域文化論

「アメリカ南部論」

2単位 秋学期

【経法政商医】

鈴木 透

【授業科目の内容】

ジョージ・ブッシュは、久しぶりの極めて南部的な大統領だといわれています。実際、宗教や軍事力を重視する彼の姿勢や政策は、国際政治の動向以前に、南部的風土との関連性が顕著に認められます。その意味で、現代アメリカの動向を把握するには、国際政治の舞台にも流出し始めたこの南部的気質に対する理解が重要といえます。

この講義では、日本人にはあまりなじみがなく、差別的な後進地域というイメージの強いアメリカ南部が、実は今日にいたるまでアメリカ社会全体に対して様々な社会的・文化的・政治的・経済的インパクトを与えてきている点を取り上げ、南部という地域がアメリカの歩みにとっていかなる意味を持っているのかを考えます。授業では、

明確な地理的境界を持たない「南部」という概念がどのようにして成立したのか

奴隷制度という負の歴史を背負った後進的農業地域だった南部が、なぜアメリカ全体に様々なインパクトを与える存在となりえたのか

現代アメリカにおいて南部の存在感が増しているのはなぜか

という3点に留意し、ほぼ時代順に並べた以下のような話題を軸に進めます。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

鈴木透著『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』慶應義塾大学出版会（2003年）

地域文化論

「ドイツ・オーストリアの文化史」

2単位 春学期

【経法政商医】

坂口 尚史

【授業科目の内容】

ドイツ連邦共和国、オーストリア共和国の文化史について春学期は概論を述べます。ドイツ人の祖先であるゲルマン民族の文化からはじめて、神聖ローマ帝国の成立と中世キリスト教文化、ルネッサンスと宗教改革、バロック時代、そして市民文化の頂点となる18世紀と19世紀の文化まで。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

講義中に述べる。

## 地域文化論

「戦後ドイツの歩み」

2単位 秋学期

【経法政商医】

三瓶 慎一

## 【授業科目の内容】

日本の戦後史との比較も含め、第2次大戦終結から現在までを通史的に講じる。現代ドイツを理解するために不可欠な、主として政治的事件を中心としたドイツ戦後史の通史的理解を得つつ、同時にドイツ語の現代史用語の習得を目指す。コンピューターソフト、CD、ビデオ、スライド等の資料を多用する講義形式である。

## 【教科書】

各自がまとめたノート。

## 【参考書】

初講日に網羅的文献リストを配布する予定。

## 地域文化論

「フランス文化入門（中世から19世紀前半まで）」

2単位 春学期

【経法政商医】

笠井 裕之

## 【授業科目の内容】

授業科目の内容：いかなる時代・文化に属するものであれ、フランス文化の所産に関心をもつ諸君を対象に、これだけは欠かせないと思われる基本的知識を習得してもらうことが目的である。時代を画し、あるいは時代を変革するにいたった重要な文化事象を年代を追って取り上げていく。諸君がこれからフランス文化に親しんでいく上で、多少とも有益な見取図を描くことができると考えている。

## 【教科書】

指定しない。

## 【参考書】

授業中に適宜、紹介する。

## 地域文化論

「フランス文化入門（19世紀後半から20世紀まで）」

2単位 秋学期

【経法政商医】

笠井 裕之

## 【授業科目の内容】

授業科目の内容：春学期に続いて19世紀後半から20世紀までを取り上げる。われわれの時代により近い、近現代の所産となれば、諸君にもおそらくなじみのある芸術家の名が多く登場することになるだろう。ただ、単なる知識の確認に終わらず、各自の体験にもとづく考察の端緒となるように、主な作品に実際に触れる機会を増やし、諸君のあらたな発見を手助けできればと考えている。とくに20世紀初頭のパリを舞台にあらゆる芸術ジャンルを巻きこむ形で展開したロシア・バレエ団（バレエ・リュス）の活動の軌跡をたどり、現代の文化・芸術を特徴づける要素である「異質なものの交錯によって生まれる創造力」について考察したい。

## 【教科書】

指定しない。

## 【参考書】

授業中に適宜、紹介する。

## 地域文化論

「ロシア」

2単位 春学期

【経法政商医】

山田 恒

## 【授業科目の内容】

ロシア文化が日本の文化に大きな影響を与えたことは良く知られていますが、その影響を検討する際には常に部分的な、あるいは一部分の紹介にとどまっていたり、ロシア文化の総体が取り上げられることは殆どありません。

この講義ではロシア民族の誕生からキリスト教の受容、さらにイワン雷帝、エカテリーナ二世女帝までのロシア文化を概観する予定です。歴史的な経緯に関しては、ことに政治経済的な側面に関しては、かなり紹介されていますが、ロシア文化の根底をなす民族的な信仰について紹介されることは少ないように思われます。フォークロアとロシア正教がロシア文化の根底をなしていることは、ドストエフスキーやトルストイといった作家の作品によって明らかです。ドストエフスキーの『罪と罰』の主人公は、なぜ大地に接吻するのか、なぜトルストイの『イワンの馬鹿』でも大地が大きな意味を持っているのか、チャイコフスキーのバレエ『白鳥の湖』の創作における白鳥のイメージはどこから生まれたのか、こうした疑問に答えるには、ロシア・フォークロアの知識が必要です。

芥川龍之介の『蜘蛛の糸』はドストエフスキーの『カラマーゾフの兄弟』における「一本の葱」そのものですが、「一本の葱」もロシア民衆の信仰と深く関わっています。

初学期にはこうしたロシア文化の基礎を紹介する予定です。また日露文化交渉についても、マトリョーシカなどを例として、取り上げたいと思います。

## 【教科書】

日本語で読めるものはありません。

## 【参考書】

授業で触れるテーマに関する参考書は、授業ごとに配布するペーパーで紹介します。

## 地域文化論

「ロシア」

2単位 秋学期

【経法政商医】

山田 恒

## 【授業科目の内容】

一度に花開いた感のある19世紀末から20世紀初頭のロシア文化の紹介が秋学期のテーマです。春学期からの継続と言う点では、例えばロシア民衆のルサールカ伝説と『白鳥の湖』、地母神信仰とドストエフスキーなどを想定していますが、秋学期からの履修者も考慮して講義を進めます。

ロシアの舞台芸術では演劇やバレエ、文学では19世紀リアリズム小説、エイゼンシュテインを中心としたロシア映画などを紹介します。実際の作品を紹介することに力を注ぎたいと思いますし、また一つのテーマに割ける時間は三時間程度ですので、かなりの量のペーパーを配布し、少ない時間をカバーします。

随時アンケートを行い、履修者の希望の多いテーマを取り上げます。昨年度は映画とバレエでした。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

毎回ペーパーを配布し、その中でテーマに関連する参考文献を紹介します。

地域文化論

「スペイン文化入門」

2単位 春学期

【経法政商医】

渡邊 千秋

【授業科目の内容】

現代のスペインでは、いわゆるスペイン語（カステール語）の他、ガリシア語、バスク語、カタルーニャ語など、様々な言語を母語とする人々が暮らしており、社会的文化的にみて非常に多様で豊かな要素が存在しています。しかし、この多様性は一方で、歴史上さまざまな紛争を呼び起こす要因の一つともなりました。また地理的な面からみれば、ヨーロッパとアフリカの間に存在することによる様々な歴史文化的影響を指摘することができます。

この授業では、受講生の皆さんに現代スペインの文化・社会・政治的状况に関する知識を深めてもらうことを目的とします。

【教科書】

指定なし。

【参考書】

立石博高他編『スペインの歴史』昭和堂（1998年）、立石博高他編『スペイン・ポルトガル史』山川出版社（2000年）他、参考文献は授業内で適宜紹介します。

地域文化論

「人物を通して見るスペイン」

2単位 秋学期

【経法政商医】

斎藤 華子

【授業科目の内容】

スペインは歴史上、様々な民族が侵入、錯綜した地であり、カタルーニャ、ガリシア、バスク等、多様な、そして独自の風土、文化、言語を持つ地方が集まっている国といえます。このような多様性の中からは、画家、建築家、作家等、実に個性的な奇才と呼ばれるような人物が数多く生まれてきました。

この授業では、スペインの歴史に登場するこれらの魅力あふれる人物を毎時間取り上げ、彼らの残した言葉、作品、エピソード等を通してスペインの文化に触れ、また彼らが活躍した時代の背景を学んでいきたいと思います。

【教科書】

使用しません。適宜プリントを配布します。

地域文化論

「中米・カリブ海地域とメキシコ」

2単位 春学期

【経法政商医】

大久保教宏

【授業科目の内容】

一口にラテンアメリカと言っても、あまりにも広大な地域であり、国の数も多いため、当地域文化論では便宜的にパナマより北の部分の扱います。そこには世界でも有数の小国地帯かつ「文化混淆地帯」である中米・カリブ海地域が広がっています。この地域に着目することで、大国、先進国中心の現代世界の捉えられ方を相対化し、「ラテンアメリカは本当にラテン文化圏なのか」という具合に地域と文化の関連を問うことも可能です。併せて、「ラテンアメリカの大国」メキシコについても学ぶことで、同じラテンアメリカという地域内での対照性を見ることができるようになります。取り上げるテーマは、宗教、人種、言語、運河、鉄道、バナナ、コーヒー、さとうきび、海賊、地震、火山、国立公園、遺跡、革命、内戦、非武装中立、ノーベル平和賞、経済統合など様々です。これらを通して国をこえた地域としての連続性とその内部での多様性、地域内各国の個性について考察していきます。

「国と地域」という視点から講義を進める関係上、ラテンアメリカ、カリブ海地域33か国の場所、国名、首都名くらい憶えておいてもらわないと話がしにくいので、これらについて中間試験を行います。スリナムの首都はパラマリボで、アンティグア・バーブダの首都はセントジョンズだ、といったことを憶えてもらいます。くだらないと思われるかもしれませんが、たとえば首都がロンドンであることを知らずにイギリスのことを、イタリア、スペイン、ドイツなどと接していることを知らずにフランスのことを語れないのと同じと考えてください。

なお、秋学期地域文化論を担当される田島久歳先生はパナマ以南の南米、特にブラジル、パラグアイの歴史、地域研究の専門家ですので、とを継続して履修することにより、ラテンアメリカ、カリブ海地域全体が学べるようになっています。

地域文化論

「南アメリカ地域」

2単位 秋学期

【経法政商医】

田島 久歳

【授業科目の内容】

ラテンアメリカ・カリブ諸国・地域の歴史を学び、今日の多様な民族集団から成る社会・文化がいかなる過程を経て形成されたかを理解することを目指す。

まず、地域を構成する民族のアイデンティティにとって重要である彼らを指す名称の限界と問題点について学ぶ。つづいて、時代・時期区分をしてラテンアメリカ諸国の形成過程について分析する。

今年度は、先住民を通して見る他者と自己をキーワー

ドに、ヨーロッパ人との遭遇と接触に伴う文化、社会、宗教、生活の変容と魂の征服のトラウマについて考える。そして19世紀以降の政治的独立に伴う近代国民国家形成とナショナル・アイデンティティの創造について考察する。講義では、パラグアイにおける象徴表象を分析することによって植民地時代にネガティブに評価されていた先住民の文化がポジティブに再評価・再解釈されていく過程を浮き彫りにすると同時に、それとは対照的にブラジルにおいてはヨーロッパ的な象徴表象をナショナル・アイデンティティとして再創造していく過程を検討する。

【教科書】

遅野井茂雄・田島久歳他編『ラテンアメリカ世界を生きる』新評論（3200円）

【参考書】

斎藤晃著『魂の征服』平凡社、ナタン・ワシュテル著『敗者の想像力』岩波書店、ツヴェタン・トドロフ著『他者の記号学』法政大学出版会、上谷博・石黒馨編『ラテンアメリカが語る近代』世界思想社、エリック・ホブズボーム著『創られた伝統』紀伊国屋書店、ベネディクト・アンダーソン著『想像の共同体』NTT出版、網野徹哉・高橋均編著『ラテンアメリカ文明の興亡』中央公論社、Mary Louise Pratt著『IMPERIAL EYES - Travel ( Writing and Transculturation ) 』ROUTLEDGE

地域文化論

「中国政治と人々の暮らし」 2単位 春学期  
【経法政商医】 林 秀光

【授業科目の内容】

中国はその悠久の歴史に育まれてきた民俗、文化、政治が多様かつ変化に富んだものであるため、観察の対象としてそれ自体は不思議な国である。日本では中国に親近感を持つ人、なんとなく中国が好きになれないあるいは反感を持つ人に別れるというのも不思議である。中国の歴史や文化のロマンに惹かれつつも、今日の中国の政治体制に違和感を覚えたり、アジアまたは世界で影響力を増していく中国の姿が威圧に感じたりする、というのも理解できることである。そこで、この授業は中国社会への接近を図るべき文化、民俗、政治、社会問題について幾つかのトピックを取り上げ、人々の暮らしや考え方がいかに政治の揺れ動きと関係して変化してきたかを解説する。折に触れて、日本との比較を行い、中国をよく身近な国に捉えられるようにするのが本講義の目標である。

【教科書】

とくに指定しない。

【参考書】

各授業の前に適宜に指定する。

地域文化論

「現代中国の軍事と安全保障」 2単位 秋学期  
【経法政商医】 安田 淳

【授業科目の内容】

現代中国が、その歴史的な要因、多様な環境、地理的位置関係などいずれの点においても、世界の安全保障環境に大きな影響を与え、また国際関係から大きな影響を受けていることは改めて言うまでもない。なかでも中国の軍事については、まだ不明な点も多く、また理解も不足している。中国の、またひいては東アジアの安全保障を考察する際に無視することのできない中国の軍事についての理解を深め、併せて中国の安全保障にかかわる諸問題についての基礎的な知識を習得することが、この講義の目的である。

【参考書】

講義中に適宜、提示する。

地域文化論

「情報と大衆文化 ヴィクトリア朝のイギリスを中心に」 2単位 春学期  
【経法政商医】 横山 千晶

【授業科目の内容】

産業革命をほかの国に先がけていち早く成しとげたイギリスにおいて、機械化による大量生産と流通機構の発達は、印刷される「情報」をも大量に生産し、さまざまな人々の間に流通・普及させていきました。それと同時に今までのメディアの様相も大きく変わってきます。紙の上に印刷されるこれらの文字や絵は、当時の社会を映し出す鏡でもあります。ではそういった情報は、どのような社会的なコンテキストの中で生み出され、どのような働きを果たし、どのように社会はそれに応えたのでしょうか。また、一方で情報があふれていく中で、そのコントロールや規制はあったのでしょうか。

この講義ではヴィクトリア朝の大衆文化に焦点を絞り、活字文化にとどまらない「印刷された」情報を通して、19世紀のイギリス大衆のダイナミズムと息吹きに触れてみたいと思います。

【教科書】

なし。重要な文献については随時授業中に紹介します。

【参考書】

授業の中で紹介します。

地域文化論

「動くイギリス、感じるイギリス」 2単位 秋学期  
【経法政商医】 横山 千晶 太田 昭子  
武藤 浩史

【授業科目の内容】

メディアの発達によって世界はますます小さくなり、均一化しているように感じられます。しかしながら情報が融合し、均一化する動きと対抗するように、文化現象

においては必ず差異化と個別化が並列して起こります。国家としての、民族としてのアイデンティティを確立しようという動きもそのひとつです。そしてイギリスもその例に漏れません。

イギリスは常に動いています。古くからのヨーロッパとの交流はもちろんのこと、17世紀以降インドを拠点に人々が遠くアジア地域まで貿易と商業の拠点を求めて動いていきました。19世紀にはいると世界の工場のもとに外から大勢の人々がイギリスの土地に流入します。アイルランドからの移民はそのよい例でしょう。20世紀には帝国主義の崩壊とともに今度はもと植民地からも大勢の人々が本国であるイギリスに流れ込んできました。西インド諸島からの人々、そしてアフリカ独立の大波を受けて、イギリス植民地から本国にわたったインド系の人々がその例として挙げられます。まさに多様な文化をイギリスは引き受けてきたのです。その過程の中で常に様々な文化は反発しあい、その中で個別のアイデンティティを築き、ときに融合しあい、まったく新しい文化に次々と生まれかわっていきました。現在その中には大きな影響力を持って外へと発散されていくものもあります。あるものはイギリス政府のうしろ盾のもとに、またあるものはアメリカのマス・マーケットを經由して。

「イギリス的なもの」とは実はこの常に動き続ける多様性にこそあります。シェイクスピアやビートルズを待つまでもなく、ハイ・カルチャーとサブ・カルチャーは常に流動しながらその境界線をあいまいにしつつ、イギリス固有の文化を形作ってきました。たとえばハリウッド映画に象徴されるアメリカン・ドリームに対して、イギリスは自国の伝統を売り物としたヘリテッジ映画の部門を築き上げました。その一方で最近注目を浴びているのは、イギリスの労働者階級、もしくはスコットランド、ウェールズ、アイルランドなどイングランド以外の地域文化にその特有性を見出しそれぞれの文化の代弁者となる映画です。最近話題になった『フル・モンティ』や『トレインスポッティング』が、その例に挙げられるでしょう。

まさに人体が動くスポーツもしかりです。昔は主に貴族階級の娯楽であった「狩猟」こそが、スポーツの代表でした。しかしいまやイギリスのスポーツといえば、ウォーキング、そしてフットボールではないでしょうか。この変遷はどのようにして起こってきたのでしょうか。

本講座は、この「動き続ける」イギリスを私たちの5感を通じて考えることを目的として、塾内外で活躍する第一線の研究者を招いてのオムニバス形式の授業を提供するものです。扱われるテーマはスポーツ、食文化、音楽、ファッション、映画、演劇、文学、そしてユーモアなどまさに5感にかかわるものばかりです。私たちにとっても身近になりつつあるこれらの諸文化に、今も動き続けるイギリスのダイナミズムを感じていただければ幸いです。

【教科書】

毎回ハンドアウトとしてプリントを配布します。

【参考書】

参考文献やその他の視聴覚資料については、毎回授業の中で紹介していきます。

地域文化論

「スポーツから考えるアメリカ」

2単位 春学期

【経法政商医】

鈴木 透

【授業科目の内容】

アメリカという国を思い浮かべる時、スポーツのことを連想する人は少なくないでしょう。実際、アメリカは各種プロ・スポーツが盛んな国であり、それは、アメリカ以外の多くの人々をもひきつけています。しかし、スポーツがアメリカという国の特質を語る上で恐らく重要かつ顕著な社会現象・文化現象であろうということは感覚的に理解できるにしても、それをアメリカ研究の視点から学問的に解明しようとする試みはこれまであまり行なわれてきてはいません。その原因は、アメリカのスポーツが、教育や生活改善運動、人種問題やメディア、地域の活性化やスポーツ・ビジネスの国際化など、様々な領域の事柄が交差するところに位置しているために、どれか一つの専門分野からだけのアプローチでは、その全体像を捉えることが難しいという点にあるといえるでしょう。

そこで、この講義では、アメリカのスポーツをとりまく、歴史的、社会的、文化的、政治的、経済的側面を総合的に検証しながら、アメリカにおける各種スポーツの変遷から、この国のどのような特質が浮かび上がってくるのか考えていきます。授業では、

アメリカのスポーツが、いかにスポーツ以外の様々な領域の事柄と結びつきながら成立・発展してきたのか

アメリカのスポーツの歩みからは、逆にこの国のいかなる特質を読み取れるのか

現在のアメリカのスポーツをめぐる状況は、現代アメリカをとりまくどのような文化的・社会的・政治的・経済的状況を映し出しているのか

という3点に留意し、ほぼ時代順に並べた以下のような話題を軸に進めます。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

鈴木透著『実験国家アメリカの履歴書：社会・文化・歴史にみる統合と多元化の軌跡』慶應義塾大学出版会（2003年）

地域文化論

「アメリカ演劇文化史」

2単位 秋学期

【経法政商医】

常山 菜穂子

【授業科目の内容】

「演劇」は社会をもっとも強く反映する芸術形態である。日本語で「演劇」とひとこと言っても、それは「drama（戯曲テキスト）」と「theater（興業、上演）」の両要素からなっており、特に「theater」は時代の流れと観客の要求に合わなければ生き残れないからである。その意味で、現在知りうる演劇史は過去の「記憶装

置」であり、ハムレットの言葉を借りれば「自然の鏡」だと言えよう。演劇の考察は、その文化を生み出した風土、国民、政治・経済、精神を知る手がかりを提供する。本講義では、戯曲テキストの作品解釈を行うのではなく、演劇文化活動を社会的視座から広く取り上げて、テキスト（戯曲）とコンテクスト（社会的文脈）を突き合わせるにより、その内に意識的・無意識的に織り込まれた「アメリカ」の姿をたどる。

本年度は、17世紀植民地時代から独立・建国期、19世紀、20世紀、そして現代まで時系列を追いながら、その時代毎の演劇がいかにアメリカ社会と国民を映し出してきたかを考え、社会と文化の相互関係を探る視点を養う。

#### 【教科書】

毎回プリント資料を配布し、映像作品を使う。

#### 【参考書】

常山菜穂子著『アメリカン・シェイクスピア』国書刊行会（2003年）、Walter J. Meserve『An Outline History of American Drama』Freedback Theatrebooks（1994年）ほか授業中に指示する。

#### 地域文化論

「第二帝政期のパリ 近代都市社会と芸術」

2単位 春学期

#### 【経法政商医】

鶴崎 明彦

#### 【授業科目の内容】

第二帝政期（1852～1870年）はフランス近現代史の分岐点となった時代です。ナポレオン一世の甥ナポレオン三世は、クーデターで帝位に就くや革命と動乱の時代に終止符を打ち、その強権をもってフランスの近代化に邁進します。人口増加、コレラの流行、犯罪と暴動に苦しむ暗黒都市パリは空前の大改造によって壮麗な近代都市に変貌し、また万国博の開催は産業社会、消費社会への起爆剤となりました。デパートの誕生、そしてモードと歓楽のパリの出現。つまりわれわれが知る現代のパリは第二帝政期にそのおおよその姿ができあがったのです。それは、近代都市社会の原風景でもありました。しかし、パリのあまりに急激な変貌は、そこに住む人々のいわば生態系に大きな歪みを生み出し、普仏戦争の敗北で第二帝政が崩壊した時、パリ・コミュンとなって爆発します。このように功罪相半ばするナポレオン三世は、現代もなお評価の定まらない人物です。

さて、パリの町、社会と風俗の急速な近代化は、うつろいゆく同時代の諸相を描く、芸術における現代性（モデルニテ）の追求を促し、新しい表現を目指す芸術家たちは、永遠不変の理想美を旨とする旧来の芸術との葛藤を経ながら近代芸術を生み出していったのです。われわれが親しんでいるマネや印象派の画家たちも、当時は画学生にも劣るへぼ絵描きなどと、激しい非難・嘲笑を浴びたのでした。そうした、新旧文化の渦巻く過渡期であった第二帝政期のパリの社会・風俗・文化を、できるだけ多くの映像資料を使用しながら考察します。

#### 【教科書】

特に指定しません。

#### 【参考書】

開講時に参考文献一覧を配布いたします。

#### 地域文化論

「ベル・エポックのパリ 知の変革の時代」

2単位 秋学期

#### 【経法政商医】

鶴崎 明彦

#### 【授業科目の内容】

19世紀末から第一次世界大戦までのフランスは、「ベル・エポック」（よき時代）と呼ばれ、世紀末の退廃的な華やかさと新しい時代の幕開けを感じさせる享樂的な文化が爛熟した時代です。

「ベル・エポック」は、急速な科学技術の発達により世界の一体化が進行すると同時に、日常生活の様式が物質的にも精神的にも大きく変化した時代でした。こうした科学文明のシンボルが、1889年のパリ万博で建設されたエッフェル塔です。

一方で、現代史の負の部分形成された時代でもあります。科学・経済・軍事力の圧倒的優位を背景にヨーロッパが世界をのみ込んだ、帝国主義による世界の序列化の時代だったのです。特に普仏戦争の敗北の後、フランスではナショナリズムが異常なまでに高揚し、傷ついた威信を回復するため帝国主義の道をひた走り、世界第二の植民地帝国を形成します。「人権宣言」を謳ったフランス革命の後継である第三共和制と植民地主義の矛盾。またドレフュス事件はフランス社会に深刻な分裂を引き起こすと同時に、20世紀のユダヤ人迫害の前兆ともなりました。

ヨーロッパによる世界支配、しかしその裏では、急激な科学の発達によって旧来の世界観が動揺し、近代合理主義に対する疑念が生じた、ヨーロッパ精神の危機と知の変革の時代でもありました。物質主義に対する嫌悪はデカダンスの文学や象徴主義の絵画を生み、世界の一体化による異文化の流入が、伝統的世界観の解体と新たな創造を促す。ヨーロッパはその圧倒的な力で世界に影響を及ぼしましたが、一方で世界から多くのものを受け取っていったのです。パリはそうした異文化との出会いが新たな創造を生む舞台となりました。日本美術との出会い、ジャポニスムは印象派の絵画やアール・ヌーヴォーを、アフリカ芸術との出会いはキュビズムを生む起爆剤となりました。

様々な矛盾を抱えた知の変革の時代、「ベル・エポック」のパリに生まれた芸術について、できるだけ多くの映像資料を使用しながら考察していきます。

#### 【教科書】

特に指定しません。

#### 【参考書】

開講時に参考文献一覧を配布いたします。

地学a（春学期）／地学b（秋学期）  
 地学（通年）  
 「地球と生命の歴史」 2単位 春学期／秋学期  
 4単位 通年  
**【文経商理】** 大路 樹生  
 \*理工学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

地球温暖化やオゾン層の破壊など、地球環境の危機が社会的関心を集め、人類はこの危機にどのように対処すべきか、判断を求められている。しかし現在の多くの議論に欠けていることは、長大な時間軸にわたって地球表層環境を形成してきた地質学的、生物学的な背景の考察である。当講義では、過去46億年間地球環境がどのように変遷し、その中で生命がどのような歴史をたどってきたのかを理解することを目指す。

講義では、まず地球の基本構造の理解を、なじみ深い現象（地震、火山など）から学び、この地球がダイナミックな動きを持つ特異な惑星であることを理解する。続いて生物進化を中心とした地球史をたどり、生命現象がどのように地球環境に影響を与えながら、いわゆる「共進化」してきたのかを考える。

高校で地学を履修しなかった学生にも配慮し、基礎的な所から分かりやすく講義するつもりである。受講者には積極的に授業に参加する態度を期待する。

**【教科書】**

大路樹生著『進化古生態学』東京大学出版会（出版予定）資料集を実費販売します。

地学a（春学期）／地学b（秋学期）  
 地学（通年）  
 「地球システムの科学」 2単位 春学期／秋学期  
 4単位 通年  
**【文経商理】** 鹿園 直建  
 \*理工学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

授業の目的は以下の通りである。

1. 地球システムを構成する物質（岩石、水、大気）についての理解を深める
2. 地球システムを構成する物質間の相互作用についての理解を深める
3. 人間 自然システム間の相互作用（資源、環境問題、自然災害）についての基本的事項を理解する
4. 地球システムの時間的変動（進化）について理解する

**【教科書】**

鹿園直建著『地球システム科学入門』東大出版（1992年）

**【参考書】**

鹿園直建著『地球システムの化学』東京大学出版会（1997年）  
 鹿園直建著『廃棄物とのつきあい方』コロナ社（2001年）

地学a（春学期）／地学b（秋学期）  
 地学（通年）  
 「大気科学と宇宙の科学」 2単位 春学期／秋学期  
 4単位 通年  
**【文経商理】** 坪田 幸政  
 \*理工学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

大気科学と宇宙の科学の基礎を学習します。そして、地球環境・宇宙環境に対する理解を深め、人間活動の影響を評価し、持続可能な社会について、自ら判断できるようになることを目的とします。

**【教科書】**

坪田幸政・吉田優著『インターネット気象学』クライム  
 坪田幸政訳『宇宙の科学』丸善

**【参考書】**

高橋庸哉・坪田幸政訳『ワクワク実験 気象学』丸善  
 加藤万里子著『100億年を翔ける宇宙』恒星社厚生閣

地学a（春学期）／地学b（秋学期）  
 地学（通年）  
 2単位 春学期／秋学期  
 4単位 通年  
**【文経商理】** 中田 正隆  
 \*理工学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

地球に関する科学は、急速な勢いで進展している。それは、近年、急激に人間が自然とかかわる問題が顕在化し、人々が地球の危機を強く認識するようになってきたからである。このような観点から、本講義は、地球に関する科学及び人間生活に対するその応用についての基本的な知識を与えることを目的とする。

**【教科書】**

鹿園直建著『地球システム科学入門』東京大学出版会  
**【参考書】**  
 鹿園直建著『地球システム化学』東京大学出版会

地球科学概論  
 「大気科学」 2単位 春学期  
**【商理】** 坪田 幸政

**【授業科目の内容】**

地球科学の中から、大気科学を体系的に学習します。学習内容については、授業計画を参照して下さい。

**【教科書】**

小倉義光著『一般気象学』（第2版）東京大学出版会

**【参考書】**

坪田幸政・吉田優著『インターネット気象学』クライム  
 高橋庸哉・坪田幸政訳『ワクワク実験 気象学』丸善

地球科学概論

「インターネット気象学」

2単位 秋学期

【商理】

坪田 幸政

【授業科目の内容】

- ・天気予報を主体的に利用できるようになり、その評価を科学的に行えるようになる。
- ・地球環境に対する理解を深め、人間活動の影響を評価し、持続可能な社会について、地球人として自ら判断・行動できるようになる。

具体的な内容については、授業計画を参照して下さい。

【教科書】

坪田幸政・吉田優著『インターネット気象学』クライム

【参考書】

高橋庸哉・坪田幸政訳『ワクワク実験 気象学』丸善

中国事情

「現代中国の政治と社会」

2単位 春学期

【文経商】

段 瑞聡

【授業科目の内容】

本講義は現代中国の政治と社会に対する基本的知識を身につけるためのものである。

中国は1978年から鄧小平主導下で改革開放政策を実施し、92年には社会主義市場経済体制の導入を正式に決定した。以来、中国経済は目覚ましい発展を遂げてきた。2001年のWTO加盟によって、市場経済はさらに加速化し、2004年には中国は世界で第3番目の貿易国になった。しかし、中国共産党は依然として一党支配を続け、社会主義体制を堅持しようとしている。経済発展は中国社会にさまざまな変化をもたらした。本講義では中国における政治のメカニズムを解明すると同時に、経済発展がもたらしたさまざまな社会問題を検討する

【教科書】

家近亮子・唐亮・松田康博編著『5分野から読み解く現代中国』晃洋書房（2005年）

【参考書】

授業中、適宜紹介する。

中国事情

「現代中国文化入門」

2単位 秋学期

【文経商】

櫻庭ゆみ子

【授業科目の内容】

前期「中国事情」と同様、中国に対する基本的知識と理解を養うための授業である。

WTO加盟を果たし近代化の道を邁進する中国に対し、隣国の住民である私たちはどのようにこれと対峙し、コミュニケーションを行っていけばよいのか。ここでは語学の授業のみでは不十分な知識を学ぶと同時に、中国という異文化に接触する際それぞれがとるべきスタンスを各自で考える場とする。焦点は広い意味での文学を含

めた文化的背景に置き、目下我々日本人が身を置く「近代」が中国ではどのように始まり、どのような過程を経て現在に至っているか、また今後グローバル化の中でどのような展開を見せるかを通時的・共時的に見てゆく。

【教科書】

藤井省三・大木康編『新しい中国文学史』ミネルヴァ書房（1997年）（情行で取り扱うのは第 部以降）

【参考書】

第一回目のガイダンス及びその時々授業で提示する。

地理学 / 地理学（春学期分）

「地図の歴史と地理的知識」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

青山 宏夫

【授業科目の内容】

さまざまな時代のさまざまな地域の人々が、自己あるいは他者の住む世界をそれぞれに捉え、それぞれに記載してきた。地図作製の営みもその重要な1つである。古今東西のさまざまな文化のなかで生まれた数多くの地図は、大地を記載することを語源とするgeography（地理学）にとって、その根幹にかかわるとさえいいうる。この授業では、世界の各地で作製された世界図を中心に切りあげて、地図の本質とその文化的意義について考える。

【教科書】

『地図の思想』朝倉書店（2005年刊行予定 3000円以下）授業時にプリントも配布します。

地理学 / 地理学（秋学期分）

「地図の歴史と地理的知識」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

青山 宏夫

【授業科目の内容】

さまざまな時代のさまざまな地域の人々が、自己あるいは他者の住む世界をそれぞれに捉え、それぞれに記載してきた。地図作製の営みもその重要な1つである。古今東西のさまざまな文化のなかで生まれた数多くの地図は、大地を記載することを語源とするgeography（地理学）にとって、その根幹にかかわるとさえいいうる。この授業では、日本で作製された日本図や各種の地域図などを中心に切りあげて、そこに描かれた国土観や景観について考える。

【教科書】

『地図の思想』朝倉書店（2005年刊行予定 3000円以下）授業時にプリントも配布します。

地理学a (春学期) / 地理学b (秋学期) (月曜)  
地理学 (通年)

「(地理学の基礎としての)立地論」  
2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 長田 進

【授業科目の内容】

この授業では、立地論を取り上げることで、現実社会の事象について理解を深めてもらうことを大きな目的としている。

「立地論」とは、企業（経済主体）がどの場所が経済的に有利な場所であるかについて検討する学問である。したがって立地論について学ぶことで、(1)工場がある一定の場所に集中して存在するのはどうしてなのか、とか(2)マーケットはどのような場所に行けるのか、という現実社会の問題を理解するための知識を身につけることになる。

この授業では、立地について考える時に必要となる理論的枠組みを学習する場とし、理論的な話が中心となるが、理論の理解が進むように実例についても積極的に紹介していく予定である。

【教科書】

指定の教科書は用いない。必要な資料は授業のときに配布する。

【参考書】

授業の中で紹介する。

地理学a (春学期) / 地理学b (秋学期) (水曜)  
地理学 (通年)

「都市をめぐる問題」  
2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 長田 進

【授業科目の内容】

現代社会においては「都市」に関係した社会経済問題がしばしば話題の中心となる。第二次大戦以降の日本の場合、三大都市圏への人口集中、東京一極集中、首都圏移転問題、市町村合併、を例に挙げるができる。

この授業では、学生諸君がこのような問題について理解を深め、自分独自の見解を持つことができるよう、都市に関する理論の解説を中心に進めていく。取り上げる内容として、「都市」の基本概念について検討することから始まり、実際に都市を分析する手法や都市の現象を説明する最新理論について取り上げる予定としている。また、理論に偏らず、日本の都市問題や世界の都市問題といった具体例についても紹介していく予定である。

【教科書】

指定の教科書は用いない。必要な資料は授業のときに配布する。

【参考書】

授業の中で紹介する。

地理学a (春学期) / 地理学b (秋学期) (月曜)  
地理学 (通年)

「災害の地理学的解析」  
2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 松原 彰子

【授業科目の内容】

人類は、長年にわたって、気象災害、地震・火山災害などの被害を受けてきた。近年では、これらに加えて地盤沈下や海岸侵食なども、新たな災害として問題になっている。本講義では、災害の原因や実態を解説すると共に、災害と地理的条件（特に地形条件）との関係について考察し、災害予測のための基礎資料を示す。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業中に紹介する。

地理学a (春学期) / 地理学b (秋学期) (火曜)  
地理学 (通年)

「自然地理学的視点から見た地球環境変動」  
2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 松原 彰子

【授業科目の内容】

近年の地球環境問題を理解する上で、広域的な視野に立ち、長時間スケールで自然環境の変動を把握することが、きわめて重要である。本講義では、自然地理学の立場から、第四紀（約200万年前から現在までの最も新しい地質時代）後期における、地球環境変遷を中心とした環境変動の原因と実態を解説する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業中に紹介する。

地理学a (春学期) / 地理学b (秋学期)  
地理学 (通年)

「日本と世界の農業・農村地域」  
2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 水嶋 一雄

【授業科目の内容】

この講義は、農業・農村地域の持続的発展に関わる方策を考えるため、日本と世界の農業・農村地域の現状と変化、問題点を、具体的な事例で理解することを目的とする。春学期は、日本の食料自給の現状と問題点、環境保全型農業（持続的農業）の考え方と問題点、水田開発の過程を地形や水との関わり、などについて講義する。秋学期は、近年における農業地域の現状と変化、とくに農業形態の変化を具体的な事例を紹介して講義する。また、アジア諸国やカリフォルニア州の農業・農村

地域についても、日本との関連性を踏まえながら具体的な事例で講義する。講義内容を補足するために、ビデオやスライドを使用する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業時間中に指示する。

地理学a（春学期）／地理学b（秋学期）

地理学（通年）

「現代の地域問題を地理学から考える」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

宮地 忠幸

【授業科目の内容】

この授業では、今日の地域問題について考えていきます。まず、地理学が重視してきた「地域」の認識方法の特徴をおさえた上で、第二次世界大戦後の日本経済・社会の動向とそれを支えた社会的な条件について学びます。それを踏まえて、大都市圏、地方都市、農山村において多様に現れてきた諸問題の実態について、問題の形成要因とともに解説していきます。そして、これらの多様な地域問題を、地理学はどのように捉えてきたのかについて、代表的な研究成果を取り上げながら考えてみます。ここでは地域や地域問題の認識方法についても検討してみたいと思います。最後に、現代の地域問題を考えるために必要な視覚について考察したいと思います。

【教科書】

なし。

【参考書】

・杉浦芳夫編『空間の経済地理』朝倉書店（2004年）  
 中俣均編『国土空間と地域社会』朝倉書店（2004年）  
 岡田知弘・川瀬光義・鈴木誠・富樫幸一『国際化時代の地域経済学 改訂版』有斐閣アルマ（2002年）  
 富田和暁著『地域と産業 - 経済地理学の基礎 - 』原書房（2004年）

哲学a（春学期）／哲学b（秋学期）

哲学（通年）

「推論・知識・心について」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

安藤 道夫

【授業科目の内容】

この授業では、哲学の基礎について学ぶことにします。特に、推論・知識・心を主たるテーマとして哲学の諸問題について考えることにします。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業中に指示します。

哲学a（春学期）／哲学b（秋学期）

哲学（通年）

「生命と芸術の美」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

板橋 勇仁

【授業科目の内容】

中井正一は、西田幾多郎、三木清らの思想の流れをくむ、戦後日本を代表する美学者の一人である。彼の代表作の一つ『美学入門』は、書名から想像するような入門書・概説書ではなく、むしろ「美しい」とはいかなることか、それが我々の「生命（いのち）」にとっていかなる意味を持っているかを根本的に問い直した名著である。中井はこの書で自然・技術・芸術における「美しさ」を探究しつつ、とりわけ芸術における美しさを、さまざまなジャンルを例にあげて、また東西のさまざまな文化に見られる芸術を取り上げて論じているが、個々の芸術の細かな分析を試みるのが主眼ではなく、むしろ美しいとは何か、芸術とは何かを、その基底において問い直すことで、我々の生命の本質とは何か、創造的な生き方とは何かを根源的に考察する哲学的思索を試みている。この『美学入門』を順次講読しながら、中井と共に上述のような問題について真剣にかつ精密に議論していきたい。担当教員が研究してきた西田幾多郎の哲学についてもあわせて紹介し、日本に根ざした哲学的思索がどのように展開しうるのかも考察していきたい。

【教科書】

中井正一著『美学入門』朝日選書32

【参考書】

板橋勇仁『西田哲学の論理と方法』法政大学出版局

哲学a（春学期）／哲学b（秋学期）

哲学（通年）

「哲学の諸問題」

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

木原 弘行

【授業科目の内容】

哲学で問題となっているトピックに関して、どうしてそれが問題となるのか、どう考えれば答えられるのか、といったことを論じていきたいと思ひます。考えるのは学生の皆さんなので、決してどの哲学者がどんなことを言ったかを暗記するものではありません。下記の問題のうちひとつでも興味を持って、自分の考えを主張できるようにするのが、本講義の目的です。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

西脇与作著『現代哲学入門』慶応義塾大学出版会

また、内容に合わせて紹介します。

哲学a (春学期) / 哲学b (秋学期)  
 哲学 (通年)  
 「春学期用 現代思想入門 - 現象学における他者問題1、  
 秋学期用 現代思想入門 - 現象学における他者問題2」  
 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【文経法政商医理】 関根 小織

【授業科目の内容】

他人との関係は日常さまざまなかたちで問題になるものですが、哲学の中ではそれほど古くから扱われてきた問題ではありません。他者問題というものが哲学の主要問題となったのは、19世紀末から20世紀全般にかけて、近代の哲学的伝統への反省が高まってゆく運動のなかでこのことです。現象学はこうした哲学的運動のひとつですが、創始者フッサールの他者論は独我論的であるとの批判が多く、後続の現象学者たちはさまざまな仕方新たな他者論を構想しました。授業では、なぜ現代の哲学思想で他者というものが主要問題として浮上したのか、現代思想と呼ばれる哲学者たちは近代の哲学のどのような想定や前提に疑問を抱きそれを批判しているのか、主な現象学者たちの思想を学びながら、現代思想の問題意識を実感を持って共有できるようになってもらいたいと思っています。

【教科書】

用いない 必要資料は授業時に適宜プリント配布。

【参考書】

H・スピーゲルバーグ著『現象学運動』〔上下〕世界書院(2000年)、『西洋哲学史 - 理性の運命と可能性』(第4部第2章・第5章)昭和堂(1994年)

哲学a (春学期) / 哲学b (秋学期)  
 哲学 (通年)  
 「ライブニッツにおける心身問題」  
 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【文経法政商医理】 田子山和歌子

【授業科目の内容】

**春学期** 近代ヨーロッパの代表的哲学者ライブニッツの心身問題について考えたい。彼のテキストの読解を中心に授業を進める。

**秋学期** 春学期に引きつづき、ライブニッツの心身問題についてテキスト読解を通し、考えたい。

【教科書】

特に指定しませんが、こちらの用意したプリントを毎回配布します。

【参考書】

『ライブニッツ著作集』工作舎

哲学a (春学期) / 哲学b (秋学期)  
 哲学 (通年)  
 「心の歴史」 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【文経法政商医理】 中川 純男

【授業科目の内容】

われわれ現代人は、過去の意味をいまの視点から評価しがちであるが、過去のほんとうの意味は、それがわれわれの現在の一部となっていること、いまが過去によって意味を与えられていることにある。いまに蓄積された過去、それが文化とか文明と呼ばれるものの本質である。この講義では、古代から近世に至る思想史の中から、いくつかの主題を取り上げ、その思想がわれわれにとって身近なものであることを実感することを目指す。

【教科書】

用いない。

【参考書】

講義中に、必要に応じて指示する。

哲学a (春学期) / 哲学b (秋学期)  
 哲学 (通年)  
 「テキストを考えながら読み、読みながら考えるということ 西洋哲学史からのアプローチ」  
 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【文経法政商医理】 中村 公博

【授業科目の内容】

私たちが西洋哲学を研究するためには、そこで使われている基本的な諸概念(哲学用語)について一定の理解を持たなければなりません。そのために大切なのは、過去の哲学者の著作に実際に触れることによって、彼らがいかなる仕方で諸概念をめぐって考えていたかを読み取り、これに基いて自分で考えることです。こうした作業こそ、西洋哲学史研究の基礎だと言えましょう。これを皆さんが自分でできるように手助けするのが、この授業の目的です。

そこで、この授業では、重要な哲学者の著作(の翻訳)を取り上げ、これに註釈・解説・検討を加えていきたいと思えます。もちろん、いたずらに長い部分は避け、諸概念の形成に決定的な影響を与えたと思われる箇所を抜粋したいと思えます。

〔春学期〕諸概念の中でも、「徳virtue」という概念に注目したいと思えます。この概念は、中国哲学史と同様、西洋哲学史において非常に重要です。というのもこの概念は、単に倫理に関わるのみならず、人間という存在をどのように捉えるかという根本的な問題と密接に関わっているからです。授業では、この問題意識のもとに、徳概念の源流となった古代ギリシャの哲学者から始めて、これと関連させつつ、現代に至るまでの哲学者が徳についてどのように考えてきたかを検討していきます。

〔秋学期〕哲学史上数多くの重要諸概念の成立に寄与

したアリストテレスの著作を取り上げます。もちろん、取り上げられるのは膨大な著作群の一部に限られますが、アリストテレスの考え方がよく分かり、かつ、その後の哲学史における諸概念形成に大きな影響を与えた箇所を抜粋します。また、それらの箇所が付随する諸問題についても適宜解説していきます。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

必要があれば、授業中に紹介しますが、高校時代の「倫理」の教科書があれば、捨てないで持っていてください。

哲学a (春学期) / 哲学b (秋学期)

哲学 (通年)

「ギリシア哲学からの哲学入門」2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

納富 信留

【授業科目の内容】

【春学期分】今日様々な問題をかかえる世界・社会において、私たち人間がいかに生きるべきかを考える原点として、哲学(フィロソフィア)の重要性がますます大きくなっている。哲学とは、言うまでもなく自分でものを考えることで成立するが、何でも好きなように考えればよいというわけではない。それでは、「哲学」とは何か？ 哲学の論理、問題、概念、方法、ものの見方を積み重ねてきた西洋の長い歴史を振り返りながら、哲学の基本的な訓練を行なうことを目標とする。

本講義では、春学期に哲学へのイントロダクションと、古代ギリシアの哲学者プラトンの検討を行ない、秋学期には、それを受け継いだ近現代の何人かの哲学者の著作を取り上げる。

【秋学期分】今日様々な問題をかかえる世界・社会において、私たち人間がいかに生きるべきかを考える原点として、哲学(フィロソフィア)の重要性がますます大きくなっている。哲学とは、言うまでもなく自分でものを考えることで成立するが、何でも好きなように考えればよいというわけではない。それでは、「哲学」とは何か？ 哲学の論理、問題、概念、方法、ものの見方を積み重ねてきた西洋の長い歴史を振り返りながら、哲学の基本的な訓練を行なうことを目標とする。

本講義は、春学期に論じたプラトン哲学を踏まえて、秋学期に近現代の何人かの哲学者(デカルト、ニーチェ、カント、ウィトゲンシュタインなど)の著作を取り上げる。

【教科書】

【春学期分】納富信留著『プラトン』NHK出版、プラトン著『ソクラテスの弁明ほか』中公クラシックス(この2冊は春学期に使用するので、各自で準備しておくこと。使い方は、授業時に指示する)

【秋学期分】指定する数冊の哲学書を、参加者は各自が購入しておくこと(春学期の終わりに指示する)。

【参考書】

【春学期分】納富信留著『ソフィストと哲学者の間』名古屋大学出版会、その他は授業時に紹介する。

【秋学期分】授業時に紹介する。

哲学a (春学期) / 哲学b (秋学期)

哲学 (通年)

「哲学的な問題とその考え方」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

福田 敦史

【授業科目の内容】

「哲学とは考えることである」と言われることがあります。しかし、とにかく何でもいから考えていけば哲学と見なせるわけではなく、哲学的な考え方というものがあるように思われます。この哲学的な考え方を修得する一番の方法は、これまでいろいろと議論されてきた哲学的な問題について考えてみることでしょう。そこで授業では、いくつかの具体的な哲学的問題をとりあげ実際に皆さんに考えてもらいます。取り上げる予定の問題は、1) 時間や時間の流れを理解するとはどういうことなのか、2) ある時点における人物と別の時点における人物が同一の人物であることを、どのような根拠に基づいて判断するのか、3) 「心」と「身体」の関係はどうなっているのか、4) 私たちの自由な行為や責任とはどのようなものであるのか、といったものです。また、できるだけ授業中に機会を設けて、こうした哲学的問いに関する皆さんの意見や疑問を書いてもらいます。書いてもらった皆さんの考えを紹介し、更に検討することも交えたいと考えています。

哲学に関する予備知識は必要ありません。問題やその背景を説明しますので、皆さんは自分でしっかりと考えて下さい。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

トマス・ネーゲル著『哲学ってどんなこと?』昭和堂(1993年)、野矢茂樹著『哲学の謎』講談社現代新書(1996年)他にも参考書はその都度紹介します。

哲学a (春学期) / 哲学b (秋学期)

哲学 (通年)

「近代哲学入門」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

町田 一

【授業科目の内容】

ライプニッツの『人間知性新論』を読む。参加者の発表を必須とする。

【教科書】

テキストを配布する。

【参考書】

授業時に指示する。

哲学a (春学期) / 哲学b (秋学期)  
 哲学 (通年)  
 「物的世界における心のあり方」2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【文経法政商医理】 室田 憲司

【授業科目の内容】

哲学にはさまざまな側面がありますが、この講義では特に、その論証的な側面を強調します。こうした立場から、世界の一般的なあり方について、なかでも、物的世界における心のあり方について考えていきたいと思えます。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布する予定です。

【参考書】

必要に応じて授業中に紹介します。

哲学a (春学期) / 哲学b (秋学期)  
 哲学 (通年)  
 「哲学的世界への誘惑」 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【文経法政商医理】 山崎 達也

【授業科目の内容】

哲学することの第一歩は、身近なことに驚くことから始まります。ふだん当たり前だと思っていることを不思議に感じたりすると、今まで経験していたのとはまったく異なった世界が開けてきます。世界は謎に包まれます。謎は問いとなり、それを解いていくにつれて、私たちは世界の深みにはまっていくのを覚えます。でもこれって結構楽しいものなのです。本講義の目的の一つは、哲学することの楽しさを味わうことです。

それからさまざまな問いを皆さんといっしょに考えていきたいと思えます。たとえば、時間とは何か、存在とは何か、そしてわたしたちは何をどのように知るのか。あるいは生と死、そして神についての問い。このような問いをとともに考えていくことによって、哲学的世界での遊戯を楽しんでいきたいと思えます。

【教科書】

特に指定しません。プリントを配布します。

【参考書】

授業中に紹介します。

天文学a (春学期) / 天文学b (秋学期)  
 天文学 (通年)  
 「宇宙の中の人間」 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【文経商理】 加藤万里子

\*理工学部生は履修できません

【授業科目の内容】

宇宙は波瀾万丈で、ダイナミックな出来事に満ちている。私たちはなぜ地球に生まれたのか、宇宙の中で地球

と人間のおかれた位置を明らかにすることがこの講義の目的である。まず、宇宙観が歴史的にどのような変遷をとげたかを見る。アリストテレスの宇宙から、現代のビッグバン宇宙にいたるまでのいろいろな発見と試行錯誤の歴史に注目したい。宇宙は高温高密度の大爆発で始まり、次第に冷えていく中で、銀河や星ができた。星はいまでも生まれている。星は核融合反応のエネルギーで光っており、最後には超新星爆発など劇的な現象を引き起こす。そのとき星の中にあつたいろいろな元素が宇宙にまき散らされる。太陽系には地球型惑星と木星型惑星がある。地球型惑星は岩石と金属からなる星で、わたしたち生物はそこで生まれて進化してきた。からだを作っている元素は、むかし星の中心部で核融合反応により作られたものである。太陽系で起こったことは、宇宙のどこかでもやはり起こった可能性がある。宇宙のどこかにいるかもしれない知的生命とめぐりあうことはあるのだろうか。

グループ発表や絵本製作を行うので、初回の講義に出て説明をうけること。過去の履修者が作成した絵本は<http://sunrise.hc.keio.ac.jp/mariko/astro.html>にある。

【教科書】

加藤万里子著『新版 100億年を翔ける宇宙』恒星社

21世紀の実学 2単位 秋学期

【文経商】 (コーディネーター)小宮 英敏  
 瀧本佳容子

【授業科目の内容】

社会に対する自主的関心と豊かな発想をもってつねに新しい課題に取り組み、大学で体得した科学的態度と教養を積極的に問題解決に適用できる人物を社会に送り出すことはわれわれ教員の目標とするところである。このような実学の精神を具現化し実社会で指導的役割を担っている先輩には枚挙にいとまがないが、この授業はこれらの人々の力を借り展開される。

各回の授業に実社会で活躍している方々を講師として招きオムニバス形式の講義を展開する。そこでは、実社会で指導的役割を果たすとはどういうことなのか、社会に出て実学の精神を実践するためには学生時代いかに過ごすべきかなど、先輩の立場から話してもらい、大学における勉学の意味を積極的に考える機会を諸君に持ってもらおうと思っている。各回異なる講師による講義が展開されるため具体的な講義内容は多岐にわたることになるが、大学初年級の君達が有意義な大学生活を送れることを目標にして、実社会での成功あるいは失敗の経験から得られた講師の知恵に基づいて講義がなされることは共通している。

日本の政治

「現代日本の政治過程」 2単位 春学期  
 【経商医理】 水戸 克典

【授業科目の内容】

周知の通り、わが国の憲法では主権在民がうたわれて

います。しかしながら、実際に誰が政治の実権を握り、政策を決定しているかについては、ほとんどの国民にとって闇の中にあるといっても過言ではありません。

本講義では具体的事例を取り上げながら、日本政治についていわれている様々な特質を解説し、わが国における政治力学を多面的に検討していきます。

【教科書】

授業中に適宜指示します。

【参考書】

授業中に適宜指示します。

比較文化論a（春学期）／比較文化論b（秋学期）  
比較文化論（通年）

2単位 春学期／秋学期

4単位 通年

【文経商医】

コーディネーター 石井 康史

溝部 良恵 佐谷眞木人

田代 真

【授業科目の内容】

「自己」と「他者」を主題にした昨年度に続き、今年度は「外国」「外国人」、「異邦」「異邦人」、さらには「外国性」「異邦性」が各文化の中でどのように表象されているかを分析することを通じて、それぞれの文化の特性を描写・検討します。

文化は国籍によって単純に分類できるものではありません。また文化を考える上で、「外国」とはいったい何かを批判的に検討することはよりいっそう現在の課題になっているとも言えるでしょう。自文化・異文化が国籍の問題ではなく、むしろ環境に対する自己規定とコミュニケーションの問題であるとすれば、「外国」「異邦」の文化表象は、ひとつひとつの文化システム内におけるコミュニケーション形式と内容の問題に明確な輪郭を与えてくれるはずです。

講義は石井、溝部、佐谷、田代の順で担当し、石井はメキシコを訪れた欧米人たちによる文化表象、溝部は日本と中国それぞれが他方を文学・映画でどのように描いてきたか、佐谷は日本文学における外国イメージ、田代は小説・映画における文化の異邦性と混淆の問題を、順番に論じます。

「メキシコを愛した異邦人たち」石井康史

19世紀末から1910年の革命をへて今日に至るまで、メキシコは欧米の知識人・芸術家を多く魅きつけてきました。メキシコを訪れたりそこに腰をすえたりした彼ら・彼女らは、いわば自ら進んで「異邦人」になることを選択するのです。こうした外国人たちはメキシコをさまざまに表象し、その結果メキシコという記号は特権的な存在にすらなってゆきました。映画、写真、文学の3分野について考察しますが、映画作家では第二次大戦前の前衛から戦後の娯楽映画までを、写真ではヨーロッパから革命前に到来した先端技術者から両大戦間期の写真家たちまでを、文学ではイギリス、フランス、アメリカ合衆国から、それぞれ20世紀にメキシコを訪れて長期間滞在

し、メキシコを主題とする作品を書いた人々を取り上げます。エイゼンシュテイン、ブニュエル、ストランド、カルティエ＝ブレッソン、ロレンス、ブルトン、アルトー、ケルアックといった人名リストだけからも、メキシコに魅かれた人々の多様さがうかがえます。本講義では誰が、いつメキシコにやってきて、何を見、何を書き／描き、何を残して行ったのかを、伝記的事実を参照しつつ作品を見て／読んで検討し、＜外国人による20世紀メキシコ＞という文化表象の輪郭を描き出すことを目指します。

「日中文学、映画に描かれた日本人、中国人」溝部良恵

周知の通り、日本と中国は有史以来、政治的文化的に密接な交流を行ってきた。しかしその関係は、時代によって様々な異なる様相を示してきた。近代以前中国は専ら先進文化の供給者であり、日本は韓国など周辺諸国とともに、その受容者であった。しかし近代以降その関係は変化し、とりわけ昨今は中国の改革開放政策により、日中の交流は益々盛んになっている。例えば村上春樹氏の最新作『アフターダーク』では、主人公は大学で中国語を学び、北京への留学を控えた大学生である。あるいは中国の若手女流作家衛慧の最新作『我的禅』では、ニューヨークに暮らす中国人の女性の恋人として、日本人男性が登場する。そこで本講義においては、小説や映画などにおいて、中国人がどのように日本人を描いてきたのか、また日本人は中国人をどのように描いてきたのか、そしてそれぞれが時代の影響をうけてどのような変容をとげてきたのかを考察してみたい。

「日本文学における『外国』イメージ」佐谷眞木人

「外人」「外車」という言葉があるように、日本人には、「外」のものを一括りにして、一定のイメージを付与するという傾向があります。それは同時に自己イメージの反映でもあります。近代以前の社会においては、「和」のイメージは中国文化の「漢」との対比において、把握されてきました。近代以降においては、「漢」が「洋」に置き換わります。そして、ヨーロッパ・アメリカを中心とした外国の文化は、「洋」としてまとめられ、「和」とは比較対照可能なもの、対照的なもの、全く相容れないものというイメージが付与されてきました。そこには、「外」の文化が自国の文化とは際立って異質であると想定されることが、かえって受容されやすさと結び付くという、転倒した文化理解が存在します。この授業では古典から近代にいたる文学作品の分析を通して、外国のイメージがどのように形成され、受容されたかについて考えてみたいと思います。それは同時に、日本文化の特質についても考えることになるでしょう。

「混淆（ハイブリッド）の文化、混淆＝混血（ハイブリッド）の表象」田代 真

映画と小説における異邦性と混血の表象を通じて、文化の混淆性を考えてみたい。例えば、日本映画においてもっとも日本的なジャンルだと思われる「時代劇映画」でさえ、代表的な時代小説家山本周五郎いうところ

の「髷をつけてた現代人の物語」を原作とし、「剣戟＝チャンバラもの」として、ハリウッドの「スワッシュバックラー」の書き換えを起源としており、すでにハイブリッドなものといつてよい。他方、近代に至るまで、文化レヴェルでのナショナリズムは、「異邦」(洋の東西を問わず)や「歴史的神話的過去」といった非在の鏡に自らの欲望を(混淆ゆえに歪んだかたちで)投影することによって形成されてきた。例えば、はるか「濱松中納言物語」から「国姓爺合戦」を経て少女漫画や宝塚の「ベルサイユのバラ」にまでみられる、そうした異邦性の働きはどのようなものなのか? 異邦性と植民地とはどのように関わるのか? 混淆＝混血(ハイブリッド)という概念を手がかりにその規定をあえて拡大して考えることによって、以上のような問題圏を各回のトピックのうちを探ってみる予定である。各トピックは現段階の暫定的なものなので取り上げる順番や内容の変更もありうる。私の担当分の初回の授業で詳しい内容を説明する。

東アジアの中の近代日本 2単位 春学期  
 【文経法政商】 太田 昭子 他

【授業科目の内容】

この講義は東アジアというパースペクティブから近代日本の対外関係・思想史などを論じることを目指しています。東アジア(主に中国)の近代日本に対する評価を盛り込むことにより、日本側の視点を基軸にした従来の近代日本研究より幅広い議論を学生に提供する予定です。法学部を中心に、文・経・商学部の教員、外部講師がオムニバス形式で各1～2回講義を担当します。予定されているテーマの一部を以下に紹介します。

- ・日本の「開国」再検討
- ・近代日本と上海
- ・中国の視点から見た「脱亜入欧」「日清日露戦争」
- ・中国人の日本認識 孫文・蒋介石・毛沢東・鄧小平を中心に
- ・日・中・台における歴史教育の比較 中学・高校の歴史教科書を手がかりに

尚、この講義は経済学部が福澤研究センターの協力を得て2004年度秋学期から開講している「近代日本と福澤諭吉」の導入となるような授業として計画されたものでもあり、教養研究センターの協力も得ています。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを随時配布します。

【参考書】

講義担当者が随時配布するプリントなどの中で紹介する予定です。

美術a(春学期) / 美術b(秋学期)

美術(通年)

「江戸時代後期の絵画」 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【文経法政商医理】 金子 信久

【授業科目の内容】

江戸時代後期、18世紀から19世紀の半ばにかけての絵画史を取り上げます。この時期は、美術作品の制作者層や享受者層の拡大、個性の表現、科学的な観察眼に基づく写実的な描写など、絵画芸術の基盤において、さまざまな新しい動向が現れた時代でした。また、古代から現代に至る日本の美術史の中でみれば、中世・近世的なものから近現代へと展開する、非常に大きな変化の時期といえます。近年、近代や現代の美術に関心を持つ向きが高まっているように見受けられますが、日本の近代以降の美術を知るうえでも、江戸時代後期の美術は、重要な視点を与えてくれるものでしょう。そのような意図もあり、授業では、当該時期以外の美術との関連なども常に意識しながら、この時期の絵画芸術の歴史と特質についてみていきたいと思ひます。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

その都度紹介します。

美術a(春学期) / 美術b(秋学期)

美術(通年)

「スペイン美術史」(春学期) 2単位 春学期 / 秋学期  
 「スペイン近現代美術史」(秋学期) 4単位 通年

【文経法政商医理】 木下 亮

【授業科目の内容】

春学期分

16世紀から19世紀のスペイン美術史を、エル・グレコ、ベラスケス、ゴヤを中心に概観する。またスペイン美術史の特徴を理解するために、スペインと他のヨーロッパ諸国との美術における影響関係についても適宜ふれていきたい。

秋学期分

19世紀初めに開館したプラド美術館について考察したのち、19・20世紀のスペイン美術を、ガウディ、ピカソ、ダリを中心に概観する。スペインが影響を受けた他のヨーロッパ諸国の前衛芸術との関係についても適宜ふれていきたい。

【教科書】

なし。

【参考書】

講義のなかで紹介する。

美術a（春学期）／美術b（秋学期）  
美術（通年）  
「20世紀の美術」 2単位 春学期／秋学期  
4単位 通年  
【文経法政商医理】 近藤 幸夫

【授業科目の内容】

20世紀美術史の講義です。

内容としては、今世紀初頭のパリにおいて美術にどのような革新がおこったかマティス、ピカソなどを中心に考えます。

この講義では近・現代美術を見る上での基本的な知識の習得を目的としますので、時系列的に出来事の脈絡を考えたり、重要作品や語句を暗記することが求められます。あえて教科書は使用しませんが、各自が積極的に関連文献を調べ、開催中の展覧会をみて実際に作品と接することを望みます。

【教科書】

ありません。

【参考書】

適宜、授業中に参考文献を挙げます。

美術a（春学期）／美術b（秋学期）  
美術（通年）  
「日本の仏教美術」 2単位 春学期／秋学期  
4単位 通年  
【文経法政商医理】 塩澤 寛樹

【授業科目の内容】

本講は、日本美術の中でも最も主要なジャンルである仏教美術を学習の中心に据え、その中でも古代から近世に至るまで連綿と通史的に流れを追うことが可能で、かつ各時代を通じて豊富な作例に恵まれている仏教彫刻史を中心にして日本美術史をたどり、それを通して日本美術の特質の一端を理解しようとするものである。また、美術史は背景としてその当時の政治・経済状況や宗教事情などとも密接にかかわっており、こうした周辺分野についても触れながら幅広い視点での把握を目指す。

そのうち、ここでは飛鳥時代から平安時代前期までを扱う。

【教科書】

特に定めない。ただし、授業計画に即して項目ごとに、プリントを配布する。

【参考書】

佐和隆研著『仏像図典』吉川弘文館、『仏教美術事典』東京書籍

美術a（春学期）／美術b（秋学期）  
美術（通年）  
「イタリア・ルネサンスの絵画」2単位 春学期／秋学期  
4単位 通年  
【文経法政商医理】 末吉 雄二

【授業科目の内容】

美術や音楽を理解し愛好するのは、その人の感性の問題だと思われがちで、残念ながら、日本社会の指導的な立場に居りながら「私は美術は全くわからない」と言っていて恥じない者も少なくない。しかし、傑作であるかいかを問わず、芸術作品一点には、それを産出し・受容し・保持してきた社会と個人の価値観（制度・思想）が結晶しているのであって、それを理解するのはきわめて知的な営みなのである。美術作品を知って楽しむことは、知性と感性をバランスよく育むことができた者の特権なのである。この授業はこのような観点に立ってルネサンス絵画を鑑賞するための「入門講座」である。

【教科書】

特に指定しないが、限られた授業時間内に多数の作品を紹介することは困難なので、各人が美術全集などできるだけ多くの作品を「見る」ようにしてほしい。ヨーロッパの「歴史」および「キリスト教信仰」が深く関わってくるので、各自勉強してほしい。講義の資料は授業の際に配布する。

【参考書】

聖書とギリシア・ローマ神話に関しては解説書が各種あるが、美術作品の主題を知るためには『西洋美術解説辞典』（河出書房新社）が便利。『黄金伝説』（人文書院）、『キリスト教大事典』（教文館）などにも目を向けてほしいが、文化史としては『イタリア・ルネサンスの文化』（J・ブルクハルト著）が「ルネサンス」概念の理解のためには不可欠。『世界美術大全集』、『世界美術大事典』（共に小学館）。

美術a（春学期）／美術b（秋学期）  
美術（通年）  
「イギリスの風景画」 2単位 春学期／秋学期  
4単位 通年  
【文経法政商医理】 杉村 浩哉

【授業科目の内容】

自然とのかかわりを示すイギリスの美術についての講義です。中心となるのは18～19世紀の風景画ですが、新しい形態をとる20世紀以降の美術についても考えます。個々の作品を歴史的脈絡の中でとらえる力を身につけることを目的とします。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業の中で適宜指示します。

美術a (春学期) / 美術b (秋学期)

美術 (通年)

「19世紀美術史概説 (西洋)」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 富田 章

【授業科目の内容】

西欧の19世紀は、社会構造が大きく変化した時代であった。美術の世界にもその影響は及んでいる。美術が広い層に受け入れられるようになったことによって、受容層の趣味が多様化し、その結果、多彩な主題がとりあげられるようになった。このことは、アカデミーを頂点とする美術界の制度にも改変を迫ることとなった。アカデミーにおいては、歴史画を最も価値あるものとする絵画ジャンルのヒエラルキーが厳然と存在していたからである。一方で科学の発展は、人々の生活を一変させた。これは主題の変化を促すと同時に、美術の技術や手法にも変化をもたらした。そして、個人と個性とを尊重する傾向が強まっていったことが、これらの変化を促進することになった。本講義では、19世紀美術の流れを概観しつつ、以上のような主題、手法、制度などにおける変化の様相について検討し、その中で制作された個々の作品の意味について考えていく。20世紀美術に影響を与えたフランスの革新的な傾向の美術を中心に講義を進めるが、保守的なアカデミズムの美術や、ラファエル前派、20人会といった地域性の強い運動についても触れ、19世紀西洋美術の本質と同時にその多様性をも理解できるよう配慮する。

【教科書】

なし。

【参考書】

必要に応じて指示する。

人の尊厳

「社会と人権」 2単位 秋学期

【文経商医】 関場 武 安藤 寿康

【授業科目の内容】

国内外の情勢を眺めたとき、今日ほど人の尊厳の基盤が危機に瀕している時代はない。国際情勢においては民族間の葛藤が、国内においては少年犯罪、同和問題、性差別、児童虐待、さまざまなハラスメントや、いじめなどの諸問題が、また科学の領域では遺伝子情報や生命操作に絡む倫理的危機が、そしてわが心のうちには自分自身の尊厳を見いだすことができずにさまよう一人一人の精神的・思想的危機がある。これらは一見別々の問題のようでありながら、実は互いに連動しあっている。この講義は単なる「知識を得る」ための授業ではない。これら多様な問題に自ら立ち向かっておられるさまざまな分野の専門家に毎回登場いただき、自らの経験や問題状況を語っていただく。それを受けて、学生諸君には、これらの諸問題を考え、さらには自らを振り返り自分自身の考え方や生き方を問い直すきっかけをつかんでほしい。

それが、この講義の目的である。

【教科書】

なし。

【参考書】

授業時に各講師が適宜紹介する。

表象文化論a (春学期) / 表象文化論b (秋学期)

表象文化論 (通年)

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経商医】 コーディネーター 小瀧 昭夫  
石井 康史 林 栄美子  
藤崎 康

【授業科目の内容】

「映画制作の見地から映画を観る」小瀧 昭夫  
1895年リュミエール兄弟がパリのグランカフェでスクリーンによる映画上映会を行ってから、今年110年になります。その間、無声からトーキーへ、モノ黒からカラーへ、8mmから16mmそして35mmの撮影機へ、フィルムからデジタルへと目覚ましい進歩を遂げましたそうした技術の進歩とは裏腹に真に感動をもたらす映画制作のいるはをを考えて行きます。

「日本の話芸 講談」石井康史

講談は基本的に音声言語による叙事詩パフォーマンスであり、かつ映画登場以前の重要なマスコミュニケーション・メディア、19世紀から20世紀初頭にかけて日本のエンターテインメント主要ジャンルのひとつでした。

全盛期の講談演目は江戸時代に対するノスタルジーという主題、文明開化あるいは自由民権といった近代化の主題、その両方を含んでいます。そもそも武士階級の必修科目だった『太平記』や『平家物語』『太閤記』、また『大岡裁き』『鼠小僧』『赤穂義士伝』(いわゆる忠臣蔵)あるいは『清水次郎長伝』やニュース解説、さらに『三国志』『岩窟王(モンテクリスト伯)]といった海外文学にいたるまでを、民衆は講釈場で「勉強」したのです。子供たちが義務教育で文字を学ぶ一方、文字を知らぬその親たちは講談を聞くことによって「歴史」や「近代」を吸収しました。

教育史の観点からも、日本の「近代文学」や近代化の問題そのものを考える上でも、講談は大変重要な分野です。6回の授業を通じて出来るだけ代表的な録音を聞き、講談の歴史、演技、演者、さらに落語や浪曲との差異といった事項に関する基本的知識を身につけ、少なくとも思考対象にすることができるようになってほしいと思います。

聴衆の存在を前提としたパフォーマンス・アートとしての講談は、ライブで聞かれるべきものでもあります。教科書は特に指定しませんので、その分、学期中にぜひ一度講釈場へ出かけてください。

「写真への接近」林栄美子

人間が手にした最初の「映像」である写真は飛躍的な進歩をとげ、今や写真を撮り、撮られるという体験は日常化し、無数の写真に取り巻かれて我々は生きている。

氾濫する写真は我々の世界の捉え方にまで多大な影響を与えている。写真の歴史を大まかにふりかえりつつ、今日的な写真の問題を具体的にとりあげながら「写真とは何か」を考えていく。

「映画史の名作を奪還せよ！」あるいは“あなたに映画を愛しているとは言わせない” 藤崎 康

ヒッチコックや小津安二郎すら知らない若い人がふえてしまった。まあそれは、「時」の風化作用であるゆえ、致し方なかろう（「知の崩壊」なんてコワイこと言う人もいるが）、が、だからこそ今、ヒッチや小津を、あるいは森一生を（きみはあの美しい『薄桜記』を観たか！？）、ジョン・フォードを（きみはあの崇高な『捜索者』を観たか！？）、黒沢清を、山中貞雄を、ニコラス・レイを、カール・ドライヤーを「発掘」せねばなるまい。授業では、映画をビデオなどで紹介し、あわせて、映画史、撮影技法、演出などについて超ディープな講義をする。質問、相談は教室で受けつける。参考書等についても教室で言及する。単位だけ取ればよい、というスーパーフラットな（つまり ー）学生は歓迎しない。成績評価方法は試験。

【教科書】

（小淵 昭夫）

授業中に沢山のビデオを紹介します。

（石井 康史）

指定なし。

（林 栄美子）

なし。

【参考書】

（石井 康史）

阿部主計『伝統話芸・講談のすべて』雄山閣1999年、菊池真一編『講談資料集成』（全3巻）和泉書院、2001 - 2004年

（林 栄美子）

授業中に紹介する。

物理学（実験を含む）/

物理学（実験を含む）(春学期分)

「量子力学と原子」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

青木健一郎

【授業科目の内容】

原子論は古代ギリシアからありましたが、原子が存在するかどうかは19世紀の大論争の主題でした。原子の存在を確かめ、その構造を理解したのは物理学の 20世紀における一番大きな功績と言えるかも知れません。現実の世界は原子論なしでは物理的に理解することはできません。この講義では、量子力学の考え方を理解し、原子論的物質像、そして原子の構造を理解することを目的とします。現在でも量子力学の基礎的な分野や量子コンピューターの研究が行われていることからわかるように、量子力学は奥深く、おもしろい分野です。

最先端の素粒子物理と超弦理論での究極的な物質像についても考えます。

講義と実験を隔週ごとに行います。実験は簡単なものばかりなので恐れることはありません。実験から結果をどのような過程を経て導くかを体験して初めて自然科学における「事実」とは何かを理解できると思います。

物理の本質は「なぜ」という問題に答えるところだと思います。理屈だけではなく、その理論の実験的根拠を理解することを重要視して講義を進めます。

【教科書】

実験の教科書：「物理の実験」 慶應義塾大学日吉物理学教室編。

講義の教科書：特にありません。

【参考書】

テーマごとに紹介します。

物理学（実験を含む）/

物理学（実験を含む）(秋学期分)

「宇宙物理と相対性理論」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

青木健一郎

【授業科目の内容】

人類の宇宙に対する強い興味は有史以来、あるいはそれ以前からのものですが、宇宙の理解は 20世紀にもっとも大きく変わったもののひとつでしょう。19世紀には銀河の存在さえも確立されていませんでした。講義では現在の宇宙像をその根拠となる観測の持つ意味とともに理解することを目的とします。宇宙がどのように変化しているのか？ 星の構造、そしてブラックホールは何なのか？といったトピックを扱います。

相対性理論は 20 世紀初めに Einstein が作った宇宙物理とも関連が深い考え方です。講義では相対性とは何か、そしてそれを特殊な場合、一般の場合に適用するとはどういうことなのかを理解します。相対性理論が物理現象にどのように具体的に反映されているかも解説します。

【教科書】

実験の教科書：「物理の実験」 慶應義塾大学日吉物理学教室編。

講義の教科書：特にありません。

【参考書】

テーマごとに紹介します。

物理学（実験を含む）/

物理学（実験を含む）(春学期分)

「ニュートン力学とアインシュタインの世界」

3単位 春学期

6単位 通年

【文経法政商】

一ノ瀬祥一

【授業科目の内容】

自然の営みは太陽や星の運行を眺めれば明らかのように理路整然と行われている。17世紀後半ニュートンはそれらの運動の法則を明らかにいたしました。現代物理学ではアインシュタインの天才的発想のおかげでスケールのさらに大きい宇宙を論ずることができます。時間・空

間についての革新的な考え方・取り扱いを学びます。この自然界の現象はどのように規定されているのでしょうか？それを学びます。

隔週で物理基礎実験を行います。地球の引力の強さや音の伝わる速さなどの基本的物理量の測定です。

高校数学の基礎的事項は使います。高校で物理を取らなかった者に配慮いたします。

【教科書】

表實著『物理学』慶應義塾大学出版会、慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』

物理学（実験を含む）/  
物理学（実験を含む）(秋学期分)

「原子の世界と宇宙の姿」 3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】 一ノ瀬祥一

【授業科目の内容】

原子・分子の世界での力の法則は日常生活のスケールでの法則とは異なる。「不確定性原理」や「粒子・波動の二重性」などの通常とはかけ離れた感のある現象がおこります。プランク、ボーア、アインシュタイン等の天才科学者がいかにその難問を解き明かしていったかを展望いたします。一方、宇宙のサイズは約100億光年と言われております。この膨大な宇宙からの実験データが、最近天文衛星等を使い、急速に蓄積されております。宇宙の生い立ちについて春学期で述べたアインシュタイン(相対性)理論を使い解き明かすことができます。

隔週で物理基礎実験を行います。

高校数学の基礎的事項は使います。高校で物理を取らなかった者に配慮いたします。春学期の物理学を履修していることが望ましい。

【教科書】

表實著『物理学』慶應義塾大学出版会、慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』

物理学（実験を含む）/  
物理学（実験を含む）(春学期分)

「時間と空間」 3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】 齋藤 暁

【授業科目の内容】

物理学、は講義と実験実習からなり、これらを隔週ごとに行います。講義の内容は物質の根源である素粒子から膨張する宇宙まで、人間が知り得た物質や時空に関する現在の知識を平易に解説するものです。物理学では相対性理論を中心に、時空についての新しい考え方を紹介します。

一方、実験実習は日常経験する現象の背後に潜む物理学の基本原則を簡単な工夫で自ら体験することを目的とします。2人一組で協力しながら様々な装置を用いて、物理法則は本当に正しいか確認してください。実験することの物理的内容の理解を深めるために、毎回講義の半

分をその解説に当てる予定です。

【教科書】

講義については特に指定しません。実験実習については、慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』をテキストとして使用します。

【参考書】

特に指定しません。

物理学（実験を含む）/  
物理学（実験を含む）(秋学期分)

「物質の究極と宇宙の構造」 3単位 秋学期  
6単位 通年

【文経法政商】 齋藤 暁

【授業科目の内容】

物理学、は講義と実験実習からなり、これらを隔週ごとに行います。講義の内容は物質の根源である素粒子から膨張する宇宙まで、人間が知り得た物質や時空に関する現在の知識を平易に解説するものです。物理学では分子、原子、核子、クォーク・・・と物質の根源に進むと、その先には何があるのか考えます。

一方、実験実習は日常経験する現象の背後に潜む物理学の基本原則を簡単な工夫で自ら体験することを目的とします。2人一組で協力しながら様々な装置を用いて、物理法則は本当に正しいか確認してください。実験することの物理的内容の理解を深めるために、毎回講義の半分をその解説に当てる予定です。

【教科書】

講義については特に指定しません。実験実習については、慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』をテキストとして使用します。

【参考書】

特に指定しません。

物理学（実験を含む）/  
物理学（実験を含む）(春学期分)

「素朴な疑問に答える物理学」 3単位 春学期  
6単位 通年

【文経法政商】 下村 裕

【授業科目の内容】

実験と講義を隔週におこなう授業です。物理学的なものを見方を学ぶことが目標です。実験は、テキスト「物理の実験」にある様々なテーマを二人一組で行います。講義では、誰もがいただく素朴な疑問に対して物理学がどのように答えるのかを解説します。

【教科書】

慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

物理学（実験を含む）/  
物理学（実験を含む）(秋学期分)  
「相対性理論入門」 3単位 秋学期  
6単位 通年  
【文経法政商】 下村 裕

【授業科目の内容】

実験と講義を隔週におこなう授業です。物理学的なものを見方を学ぶことが目標です。実験は、テキスト「物理の実験」にある様々なテーマを二人一組で行います。講義では、物理学でもっとも美しい理論だといわれる相対性理論を、できる限り数式や専門用語に頼らず解説します。アインシュタインによって作り上げられたこの理論は、単純な原理から時間と空間に対する我々の常識を覆します。たとえば「動くものは、長さが縮み、時間の進みかたが遅くなり、質量が増える」などは信じがたい事実です。ビデオ等も援用して、相対性理論の考え方を理解し、その描く不思議な世界(宇宙)を学びます。

【教科書】

慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』、佐藤勝彦監修『「相対性理論」を楽しむ本』PHP文庫(1998年 500円)

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

物理学（実験を含む）/  
物理学（実験を含む）(春学期分)  
3単位 春学期  
6単位 通年  
【文経法政商】 杉本 剛

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週で行います。物理学は、身の回りで起こる自然現象のからくりを謎解きしてくれる学問です。したがって現象そのものの知見がないと、理解するのは難しいでしょう。そこで、二人一組になって実験してもらいます。講義は、なるべく実験のテーマにかかわりがあり、なおかつ、身近でわかりやすい題材を取り上げていきます。

【教科書】

慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』

物理学（実験を含む）/  
物理学（実験を含む）(秋学期分)  
3単位 秋学期  
6単位 通年  
【文経法政商】 杉本 剛

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週で行います。物理学は、身の回りで起こる自然現象のからくりを謎解きしてくれる学問です。したがって現象そのものの知見がないと、理解するのは難しいでしょう。そこで、二人一組になって実験し

てもらいます。講義は、なるべく実験のテーマにかかわりがあり、なおかつ、身近でわかりやすい題材を取り上げていきます。

【教科書】

慶應義塾大学日吉物理学教室編『物理の実験』

物理学（実験を含む）/  
物理学（実験を含む）(春学期分)  
「物理と技術」 3単位 春学期  
6単位 通年  
【文経法政商】 諸隈 之彦

【授業科目の内容】

授業は、隔週で講義と実験を交互に行います。実験は2人1組で行い、教科書として日吉物理学教室編「物理の実験」を使用します。講義は、実験に関連して物理法則が確立していく過程を歴史を追って説明します。さらに秋学期の「物理学」へ続くものとして我々の生活に深く関わっている技術を取り上げ、技術の根底にある物理法則などを含めて解説します。

【教科書】

日吉物理学教室編『物理の実験』

物理学（実験を含む）/  
物理学（実験を含む）(秋学期分)  
「物理と技術」 3単位 秋学期  
6単位 通年  
【文経法政商】 諸隈 之彦

【授業科目の内容】

授業は、隔週で講義と実験を交互に行います。実験は2人1組で行い、教科書として日吉物理学教室編「物理の実験」を使用します。講義は「物理」に続けて、我々の生活に深く関わっている技術や環境問題を取り上げ、それらの根底にある物理法則などを含めて解説します。

【教科書】

日吉物理学教室編『物理の実験』

物理学（実験を含む）/  
物理学（実験を含む）(春学期分)  
「力学的な現象を通して物理の基本法則を理解する」 3単位 春学期  
6単位 通年  
【文経法政商】 吉澤 徹

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週に行う授業です。講義では、高校で学習した物理の初歩的な知識の復習から始め、物理現象、特に日常現象や自然現象における力学的な面に注目して物理的思考方を直感的に理解することをめざします。実験では、や無理数の大きさを評価するモンテカルロ法や気体1モル(22.4リットル)中の分子数(アボガドロ数)の測定など興味深いテーマを通して実験手法を学びます。

【教科書】

講義 特にありません。

実験 慶応義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験」

【参考書】

特にありません。

物理学（実験を含む）/

物理学（実験を含む）(秋学期分)

「電磁気的な現象を通して物理の基本法則を理解する」

3単位 秋学期

6単位 通年

【文経法政商】

吉澤 徴

【授業科目の内容】

講義と実験を隔週に行う授業です。講義では、物理学を履修しない学生を考慮し、力学関連事項の簡潔な説明から始めます。物理現象、特に日常現象や自然現象における電磁気的な面に注目して物理的考え方を直感的に理解することをめざします。実験では、摩擦熱や電子の電荷の測定などの興味深いテーマを通して実験手法を学びます。

【教科書】

講義 特にありません。

実験 慶応義塾大学日吉物理学教室編「物理の実験」

【参考書】

特にありません。

文学 / 文学（春学期分）

「アフリカ系アメリカ人の歴史と文学」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

秋学期担当 朝比奈 緑

竹内美佳子

【授業科目の内容】

民主主義国家アメリカは、奴隷制度という大きな矛盾を抱えて歴史を歩み始め、奴隷解放後も一世紀にわたって差別制度を温存し続けた。本授業では、アメリカの理念の実現を求めるアフリカ系アメリカ人の闘いの歴史を概説しながら、文学者の創造力がいかに政治性をもって歴史と関わってきたかを考察する。

【教科書】

プリント。

【参考書】

本田創造著『アメリカ黒人の歴史』岩波新書、大谷康夫著『アメリカの黒人と公民権法の歴史』明石書店

文学 / 文学（秋学期分）

「アメリカの詩を読む」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

春学期担当 竹内美佳子

朝比奈 緑

【授業科目の内容】

できるかぎり、対訳のかたちで紹介する。

アメリカの歴史や文化を、詩というジャンルから読み解いていきたい。また可能なかぎり、CDやビデオを用いて、詩人の生の声を味わい、詩の言葉の魅力そのものを伝えたい。

【教科書】

プリントによる。参考書も授業時にリストを配布する。

【参考書】

プリントによる。参考書も授業時にリストを配布する。

文学a（春学期）/ 文学b（秋学期）

文学（通年）

「舞踊論」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

石井 達朗

【授業科目の内容】

現代における様々な舞踊表現・身体文化を考察する。シャーマニズム、祭祀、民族舞踊からモダンダンス、舞踏、ポストモダンダンス、コンテンポラリーダンスまで。身体表現とセクシャリティの領域も含む。

【教科書】

石井達朗著『アジア、旅と身体のコスモス』（青弓社）を春学期に、石井達朗著『アクロバットとダンス』（青弓社）を秋学期に使う。

【参考書】

石井達朗著『男装論』青弓社

石井達朗著『異装のセクシュアリティ』新宿書房

元燦子著『土方巽とともに』筑摩書房

土方巽著『病める舞姫』白水社

ロデリーク・ラング著『舞踊の世界を探る』音楽之友社

イサドラ・ダン＝カン著『芸術と回想』富山房

海野弘著『モダンダンスの歴史』新書館

市川雅著『ダンスの20世紀』新書館

マーサ・グレアム著『血の記憶』新書館

ダンスマガジン編『ダンス・ハンドブック』新書館

文学a（春学期）/ 文学b（秋学期）

文学（通年）

「文学と社会」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

内田 保廣

【授業科目の内容】

文学作品の受容と社会形成力について日本古典文学を中心に講義する。文学作品は、登場人物のように生きたいと思わせる力があり、人々の行動や思考に雛形を与える。その様相を作品に沿ってたどって見る。

【教科書】

プリントを用意する。

【参考書】

授業中に指示する。

文学 / 文学 (春学期分)

「フランス文学 (フランス象徴主義を読む)」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

大出 敦

【授業科目の内容】

本講座では、19世紀末に勃興したフランスの象徴主義について文学を中心に解説します。春学期では、象徴主義という文学運動はあるひとつの理念にしたがってまとまったものではなく、多様な要素が渾然一体となっているので、まず象徴主義とは何か、という問題から出発し、象徴主義の歴史を概観し、マラルメ、ランボー、ヴェルレーヌなどの作品を通じてそこに見られるさまざまなテーマを解説します。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

『マラルメ全集』(第 - 巻) 筑摩書房、宇佐美育訳  
『ランボー全詩集』 筑摩文庫、ユイスマンス (澁澤龍彦訳) 『さかしま』 河出文庫、阿部良雄訳 『ボードレール全詩集』 筑摩文庫、古屋健三・小瀧昭夫編 『19世紀フランス文学事典』 慶應義塾大学出版会、宇佐美育編著 『象徴主義の光と影』 ミネルヴァ書房

文学 / 文学 (秋学期分)

「フランス文学 (フランス象徴主義を読む)」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

大出 敦

【授業科目の内容】

本講座では、春学期に引き続き、19世紀末に勃興したフランスの象徴主義について文学を中心に解説します。春学期では、象徴主義の定義、特性、歴史などを概観しましたが、秋学期は、象徴主義の作品を実際に読んでみて、これに関連する絵画・音楽・演劇などの芸術分野や社会現象などとの関連を探ります。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

『マラルメ全集』(第 - 巻) 筑摩書房、宇佐美育訳  
『ランボー全詩集』 筑摩文庫、ユイスマンス (澁澤龍彦訳) 『さかしま』 河出文庫、阿部良雄訳 『ボードレール全詩集』 筑摩文庫、古屋健三・小瀧昭夫編 『19世紀フランス文学事典』 慶應義塾大学出版会、宇佐美育編著 『象徴主義の光と影』 ミネルヴァ書房

文学a (春学期) / 文学b (秋学期)

文学 (通年)

「シェイクスピア講義」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

小菅 隼人

【授業科目の内容】

ウィリアム・シェイクスピア (1564~1616) の生涯・時代背景を概観した後に、いくつかの劇作品を題材に、最終的にその演劇美としての価値を探る手掛かりを与えることを目的として講義をおこないます。

今日、シェイクスピアの作品は様々な芸術分野にモチーフを提供する一方、英語圏のみならず他の国々の文化にも浸透しつつあります。その意味で、彼の劇作品は文化的背景を異にする人々が芸術・思想を語り合う上での「共通言語」と言えます。同時に、シェイクスピアの作品が400年たった今日でも現代芸術としての力を持っているという事実は彼の作品が比類ない美的価値を持っていることを示しています。したがって、この講義では、基本的な知識を伝達するとともに、シェイクスピアの演劇美としての価値を分析的に考える方法を講じます。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

小菅隼人編著『腐敗と再生』 慶應義塾大学出版会 (2004年 4200円)

小菅隼人他訳『ベスト・プレイズ』 白凰社 (2000年 4500円)

文学a (春学期) / 文学b (秋学期)

文学 (通年)

「『ファウスト』の世界に遊ぶ」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

小林 邦夫

【授業科目の内容】

ヨハン・ヴォルフガング・フォン・ゲーテ (1749-1832) が著した不朽の名作「ファウスト」を、一年間かけてじっくり読んでゆきたい。「ファウスト」が問題として提起する事柄は、現代とも直結する、普遍的な価値を持っている。「ファウスト」が世界文学の一つと呼ばれている所以である。そこは座右の銘ともなることばにあふれ、まさに「名言集」の感すらある。また、ビデオによる演劇としての「ファウスト」の鑑賞も行う。

【教科書】

高橋 義孝訳『ファウスト』(第一部、第二部 計2冊) 新潮文庫

【参考書】

柴田翔著『ゲーテ「ファウスト」を読む』 岩波セミナーブック

文学 / 文学 (春学期分)

「ナチズムの表象文化」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

識名 章喜

【授業科目の内容】

1933年5月、政権についたナチスの宣伝大臣ゲッベルスは、「非ドイツ的」とされる書物の焚書という暴挙に出た。ドイツ文学の博士号を持っていた彼が、火にくべた作家・思想家は、ハインリヒ・マン、シュテファン・ツヴァイク、エーリヒ・ケストナー、カール・マルクス、ジークムント・フロイト、ハインリヒ・ハイネ。「ドイツ的」とはたんに「ユダヤ人」ではないことなのか? 「ドイツ的」とは、ナチスにとってどのようなイメージをともなっていたのか? 本講義では、ニーチェの思想を起点にナチ時代の文化全般を視野に入れながら、世界史に類例のないホロコーストという蛮行を行なったドイツ文化の抱える魅力と問題点を論じていく予定です。

【教科書】

授業初回到文献案内を配ります。

文学 / 文学 (秋学期分)

「愛のドイツ文学」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

識名 章喜

【授業科目の内容】

冬ソナとかセカ中とか、昨今の純愛ブームで、恋愛小説花盛りの秋である。そこへいくとドイツ人はどうも愛の世界とは無縁の野暮ったさで目だってしまう。恋愛映画はなんてたってフランスでしょう。しかしである、ドイツ文学の世界に恋愛文学がない、なんてあるわけないでしょう。そう、ゲーテの『若きウェルテルの悩み』から、最近ではシュリンクの『朗読者』まで。ドイツ人もちゃんと愛を語っているのです。残念なことに、ドイツ文学の場合、翻訳が古臭く、現在の読者、とくに若い人たちにピンとこない現状があります。この講義では、当時の社会環境や習慣について補足しながら、ドイツを代表する恋愛小説を紹介していく予定です。

【教科書】

文献案内を配りますから、講義時まで扱う作品を必ず読んでおいてください。

文学a (春学期) / 文学b (秋学期)

文学 (通年)

「近代日本の小説を読む」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

鈴木 啓子

【授業科目の内容】

近代日本の短編小説の講義講読を行います。時代・作者・スタイルの異なる数編の短篇小説をとりあげ、その個別のテキストの精読と鑑賞を通して、小説はいかにし

て読めば面白いのか、我々にとって文学テクストを読むとはいかなる営為かを、具体的・実践的に考察していきます。

【教科書】

授業時間内に随時プリントを配布します。

【参考書】

特にありません。授業の中で紹介します。

文学 / 文学 (春学期分)

「自然・社会・人間の環境に置かれたフランス文学」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

鷲見 洋一

【授業科目の内容】

たんなる浅薄なブランド・イメージを介して捉えられているだけのフランス、あるいはフランス文化について、その「本当の姿」を浮き彫りにすべく、可能な限り多角的なアプローチを試みて、フランス文学とそれを取り巻く諸条件を明らかにする。おそらく、慶応義塾大学で唯一の、フランスについて総合的な理解を可能にしてくれる講義である。

【教科書】

特定の教科書を使わず、毎時間、かなりの量のコピーを配布する。

【参考書】

毎時間、コピーで文献目録を配布する。

文学 / 文学 (秋学期分)

「歴史の中のフランス文学」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

鷲見 洋一

【授業科目の内容】

フランス国、フランス文化、ひいてはフランス文学を、ケルト時代から21世紀に至る歴史の流れの中で捉え直したい。扱うタイム・スパンはきわめて広いので、従来狭い価値評価の物差で測られていた作品や人間が、意外な光の下でよみがえることもあるだろう。

【教科書】

特定の教科書を使わず、毎時間、かなりの量のコピーを配布する。

【参考書】

毎時間、コピーで文献目録を配布する。

文学 / 文学 (春学期分)

「『万葉集』を読む」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

平舘 英子

【授業科目の内容】

日本最古の歌集である『万葉集』を読みます。『万葉集』は文字を持たなかった日本人が中国の文字を借りて日本語を書き表したものです。古代、口誦から記載へと

いう過程にあった『万葉集』初期の作品において、日本人が言葉をどのように意識し、その表現の世界を構築していったかについて学びます。

文学（春学期）で初期万葉の作品を、文学（秋学期）で人麻呂関連の作品を読むことを予定しています。

【教科書】

佐竹昭広、木下正俊、小島憲之著『補訂版 萬葉集本文篇』塙書房（2205円）

【参考書】

坂本信幸、毛利正守編『万葉事始』和泉書院（720円）

文学 / 文学（秋学期分）

「『万葉集』を読む」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 平舘 英子

【授業科目の内容】

日本最古の歌集である『万葉集』を読みます。『万葉集』は文字を持たなかった日本人が中国の文字を借りて日本語を書き表したものです。古代、日本人はことばをどのように意識し、文字に表現し、その表現の世界をひろげていったか、特にことばに意識的であった人麻呂の表現を中心に学びます。

文学（春学期）で初期万葉の作品を、文学（秋学期）に人麻呂関連の作品を読むことを予定しています。

【教科書】

佐竹昭広、木下正俊、小島憲之著『補訂版 萬葉集本文篇』塙書房（2205円）

【参考書】

坂本信幸、毛利正守編『万葉事始』和泉書院（720円）

文学a（春学期）/ 文学b（秋学期）

文学（通年）  
「シェイクスピアと音楽」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 高橋 宣也

【授業科目の内容】

シェイクスピアの世界を、音楽という視点から紹介します。シェイクスピアは音楽と関わりの深い劇作家です。彼の芝居には歌や音楽演奏の場面がたくさん出てきます。そして後の時代の作曲家たちは、シェイクスピアに大いに創作欲を刺激されました。そうして生み出されてきた様々な音楽作品、オペラ、オーケストラ曲、歌曲などを示し、原作と比べながらシェイクスピアの豊かさの一端を伝えたいと考えています。文学と音楽が互いに刺激し合う創造の例を見ることになるでしょう。

文学a（春学期）/ 文学b（秋学期）

文学（通年）  
「シュルレアリスムのことばと造形」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 田中 淳一

【授業科目の内容】

20世紀におびただしく登場した前衛芸術運動のほとんどは、表現の様式や技法の革新をめざすものでした。しかしシュルレアリスムの場合は文学や芸術だけでなく、思想と政治にまで関わりながら人間の精神・思考そのものを深く問い直した点が他と大きく違っています。芸術運動としての歴史が終わったあとも、その問い直しの射程は遠く現代にまで及んでいます。この講座は、シュルレアリスムの本質を示す文を読み、文学だけでなく美術・映画などを含む実際の作品に触れながら、現代の文学・芸術をこの運動とのかかわりにおいて捉える視点を提示する試みです。

【教科書】

アンドレ・ブルトン『ナジャ』岩波文庫（700円）。（「教科書」ではありませんが、全員に読んでもらいます。他にプリントを配布します。

【参考書】

トピックに合わせて随時紹介します。

文学 / 文学（春学期分）

「近代日本の文学と映画」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 十重田裕一

【授業科目の内容】

近代日本の文学と映画は、さまざまなかたちで交流していました。その交流の状況を、大正時代後期から昭和時代初期（1920～30年代）のモダニズムの時代にポイントを置きながら検討していきます。とりあげる近代日本の作家は、谷崎潤一郎、横光利一、川端康成です。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

最初の授業時に指示します。

文学 / 文学（秋学期分）

「近代日本の文学とマスメディア」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 十重田裕一

【授業科目の内容】

この授業では、マスメディアとの相関関係という視点から、近代日本の文学について検討していくことを目的とします。ここで想定する具体的なマスメディアとは、雑誌、新聞、書物、映画、テレビ、広告などです。こうした様々なマスメディアを通じて、近代日本の文学がど

のようにして読者に伝えられてきたか、また、そこにどのような問いを立てることが可能か、皆さんと考えていきたいと思ひます。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

最初の授業時に指示します。

文学 / 文学（春学期分）

「ロシアとウクライナ文学」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

ナコルチェフスキー，アンドロイ

【授業科目の内容】

この授業は秋学期ギリシャ文学（西村太良）で、通年科目として設定されていますが、経済学部、法学部、商学部では半期科目としても履修できます。

ニコライ・ゴゴリの中説「タラス・ブリバ」等を読むことを通じてウクライナ・ロシアの歴史と文化の基本的な知識を身につけることが本講義の目標です。

【教科書】

なし。

【参考書】

佐野努著『ロシア文学』慶応義塾大学通信教育教材

文学 / 文学（秋学期分）

2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

西村 太良

【授業科目の内容】

この授業は春学期ロシア文学（ナコルチェフスキー）、秋学期ギリシア文学（西村太良）で、通年科目として設定されていますが、経済学部、法学部、商学部では半期科目としても履修できます。

ギリシア文学では、エウリーピデースの「メーデイア」という作品を翻訳で読みながら古代ギリシアの文学、演劇、社会、歴史などについて考えていきたいと思ひます。参考文献などは授業中随時指示しますが、必要な資料はプリントで配布します。

文学 / 文学（春学期分）

「物語・自己・歴史」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

武藤 浩史

【授業科目の内容】

人は言葉を発するとそれは大抵物語を作り上げます。「今日は雨が降っていやな日だった」も「今日は雨にぬれたけれどもかえって気持ちよかった」もすでに1つの物語です。人はそうして大量の物語を作り、又、大量の物語を外から受容しながら自己との関係、他者との関係を作り、物語の中に自己・社会・歴史を屈折させながら

反映してゆきます。つまり、皆さんは知らず知らずの内にたくさんの物語の中で生きながら自己像や社会・歴史像を作っているのです。

そこで、皆さんが否応なくその中で生きている物語とは何か、みなさんが無意識の内になどどのような物語を作ってその中で生きているのか、その中で生きることによってどのような自己、社会、歴史像が生まれるのか、物語ることによって混沌の中からどのような秩序が生まれ、又、どのような秩序が破壊されるのか、そして物語れないこととは何かなどについて、さまざまな芸術作品にふれながら考えてゆきたいと思ひます。

また、現代とはどういう時代か、そこに生きる僕たちとは何者？というのが隠れテーマです。

【教科書】

岡崎京子著『リバーズ・エッジ』、ミハエル・エンデ著『モモ』他

文学 / 文学（秋学期分）

「物語・自己・歴史」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

武藤 浩史

【授業科目の内容】

文学 の続きですが、主として英文学の名作『チャタレー夫人の恋人』を取りあげ、さらに深い文学テキストの読みを試み、現代に生きる私たちの諸問題を小説とともに考えてゆきます。

【教科書】

D.H.ロレンス著『チャタレー夫人の恋人』ちくま文庫他

文学a（春学期）/ 文学b（秋学期）

文学（通年）  
「東西の詩」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】

森 英樹

【授業科目の内容】

詩はその時代や文化の具体的な反映であり、また批判でもあります。詩は感情の表現であるとともに深い思想をふくんでおり、個人の心の内面的衛生法でもあります。そうした観点から、ギリシャやインド、アラビアやペルシャの詩、中国の漢詩や日本の和歌・俳句・近代詩、またフランスを主とするヨーロッパの詩を、テーマに沿って紹介します。多くの詩を“感じる”ことによって広がる認識の世界を探求してください。

【教科書】

森英樹訳・編『東西の詩・アンソロジー編』（改訂版）

【参考書】

森南仙『南柯の四季』、森英樹著『パルナッシアン詩句抄』

文学a（春学期）／文学b（秋学期）

文学（通年）

「ヨーロッパ小説の歴史 ギリシア時代から18世紀まで」  
2単位 春学期／秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 山本 賀代

【授業科目の内容】

授業科目の内容 本講義ではヨーロッパにおける小説理論の歴史の変遷を概観します。今日でこそ小説は文学の代名詞とすることができますが、古代ギリシアに始まるその長い歴史のなかで、小説は長らく文学のなかでもっとも低俗なジャンルと見なされてきました。今年度は、小説というジャンル名が生まれる以前のギリシア時代から、小説というジャンルに対する価値観が大きく転換し始める18世紀までを扱い、各時代の代表的な作品と小説理論の展開を考察します。

【教科書】

授業内でプリントを配布。

【参考書】

授業内で指示。

文学（春学期）／文学（秋学期）

文学（通年）

「20世紀イギリス劇場への入門（ ）」  
2単位 春学期／秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 レイサイド・ジェームズ M

【授業科目の内容】

20世紀ではイギリス文学のジャンルのなかで一番繁栄したのは恐らく演劇だと思われます。特に戦後のイギリス人の劇作家の活躍が目されました。そのためにロンドンの劇場街が世界的に有名になりました。

シェークスピア以外にイギリス演劇についてもっと知りたい学生の為に現代イギリスの舞台を紹介するつもりです。できるだけビデオなどを沢山利用して、言葉上の説明だけではなく、実際の出演、演出仕方も見せる予定です。

春学期では、20世紀初期から50年代までの作品と作者について話します。主には、ショー(Shaw)、カウワード(Coward)、オズボーン(Osborne)、ベケット(Beckett)。

秋学期になると60年代から90年代までの若い世代の劇作家を取り上げます。ピンター(Pinter)、ストッパード(Stoppard)、シェイファー (Shaffer)、ヘイア(Hare)、など。

【教科書】

プリント。

【参考書】

シェークスピアの喜劇と悲劇を一遍ずつとイブセン(Henrik Johan Ibsen)の作品を一遍読んでおくことが望ましい。20世紀前の戯曲に対する基本的な知識があれば、

授業の内容はもっと理解しやすくなるでしょう。

文化人類学

「身近な不思議の探究」

2単位 春学期

【経商医理】

井上 京子

【授業科目の内容】

文化人類学という学問は、言語、心理、宗教、婚姻形態などを比較分析することにより、多角的視野に立って人間を全体像としてとらえるものです。ここでは特に、文化の一般論化に伴う危険性に焦点を当てながら、日本文化を他の文化と照らし合わせていきます。すると今まで知らない間にみなさんが身に付けていた先入観が、浮き彫りとなって来るはず。自分自身を世界の様々な人間社会における一つの枠組みの中での存在としてとらえ直せるような、客観的視野を養うことがこのコースの目的です。

特にコースの前半は言語と文化の関わりを中心に、後半は文化の多様性を採り上げて、身近な不思議を探究しその解明を目指します。

このコースの内容をさらに深める目的で総合教育科目「言語文化論」を矢上キャンパスで開講しています。

【教科書】

斗鬼正一著「目からウロコの文化人類学」ミネルヴァ書房

【参考書】

祖父江孝男著『文化人類学入門』増補改訂版,中公新書  
綾部恒雄編『文化人類学15の理論』中公新書  
井上京子著『もし「右」や「左」がなかったら』大修館書店  
佐藤郁哉『フィールドワーク』新曜社  
米山俊直／谷泰編『文化人類学を学ぶ人のために』世界思想社

文化人類学

「異文化理解の歴史と方法」

2単位 秋学期

【経商医理】

坂本 邦彦

【授業科目の内容】

人類が地球上に誕生してから今日までの間、さまざまな民族によって多種多様な文化がつけられてきた。現在、世界には6000をこえる言語があるとされる。これは、また、それだけの異なった民族によって世界が構成されているということにほかならない。人間は、自ら生まれ育った文化の中だけで世界を完結させてきたわけではない。異なった文化に触れ、人類が積み重ねてきた知の多様性をさまざまな形で理解しようとしてきたのである。

本講では、これまで文化人類学が研究対象としてきたさまざまな社会に関する民族誌をもとに、文化のコンテクストにそって異文化を理解するとはどういうことかを考えていく。アフリカに関するデータを中心に、アジア、オセアニアなどからの研究データも取り込んでいく予定である。

【教科書】

使用せず。

【参考書】

随時紹介する。

文化人類学 / 文化人類学（春学期分）

「近代化の文化人類学」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経医】 櫻井 準也

【授業科目の内容】

わが国の近代化は経済発展のみが注目されがちであるが、近代化によって我々は近代的身体を獲得し、様々な近代的概念が植え付けられてきたのである。それでは近代人である我々はいったい何者なのであろうか。そして、近代化の本質とはなんであらうか。本講義では、わが国の近代化に関わるいくつかの事象に関して文化人類学的な視点から検討してみたい。

【教科書】

使用しない。適宜プリントを配布する。

【参考書】

必要に応じて指示する。

文化人類学 / 文化人類学（秋学期分）

「物質文化研究の可能性」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経医】 櫻井 準也

【授業科目の内容】

わが国の近代化は経済発展のみが注目されがちであるが、近代化によって我々は近代的身体を獲得し、様々な近代的概念が植え付けられてきたのである。それでは近代人である我々はいったい何者なのであろうか。そして、近代化の本質とはなんであらうか。本講義では、わが国の近代化に関わるいくつかの事象に関して文化人類学的な視点から検討してみたい。

【教科書】

使用しない。適宜プリントを配布する。

【参考書】

必要に応じて指示する。

文明学説史

「由来学からみた福沢学」 2単位 春学期  
【経商】 松村 宏

【授業科目の内容】

福沢諭吉の主著「文明論之概略」は、なお今日の現代世界転回期に有効な真理を多く含んでいる。それは戦国末期と江戸中期の日本文明（上級武士道）の頂点となっている学説（由来学）を土台としていたからでもある。テキスト批判から始めて、福沢学の内容を解読する作業を進めながら、学生諸君の学業練習を求めていく。（本講を発展させた「日本文明学説史」を土曜日三田に開講している。）

【教科書】

『文明論之概略』岩波文庫、『職業としての学問』岩波文庫、他はプリント配布。

【参考書】

『文明論之概略を読む』岩波新書、日本思想大系「荻生徂来」岩波書店

文明学説史

「由来学の近現代的意味」 2単位 秋学期  
【経商】 松村 宏

【授業科目の内容】

戦国末期に日本文明の頂点として各独立職業人の業績が達成されている。その思想的省察の結晶として姿を現わしたのが、江戸中期の由来学であった。由来学のテキスト批判と直近の訓読復元から内容解読まで研究と論述をすすめながら、学生諸君の学業練習を求めていく。（本講を発展させた「日本文明学説史」は、土曜日に三田に開講している。）

【教科書】

プリント配布

【参考書】

日本思想大系『荻生徂来』岩波書店、吉川幸次郎著『論語』朝日新聞社

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）（春学期分） 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

\* 法学部生は履修できません 青木 淳一

【授業科目の内容】

法律学に接するにあたり求められる基礎的な知識を得ること、我われを取り巻く社会生活と法との関わりを議論することが、この講義の目的である。

まず初めに、法律を学ぶための基礎的な知識（我が国の法体系、「六法」とは何か、司法制度、法律学のための情報検索方法など）を解説し、次いで、我が国の法体系の根幹に位置する日本国憲法について、その基本原理、基本的人権、統治機構を講述する。

【教科書】

六法（『ポケット六法』（有斐閣）等、小型のもので良い。初回ガイダンスの際に説明する）

【参考書】

必要な範囲内で、その都度、指示する。

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）（秋学期分） 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

\* 法学部生は履修できません 青木 淳一

【授業科目の内容】

法律学に接するにあたり求められる基礎的な知識を得ること、我われを取り巻く社会生活と法との関わりを議論することが、この講義の目的である。

「法学」基礎知識は習得済みであることを前提に、この講義では、社会生活における特定の領域・分野を選び、それと法との関わりを制度設計論、政策形成論も交えて議論する。オムニバス式に、一つのテーマに複数回の講義時間をあて、テーマには例えば、「教育と法」、「医療と法」、「規制緩和と法」、「ITと法」といったものを考えている。

**【教科書】**

六法（『ポケット六法』（有斐閣）等、小型のもので良い）

**【参考書】**

必要な範囲内で、その都度、指示する。

法学（憲法を含む）

／法学（憲法を含む）（春学期分）

「法の主要な分野である憲法、民法（財産法、家族法）、刑法の基本的な問題の検討」

2単位 春学期

4単位 通年

**【文経法商医理】**

石渡 哲

\* 法学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

法は、国家と個人、国家相互、個人相互などの関係を規律するものであるから、法を学ぶということは、これらの関係のあり方を考察することである。本講義では、この考察を主要な法分野（春学期には、憲法と民法の財産法）の基礎的問題を素材として行う。説明が抽象論に終わらないように、重要な判例も取り上げる予定である。

**【教科書】**

石渡哲ほか著『シュタットプラン法学』（成文堂）  
（現在、出版準備中。新学期に間に合わなければ、別の本に変更する）

六法（法令集）（出版社は問わない）

**【参考書】**

金子宏ほか編『法律学小事典』有斐閣、井上薫著『法廷傍聴へ行こう』法学書院、その他、適宜授業中に紹介する。

法学（憲法を含む）

／法学（憲法を含む）（秋学期分）

「法の主要な分野である憲法、民法（財産法、家族法）、刑法の基本的な問題の検討」

2単位 秋学期

4単位 通年

**【文経法商医理】**

石渡 哲

\* 法学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

法は、国家と個人、国家相互、個人相互などの関係を規律するものであるから、法を学ぶということは、これらの関係のあり方を考察することである。本講義では、この考察を主要な法分野（秋学期には、民法の家族法と刑法）

の基礎的問題を素材として行う。説明が抽象論に終わらないように、重要な判例も取り上げる予定である。

**【教科書】**

石渡哲ほか著『シュタットプラン法学』（成文堂）  
（現在、出版準備中。春学期に間に合わなければ、別の本に変更する）

六法（法令集）（出版社は問わない）

**【参考書】**

金子宏ほか編『法律学小事典』有斐閣、井上薫著『法廷傍聴へ行こう』法学書院、その他、適宜授業中に紹介する。

法学（憲法を含む）

／法学（憲法を含む）（春学期分）

「法および法律についての基礎知識」

2単位 春学期

4単位 通年

**【文経法商医理】**

河村 好彦

\* 法学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

「法」という言葉には、どうしても難しいもの、訳のわからないものというイメージがある。しかしたとえば、下宿を借りる行為も、パンを買う行為もすべて法と関わるものだから、人は好むと好まざるとにかかわらず法とつきあっていかなければならない。法から逃げることはできない以上、われわれは法的問題に適切に対処するためにむしろ法に立ち向かい、法についての正確な知識、認識をもたなければならない。また、法は、われわれの権利や自由を保障し、生活を向上させるためのものである。われわれは、どのような法があり、それらがどのように生活に影響しているかを知ることにより、充実した生活を送ることができる。

法学 は、このような視点から法についての基礎理論を説明したうえで、憲法を中心として具体例などを挙げながら、市民として、また国民として知らなければならない基本的事項について解説を加えることを目的とする。

**【教科書】**

石川明編著『法学入門30講』酒井書店

法学（憲法を含む）

／法学（憲法を含む）（秋学期分）

「法および法律についての基礎知識」

2単位 秋学期

4単位 通年

**【文経法商医理】**

河村 好彦

\* 法学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

「法」という言葉には、どうしても難しいもの、訳のわからないものというイメージがある。しかしたとえば、下宿を借りる行為も、パンを買う行為もすべて法と関わるものだから、人は好むと好まざるとにかかわらず法とつきあっていかなければならない。法から逃げることはできない以上、われわれは法的問題に適切に対処するた

めにむしる法に立ち向かい、法についての正確な知識、認識をもたなければならない。また、法は、われわれの権利や自由を保障し、生活を向上させるためのものである。われわれは、どのような法があり、それらがどのように生活に影響しているかを知ることにより、充実した生活を送ることができる。

法学 は、このような視点から民法を中心として具体例などを挙げながら、市民として、また国民として知らなければならない基本的事項について解説を加えることを目的とする。

**【教科書】**

石川明編著『法学入門30講』酒井書店

法学（憲法を含む）  
／法学（憲法を含む）(春学期分)

2単位 春学期  
4単位 通年

**【文経法商医理】**

河原田 有一

\* 法学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

最新の判例、事件を通して憲法およびその他の法を考察し、同時にアメリカ合衆国の憲法およびその他法との比較を通じて、その相違点についても解説する。また、その時々を生じる様々な判例、事件について新聞記事等を利用することで、いかに法がみづかな存在であるかを学んでいきたい。

**【教科書】**

石川明編『始めて学ぶ法学（仮題）』不摩書房

**【参考書】**

講義資料プリントを配布します。

法学（憲法を含む）  
／法学（憲法を含む）(秋学期分)

2単位 秋学期  
4単位 通年

**【文経法商医理】**

河原田 有一

\* 法学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

最新の判例、事件を通して憲法およびその他の法を考察し、同時にアメリカ合衆国の憲法およびその他法との比較を通じて、その相違点についても解説する。また、その時々を生じる様々な判例、事件について新聞記事等を利用することで、いかに法がみづかな存在であるかを学んでいきたい。

**【教科書】**

石川明編『始めて学ぶ法学（仮題）』不摩書房

法学（憲法を含む）/  
法学（憲法を含む）(春学期分)

「生活に身近な問題と関連させながら法律の基礎知識を学ぶ」

2単位 春学期  
4単位 通年

**【文経法商医理】**

鈴木 貴博

\* 法学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

近時、私たちがよりよい生活を営むために法律を学ぶ重要度は増しているといつてよい。しかし、個別の法律を読むだけでは必ずしもその意味が十分に理解できるとは限らない。そこで、この講義では様々な制度のうちのいくつかについて、法律に特有の用語のもつ意味、およびその根拠となっている考え方や原理・原則を日常生活における法律の役割と関連させながら解説する。その際、法律知識の細かな説明に立ち入ることは避けつつ、法律に親しみ、私たちの生活のあり方について法的観点から考えるきっかけにしたいと考えている。

憲法については、主としてその基本原則と基本的人権について講述する。

**【教科書】**

石川 明編『みづかな法学入門（第3版）』不摩書房（2004年 2,500円）

**【参考書】**

講義の内容・進捗状況に応じて紹介する。

法学（憲法を含む）/  
法学（憲法を含む）(秋学期分)

「生活に身近な問題と関連させながら法律の基礎知識を学ぶ。」

2単位 秋学期  
4単位 通年

**【文経法商医理】**

鈴木 貴博

\* 法学部生は履修できません

**【授業科目の内容】**

近時、私たちがよりよい生活を営むために法律を学ぶ重要度は増しているといつてよい。しかし、個別の法律を読むだけでは必ずしもその意味が十分に理解できるとは限らない。そこで、この講義では様々な制度のうちのいくつかについて、法律に特有の用語のもつ意味、およびその根拠となっている考え方や原理・原則を日常生活における法律の役割と関連させながら解説する。その際、法律知識の細かな説明に立ち入ることは避けつつ、法律に親しみ、私たちの生活のあり方について法的観点から考えるきっかけにしたいと考えている。

憲法については、主として統治機構について講述する。

**【教科書】**

石川 明編『みづかな法学入門（第3版）』不摩書房（2004年 2,500円）

**【参考書】**

講義の内容・進捗状況に応じて紹介する。

法学（憲法を含む）  
／法学（憲法を含む）（春学期分）

2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

藤田 祥子

\* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義は、これから法律学を学ぼうと考えている学生に対し、法律学の基礎知識の獲得を目的とすると共に、人間と法律とのかかわりを考える場としたい。

【参考書】

倉沢康一郎『プレップ法と法学』弘文堂

法学（憲法を含む）  
／法学（憲法を含む）（秋学期分）

2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

藤田 祥子

\* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

本講義は、これから法律学を学ぼうと考えている学生に対し、法律学の基礎知識の獲得を目的とすると共に、人間と法律とのかかわりを考える場としたい。

【参考書】

倉沢康一郎『プレップ法と法学』弘文堂

法学（憲法を含む）  
／法学（憲法を含む）（春学期分）

「法学の基礎および日本国憲法」  
2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

本田 耕一

\* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法学の基礎として、諸種の社会規範との関係における法の特徴、近代法の成立とその性格、成分法（憲法・法律・命令・規則・地方自治法規・条約）及び不文法（慣習法・判例法・条理）とその効力、法の実用的ないし理論的な分類、法の解釈等を取扱う。

【教科書】

特に特定しません。

法学（憲法を含む）  
／法学（憲法を含む）（秋学期分）

「法学の基礎および日本国憲法」  
2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

本田 耕一

\* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

日本国憲法に関して、これにより保障される基本的な

権や統治機構、地方自治、平和主義と国際関係等を取扱う。

【教科書】

特に特定しません。

法学（憲法を含む）  
／法学（憲法を含む）（春学期分）

「法律の基礎的・実践的な知識と法的なものの方」  
2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

山田 美枝子

\* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法学」は、はじめて学ぶ者にとって親しみにくい学問と考えられがちです。しかし、私達は、日常生活を送るなかで、意識するとなしにかかわらず、また、好むと好まざるにかかわらず、法律関係に立ち入ってしまっています。大学入学、学生生活、就職、婚姻、育児、老後、死亡に至るまで、身の回りに網の目のように張りめぐらされている法律を、避けて通ることはできません。法律は、社会の骨格をなし、人と人とのコミュニケーションにも重要な役割を果たしています。それらを踏まえた上で、下記7の1.～7.において、法律を実践的に学び、法的なものの方を身につけてほしいと思います。

【教科書】

開講時に指示

【参考書】

小型の六法

法学（憲法を含む）  
／法学（憲法を含む）（秋学期分）

「法律の基礎的・実践的な知識と法的なものの方」  
2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法商医理】

山田 美枝子

\* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

「法学」は、はじめて学ぶ者にとって親しみにくい学問と考えられがちです。しかし、私達は、日常生活を送るなかで、意識するとなしにかかわらず、また、好むと好まざるにかかわらず、法律関係に立ち入ってしまっています。大学入学、学生生活、就職、婚姻、育児、老後、死亡に至るまで、身の回りに網の目のように張りめぐらされている法律を、避けて通ることはできません。法律は、社会の骨格をなし、人と人とのコミュニケーションにも重要な役割を果たしています。それらを踏まえた上で、下記7の1.～5.において、法律を実践的に学び、法的なものの方を身につけるとともに、同6.・7.において、法学の基礎的理論に触れてほしいと思います。

【教科書】

開講時に指示

【参考書】

小型の六法

法学（憲法を含む）  
 / 法学（憲法を含む）（春学期分）

2単位 春学期  
 4単位 通年

【文経法商医理】

頼松 瑞生

\* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

最初は、法学とはどのようなことを学ぶ学問であり、どのような法を対象としたものであるのかということの説明します。

次に、憲法について、基本的な内容を中心にして、その体系がどのようにになっているのかということをお勉強していきます。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

法学（憲法を含む）  
 / 法学（憲法を含む）（秋学期分）

2単位 秋学期  
 4単位 通年

【文経法商医理】

頼松 瑞生

\* 法学部生は履修できません

【授業科目の内容】

法というものがどのようにして生成され、社会においてどのように機能しているのかということをお勉強していきます。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

特に指定しない。

ラテンアメリカ研究a（春学期）  
 / ラテンアメリカ研究b（秋学期）  
 ラテンアメリカ研究（通年）

「イベリアとラテンアメリカにおける対合衆国認識」

2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【経商医】

八嶋由香利（コーディネーター）

石井 康史 出岡 直也  
 井関 睦美 久野 量一  
 清水 透 瀧本佳容子  
 矢澤 達宏 安井 伸

【授業科目の内容】

オムニバス形式で進められるこの授業では、学内外のラテンアメリカ、スペイン研究者が一同に会して、それぞれがもっとも得意とする専門領域から「ラテンアメリカ」という地域にアプローチして講義します。今年度は

アメリカ合衆国という「大国」にラテンアメリカ各地域やスペインがどのように向き合ってきたか、彼らの合衆国観やイメージなどを探りながら、両者の関係に潜んでいる問題性を考えていきます。

【教科書・参考書】

西崎文子著『アメリカ外交とは何か 歴史の中の自画像』（岩波新書、2004）事前の基礎知識として、授業開始までに読んでおくこと。また授業中にビブリオを配布する。

倫理学 / 倫理学（春学期分）

「善への欲望 生きられる倫理学（1）」

2単位 春学期  
 4単位 通年

【文経法政商医理】

今村 純子

【授業科目の内容】

わたしたちの欲望はすべて、どのようなものであれ、本来は、「善への欲望」であるとプラトンは述べています。しかし、ひとたび現実の世界を振り返ると、わたしたちの欲望が、容易に「悪への欲望」へと類落していつてしまっている事実を認めざるをえません。また、個人の内面を振り返ってみても、「嫉妬」や「憎悪」といった「悪への欲望」が芽生えてしまうことを経験したことがあるでしょう。どうして、わたしたちの「善への欲望」は、「悪への欲望」へと取り込まれてしまうのでしょうか。どうしたら、わたしたちは自分の欲望を善へと向き直すことができるのでしょうか。本講義では、プラトン、ストア派、カント、シモーヌ・ヴェイユ、西田幾多郎など、己れの哲学の中心に倫理学を置いた哲学者たちの思想の核心を捉えることによって、「今、ここで」生きられ、感じられる現実の問題を「善への欲望」の視点から考察したいと思えます。必要に応じて、随時、ビデオ作品や文学作品を取り上げることも予定しています。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

ミクロス・ヴェトー『シモーヌ・ヴェイユの哲学』昭和堂（2005年）

倫理学 / 倫理学（秋学期分）

「美と善 生きられる倫理学（2）」

2単位 秋学期  
 4単位 通年

【文経法政商医理】

今村 純子

【授業科目の内容】

わたしたちは、あるひとの行為に心底感動するとき、そのひとの行為を「善い」とは思わず、「美しい」というでしょう。「善い」という価値判断は、未だ外在的であり、内在的判断は己れの「欲望」に根差したものだからです。本講義は、「善が美として表象されうること」に光を当てることによって、わたしたちが「真実在」に迫ることができる可能性、「他者」と真に出会うことができる可能性について考察します。哲学書が難解だと思

われてしまう理由のひとつは、文学書のように「そこに自分が語られている」という実感をダイレクトに持てないことにあるでしょう。しかし、思想は自分の内面で生きられ、感じられるものでなければ意味がありません。思想が「個において普遍の拓けを保つ」助けとなるよう、倫理学を己れの哲学の中心に置いた哲学者の思想の核心に迫ることと平行して、随時、ビデオ作品や文学作品にも言及するつもりでいます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

ミクロス・ヴェトー『シモーヌ・ヴェイユの哲学』昭和堂（2005年）

倫理学 a（春学期） / 倫理学 b（秋学期）

倫理学（通年）

「倫理学の根本的な問い 幸福・自由・善を中心として」 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

岩井 美好

【春学期授業科目の内容】

ずっと当たり前と思ってきたことに、ある日居心地の悪さを覚えた時、倫理学の問いは始まります。衝動も激情も中和されて現実の社会は収まっているわけですが、ひとりひとりの幸福と自由を譲歩させた力の均衡の産物であるこの組織は、有史以来最善のかたちをめぐって様々な角度から議論がなされてきました。本講義では、西洋倫理思想史の流れに沿って、そうした善のあり方を批判検討しつつ、現実を成り立たしめている原理とその編成を見抜く方法を学んでいきます。この査定に基づいて、何が欠けているか、そしてより善い生に向けて今なお何がなしうるかを共に考えて行きましょう。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

講義の中で紹介します。

【秋学期授業科目の内容】

春学期に引き続き、西洋倫理思想史で扱われた種々の考え方のパターンに鑑みつつ、「当たり前」の底に潜む構造を探り当てる目の養成を旨とします。同時に、環境倫理や生命倫理といった現代の人間が当面している諸問題を取り上げることによって、時代の要請に応じて様々な論点が提示されてきた学説に、倫理学の根本原理はどの程度一貫した拘束力を発揮してきたかを考えて行きたいと思います。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

講義の中で紹介します。

倫理学 / 倫理学（春学期分）

「西洋倫理学の歴史」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

柘植 尚則

【授業科目の内容】

倫理学は、善悪、正邪、幸福、義務、正義、徳など、倫理に関わる事柄について哲学的に考察するものである。この講義では、西洋倫理学の歴史によりながら、倫理学における様々な立場や思想を理解し、現実の倫理問題を考察するための基礎を習得することを目標とする。本学期は古代から近代（18世紀）までの西洋倫理学を取り上げる。

【教科書】

リチャード・ノーマン著『道徳の哲学者たち 倫理学入門【第二版】』ナカニシヤ出版（2001年、3800円）

【参考書】

講義の中で紹介する。

倫理学 / 倫理学（秋学期分）

「西洋倫理学の歴史」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

柘植 尚則

【授業科目の内容】

倫理学は、善悪、正邪、幸福、義務、正義、徳など、倫理に関わる事柄について哲学的に考察するものである。この講義では、西洋倫理学の歴史によりながら、倫理学における様々な立場や思想を理解し、現実の倫理問題を考察するための基礎を習得することを目標とする。本学期は近代（19世紀）から現代に至る西洋倫理学を取り上げる。

【教科書】

リチャード・ノーマン著『道徳の哲学者たち 倫理学入門【第二版】』ナカニシヤ出版（2001年、3800円）

【参考書】

講義の中で紹介する。

倫理学a（春学期） / 倫理学b（秋学期）

倫理学（通年）

「社会哲学の検討」（春学期）

「国際倫理学の検討」（秋学期） 2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

中川 雅博

【授業科目の内容】

春学期 西洋倫理学史について、各時代の社会哲学を中心に講義します。倫理学史を学びつつも、そこで提起された問題と現代の諸問題との類似点を探っていきながら、倫理学の基本的な知識を習得することが、この講義の目標です。限られた時間で、哲学・倫理学史全般を学ぶのは容易なことではありませんので、社会哲学的な側面に光を当てていくこととなります。21世紀にふさ

わしい社会哲学の構築のために、先哲の思想を振り返りながら、倫理、道徳、国家、社会、正義、平等をめぐる基本的な問題を考えていきたいと思ひます。

秋学期 近年の国際関係において明らかになった倫理問題（人々や社会や国家の国際社会における行動規範の衝突）を英文テキストを通じて検討します。昨今、国際問題で倫理、価値観、多元主義という言葉がマスターキーのように出現します。しかし、そうした言葉が氾濫すればするほど、その意味内容はますます空虚なものになってきました。こうした状況をみすえて、人権問題、人道的介入論、武力の倫理、経済封鎖の是非、良心的兵役拒否論などを検討する予定です。

【教科書】

春学期 特に指定しない。秋学期 購入の必要はありませんが、Mark R. Amstutz, *International Ethics: Concepts, Theories, and Cases in Global Politics* (ISBN-0847691535) を予定しています（ただし変更の可能性もあります）。

【参考書】

必要な時に適宜、授業中およびHPにて指示します。

倫理学 / 倫理学（春学期分）

「倫理学史」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 山本 剛史

【授業科目の内容】

古代から20世紀初頭までの倫理学史の講義である。倫理学の基本となる初歩的な用語、方法論の習得を目標とする。これらは、応用倫理学にアプローチする上でも欠くことのできない知識である。出来るだけ現代の話題との関連を指摘しながら講義を進めてゆきたい。

【教科書】

プリント配布

【参考書】

毎回講義の中で紹介するので、必ず読んでください。

倫理学 / 倫理学（秋学期分）

「科学技術と倫理～ヨナス倫理学とその周辺」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 山本 剛史

【授業科目の内容】

ハンス・ヨナス『責任という原理』は応用倫理学を学ぶ際に必ず読まれるべき著作であるが、その内容は入り組んでいて非常に難解である。本講義は、ヨナス思想が生成する原点から主著の完成までを辿ることにより、その思想を各自が把握することを目指す。同時に、関連する応用倫理学のトピックをいくつか扱うことを通して、ヨナス思想と実践との関連についても少しコメントしたい。結果として、多少風変わりではあるが現代の倫理学の見取り図が描けるだろう。

【教科書】

必要に応じて資料配布

【参考書】

ハンス・ヨナス『責任という原理』東信堂（2000年）

倫理学 a（春学期） / 倫理学 b（秋学期）

倫理学（通年）  
「はじめての倫理学」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 吉田 量彦

【春学期授業科目の内容】

望んでいようといまいと、ひとは日常生活の様々な局面で倫理的問題に直面し、いつも既に倫理について考えてしまっています。ただ、うまく考えているか、いい加減に考えているかの違いがあるだけです。この授業は、倫理についてうまく考えられるようになっていただくために必要な、倫理学の最少限の基礎知識を与えることが目標です。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

新田孝彦著『入門講義 倫理学の視座』世界思想社（2000年 2000円）他、必要に応じて講義中に紹介します。

【秋学期授業科目の内容】

望んでいようといまいと、ひとは社会の中で他人ともみ合いながら生きています。人々の中のこうした「もみ合い」を一定の仕方では整理するのが政治の役割とすると、人間はいつも既に政治に巻き込まれている存在と言えます。この授業では、マックス・ヴェーバーが悪魔の道具にたとえた政治とどう向き合うか、自分でうまく考えて決断できるようになっていただくため、政治の実際のありようのあるべき姿について鋭く考察した哲学者たちの意見を幅広く紹介し、検証してみたいと思ひます。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

講義中に適宜紹介します。

倫理学

「責任と自由」 2単位 秋学期  
【経法政商医】 成田 和信

【授業科目の内容】

ある人の行った行為に関して「あの人はそれに関して責任がある」と言えるためには、その人はその行為を自由に行ったのでなければならぬ。この授業では、「この自由（つまり責任に必要な自由）とは何か」という問題を、近代から現代までの西洋哲学の諸理論に触れながら考えます。それを通して「人とはどのような存在なのか」ということを少しでも明らかにできればよいと思ひます。

【教科書】

成田和信著『責任と自由』勁草書房（2004年）

【参考書】

M. クランストン著『自由：哲学的分析』岩波新書  
(日吉と三田の図書館にあります)

歴史 / 歴史 (春学期分)

「日本近世の対外関係」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 浅見 雅一

【授業科目の内容】

大航海時代には、ローマ教皇がイベリア両国の海外への勢力拡大に権威を与え、その代わりに両国の後ろ楯によってカトリック宣教師達が海外に進出していった。カトリック教会は、イベリア両国という世俗の権力と密接に結びつきながら布教事業を行なったのである。こうして、ポルトガル人は、一六世紀中葉にインドや東南アジアを経て日本にまで到達した。そして、日本においてキリスト教の布教が開始されたのである。ポルトガル人が日本に初めて渡来してから江戸幕府による「鎖国」にいたるまでの約一世紀は、キリスト教の布教が行なわれたことからキリシタン時代と呼ばれる。この時代の日本の対外関係をカトリック教会の布教活動を軸として捉えてみたいと思う。

【参考書】

高瀬弘一郎著『キリシタンの世紀』岩波書店(1993年)  
五野井隆史『日本キリスト教史』吉川弘文館(1990年)

歴史 / 歴史 (秋学期分)

「日本近世の対外関係」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 浅見 雅一

【授業科目の内容】

大航海時代には、ローマ教皇がイベリア両国の海外への勢力拡大に権威を与え、その代わりに両国の後ろ楯によってカトリック宣教師達が海外に進出していった。カトリック教会は、イベリア両国という世俗の権力と密接に結びつきながら布教事業を行なったのである。こうして、ポルトガル人は、一六世紀中葉にインドや東南アジアを経て日本にまで到達した。そして、日本においてキリスト教の布教が開始されたのである。ポルトガル人が日本に初めて渡来してから江戸幕府による「鎖国」にいたるまでの約一世紀は、キリスト教の布教が行なわれたことからキリシタン時代と呼ばれる。この時代の日本の対外関係をカトリック教会の布教活動を軸として捉えてみたいと思う。

【参考書】

高瀬弘一郎著『キリシタンの世紀』岩波書店(1993年)  
五野井隆史『日本キリスト教史』吉川弘文館(1990年)

歴史 / 歴史 (春学期分)

「縄文時代・弥生時代概説」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 安藤 広道

【授業科目の内容】

日本列島を舞台とした人類の歴史のうち、豊かな狩猟採集社会の時代である縄文時代の始まりから、弥生時代における水田稲作を基軸とした農耕社会の成立までを、東アジア的な視点を含めて概観します。併せて考古学という学問の紹介もしたいと思います。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

必要に応じて講義の中で紹介します。

歴史 / 歴史 (秋学期分)

「弥生時代・古墳時代概説」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 安藤 広道

【授業科目の内容】

日本列島を舞台とした人類の歴史のうち、弥生時代から古墳時代の終わりまで、つまり農耕社会の成立から階級社会の成立・古代国家の形成までを、東アジア的な視点を含めて概観します。併せて考古学という学問の紹介もしたいと思います。

【教科書】

使用しません。

【参考書】

必要に応じて講義の中で紹介します。

歴史 / 歴史 (春学期分)

「上海と香港の20世紀史」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 岩間 一弘

【授業科目の内容】

度重なる戦争と革命を経験した20世紀の東アジアにおいて、上海と香港はビジネスや文化の中心地となり、様々なヒト、モノ・カネ、情報・知識の行き交うネットワークが両地域を拠点に形成された。上海と香港は、流行の発信源として中華圏の大衆文化をリードし、中国の新たな社会変化の兆しは、しばしば上海ないしは香港から見られ始めていた。

春学期の授業では、上海と香港の地域社会に密着した視点から、20世紀の東アジアの国際情勢や中国政治の変動を概説する。中国および東アジアの近現代史に関して、知っておいてもらいたい基礎的な事柄を解説し、さらにVTR教材を用いて理解を深めてもらう。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

濱下武志編『世界歴史大系 中国史5 清末～現在』  
山川出版社（2002年）

歴史 / 歴史（秋学期分）

「上海と香港の20世紀史」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 岩間 一弘

【授業科目の内容】

度重なる戦争と革命を経験した20世紀の東アジアにおいて、上海と香港はビジネスや文化の中心地となり、様々なヒト、モノ・カネ、情報・知識の行き交うネットワークが両地域を拠点に形成された。上海と香港は、流行の発信源として中華圏の大衆文化をリードし、中国の新たな社会変化の兆しは、しばしば上海ないしは香港から見られ始めていた。

秋学期の授業では、上海と香港の地域史の観点から、中国および東アジアの社会を理解する上で重要と思われるテーマを取り上げて解説する。さらにVTR教材を用いて、各テーマに関する理解を深めてもらう。

【教科書】

特に指定しない。講義資料プリントを配布する。

【参考書】

濱下武志編『世界歴史大系 中国史5 清末～現在』  
山川出版社（2002年）

歴史 / 歴史（春学期分）

「日朝関係の転回（近世）」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 木村 直也

【授業科目の内容】

江戸時代の日本と朝鮮との関係は、対馬藩をはじめとする関係者の努力もあって、比較的平和的・安定的な「交隣」の関係にありました。一方、近代になると日本が朝鮮に対して「征韓」を行う関係になりました。それはどのような日朝関係の転回があったからでしょうか。この春学期の授業では、近世の日朝関係がどのような経緯で確立し、近世日朝通交システムがどのようなものであったかを解説したうえで、「交隣」から「征韓」への転回の序曲について考察したいと思います。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

歴史 / 歴史（秋学期分）

「日朝関係の転回（近世）」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 木村 直也

【授業科目の内容】

江戸時代の日本と朝鮮との間の平和的・安定的な「交隣」関係は、幕末維新期の動乱を経て、日本が朝鮮に対

して「征韓」を考えるようになり、近代の「不幸な関係」に至ります。それはどのような日朝関係の転回があったからでしょうか。この秋学期の授業では、幕末の日朝関係の変化を確認したうえで、「交隣」から「征韓」への転回を解説し、日本による朝鮮の植民地化について展望したいと思います。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

歴史a（春学期） / 歴史b（秋学期）

歴史（通年）

「対外通商関係とアジア太平洋戦争」

2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 佐藤 元英

【授業科目の内容】

近世末期の国際的通商と東アジアの開国問題からアジア太平洋戦争の終焉までを視野に入れながら、国際通商貿易システムと日米開戦経緯を論ずること、アジア太平洋戦争期における閣議・大本営政府連絡会議・最高戦争指導会議・御前会議などについての政策決定のメカニズムを論ずるところにある。

【教科書】

佐藤元英著『概説アジア太平洋戦争と日本の近代』虹  
有社（2003年 2000円）

【参考書】

池井優著『日本外交史概説』慶応通信（1994年 3800  
円）

歴史 / 歴史（春学期分）

「病気と医療の歴史 古代から19世紀まで」

2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 鈴木 晃仁

【授業科目の内容】

病気を通じて見た環境の歴史と、医療を通じて見た社会史を講義します。中心はヨーロッパ、時代は古代から19世紀の前半までになります。19世紀の後半以降は「歴史学」で扱います。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

歴史 / 歴史 (秋学期分)

「病気と医療の歴史 19世紀から現代まで」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

鈴木 晃仁

【授業科目の内容】

病気を通じて見た環境の歴史と、医療を通じて見た社会史を講義します。広く世界に目を配りますが、ヨーロッパ、アメリカ、日本が中心になります。19世紀の前半までは「歴史学」で扱います。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

歴史 / 歴史 (春学期分)

「海域アジアのなかの中世日本」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

関 周一

【授業科目の内容】

日本列島で展開された人々の歴史を、狭い視野からではなく、アジアのなかにおいてみていくことで新たな発見がある。本講義は、中世におけるアジア諸地域との交渉や交通・流通に関して考察する。今期は日本列島の北と南(琉球)を取り上げる。具体的な史料・資料を検討することで、歴史学の方法や歴史的思考について理解することを目標とする。

【教科書】

大石直正・高良倉吉・高橋公明『日本の歴史14 周縁から見た中世日本』講談社(2001年、2200円)第一部・第二部を使用

【参考書】

石井 進『日本の中世1 中世のかたち』中央公論新社(2002年) 入間田宣夫・豊見山和行『日本の中世5 北の平泉、南の琉球』中央公論新社(2002年)

本書は、教科書と併読することが望ましい。

斎藤利男『平泉』岩波書店〔岩波新書〕(1992年) 高良倉吉『琉球王国』岩波書店〔岩波新書〕(1993年) 荒野泰典他編『アジアのなかの日本史』第 巻、東京大学出版会(1992年) 豊見山和行編『日本の時代史18 琉球・沖縄史の世界』吉川弘文館(2003年) 菊池勇夫編『日本の時代史19 蝦夷島と北方世界』吉川弘文館(2003年) 安里進・高良倉吉・田名真之・豊見山和行・西里喜行・真栄平房昭『県史47 沖縄県の歴史』山川出版社(2004年)

対外関係史総合年表編集委員会編『対外関係史総合年表』吉川弘文館(1999年)

歴史 / 歴史 (秋学期分)

「海域アジアのなかの中世日本」

2単位 秋学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

関 周一

【授業科目の内容】

日本列島で展開された人々の歴史を、狭い視野からではなく、アジアのなかにおいてみていくことで新たな発見がある。本講義は、中世におけるアジア諸地域との交渉や交通・流通に関して考察する。今期は、朝鮮・中国・琉球や東南アジアの人々との海域における交流を取り上げる。具体的な史料・資料を検討することで、歴史学の方法や歴史的思考について理解することを目標とする。

【教科書】

大石直正・高良倉吉・高橋公明『日本の歴史14 周縁から見た中世日本』講談社(2001年、2200円)第三部を使用

【参考書】

荒野泰典他編『アジアのなかの日本史』(第 巻)東京大学出版会(1992年)

佐伯弘次『日本の中世9 モンゴル襲来の衝撃』中央公論新社(2003年)

関 周一『中世日朝海域史の研究』吉川弘文館(2002年)

田中健夫『倭寇』教育社〔教育社新書〕(1982年)

村井章介『中世倭人伝』岩波書店〔岩波新書〕(1993年)

同 『海から見た戦国日本』筑摩書房〔ちくま新書〕(1997年)

同 『日本の中世10 分裂する王権と社会』中央公論新社(2003年)

『日本の時代史』(第6~13巻)吉川弘文館(2002~03年)

対外関係史総合年表編集委員会編『対外関係史総合年表』吉川弘文館(1999年)

歴史 / 歴史 (春学期分)(水2)

「フランス革命史」

2単位 春学期

4単位 通年

【文経法政商医理】

高橋 暁生

【授業科目の内容】

1789年に勃発したフランス革命という事件は、世界史上、様々な意味できわめて重要な出来事です。本講義は、この事件の背景、経過、結果を詳細に追い、革命の全体像を把握することを目標とします。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

柴田三千雄他編著『世界歴史大系フランス史2』山川出版社(1996年)の中の「フランス革命期のフランス」の章は参考になります。

歴史 / 歴史(秋学期分)(水2)  
 「フランス革命史」 2単位 秋学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 高橋 暁生

【授業科目の内容】

1789年に勃発したフランス革命という事件は、世界史上、様々な意味できわめて重要な出来事です。本講義は、革命に関する基礎的な知識を前提に、幾つかのトピックに焦点を合わせて考察を加えます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

柴田三千雄他編著『世界歴史大系フランス史2』山川出版社(1996年)の中の「フランス革命期のフランス」の章は参考になります。

歴史 / 歴史(春学期分)(水3)  
 「国王と権力の正当性 ~フランスの場合を中心に」 2単位 春学期  
 4単位 通年  
 【経法政商医】 高橋 暁生

【授業科目の内容】

主に中世盛期から近世初期までを対象に、「フランス王国」が国家の体をなしていく過程を検討し、国王の権力行使がどのような文脈で正当とされたのかについて考えます。

【教科書】

特に指定しませんが、概説として福井憲彦編『フランス史』(新版各国世界史12) 山川出版社。

【参考書】

特に指定しませんが、春学期後半の内容に関連してフィリップ・コンタミーヌ著『百年戦争』(クセジュ文庫) 白水社。

歴史 / 歴史(秋学期分)(水3)  
 「国王と権力の正当性 ~フランスの場合を中心に」 2単位 秋学期  
 4単位 通年  
 【経法政商医】 高橋 暁生

【授業科目の内容】

近世後期からブルボン朝最後の王ルイ16世までを対象に、フランス絶対王政の成立と崩壊を、権力の正当性の所在という視角から考察します。

【教科書】

特に指定しませんが、概説として福井憲彦編『フランス史』(新版各国世界史12) 山川出版社。

【参考書】

特に指定しませんが、次の著作は講義理解の助けになるかもしれません。長谷川輝夫『聖なる王権ブルボン家』、講談社選書メチエ。

歴史 / 歴史(春学期分)  
 「ペルシャ文化史論」 2単位 春学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 中村 公則

【授業科目の内容】

視聴覚教材などを活用しつつ、現代のイランがどのような国であるかを紹介して行く。

【教科書】

本田実信著『イスラム世界の発展』講談社

歴史 / 歴史(秋学期分)  
 「ペルシャ文化史論」 2単位 秋学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 中村 公則

【授業科目の内容】

ペルシャ文化は古くより日本ともなじみが深い。その様な国の文化を出来るだけ総合的に把握しつつ、イスラームやそれ以前のペルシャ帝国の歴史にも触れたい。

【教科書】

本田実信著『イスラム世界の発展』講談社

歴史 / 歴史(春学期分)  
 「中世イスラーム史概説」 2単位 春学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 長谷部史彦

【授業科目の内容】

中世(10~15世紀)を中心に、イスラーム世界の政治、社会、経済、文化について概観する。

【参考書】

佐藤次高ほか編『都市の文明イスラーム』講談社(1993年)  
 長谷部史彦編著『中世環地中海圏都市の救済』慶應義塾大学出版会(2004年)

歴史 / 歴史(秋学期分)  
 「中世・近世アラブ社会史」 2単位 秋学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 長谷部史彦

【授業科目の内容】

10世紀から18世紀までを対象としてアラブ地域(特にエジプト、シリア、アラビア半島)の社会と文化について毎回テーマを設定し、多面的に論じる。本講義は前近代を主な対象とするが、近現代のアラブ社会について考える際に有効な基礎知識や視点を伝えてゆきたい。

【参考書】

佐藤次高ほか編『都市の文明イスラーム』講談社(1993年)  
 長谷部史彦編著『中世環地中海圏都市の救済』慶應義塾大学出版会(2004年)

歴史 / 歴史 (春学期分) (火3)  
 「十九世紀フランス・バレエの歴史」 2単位 春学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエ・ロマンティックを中心に、十九世紀のパリ・オペラ座バレエの歴史を講じる。オペラ、音楽、文学、絵画など、様々なジャンルを視野に入れて論じる。

【教科書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應大学出版会 (2000年)

歴史 / 歴史 (秋学期分) (火3)  
 「十九世紀フランス・バレエの歴史」 2単位 秋学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエ・ロマンティックを中心に、十九世紀のパリ・オペラ座バレエの歴史を講じる。オペラ、音楽、文学、絵画など、様々なジャンルを視野に入れて論じる。

【教科書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應大学出版会 (2000年)

歴史 / 歴史 (春学期分) (火4・5)  
 「バレエの歴史」 2単位 春学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエの起源から現代バレエまでを講じる。春学期は十九世紀フランス・バレエまでを論じる。

【教科書】

平林正司著『「胡桃割り人形」論』三嶺書房 (1998年)

【参考書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應大学出版会 (2000年)

歴史 / 歴史 (秋学期分) (火4・5)  
 「バレエの歴史」 2単位 秋学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 平林 正司

【授業科目の内容】

バレエの起源から現代バレエまでを講じる。秋学期はロシアにおけるバレエと現代バレエを論じる。

【教科書】

平林正司著『「胡桃割り人形」論』三嶺書房 (1998年)

【参考書】

平林正司著『十九世紀フランス・バレエの台本』慶應大学出版会 (2000年)

歴史 / 歴史 (春学期分)  
 「近世都市トゥルーズ 1628～1636」 2単位 春学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 宮崎 洋

【授業科目の内容】

ヨーロッパの都市研究は中世都市研究を中心に大発展をとげたが、近世都市の研究は手薄である。ここでは、近世フランスの都市、トゥルーズをさまざまな分野から、春学期には都市構造を検討する。それは都市の本質を学ぶこととなります。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

ほとんどない。

歴史 / 歴史 (秋学期分)  
 「災害都市トゥルーズ 1628～1636」 2単位 秋学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 宮崎 洋

【授業科目の内容】

春学期の講義の延長で、近世都市トゥルーズの検討である。秋学期は反乱、ペスト流行、飢饉、処刑、洪水...といった動態的、事件史的な展開の分野から都市の生命力を検討する。それは都市のもつ根源的な力強さを学ぶこととなります。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

ほとんどない。

歴史a (春学期) / 歴史b (秋学期)  
 歴史 (通年)  
 (春学期) コミュニケーションとメディアから見るヨーロッパ (1)  
 (秋学期) コミュニケーションとメディアから見るヨーロッパ (2)  
 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年  
 【文経法政商医理】 山道 佳子

【授業科目の内容】

先史時代から近代までのヨーロッパ世界の歴史を、コミュニケーションとメディアという視点から見直すことにより、何が明らかになるのかということを考えます。私たちが日常的に使っている言葉や文字、シンボル、印刷本や電話といったコミュニケーションの道具 (メディア) の歴史的な意味を考え直すことを通して、現代の情報技術革新と、そこから派生している現代社会や文化の問題について考察する視点を獲得することを目的とします。

(春学期には印刷技術の登場までを扱います。)

(秋学期には印刷革命から20世紀初頭までを扱います)

【教科書】

デイヴィッド・クローリー、ポール・ヘイヤー『歴史のなかのコミュニケーション メディア革命の社会文化史』新曜社（1995年 3800円）を通年で使用します。その他の資料はプリントを配布します。

【参考書】

初回のガイダンスで参考文献リストを配布します。

歴史 / 歴史（春学期分）

「8世紀までの日本文化史」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 湯浅 吉美

【授業科目の内容】

寺院の造営や僧侶の活動など、仏教文化的な事象を中心として日本の古代史を見てゆく。 および春学期分としては、仏教伝来から奈良時代までをとりあげる。

文化史には、 つくり出すはたらき、 受け容れるはたらき、 つくられたもの、 以上3つの視点がなければならぬという。しかし、とかく についてのみ考え、作品名や人名を列挙して、それで「文化史」だとする風潮が強い。この講義では、むしろ や の解明に力点を置く。そして願うところは、一人でも多くの諸君が、歴史的遺産を愛し、守り伝えてゆく気持ちをもつ社会人に育ってほしいということである。

【教科書】

とくに使用しない。

【参考書】

井上光貞監修『図説 歴史散歩事典 2版』山川出版社（1982年）朝尾直弘ほか編『角川 新版日本史辞典』角川書店（1996年）

2点とも講義そのものには必須ではないが、博物館や史跡巡りをしたい人、日本史に強い興味をもつ人にお薦めする。

歴史 / 歴史（秋学期分）

「9世紀から12世紀までの日本文化史」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 湯浅 吉美

【授業科目の内容】

寺院の造営や僧侶の活動など、仏教文化的な事象を中心として日本の古代史を見てゆく。 および秋学期分としては、平安時代初期から院政期までをとりあげる。

文化史には、 つくり出すはたらき、 受け容れるはたらき、 つくられたもの、 以上3つの視点がなければならぬという。しかし、とかく についてのみ考え、作品名や人名を列挙して、それで「文化史」だとする風潮が強い。この講義では、むしろ や の解明に力点を置く。そして願うところは、一人でも多くの諸君が、歴史的遺産を愛し、守り伝えてゆく気持ちをもつ社会人に育ってほしいということである。

【教科書】

とくに使用しない。

【参考書】

井上光貞監修『図説 歴史散歩事典 2版』山川出版社（1982年）朝尾直弘ほか編『角川 新版日本史辞典』角川書店（1996年）

2点とも講義そのものには必須ではないが、博物館や史跡巡りをしたい人、日本史に強い興味をもつ人にお薦めする。

歴史 / 歴史（春学期分）(月3)

「イブン・ハルドゥーンとその時代を通じて中世イスラーム社会とその歴史を見る」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 湯川 武

【授業科目の内容】

高等学校レベルの世界史の教科書でも出てくるイブン・ハルドゥーンは、中世イスラーム世界の学者・思想家としてはかなりよく知られた人物である。彼の代表的な著作として『歴史序説』という名も比較的よく知られている。しかし、イブン・ハルドゥーンの名前と思想についての知識は、ほとんどそれだけで、その人物と思想そのものについてはほとんど何も述べられていないのに等しい。春学期の本講義は、イブン・ハルドゥーンの伝記を通じて、14世紀のアンダルス（イスラーム教徒支配下のイベリア半島）マグリブ（北アフリカ）エジプトを見るとともに、その背景となるそれにさらにそれ以前のアラブ・イスラームの歴史を見ていく。

【教科書】

なし

【参考書】

詳しい参考文献リストは第1回授業の時に降順次示すので、ここには次のものだけを挙げておく。

森本公誠著『イブン・ハルドゥーン』講談社（1980年）M・ワット（黒田・柏木訳）『イスラーム・スペイン史』岩波書店（1984年）

歴史 / 歴史（秋学期分）(月3)

「イブン・ハルドゥーンの『歴史序説』」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 湯川 武

【授業科目の内容】

この講義では、現代にまで大きな影響を及ぼしているイブン・ハルドゥーンの『歴史序説』に示されている、彼の広い分野にわたる思想と理論について考察する。中世のイスラーム思想史の中でイブン・ハルドゥーンの思想はどのような意味を持っているかについても言及する。さらに、その『歴史序説』が後代に及ぼしたさまざまな影響についても考えていく。秋学期の履修者は、春学期の歴史「イブン・ハルドゥーンとその時代」を履修することが望ましい。

【教科書】

なし。原典の日本語訳については、必要な箇所はコピーして授業中に配布する。

【参考書】

詳しい参考文献リストは第1回授業の時以降順次示すので、ここには次のものだけを挙げておく。

イブン・ハルドゥーン、森本公誠著『歴史序説』(全4巻)岩波書店(2001年)

歴史 / 歴史(春学期分)(金3)

「前近代アラブ史」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 湯川 武

【授業科目の内容】

春学期は18世紀までのアラブの歴史を、7世紀初めにアラビア半島でイスラームが誕生する時からを中心に話していく。

イスラームを奉じるアラブがその政治的支配領域を拡大する時代から、中東を中心とする広い地域に広大な国家を建設し、そしてアラビア語で表現される宗教としてのイスラームを中心に、それを核とする文明(イスラーム)を確立していく過程を見ていく。さらにアラブが民族としては政治的な主導権を失った後も、アラビア語を媒介としてイスラーム文明世界が旧世界の広い範囲にわたって成立し、ヒト・モノ・情報の交流が盛んに行われた中世を見直していきたい。16世紀になるとオスマン帝国の支配はアラブ地域の過半を覆うようになるがそれが、西洋との新たな出会いが起こる近代にどのように繋がっていくかということまでを春学期の学習の範囲としたい。

【教科書】

とくに指定しない。

【参考書】

詳しい参考文献リストは第1回授業の時以降順次示すので、ここには次のものだけを挙げておく。

佐藤次高編『西アジア史1(アラブ)』山川出版社(2002年)、A・ホーラーニー、湯川武監訳『アラブの人々の歴史』第三書館(2003年)

歴史 / 歴史(秋学期分)(金3)

「近代アラブ史」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 湯川 武

【授業科目の内容】

18世紀末から19世紀になるとアラブにも西洋の波が押し寄せてきた。アラブの社会の近代における変化はこのいわゆる「西洋の衝撃」ということで説明されることが多い。たしかに「西洋の衝撃」は大きかったことは間違いない。しかし、中東・北アフリカの内側からも変化を促す要因はあったことも無視できない。そのような視点を取り入れて、近現代アラブ史を見ていきたい。いくつか焦点となる歴史的な問題を中心に講義を展開していくが、パレスチナ問題は現代に繋がる重要な問題として、深く詳しく話すポイントの一つとなる。

【教科書】

なし

【参考書】

白杵陽著『中東和平への道』(世界史リブレット52)山川出版社(1999年)、板垣雄三著『石の叫びに耳を澄ます 中東和平の模索』平凡社(1992年)、板垣雄三著『歴史の現在と地域学』岩波書店(1992年)

歴史a(春学期)/歴史b(秋学期)

歴史(通年)

「ノルマン人の世界」(春学期)

「イングランド、ブリテン諸島のノルマン人」(秋学期)  
2単位 春学期/秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 吉武 憲司

【授業科目の内容】

**春学期** ヴァイキングの末裔とされるノルマン人がフランスにどのように定住・発展し、外の世界へ、イングランド、南イタリア・シチリア、さらに中東の十字軍国家へと進出していったのかについて考察します。その際、「ノルマン人」とはそもそも何なのか、「民族」と何なのかといったことについても考えてみたいと思います。

**秋学期** ノルマン征服以後イングランドに定住したノルマン人がどのようにして土着のアングロ・サクソン人と同化しイングランド人となっていったのか、そしてさらに彼らが周辺のウェイルズ、スコットランド、アイルランドへと広がっていったのかについて考察します。

【教科書】

**春学期** R.H.C.デーヴィス著『ノルマン人 その文明的考察』刀水書房(1981年)

**秋学期** E.キング『中世のイギリス』慶応義塾大学出版会(2005年)

論理学a(春学期)/論理学b(秋学期)

論理学(通年)

「論理的推論の理解とその応用」2単位 春学期/秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 岡田 光弘(春学期)  
長谷部浩二(秋学期)

【授業科目の内容】

論理的思考や正しい論理推論の基準を明らかにする。命題論理及び述語論理の論証理論(証明論)及び意味論を中心に、現代論理学の基本的な考え方を学習していく。また、論理学の種々の応用についても具体例を用いながら解説を加えたい。理系、人文社会系の両者の具体例も用いながら授業を進めるが、月曜1時限目では理系の例をより多く用いるようにし、2時限目では人文社会学系の例をより多く用いる予定である。

【教科書】

プリント(小冊子)を実費で日吉コピーセンターより購入して下さい。詳しいことは各学期最初の授業で指示します。

【参考書】

必要に応じて授業中に指示します。

論理学a（春学期）／論理学b（秋学期）  
論理学（通年）  
「我々はいかに論理的でありうるか？」  
2単位 春学期／秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 串田 裕彦

【授業科目の内容】

古典命題論理及び古典述語論理の意味論と構文論（証明論）を概観し、現代論理学の基礎を学びます。又、直観主義論理や様相論理などの非-古典論理を取りあげ、その意義を考察します。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

使用しない。

論理学 a / 論理学（春学期分）  
「形式論理学入門」 2単位 春学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 佐々木昭則

【教科書】

特に指定せずプリントを配布

【参考書】

教室で適宜指示

論理学 b / 論理学（秋学期分）  
「形式論理学入門」 2単位 秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 佐々木昭則

【教科書】

特に指定せずプリントを配布

【参考書】

教室で適宜指示

論理学a（春学期）／論理学b（秋学期）  
論理学（通年）  
「推論の科学」 2単位 春学期／秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 星野 慎吾

【授業科目の内容】

論理学は「推論の構造」を研究の対象にします。推論するという知的行為は、人間のさまざまな行為のうちで最も基本的なもののうちの一つです。証明する、論証する、議論する、理論（学問）を構成する等の知的行為は、すべて正しい推論を用いることで行われます。したがって、論理学は諸学問を形成するのに必要不可欠なものになり、また道具になるともいえます。

以上のような性格をもつ論理学を初心者を対象にして講義します。

【教科書】

大出・高野著『論理学』慶大出版会

論理学 a（春学期）／論理学 b（秋学期）  
論理学（通年）  
「妥当な推論（確実な根拠付け）の基準の研究」  
2単位 春学期／秋学期  
4単位 通年

【文経法政商医理】 弓削 隆一

【春学期授業科目の内容】

現代の論理学では、論理式の意味や推論の正しさの基準が厳密に定義された人工言語の体系を構成することを通じて、論理を捉えようとする。この授業では、このような論理学の人工言語の中で最も基本的なものである命題論理の言語について解説する。

【教科書】

講義資料プリントを作成する。

【参考書】

授業中に適宜指示する。

【秋学期授業科目の内容】

現代の論理学では、論理式の意味や推論の正しさの基準が厳密に定義された人工言語の体系を構成することを通じて、論理を捉えようとする。この授業では、このような論理学の人工言語の中で基本的なものである述語論理の言語について解説する。

【教科書】

講義資料プリントを作成する。

【参考書】

授業中に適宜指示する。

論理学序論  
「思考形式の科学」 2単位 春学期  
【経商医理】 星野 慎吾

【授業科目の内容】

論理学の研究課題は「推論の構造」の解明である。日常生活の分野での推論の展開から始まって、学問領域における論理的思考までが、どのような考え方と方法で論理学として統一的に形成されているかについて概説する。

【教科書】

なし。

【参考書】

大出晁著『論理の探求』慶大出版社

論理学本論  
「思考形式の科学」 2単位 秋学期  
【経商医理】 星野 慎吾

【授業科目の内容】

現代論理学の方法と考え方に基づいて考察し、思考の形式である「推論の構造」がどのような性質を持ち、その特徴がいかなるものとして明らかにされているかにつ

いて概説する。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

大出・高野共著『論理学』慶大出版会

医学部基礎科学必修科目のうち他学部生履修可能な科目一覧

科目	担当者	開講学期	単位数	曜日時限	受入可能人数
数学	鈴木 由紀	春学期	2	土1 / 2	6名まで
数学	鈴木 由紀	春学期	2	月1 / 2	6名まで
数学	鈴木 由紀	秋学期	2	月1 / 2	6名まで
物理学（未習）	古野 泰二	春学期	2	火2	2名まで
物理学（既習）	三井 隆久	春学期	2	水1 / 2	10名まで
物理学（未習）	古野 泰二	秋学期	2	火2	2名まで
物理学（既習）	三井 隆久	秋学期	2	水1 / 2	10名まで
化学	久保田真理	春学期	2	木2 / 3	10名まで
化学	小林 常利	秋学期	2	木2 / 3	10名まで

講義内容については、講義要綱・シラバス「学部独自設置授業科目(医学部)」を参照してください。  
 以上の科目の履修を希望する学生は、最初の授業に出席し、担当者の許可を受けた上で履修申告をしてください。



# 少人数セミナー形式授業科目

ここからは、各学部で設置されている少人数セミナー形式の授業科目について紹介します。各学部で開講されている少人数の特色ある科目を、できるだけ多くの学生に共有してもらいたいという願いから、2003年度から、相互に、他学部の学生に授業を開放しています。他学部に開放された授業では、所属学部の学生の履修が優先された上で、履修人数に余裕のある限り、他学部の学生が履修することができます。

他学部の「少人数セミナー形式授業科目」を履修した場合、下記科目の単位となります。

文学部 : 総合教育科目の系列外科目  
経済学部 : 総合教育科目(系)  
法学部 : 自主選択科目  
商学部 : 総合教育科目(・類)  
医学部 : 自由科目  
理工学部 : 自由科目

各学部の時間割に全学部分の「少人数セミナー形式授業科目」時間割を掲載しているので、曜日時限を確認してください。

「少人数セミナー形式授業科目」は、他学部設置の科目を履修する場合でも、科目認定用紙の提出の必要はありません。

【文学部設置の少人数セミナー形式科目】

総合教育セミナー ・ （各2単位）

主として、文学部1年生を対象に開講する少人数、セミナー型講義科目です。担当するのは、文学部の日吉所属教員で、三田所属教員が開講している「特論」とよく似た形態です。いわゆる教員が壇上で講義をしていく形態の総合教育科目とは違って、各教員が専門とする研究に沿って討論、対話、輪講などの形式で進められます。内容・講義形式等については、各担当教員が自由に設定しますので、必ず第1回目の授業に出席して、内容等を確認してください。なお、秋学期開講科目については、ガイダンスを行う科目のみ文学部掲示板でお知らせいたします。

科目名は、**ゴシック（太字）**部分です。（ ）カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考（証明書などに記載されない科目名）です。

総合教育セミナー （英米文学）

「異人としての日本人 アメリカにおける日本（人）表象の変遷1 ゲイシャ」 2単位 春学期

【文】 宇沢 美子

【授業科目の内容】

ゲイシャ、サムライ、召し使い・・・アメリカにおいて（ミス）リプレゼントされてきた3大日本人表象を題材に、日本（人）という概念の変遷と多様性を探る。特にこのセミナーではゲイシャに焦点をあてる。舞台、映画、小説、新聞雑誌コラム、広告に登場した日本人たちの姿や意味を分析するとともに、分析例として、オリエンタリズム論、ステレオタイプ論、身体論、黄禍論ほかの議論も検討する。

【教科書】

マスターコピーを各自コピーする

【参考書】

学期の初めにリストを配布

総合教育セミナー （20世紀の科学の発見）

2単位 春学期

【文】 大場 茂

【授業科目の内容】

科学はどのようにして発展してきたのだろうか。世界の常識を覆すような発見や発明が、どのようになされたのであろうか。近代の科学の発展を振り返り、その時代背景や基礎的な科学の概念を学びます。

【教科書】

毎回プリントを配布します。

総合教育セミナー （人類学）

「動物園・水族館で進化を学ぶ」 2単位 春学期

【文】 高山 博

【授業科目の内容】

現在、生きている動物を観察することで、人類の進化についての基礎知識を学ぶ機会としたい。今年度は、特に脊椎動物（魚類以降）の動物に注目して観察していきます。講義時間外に、動物園・水族館等へでかけますので、休業日（日・祝）も講義の一環となります。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜指示します。

総合教育セミナー （英米文学）

「異人としての日本人 アメリカにおける日本（人）表象の変遷2」 2単位 秋学期

【文】 宇沢 美子

【授業科目の内容】

ゲイシャ、サムライ、召し使い・・・アメリカにおいて（ミス）リプレゼントされてきた3大日本人表象を題材に、日本（人）という概念の変遷と多様性を探る。特にこのセミナーではサムライと召し使いに焦点をあてる。舞台、映画、小説、新聞雑誌コラム、広告に登場した日本人たちの姿や意味を分析するとともに、分析例として、オリエンタリズム論、ステレオタイプ論、身体論、黄禍論ほかの議論も検討する。

【教科書】

マスターコピーを各自コピーする

【参考書】

学期の初めにリストを配布

総合教育セミナー （細胞行動データベースの作成）

「細胞行動・高次生命現象・そして人間社会」

2単位 秋学期

【文】 金子 洋之

【授業科目の内容】

文系の学生諸君にとって、細胞行動、高次生命という言葉からどういった状況が思い浮かべられるだろうか？生物の構成単位である細胞が疑人化され、何らかの振る舞いを行い、ダイナミックな細胞社会が構築され、その結果が高次生命現象として捉えられるのでは？との答えで十分正解である。多細胞生物の身体で生じる多彩な細胞行動が、ダイナミックな細胞社会を存在させていることは事実である。これらの知見を体系化できれば、人間行動と人間社会を新たな視点から考察できないだろうか？本講義では、理系と文系の学際領域の開拓を目指し、生命科学が明らかにしてきた多くの知見を平易に解説しつつ、細胞行動の情報収集を試行する。これらを通して

高次生命現象理解のための細胞行動データベースを作成することを体験してもらいたい。

【教科書】

指定しない。教材は教員が準備する。

【参考書】

指定しない。推薦図書を講義中に知らせる。

総合教育セミナー (人類学)

「骨に聞く、骨を読む」

2単位 秋学期

【文】

高山 博

【授業科目の内容】

人体骨格についての基礎知識を習得しながら、人類学(骨格人類学)の基礎にふれる機会としたい。実際に人骨に触れることもあるので、物見遊山的な受講はお断り。

【教科書】

特にありません。

【参考書】

講義内容、講義参加者のレベルに合わせて、適宜指示します。

総合教育セミナー (東欧諸国歴史・文化)

2単位 秋学期

【文】

ナコルチェフスキー, アンドリイ

【授業科目の内容】

東欧諸国の歴史・文化について概観し、基本的な知識を習得します。

【参考書】

森安達也・南塚信吾『東ヨーロッパ』朝日新聞社(1993年)

【経済学部設置の少人数セミナー形式科目】

自由研究セミナー

「Java applet を作ろう」

2単位 春学期

【経】

青木健一郎

【授業科目の内容】

Javaは様々な局面で現在使われているプログラミング言語です。OS等によらずにグラフィックスまで含めたプログラムを作ることができるのが重要な特色です。この講義ではJavaを初歩から学び、Javaでapplet(プログラムの一種)を各自作ります。複雑なプログラムを書くことを目的とするものではありません。簡単なプログラムで良いので、自分の目的に必要な機能を自分で装備してappletを作り、それを完璧に理解することを目的とします。

【教科書】

ありません。

【参考書】

好きなもので良いですが、Javaの解説書は必要です。一例は「初体験Java」丸の内とら著(技術評論社)

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「国際経済の計量分析」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

秋山 裕

【授業科目の内容】

貿易、為替レート、直接投資など、国際経済における経済現象について、回帰分析を中心とした簡単な計量分析を履修者が行なえるようになることがこのセミナーの目標です。国際経済分野ならびに計量経済分野で唯一の自由研究セミナーです。授業は 担当者による講義とコンピュータを用いた演習と 履修者の発表からなります。春学期は計量分析手法を中心に、秋学期は国際経済での応用分析を中心に学んでいきます。

セミナーを効率的かつ活発で楽しいものにするため、演習、発表ではグループによる共同作業も行ないます。(2004年度のクラスでは、日本経済新聞社主催の学生円ダービーや日経ストックリーグなどのコンテストにもチームを編成して参加しました。コンテスト参加にあたって、MS Excelの分析ツールを中心に実践的な分析手法を習得していきます。)そのため、授業時間以外で準備の時間、課題をこなすための時間がある程度必要となります。

【教科書】

『通商白書2004』および『通商白書2005』(春学期中に発行の予定)

計量分析手法の学習にあたっては、講義資料プリントを配布します。

【参考書】

随時、担当者から指示があります。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
自由研究セミナー

「数学的視点から見たファイナンス」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】 新井 拓児

【授業科目の内容】

ファイナンス等に現れる数理的現象をより良く理解できるように、数学に関連したいくつかの興味深いトピックを取り上げながら、数理的思考能力を高めていきたい。特に、秋学期は確率に関わる話題を取り上げ、不確実性に対する考え方を中心に討論を行う。授業では学生が順番に発表を行い、全員で討論する。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

授業中に紹介する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
自由研究セミナー

「音楽 作曲の基礎としての対位法」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】 石井 明

【授業科目の内容】

対位法は、西洋の古典的な作曲技法の1つで、ルネッサンス期の教会音楽において最盛期を迎えたものです。16世紀後期に活躍したパレストリーナによるミサ曲などにその手本を見ることができます。17世紀の初頭におけるオペラの誕生により対位法は、作曲技法の主流から遠ざかるようになりました。しかしながら、その後も対位法は、常に作曲の基礎として多くの音楽家によって学ばれてきました。モーツァルト、ハイドン、ベートーヴェン、シューベルト、ブラームスなどの作曲家達も対位法を学びました。そこでこのセミナーでは、基礎的な対位法を実践という形で基礎から学びます。単旋律の概念から始め、2声による学習的な対位法を経て、2声フーガの作曲を試みます。それと同時に、過去の作曲家達がどのように対位法を作り上げていったのかということと、彼らが対位法とどのように接してきたのかということを経史的に検証していきます。最終プロジェクトでは、1つの作品を完成させるだけではなく、その作品が持つ技術的な特徴などを、歴史的な作品と比較して分析します。

自由研究セミナー

「Introduction to Film Studies」

4単位 春学期集中

【経】 石井 康史 エインジ・マイケル

【授業科目の内容】

Motion pictures were invented at the end of the

nineteenth century as a further development of the pre-existing visual-recording technology, namely, photography. Even "talkies" were merely a combination of existent photographic and phonographic technologies. In this sense, the motion picture was not a fundamentally new invention. Also, most movies' narrative structure borrowed extensively from literature, especially the theatrical arts. In fact, however, movies ushered in a totally new perception experience to human; with movies, humans achieved a new form of expression unimaginable to people in the past.

In this course, the two instructors will present a variety of approaches to cinema, with focus on sight, sound and narrative. Students will be given an opportunity to learn and to apply various ways to analyze and discuss films. Thirteen films comprise the major course content, chosen not for their entertainment value but for their value as research materials.

There will be two consecutive class sessions each Wednesday, in addition to weekly Monday-evening screenings. Attendance at all discussion sessions is mandatory, while students who cannot attend screenings may watch films on their own account. There will also be substantial amount of reading assigned, selected to support the development of students' understanding of, and skills in analyzing, each film.

【教科書】

To be announced at the first meeting.

【参考書】

To be announced at the first meeting.

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
自由研究セミナー

「都市の中心、空虚な中心 都市を読む」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】 伊藤 行雄

【授業科目の内容】

ヨーロッパの歴史のある古い街を歩いてみると、街の中心には必ず、教会や市庁舎があり、その前の広場には朝市で買い物をする人、観光客などで賑わい、いつも活気のある光景を目にする。フランスの批評家ロラン・バルトによれば、教会や官庁、銀行、デパート、カフェ、遊歩道が集合して凝縮しているのはまさにこの同心円的な構造をもつ都市の中心であると述べている。中心へ行くこと、それは社会の「真理」に出会うことでもありと述べ、キリスト教的な考え方に代表される中心のある都市の有り様に言及している。

一方バルトは東京については、「いかにもこの都市は中心をもっている。だが、その中心は空虚である」とい

う逆説を示している。この中心とは緑で覆われて、お濠によって防禦されていて誰からも見られることのない皇居であり、「そのまわりをこの都市の全体がめぐっている」とするバルトの考え方には意表をつかれた感じがするが、「空虚な主体に沿って[非現実的]で想像的な世界が迂回してはまた方向を変えながら、循環しつつ広がっている」という言葉のうちに、バルトは「テキスト」としての「東京」を読む魅力を巧みに暗示しているとも言える。

本研究会では、ヨーロッパと日本の都市（特に東京）を比較検討しながら、「西」と[東]の都市の形態や差異を考察していく予定。時には文学作品などを含めた多方面のテキストを使用することによって、都市の分析を行っていきたいと考えている。

研究会は参加者のレポート発表と討論によって進められる。同時にレジュメや発表の基礎的なトレーニングも行い、実際に後半からは研究発表の計画、実施を行う。

【教科書】

ロラン・バルト『表徴の帝国』ちくま学芸文庫  
 カール・グルーバー『ドイツの都市造形史』西村書店  
 芦原義信『続・街並みの美学』岩波現代文庫  
 宮元健次『江戸の都市計画』（講談社選書メチエ）  
 Zürich - Geschichte Kultur Wirtschaft- (Fretz Verlag)  
 ほか

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
 自由研究セミナー  
 「都市における映像と音響」 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【経】 小湊 昭夫

【授業科目の内容】

東京やパリやニューヨークなど都市をテーマにした映画や写真や音楽を見聞しながら、都市のリアリティーに迫って行く。

【教科書】

授業中に示します。

【参考書】

授業中に示します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
 自由研究セミナー  
 「市町村合併問題」 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【経】 長田 進

【授業科目の内容】

この研究セミナーの大きな目的は、現在話題の市町村合併問題について理解を深めることである。

現在進行中の市町村合併については、「平成の大合併」として各種メディアがよく取り上げており目にしたことがある人がほとんどだと思う。しかし、市町村の合併が進められる背景や、実際の合併の内容、そして合併による地域社会の社会的経済的影響について、明確なイメー

ジを持つ人は少ない。そこでセミナーの中で勉強することで理解を図ることとしたい。

このセミナーでは二つの段階を経て参加者が市町村合併について理解を深めることを期待している。前期授業では第一段階として、この問題に関する専門書を輪読することで内容の理解に努めることを目標とする。このセミナーでは単に指定書籍を読むのではなく、セミナー形式の授業を開催することで意見交換を行い出席者の理解度の統一を図ることとする。後期授業は学習の第二段階として、自分で追加資料を探して学習を進めた上で仲間と議論する。そして最終的に報告書の形でまとめることで完了とする。

以上からお分りのように、このセミナーでは参加者が自分の意見を発表することが要求される。そのために、(1)自分の意見を人にわかりやすく発表するとはどのようなことなのか、(2)議論とはどのように行うのか、(3)レポート、論文を書くために必要な技術は何か、という大学で勉強するのに必要なスキルを身につけることも視野において授業を進めていく予定である。

【教科書】

最初の授業の時に提示する。

【参考書】

授業の中で適宜指定する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
 自由研究セミナー  
 「経済分析の理論的方法」 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年

【経】 長名 寛明

【授業科目の内容】

経済現象は、自然現象や社会現象と同様に複雑であって、どのような要因がどのように作用し合って生じているか、理解するのが必ずしも容易ではない。これを理解するためには、当面の問題に直接関係がないと思われる要因を思い切って捨象して考えることが有益である。不必要と思われる要因を捨象して残ったものが、経済分析に使われるモデルあるいは理論である。モデル(模型)が実物と異なることは当然であるが、経済学を学び始める者の中のある者は、理論が現実と乖離していることに驚き、経済学への興味を失う。これは学問を始めようとする者にとって極めて不幸なことであると思われるが、かなり多くの者に観察されるようである。これは一種のアレルギー反応といえるものであり、理論の理解と共に消失する。

また経済理論は、かなり本質的な部分において数学的分析を必要としており、したがって、この分析方法を習得しないと十分な理解に達することが難しい。

この自由研究セミナーでは、ミクロ経済学の主要項目について演習形式で理解を深めることを目指す。必要な数学的分析方法についても訓練する予定である。

【教科書】

H. R. Varian, Intermediate Microeconomics, Norton (6th Edition), 2002.

【参考書】

神谷和也・浦井憲著『経済学のための数学入門』東京大学出版会  
 その他必要に応じて指示する。

自由研究セミナー

「生物資源の保全と経済」 2単位 春学期  
**【経】** 河田 幸視

【授業科目の内容】

このセミナーは、自然環境や生物資源の保全に関する諸問題に対して、経済的な観点からアプローチする方法を学ぶことを目的とする。当初6回程度でテキストを輪読する。その後は、各自テーマを設定して調べた内容を報告していただき、それをもとに討論する形式で進める。

【教科書】

初回に指示する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
 自由研究セミナー

「自然・環境保護の思想を読む」2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年  
**【経】** (火2) 岸 由二

【授業科目の内容】

自然環境保全の課題は、技術論・実理論と同時に倫理や文化の観点からもさまざまに論議されている。この講義では、通常環境倫理学の基本や共存すべき自然をめぐる生態文化論的な思考に注目しつつ、読書（輪読形式とする）と討論を通して、環境思考の現場を体験してもらう。

【教科書】

- ・加藤尚武『環境倫理学のすすめ』丸善ライブラリー
- ・岸 由二『自然へのまなざし』紀伊国屋書店
- ・R.カーソン『センス・オブ・ワンダー』新潮社

【参考書】

オギュスタン・ベルク『地球と存在の哲学』筑摩書房

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
 自由研究セミナー

「ナチュラリスト入門」 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年  
**【経】** (火3) 岸 由二

【授業科目の内容】

環境問題に適切に対応できるセンスや知識をはぐくむためには、概念的・技術的・思想的な理解だけでなく、地域にかかわる具体的な自然・環境体験が重要である。本講義は日吉キャンパスとその周辺をフィールドとして、足元の自然に知的・感性的に浸るエコロジー体験の機会を提供する。晴れた日は散策を通して足元の生物多様性やランドスケープを学び探索し、雨天は室内で日吉の自然にかかわる各種の文献や論文を読み、意見交換を行う。成果は毎回レポートとして提出。別に年間の日吉

自然体験をエッセーとしてまとめていただく。

【参考書】

そのつど紹介する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
 自由研究セミナー

「デジタルメディアの過去・現在・未来  
 批判的・総合的研究」  
 2単位 春学期 / 秋学期  
 4単位 通年  
**【経】** クナウプ・ハンス」

【授業科目の内容】

現代はデジタルメディアが日常生活に深く浸透し、私たちの身体の一部になっています。デジタルメディアと私たちの関わりが将来どのように展開し、どのような姿になっていくのかについて、アジア、ヨーロッパ、アメリカなどにおける情報を共有しながら議論を進めていく予定です。また、デジタルメディアの現在と将来を問題にする場合、メディアの過去について十分な知識を持つことが重要です。この授業では、時間の差異と空間の境界を自由に越えながら、メディアに潜んでいる危険性にも注目しつつ、最もアクチュアルな問題に批判的・総合的に接近していくつもりです。

【教科書】

プリントで配布

自由研究セミナー

「文明化論を考える」 2単位 秋学期  
**【経】** 神代 光朗

【授業科目の内容】

私の自由研究セミナーは、開設以来、伝統的に社会科学、とくに経済学の古典文献を学生諸君と熟読、討論することを中心としてきた。今年度は、福沢諭吉著『文明論之概略』をテキストとして読む。いわゆる冷戦体制崩壊後の世界で、この15年近くの間、資本主義市場経済のグローバル化とともに旧「東欧」諸国でも文明化論議が活発に行なわれた。しかし、近年の世界的な不安定のもとで、我が国の文化の変容も含め、近代文明とはそもそも何を目標としているかが問われているように思う。自由とか民主主義の問題も含めて、改めて、この問題を考える素材として、このテキストを読みたい。

【教科書】

福沢諭吉著『文明論之概略』岩波文庫（青102-1）

【参考書】

- 福沢諭吉著『学問のすすめ』岩波文庫（青102-3）
- 丸山真男『文明論之概略を読む』（上中下）岩波新書
- J.S.ミル著『自由論』岩波文庫（白116-6）

## 自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

## 自由研究セミナー

「世界の中の日本経済」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【経】 島田 晴雄

## 【授業科目の内容】

**目標** 私の自由研究クラスでは、現在の日本経済ならびに世界経済が直面している諸問題をテーマに選び、経済理論と分析方法をふまつつも、自由な発想による議論をつうじてグループ研究(あるいは個人研究)を進め、経済に対する問題意識を養うことを目的とする。

とりわけ、大きな歴史的転換を経つつある日本経済をめぐる、内外に発生しつつある重大な構造問題を展望し、その解決策などを考えてゆきたい。

**授業内容** 私の自由研究は原則的に2年生を対象とするが、1年生が履修してもよい。その場合、学力の開きはグループ研究を活用して補うようにしたい。

通常の授業は有益な書物を選んで各人がレポートを提出し、それにもとづいて皆で討論をしながら理解を深める形で進める。ディベート、ディスカッション・フォーラム、シンポジウム、実務家との対話、英語による討論など参加者の必要と興味に応じて多様なプログラムを工夫したい。

## 【教科書】

島田晴雄著『生活産業が日本を救う』NTT出版  
島田晴雄著『マーケット・パワー』PHP  
島田晴雄著『産業創出の地域構想』東洋経済新報社  
島田晴雄著『日本再浮上の構想』東洋経済新報社  
島田晴雄著『法人課税改革』東洋経済新報社  
島田晴雄著『労働市場改革』東洋経済新報社  
島田晴雄著『安全と安心の経済学』岩波書店  
島田晴雄著『日本経済 勝利の方程式』  
島田晴雄著『明るい構造改革』  
島田晴雄・吉川洋著『痛み先の先に何があるのか』  
島田晴雄著『住宅市場改革』  
島田晴雄著『めしのタネ発見地図』  
島田晴雄著『雇用を創る構造改革』  
島田晴雄著『日本を元気にする健康サービス産業』  
その他適宜選定する。

## 自由研究セミナー

「データベースを使った病気と医療の社会史入門」

2単位 春学期

【経】 鈴木 晃仁

## 【授業科目の内容】

データベースの使い方をおぼえながら、病気と医療の問題を多角的に考えるための入門セミナーです。

## 【教科書】

James Riley. The Rising Life Expectancy (Cambridge U.P., 2001)

『日本の患者と医療施設1999』厚生統計協会(1999年)

## 自由研究セミナー

「データベースを使った病気と医療の社会史入門」

2単位 秋学期

【経】 鈴木 晃仁

## 【授業科目の内容】

データベースの使い方をおぼえながら、病気と医療の問題を多角的に考えるための入門セミナーです。

## 【教科書】

James Riley. The Rising Life Expectancy (Cambridge U.P., 2001)

## 自由研究セミナー

「コンセプトワーク入門」

2単位 春学期

【経】 武山 政直

## 【授業科目の内容】

商品、サービス、メディア、活動、空間などの題材をとりあげ、それらをコンセプトを通じて多様に読み取る実践的な演習を行う。また、自ら関心のある対象について生産者や消費者の視座からコンセプトの分析を行う。

## 自由研究セミナー

「メディアとライフスタイルの企画提案」

2単位 秋学期

【経】 武山 政直

## 【授業科目の内容】

携帯電話やインターネットを中心とする情報メディアに注目し、それらを利用した消費やライフスタイルをテーマとする新規サービスを企画提案する。

## 自由研究セミナー

「近代における経済と社会」

2単位 春学期

【経】 崔 在東

## 【授業科目の内容】

本セミナーは、近代に生きる人々が直面していた様々な問題を多面的に考察します。具体的に取り上げるテーマは、家族、土地、ジェンダー、植民、社会主義、企業と労働などです。各問題について国家と人々はどのような戦略を取っていたか、その歴史的含意はどのようなものであるかを議論します。また、現代経済の諸問題と原点的にどのようにつながっているのかを模索します。

## 【教科書】

特に指定しません。資料プリントを配布します。

## 自由研究セミナー

「社会主義とは何か？」

2単位 春学期

【経】 鳶木 能雄

## 【授業科目の内容】

本年度はフリードリヒ・ユングルス著『空想から科学

への社会主義の発展』を取り上げる。本書を通して、社会主義の理論・歴史を学びながら社会主義とはどのような思想であるのかを考察してみたいと考えています。

【教科書】

フリードリヒ・ユングルス著、石田精一訳『空想から科学へ』新日本出版社（1998年）

【参考書】

関嘉彦著『社会主義の歴史』（1、2）力富書房（1987年）

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
自由研究セミナー

「近代市民社会の倫理について」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

鳶木 能雄

【授業科目の内容】

本年度はアダム・スミス『道徳感情論』を取り上げます。

周知のようにアダム・スミスは「経済学の父」として広くその名を知られています。それでは、スミスが経済学に求めた「本当の内容」とは一体何であったのか、それを解く鍵が『道徳感情論』という著作にあります。これを受講生諸君と考察しながら経済学に求められる「本来の目的」について理解を深めていきたいと考えています。

【教科書】

アダム・スミス著、水田導訳『道徳感情論』（上・下）岩波文庫（2003年）

【参考書】

高島善哉著『アダム・スミスの市民社会体系』岩波書店（1974年）

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
自由研究セミナー

「カウンセリングから学ぶ」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

土屋 博政

【授業科目の内容】

この授業の目的は、人間の心理的メカニズムを学ぶことにより、精神的な病に悩み、苦しむ人への理解と共感を深めることです。この授業では、病を治そうとすることよりも、まず病がその人の自己表現であること、又それなりの理由があって病になっていることを理解することに努めます。従って、一年間この授業を受けることで、自分のことや他者のことが少しばかり客観的に理解できるようになり、これまでよりも肩の力を抜いて生きる事ができるようになるでしょう。

講義は必要に応じて行いますが、この授業はセミナーですので、中心は受講者の皆さんの発表と議論です。春学期の授業では、カウンセリングに関係することで、今皆さん自身が悩みや疑問に感じていること（例えば、生

きる意味を持たないアパシーをどう対処したらよいか、またなぜ引きこもりやリストカットのような自傷行為現象が起こるのか、なぜカルト宗教が流行するのか等）を手掛かりにして、その疑問を解決してくれそうな本を読み、そこから分かったこと、また依然として解けない問題をまとめ、それをクラスの仲間の前で発表します。毎回の授業での発表者は一人、ないし二人です。皆さん個人が感じた問題は、今の若者全般に何らかの形で関わる問題です。それを授業で一緒に考えることが大切だと考えます。皆の前で発表することは、自分を客観視するのに役立つだけでなく、他の人の意見を聞く機会も与えられる訳で、多面的な物の見方を学ぶ機会ともなります。テーマは皆さんが自由に選んで下さい。

また秋学期は、配布するテキストを読むことで、現在主流となっている精神療法の様々な考え方を学んでいきます。

【教科書】

Gerald Corey, *Case Approach to Counseling and Psychotherapy* (Pacific Grove, California: Brooks/Cole Publishing Company, 1991) テキストは現在入手できませんので、コピーした物を授業時に配布します。

【参考書】

参考書は授業時に必要に応じて示します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
自由研究セミナー

「日本とアジアの人口、家族、経済」

2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

【経】

津谷 典子

【授業科目の内容】

本科目は、人口増加と経済発展 (population growth and economic development)、人口増加と環境・資源 (population growth and the environment)、人口高齢化と高齢者介護 (population aging and care of the elderly)、出生・家族形成 (fertility and family formation)、結婚とその解消 (marriage and marital disruption)、死亡・保健・衛生 (mortality and health)、労働力と就業 (labor force and employment)、家族・世帯 (family and household)、ジェンダー (gender relations) など、人口学や経済学が取り扱う様々なトピックや問題についての英文文献を読み、それらに関するクラスでの発表とを通して、人口問題と経済に関する知識・理解を深めることを目的とする。人口変動と経済変動は密接に関連しており、人口変動はまた環境・資源の最も重要な決定変数の1つである。人口は重要な政策的課題でもあるため、本科目では各トピックの政策的含意についても検討する。

【教科書】

教科書は特に指定しない。なお、本科目で取り上げる論文は、比較的平易かつ具体的内容をもつものを、現在わが国および国際社会が置かれている状況を考慮して、適切であると思われるものを講師が予め選別する。

## 【参考書】

河野稠果著『世界の人口』（第2版）東京大学出版会（2000年）

## 自由研究セミナー

「日本の財政」 4単位 秋学期集中  
【経】 土居 丈朗

## 【授業科目の内容】

この自由研究セミナーは、日本の財政を理解する力を養うことを目的とします。近年では、地方分権改革、郵政事業改革、年金改革、特殊法人改革、国債の累増など、財政にまつわる諸問題が国民的な議論を呼び、大きな関心を集めています。これらの問題を正しく理解するためには、経済理論に裏打ちされた考え方と、財政の現行制度に関する知識が必要です。このセミナーでは、そうした考え方や知識を学んでいきます。

通常の授業は、数人の参加者に、取り上げる文献に関するレポートを発表してもらい、それに基づいて皆で議論をしながら理解を深める形で進めます。このセミナーに関連する情報について、インターネット上で検索・閲覧することを積極的に試みたいので、受講する学生はインターネットが閲覧でき、電子メールが使えることが望まれます。

セミナーには毎回積極的に出席できることが前提で、そこでの議論を基に学年末に提出するレポートで評価します。より詳細については、最初の授業で説明します。

## 【教科書】

井堀利宏・土居丈朗『財政読本（第6版）』東洋経済新報社

## 【参考書】

土居丈朗『財政学から見た日本経済』光文社新書  
土居丈朗『三位一体改革 ここが問題だ』東洋経済新報社  
その他、授業の進行に合わせて紹介します。

## 自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

## 自由研究セミナー

「数量経済史入門：近世・近代日本経済の研究を中心に」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【経】 友部 謙一

## 【授業科目の内容】

経済史のアプローチは多様である。その多様性のひとつとして、数量経済史を考える。情報技術の進展に伴い、量的 / 質的データの区別を問わず、マシンのリーダブルなデータの範囲は広まり、数量的な分析手法を習得する必要性が高まっている。それについて、歴史資料から数的処理可能なデータを作成する過程とそれらを基礎データとするデータベースの形成、そして分析へという一連の経済史分析を具体的に議論したい。

## 【教科書】

方法論や歴史統計分析については、以下を教科書とする。

Feinstein, C. & Thomas, M. 『Making History Count - a primer in quantitative methods for historians.』 Cambridge; Cambridge University Press (2002)

近世・近代日本経済を舞台とした研究事例については、適宜講義で紹介する。

## 【参考書】

適宜講義の中で、紹介する。

## 自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

## 自由研究セミナー

「魯迅を読む」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【経】 長堀 祐造

## 【授業科目の内容】

昨年に引き続き、魯迅の作品を読んでいます。

魯迅は中国近代文学の父とされる文豪です。1902年から7年間の日本留学を経験し、日本とは浅からぬ縁があります。代表作「故郷」は戦後日本の国語教科書に長らく採用されてきました。

この授業では魯迅の伝記的事実を知り、また実際に作品を読むことを通じて、日本と中国の近代及び近代文学、さらには伝統というものについての認識を深めていくことを目的とします。

## 【教科書】

魯迅著竹内好訳『狂人日記・阿Q正伝』岩波文庫

## 【参考書】

藤井省三著『魯迅辞典』三省堂

## 自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

## 自由研究セミナー

「文化 / 社会 / 歴史 / 文学、その発想と感覚」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【経】 西尾 修

## 【授業科目の内容】

何でもいから、興味あることについてしゃべる（喋る）そういった授業です。

担当者の専門領域は19世紀のフランス文学ですが、別段それにこだわるつもりはありません。

日本のこと、現代のこと、あるいはそれ以外の世界のこと、硬質なものから軟弱なものまで何でも、テーマ選びには地域、時代を問いません。授業に参加する諸君個々人が、それぞれに関心を抱くテーマをまずは持ち寄って、そのテーマについて、皆でとにかく自分の考えていることを口にする、そういった授業です。真面目がっついていけば、議論する、討論するという経験を通して、通常それ以外のコミュニケーション手段で得られるものとはまた別のナニモノかを得られれば格別。この授業が参加者諸君の自己発見、自己開発の一助になれば、と願っています。

授業は、毎回、メンバーの誰かがあるテーマについて発表し、その後、皆で議論するという形式で行います。

詳しくは第1回目の授業で説明します。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
自由研究セミナー

「現代経済をどう見るか」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【経】 延近 充

【授業科目の内容】

1980年代後半以降、冷戦という戦後世界を長く規定してきた要因が消滅するとともに、国境を超えて巨額の資金が移動し国際間競争が激しくなるとともに、巨大多国籍企業の提携・合併のような世界市場の再編の動きが激しくなりました。こうしたグローバル化の急速な進展によって経済的な相互依存も深まり一国の経済政策が他国に与える影響が大きくなって、混迷を深める経済問題や地球環境問題などの解決のために各国間の協力の必要性が強まる一方、政策手段は手詰りとなり活路を見出せない状態になっています。国際政治・軍事面でも大きな変化が起っています。冷戦終結後に民族紛争や地域紛争が頻発しはじめました。ソ連の崩壊によって唯一の超大国となったアメリカは、21世紀にはいると9.11同時多発テロを直接の契機として、「テロとの戦争」を名目にアフガニスタンとイラクに事実上単独で軍事攻撃を行なって政権を打倒しました。両国は依然として不安定な状態が続き、周辺地域や関係諸国を含めてかえって暴力の連鎖が深刻化しています。現代世界は世界史的な一大転換期にあるとよいでしょう。

こうした現代世界が直面している問題の根源を明らかにするためには、理論的検討と現状分析を世界史的視野から行なう必要があります。そうした理論とそれを基礎とした現状分析を本格的に取り扱うのは三田に設置されている専門科目ですが、この自由研究セミナーでは、その入門編として現代の経済が抱える問題にどのようにアプローチしたらよいかを、理論・現状分析の両面から受講者諸君とともに考え、討論することを第1の目的としています。

【教科書】

(討論の素材) 藤岡惇著『グローバル化と戦争』大月書店(2004年)

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
自由研究セミナー

「写真への接近」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【経】 林 栄美子

【授業科目の内容】

写真が発明されたのは1839年のことである。人間の長い歴史の中に置いてみれば、つい最近のこととさえ言えるだろう。しかし人間が手にした最初の「映像」である写真は、飛躍的な進歩をとげ、今や誰もが写真を撮り、撮られるという体験が日常的なこととなり、無数の写真に取り巻かれて我々は生きている。氾濫する写真は、

我々の世界の捉え方にまで多大な影響を与えている。

「写真」とはいったい何か?そのことを具体的に考えるために、写真を撮るという行為、それを見せるという行為と、写真のさまざまなありようの考察とを、意識的に並行して行ってみよう。写真史を概観することもその助けとなるだろうし、写真家たちの作品にふれることも必要になるだろう。ただし、写真についての知識や体験は問わない。ただし、これは写真をうまく撮れるようになるための講座ではない。あくまでも「写真について考える」こと、それを通じて「見ること」「感じること」「人やものと接すること」を考え直す場だと思ってもらえればいだろう。

カメラを手にして歩いたり、自分で写真展に出かけたりする実践作業の好きな人、議論しながら考えること好きな人を歓迎する。

【参考書】

飯沢幸太郎著『現代写真・入門』JICC出版、など授業中に紹介する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
自由研究セミナー

「カエル学入門」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【経】 福山 欣司

【授業科目の内容】

このセミナーはカエルをモチーフにして「人と動物との関わり」について考察していこうという授業です。一般的にはカエルのイメージは、気持ち悪い、汚い、などマイナスであることが多いようです。ところがその一方で、カエルは私たちの生活や文化の中に頻りに登場します。子どものおもちゃ、日用雑貨、文具、広告、オブジェ、絵画、写真、書物、音楽など、さまざまな場面で私たちはカエルと遭遇しています。マイナスのイメージのある生き物が何故頻りに登場するのでしょうか。カエルのイメージがどのように扱われているかを実際の例に当たりながら、人はカエルをどう見ているのかを考えてみたいと思います。また、現実のカエルは日本を含む世界各地で急激に減少しています。授業では環境問題としてのカエルも取り上げる予定です。

【教科書】

特になし。

【参考書】

特になし。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb  
自由研究セミナー

「応用経済分析への招待」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【経】 藤田 康範

【授業科目の内容】

この自由研究セミナーでは、知識を構造化し、経済理論の活用方法を身につけ、戦略や政策を策定できるよう

になることを目標とします。

自由研究セミナーという科目の性質上、プレゼンテーションやディスカッションを重視しますが、無理なく丁寧に進めることを基本とし、必要なことについては随時説明しますので、特別な予備知識は不要です。

春学期は主としてマクロ経済理論的視点から、秋学期は主としてミクロ経済理論的視点から経済を把握します。

【教科書】

特にありません。必要に応じて文献を紹介いたします。

【参考書】

藤田康範『よくわかる経済と経済理論』学陽書房  
藤田康範『よくわかる金融と金融理論』学陽書房

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「地球環境と人間活動」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【経】

松原 彰子

【授業科目の内容】

講義・学生発表・実習を通して、地球環境変化の実態を把握し、その中での人間活動の位置づけを考えることを目的とします。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

適宜紹介する。

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「映画、小説を通してみる中国語圏の社会と文化」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【経】

溝部 良恵

【授業科目の内容】

授業科目の内容：近年日本では中国語圏（中国・台湾・香港）の映画や小説が多く紹介されるようになった。これらは上質なエンターテインメントであると同時に、我々にとって中国語圏の様々な様相を知る手がかりを与えてくれるものとなっている。そこでこのセミナーでは中国語圏の映画や小説をいくつか取り上げ、これらを通して中国語圏の社会、文化の特徴や変遷について、調べて考えてみたい。初回から数回は現代の中国語圏の歴史、文化について概説を行い、受講者の興味も考慮しながら、テーマをいくつか設定し、各受講者に選んだテーマについて発表してもらう予定である。

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

適宜紹介します

自由研究セミナーa / 自由研究セミナーb

自由研究セミナー

「日独文化交流史」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

【経】

八木 輝明

【授業科目の内容】

このセミナーでは、日本とドイツの文化交流の歴史を19世紀から、明治維新をはさんで、20世紀初頭までを中心にたどってみたい。この時代は法政的、軍事的な面で近代国家日本は多くのことをドイツから学んだ。また近世から近代にかけてドイツ人、オランダ人、オーストリア人が日本文化に多大な足跡を残した。またかれらが日本をどのように見ていたかを知ることも重要だ。欧米列強の政治社会状況ならびにロシア革命をむかえるまでのロシアの歴史を視野に入れて学んでみたい。こうしたことを興味深く知るために『坂の上の雲』（全八巻。司馬遼太郎著 文春文庫）をおもに取り上げ、近代日本の黎明の姿をとらえ、当時の欧米の歴史的状況と比較対照し、考察していきたい。

以上のように、このゼミでは日独交流史にかぎらず、広く世界史、日本史を学び直すことができます。高校で歴史を学ぶ機会がなかった学生、あるいは単に受験のための歴史学習だけしかしてこなかった学生の参加を歓迎します。

【参考書】

ヨーゼフ・クライナー著『江戸・東京の中のドイツ』  
H.シュリーマン著『シュリーマン旅行記 清国・日本』  
『平戸オランダ商館日記』永積洋子著 以上、講談社学術文庫  
司馬遼太郎著『オランダ紀行 街道をゆく35』朝日文庫  
『詳説世界史研究』山川出版社など

その他の参考資料、ゼミの進め方などは4月はじめの時間に説明します。

自由研究セミナー

「高度経済成長から「バブル経済」へ 現代日本を生き  
た人々」 2単位 秋学期

【経】

柳沢 遊

【授業科目の内容】

本セミナーは、1970～90年代の日本社会の変容を、企業・教育・家族・地域コミュニティなどに力点を置いて多面的に検討します。学生諸君の父、母の世代が、どのような経済状況で、いかなる課題に直面し、どのようなライフコースを歩んできたのか。それを同時代の文献・資料にもとづいて検証します。

【教科書】

後藤道夫編『岐路に立つ日本』吉川弘文館（2004年）

【参考書】

大門正克・安田常雄・天野正子編『戦後経験を生きる』  
吉川弘文館（2003年）

自由研究セミナー

「国際比較から考える日本の社会保障」 2単位 春学期  
**【経】** 山田 篤裕

**【授業科目の内容】**

授業科目の内容：本セミナーでは、諸外国の社会政策を比較研究した文献を読むことで、日本の社会政策を国際比較の視点から一緒に考えていくこと目的とします。

高齢化、ポスト工業化、家族の変化、グローバル化など、社会政策を取り巻く状況は諸外国でも大きく動いています。こうした動きは、社会政策に新しい危機をもたらしています。この危機はどのようにして乗り越えられるのでしょうか。本セミナーで取り上げる文献は、この問いについて国際比較の視点から書かれた代表的文献です。

**【教科書】**

ゲスタ・エスピン・アンデルセン『ポスト工業経済の社会的基礎：市場・福祉国家・家族の政治経済学』（渡辺雅男・渡辺景子訳）桜井書店 2000.5

文献は日吉の図書館の一角にあるリザーブブックコーナーで入手可能です。

**【参考書】**

ゲスタ・エスピン・アンデルセン（渡辺雅男・渡辺景子訳）『福祉国家の可能性』桜井書店（2001.11）

国立社会保障・人口問題研究所『季刊社会保障研究』および『海外社会保障研究』

**【法学部設置の少人数セミナー形式科目】**

自然科学研究会

「ヒトと生物環境との共存を考える」 2単位 春学期  
**【法政】** 秋山 豊子

**【授業科目の内容】**

現在社会は、引き続き景気低迷に加えて多発同時テロや地震・台風などの災害により、日本を含め広い範囲で低成長となっています。良い意味では、消費を押しえてリサイクルをし、シンプルな生活へと向かっているように思われます。そして、自然志向に見られるように、豊かな自然への回帰現象の中にあるようにも思われます。環境ホルモンやダイオキシンなど様々な環境汚染が話題になり、自然環境への配慮が求められています。さらに、野生動物の保護、バイオテクノロジーのもたらす恩恵と問題点、エイズなど感染症の防御とその人権問題、脳死や臓器移植、尊厳死の問題などへも現代人は無関心ではられない状態にあります。ヒトは動物の1種であるとの認識に立ち、他の多様な生物との共存の道を考察するという視点から、現代社会での自然科学の問題点を考えてゆきたいと考えます。身近な生物への関心が高まり、自分自身が具体的に環境問題や自然科学の問題への第一歩を踏み出すきっかけになれば良いと考えています。少人数のメリットを生かしたセミナー形式を主にし、学生自身によってテーマ・問題点を提案し、授業日程や進行方法を決定、発表・討議など授業の進行も行います。校外活動、資料収集、観察、臨海実習など必要に応じて柔軟な形式も考えています。

**【教科書】**

特に指定はしません。

**【参考書】**

授業時に適宜、紹介します。

自然科学研究会

「ヒトと生物環境との共存を考える」 2単位 秋学期  
**【法政】** 秋山 豊子

**【授業科目の内容】**

現在社会は、引き続き景気低迷に加えて多発同時テロや地震・台風などの災害により、日本を含め広い範囲で低成長となっています。良い意味では、消費を押しえてリサイクルをし、シンプルな生活へと向かっているように思われます。そして、自然志向に見られるように、豊かな自然への回帰現象の中にあるようにも思われます。環境ホルモンやダイオキシンなど様々な環境汚染が話題になり、自然環境への配慮が求められています。さらに、野生動物の保護、バイオテクノロジーのもたらす恩恵と問題点、エイズなど感染症の防御とその人権問題、脳死や臓器移植、尊厳死の問題などへも現代人は無関心ではられない状態にあります。ヒトは動物の1種であるとの認識に立ち、他の多様な生物との共存の道を考察するという視点から、現代社会での自然科学の問題点を考え

てゆきたいと考えます。身近な生物への関心が高まり、自分自身が具体的に環境問題や自然科学の問題への第一歩を踏み出すきっかけになれば良いと考えています。少人数のメリットを生かしたセミナー形式を主にし、学生自身によってテーマ・問題点を提案し、授業日程や進行方法を決定、発表・討議など授業の進行も行います。校外活動、資料収集、観察、臨海実習など必要に応じて柔軟な形式も考えています。

【教科書】

特に指定はしません。

【参考書】

授業時に適宜、紹介します。

自然科学研究会

「文系学生向けバイオテクノロジー寺子屋」

2単位 春学期

【法政】

小野 裕剛

【授業科目の内容】

ヒトゲノム計画やクローン人間、遺伝子治療、組換え体作物など私たちの身の回りに最新バイオテクノロジーを応用した技術が迫ってきています。「全部理系の人にお任せ」で良いのでしょうか？これらの技術をしっかり理解しておくことは医療・農業分野の政策や法律、さらには経済活動を考える時に大きな武器になります。この科目では、文系の講義科目では扱いにくい、ちょっと専門に深入りしすぎたくらいのバイオテクノロジーについて膝詰めで説明していく形態をとります。また、可能な範囲で遺伝子研究の現場を視察・体験することもありえます。

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

履修者と相談の上、紹介します。

自然科学研究会

「バイオテクノロジーが引き起こす諸問題を考える」

2単位 秋学期

【法政】

小野 裕剛

【授業科目の内容】

バイオテクノロジーに関連するトピックスの中から、受講者自らが問題点を見だし、グループディスカッション、情報収集とプレゼンテーションを実践します。取り扱う課題例として「生殖医療（クローン人間、遺伝子による選別）」、「ゲノム創薬と遺伝子診断」、「組換え体作物と食の安全、農業政策」、「新規感染症対策（エイズ・BSE・SARS・トリインフルエンザ等）」をあげておきます。

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

履修者と相談の上、紹介します。

自然科学研究会 / 自然科学研究会

「植物をもっと知ろう」 各2単位 春学期 / 秋学期

【法政】

金谷 信宏

【授業科目の内容】

地球上に植物が存在することにより、我々は生存できるのです。この植物という重要な生き物について、もっと良く知ることがこの研究会の目的です。植物について不思議に思っていること、関心のあるテーマについて、各自が自分で調べて、他の履修者の前で発表し、全員で討論することにより植物のもつ様々な面を、より深く知ることができるでしょう。

自然科学研究会

「化学の言葉で自然の不思議をひも解け」

2単位 春学期

【法政】

小瀬村誠治

【授業科目の内容】

改札をぬけると、そこには眩いばかりのイチョウ並木が広がる。小わきに分厚い履修案内を抱えていても、その新緑の美しさに心を奪われていないだろうか。やがて秋の訪れとともに、黄色く色づき風に舞うイチョウの葉。さて、“なぜ”イチョウの葉は黄色く色づき、風に舞うのだろうか。これは一例であるが、自然現象に接して“なぜ”と考えた時、諸君はその答えを見つけることができるであろうか。講義では、氷はなぜ水に浮くのか、リンゴはなぜ赤いのか、などの不思議をひも解き、また後半の授業では、諸君が自然に接して“なぜ”と感じたことを自ら調べ発表してもらう。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

自然科学研究会

2単位 春学期

【法政】

藤田 祐幸

【授業科目の内容】

環境・人権・戦争など、現在私たちを取り囲むさまざまな問題について、自由に討論する。ゼミ形式で、それぞれが簡単な問題提起を行い、全体で討論する。科学史、環境論などを受講している、あるいは受講したことのある学生に限る。十人程度を限度とする。秋学期の自然科学研究会と併せて受講することが望ましい。

自然科学研究会

2単位 秋学期

【法政】

藤田 祐幸

【授業科目の内容】

環境・人権・戦争など、現在私たちを取り囲むさまざま

まな問題について、自由に討論する。ゼミ形式で、それぞれが簡単な問題提起を行い、全体で討論する。科学史、環境論などを受講している、あるいは受講したことのある学生に限る。十人程度を限度とする。春学期の自然科学研究会 と併せて受講することが望ましい。

自然科学研究会

「自然科学で考える」

2単位 秋学期

【法政】

志村 正

【授業科目の内容】

情報があふれ、それに振り回されている感のある現代社会。その中に身をおいているとどんなことでも知っているかのような錯覚に陥ります。分かっているようで実は何も分かっていない。例えば、環境破壊が一向に収束する気配がないのも、その仕組みが周知されていないからなのです。それこそが最大の問題なのではないでしょうか。

この授業は、履修者ひとりひとりがテーマを持ち寄って研究発表し、全員で議論して、知識を深めることを目的としています。併せて、自然科学的な考察を行うことにより、その発想と思考を身につけていただきます。

人文科学特論

「マニエリスム・バロック入門 マニエリスム・バロックとは何であり、何であったか? (総論・井田) および各国のマニエリスム・バロック美術・音楽(および哲学)の鑑賞(講読)と検証(分析)(各論・受講者)」

2単位 春学期

【法政医】

井田 三夫

【授業科目の内容】

いわゆる「マニエリスム/バロック現象」は、16世紀後半から18世紀前半にかけて美術、音楽、文学などの多くの領域に共通して現れた歴史的現象であり、この意味では特定の時代に限定された様式概念である。他方、これを古典主義(ルネサンス様式)と対立する歴史的な単なる様式概念と見ず、ヨーロッパ全歴史(精神史)にあってと古典主義と交互的に、これと対立して現れるあらゆる反古典主義的(反自然主義的)傾向を指す普遍的な様式概念として、それも単に美術のジャンルのみでなく、音楽、文学、思想といった精神生活のあらゆる領域をも規定する一つの時代思潮として包括的に捉える考え方も提出されてきた。バロックやマニエリスムをこのように広義・包括的に考える見方は、前者にあっては例えばベネデット・クローチェやエウヘーニオ・ドールスがあり、後者では例えばE・R・クルティウスやアーノルド・ハウザーあるいはG・R・ホッケといったドイツ系の学者がいる。またこうした広義の見方を支持する立場から、「20世紀芸術・文学におけるバロック/マニエリスム(性)」とか「マラルメ(あるいはカフカ)におけるマニエリスム」といった問題提起も行われてきた。そこでこの授業では、前半ではまず総論として、私が「マニエリスム/バロック」とは何か、といった本質論をはじめ

め、両者の関係あるいはルネサンス(古典主義)様式(精神)との関係、さらにはその相違点と共通点などについて検討してみたい。またマニエリスム/バロック現象を16-18世紀の歴史事象と見た場合、これを現出させ成立させた真の要因ないし経済的・社会的あるいは精神的背景は何であったかといった問題についても検討してみたい。後半では、受講生各自が1人または2~3名のグループとなって予め発表期日を決め、各国における(広義の)マニエリスム・バロック美術あるいは音楽さらには哲学・思想の傾向を持っていると思われる芸術家・音楽家あるいは哲学者・思想家を選び、その時代背景やマニエリスム・バロック的特徴を、美術の場合は画像や写真を、音楽の場合はCD・MDなども使って、発表してもらい、その後で質疑応答を行い、最後に私が講評、さらに掘り下げるべき点や再考すべき点あるいは修正・補足すべき点などを指摘するといった授業の仕方を考えています。各自が研究・発表したものを、質疑応答や私のコメントを踏まえて、試験に代わるレポートとして各自で仕上げ、期末に提出すること。

【参考書】

- ・アーノルド・ハウザー『マニエリスム ルネサンスの危機と近代芸術の始源』岩崎美術社
  - ・グスタフ・ルネ・ホッケ『迷宮としての世界 マニエリスム芸術』美術出版社
  - ・下谷和幸『マニエリスム芸術の世界』講談社
  - ・「バロック・コレクション」(第1巻:バロックの愉しみ、第2巻:バロック的理性と女性原理、第3巻:天使の饗宴、第4巻:歪んだ真珠)筑摩書房
  - ・エウヘーニオ・ドールス『バロック論』筑摩書房
  - ・若桑みどり『マニエリスム芸術論』岩崎美術社
  - ・イヴ・ボヌフォア『バロックの幻惑』国書刊行会
- マニエリスム・バロック関連文献はこれ以外にも、日本語で読めるものだけでも多数あるので欧文文献も含め、授業中に紹介します。

人文科学特論

「マニエリスム・バロック入門 各国文学におけるマニエリスムバロック的作品の発見・鑑賞と検証(受講者)およびフランスマニエリスム・バロック詩の観賞と分析(井田)」

2単位 秋学期

【法政医】

井田 三夫

【授業科目の内容】

秋学期は、各論で初講日から二回目の間に出席者のほぼ全員が1人でまたは2~3人でグループとなって行う発表の期日を予め決定します。その上で例えばモンテーニュ、コルネイユ、パスカルといったフランスの作家・思想家やミルトン、シェイクスピア、ジョン・ダンといったイギリス作家、セルヴァンテス、ゴンゴラと言ったスペイン作家、さらに清少納言、上田秋成、三島由紀夫、泉鏡花といった我が国の作家など、受講者各自が(広義の)マニエリスム的/バロック的と考える作家・詩人を各自の発表日までに自ら「発見」し、その生涯・作品を調べ、その表現(文体)および思想(精神)におけるマ

ニエリスムないしバロック的傾向(特質)を抽出、発表してもらい、それについて皆で質疑・応答し、最後に私が講評、さらに掘り下げるべき点や再考すべき点あるいは修正・補正すべき点などを指摘するといった授業の仕方を考えています。初回と第2、3回の授業では、春学期を履修しなかった受講生のために、マニエリスム・バロックについての総論・概説を話し、以後は各時間(発表者が多い場合は隔週)の三分の一程度を使って私が翻訳のほとんどないフランスマニエリスム・バロック詩の実例を上げながら、鑑賞、分析するといった授業を考えています。

#### 【参考書】

- ・アーノルド・ハウザー『マニエリスム—ルネサンスの危機と近代芸術の始源—』岩崎美術社
- ・グスタフ・ルネ・ホッケ『迷宮としての世界—マニエリスム芸術』美術出版社
- ・グスタフ・ルネ・ホッケ『文学におけるマニエリスム』現代思潮社
- ・藤井康生『フランス・バロック演劇研究』平凡社
- ・倉田信子『フランス・バロック小説の世界』平凡社、  
『フランス・バロック小説事典』近代文芸社
- ・ジャン・ルーセ『フランスバロック期の文学』筑摩書房
- ・高山宏『綺想の饗宴』  
マニエリスム・バロック関連文献はこれ以外にも、日本語で読めるものだけでも多数あるので、欧文献も含め、授業中に紹介します。

人文科学特論 / 人文科学特論

「グスタフ・マーラーを考える」

2単位 春学期/秋学期

【法政医】

岩下 真好

#### 【授業科目の内容】

グスタフ・マーラーの作品世界を、その創作のイメージネーションの源泉となったドイツ・ロマン派の文学やニーチェの思想、あるいはマーラーの生き方時代の情況や時代思潮との関連で考察する。作品をただ聴くだけではなく、関連する書物を数多く読んでもらいながら進めてゆく。また、受講者の皆さんの関心に応じて別のテーマを取り上げてもらいたいと思っているし、授業担当者の最新の研究および批評家としての仕事のなかから、テーマに関連したホットな話題を選んで提供してゆくつもりでもある。授業の一環としてじっさいにコンサートに行くこともあるかもしれない。(1回1500円~2000円程度の学生席利用)。たくさん聴き、たくさん読み、その上で濃い密度で語り合う授業と考えているので、履修者は多くて10名程度を理想と考えている。とりあえず交響曲第1番《巨人》から入るつもりだ。

#### 【参考書】

岩下真好著『マーラー その交響的宇宙』、キューン/クヴァンダー編(岩下真好編訳)『グスタフ・マーラー その人と芸術、そして時代』、ジルバーマン著(山我哲雄訳)『グスタフ・マーラー事典』、シュライバ

一著(岩下真好編訳)『マーラー』など。また、ニーチェ著『ツァラトゥストラはこう言った』(翻訳は各種あり)も必読の参考書。その他、必要に応じて指示する。

人文科学特論

「妖美の映像」

2単位 春学期

【法政医】

許 光俊

#### 【授業科目の内容】

妖美な映像作品の鑑賞と研究。2004年度に私の人文科学特論を履修した人は、内容が一部重なるため、後期ののみ、履修可能。

人文科学特論

「不幸」

2単位 秋学期

【法政医】

許 光俊

#### 【授業科目の内容】

おそらくこの履修案内を読んでいる人間のうち、不幸になりたいと思っている者は誰ひとりいないだろう。しかし、本当にそれほど悪いものなのか?あるいは、幸福とはそんなにすばらしいものなのか?現代において、「幸福が強いられている」とは言えないのか?幸福という名前の地獄はあり得ないのか?すばらしい不幸の巣窟であるオペラを題材にして、不幸を考える。

#### 【教科書】

許 光俊『オペラに連れてって! 完全版』(青弓社)、掛け値なしにすばらしい入門書だ。最近も都内の某大学教授が「目頭が熱くなる」とまで著書の中で激賞していた。履修しない人も買って読むとよいと思う。

人文科学特論 / 人文科学特論

「外から見た日本語」

各2単位 春学期/秋学期

【法政医】

小屋 逸樹

#### 【授業科目の内容】

この授業では、世界の中の日本語という視点から、日本語の特徴を文構造、文学、音声などにわたって、英語や他言語と比較しながら検討します。英文法は知っているが、日本語の文法は知らない(例えば、日本語のbe動詞は何か、といった問題)という学生や、我々の母語である日本語が他の言語と比べどのような仕組みになっているのか、といったテーマに関心のある学生の参加を望みます。演習形式の授業なので、受講希望者が多い場合は最初の授業にて選抜を行ないます。

#### 【教科書】

最初の授業にて紹介します。

人文科学特論

「星の王子さま」を5カ国語で鑑賞する試み」

2単位 春学期

【法政医】

斎藤 文雄

#### 【授業科目の内容】

フランスの作家サン・テグジュペリ Antoine de Saint-Exupéryの「星の王子さま」Le Petit Princeをフランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、5カ国語で組み合わせることにより、他言語・他文化への目を開き、近い将来さらに新たな言語へのチャレンジ意欲喚起のための一つの契機を与えることを目指す。

【教科書】

- (仏) Le Petit Prince (Collection folio/Gallimard)
- (独) Der kleine Prinz (Karl Rauch Verlag)
- (伊) Il piccolo principe (TASCABILI BOMPIANI)
- (西) El Principito (El libro de bolsillo 348)
- (ポ) O Principezinho (Caravela)

【参考書】

- (英) The Little Prince (A Harvest Book/Harcourt Brace & Company)
- (日) 星の王子さま (岩波書店)

人文科学特論

「星の王子さま」を5カ国語で鑑賞する試み」

2単位 秋学期

【法政医】

齋藤 文雄

【授業科目の内容】

フランスの作家サン・テグジュペリ Antoine de Saint-Exupéryの「星の王子さま」Le Petit Princeをフランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、5カ国語で読み合わせるにより、他言語・他文化への目を開き、近い将来さらに新たな言語へのチャレンジ意欲喚起のための一つの契機を与えることを目指す。

【教科書】

- (仏) Le Petit Prince (Collection folio/Gallimard)
- (独) Der kleine Prinz (Karl Rauch Verlag)
- (伊) Il piccolo principe (TASCABILI BOMPIANI)
- (西) El Principito (El libro de bolsillo 348)
- (ポ) O Principezinho (Caravela)

【参考書】

- (英) The Little Prince (A Harvest Book/Harcourt Brace & Company)
- (日) 星の王子さま (岩波書店)

人文科学特論 / 人文科学特論

Shakespeare in Performance

「Romeo and Juliet」

2単位 春学期 / 秋学期

【法政医】

マクリン・ニール B.

【授業科目の内容】

In this course students will get the chance to develop their own interpretation of Shakespeare's Tragedy, *Romeo and Juliet*. We shall work through the play, devoting on average one class to each scene: each week several students will have to prepare ideas to 'direct' a portion of this scene, and they will then put their ideas into practice during class. Each class will be divided into three sections: first we shall do

some warm-up activities all together, then we shall divide into groups and each group shall rehearse under the leadership of their student directors, and finally each group shall 'perform' their version in front of the others.

We shall use the original text of Shakespeare but students are welcome to use a Japanese translation if they prefer. English ability is an advantage but is not absolutely necessary; acting experience is also very welcome but is by no means required. The indispensable qualifications are energy, enthusiasm and a willingness to cooperate with other class members.

Because of the nature of the class, a maximum of 25 students will be admitted. If the numbers wanting to take the class exceed this, a short selection exercise will be held in the first week. *It is therefore vital that all those interested in taking the course attend the first class, or (if this is not possible) contact the teacher beforehand.*

【教科書】

William Shakespeare, *Romeo and Juliet*

## 【商学部設置の少人数セミナー形式科目】 総合教育セミナー履修案内

### 総合教育セミナーのすめ

大学における教育は多くの場合、講義という形態をとります。先人から受け継いだ知識を正確に教師から学生に伝達することが大きな目標のひとつですが、これを達成する効率的な方法として講義は優れています。しかし、講義の弱点は、学生が積極的に考え始め、教師と議論をしたり、さらに学生同士が意見の交換をしたくなった時にはあまり小回りがきかないことです。また、積極的な議論を誘発する雰囲気にならなくなる傾向があることもあげられます。

この弱点を補うために、商学部では総合教育セミナーと呼ばれる授業形態を提供しています。教師と学生、あるいは学生同士との交流が授業時間内に活発に行われるようにとの配慮で、少人数のクラスとなっています。商学部の学生の資質として、自分の考えを論理的にまとめることができ、その考えを的確な日本語あるいは外国語のことばや文章で表現でき、さらに他人のことばや文章の意味を正確に理解でき、その上で有益な議論を展開できる能力が求められています。この能力を養うことが総合教育セミナーの主目的なのです。

総合教育セミナーとして開講されるトピックスには様々なものがあります。積極的に参加してください。君達の興味に最も合うものを選べばよいと思います。総合教育セミナーに参加し、教師や学友と親しく接することにより、大人として生きるかぎり陰に陽に問われる君たちの人生観や価値観を形成するきっかけも得られるかもしれません。

### 総合教育セミナーの履修上の注意

この科目は、選択必修科目ではありません。

また**仮登録が必要な科目でもありません。**(エントリーシート提出不要)

以下の講義要綱は、『外国語科目・総合教育セミナー履修案内(2005年)』に記載されている内容と同一です。

少人数のゼミという形態の授業ですので、担当者によって、履修人数の制限がされることがあります。

履修希望者は、必ずオリエンテーション期間中にある初回の授業に出席してください。出席できない場合は、履修できないこともあります。

### 総合教育セミナーD( 類)

「数学の独立自学を目指して」 4単位 通年  
【商】 小宮 英敏

### 【授業科目の内容】

このセミナーの第一の目的は数学の本を一人で読み進むことができる能力を身につけることです。数学に限らずあらゆる学問において、他人から教えられ触発されることは重要なことに違いはありませんが、最終的には自

分の責任で自分の考えを構築していくことが要求されます。大学でのその最初の経験をしてほしいと思いこのセミナーを開講しました。サブタイトルの「独立自学」という言葉は福澤先生の「独立自尊」から連想した造語ですが、「独立自学」の第一歩として君達が慣れ親しんだ数学という題材を使おうと思っています。

第二の目的は英語で書かれた教科書を使うことにより、英語により自分がほしいと思う情報をとらえる経験を積むことです。君達は中学、高校と少なくとも6年間英語を勉強していますが、英語を使い英語以外の科目を学習した経験はほとんど無いのではないのでしょうか。これは残念なことです。君達の英語学習の年月を考えるならばもう十分に英語を使いこなせる能力が身につけています。特に、数学の教科書の英語は構文が単純ですので、専門用語を覚えてしまえば読み進むことにそれほどの困難を感じないものと思われれます。

以上記したように、英語を使い数学の学習能力を身につけることを通して、大学で勉強するとはどういうことなのかを体験することを目的にこのセミナーは開かれています。

### 【教科書】

U. Daepf & P. Gorkin, "Reading, Writing, and Proving," Springer, 2003.

### 【参考書】

必要になった時点で、授業の中で紹介します。

### 総合教育セミナーD( 類)

「Web Presentation Seminar」 4単位 通年  
【商】 白旗 優

### 【授業科目の内容】

それぞれが読み応えのある古典的な書物を選んで、その内容についてのWebサイトを作成します。そして、出来上がったWebサイトを参照しながら、作成者によるプレゼンテーションと、参加者全員によるディスカッションを行います。

### 【教科書】

ガイダンス時に、暫定的な読書リストを指定します。参加者の関心に応じて、柔軟に対応しますが、とりあえずは岩波文庫の「青帯」や「白帯」をイメージしておいてください。

### 【参考書】

Webサイト作成に参考となる本などを、必要に応じて紹介します。

### 総合教育セミナーD( 類)

「環境問題を考える」 4単位 通年  
【商】 根岸寿美子

### 【授業科目の内容】

我々の住む地球社会はグローバリゼーションの波により、南北問題などの地域格差から、地球温暖化をはじめとする地球環境問題にいたるまで、経済的、社会的に一国では解決できない問題を共有することとなった。今後、

人類がそれらの問題を解決し、未来の地球環境を快適なものとするためにはどのような方策が考えられるかをみなが考えていこうというのがこのセミナーの目的です。そのためには過去の歴史的な経緯、現状をリサーチし、ディスカッションをすることで、問題の核心を把握し、具体的な方向性を提出しようというのがこのセミナーの課題です。

【教科書】

特に指定しません

【参考書】

必要に応じて紹介します

総合教育セミナーD ( 類 )

「生命科学と社会の接点を考える」

4単位 通年

【商】

長谷川由利子

【授業科目の内容】

遺伝子診断、遺伝子組み換え農産物、臓器移植、エイズ、狂牛病、生殖工学などの例をあげるまでもなく、現代社会に対して倫理的、社会的、経済的な問題を投げかけている生命科学に関連する話題がたくさんあります。このセミナーの目標の一つは、このような話題を取り上げて、どのような問題が生じているのかを調査し、解決策を模索することです。もう一つの目標は、資料収集のしかた、発表や討論のしかた、レポートのまとめ方などを身につけることです。

【教科書】

特定の教科書は使用しません。

【参考書】

新聞・雑誌・学術書・インターネットなどから最新の資料を収集することもセミナーの大事な一部なので調査に必要な資料は自分で探すことを原則としますが、相談には応じますし、こちらから紹介する場合があります。

総合教育セミナーD ( 類 )

「素数とその応用について(研究と発表)」

4単位 通年

【商】

深谷太香子

【授業科目の内容】

普段「なんとなくわかっているつもり」になっている事の中に、実際はよく理解できていない事はたくさんあります。初めに疑問をもち、それを調べ、考察する事で理解が深まります。更にその内容を聴衆の前で発表し、人にもわかってもらうには更なる努力が必要であり、この努力が発表者を成長させます。

本セミナーでは、履修者それぞれが興味をもつ内容について、調べ、考察し(研究し)、そして発表してもらいます。更に発表された内容についてみなが質問、討論などを行います。研究、発表の内容は、担当教員の専門である素数(数学、整数論)について等を想定していますが、興味が広がった結果としての、数学の枠を越えた発表も歓迎です。素数については、昔から人々が関心を寄せる対象であった事が、文献などからうかがわれます。実社会へも素数は暗号理論などを通じて応用がありま

す。

初回のセミナーで、セミナーの進め方、発表テーマについての相談などを行います。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

初回に紹介します。

総合教育セミナーD ( 類 )

「バイオテクノロジー・バイオビジネスを探る」

4単位 通年

【商】

福澤 利彦

【授業科目の内容】

今やバイオの時代である。バイオテクノロジーは飛躍的に発展し、それに伴ってさまざまなバイオビジネスが出現している。このセミナーでは、バイオ関連の話題の中から、各自興味のあるテーマを決めて文献調査・研究を行い、パワーポイント(パソコン)で発表(プレゼンテーション)してもらおう。さらに、質疑応答・ディスカッションを通して、議論を深める。各自プレゼンテーションした内容は、レポートにもまとめてもらう。このセミナーの目的は、問題発見・解決能力や、社会に出てから必要とされる情報発信・コミュニケーション能力を鍛錬することである。バイオテクノロジーとバイオビジネスの現場を知ってもらうために、バイオ企業の研究所見学も予定している。

【教科書】

特に指定しない。必要に応じて資料プリントを配布する。

【参考書】

授業時に紹介する。

総合教育セミナーD ( 類 )

「最先端の技術」

4単位 通年

【商】

諸隈 之彦

【授業科目の内容】

21世紀の技術として、「バイオテクノロジー」、「情報技術」、「ナノテクノロジー」、「環境のための技術」などが考えられています。本セミナーでは、これらの最先端技術に関し各自がテーマを決定し、調査研究して論文にまとめます。完成した論文をコピーして論文集を作成します。

総合教育セミナーD ( 類 )

「生活の中の確率」

4単位 通年

【商】

安田 公美

【授業科目の内容】

私たちの社会活動や自然現象の中に現れる確率的現象にはどのようなものがあるでしょうか。ゲーム、くじやギャンブル、株価の変動や品質管理、或いは天候、遺伝学など、身近に起こり得る問題を題材にしながら、その

中の数学的法則を見つけてみましょう。複雑な現象の解明には、それなりに数学的知識が必要ですが、このセミナーでは、まずは特別な知識を必要としない、パズルのような問題を扱いながら、少しずつ複雑な問題にもチャレンジできるように進んでいきたいと考えています。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

総合教育セミナーD ( 類 )

「数学と文化と社会」

4単位 通年

【商】

渡部 睦夫

【授業科目の内容】

数理的な考え方の諸科学への浸透は目覚ましいものがあります。近い将来、数学的素養は教養の重要な要件の一つになるかもしれません。数理科学のエンジンとなっている数学を生み出すものは何なのでしょう。未知なるものへの好奇心もあるでしょうし、数学それ自身の内発的な力もあるでしょう。さらには、外界である他の諸科学・文化・社会に触発されて、新しい考え方を発見したり新しい視点に出会ったりすることもあるでしょう。

このセミナーでは、メソポタミアから現代にいたる歴史の流れの中において、特に、18世紀、19世紀に限定して、数学・文化・社会の相互作用を概観し、「“無知”との戦いがいかになされてきたか」を問い、数学を中心に考察してみることを目的とします。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

最初の授業のときに説明する。

総合教育セミナーD ( 類 )

「イギリス文化の研究」

4単位 通年

【商】

浅川 順子

【授業科目の内容】

イギリスの文化について理解を深めること、研究の方法を身につけることがこの授業のねらいです。

演劇、音楽、美術、文学など世界に発信されるイギリス文化の魅力を探り、それを生み出した社会や歴史について考察します。

最近では『ハリー・ポッター』が話題になりましたが、その作品世界がもつ魅力の背景にはイギリス・ヨーロッパ文化の長い歴史があります。魔術、錬金術、占星学、占い学はアラブ世界から中世ヨーロッパにもたらされた学問です。どのような学問だったのか、それらはどのように近代科学へと移行していったのか、などと興味を持ったなら科学史の研究につながるでしょう。イギリスはまた演劇が盛んなことでも知られています。イギリスにおける演劇はどのように始まり、どのように発展してきたのでしょうか。これらは一例ですが、授業では履修者各自の興味関心に応じた問題設定の可能性を探ることから

出発します。その後、テーマを絞って発表・討論し、小論文にまとめていきます。

【教科書】

なし

【参考書】

授業で紹介します

総合教育セミナーD ( 類 )

「アメリカ研究」 <多民族国家の歴史と文化>

4単位 通年

【商】

朝比奈 緑

【授業科目の内容】

多様な民族の移民の歴史をふりかえり、その固有の文化が、どのようにアメリカ合衆国のなかで、<表現>されてきたのかを検証する。

【教科書】

授業にて指定する。

【参考書】

授業にて指定する。

総合教育セミナーD ( 類 )

「イメージの魔術・魅力の構造」

4単位 通年

【商】

足立 典子

【授業科目の内容】

映画や音楽・ゲームなどさまざまな表現、あるいはプロモーション、広告などに使われるイメージ戦略の力について考えます。

スピード、自由、健康、かわいさ、笑い、あるいは暴力と残酷、不気味さなど、私たちの日常を取り囲んでいるイメージの「魅力」はどのように作られているのか。また、ある物語に感動するとき、感情移入はどのような仕組みで起こるのか、物語に隠されたメッセージやトリックはないか。

参加者全員による発表と議論を中心に分析を試みます。

総合教育セミナーD ( 類 )

「科学技術と人間の未来 文化としての科学を考える」

4単位 通年

【商】

石原あえか

【授業科目の内容】

「環境問題」、「エネルギー危機」、「情報化社会」、「遺伝子操作」、「宇宙開発」などは、日常よく耳にする言葉です。でも「それはどういうことなのか、説明して下さい」といわれたら、あるいは「あなたはそれについて、どうお考えですか」と訊かれたら…?

このセミナーでは、ノルウェーの作家で科学ジャーナリストでもあるアイリック・ニュートの入門的科学読み物『未来のたね』を手がかりに、現在の私達の日常生活と科学技術のあり方、そしてその未来について、さまざまな角度から考えていきます。「科学・技術は人間を幸

せにするのか、それとも不幸にするのか?」, また「科学技術的に可能であれば、人間はどんなことをしても許されるのか?」, という疑問に参加者ひとりひとりが向き合っ、自分なりの答えを探していくことが、このセミナーのねらいです。最後には参加者独自の「未来のシナリオ」を構想・発表してもらいます。

同時にハンドアウトや参考文献表の作成方法、資料の探し方、ディベートやショートスピーチのように限られた時間のなかで簡潔に話す訓練など、大学での研究に不可欠な基礎知識を身につけることも目標とします。

【教科書】

アイリック・ニュート著『未来のたね これからの科学、これからの人間』NHK出版(2001年 1995円(本体1900円))

【参考書】

(1) アイリック・ニュート著:『世界のたね 真理を追い求める科学の物語』NHK出版(1999年) (2) 養老孟司著:『人間科学』筑摩書房(2002年) (3) 池内了著:『ヤブな科学』晶文社(2004年)など。その他、適宜授業中に紹介します。

総合教育セミナーD( 類)

「ヨーロッパの文化を考える・基礎編」 4単位 通年  
【商】 石光 輝子

【授業科目の内容】

このセミナーの目的は二つあります。

- (1) 近代ヨーロッパの文化に関する様々な基礎的文献を講読して、ヨーロッパの文化に対する広汎な知見を養うことが第一の目的です。扱う予定の文献はヴァルター・ベンヤミン、マックス・ウェーバー、W・シヴェルプシュ、S・ミンツ、フィリップ・アリエス、上山安敏など。外国文献は翻訳で読みます。
- (2) 大学の演習における基礎的な技法(文献の調べ方、レジュメの作り方、口頭発表の仕方、討論の仕方、論文の書き方など)を習得することが第二の目的です。何よりも、文献を緻密に読んで、そのテーマと著者の主張について考え、さらにその自分の考えを的確な表現で述べる訓練をします(読む訓練、考える訓練、書く訓練)。

【教科書】

文献が新書または文庫のものは購入してもらいます。それ以外はプリントにして配布します。

総合教育セミナーD( 類)

「西洋古典紹介」 4単位 通年  
【商】 入野田義人

【授業科目の内容】

西洋古典に興味をもってもらうため、その文学・哲学・社会学等の分野の古典を紹介する。分野については受講する諸君の希望をできるだけ取り入れたい。授業では、さまざまな著作の一部を、邦訳あるいは英語のテキストを用いて、購読、解説、討議を行う。受講する諸君

は、随時、本人が自主的に選択した本(岩波文庫などから選択)について、レポートを作成し、提出する。また、授業に変化をつけるため、CD、ビデオを使用し、古典音楽、古典的映画も紹介したい。

書物を批判的に読む力と、自分の主張をレポートにまとめる力を習得することを目標とする。

【教科書】

原書のコピー、文庫、等。授業の際に配布する。

【参考書】

なし。

総合教育セミナーD( 類)

「Internal Relations in a Changing World」4単位 通年  
【商】 宇津木愛子

【授業科目の内容】

ビジネスにおけるグローバル化が進む中、もう一度健全な国際関係の原点のようなものを考える時が来ていると思います。担当教員はイギリスと日本の関係に焦点を置き、学生の皆様はそれぞれに関心のある国に焦点を当て、一緒に語り合っていきましょう。

【教科書】

書籍、及び新聞記事からのコピーを配布致します。

【参考書】

The Reluctant Super power, by Richard Halt

総合教育セミナーD( 類)

「文学」を読む」 4単位 通年  
【商】 大畑 純一

【授業科目の内容】

何れともあれ本を読むことが好きという人の参加を希望します。目標は、いわゆる「文学」と呼ばれているものを精読し、それを通して「深く思考する」ということで、場合によってはそこからさらに、今のようなこんな時代に「文学」が何の役に立つのか、などという話になるかもしれません。具体的には、普段あまり読む機会のない作品も含めて、小説、詩、戯曲など幅広く読んでいくつもりです。折にふれて単なる「読書感想文」よりも少し踏みこんだものを書いてもらい、それについて検討を加えるということもします。「文学」は単なる「気晴らし」以上のものでありうるのかどうか考えてみましょう。

総合教育セミナーD( 類)

「ハリウッドのシェイクスピア: 戯曲と映像表現」 4単位 通年  
【商】 大矢 玲子

【授業科目の内容】

「ハリウッド最高の売れっ子シナリオライターはシェイクスピアだ」という説がある。確かに400年近く前にイギリスの田舎で生涯を終えたこの劇作家の作品は、舞台での上演に加え、サイレント時代にすでに600回以上

映画化されたといわれる。その後も、世界の著名な映画監督や人気俳優がシェイクスピアの映像化に取り組んできたことは、黒澤明の『乱』・『蜘蛛巣城』、アカデミー賞受賞の『恋に落ちたシェイクスピア』、ディカプリオ主演の『ロミオ&ジュリエット』などを持ち出すまでもなく明らかだろう。この授業では、ハリウッド映画を中心に、映像化されたシェイクスピア作品をとりあげ、原作との比較や、映画がつけられた時代背景の分析などをとおして、劇の不変の生命力と、無限ともいえる変化の可能性をさぐることを目的としている。シェイクスピアの戯曲と映像に取り組むことで、アメリカ型資本主義社会における芸術のありかたを考える手がかりにもなるだろう。

【教科書】

シェイクスピアの作品（特にエディションは指定しない。翻訳を用いて構わない。白水Uブックスから出版されている、小田島雄志翻訳のシェイクスピア全集などが入手しやすいだろう。）

【参考書】

Eddie Sammons, Shakespeare : a hundred years on film (Oxford : Scarecrow Press, 2004)  
 ラッセル・ジャクソン編、井上優ほか訳『シェイクスピア映画論』東京：開文社出版（2004年）（原著：The Cambridge Companion to Shakespeare on film, Cambridge University Press, c2000）

総合教育セミナーD（類）

「孤児院の日誌を読む」 4単位 秋学期集中  
 【商】 小野 修三

【授業科目の内容】

私自身がこれまで翻刻してきた石井十次の岡山孤児院の大阪事業に関する日誌や名簿（明治40年代末から大正初年）を読み、当時の人々の生活状態（貧困）の把握、また大阪の地における社会事業の展開が大阪府行政当局から援助される様子を目にしたいと思う。福祉は国家の財政状況によって左右される側面があり、日露戦後の財政状況をも見ておく必要がある。

歴史を大学で勉強したいと思っている学生が多く参加されることを期待する。日誌や名簿などはプライバシーの問題に十分注意して扱わねばならないが、第一次資料を扱う経験を積むことが出来るはずである。

【教科書】

無

【参考書】

その都度指摘する。

総合教育セミナーD（類）

「歳時行事の日中比較」 4単位 通年  
 【商】 許 曼麗

【授業科目の内容】

中国古来の文物が、日本の文化・風俗に対して、多大の影響を与えたことは周知のことである。年中行事もそ

の通りである。何気なく過ごしている毎日の中に、実にたくさんの中国文化と出会うことが出来る。このセミナーは、中国の歳時行事を学習した上、日本のそれと対比しつつ、表象の違いを認識し、その伝来の源と変遷のプロセスを探り、相互影響についても視野に入れて、考察していきたい。そして、この考察のプロセスを通して、中国が身近な存在であることを改めて実感してもらいたい。

【教科書】

ガイダンスに指示する。

【参考書】

必要に応じて紹介する。

総合教育セミナーD（類）

「現代中国文学テキストを読む」 4単位 通年  
 【商】 櫻庭ゆみ子

【授業科目の内容】

中国では、1980年代より進められる改革開放政策のもとで、従来の政治イデオロギー支配から市場原理による支配へと社会を統制する支配構造そのものが大きく変化しつつある。共産党政権の下では宣伝工具であった文芸も、90年あたりを境にイデオロギーよりは市場の影響を強く受けるようになり、特に資本主義化の進む都市部における書き手、書かれたテキスト、テキストをめぐる状況は今や資本主義国のそれと類似した状況を示すようになっていく。同時に都市部と農村部との断裂、また「中流」の出現と身分格差の急激な広がり、一見類似した状況に置かれた文学テキストが別の網目を手繰り寄せたとき日本とは異なる社会の断面を見せる異質性を持つことを垣間見せる。このように目下の中国文学は日本人には混沌としてつかみにくい感じを与えるが、しかし、20世紀初頭に始まり今日に至る「近代」の射程で考えると、今日の状況が唐突に現れたものではないことが分かる。そしてグローバリズムの中で世界との壁を越境しつつ動く隣国中国のダイナミズムを見ることは日本にいる現在の自分の立場を相対化する作業にもつながるだろう。

このセミナーでは、こういった目下混沌とした状況に見える中国の文学を考察することを通じて、問題の発見（問題がどこにあるのか、何が問題になっているのか）と解決（それに対し自分はどう向き合うのかを考える）方法を学ぶ。

取り上げる範囲として、今年度は同時代に主眼を置き、1980年代以降話題となった小説、詩歌、映画、及びそれらをめぐる評論等々を取り上げる。テキストを読む作業の中で、必要に応じて中国「近代」の文学の始まりである20世紀初頭からの過去へと随時さかのぼる。進め方として、概説を随時行いつつ、こちらで指定する各テキストの読みの報告を各自に行ってもらおう。尚、報告を行うに当たって必要となるテキストをめぐる歴史的、社会的背景を調べる訓練、要約してまとめる訓練、適切な日本語で表現する訓練をすることもセミナーのひとつの目的である。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

中国文芸研究会編『図説 中国20世紀文学 解説と資料』白帝社（1995年）

総合教育セミナーD（類）

「音楽・人間・社会（水3、教室 831）」 4単位 通年

【商】 佐藤 望

【授業科目の内容】

音楽って何だろう。私たちの周りは音楽にあふれている。私たちは皆、音楽好きだ。しかし、私たちはその音楽のことをどれだけ知っているだろう。私たちが音楽について知っていることは、いったいどこからきているだろう。

本年度は、音楽と人間、音楽と社会ということを中心に研究を行う。春学期は、音楽と人間、音楽と社会をめぐるさまざまな疑問を寄せ合い、それについて調べていく。秋学期は、春学期の調査から得たものからさらなる問題を発見し、それを解決するスキルをさらに深めていく。

音楽という切り口で調査・研究をすることにより、学問的方法で調査し、自ら考え、評価し、表現する能力を総合的に身につけることを目的とする。すなわち、本の調べ方、読み方、情報の整理、フィールドワーク、文章の書き方、プレゼンテーション、ディスカッションなど、あらゆる分野に共通する学問することの基本を身につけることが、このセミナーのねらいである。

【教科書】

適宜指示する。

【参考書】

適宜指示する。

総合教育セミナーD（類）

「Seminar in English Discussion and Presentation」

4単位 通年

【商】 シェイ, デイビッド P

【授業科目の内容】

This course is designed to give students practice using English in academic and professional contexts. The general theme is related to “business and society” but students will decide which particular topics they will actually discuss in consultation with the instructor. The course will be conducted as an *interactive seminar*, with a lot of chances to make regular presentations and participate in group discussions. Students will research topics, summarize key issues, define important terms, ask questions, and suggest answers. The goal of the seminar is to both (1) increase knowledge about issues related to business and society, and (2) improve the ability to express that knowledge in natural, appropriate English

【教科書】

Readings will be either (1) provided by the instructor or (2) collected by students from the internet or the library. Students will not have to purchase a textbook.

【参考書】

We will learn to use Power Point as a tool to make clear, professional-looking presentations. No previous experience with PowerPoint is necessary, but students should be willing to learn.

総合教育セミナーD（類）

「恋愛論から社会を読む」

4単位 通年

【商】 識名 章喜

【授業科目の内容】

「冬ソナ」だとか「セカ中」、「電車男」だの、社会全体が純愛に浮かれている。どこか釈然としないものを感じている、そこのあなた。このセミナーでは、「恋愛」というきわめて個人的な妄想が、社会を通して、どのように一般化され、共同幻想を生み出していくのか、その仕組みを、ちまたに溢れる恋愛論、恋愛小説、恋愛漫画、恋愛映画、恋愛ドラマ、ラブ・ソングなどの分析を通じて考えてみようという試みです。従って、このセミナーに参加したからといって、モテるようになるわけでもないし、また、みんなが勝手に自分の恋愛観や体験をしゃべりあう場でもありません。むしろみんながなにか一言発言できる身近なテーマであるがゆえに、分析の手法や自分の解釈が厳しい目にさらされる。ドイツの格言に「愛に教師は要らない」というのがあります。まあ、そうかもしれない。しかし、このセミナーでは教師の意地悪な質問が待っていることも覚悟しておこう。

【教科書】

小谷野 敦（編）『恋愛論アンソロジー ソクラテスから井上章一まで』中公文庫

【参考書】

小谷野 敦『もてない男』ちくま新書、小谷野 敦『性と愛の日本語講座』ちくま新書、森永卓郎『悪女と紳士の経済学』日経ビジネス文庫、その他の文献は授業初回に文献リストを配布します。

総合教育セミナーD（類）

「フランス何でも」

4単位 通年

【商】 末木 友和

【授業科目の内容】

フランスの何か、について興味を持っている人。フランスの料理、ファッション、バカンス、車あるいは政治、外交、経済、文学などなど。集まった人がそれぞれに勉強するなかで、共通項であるフランスについて、あるいは勉強方法について皆で話し合しましょう。私はその手助けをするだけです。ただし、「フランス語」は除きません。フランス語はそのクラスで勉強してください。

【教科書】

特になし。

---

総合教育セミナーD ( 類 )

「入門フランス学」

4単位 通年

【商】

鈴木 順二

---

【授業科目の内容】

フランスは、私たちの生活のなかで比較的身近に感じることのできる国の一つでしょう。フランス語を学んだり、フランス映画やフランス文学、あるいは絵画や食文化を通じてこの国に親しみを持っている人も多いと思います。しかし改めて考えてみると、フランスの社会やフランス人について、私たちははたしてどれほどのことを知っているのでしょうか？例えば、フランス本土でも少なからぬフランス人が地域語と呼ばれるフランス語以外の少数言語を使って生活していることを。また、フランスの産業というと、観光、農業、流行のブランド品などを思い浮かべます。しかし先端科学技術を結集した航空・宇宙産業も盛んで、ミサイルや戦闘機も重要な輸出品なのです。

フランスに関する基本的知識を深め、フランスとフランス人の真の姿を探るのがこのセミナーの目的です。そのことはまた、日本と日本人について考えるうえでも、きっと参考になるでしょう。

【教科書】

清水徹・根本長兵衛ほか『フランス』新潮社

【参考書】

授業で紹介しします。

---

総合教育セミナーD ( 類 )

「コレクティング行動・コレクション・文化」

4単位 通年

【商】

高山 晶

---

【授業科目の内容】

コレクティング行動、コレクション、文化（文化資源・文化力）の3つのキーワードで人の営みを考えます。コレクティング、コレクションという言葉からすぐに連想されるのは「物」のコレクションですが、収集の対象は必ずしも「物」とは限りません。「経験」、「情報」、「技術」、「言葉」の収集もあります。コレクションは、公的なものでも私的なものでも、大きなものでも小さなものでも、多種多様な切り口で切り取られた「文化（資源）」の凝縮されたひとつの表れとも言えるでしょう。そしてコレクティング行動は、しばしば、有形無形のコレクションを「記録化・資料化」する過程で完成します。収集の対象が「物」のときには、「展示」で完成するパターンもあります。ここで、美術館、博物館、図書館、アーカイブズも視野に入ってきます。公的なコレクションの「展示」です。しかし、図書館を例にとると、電子図書館であれば、収集対象は「物」ではなく「情報」です。図書館では「展示」でコレクションが完成するわけではなく、時々刻々とコレクティングも行われています。あるいは、美術館と博物館はどうちがうのか、ちが

わないのか？そしてアーカイブズとは？例にあげたのは、公的なコレクションですが、もちろんテレビ番組のような、個人による「物」のコレクションも、「世界のすべての国と地域を訪れる」といった「経験」のコレクションも、それらを記録化・資料化したケースも、広くセミナーの対象にしたいと思います。実際に、コレクション「展示」の場である展覧会を観て、展覧会を料理にたとえると、その「材料」（どのような文化資源が使われているか）、「料理のレシピ」（文化資源の切り取り方・組み合わせ方・味付け）、「料理の評価」（社会的影響・文化力）等をテーマに、担当者をきめて発表し、レポートを作成する課題があります。

【教科書】

プリントを配布します。

---

総合教育セミナーD ( 類 )

「イベリアとイベロアメリカの歴史・文化」

4単位 通年

【商】

瀧本住香子

---

【授業科目の内容】

スペイン・ポルトガルのイベリア両国は、8世紀初頭から7世紀以上に及ぶイスラム支配を経験した結果、他のヨーロッパ諸国と共通の基盤を持ちつつもきわめてユニークな文化を築き上げました。レコンキスタが終結した15世紀末には近代国家としての原型を整えると同時に、アメリカとアジアに進出して大航海時代の立役者となり、世界史に決定的な方向転換をもたらしました。欧米諸国主導という現代世界の勢力図のもとができたのは、この大航海時代だといえます。日本にも、コロン（コロンブス）の航海から約半世紀後にポルトガル人が到来しますが、この最初の西洋文明との接触において日本は、世界史上でもまれな2世紀に及ぶ鎖国の道を選びました。

このセミナーでは、以上のような流れを念頭に入れつつ、イベリアとイベロアメリカの文化と歴史について、各自テーマを見つけてレポートを書いてもらいます。

\*参考までに、今までにこの授業で提出されたレポートのテーマをいくつかあげておきます。

「大航海時代の中での日本と西洋の出会い - 織田信長とルイス・フロイスを中心に - 」

「16世紀初頭におけるスペイン植民地社会の形成 - メキシコにおける植民地支配 - 」

「ポルトガル・アヴィース朝の王たち」

「イスラム支配下のイベリア - 異なる宗教の共存 - 」

「カタルーニャ・ナショナリズム ~カタルーニャ語の復権」

「アントニオ・ガウディ - サグラダ・ファミリア聖堂 - 」

「16~17世紀のポルトガル ~併合から再独立とセバステアニズム~」

「キリスト教の伝来 ~宣教師の活動~」

【教科書】

R.A.ストラドリング、M.ヴィンセント著、小林一宏

監修、瀧本佳容子訳『図説世界文化地理大百科 スペイン・ポルトガル』、朝倉書店、1999年。

【参考書】

開講時に説明します。

総合教育セミナーD ( 類 )

「アメリカの社会と思想」

4単位 通年

【商】

竹内美佳子

【授業科目の内容】

9.11以後のアメリカは、自国に対する敵意に力で応酬する一国主義への傾斜を強めているように思われます。本セミナーでは、19世紀・20世紀の歴史に立ち返り、時代の生んだ思想から現代世界を考えます。

春学期は、アメリカが領土拡張と南北戦争に駆り立てられてゆく1840～50年代に焦点を当てます。エマソンの著作の輪読を通して、アメリカ現代思想の源とも言うべき思想家が、人間の精神をどのように捉えていたかを探ります。

秋学期は、アメリカがヴェトナム戦争の泥沼に陥る1960年代を中心に取り上げ、マーティン・ルーサー・キングが、自国における公民権運動の経験知をいかに国際的次元へ拡大していったかを考察します。

【教科書】

『エマソン論文集(上)(下)』岩波文庫

【参考書】

授業時に必要に応じて紹介。

総合教育セミナーD ( 類 )

「外国との交流史から見た日本」

4単位 通年

【商】

種村 和史

【授業科目の内容】

日本は、古来様々な異国と関わりその文化を受容しながら、独自の文化を築いていった。本セミナーでは、その様相を様々の側面から探り、日本文化の特徴を歴史的な視野から考える能力を養うことを目的とする。

【教科書】

随時指定します。

総合教育セミナーD ( 類 )

「現代中国入門」

4単位 通年

【商】

段 瑞聡

【授業科目の内容】

本セミナーは、現代中国に関する基礎知識を身につけるための場を提供するものである。同時に日中関係をめぐる諸問題に対しても検討を加えたいと思う。

春学期は、家近亮子著『日中関係の基本構造』を輪読し、日中関係を取り巻く諸問題を検討する。

秋学期は、天児慧『中華人民共和国史』と 朱建栄『中国 第三の革命』を輪読し、現代中国が抱えている諸問題を検討する。

【教科書】

家近亮子著『日中関係の基本構造』晃洋書房(2003年 2400円) 天児慧『中華人民共和国史』岩波書店(1999年 660円) 朱建栄『中国 第三の革命 ポスト江沢民時代の読み方』中央公論新社(2002年 740円)

【参考書】

授業中、適宜紹介する。

総合教育セミナーD ( 類 )

「SEMINAR IN LEADERSHIP, STRATEGY, AND CHANGE IN GLOBAL ORGANIZATIONS」

4単位 通年

【商】

トビン, ロバート I

【授業科目の内容】

This course examines current issues in global business leadership, strategy, and organizational change. Topics will include entrepreneurship, marketing, joint ventures, leadership styles, market entry, and human resource development.

The course will be conducted as a seminar with lecture-discussions, student group presentations, case studies, video segments, experiential class activities, and research assignments.

This course is conducted entirely in English and is open to all students.

【教科書】

Learning To Lead, Bennis and Goldsmith, First Break All The Rules by Buckingham et. al. or Good To Great By Jim Collins

【参考書】

I urge you to read as much as possible in English, including Fortune, Business Week, the Economist, Asian Wall Street Journal, and to watch CNN, CNBC and BBC. Student rates are available for Business Week. I am glad to make additional suggestions regarding resources related to this course. .

総合教育セミナーD ( 類 )

「幸福について」

4単位 秋学期集中

【商】

成田 和信

【授業科目の内容】

このセミナーでは、幸福とは何か、その人にとって良い生き方とは何か、「その人のためになる」とはどのようなことなのか、といったことを、古代ギリシャから現代までの西洋哲学の文献(抜粋)を読みながら考えます。翻訳のあるものはなるべく翻訳を使いますが、半分くらいは英語で読むことになると思います。それぞれの文献ごとに担当者を決めて、そこで何が書かれているかを自分の言葉で説明してもらい、それをもとに皆で議論します。それを通して、自分なりの幸福観をまとめることができればよいと思います。それに加えて、論理的で抽象的な議論を理解し、それを他の人になるべくわかりやす

く伝える力を養うことができれば幸いです。

【教科書】

プリントを配布します。

【参考書】

授業中に案内します。

総合教育セミナーD ( 類 )

「イギリス研究2005」

4単位 通年

【商】

西川 正二

【授業科目の内容】

ガーデニングの流行や、イギリスに関する本の出版ブームは、今の日本に欠けているなにかを、イギリスを通して得ようとしている、現代日本人のこころの反映もかもしれません。自分でイギリスに関する興味のあるテーマを見つけて、発表し、レポートにまとめることが、この授業の目的です。一見学問的でないようなテーマでも、興味に従って、自由に選択して下さい。自分の興味を知るのも、自分自身を知る方法の1つです。自発的な学習習慣をつけるのが、この授業の目的です。また、他の人の興味を知り、質問し、ディスカッションをする力をつけることも重要です。現代社会にもみられる一方的に自分の価値を他人に押し付け、民主的な議論がなされないような精神を変えていくには、自分の考えを積極的に述べ、他人との違いを理解し、かつ建設的な道を模索するという、普段からの訓練が必要です。これが、日本の社会(会社、大学、政治、etc)で一番欠けていることかもしれません。自分の頭でものを考えられる人間を目指しましょう。

履修するには必ず最初のガイダンスウィーク中の授業に出席すること。

【教科書】

なし

【参考書】

小林滋 監修『読んで旅する世界の歴史と文化 イギリス』新潮社(1992年)

総合教育セミナーD ( 類 )

「現代社会を考える」

4単位 通年

【商】

西川 僚介

【授業科目の内容】

明治維新から戦後を経て現代日本社会の抱える政治、経済、思想、心理等のさまざまな問題について、日本の視点のみならず国際的な視野から考えてゆくセミナーとします。受講する学生は、まずなんであれ社会的問題について関心を持っていることが望ましい。本セミナーにおいて受動的に知識をえるのではなく、主体的関心により積極的にテーマを選択し、視野を広げ思考と論理を深め発表してゆくことを目的とします。

【教科書】

ハンナ・アレント『人間の条件』、福沢諭吉『文明論の概略』、Erich Fromm『Escape from Freedom』

【参考書】

クラスにて、随時紹介。

総合教育セミナーD ( 類 )

「日本映画、その歴史と可能性」

4単位 通年

【商】

橋本 順一

【授業科目の内容】

日本映画の歴史を、1920年代のサイレント時代に始まり、戦前・戦中・戦後そして現代に至るまで通史的に回顧し、日本映画が小津や黒澤や成瀬や溝口(そして宮崎?)にのみ代表されるのではないという当り前の事実を具体的な作品に則して検証する。

上記により、外国での評価が高い上記の映像作家たちの影に追いやられ、当の日本の観客にすら等閑視されてしまったジャンルを忘却の淵から掘り起こし、それらの作品に関わった映像作家を復権させつつ、日本映画の審美性を探求する。

【教科書】

特になし。

【参考書】

佐藤忠男『日本映画史』(全4巻)岩波書店、古川ロッパ『古川ロッパ昭和日記』(全4巻)晶文社、塩田長和『日本映画五十年史 1941~91年』藤原書店、キネマ旬報増刊号『日本映画作品全集』キネマ旬報社、『講座日本映画』(全8巻)岩波書店、ほか適宜授業で指示。

総合教育セミナーD ( 類 )

「旅 - ドイツの旅、今と昔」

4単位 通年

【商】

フォークル, ヴァルター

【授業科目の内容】

授業は主としてドイツ語で行なわれるので、ドイツ語の知識は不可欠である。

ドイツのガイドブックのなかでおそらく一番有名で由緒あるものと思われるペーデカーを使って、ドイツをできるだけ多くの観点から知ることを本授業の眼目とする。ペーデカーの実用的な使用を通じて、学生はドイツの歴史、地理、文化、そして政治に対する理解を得るだけでなく、さらに旅行に関連した語彙を学び、各自がドイツへの「自分の旅」を計画し、また一般的に「旅」というテーマそのものや、旅の歴史、あるいはツーリズム(観光)についても考えをめぐらすことになる。

【教科書】

Baedeker Allianz Reisefuehrer: Deutschland, Verlag Baedeker, Ostfildern, ISBN: 3829710208

【参考書】

内容のしっかりした独和辞典。Marc Walter, Alain Rustenholz, Sabine Arque: Legendäre Reisen in Deutschland, Verlag Frederking & Thaler, ISBN: 3894056304

総合教育セミナーD ( 類 )  
 「言語の分類と研究発表の方法」 4単位 通年  
 【商】 深澤はるか

【授業科目の内容】

本セミナーの目的は二つある。

一つめは、世界に5000以上あると言われている言語を、地域社会、文化、起源、構造（音声、語順、形態、意味、語彙）などさまざまな視点から系統的に分類することである。例えば、「色」の意味を示す語彙、という観点から見ると、「白黒（明暗）」2種類しかない言語もあれば、日本語のようにたくさんの語彙をもつ言語もある。人間の発声、発音の器官、言語を司る脳のしくみは、どの言語を話す人も同じようであるにもかかわらず、実際それぞれの言語は大変異なっているように思われる。さまざまな視点から言語を考察分類することにより、世界中の言語に共通性は存在するのか、もしそれぞればらばらなものだとすると、なぜ同じ人間がそのように違う言語を使用するのか、ということを探求したい。

二つめは、そのテーマを基に、研究の仕方、その研究の口頭発表およびポスター発表の仕方、レポートの書き方を学ぶことである。セミナーの初めの数回において、言語分類に関してさまざまな視点を紹介する。学生は、それを参考に言語分類の視点を自分で考え、研究し、春学期は口頭発表を、秋学期はポスター発表を行い、最終的にレポートにまとめる。

【教科書】

(1) 教員からの配布資料（教員が編集し生協にて購入できるようにする予定）

(2) その他（随時指示する）

【参考書】

随時指示する。

総合教育セミナーD ( 類 )  
 「都市を考える」 4単位 通年  
 【商】 宮崎 洋

【授業科目の内容】

都市とは何であろうか。いつから生じ、どこへ行こうとしているのであろうか。都市について、日本、アジア、欧米を問わず、古代から現代までを対象に、その形成、展開、特色を検討します。もう一つのねらいは基本的な学問的手法（ここでは文献・論文の探し方、レジュメの作り方、発表の仕方、ディスカッションの仕方、レポートの書き方）を身につけることにある。

【教科書】

春学期：藤田弘夫著『都市の論理』中公新書1151（1993年 740円）。秋学期：未定

総合教育セミナーD ( 類 )  
 「Culture and Psychology」 4単位 通年  
 【商】 森吉 直子

【授業科目の内容】

The main objective of this course is to learn about different ways of perceiving the world by people living in different cultures. English is the only/primary language used in the class. Students will learn about human mechanism to understand how we human perceive the world in certain ways. It is essential to understand how we feel, think and act in certain ways before we try to understand others. Students will also learn how to make presentations effectively in both verbal and non-verbal aspects. In order to enhance presentation skills, writing and speaking based on strong evidence, especially objective data, such as statistics, will be encouraged. Therefore, library research to obtain relevant information will be required.

【教科書】

Will be announced.

【参考書】

Will be introduced in class

総合教育セミナーD ( 類 )  
 「地域研究としてのラテンアメリカ研究」 4単位 通年  
 【商】 安井 伸

【授業科目の内容】

よく現代は「グローバルに考え、ローカルに行動する」ことが求められる時代だと言われる。では、「グローバルに考える」にはどうすればよいのだろうかと言え、それには少なくとも、「先進国」からの視点だけではなく、「周辺」あるいは「南」から世界を見る視点をも身に付けることが不可欠だろう。

もし仮に地球上のすべての人々が米国人並みの生活様式を送れば、地球環境はとても持ちこたえられないと言われる。だとすれば一般に「途上国」と呼ばれる国々は、一体どの程度までなら発展することが許されているのだろうか？そもそも「途上国」にとっての問題は本当に「発展の不足」にあるのだろうか？それとも「発展の仕方」そのものが問題なのだろうか？それならば、代替的な発展は可能なのか？

この授業では、これらの問いかけを常に行いつつ、20世紀から現代ラテンアメリカの様々な問題（民主化、人権侵害、経済統合、金融危機、環境問題、貧困・不平等、インフォーマルセクター、児童労働・麻薬・売春、テロ・内戦、etc.）を議論して行きたい。

授業の進め方としては、春学期には教科書の輪読を通じて、社会科学的地域研究の方法および題材としてのラテンアメリカに関する基礎知識を学び、同時に、レジュメの作り方や発表・討論の基本を身につけることを目

指す。秋学期には、各自が選択したテーマに関する研究発表を行い、それをたたき台にレポートをまとめる。その際、必要に応じ、基本的な論文作成法（テーマ設定、資料の検索・収集、文章構成、注の付け方等）の指導を行う。

【教科書】

山口博一『地域研究論』アジア経済研究所（1991年）、国本伊代・中川文雄編『ラテンアメリカ研究への招待』新評論（1997年）

【参考書】

松下洋他編『ラテンアメリカ 政治と社会 [全面改訂版]』新評論（2004年）、西島章次他編『ラテンアメリカ経済論』ミネルヴァ書房（2004年）、その他、授業時に紹介する。

総合教育セミナーD（類）

「世界と日本の今を考える」

4単位 通年

【商】

湯川 武

【授業科目の内容】

さまざまな意味で、またさまざまなレベルで、グローバル化が進んで行く現在、私たちは自分たちの生きる場所である「日本」をどう考えたらいいのだろうか。その「日本」を見る眼はこれまでどおりでいいのだろうか。現代世界にあって、あらためて日本を見る見方について考える必要があるのではないだろうか。多くの観点や考え方が考えられる中で、このセミナーでは以下の二つの視点を大事にしたい。

第一に、日本だけを特別なものとして考えるのではなく、世界の他の地域や国々との比較を通じて、日本をいわば客観的に見てみること。

第二に、さらにその観点から、さらに日本そして日本人から視野をさらに広げて、世界とか人類という観点に立って、さまざまなことを考えてみること。

このような視点に立って、現在の日本と世界が抱えるさまざまな問題群を、このセミナーでは、政治・経済・環境・異文化共存という四つの分野で考えていきたい。

春学期は、四つの分野についてのどのような具体的問題があるかについての議論を深める。秋学期はその中で各自が特に関心のある問題に特化して、それをより深く調べ考察し、その過程を報告・発表し、最後にレポート（小論文）にまとめる。問題の発見から、調査・議論の進め方・まとめ方・発表の仕方など、大学生としての必要な技法について学ぶこともこのセミナーの目的である。

【教科書】

なし

【参考書】

授業ごとに紹介する

総合教育セミナーD（類）

「異文化間トレーニング」

4単位 通年

【商】

吉田 友子

【授業科目の内容】

異なる文化の人々とのコミュニケーションの際、言葉が通じても文化の差による勘違いや摩擦が起きることが多々ある。逆にその勘違いや摩擦から得るものも大きい。この授業では英語でのレクチャー、ディスカッション、ケーススタディーの分析やシミュレーション等を通して、異文化接触を体験的に学んでもらう。授業はすべて英語で行われ、学生の積極的な参加を求む。

【教科書】

プリントを授業で配る。

【参考書】

- (ア) 八代京子、町恵理子、小池浩子、磯貝友子（著）『異文化トレーニング：ボーダレス社会を生きる』参修社出版（1998年）
- (イ) Intercultural Communication Training: An Introduction By: Richard Brislin & Tomoko Yoshida（1994）. Sage Publications.

総合教育セミナーD（類）（火5）

「21世紀の商店街」

4単位 通年

【商】

田上 竜也 牛島 利明  
小潟 昭夫 石井 明

【授業科目の内容】

この授業では、皆さんが学ぶ日吉キャンパスの後背地である「日吉」および他の地域の商店街についてフィールドワークしながら、都市計画、商店街の運営、文化的イベントによる活性化などの考察、提言を行い、さらにその実現を図っていきます。大学の立地する地域を、単に生活したり消費する場所と捉えるばかりではなく、魅力ある「学生街」としての文化を創出しようと試みる、意欲ある学生の参加を歓迎します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業で指定。

総合教育セミナーD（類）（木5）

「留学生セミナー」

4単位 通年

【商】

田上 竜也

【授業科目の内容】

このセミナーは留学生の皆さんの日本語能力を高めるとともに、皆さんの日本での生活を把握し、支援していくことを目的とします。また、日本人の学生も若干名参加して、相互の交流を進めることもその意義の一つです。日本と出身国の文化の違いを議論したり、レポートにまとめたりということを通じて、日本語を勉強するという

形をとります。したがって商学部留学生は必ずこのセミナーを受講しなければなりません。また、留学生との交流を希望する日本人学生諸君の受講も歓迎します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業で指定。

総合教育セミナーD ( 類 )

「荘内藩致道館由来学」

4単位 通年

【商】

松村 宏

【授業科目の内容】

日本中でめずらしく存続している上級武士文化人集団の伝統たる致道館由来学と一緒に学習研究する。彼らの教養と強健と品格を求めて体得すれば今の世界市民ビジネス上層青年に文化的中軸を与える。その古典主義の新たな創造的体現への練習を積むことが、ここでの我々の目的であり方法でもある。初心者が対象なので素養は問わない。出席者に応じたレベルから出発する。題目は文字通りの無骨でも、内容は、狩野永徳の絵をどう見るか、京都派の雅楽はどう演奏されていたか、古流剣道の形(かた)は、どういう呼吸であるかという部類の問題である。(具体的方法は、授業内容に示す)

【教科書】

すべて原資料を複写して配布。

【参考書】

各回毎に指示。

【理工学部設置の少人数セミナー形式科目】

総合教育セミナー〔春学期〕・〔秋学期〕

本科目は知的探求の基本である論理的思考とその口頭ならびに記述による表現力の養成を目指します。20人以下の少人数クラスで、教員と学生、そして学年同志の密なコミュニケーションを通し、調査、発表、ディスカッション、レポート作成など、学問の基本的手順・在り方を体験してゆきます。設けられた多様なテーマの中から自分が関心のあるものを選び、積極的に授業に参加して下さい。

総合教育セミナー

「メディアの世界」

2単位 春学期

【理】

浅見 昇吾

【授業科目の内容】

メディアのさまざまな世界を具体的に知ってもらいたいと思います。ただし、受動的な知識を身につけることが目標ではなく、メディアを自分なりに積極的に活用できるようにすることが目標です。メディアを利用したプレゼンテーション、企画書の作成などもして頂きたいと考えています。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

総合教育セミナー

「レゴでロボットを作ろう！」

2単位 春学期

【理】

池原 雅章

【授業科目の内容】

理工学離れが言われて久しい昨今、その理由は様々ですが、大きな理由の一つは、子供の頃に物を作る喜びを味わっていないからだと思います。高度な科学技術を修得する前に、理工学の基本である何か新しい物を作るという喜びを味わって欲しい、それが一番の目的です。

本セミナーでは、作る人のコンセプトを比較的短時間で組み込むことのできるレゴ(マインドストーム)を使って、学生諸君の創意工夫によってどのようにも進化できるロボットを作り、作ることの喜びを感じて欲しいと考えています。小さな子供達が自分で考えたことを母親に話したがるように、自分の工夫によってできたものを、人に見せたい、話したい、これがプレゼンテーションの原点だと思っています。

総合教育セミナー

「自分を読むための一つのヒント」

2単位 春学期

【理】

猪股 光夫

【授業科目の内容】

自分を読むための方法はたくさんありますが、ここで

は古典的な精神分析の方法をヒントにして、子供時代の親子関係や、兄弟関係、友人関係などを考えることによって、現在の自分のありようを再検討してみたいと思います。

このような方法が有効な理由の一つは、私たちが現在の人間関係の中で、全く知らないうちに過去の人間関係を繰り返して演じているからです。このことはその人の知性や意識の持ち方を超えたところで再演されてしまうため、私たちはあまり考える機会を持たないまま暗闇の中に放置してしまいます。たとえば私たちが友人や先輩や恋人との関係で、今経験している愛や憎しみや嫉妬や挫折感や悲しみや怒りといった情動は、過去に母親や父親のような身近な人達との関係の中で何度も味わったことのあるものにちがいないのです。このような過去の繰り返しのなかにいる限り、私たちはどんなに新しい人と出会おうとも、深い部分では決して新しい出会いも感動も経験もなく、過去を虚しく繰り返しているだけになってしまいます。

過去の反復から少しでも自由になるためには、まず自分の過去の人間関係を分析して、言語化し意識化する必要があります。なぜなら私たちは意識化できないものこそ反復する傾向があるからです。

過去の自分を考えるためのヒントをあたえてくれるテキストとして、アリスミラー (Alice Miller) の著作を第一候補と考えていますので、まずその一部を読んで、批判検討する予定です。彼女によれば、私たちは大抵自分の子供時代を、幸福なものであったと思っているけれども、実はそれはほとんどない嘘であり、当時の親子関係の不幸をおおいかくすための幻想にすぎない。子供は親の期待や欲望に忠実であることを強制され、親の愛を失う恐怖によって、親に忠実な良い子になり、その結果社会のルールに忠実な良い大人になっていくのだ、ということになるのです。良い子になる過程において、子供は自分の欲望を捨て、他者の欲望だけで生きようになり、それでも本人は自分の欲望で生きていると思い込むようになる。自分では自分の欲望を生きているナルシストだと思っても、そのような人は自分の核を失った、自己愛障害者なのだと言っています。これは特殊な家庭の出来事ではなくて、ごく普通の、いわば立派な家庭におけるドラマであるため、大抵の人がかれ少なかれ自己愛障害 (narcissistic disturbance) を生きており、本当の意味で自分を生きて、愛することが出来ずに、虚しさを反復することになります。

#### 【教科書】

プリント教材

#### 総合教育セミナー

「環境と生活とデザインについて」 2単位 春学期  
【理】 大西 瞳

#### 【授業科目の内容】

- ・『環境』というワードをいろんな視点で解説。(ゲスト講師あり)
- ・環境と生活とデザインの融合について考える。

- ・『環境』問題はここ最近のキーワードではあるが、難しく理解するのではなく、デザインなどから始めて、もっと手軽で身近な生活という観点から学習する。
- ・実習、フィールドワーク。

#### 【教科書】

現在のところ未定。

#### 【参考書】

現在のところ未定。

#### 総合教育セミナー

「エコロジカルに学ぶ。生きる。～地球環境問題を考える～」 2単位 春学期  
【理】 長田 紀子

#### 【授業科目の内容】

「環境の世紀」と呼ばれる21世紀。この世紀を生きる市民として、地球環境問題をどのように捉え、取り組んで行けば良いのだろうか。

この授業は、地球環境という視点から各自のテーマを決め、調査研究・発表・レポート作成を中心に進めていく。

この授業への参加を通して、口頭・記述による表現の能力を養うことを目指す。さらに、今世紀を生きる学生・研究者・市民として、自分自身の座標軸を確立することを目的とする。

#### 【教科書】

授業中に紹介する

#### 【参考書】

授業中に紹介する

#### 総合教育セミナー

「笑いについて」 2単位 春学期  
【理】 金田一真澄

#### 【授業科目の内容】

笑いは、人間とサルのみが持つ特徴です。

「笑い」について、人間と笑いとの関係、笑いの研究史、笑いの原因など、様々な問題を議論します。

学生には、笑いについて書かれた文献リストを渡し、それらを利用して文献を読み、様々な角度から笑いを検討します。最後に各自レポートとしてまとめ、提出します。

#### 【教科書】

なし

#### 【参考書】

授業でリストを渡します。

#### 総合教育セミナー

「カルチャーショックを考える」 2単位 春学期  
【理】 熊野谷葉子

#### 【授業科目の内容】

国際化と情報化の進む現在、私達は毎日のように自分の育ったのとは違う世界に関する情報に触れている。し

かし実際に外国人と接したり、日本の中でも違う環境に育った人と話をすれば、お互いの行動や考え方には戸惑いを覚えることも多い。こうした個人の小さなカルチャーショックは何に起因し、ある集団や民族に対するイメージ形成とどう関係するのだろうか。また異文化に対するイメージは時代によってどのように変遷するのだろうか。差別や紛争といった深刻な問題にも繋がる異文化への視点について、具体的な事例の検討と意見の交換を通して考えたい。

【教科書】

指定しない。

【参考書】

授業内でテーマに従って指示する。

総合教育セミナー

「大衆文化を読み語る」

2単位 春学期

【理】

古賀 義顕

【授業科目の内容】

大衆ドラマ、漫画、アニメ、ポップスなどの個々の大衆文化をとりあげ、それらの作品を楽しむだけでなく、どんな風に解釈したり研究したりできるかを考えます。例えばポップスにその時代のどんな特徴が反映されているか、アニメ作品のストーリー展開の特徴、漫画における女性像など、作品研究には色々な切り口があります。それぞれ受講生の気になる大衆文化作品を客観的に分析し、またそれが（それ自体、また他の作品との比較において）いかに興味深いかを説得的に提示することを通して、調査やレジュメ作成、口頭発表の方法を探求したいと思えます。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しません。必要に応じて文献リストを紹介する予定です。

総合教育セミナー

「『世界』の「怪談」を読む 文学研究一歩手前」

2単位 春学期

【理】

小林 潔

【授業科目の内容】

- ・「翻訳」で「世界」文学を講読します（「翻訳」や「世界」といった用語そのものにも注意を払います）。
- ・作品について調査、考察し、それをもとに自分の考えを組み立て発表する練習をします。
- ・文学研究なるものにふれ、言語作品の自覚的な読み方を学ぶことが本セミナーの目標です。

【教科書】

岡本綺堂編訳『世界怪談名作集』（上下巻）河出書房新社（河出文庫）

・講義資料プリント

【参考書】

齊山弥生・沖田弓子『研究発表の方法～留学生と日本

人学生のためのレポート作成・口頭発表の準備の手引き～』（産能短期大学、凡人社）

クルーシアス、チャンネル著 杉野・中西・河野訳『大学で学ぶ議論の技法』慶應義塾大学出版会

総合教育セミナー

「ユング心理学の世界に遊ぶ」

2単位 春学期

【理】

小林 邦夫

【授業科目の内容】

近代文明の科学とその知識は、人間の外側へと向かい、多大なる恩恵とそしてその弊害をもたらした。反面、人間の内側へと向かう科学の発展は遅々として進まず、我々は、我々自身のものであるはずの我々の「こころ」について、何も知らないに等しい。C. G. ユングの心理学は、近代合理主義を背景とする科学文明の枠組みから外れた、諸分野を堂々と取り上げ、考察し、そして現代の精神的危機を救済すべき「拠り所」として我々に突き付けている。以下の「授業の計画」を参照。これらの分野は、「非科学を科学する」とも表現できよう。ユング心理学の魅力はまさにそこにこそあるのであり、現代人の抱える諸問題を解明してくれるものなのである。

【教科書】

文・大住誠、イラスト・田島薫美『ユング』（FOR BEGINNERSシリーズ65）現代書館（1236円）

【参考書】

アンソニー・ストー編著（山中康裕監修）『エッセンシャル・ユング』創元社（3914円）

総合教育セミナー

「20世紀の美術を考える」

2単位 春学期

【理】

近藤 幸夫

【授業科目の内容】

この授業は、口頭発表やレポートを通じて、20世紀美術および現代美術をみるうえでの知識を身につけます。

具体的には、各自テーマを設定し、それに沿って美術展を見学したり資料を調べるなどして、その結果を口頭発表、ディスカッション、レポートなどで発表します。特に理工学部在学生にとっては、如何に人文分野の資料にアクセスするかということも学びます。

【教科書】

ありません。

【参考書】

授業で見学した展覧会のカタログなど。

総合教育セミナー

「『小さい』メディアをつくる」

2単位 春学期

【理】

坂倉 杏介

【授業科目の内容】

本講義では、受講者それぞれが自身のテーマに沿ってオリジナルの「小さい」メディアをつくります。「小さい」メディアとは、テレビや雑誌などのマス・メディア

と異なり、自分の考えを伝えると同時に相手の意見を引き出し、お互いの関係を変えていく触媒のような働きをするコミュニケーション・ツールを指します。具体的な例としては、フリーペーパー、Webサイト、各種の企画書、場合によってはある種のカフェや音楽、映像などが挙げられますが、特に形式にとらわれることなく、必要に応じて自分自身で「発明」するものと考えてください。

こうした「小さい」メディアをつくるにあたって、ここでは受講者同士のディスカッションや事例分析から、それぞれ自分らしいコミュニケーション・ツールを考へ出すことに力点をおきます。こうした共同作業と制作のプロセスを通じて、通常自分たちが他者と行っているコミュニケーションの形式についての理解を深め、これまでにないものを思考し創造するための基本的なスキルの習得を目指します。

【教科書】

特になし。

【参考書】

授業中、適宜指示します。

総合教育セミナー

「推理小説論を読む(1)」

2単位 春学期

【理】

高来 和巳

【授業科目の内容】

「推理小説」とは何なのか？ その実作品にも触れつつ、この奇妙なジャンル「について」書かれたものを読むことを通じて、「推理小説」に固有の問題を理解することを目指します。また、このテーマをめぐって、口頭発表やレポートで自分の見解を明瞭に伝える練習をします。

【教科書】

とくにありません。

【参考書】

教室で指示します。

総合教育セミナー

「臨床工学」

2単位 春学期

【理】

富田 豊

【授業科目の内容】

臨床工学を題材にしてプレゼンテーション技法を講義する。学生は各自で決めたテーマ(初回は自己紹介)について、プレゼンテーションする。スピーチの要旨をあらかじめ配ることで要旨の書き方も習得する。

【教科書】

なし。

【参考書】

科学技術日本語案内, 慶応大学出版

総合教育セミナー

「異なる角度から見る日本語 コミュニケーション能力の強化のために」

2単位 春学期

【理】

羽田野洋子

【授業科目の内容】

カタカナ語の多用、顔文字の使用、若者言葉、慣用表現の誤用、など言葉は刻々と変化しています。変化している日本語について各自が身近なテーマを設定し、具体的に調査・分析し、その作業を通じて今まで無意識に使用してきたであろう日本語をいろいろな角度から客観的に見ていきます。日常生活では、例えば、「今晚は雪が降る。」という断定の文に「今晚は雪が降る+(だろう・かもしれない・にちがいない・はずだ・と思う・と思われる・ようだ・みたいだ・らしい)」などの文末表現を自然に使い分け、円滑なコミュニケーションをはかっています。日本語を客観的に見ることによって表現が緻密で豊かになっていきます。日常会話も口頭発表もメールも手紙もレポートも言葉によるコミュニケーションです。このセミナーでは、場面・目的にあった適切な日本語で書き・話し、自分の考えを端的に伝えられるようになることを目指しています。コミュニケーション・ツールとしての日本語をみがきあいましょう。

【教科書】

必要に応じて関連資料を配布します。

【参考書】

山崎信寿、富田豊、平林義彰、羽田野洋子『科学技術日本語案内新訂版』慶應義塾大学出版会(2002年)、木下是雄『理科系の作文技術』中公新書(1981年)、石黒圭『よくわかる文章表現の技術』明治書院(2004年)

総合教育セミナー

「化学でのぞく神秘の世界」

2単位 春学期

【理】

平林 義彰

【授業科目の内容】

工学における『化学』は、衣料品や医薬品、生活用品、ハイテク製品、住宅関連資材など、我々の身の回りの衣・食・住に関わる材料や製品を作るときの「道具」として考えることが出来ます。

ここでは「ものをつくる」という観点から『化学』をとらえ、プラスチック光学材料研究室の見学やガラス細工の実験を体験しながら、実際に見学記や実験レポートを作成し、科学的表現法や科学技術文章の書き方などを学びます。また、新聞の科学記事の中から上に述べた「道具」としての『化学』の話題を検索し、それを書いた新聞記者の立場になって発表して、プレゼンテーションの基本的な方法を身に付けることを目標とします。

科学技術文章の特徴は、「事実」と「意見」をはっきり分けて書くことです。実験レポートを書くときにこの書き方の基本をおろそかにしますと、内容の不明瞭なレポートになり、再提出ということになってしまいます。この科学技術文章の書き方が卒業論文、ひいては研究論

文の書き方の基本となります。

時間割の関係で春学期に履修できないときは、秋学期の総合教育セミナー〔秋学期〕平林義彰を履修してください。ほぼ同じ内容で実施する予定です。

【教科書】

必要に応じて講義資料プリントを配布します。

【参考書】

山崎信寿他『科学技術日本語案内 新訂版』慶應義塾大学出版会（2002年）、相吉英太郎編『理工系大学生のための日本語文書知的作成法』（非売品）慶大理工学部（1998年）、木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社（1981年）、高木誠司『理科系の論文作法』丸善（1997年）、山口喬『エンジニアの文章読本』培風館（1988年）

総合教育セミナー

「身近なモノのデザイン」

2単位 春学期

【理】

山崎 信寿

【授業科目の内容】

新製品企画、人間と生活、道具、家具、建築、デザインに興味を持つ人向きです。自分が興味を持つモノについて、現在のモノはなぜそうなっているのか調査し、もっとよくなれないか考え、あるいは全く新しいモノを発想し、発表し、議論し、再び考える機会を設けます。このような作業を通じて多面的な見方と論理的思考力および表現力を訓練するのが、このセミナーの目標です。このため、書くことと話すことに慣れる様々な企画をしています。

【教科書】

特に指定しません。関連資料は配付します。

【参考書】

木下是雄『理科系の作文技術』中公新書（1981年）、日本機械学会編『生活を変えた技術』技報堂出版（1997年）、山崎信寿、富田 豊、平林義彰、羽田野洋子『科学技術日本語案内新訂版』慶應義塾大学出版会（2002年）

総合教育セミナー

「生命倫理の世界」

2単位 秋学期

【理】

浅見 昇吾

【授業科目の内容】

思想や倫理とは何かということからはじめ、生命倫理の具体的な問題について少しずつ知見を深めてもらう予定です。生命倫理では、社会の複雑な問題や人生の複雑な問題が比較的具体的な形で提示されます。生命倫理の問題を考え、社会や人生を生き抜くための手がかりを得て頂きたいと思います。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

総合教育セミナー

「Electronics Design」

2単位 秋学期

【理】

池原 雅章

【授業科目の内容】

学生の皆さん、今までハンダづけをしてラジオ等の電子工作をしたことがありますか？

工学の基本は物作りであり、ハードを知ってこそ、真に有効なソフトが開発できるのです。

本セミナーでは、実際にハンダづけを行って、トレーサーロボットを製作しながら電子部品の動作を理解し、自分の手でものを作ることの真の喜びを感じて欲しいと考えています。製作を通じて分かったこと、苦労した点、今後の課題等文章としてまとめる能力も高めていきたいと考えています。

総合教育セミナー

「環境と生活とデザインについて」

2単位 秋学期

【理】

大西 瞳

【授業科目の内容】

- ・『環境』というワードをいろんな視点で解説。(ゲスト講師あり)
- ・環境と生活とデザインの融合について考える。
- ・『環境』問題はここ最近のキーワードではあるが、難しく理解するのではなく、デザインなどからめて、もっと手軽で身近な生活という観点から学習する。
- ・実習、フィールドワーク。

【教科書】

現在のところ未定。

【参考書】

現在のところ未定。

総合教育セミナー

「サイエンスライター入門」

2単位 秋学期

【理】

加藤 万里子

【授業科目の内容】

科学の成果を一般むけにわかりやすく解説できる力は、研究者になる人やマスコミを目指す人にはもちろんのこと、いろいろな職業につく人にも求められている大切な能力です。科学の内容がわからなければ、解説できないし、内容がわかっても、文章にすることができなければ伝わりません。このセミナーでは、科学のいろいろな分野をとりあげて解説文を書く練習をします。文章添削の他、ショートスピーチを繰り返して、人前で話すことに慣れる訓練もします。

## 総合教育セミナー

「日本文化の生成 異文化の受容とその展開」自国の文化・他国の文化について改めて考えてみよう」

2単位 秋学期

【理】

木下 京子

## 【授業科目の内容】

日本は主に中国や朝鮮半島の文化を摂取し、明治維新後は欧米諸国の影響を強く受け今日に至っています。身近な例を挙げると、「バレンタインデー」のように異なった意味で採択された習慣もあれば、「ラーメン」のように中国からもたらされ独自に発展した食文化もあります。逆に日本の文化や文物が思わぬ形で海外諸国にも受容されていることもあります。そこで本セミナーでは、受講者各自が日本文化において興味ある事項を調査し、諸外国との比較検討を行い、さまざまな角度より考察してもらいます。その成果を授業時に口頭発表し、文章にまとめる練習をします。できればこの機会に、パワーポイントを駆使しての発表を試みてほしいと思います。壮大なテーマではありますが、日本文化を形づくる特性の一片でも見つけることを期待しています。

## 【教科書】

プリントを配布。

## 【参考書】

木下是雄『理科系の作文技術』中央公論新社

## 総合教育セミナー

「現代における言葉のあり方」

2単位 秋学期

【理】

金田一真澄

## 【授業科目の内容】

時代とともに言葉は変わってきました。単に単語レベルだけでなく、音韻論、シンタックス、語用論のレベルでも変わりました。最近の携帯電話を使つてのEメールなど、コミュニケーションの道具によっても変わります。その時代の急激な変化に日本語が追いつかなくなっているように思います。では現代の言葉はどうあるべきか、それを一緒に考えてみたいと思います。

## 【教科書】

なし

## 【参考書】

なし

## 総合教育セミナー

「文字であらわす言葉、音であらわす言葉」

2単位 秋学期

【理】

熊野谷葉子

## 【授業科目の内容】

私たちにとって文字のない生活は考えにくいですが、世界には文字のない言語、近年になって文字表記を導入した言語が沢山ある。文字があくまでも言語表現の一つの手段であることを認識した上で、文字の役割や効果を具体

的に検討する。話し言葉と書き言葉の違い、各種話芸の語り口、メールやチャットの文体、漫画の会話表現、テレビで効果として使われる字幕など様々な観点から、言葉伝える際のイメージの操作に文字はどう関わっているのかを考えたい。

## 【教科書】

指定しない。

## 【参考書】

授業内でテーマに従って指示する。

## 総合教育セミナー

「日本の中の外国文化」

2単位 秋学期

【理】

古賀 義顕

## 【授業科目の内容】

私たちの身のまわりには「外国文化」が溢れています。例えばハリウッド映画、韓国ドラマ、イギリスの絵本等の創作文化や、料理、また外車、洋服などの外国製品などなど。これら「外国文化」なしには日本の衣食住の文化は語れないといってもいいほどです。このセミナーでは外来の様々な要素が、何を背景としてどのように日本の文化に受容（内化）されていったか、またそれが現在どのように機能しているかを具体的な調査をもとに議論し、それと同時に調査やレジュメ作成、口頭発表の方法を模索していきたいと思います。

## 【教科書】

特に指定しません。

## 【参考書】

特に指定しません。必要に応じて文献リストを紹介する予定です。

## 総合教育セミナー

「外国語を学んでみよう、教えてみよう 語学学習法について考える」

2単位 秋学期

【理】

小林 潔

## 【授業科目の内容】

- ・外国語教授法・学習法について解説します。
- ・言語学の初歩にふれます。
- ・自らの外国語学習について自覚的になり、言語に対する感覚を育てることが本セミナーの目標です。

## 【教科書】

- ・小林ミナ『よくわかる教授法 日本語教師・分野別マスターシリーズ』アルク
- ・千野栄一『外国語上達法』（岩波新書 黄版）

## 【参考書】

- ・白井恭弘『外国語学習に成功する人、しない人 第二言語習得論への招待』岩波科学ライブラリー
- ・井上孝夫『世界中の言語を楽しく学ぶ』新潮新書

総合教育セミナー

「ユング心理学の世界に遊ぶ」 2単位 秋学期  
**【理】** 小林 邦夫

**【授業科目の内容】**

近代文明の科学とその知識は、人間の外側へと向かい、多大なる恩恵とそしてその弊害をもたらした。反面、人間の内側へと向かう科学の発展は遅々として進まず、我々は、我々自身のものであるはずの我々の「こころ」について、何も知らないに等しい。C. G. ユングの心理学は、近代合理主義を背景とする科学文明の枠組みから外れた、諸分野を堂々と取り上げ、考察し、そして現代の精神的危機を救済すべき「拠り所」として我々に突き付けている。以下の「授業の計画」を参照。これらの分野は、「非科学を科学する」とも表現できよう。ユング心理学の魅力はまさにそこにこそあり、現代人の抱える諸問題を解明してくれるものなのである。

**【教科書】**

文・大住誠、イラスト・田島薫美『ユング』(FOR BEGINNERSシリーズ65) 現代書館(1236円)

**【参考書】**

アンソニー・ストー編著(山中康裕監修)『エッセンシャル・ユング』創元社(3914円)

総合教育セミナー

「20世紀の美術を考える」 2単位 秋学期  
**【理】** 近藤 幸夫

**【授業科目の内容】**

この授業は、口頭発表やレポートを通じて、20世紀美術および現代美術をみるうえでの知識を身につけます。

具体的には、各自テーマを設定し、それに沿って美術展を見学したり資料を調べるなどして、その結果を口頭発表、ディスカッション、レポートなどで発表します。特に理工学部の学生にとっては、如何に人文分野の資料にアクセスするかということも学びます。

**【教科書】**

ありません。

**【参考書】**

授業で見学した展覧会のカタログなど。

総合教育セミナー

「『小さい』メディアをつくる」 2単位 秋学期  
**【理】** 坂倉 杏介

**【授業科目の内容】**

本講義では、受講者それぞれが自身のテーマに沿ってオリジナルの「小さい」メディアをつくります。「小さい」メディアとは、テレビや雑誌などのマス・メディアと異なり、自分の考えを伝えると同時に相手の意見を引き出し、お互いの関係を変えていく触媒のような働きをするコミュニケーション・ツールを指します。具体的な例としては、フリーペーパー、Webサイト、各種の企

画書、場合によってはある種のカフェや音楽、映像などが挙げられますが、特に形式にとらわれることなく、必要に応じて自分自身で「発明」するものと考えてください。

こうした「小さい」メディアをつくるにあたって、ここでは受講者同士のディスカッションや事例分析から、それぞれ自分らしいコミュニケーション・ツールを考え出すことに力点をおきます。こうした共同作業と制作のプロセスを通じて、通常自分たちが他者で行っているコミュニケーションの形式についての理解を深め、これまでにないものを思考し創造するための基本的なスキルの習得を目指します。

**【教科書】**

特になし。

**【参考書】**

授業中、適宜指示します。

総合教育セミナー

「推理小説論を読む(2)」 2単位 秋学期  
**【理】** 高栞 和巳

**【授業科目の内容】**

「推理小説」とは何なのか？ その実作品にも触れつつ、この奇妙なジャンル「について」書かれたものを読むことを通じて、「推理小説」に固有の問題を理解することを目指します。また、このテーマをめぐって、口頭発表やレポートで自分の見解を明瞭に伝える練習をします。

**【教科書】**

とくにありません。

**【参考書】**

教室で指示します。

総合教育セミナー

「光への招待 - 光の持つ可能性を探る」 2単位 秋学期  
**【理】** 二瓶 栄輔

**【授業科目の内容】**

光は皆さんの周りに満ち溢れています。そして意識する、しないに関わらず、皆さんは光を情報源として巧みに利用しています。しかしみんなが良く利用している光なのに、光って何？と質問されたときに、すぐに答えられるでしょうか。

本セミナーでは、光が持っている性質を解き明かし、さらに、現在の高度情報化社会を支える光技術や、先端医療を支える光技術など、様々な分野で利用されている光技術を理解し、また自分で調査すると共に、実際に光を制御する実験を体験しながら、光の持つ可能性について考えていきたいと思えます。

**【教科書】**

プリント教材

**【参考書】**

授業中に紹介する

総合教育セミナー

「身近な化学を調べよう」

2単位 秋学期

【理】

平林 義彰

【授業科目の内容】

科学文章の特徴は、「事実」と「意見」をはっきり分けて書くことです。実験レポートを書くときにこの書き方の基本をおろそかにしますと、内容の不明瞭なレポートとなり再提出ということになってしまいます。この科学技術文章の書き方が卒業論文や修士論文、ひいては研究論文の書き方の基本となります。

工学における『化学』は、衣料品や医薬品、生活用品、ハイテク製品、住宅関連資材など、我々の身の回りの衣・食・住に関わる材料や製品を作るときの「道具」として考えることができます。

ここでは「ものをつくる」という観点から『化学』をとらえ、高分子化学研究室の見学やガラス細工の実験を体験しながら、実際に見学記や実験レポートを作成し、科学的表現法や科学技術文章の書き方を学びます。また、新聞の科学記事の中から上に述べた「道具」としての『化学』の話題を検索し、それを書いた新聞記者の立場になって発表して、プレゼンテーションの基本的な方法を身に付けることを目標とします。時間割の関係で秋学期に履修できないときは、春学期の総合教育セミナー〔春学期〕平林義彰を履修してください。ほぼ同じ内容で実施する予定です。

【教科書】

必要に応じて講義資料プリントを配布します。

【参考書】

山崎信寿他『科学技術日本語案内 新訂版』慶應義塾大学出版会（2002年）、相吉英太郎編『理工系大学生のための日本語文書知的作成法』（非売品）慶大理工学部（1998年）、木下是雄『理科系の作文技術』中央公論社（1981年）、高木隆司『理科系の論文作法』丸善（1997年）、山口喬『エンジニアの文章読本』培風館（1988年）

総合教育セミナー

「先人を解剖する まねる! むすむ!! 越える!!!」

2単位 秋学期

【理】

村上 康代

【授業科目の内容】

科学、人間、生活、社会などに、広く興味を持っている人や視野を広げたい人向きです。この授業では、各自が興味のある先人（科学者や技術者）の伝記や著書を読み、その人物を解剖します。書籍に書かれたことからは、一種のdataです。課題意識を持って、読めば、dataはより多くのことを語ってくれます。自分で設定したテーマに沿って、調査し、クラスで発表・議論し、レポートにまとめます。自分でテーマを見つけ、筋道を立てて考え、他の人と考えを交換しながらさらに自分の考えを深め、表現できるようになることを目指します。

【教科書】

木下是雄『理科系の作文技術』中公新書（1981年）

【参考書】

荒木晶子、向後千春、筒井洋一『自己表現力の教室 大学で教える「話し方」「書き方」』情報センター出版局（2000年）、村上陽一郎『科学者とは何か』新潮選書（1994年）

その他、授業中に紹介します。



# 学部独自設置授業科目

# 1 文学部

科目名は、ゴシック(太字)部分です。( ) カッコ記号内の文字は、曜日時限や科目名の備考(証明書などには記載されない科目名)です。

## 人類学

「自然の中のヒト：進化と変異」 4単位 通年  
高山 博

### 【授業科目の内容】

ヒト(Homo sapiens)の定義を知っていますか?人類学的定義とは、他にもヒト属、ヒト科、ヒト上科という分類名があって、広義にはすべて「ヒト」または「人類」として使われています。この講義では現生種ヒト(地質学的現世に生存した人類を包括する生物学的分類単位)が、30億年の進化の中で、どのような位置に存在するか、を考えます。原始細胞から無脊椎動物、脊椎動物、哺乳類、霊長類へと進化の流れをたどりながら、ヒトの特長・その起源と進化について、なるべく最新の情報を提供する予定です。

本文冒頭の質問の答えの一つが、「文化」なんです、どのような「文化」がヒトを定義できるのかについては、講義の中で紹介していくつもりです。

### 【教科書】

指定しません。

### 【参考書】

講義内容に近いものとしては、埴原和郎著『人類の起源』講談社、ルーウィンR.著(保志訳)『個々まで分かった人類の進化』てらべいあ、馬場・高山著『人類の起源』集英社イミダスムック

言語(3・4年生用科目名)/言語学(1・2年生用科目名)

「言葉 人間の本質を探る鍵」 4単位 通年  
金田一真澄

### 【授業科目の内容】

言葉とは何かという素朴な疑問から入り、誰もが使う言葉の不思議な魅力に迫ります。まずは、言葉に関心をもってもらうことから授業を始めます。

初めに、言葉について、人はどのように考え、どのようにアプローチしてきたのか、その歴史を振り返ります。言語学の歴史を古代ギリシャから近代まで辿り、言葉に対する人間の飽くなき探究心の歴史を跡づけます。

またその際に、言語と人間との関係を探ります。人間の認知や心理など、どちらかという今まで客観主義の言語学では敬遠されてきた側面に焦点を当て、人間にとって不可欠な存在である言葉の仕組みを明らかにします。関連するテーマとして、意味論、語用論、メタファ論、カテゴリー論などの分野についても触れます。

一方で、日本語表現の文法問題を扱い、自分が毎日何気なく使用している言葉について、その不可思議な性質を再発見します。

毎回、授業の後半30分ほどは、授業で扱ったテーマについて意見交換を行います。

年2回、各6000字のレポートを課題として要求します。

### 【教科書】

ありません。

### 【参考書】

授業の際に必要な応じて挙げます。

## 人文科学特論(哲学)

「レヴィナスを自分のことばで語るために」4単位 通年  
堀江 聡

### 【授業科目の内容】

当代流行のフランス現代思想のなかでも、近年各方面で関心が高まりつつあるレヴィナスの第二の主著を取りあげる。ゼミナール形式で参加者が自発的に意見を述べ合うのを助けるのが私の役目と心得る。最低限の古典的知識は伝えるつもりだが、今年度もどこまで余計な口をはさまないでいられるか自分を試してみたい。

### 【教科書】

エマニュエル・レヴィナス、『存在の彼方へ』合田正人訳講談社学術文庫1380(1999年)

### 【参考書】

レヴィナスの概説書は手軽にかなり多くのものが入手可能です。各自読み進めて下さい。

## 人文科学特論(倫理学古典読書会)

「プラトンと現代 美感的教育論との関連において」  
4単位 通年  
小松 光彦

### 【授業科目の内容】

「人間は言葉の完全な意味で人間であるときにのみ遊ぶのであり、また遊んでいるときにのみ完全に人間である」という、フリードリッヒ・シラーの一見逆説的にも思える命題の根底には、人間の自由が内包する道徳と自然との二元性およびその克服という、古代から現代にまで及び西洋思想史の伝統を貫く問題が横たわっている。本授業では、古典のテキスト(邦訳)の読解を通じて、この遙かな射程をもつ問題を展望しつつ、学生諸君の間に創造力豊かな対話的思考を促すことをねらいとした。

### 【教科書】

シラー著(『人間の美的教育について』石原達二訳、富山房百科文庫11、シラー著『美学芸術論集』(1977年刊)所収)、プラトン著『饗宴』(新潮文庫)、プラトン著『パイドロス』(岩波文庫)

### 【参考書】

プラトン著『ゴルギアス』、『国家(上・下)』(いずれも岩波文庫)

その他必要に応じて指示、もしくはコピーを配布。

## 人文科学特論（倫理学）

「智恵の古典を読む」

4単位 通年  
谷 寿美

## 〔授業科目の内容〕

智恵をめぐる東西の精神性を学びます。東西の各文化圏における古典的名著を、それぞれの成立の背景を学びつつ講読します。

## 〔教科書〕

文献はプリントで配布します。

## 〔参考書〕

授業時に紹介します。

## 人文科学特論（音楽）

「管弦楽法」入門」

4単位 通年  
三宅 幸夫

## 〔授業科目の内容〕

本講義は、18世紀後半に確立された「オーケストラ」の基本構造とその拡大、さまざまな楽器の導入とその効果について、管弦楽曲の名作（オペラやバレエもふくむ）を実例として論じます。われわれは音の「高さ」や「長さ」については敏感ですが、管弦楽法による「音色」の変化については、いささか鈍感なように見受けられます。したがって本講義がオーケストラを楽しむための一助になれば幸いです。

## 〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

## 〔参考書〕

授業時に適宜指示します。

## 人文科学特論（美術）

「日本絵画の見方・学び方」

4単位 通年  
林 温

## 〔授業科目の内容〕

世界の絵画史の中での日本絵画の特質を把握し、作品について多角的に検討し理解を深めるための、基礎的な視点・方法を学ぶ。

## 〔教科書〕

特になし。

## 〔参考書〕

その都度、適宜紹介する。

## 人文科学特論（日本史学）

「『日本霊異記』を読む」

4単位 通年  
三宅 和朗

## 〔授業科目の内容〕

『日本霊異記』は弘仁13年（822年）頃成立したといわれている日本最古の仏教説話集である。同書には因果応報などの仏教説話が3巻116話収められている。『霊異記』はこれまで主として国文学の分野で扱われてきたが、こ

こでは各説話の背景に注目することによって、日本古代史の立場から検討を加えてみたい。そこには奈良時代後半から平安時代初期の社会や人々の様子が浮かび上がってくるはずである。

## 〔教科書〕

多田一臣校注『日本霊異記』上（ちくま学芸文庫1997年）

## 〔参考書〕

授業内で適宜指示する。

## 人文科学特論（東洋史）

「中国における地域研究としての華南」

4単位 通年  
桐本 東太

## 〔授業科目の内容〕

21世紀に入りますます疾走を続ける中国。しかしこの国は決して一枚岩ではない。本講義では中国を地域研究の観点からながめることを目的とし、具体的な地域として華南を指定する。

## 〔教科書〕

なし。

## 〔参考書〕

適宜指示する。

## 人文科学特論（西洋史）

「スポーツから見る近代～現代ヨーロッパ」

4単位 通年  
山道 佳子

## 〔授業科目の内容〕

私たちにとって身近な存在であるスポーツ（特にヨーロッパ・サッカー）を題材として、ヨーロッパの地域文化の特質と、「近代」というものの意味について、歴史的に考察します。文献を読み、議論しながら、身体・ジェンダー・ナショナリズム・メディアといった歴史研究のホットな視点を紹介していきますので、暗記ものではない歴史の面白さを体得してもらいたいと思います。また、ゼミ形式で進めていきますので、レジュメを作成しての報告の仕方、参考文献の探し方、レポートの書き方といった基礎技術を身につけること、ヨーロッパ研究には欠かせない英語文献を読む訓練をすることも（副次的な）目標とします。

\*毎回、報告者・コメンテーター・資料提供者を決め、ゼミ形式で進めていきます。履修者を制限することもありますので、1回目のガイダンスには必ず出席して下さい。

## 〔教科書〕

さしあたってのテキストとして：多木浩二『スポーツを考える - 身体・資本・ナショナリズム』ちくま新書（680円）

## 〔参考書〕

毎回の授業の中で指示します。

## 人文科学特論（西洋史）

4単位 通年  
吉武 憲司

## 【授業科目の内容】

ノルマン人に関する英訳の史料を講読します。史料の背景の知識を得るために、私が担当する『歴史・』を同時に履修することが好ましいです。

## 【教科書】

史料はプリントで配布します。

## 【参考書】

R.H.C.デーヴィス『ノルマン人 その文明学的考察』（刀水書房、1981年）

## 人文科学特論（民族学考古学）

「民族学考古学入門」 4単位 通年  
阿部 祥人 杉本 智俊  
佐藤 孝雄 山口 徹  
安藤 広道

## 【授業科目の内容】

この科目は、考古学及び民族学がどのような関心を持ち、成果を上げてきたのかを簡潔に紹介することを目的としている。文学部史学科民族学考古学専攻の教員5名がそれぞれの専門領域について基礎的な講義を行うので、最終的にはこれらの研究の全体像が大づかみで理解できるようになると期待される。担当は、それぞれ阿部が日本考古学（旧石器時代）、安藤が日本考古学（日吉地域の遺跡）、佐藤が環境考古学、杉本が古代オリエント考古学、山口が民族学である。

## 【教科書】

特に使用しない。

## 【参考書】

講義中に随時指示する。

## 人文科学特論（国文学）

「日本語・日本文芸の諸相」 4単位 通年  
関場 武 岩松研吉郎  
佐藤 道生 川村 晃生  
石川 透 藤原 茂樹  
松村 友視

## 【授業科目の内容】

国文学専攻の専任教員によるオムニバス形式の講義。古事記や風土記・万葉集、伊勢物語・御伽草子・仮名草子、軍記物語・説話集、泉鏡花・宮沢賢治、それに辞典・往来物等を材料として、近現代を含む日本文芸や芸能・ことばについて、各々の立場から考察を行う。文献学的・書誌学的な面からのアプローチがある一方、折口信夫流の民俗学的研究による芸能史・古代学、平安朝日本漢文学を中心とする日中比較文学、さらにはその対策が焦眉の急の環境・景観問題、英和・仏和・日ボ等の外国語対訳辞書編纂の歴史と、その間口は広い。いずれに

しても、日本語・日本文化に対する理解を深め、日本人の心の傾きについて広く深く考察するためのものとなっている。

## 【教科書】

なし。原本やそのコピー、映像資料等を適宜使用。

## 【参考書】

授業時に各講師が適宜紹介する。

## 人文科学特論（中国文学）

「現代中国研究入門」 4単位 通年  
関根 謙

## 【授業科目の内容】

中国の現代文学や映像芸術を通して、中国社会の諸問題を考えていきます。中国の「特殊性」と同時代に生きる我々との「共通性」あるいは「普遍性」などについて、先入観に捉われない討論を目指します。

## 【教科書】

コピーを中心に、その都度指示します。

## 【参考書】

授業時に提示します。授業が始まるまでに、何か中国に関する書物や映画を見ておいてください。

## 人文科学特論（英米文学）

「英米文学・英語学における『帝国』と『戦争』」 4単位 通年  
松田 隆美 河内 恵子  
高橋 勇

## 【授業科目の内容】

みなさんはイギリス文学やアメリカ文学にどのようなイメージを持っているでしょうか。映像化されたものを挙げるだけでも、イギリス文学なら『高慢と偏見』『デイヴィッド・コパーフィールド』『眺めのいい部屋』、アメリカ文学なら『風と共に去りぬ』『華麗なるギャツビー』『スカーレット・レター』など、さまざまな作品がわたしたちの記憶に残っていることが分かります。文学や映画の他、音楽や芸術などの文化的側面でも、イギリスやアメリカは常に視野に入ってくる国ですし、また「英語」という言葉は、長年わたしたちがもっとも親しんできた外国語の一つでもあります。

この講座では、英米文学・英語学の基礎的なことについて、オムニバス形式で授業をすすめます。今年度は「英米文学・英語学における『帝国』と『戦争』」を全体のテーマとし、文学やことばにまつわる文化的な背景をさぐります。古くはローマ帝国から近くはアメリカ「帝国」まで、歴史上多くの超大国が勢威をふるって国家ばかりか文化の方向性をも変えてきました。そしてその過程には必ずといっていいほど戦争が惹き起こされています。こうした国家レベルの問題が文学・言語にどのような影響を及ぼしてきたのか、一緒に学んでいく予定です。

## 【教科書】

なし。

## 【参考書】

授業中に指示します。

人文科学特論（独文学）

「ドイツ学入門

ドイツとドイツ的理論についての基礎知識」

4単位 通年

平田栄一郎

## 【授業科目の内容】

ドイツ語圏に関するあらゆる事象を研究する学問を「ドイツ学Germanistik」といいます。本講義ではこの地域の文化・芸術・メディアの特徴を文献や映像資料などから理解してもらい、ドイツ学への手ほどきをします。春学期はドイツ語圏の歴史や文化や芸術を概論的に紹介します。秋学期は、ドイツの学問世界に顕著な理論や方法論を紹介することで、ドイツ的な理論や概念の特徴に慣れてもらおうと思っています。

## 【参考書】

その都度紹介します。

人文科学特論（仏文学）

「20世紀フランス文学と思想」

4単位 通年

市川 崇

## 【授業科目の内容】

20世紀のフランス文学・思想の中から、主に20年代末から50年代までに活躍した作家、思想家を取り上げ、彼らが対峙していた社会的な、また思想史上の問題について考えたいと思います。

ジャン＝ポール・サルトル、ジョルジュ・バタイユ、モーリス・ブランショらの批評作品を、またその論考の対象となっている文学作品を検討しながら、文学の社会的機能に関する様々な考え方を比較対照することになります。

## 【教科書】

授業時間内にプリントを配布します。

## 【参考書】

「フランス文学講座5・思想」大修館書店、「シチュアシオン」ジャン＝ポール・サルトル全集、人文書院、「文学空間」モーリス・ブランショ、現代思潮社

社会科学特論（図書館・情報学）

「情報社会、知の公共領域、情報アクセス」4単位 通年

原田 隆史

## 【授業科目の内容】

図書館・情報学では、古代の記録から紙、さらに最近の新しい媒体までを含んだ情報メディア、これらの情報メディアに蓄積された情報にアクセスするための情報検索、さらには、情報メディアの収集、提供、保存のための社会的な制度である図書館をはじめとする情報システムなどについて、様々な観点から取り扱っています。この講義では、図書館・情報学分野の基礎的なことながらに

ついて、種々のトピックをとりあげながら紹介していきます。

特に春学期は、図書館のしくみやはたらきを中心に、図書を保存し、貸し出しを行うということ以外に多くの役割を果たしている状況について説明していきます。また秋学期はインターネット上のサーチエンジンなどを題材に情報へのアクセスについて考えます。PCを使って実際に検索を行うだけでなく、効果的な検索を可能にするためには、どのような仕組みが使われているのかについても検討します。

## 【教科書】

特に指定しません。必要に応じて資料プリントを配布します。

## 【参考書】

講義中に適宜紹介します。

社会科学特論（社会学）

「現代社会を読み解く」

4単位 通年

浜 日出夫

## 【授業科目の内容】

「中流崩壊」「パラサイトシングル」「フリーター」「教育格差」「少年犯罪」「テロ」「ナショナリズム」などをキーワードとして現代社会を多角的に読み解く。

## 【教科書】

新書を中心に15冊程度。

自然科学特論（心理学）

「行動を分析する」とは何か」

2単位 春学期

坂上 貴之

## 【授業科目の内容】

個体は行動することによって環境と関わっている。この行動を分析するとは、どんなことをすることだろうか。身近な行動をとりあげ、それを研究していく方法と意義を考える。

## 【教科書】

メイザー『メイザーの学習と行動』二瓶社。その他必要な文献を授業で紹介するので、必要な部分を読んでください。

自然科学特論（心理学）

「実践で学ぶ認知心理学研究法」

2単位 春学期

伊東 裕司

## 【授業科目の内容】

何らかの問題に対して実証的に答えを探す活動＝研究を行うためには、さまざまなスキルが必要とされます。その中には心理学に特有のものもありますが、多くは心理学に限らずさまざまな科学に共通しています。この授業では、実際にいくつかの問題を設定し、解決を目指す活動を行いながら、これらのスキルを身につけることを目的とします。設定する問題としては、人間の認知、特に記憶に関するものを予定していますが、受講者と相談

の上、ある程度の変更は可能です。習得を目指すスキルとしては、問題の定式化、文献の検索・読解、実験計画、データの収集・分析、などがあげられます。これらは短時間で身につくものではありませんが、実践的に役に立つ、何がしかのスキルを習得してもらうことを目指します。また、人間の認知・記憶の不思議さを実感してもらいたいと考えています。

【教科書】

指定しません。

【参考書】

高野陽太郎・岡隆（編）「心理学研究法：心を見つめる科学のまなざし」有斐閣

井上毅・佐藤浩一（編）「日常認知の心理学」北大路書房

市川伸一・伊東裕司（編）「認知心理学を知る」プレーン出版

社会科学特論（教育学）

「人文学的「教養」の歴史社会学」 4単位 通年  
舟山 俊明

【授業科目の内容】

この授業では、教育問題としての「文化・歴史・アイデンティティ」 近現代日本およびドイツにおける「教養」論史を手がかりとして という標題の下に、19世紀後半から20世紀末にかけての人文科学（歴史的精神諸科学）と教養＝人間形成との関係をめぐるさまざまな理論的営為を、「教育」という視座から読み直すことを目的としています。周知のように、19世紀後半から急速に興隆をみた自然科学／技術にたいして、もうひとつ知の半球をなす非自然科学分野すなわち人文科学の自律性や固有性をめぐって今日まで多くの様々な議論が展開されてきています。したがってこの講義では、そうした議論の展開を追いながら、そこに内在する人間形成上の意義を取り出し吟味することで、いわゆるポスト・モダン的な思想の影響にさらされ、崩壊の危機に陥っている近現代教育理論の脱構築への手がかりを考えてみることにしたいと考えています。

【教科書】

使用しない。

【参考書】

適宜指示するか、授業担当者がコピーを配布する。

社会科学特論（人間科学）

社会科学特論（人間科学）

「医療文化論」 各2単位 秋学期  
北中 淳子

社会科学特論 ・ は、同一内容で授業を行いますので、  
・ を共に履修することはできません。

【授業科目の内容】

現代社会では、健康や病が人々の重要な関心事になっている。この科目では、特に日本社会での医療文化の多様性について、またその中で形作られる人々の病いの経

験を、多角的な視点から考える。授業は、グループワークを中心に行う。特に、こころの病、摂食障害と美のイメージ、生殖医療、遺伝子治療、脳死問題、尊厳死といった個別のテーマを毎回とりあげ、自分たちで新聞記事・雑誌・論文・本などを用いてリサーチを行う。その結果をディベート形式で議論しあうことで、現代社会と医療に潜む問題点等について考え、自分なりの視点を養うことを目指す。

【教科書】

医療人類学研究会編『文化現象としての医療：「医と時代」を読み解くキーワード集』メディカ出版（1992年）

【参考書】

アーサー・クライマン『病いの語り：慢性の病いをめぐる臨床人類学』（江口重幸、五木田紳、上野豪志訳）誠信書房（1996年）

基礎情報処理（A）～（ ）

2単位 春学期／秋学期

（A）～（C）色川 進

（D）～（E）井垣 竹晴

（F）宮本 忠

（G）～（H）名倉 正剛

（ ）井垣 竹晴

【授業科目の内容】

コンピュータや各種アプリケーションの使い方を学びながら、情報を処理する際に必要な「考え方」やネットワークを介したコミュニケーションを行う際に必要な「倫理」について解説します。コンピュータを利用して情報を扱う基礎知識を身につけ、大学での活動や今後の社会生活に役立たせることを目的としています。

辞書の世界（辞書・事典・万華鏡）

「辞書・事典万華鏡」

2単位 春学期

関場 武 西村 太良

喜田 浩平 野村 伸一

山下 輝彦 坂田 幸子

住吉 朋彦 吉田 恭子

田村 俊作 平田栄一郎

ジョエ・イニャツィオ 他

【授業科目の内容】

辞書・事典はその時々のことばや文化を如実に写す鏡であり、また言葉や事柄の意味・用法を教えてくれる規範性を持った鑑である。今回、文学部の学生諸君を対象にオムニバス形式で行うこの講座は、語学辞書を中心に、文化史や藝術等の面を含めて、辞書編纂の歴史や内容を眺めようとするもので、各国語や情報処理のスペシャリスト、書誌学者、辞書史研究者らがガイド役を務める。印刷された書物形式のものが中心となるが、電子辞書・シソーラス等も取上げる。本講座を聴き、奥行きが深く幅も広い辞書の世界を知り、辞書・事典に親しみ有効に使いこなせるようになってほしい。

## 〔教科書〕

なし。コピー、映像等を適宜使用する。

## 〔参考書〕

各講師が授業時に紹介する。

## 書物の世界（書誌学の愉しみ）

「書誌学の愉しみ」

2単位 秋学期

関場 武	川上新一郎
長谷部史彦	佐々木孝浩
白崎 容子	佐藤 道生
斎藤 太郎	高橋 智
村上 達朗	松田 隆美
武藤 康史	田村 俊作 他

## 〔授業科目の内容〕

書物の世界は奥が深く幅も広い。日吉には生協以外にも、売り場面積の広い書店がキャンパスの近くにあるが、書棚や平台に、華やかな装丁の書物が次々と並べられている。実に夥しい数である。これを見る限り、近年しばしば言われる活字離れ等は何処吹く風である。しかし、書物は見てくれ・装丁も大事だが、その内容がより大切である。別段どの本が高級でどれが俗悪というわけではないが、如何なものかという感を禁じ得ない。いずれにしてもその書物の世界は、流通も含め色々な面で確実に変化して来ている。すぐに店頭から姿を消し、少し経ってから購入しようとしても、出来なくなってしまう本も多い。本年度は、日頃書物に慣れ親しんでいる手だれ達が、それぞれの立場でその現状や制作・出版の歴史、行く末、書物や作家の売り出し方、研究方法等について蘊蓄を傾ける予定である。

## 〔教科書〕

なし。原本やコピー、映像資料等を適宜使用する。

## 〔参考書〕

授業時に各講師が適宜紹介する。

## 朝鮮文化・文学の歴史

4単位 通年

野村 伸一（春担当）

李泰文・崔在佑（秋担当）

## 〔授業科目の内容〕

朝鮮民族の文化と文学を歴史のなかで考える授業です。

前期は前近代に成立した伝統文化という枠組のなかで考えます。取り上げるものは、まつりと農楽、仮面戯、人形戯、パンソリ、仏教文化と儒教文化などです。これらは朝鮮民族の生活と密着したもので、価値観、宗教の土台となっています。なるべく、写真や映像を提示してともに考えるようにします。

後期は、文学とのかかわりのなかで文化の諸相を取り上げます。西欧列強との葛藤、新興日本帝国による侵略といった難しい状況下、人びとの文化的な営みはどのような状況に置かれたのか、知識人の模索した近代はどのような作品を生み出したのかを提示します。

## 〔教科書〕

毎回プリントを配布。

## 〔参考書〕

講義時にプリントで提示。そのほか、ウェブサイト <http://www.flet.keio.ac.jp/shnomura/>（慶應義塾大学アジア基層文化研究会）に掲載されたものを参照のこと。

## 2 経済学部

### 基礎教育科目

#### 微分積分

「経済学を学ぶための基礎となる微分積分」

2単位 春学期

厚地 淳	池田 薫
桂田 昌紀	小林 正史
佐古 彰史	鈴木 達夫
竹中 淑子	戸瀬 信之
西岡久美子	船越 正太
宮崎 直哉	

#### 〔授業科目の内容〕

この講義は1年生（履修タイプ ）の学生のためにある。微分積分は経済学を学ぶ上で必須の知識といえる。特に2年生の必修科目のミクロ経済学初級、 を学ぶ際に必要となってくる。高校における数学 の微分積分の内容をうけつぎ、1変数関数の微分積分、多変数関数の微分について講義する。

##### 1. 初等関数

連続関数、指数関数、対数関数、三角関数

##### 2. 微分法

微分係数、導関数とその公式、合成関数の微分、Taylorの定理

##### 3. 多変数関数の微分

偏微分、空間曲面の接平面の方程式、全微分、極大（小）条件付き極大（小）

学生諸君に望まれるのは自主的にたくさんの演習を解くことである。地道なトレーニングをしないですむ学問はないはずである。

#### 関連科目について

この講義の内容を、問題演習を通じてより実際的なものとし、応用力をつける目的で「微分積分演習」という科目が準備されている。また本講義は、「微分積分」という科目名であるが、積分に関して教える余裕がないのが実状である。高校2年生までの積分では2次関数までの積分しか学んでいないので、2年生での必修科目である「統計学、」を学ぶ上で支障が生じる。そこで、春学期、秋学期に総合教育科目「積分入門」（2単位科目）を開講している。できる限りこれを履修するのが望ましい。1年生は「微分積分」を学んだ後、秋学期に学ぶのがいいだろう。2年生は、統計を学びながら春学期に履修するのがいいだろう。2年生になったら、この講義の続きの内容は「経済数学、」（旧学則では経済数学 A、経済数学 B、経済数学 ）で学ぶことになる。履修タイプ の学生は、これら2年生の専門科目受講のためにも1年生の間に「微分積分」を合格することが望ましい。

#### 〔教科書〕

授業中に指定する。

#### 〔参考書〕

授業中に指示する。

#### 線形代数

「経済学を学ぶための基礎となる線形代数」

2単位 秋学期

厚地 淳	池田 薫
桂田 昌紀	小林 正史
佐古 彰史	鈴木 達夫
竹中 淑子	戸瀬 信之
西岡久美子	船越 正太
宮崎 直哉	

#### 〔授業科目の内容〕

この講義は1年生の履修タイプ 及び履修タイプ のためにある。線形代数は、高校数学のベクトル演算をうけつぐもので、微分積分とともに、大学での基礎数学の2大分野を構成する。単純に言えば、ベクトルと行列の数学が線形代数である（数学Cを高校で履修した諸君はすでに行列も学んだかもしれない）。多変数の極値問題を考えるときなど高度な微分積分とも密接に関連する。2年時に開講の「経済数学、」（旧学則では経済数学 A、経済数学 B、経済数学 ）を学ぶ際に必要となってくることに注意しよう。経済学では、計量経済学などで用いる高度な相関解析を学ぶのに行列を知らないと困難に感じることになるだろう。

##### 1. 行列（行列の演算）

2. 行列式（行列式の性質、余因子展開、逆行列、クラメル公式）

3. 連立一次方程式（はき出し法、逆行列）

4. 固有値、固有ベクトル、内積

学生諸君に望まれるのは自主的にたくさんの演習を解くことである。地道なトレーニングをしないですむ学問はないはずである。

#### 履修者タイプ の学生（1年、2年）に対する注意

まずタイプ の学生諸君のため、特別なクラス（線形代数（タイプ ））を用意していることに注意しよう。時間割の都合で必要ならば、タイプ の線形代数を履修してもよい。

2年で「経済数学、」（旧学則では経済数学 A、経済数学 B、経済数学 ）を履修しようと考えている学生はこの科目を履修しておくことが望ましい。

履修タイプ の学生にとって、この科目は必修科目でも選択必修科目でもないが、履修し合格すると基礎教育科目として卒業単位に算入される。

#### 関連科目について

この講義の内容を、問題演習を通じてより実際的なものとし、応用力をつける目的で、「線形代数演習」という科目が準備されている。さらに上でも述べたが、線形代数は計量経済学などで実証的なデータ分析を用いる場

合に必要となる。多変量解析の入門としても総合教育科目「データ解析入門、」が開講されている。2年生で学ぶ統計学の入門としても役にたつであろう。2年生は総合教育科目「データ解析、」の履修も考えるといいだろう。2年生になったら、この講義の続きの内容は「経済数学、」（旧学則では経済数学 A、経済数学 B、経済数学）で学ぶことになる。

#### 〔教科書〕

授業中に指定する。

#### 〔参考書〕

授業中に指示する。

### 線形代数 (タイプ )

「行列、行列式入門」 2単位 春学期 / 秋学期  
竹中 淑子

#### 〔授業科目の内容〕

履修タイプ の学ぶ「線形代数」の範囲より抽象的な線形空間、線形写像の部分を除き、2年生の「経済数学、」（旧学則では経済数学 A、経済数学 B、経済数学）に対応できるように、特に行列、行列式のあたりを重点的に学ぶ。n変数でおこなう演習を多くする。

#### 〔教科書〕

竹中淑子著『線形代数学 (n次元の線形代数)』培風館

### 微分積分演習

「微分積分をよりよく理解し、使えるようになるための演習」 1単位 春学期

厚地 淳	池田 薫
桂田 昌紀	小林 正史
佐古 彰史	鈴木 達夫
竹中 淑子	戸瀬 信之
西岡久美子	船越 正太
宮崎 直哉	

#### 〔授業科目の内容〕

講義科目「微分積分」では主に理論を解説することに多くの時間が割かれるが、この「微分積分演習」においては、授業時間中に多くの問題演習を行い、解答の解説や類題の演習などを中心に、講義の内容に対する実際的な運用能力を高めることを主眼とする。従って先行する講義内容の大まかな理解が前提となるが、講義だけでは理解がどうもおぼつかないという人にとっても、この「微分積分演習」の受講は極めて有益であろう。

微分積分の学習においては、数多くの演習問題を解くことで、理論への理解が深まると同時に実際的な応用の力が練磨され、ますます学習することの面白味が感じられるようになる。ところが、初めて大学の微分積分を学ぼうとする人にとって、テキストにある多くの問題を前に、どこから手をつけて良いのかわからず、途方に暮れてしまうといった体験をする人が少なからずいることも事実である。そこでこの科目では、先行する講義内容を

振り返ることから始めて、微分積分の問題を解くための初歩的・具体的な手ほどきを行い、受講者自らが手を動かして問題を解決する体験を積み重ねることにより、微分積分が「わかった」と感じられる瞬間が出来るだけ多く持てるよう授業を展開する。さらに、こうしたプロセスを積み重ね、ある程度実力がついてきた段階で、より難易度の高い問題にアプローチするとともに、講義で扱われた内容を発展させた題材について、演習の形を通して学ぶ機会を設けたい。

この科目を通じて微分積分の理論および応用に習熟することは、その後の経済学部における専門科目などの学習において、極めて大きな糧となることだろう。

#### 〔教科書〕

原則として「微分積分」と同じ。

#### 〔参考書〕

原則として「微分積分」と同じ。

### 線形代数演習

「線形代数をよりよく理解し、使えるようになるための演習」 1単位 秋学期

厚地 淳	池田 薫
桂田 昌紀	小林 正史
佐古 彰史	鈴木 達夫
竹中 淑子	戸瀬 信之
西岡久美子	船越 正太
宮崎 直哉	

#### 〔授業科目の内容〕

この科目は「微分積分演習」と対を成すものである。講義科目「線形代数」では、主に理論を解説することに多くの時間が費やされるが、この「線形代数演習」においても、「微分積分演習」と同様、授業時間中に多くの問題演習を行い、解答の解説や類題の演習などを中心に、講義の内容に対する実際的な運用能力を高めることを主眼とする。先行する講義内容の大まかな理解は前提となるが、講義だけでは理解がどうもおぼつかないという人にとっても、この「線形代数演習」の受講はやはり極めて有益であろう。

微分積分に比べて、線形代数の内容はどちらかというところ易しく思われ、演習の必要性を感じない人も多いかも。また、行列の変形の計算や連立一次方程式を解くことなどは単調に思われ、実際に自分で手を動かしてみようと思わぬ人も居ることだろう。この科目ではそういった人たちにも線形代数の問題を解くことに面白味が感じられるよう配慮し、問題演習を行いつつ自然に線形代数の理論が体得出来るよう、授業を展開する。さらに、実力がある程度ついてきた段階で、より難易度の高い問題にアプローチする機会を設けるとともに、講義で扱われた内容を発展させた題材について、演習の形を通して学ぶ機会を設けることは「微分積分演習」と同様である。

この科目を通じて、線形代数の理論および応用に習熟することは、その後の経済学部における専門科目などの学習において、極めて大きな糧となることだろう。

## 【教科書】

原則として「線形代数」と同じ。

## 【参考書】

原則として「線形代数」と同じ。

数学概論 2単位 春学期  
光 道隆

## 【授業科目の内容】

経済の成長や市場メカニズムなどの、経済の基本的な事項を記述するのに、数学が用いられている。そのため、経済学を理解するのに、数学、特に微分積分の考え方が必要になってくる。数学概論 では高校ではあまり数学を勉強してこなかった学生諸君を対象にして、マクロ、ミクロ経済学で必要になる数学を準備する。

数学概論 では高校の復習をしながら1変数の関数の微分について学ぶ。

## 【教科書】

講義の冒頭で指定する。

## 【参考書】

須田宏『初学者のための微分積分入門』培風館、  
河添健『大学で学ぶ数学』慶應義塾大学出版会、  
戸瀬信之『経済学のための微分積分』エコノミスト社

数学概論 2単位 秋学期  
光 道隆

## 【授業科目の内容】

数学概論 で扱った1変数の関数 $f(x)$ は変数 $x$ の値が決まると1つの値 $f(x)$ が決まるような関数であった。しかし、実際の現象では1つの要因によって決まるということは珍しく、2つ以上の要因によって値が決まることが多い。そこで、数学概論 ではマクロ、ミクロ経済学で必要になる多変数の関数の微分について学ぶ。

## 【教科書】

講義の冒頭で指定する。

## 【参考書】

須田宏『初学者のための微分積分入門』培風館、  
河添健『大学で学ぶ数学』慶應義塾大学出版会、  
戸瀬信之『経済学のための微分積分』エコノミスト社

世界経済の現状と問題  
「日本の通商政策入門」 2単位 春学期  
馬田 啓一

## 【授業科目の内容】

本講義では、最新かつ重要な世界経済の諸問題を平易に解説します。講義を通じて、世界経済の実際の展開に対する学生諸君の関心と理解を大いに高めたいと思う。このため、単なる基礎的な経済理論の説明にとどまらず、いま論議を呼んでいる世界経済のトピックス、例えば、貿易摩擦、海外直接投資、通貨危機、WTO交渉、地域統合の動きなどをできるだけ講義のテーマに取り上げ

て、わかり易く解説していく方針です。

## 【教科書】

青木健/馬田啓一編著『日本の通商政策入門』東洋経済新報社(2002年 2800円)

なお、毎回、簡単なレジュメを配布します。

## 【参考書】

青木健/馬田啓一編著『提言/日本の対アジア経済政策』日本評論社(2004年 2800円)

池間誠/大田道広編著『国際日本経済論』文眞堂(2002年 2800円)

青木健/馬田啓一編著『経済検証/グローバルイゼーション』文眞堂(2001年 3300円)

青木健/馬田啓一編著『ポスト通貨危機の経済学』勁草書房(2000年 3800円)

青木健/馬田啓一編著『地域統合の経済学』勁草書房(1999年 2900円)

青木健/馬田啓一編著『WTOとアジアの経済発展』東洋経済新報社(1998年 2800円)

青木健/馬田啓一編著『日本企業と直接投資』勁草書房(1997年 3200円)

青木健/馬田啓一編著『日米経済関係』勁草書房(1996年 3000円)

白石孝/馬田啓一編著『為替レートと日本経済』東洋経済新報社(1996年 2700円)

世界経済の現状と問題 2単位 秋学期  
竹森 俊平

## 【授業科目の内容】

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。

経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必要であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。

## 【教科書】

竹森俊平著『世界経済の謎』東洋経済新報社

日本経済の現状と問題  
「戦後から今日の日本経済の動き」 2単位 春学期/秋学期  
大村 達弥 島田 晴雄

## 【授業科目の内容】

このコースは、初めて経済学を学ぼうとする一年生を対象に、日本経済の実態を経済データや経済理論を用いて解説することである。特に、戦後の復興、高度成長、二度にわたる石油危機、プラザ合意とバブル経済、平成不況、金融危機といった、戦後から今日に至る日本の経済の動きを歴史的に勉強する。その中では、どのような要因によって日本経済が動いているのか、それぞれの時期でどのような経済政策(財政・金融政策)が採られ、

その効果はどのようであったのかを解説する。「世界経済の現状と問題」と合わせて履修し、経済を学ぶことへの知識と興味を持つことを期待したい。

具体的な講義内容と講義の編成は、講義担当者によって異なる。

主な講義内容：

経済と経済学をいかに学ぶか

- 1 経済現象をいかに理解するか
- 2 経済データの読み方
- 3 経済理論の意義と実証分析の方法

世界における日本経済

- 1 世界における日本経済の大きさ
- 2 さまざまな経済システムと日本経済
- 3 国際協力と日本経済

日本経済の発展と変動

- 1 日本経済発展の軌跡
- 2 日本経済発展のメカニズム
- 3 日本経済の景気変動と経済政策

日本経済の構造変化と政策課題

- 1 日本経済社会の構造変化と経済・社会政策
- 2 日本の行政システムと政策決定
- 3 日本経済の政策課題

【教科書】

各担当者が指定する。

# 情報処理履修上の注意事項

## 履修にあたっての学則上の制約などについて

1. 卒業するためには「情報処理 」「情報処理 」「情報処理 」「情報処理 」のいずれか1科目2単位を履修し、合格しなければなりません。
2. ただ、これは一科目のみしか履修できないことを意味するわけではなく、複数の情報処理科目を履修することができます。
3. また違うサブタイトルのものであれば同一名称の科目であっても履修することが可能です。たとえば同じ「情報処理 」、であってもサブタイトルの違う「C言語プログラミング 」と「WWWによる情報発信とサービス提供 」の両方を履修できます。(もちろん履修単位上限の範囲を超えて履修はできません。)
4. ただし同一名称の情報処理科目を複数履修する場合、2科目めからは自由科目として履修します。進級や卒業要件として算入される単位数には制約がありますので、注意してください。

### 進級単位

第2・3学年に設定されている基礎教育科目の進級条件には、「情報処理 」「情報処理 」「情報処理 」「情報処理 」2単位までが含まれます。

### 卒業要件

- a. 違うサブタイトルの同一科目(「情報処理 」「情報処理 」「情報処理 」「情報処理 」)を複数履修した場合は、2科目めからは自由科目としての履修となり、卒業要件には含まれません。
- b. 「情報処理 」「情報処理 」の片方だけを履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目として卒業要件に認定されます。
- c. 「情報処理 」「情報処理 」の両方を履修し合格した場合、1科目2単位分が基礎教育科目に、残りの2単位分は卒業単位認定科目として認定されます。
- d. 「情報処理 」は履修し合格すると1科目2単位分が基礎教育科目の選択科目として卒業単位認定科目に認定されます。

## どのような科目を履修すればよいか

経済学部において「情報処理」は基礎教育科目として位置づけられています。今後、諸君が経済学部で必要となるようなさまざまな情報処理の知識を修得することを目的としています。もちろん必要最低限の知識を修得するだけでなく、さらに高度な知識を得られるような科目も用意されています。

諸君は、自らの興味と必要を満たすためにどの科目を受講すべきかを考えて、履修科目を決めましょう。

ただし、科目によっては、ある程度の知識を前提として必要とするものがあります。何も無い状態で教室に来てすべてがわかるほど学問というものはいません。それは段階を追って必要な科目を履修することによって(もしくは自分で知識を得ることによって)得られるものです。たとえばある科目を履修したいと思ったならば、その科目を履修するために必要な知識は何かを見極め、それを得るために必要な科目を履修したのちに自分がターゲットとする科目を履修する、という**履修プラン**をたてましょう。

各科目を履修するために必要な知識については、各科目の講義要綱に記載されています。また科目によっては、はっきりとある科目の履修を前提としている場合もあります。これらについても講義要綱に記載されています。まず、講義要綱を熟読することが大事です。(以下にも表としてまとめられていますが、これはあくまでサマリーです。詳細については講義要綱を見てください。)

過去、時間割の「選択必修科目」という項目だけを見て、わけもわからず高度な内容の講義の教室に学生が多数殺到するという情けない状況が見られました。自分のレベルはどの程度なのか、そして、自分がどういった知識を身につけたいのか、をきちんと把握してから、科目を選択しましょう。

まずレベルについてですが、ただし初心者であればあるほど、自分のレベルは見極めにくいものです。だいたい次の表を目安としてください。

レベル	科目
まったくさわったことがない	情報処理 (Windows入門)
パソコンを使ったことがあるけれども ・ゲームで遊ぶだけ ・ホームページ*を見る程度	
Windowsパソコンで ・Eメールの文章の編集・送受信 ・WWWページを見る ・ワープロでの文章作成 をやったことがある	・情報処理 (Windows入門 既習者) ・情報処理 (UNIX入門) ・情報処理 の各科目

\* ) ちなみに世間一般に「ホームページ」と呼ばれているので、わかりやすくするためにこう書きましたが、これは誤用です。

次に前提とする知識ですが、どの科目をあらかじめ履修すべきかは各科目の講義要綱に記されています。また、必ずしも前提条件というわけではありませんが、関連する知識を提供する科目であるため、履修しておく、別の科目の理解が容易になる、という科目もあります。これらをまとめておきます。

科目名	前提となる科目	関連する知識を提供する科目
情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)		情報処理 (UNIX入門)
情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)	情報処理 (WWWによる情報発信とサービス提供)	情報処理 (UNIX入門) 情報処理 (C言語プログラミング) 情報処理 (fortran言語による統計データ処理)
情報処理 (C言語プログラミング)		情報処理 (UNIX入門)
情報処理 (C言語プログラミング)	情報処理 (C言語プログラミング)	
情報処理 (fortran言語による統計データ処理)	統計学 (並行して履修すること)	
情報処理 (fortran言語による統計データ処理)	情報処理 (fortran言語による統計データ処理) 統計学 統計学 (並行して履修すること)	
情報処理 (Excelによる統計データ処理)	情報処理 (Windows入門) (もしくはそれ相当の知識) 統計学 / (並行して履修すること)	

以上の表と各講義の講義要綱をよく読んで、情報処理科目の履修プランをたてた上で、今年度の履修科目を決めましょう。

## 履修制限について

情報処理の各科目は講義とともにPCを使った演習を伴うため、配当された教室の定員が履修者数の上限となります。したがって、履修希望者が教室の定員を超えた場合、履修制限を実施することになります。

### 事前登録

1. クラス指定がある科目(情報処理 (Windows入門))については、定員を超えることはありませんが、クラス指定のない科目(情報処理 (UNIX入門) 情報処理 (Windows入門 既習者)、情報処理、情報処理)で履修希望者が定員を超えた場合には事前登録に基づいた履修制限を行います。
2. 事前登録は、各科目の第1回目の講義(科目ガイダンス週間)の際に行いますので、履修希望者は必ず出席するようにしてください。なお、事前登録をし、履修を許可された者は必ず履修申告しなければなりません。
3. 履修制限を行う場合、この事前登録を行ったものを優先的に扱うこととなります。(ただし事前登録者数が教室定員を超えてしまった場合には、事前登録者の中から抽籤を行うこととなりますので、事前登録者が必ず履修できるわけではないことをご承知おきください。)

---

 情報処理 (Windows入門)

 2単位 春学期 / 秋学期  
 コーディネーター 赤林 由雄 他
 

---

## 【授業科目の内容】

諸君が大学において研究を進めていくにあたっては、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。たとえばさまざまな統計からデータを引っ張ってきたり、さまざまな情報を収集・検索したり、計算をしたり、グラフを描いたり、文献の整理をしたり、大量の文章を書いたり、編集したりする必要がでてくるだろう。しかし扱うべき情報が膨大な場合、できるだけ効率よくおこなっていかなければ、時間はいくらあってもたりなくなる。手と電卓と鉛筆と定規と紙のカードだけで対処しようとしたら日が暮れてしまう。コンピュータはそのような情報処理をおこなうための強力なツールの一つである。

経済学部における経済学・統計学・数学・専門科目などの講義においてもこれらのツールを活用することが求められることは言うまでもない。

また研究の過程において、ネットワークを通じたさまざまな形での情報の受発信をしなければならない局面が発生する。ここで諸君はネットワークを介して（極端に言えば）全世界と対峙することになるわけだが、さまざまな危険から我が身を守らなければならなくなることは覚悟しなければならない。と同時に自らが無意識のうちに加害者とならないように常に心がける必要もあるのである。

経済学部の情報処理科目は、今後、諸君が経済学部で研究や情報の受発信をするために必要となるようさまざまな情報処理の知識を修得することを目的として設置されている。

その情報処理科目において、この「情報処理」は、**コンピュータをまったく扱ったことがない者を対象**として、コンピュータを使った情報処理の第一歩、すなわちWindows搭載のパーソナル・コンピュータ上での文書処理（作成・編集・加工など）・データ処理（計算・グラフの作成など）・情報の受発信（Eメール・WWWなど）の方法を講義し、演習を行う予定である。また、それと同時に、ネットワーク社会の中で自らを守り、加害者にならないための基礎知識も身につけてもらうことになる。

## 【教科書】

最初の講義で指示する。

## 【参考書】

最初の講義で指示する。

---

## 情報処理 (Windows入門 既習者用)

 2単位 春学期  
 赤林 由雄
 

---

## 【授業科目の内容】

諸君が大学において研究を進めていくにあたっては、

さまざまな形の情報を処理していかなければならない。たとえばさまざまな統計からデータを引っ張ってきたり、さまざまな情報を収集・検索したり、計算をしたり、グラフを描いたり、文献の整理をしたり、大量の文章を書いたり、編集したりする必要がでてくるだろう。しかし扱うべき情報が膨大な場合、できるだけ効率よくおこなっていかなければ、時間はいくらあってもたりなくなる。手と電卓と鉛筆と定規と紙のカードだけで対処しようとしたら日が暮れてしまう。コンピュータはそのような情報処理をおこなうための強力なツールの一つである。

経済学部における経済学・統計学・数学・専門科目などの講義においてもこれらのツールを活用することが求められることは言うまでもない。

また研究の過程において、ネットワークを通じたさまざまな形での情報の受発信をしなければならない局面が発生する。ここで諸君はネットワークを介して（極端に言えば）全世界と対峙することになるわけだが、さまざまな危険から我が身を守らなければならなくなることは覚悟しなければならない。と同時に自らが無意識のうちに加害者とならないように常に心がける必要もあるのである。

経済学部の情報処理科目は、今後、諸君が経済学部で研究や情報の受発信をするために必要となるようさまざまな情報処理の知識を修得することを目的として設置されている。

その情報処理科目において、この「情報処理」は、**コンピュータをまったく扱ったことがない者を対象**として、コンピュータを使った情報処理の第一歩、すなわちWindows搭載のパーソナル・コンピュータ上での文書処理（作成・編集・加工など）・データ処理（計算・グラフの作成など）・情報の受発信（Eメール・WWWなど）の方法を講義し、演習を行う予定である。また、それと同時にネットワーク社会の中で自らを守り、加害者にならないための基礎知識も身につけてもらうことになる。

と、ここまで読んだ範囲では、この講義が他の情報処理（Windows入門）とほとんど変わらないように思えるだろう。しかし、他の「情報処理（Windows入門）」が手取り足取り教えてもらいたいようなまったくの初心者を対象としているのに対し、この授業では少し違う層を想定している。

もう既に若干の経験があつて、電源の入れ方・マウスの使い方から教えるようなまったくの初心者を対象とする情報処理では物足りない。かといってバリバリC言語やらfortranやらでプログラミングをいきなりやるのは辛い。もしくは、まったくの初心者ではあるが、短期間にバリバリ使えるようになりたい。私の担当するこの情報処理は、そういった学生を想定して、他の授業より少し（かなり？）ハードに、かついろいろなことやってみたいと思っている。

他の授業でも「使える」ようになることを目指すことは言うまでもない。しかし**本当に使える**ようになるのは実はそう容易なことではない。この講義が行われるのは

あくまで大学である。街のいわゆる「パソコンスクール」のようにインストラクターがマンツーマンについて手取り足取り教えたりはしない。半期のたった12～13回しかない講義で諸君はさまざまなことを修得しなければならないのである。もちろんソフトのすべての機能について講義の時間内に触れるわけにはいかないのだ。

そのような制約の下で「使える」ようになるために、この授業ではどうするのか。もちろん授業中には概略を説明するだけである。あとは各自で参考書を読みながら自分で考え、悩み、苦しみながら大量の演習を授業時間外にこなしてもらうことになる。また、そういうプロセスを経なければまともに使えるようにはならないというのが永年にわたる経験の示すところである。くどいようだが、ここは大学であり、諸君は大学生である。教えてもらわなければわからないとか、習った範囲以外の演習はこなせない、というのではあまりにも情けない。示唆をうけたら自分で調べてやってみる。いろいろ自分なりに工夫してみる。これが使えるようになる唯一無二の道である。

過去数年にわたって私の授業は学生からはきびしいという評価を受けてきている。それは簡単にはできない課題が毎回のように出される（と学生は感じるらしい。実は3回に2回の割合なのだが）からである。しかし簡単に答えがでるようなものやってみたところで「使える」ようにはならないし、つまらないだけである。自分の頭で考えぬき、試行錯誤を繰り返したうえでクリアできてこそおもしろいのではないかと私は信じている。そしてそれらの課題はあとあと必ず直面するような問題に役立つものを厳選してある。諸君を虐めるために無駄にきびしくしているわけではない。

しかしながらこのやり方になじむ学生はそう多くない。だが受講してみても本当に使えるようになったという学生も少なからずいることも確かである。一応この講義の位置づけとしては、パーソナル・コンピュータを使用した経験のある学生が主な対象ということになっているが、私の心づもりとしては、まったくの初心者でもわかるような、しかしかなりハードな授業という位置づけである（初心者が受講するにはかなりの覚悟が必要であるが）。もちろん経験者にとってもよい復習となるだけでなく、新たな技巧や知識の修得の機会となるだろう。

とはいうものの、やることはWordやExcelを使ったものに限られるわけであるし、初心者の少し上をターゲットとした講義であるから、WordとExcelについてある程度の知識がある学生にとっては既知のことばかり教えられることになる可能性がある。それがいやな学生は別の情報処理科目を履修すべきだろう。

#### 【教科書】

最初の講義で指示する。

#### 【参考書】

最初の講義で指示する。

---

情報処理 (UNIX入門) 2単位 春学期/秋学期  
北川 尚 丸山 文綱

---

#### 【授業科目の内容】

この授業では、通常のパソコン（WindowsまたはMacintosh）しか扱ったことのない学生を対象にして、コマンドラインからコンピュータを操作する方法を、ワークステーションを通じて学びます。ワークステーションのオペレーティングシステムの1つであるUNIXの基礎を学び、簡単なアプリケーションの利用を紹介します。Windows等のウィンドウシステムを通さない、従来の基本的なコンピュータの操作方法を会得することによって、コンピュータの理解が進むでしょう。また、プログラミング言語を用いたアプリケーションの開発・拡張が容易になるでしょう。

パーソナルコンピュータは、構成や仕組みを知らなくてもひととおり「道具」として使えるようになっています。そして多くの人が仕組みを知らずに便利な道具として使っています。

しかし、自分で新しい作業を始めようと思ったり、トラブルに自分で対処しなければならなくなったり、トラブル防止のために保守作業を自分でするためには、コンピュータの仕組みについての基本的な知識が必要になります。

WindowsでもMacintoshでも、オペレーティングシステムやアプリケーションは、UNIX等の、コマンドラインから命令を与えて処理をする、という環境がもたっています。

したがって、コンピュータ本来の扱いを、UNIXを通してひととおり体験しておくことは、コンピュータの理解、さらにはコンピュータを使って自ら新しい処理作業に取り掛かる際の助けになるでしょう。

---

情報処理 (Excelによる統計データ処理)

2単位 秋学期  
赤林 由雄

---

#### 【授業科目の内容】

諸君には「統計学」が必修科目として課せられている。経済を分析するためには統計学の知識は不可欠だと考えられているからである。（経済現象だけではなく、さまざまな現象を計量的に分析しようとするための作法として統計学は必須の知識である。）

ところが統計学では、時間数に比して学ぶことが多く、実際のデータを用いた演習が不足しがちである。（もちろん担当者による差異はある。）また、演習の際には大量の計算が必要であるが、そのために用いられているのは電卓であることが多いようである。（これには学生全員がパーソナルコンピュータを教室に持ち込める環境ではない、という事情もある。）

しかしながら、諸君が三田に来て直面するのは、実際に大量のデータを使った分析であり、その際には電卓での計算などはほとんど考えられず、多くの場合はコンピ

ュータを駆使して計算せざるをえなくなるはずである。

この授業では、統計学の知識に基づいて（...といっても現実には忘れてしまっている学生が多いので、復習をかねた話を混ぜながら）統計学で学んだことをコンピュータで処理する方法、さらには、その前後で必要となるさまざまな処理法（たとえば、経済データを日経NEEDSなどの各種データベースから収集する方法など）について身につけてもらうことを目的としている。この授業を通じて、統計学の知識をより確実なものにし、実際のデータ分析にも強くなってもらおう、というのが、担当者のねらいである。

情報処理（C言語プログラミング）

情報処理（C言語プログラミング）

2単位 春学期 / 秋学期  
北川 尚 丸山 文綱

#### 【授業科目の内容】

春学期の情報処理（C言語プログラミング）では、これまでC言語を学んだことのない学生を対象にして、C言語の基礎的な内容を紹介します。また秋学期の情報処理（C言語プログラミング）では春学期の情報処理の内容を前提としてさらに高度な内容を紹介します。

プログラミングを通して、コンピュータの処理（或はコンピュータを通じた論理的思考の演習）を十分理解すれば、自前のアプリケーションの作成や開発もできるようになるでしょう。

#### 【教科書】

授業で毎回プリントを配布します。

#### 【参考書】

最初の講義で指示します。

情報処理（fortran言語による統計データ処理）

情報処理（fortran言語による統計データ処理）

2単位 春学期 / 秋学期  
赤林 由雄

#### 【授業科目の内容】

諸君が大学において研究を進めていくにあたって、さまざまな形の情報を処理していかなければならない。その際、強力なツールになるのはコンピュータであり、その処理の多くはワードプロセッサや表計算ソフト、統計処理パッケージなどのアプリケーションソフトで対処できるものである。しかしながらそこでできるのはあくまでお仕着せの処理であり、必ずしもかゆいところに手が届くような仕様になっているとは限らない。自分が本当にやりたいことをコンピュータにやらせるためには自分でプログラムを組む必要がある。そのためには何か一つ言語を習得しておくことが必須の条件である。

また自分でプログラムを組むことにより、コンピュータがさまざまな処理をどのようにおこなっているかの一端が理解できるようになる。これは決して無駄なことではない。この経験はアプリケーション・ソフトを使用

している際に発生するさまざまなトラブルに遭遇したときに生きてくる。コンピュータでの一般的な処理がわかればある程度の対処の仕方がわかってくるのである。

私が担当する情報処理では、fortran言語を使ったプログラミングを扱う。

このfortranはコンピュータが実用化した当初からあるプログラミング言語であり、主に科学技術計算に使われている。計算機科学の専門家にはいつも時代遅れというレッテルを貼られ、まもなく廃れるであろうと言われ続けながらもしぶとく生き残ってきている言語である。それは大型コンピュータでもパーソナル・コンピュータでもそれほど使い勝手が変わらず、**初心者にとっては理解が容易な言語だから**というのがその理由の一つである。おそらく実際の処理に使える段階に到達する速度は他の言語よりもかなり早いのではなからうか。

諸君はこの言語によるプログラミングを通じて、コンピュータで情報を処理するためにはどのような手順をふむべきかを修得してほしい。ここで一つの言語と処理の手順をものにできれば、他の言語での処理の修得はかなり楽なものになるだろう。

また経済学部の学生がよく使う**計量分析用のパッケージTSP**はもともとfortran言語で開発されたという経緯があり、fortran言語に近いコマンド体系をとっている。したがってfortranを学ぶことにより、TSPを違和感なく高いレベルで使えるようになるだろう。

春学期の情報処理ではプログラミング言語fortranの基本的な文法と基本的なアルゴリズム（処理の手順）の修得を目的とする。これはあくまで基本である。この基本を前提として、秋学期の情報処理では諸君が経済学の研究を行っていくうえで実際に遭遇するであろうさまざまな事例を解決していくためのプログラミング技法の修得を目的とする。実際のデータを扱う場合、さまざまなデータの性質をふまえて処理をする必要がある。数値計算をするとき、統計処理をするとき、また大量のデータを効率的に処理しようとするとき、その場面に応じて必要となる技法がある。それらを具体的に即して覚えていき、この講義が終わったときには使えるプログラムを組めるようになることがこの講義の目標なのである。

#### 【教科書】

浦昭二編『FORTRAN77入門』培風館

#### 【参考書】

- ・William H. Press, et al. NUMERICAL RECIPES The Art of Scientific Computing, Cambridge
- ・茨城俊秀・福島雅夫『岩波コンピュータサイエンス FORTRAN77最適化プログラミング』岩波書店

情報処理（wwwによる情報発信とサービス提供）  
「HTMLによる情報発信（HTMLとスタイルシート）」

2単位 春学期  
細川 達己

#### 【授業科目の内容】

当科目の目的

当科目では、Webページを作成できるHTML関連の

知識を習得することを目的とする（本年度からは記述言語としてXHTMLを使用する）。いわゆる個人の趣味的なページの作成に必要な能力ではなく、企業や各種団体のページなど、より公的な意味を持つページを作っていく技術の習得に目標を置き、Web関連の技術と方法論について学んでいく。

このようなWebページでは、単に画面のデザインや内容だけではなく、サイトのトータルデザインや、さまざまな環境における使いやすさ、そして視覚障害者への対応など、個人のWebページをつくる以上に考慮すべき事項が多くあり、またそれらは必ずしも「技術的」なものではない。

当科目では、日吉ITCの使用権（アカウント）を持っていることを前提としている。これらの計算機やWebブラウザに関しても、基本的な操作の知識を持っていることが望まれる。また、テキストエディタ（Windowsなら「メモ帳」でもよい）を使ってテキストファイルを作成することができることが望まれる。

当科目の対象は、例えば次のような人である。

- ・ Webページを作ったことはあるが、より実際的なWebページの作り方に興味がある
- ・ はじめてWebページを作ってみたいと思っており、HTML（XHTML）の書き方に興味がある
- ・ CGIなどを将来的に作ってみたいと思っている

なお、当科目では、各種プラグイン等のXHTMLに関係の薄い話題はあえてテーマから外し、XHTMLとスタイルシートに話題を絞る。また、いわゆる「HTMLエディタ」は使用せず、XHTMLを直接テキストエディタで記述することで、XHTMLの持つ意味を理解しながら学習していく。そして最終的には「HTMLエディタ」のようなツールをよりよく使えるようになることや、CGIを作成する基礎となるXHTMLの知識を得ることを目的とする。

まずは「Webのコンテンツを書き、インターネット経由で公開する」ということが、従来の印刷による出版やワープロによる文章作成とどのように異なる性質を持つかという、もっとも根本的な問題からはじめ、その性質を踏まえてXHTMLとスタイルシートの使用法、活用方法を学習していく。

授業内容

Webコンテンツを公開すること/文章の論理構造と視覚的デザイン/XHTML入門/Web画像作成の基礎/スタイルシート入門/視覚障害者への対応/Webサイトデザイン

【参考書】

神崎 正英『ユニバーサルHTML/XHTML』毎日コミュニケーションズ（2000年）

情報処理（wwwによる情報発信とサービス提供）  
「CGIによるサービス提供」 2単位 秋学期

細川 達己

【授業科目の内容】

当科目の目的

HTMLによる静的なWeb情報提供サービスに動的な要素を加えたのはCGIであり、他にもさまざまな動的コンテンツに関する技術が出て来た現在でも、もっとも重要な技術のひとつである。

CGIはインターネットに対して、計算機資源を用いたサービスを公開する技術であり、従来であればネットワークプログラミングの経験豊かなプログラマーが行なうことが多かったものである。このため、CGIを製作するには、ネットワークのセキュリティに対する一般的な知識も重要である。

また、情報処理（WWWによる情報発信とサービス提供）で取り上げたさまざまなXHTMLに関する知識を前提として、より公的なサービスに適用できるCGIの作り方を取り上げていく。

CGIのプログラミング言語としては、基本的にPerlを使用する（バージョンは5.8を予定）。WebサーバとしてUnixサーバ上のApache httpdを利用し、その上で演習を行なう。

当科目は、情報処理（WWWによる情報発信とサービス提供）を前提とする。

対象となるのは、例えば以下のような人である。

- ・ CGIの作り方に興味がある、プログラミングに興味がある
- ・ Webサーバの管理をしたいと思っている、あるいはする予定がある
- ・ ネットワークの管理者となる可能性がある

授業内容

CGIとは/Perl入門/CGI初級実習/サーバ的プログラムの基礎/CGI応用実習

【参考書】

秋本 祥一、古川 剛『CGIプログラミング入門 第二版』翔泳社（2002年）

統計学

「データの記述・統計的推測・仮説検定」2単位 春学期

赤林 由雄 秋山 裕

河井 啓希 中妻 照雄

宮内 環

【授業科目の内容】

- (1) 統計的記述（実際のデータをどのように捉えるか）
- (2) 統計的推測（標本から母集団の特徴をどのように推定するか）
- (3) 統計的検定（理論的主張をどのように検定するか）を学ぶことにより統計的分析の基礎を身につける。講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いた統計処理の解説も行う。

【教科書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

【参考書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

## 統計学

「回帰分析・社会科学分野における応用・統計学の数理的基礎」

2単位 秋学期

赤林 由雄 秋山 裕  
河井 啓希 中妻 照雄  
宮内 環

## 【授業科目の内容】

- (1) 回帰分析（複数の変数の間の因果関係についての分析）を学ぶことにより、経済理論の実証の基礎を身につける。
- (2) 応用分析（様々な経済・社会現象を統計的に分析）を学ぶことにより、統計学を現実社会で幅広く応用する力を身につける。
- (3) 統計学の数理的基礎を学ぶことにより、より高度な統計的分析に備える。  
講義のみならず、演習も重視し、コンピュータを用いた統計処理の解説も行う。

## 【教科書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

## 【参考書】

第1回の講義において担当教員から指示がある。

## 専門教育科目

## 経済史

2単位 春学期

飯田 恭 崔 在東  
中野 忠 松村 高夫  
矢後 和彦

## 【授業科目の内容】

経済史の入門的講義を行う。三田で欧米経済史、日本経済史、アジア経済史等を学ぼうとしている学生に対して基礎的知識を与え、また、理論、政策を中心に、学ぼうとしている者に対しては、その視野を広めることを目的とする。講義の大意は下記の通りであるが、地域的には欧米を主に扱うことにする。

1. 経済史の方法と課題
2. 近代以前の社会と経済
3. 近代化の過程
4. 産業革命と工業化
5. 工業化の波及
6. 国際経済の展開
7. 現代の経済と社会

## 【教科書】

担当者が個別に指定する。

## 経済史

「アジア・日本経済史」

2単位 秋学期

小室 正紀 杉山 伸也  
友部 謙一 古田 和子  
柳沢 遊

## 【授業科目の内容】

15世紀～20世紀の中国・日本を中心とするアジアの経済史について入門的講義を行う。この講義の目的は、経済学を学習するために必要な歴史的視野の拡大と、日本経済史およびアジア経済史についての基礎的な知識を習得してもらうことにある。

## 【教科書】

使用しない。

## 【参考書】

長岡新吉・太田和宏・宮本謙介編『世界経済史入門：欧米とアジア』ミネルヴァ書房（1992年）

## マクロ経済学初級

2単位 春学期

白井 義昌 瀬古 美喜  
山田 太門

## 【授業科目の内容】

国民所得あるいは国民総生産の大きさは、国民の経済活動の水準を示す指標である。その高さや変動の有様が、雇用と物価を定め、国民の暮らしに与える影響を与える。国民総生産、失業率、物価などの指標を見ながらそれらの統御を目指す政策をマクロ経済政策という。「マクロ経済学初級」では、まず経済学の基本的な考え方を説明した上で初歩のマクロ経済学を説き、経済変動とマクロ経済政策の問題を考えるための基礎を与える。

## 【教科書】

授業内で指示する。

## 【参考書】

ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ 入門経済学』東洋経済新報社（1999年）  
ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ マクロ経済学』東洋経済新報社（1995年）  
N・グレゴリー・マンキュー著（足立他訳）『マンキュー マクロ経済学（1）入門篇・（2）応用篇』東洋経済新報社（1995年、1996年）  
オリヴィエ・ブランシャール著『マクロ経済学』上・下 東洋経済新報社（1999年、2000年）  
福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』（第3版）日本経済新聞社（2000年）  
瀬古美喜・渡辺真知子著『完全マスター・ゼミナール経済学入門』（3版用）日本経済新聞社（2000年）

## マクロ経済学初級

2単位 秋学期

伊藤 幹夫 尾崎 裕之  
塩澤 修平 前多 康男

## 【授業科目の内容】

「マクロ経済学初級」で習得する知識を前提として、引き続きマクロ経済学の講義を行う。

【教科書】

授業内で指示する。

【参考書】

参考書については、「マクロ経済学初級」を参照のこと。

ミクロ経済学初級	2単位	春学期
	長名 寛明	須田 伸一
	中村 慎助	矢野 誠

【授業科目の内容】

「ミクロ経済学初級」では、ミクロ経済学の入門的内容を講義する。消費者と生産者の選択が成立させる需要法則と供給法則を分析すると同時に、希少資源の配分問題を解く一つの経済メカニズムである「市場機構」の分析手法を学ぶ。これらの分析を通じて「市場機構」の機能に関する理解を深めることを目標とする。

【教科書】

授業内で指示する。

【参考書】

(1) 入門書（経済学部以外の学生をも対象としたもの）  
ジョセフ・E・スティグリッツ著（藪下他訳）『スティグリッツ ミクロ経済学』（第2版）東洋経済新報社（2000年）

伊藤元重著『ミクロ経済学』日本評論社（1992年）  
矢野誠著『ミクロ経済学の基礎』岩波書店（2001年）  
矢野誠著『ミクロ経済学の応用』岩波書店（2001年）  
奥野正寛著『ミクロ経済学入門』（新版）日本経済新聞社（1990年）

石井安憲・西條辰義・塩澤修平著『入門・ミクロ経済学』有斐閣（1995年）

塩澤修平著『経済学・入門』有斐閣（1996年）

(2) 中級（経済学部教養過程）

福岡正夫著『ゼミナール経済学入門』（第3版）日本経済新聞社（2000年）

瀬古美喜・渡辺真知子著『完全マスター・ゼミナール経済学入門』（3版用）日本経済新聞社（2000年）

西村和雄著『ミクロ経済学入門』（第2版）岩波書店（1995年）

武隈慎一著『ミクロ経済学』新世社（1989年）

ハル・R・ヴァリアン著（佐藤隆三監訳）『入門ミクロ経済学』勁草書房（2000年）

(3) 中級以上（経済学部教養過程あるいはそれ以上）

奥野正寛・鈴村興太郎著『ミクロ経済学』岩波書店（1985年、1988年）

根岸隆『ミクロ経済学講義』東京大学出版会（1989年）

Hal R. Varian, 『Microeconomic Analysis』（3rd ed.）（Norton, 1992.）

ミクロ経済学初級	2単位	秋学期
	石橋 孝次	グレーヴァ香子
	玉田 康成	中村 慎助

【授業科目の内容】

「ミクロ経済学初級」で習得する知識を前提として、引き続きミクロ経済学の講義を行う。

【教科書】

授業内で指示する。

【参考書】

参考書については、「ミクロ経済学初級」を参照のこと。

経済思想の歴史	2単位	春学期
		伊藤誠一郎

【授業科目の内容】

目的

なぜ経済学を学ぶのか、それをその学問の歴史をとおして探ることが本講の目的である。しかし、経済学がどのようにできてどのように形を変えていったのかは過去の経済学のテキストを見ていくだけでは理解することはできない。経済学はそれがなかったからこそ必要とされ、作りだされたのであり、経済学を作り出した人たちはそもそも経済学がない世界に生きていたのである。したがって本講では、経済学がまだ経済思想としか呼びえない頃にそれがどのような歴史的文脈のなかで論じられ、表現されてきたのか、そしてそれはどのような必要性の中で経済学として形を整え、人々に受け入れられていったのかをみていく。さらに、経済思想の歴史は単なる一つ学問の歴史ではなく、実際にさまざまな経済現象をみたその時代の人々がはじめは戸惑い、不安をいだき（17世紀）やがてそれを解釈し、分析し（18世紀）そして自らの社会の未来を予想する（19世紀）ようにさえなってきたことの表れであったことも描き出していきたい。

内容

1. 経済思想の歴史への視座

なぜ経済思想の歴史を学ぶのか？ 経済学は発展するのか？

2. 担い手：経済について語る人たち。

大学と経済学、だれが経済を語ったのか（商人、評論家、哲学者、政治家）。

3. 知識：経済を論ずるためにどのような知識をもとめ、作っていったのか。

懐疑主義とのたたかい、政治算術、ニュートンとスミス、法則の発見。

4. 貨幣：おカネはどうして資本主義社会に必要なのか。どうやって作るのか。

おカネが足りない、金銀だけがおカネだった、紙はおカネになりうるのか、おカネの作りすぎ。

5. 貿易：経済と国境と政治。

重商主義と貿易差額説、スミスの重商主義批判、穀物法と比較生産費説。

6. 価値：経済学者は「価値」という言葉で何を表現しようとしていたのか。  
貨幣の内在的価値、商品の価値、土地、労働。
7. 階級：経済社会のなかで人々はどのようにグループ分けされてきたのか。  
一階級社会、債権者と債務者、資本主義と階級。
8. 経済学：経済学の成立とは何をもっていうのか。  
古典派と体系化、スミスが乗り越えようとした問題。
9. 未来像：経済思想家はどのような未来を予測し、期待したのか。  
改良（ミル）か、革命（マルクス）か。

## 【教科書】

使用しない。必要な資料はその都度配布する。

## 【参考書】

講義内で必要に応じて指示する。

経済思想の歴史 2単位 春学期  
神代 光朗

## 【授業科目の内容】

1890年にマーシャルの『経済学原理』が登場するまでは、経済学はすぐれて政治経済学（political economy）と言われ、理論・歴史・政策を統一した体系的な且つ政治的な学問としての特質をもっていた。そして、この体系的統一の導きの糸こそが経済思想または歴史的ヴィジョンなのである。しかるに近年、とりわけこの10数年来、経済学の著しい専門・細分化の下で、現実世界の不安定に対応しきれない経済学の危機といわれる現状がある。本講義では、重商主義からはじまり、古典学派をへて、マルクスに到る経済思想の概略を講じ、経済学のそもそもの成り立ちを考え、それによって経済学という学問の特質とあり方を考察したい。

## 【教科書】

特にスタンダードな教科書はない。履修者は必ず出席をし、ノートを自らとることを心掛けてほしい。

## 【参考書】

内田義彦著『経済学史講義』（著作集第2巻）岩波書店または未来社  
内田義彦著『社会認識の歩み』岩波新書  
馬渡尚憲著『経済学史』有斐閣

経済思想の歴史 「経済思想の古典的世界」 2単位 春学期  
坂本 達哉

## 【授業科目の内容】

アダム・スミスからJ.S.ミル、K.マルクスまでの経済思想の古典的展開を、歴史・思想・理論の3者関係を軸として講義する。

## 【教科書】

ロバート・L・ハイルブローナー『入門経済思想史・世俗の思想家たち』ちくま学芸文庫（2001年）

## 【参考書】

大田・鈴木・高・八木編『経済思想史』名古屋大学出版会（1995年）  
高哲男編『自由と秩序の経済思想史』名古屋大学出版会（2002年）

経済思想の歴史 「経済思想へのイントロダクション」 2単位 秋学期  
池田 幸弘

## 【授業科目の内容】

ミクロ経済学、マクロ経済学の成立について講ずる。現代経済学の全体について、又他の領域との関係について見通しを与えることが講義の目的である。

## 【教科書】

とくに用いない。

## 【参考書】

西沢保他編『経済政策思想史』有斐閣。

経済思想の歴史 「日本の経済思想」 2単位 秋学期  
小室 正紀 蔦木 能雄

## 【授業科目の内容】

この講義は、日本における経済思想史を扱う。学期の前半は、小室が担当し、江戸時代から明治初期までを扱い、後半は、蔦木が担当し明治時代から大正時代頃までを対象とする。

広く経済現象や経済問題についての考え方は、時代とともに変化するとともに、もちろん、国・地域・文化圏によっても相互に異なる。現代のように情報や知識が瞬時に世界を駆け回る時代においてさえも、国により経済についての考え方の違いはあるが、時代をさかのぼればさかのぼるほど、その違いは一層大きい。それは、それぞれの国や地域により社会形態が異なり、また特定の知性・学問・宗教などの伝統もあり、経済思想もその影響を受けざるを得なかったからである。そして、このような歴史的な相違は、単に過去の問題にとどまらず、現代の思想にも深く影響し、現実世界における経済思想の違いを形づくっていると云える。

そのような中で、日本の経済思想の特質を歴史的に把握することは、日本に特別な関心を抱く者の単なる興味を越えて、世界的に極めて大きな意義をもっている。従来、経済思想の歴史は、欧米における展開を中心に論じられてきた。それは、近代資本主義が世界に先駆けて成長したのが欧米であったからである。しかし、現代世界は、欧米のみでなく、多くの文明圏に資本主義経済が存在し、またそれを目指している国々が至る所にある。そして、日本は、非欧米世界の中で、最も早く、近代資本主義へと進んだ国であった。日本が歴史的に経験した、固有の経済思想の展開と、欧米から導入された思想や経済システムとの軋轢・融合の経過は、単に日本のみの問題ではなく、多くの非欧米圏の経済思想の問題でもある。そして、このような非欧米の事例を考えることなしに、現代世界の経済をグローバルな視点で理解することもま

た出来ないものである。

なお、講義を江戸時代から始めるのは、その時期に、日本独自の経済社会の始動とともに、中国の思想の影響をうけつつも、日本独自の経済思想が形成されてくるからであり、それが、明治以降の経済思想の隠れた原型をなしていると考えられるからである。また明治初期については、小室が主に江戸時代から見る視点で扱い、蔦木が、明治以降の出発点としての視角から扱い、両者が取り上げることになる。講義の最後は、大正期ないし昭和恐慌の開始前に置かれる。これは、その時期をもって、「日本の近代化」に一応の区切りがつけられると考えるからである。

#### 【教科書】

使用せず。

#### 【参考書】

逆井孝仁・藤原昭夫他編『日本の経済思想四百年』日本経済評論社（平成12年）

テッサ・モリス・スズキ『日本の経済思想』岩波書店（平成3年）

杉原四郎・長幸男編『日本経済思想史読本』東洋経済（昭和54年）

#### 経済思想の歴史

「経済思想史への招待」

2単位 秋学期

佐藤 方宣

#### 【授業科目の内容】

この科目では“限界革命”以降の経済思想の展開の歴史を講義します。新古典派や制度学派の興隆、ケインズ『一般理論』の登場からその批判へ...と展開していくプロセスを、単線的な理論の発展史としてではなく、独占・寡占の進展、大恐慌・ニューディールの登場といった経済社会のダイナミックな展開と共に、広く思想的に扱います。経済学や経済学者についての歴史的知識を学ぶだけではなく、それぞれの時代において人々がどのような問題に直面していたのか、そして個々の経済学説・経済思想がそれに対していかなるかたちで解答しようとする試みであったのか、という点を中心に学んでいただければと思います。

#### 【教科書】

特に指定しません。

#### 【参考書】

必要に応じて指示します。

#### 経済数学 A

「経済学のための微分積分」

2単位 春学期

厚地 淳 池田 薫  
桂田 昌紀 西岡久美子  
宮崎 直哉

#### 【授業科目の内容】

この科目の目的は1年生の「微分積分」(履修タイプ )と「数学概論」(履修タイプ )に引き続き多変数の微分を学ぶことにある。1年生のときは、2変数の関数の

偏微分、全微分、極値問題、そして1制約条件下のLagrangeの未定乗数法を学んだ。この科目では、さらに3変数以上の場合を学ぶ。

1. 連続関数の性質（開集合、閉集合）
2. 多変数関数の微分（合成関数の微分、平均値の定理、テーラーの定理）
3. 多変数関数の極値問題（行列の符号と極値）
4. 等式条件の下での極値問題（陰関数定理、ラグランジュ乗数法）

履修タイプ の学生に対する注意

「数学概論」に合格していない学生の履修を妨げる理由はないが、推奨はできない。また「線形代数」を履修していることが必要である。

関連する講義について

時間の制限もあって、積分を数えることはできないが、積分を学ぶことは経済学部生にとってますます必要になっている。統計学をちゃんと理解する上でも積分は必須である。三田にいて、計量経済学や確率・統計を学ぶ上でも積分の基礎は不可欠であろう。そこで、2年生諸君には「統計学」を春学期に学ぶと同時に総合教育科目「積分入門」(2単位科目)を学ぶことを推奨する。また「解析学入門」では微分、積分ともに厳密に学ぶことができる。

最近、金融機関では確率論をもとにしたファイナンスを多用するようになってきている。興味がある諸君は、総合教育科目「ファイナンス数学」を受講するとよいだろう。「ファイナンス数学」では「経済数学 A、B」の応用となる内容を含む。

「経済数学 A、B」の内容の経済学者による視点からの解説を含む総合教育科目「経済数学入門」が開講される。興味がある諸君は多数受講されることを望む。

単位について

秋学期に開講する「経済数学 B」と両方を履修してもよい。春学期、秋学期の「経済数学」を両方合格して、3、4年生で理論経済学、計量経済学を学ぶ数学的な準備が整うことに注意しよう。

#### 【教科書】

「経済数学」(慶應義塾大学経済学部)

#### 【参考書】

授業中に指示する。

#### 経済数学 B

「経済学のための線形代数」

2単位 秋学期

厚地 淳 池田 薫  
桂田 昌紀 西岡久美子  
宮崎 直哉

#### 【授業科目の内容】

この科目の目的は1年生の「線形代数」に引き続き、線形代数のさらに深い内容を学ぶことにある。1年生の「線形代数」では、行列、ベクトルの演算、線形方程式の解法（掃き出し法）、線形独立性、行列式の内容を学んだ。計算が中心で論理的な構成に関しては少しおそそ

かになっている。そこで、この科目では線形独立性、部分空間とその基底、次元などの解説を行った後に、固有値問題とその応用に関して詳しく解説する。

1. 数ベクトル空間と線形写像（部分空間、基底、次元、線形写像）
2. 内積空間（グラム・シュミットの直交化法、直交行列、直交補空間、最小自乗法）
3. 行列の対角化（固有値、固有ベクトル、対角化、直交行列による対角化、2次形式、対称行列の符号）

履修タイプ の学生に対する注意

この講義を履修する前に、必ず、「線形代数」を履修することが必要である。

履修タイプ の学生に対する注意

1年生の時に「線形代数」が不合格であったものは、秋学期に同時に「線形代数」を履修すること。

関連する講義について

総合教育科目「データ解析入門」、「データ解析」では、線形代数が統計学と一緒に応用されている内容を学ぶことができる。経済学部でなぜ線形代数を学ぶのか、その必要性がこれらの講義で理解できるであろう。

最近、金融機関では確率論をもとにしたファイナンスを多用するようになってきている。興味があるものは、総合教育科目「ファイナンス数学」を受講するとよいだろう。「ファイナンス数学」では「経済数学 A、B」の応用となる内容を多く含む。

「経済数学 A、B」の内容の経済学者による視点からの解説を含む総合教育科目「経済数学入門」が開講される。興味がある諸君は多数受講されることを望む。

単位について

春学期・秋学期の経済数学を両方合格して、3、4年生で理論経済学、計量経済学を学ぶ数学的な準備が整うことに注意しよう。

【教科書】

「経済数学」（慶応義塾大学経済学部）

【参考書】

授業中に指示する。

経済数学

「最適化理論とゲーム理論の基礎」 2単位 秋学期  
岡崎 哲郎

【授業科目の内容】

経済学、特にミクロ経済学で必要となる最適化問題の解法やゲーム理論の考え方について解説します。講義の最中に実際に演習問題を解くことによって、理解を深めることも目的とします。

【教科書】

特に定めません。レジュメを配布する予定です。

【参考書】

講義の中で指示します。

経済数学

「最適化とゲームの数理」 2単位 秋学期  
中山 幹夫

【授業科目の内容】

この講義では、経済学で必要な数理的思考と分析力を身につけ、最適化理論とゲーム理論の初歩について学びます。

【教科書】

特に指定せず、適宜、講義資料を配布します。Webサイト<http://www.econ.keio.ac.jp/staff/nakayama/gakubu.html>からダウンロードできるものもあります。

【参考書】

より詳細な数学的基礎の勉強には、たとえば岡田章 著『経済学・経営学のための数学』東洋経済新報社（2001年、3200円）などがよい。

経済と環境

「経済活動ととりまく諸環境」 2単位 春学期  
武山 政直 松原 彰子

【授業科目の内容】

今日の経済活動ととりまく自然、社会、情報の分野の諸環境に注目し、そこに見られる最近の話題や問題の理解を通じて、経済活動をそれらの「環境」から多様にとらえる視座と視点を獲得する。

【教科書】

特に指定しません。講義資料を配布します。

【参考書】

授業中に適宜紹介します。

経済と環境

「物理学の自然・経済学の自然」 2単位 春学期  
杉浦 章介 青木健一郎

【授業科目の内容】

自然現象を対象とする自然科学と社会・歴史・文化を対象とする社会科学は、各々、どのように「自然」を取り扱ってきたのか？経済学が、地球環境や自然保護というような問題に直面する現在、近代科学に通底する基本的認識の視座について物理学と経済学を対比しながら考えて行くことにする。どのように物理学と経済学の視点は異なるのか、そしてどのように両者は補完的であるのか、という点を明らかにして行くこととする。

【教科書】

教科書は使用しない。

【参考書】

（杉浦担当分）

トマス・クーン『科学革命の構造』みすず書房

レーチェル・カーソン『沈黙の春』新潮文庫

ハンス・イムラー『経済学は自然をどうとらえてきたか』農文協

ローデリック・ナッシュ『自然の権利』TBSブリタニ

カ

その他、講義にあわせて適宜、文献を紹介して行く。

経済と環境 2単位 秋学期  
大沼あゆみ 清水 健一

#### 〔授業科目の内容〕

今日の環境問題を、経済学と自然科学の立場から概観する。

#### 〔教科書〕

大沼担当分 ヒール著(細田・大沼・赤尾訳)『はじめての環境経済学』東洋経済新報社

経済と環境 2単位 秋学期  
河田 幸視 福山 欣司

#### 〔授業科目の内容〕

(福山担当分)

1. 地球環境の成り立ち
2. 生物多様性とは何か
3. 生物多様性の危機
4. 生命を支える生態系
5. 生態系に対する人為的な攪乱
6. 自然環境の未来

(河田担当分)

1. 自然環境と経済学
2. 自然環境の価値の計測(2回)
3. 自然資源の過剰・過少利用問題
4. 自然資源の持続的な利用(2回)

#### 〔教科書〕

教科書は使用しない。

#### 〔参考書〕

(福山担当分)

地球白書2005-06(ワールドウォッチ研究所 家の光協会発行)

(河田担当分)

授業中に指示する。

計量経済学概論 2単位 秋学期  
「経済分析における統計的方法」 河井 啓希

#### 〔授業科目の内容〕

計量経済学(Econometrics)とは、観察可能な経済データからその資料の発生メカニズムを経済理論にもとづいて推測する方法を示すものである。一般に経済分析に登場するデータは自然科学のように条件をよくコントロールされた実験データではないため、経済分析固有の統計的問題がこりうる。この授業では、統計学で学んだ知識を確認しながら、経済分析固有の問題を実例を交えて紹介していく。

#### 〔教科書〕

浅野哲・中村二朗著『計量経済学』有斐閣

#### 〔参考書〕

山本拓著『計量経済学』新世社

袁谷千鳳彦著『計量経済学(第3版)』東洋経済

計量経済学概論 2単位 秋学期  
田中 辰雄

#### 〔授業科目の内容〕

##### 講義要綱

計量経済学の基礎を講義する。2年生の段階では知識を広げるより、基礎的分析手法を確実に身につけた方がよいので、話題を絞ってトレーニングを行う。2回に1回はパソコンを使って演習を行い、受講生はデータを打ち込み、回帰分析を走らせるという作業を自ら行うことになる。統計解析のためのソフトは、エクセルを使う予定である。したがって、エクセルの操作に慣れておいてもらおうと講義の理解がスムーズだろう。部分的にはTSPも使用する。

前提とする知識は、学部の統計学の前期の知識だけである。講義の中で数式で説明した事は、そのあとグラフで補完して直感的な理解が得られるように工夫するので、数式の苦手な諸君も意欲さえあれば理解できるであろう。ただし、自分でパソコンを操ることを厭わないという決意だけはしておいていただきたい。成績は2回課すレポートを中心につける。計量分析は実世界に出てから使う場面が多い手法なので、この機会に是非覚えておく事をおすすめする。景気予測、支店の売上予測、マーケティング、コンサルティングなどの分野で計量分析が使われることは多い。将来留学を考えている人、国際機関に出て働きたい人も学んでおいて損はないだろう。「数字に強い」というのは将来の諸君の大きなセールスポイントになる。

なお、教室で同時に使えるパソコン台数に限りがあるため、受講人数に制限(100名強)がかかる。これを越える希望者が出た場合は、春学期冒頭に簡単なレポートを課して受講者を選ぶ予定である。掲示に注意されたい。

#### 計量経済学概論

「市場の科学:経済学における法則把握の作法と統計学の適用」 2単位 秋学期

宮内 環

#### 〔授業科目の内容〕

この「計量経済学概論」では、市場の機能に関する法則把握を目的とした経済学の方法を、科学全般の方法の中で位置づけて講義を進める。こうした科学の方法において、統計学の適用は不可欠であるが、多くの統計学的方法は主に生物学、農学や心理学などの実験科学において開発されてきた。これに対し、観測者が観測する経済学的現象は実験の結果ではない場合が多い。したがって、統計学を経済現象に適用するにあたっては、統計学が前提とする観測資料の発生仕組みと、経済現象における資料発生仕組みとの関係についての考察が不可欠である。「計量経済学」では主にこの点に焦点をあて、日吉での「統計学」の知識を確認しながら、回帰分析

を中心に計量経済学の入門的講義を行う。なお、計量経済学的分析に用いるソフトウェアとして、TSPの使い方の基礎についても講義の中で紹介する。

【教科書】

小尾恵一郎著『計量経済学入門』日本評論社

【参考書】

適宜講義の中で示す。

社会問題 2単位 春学期  
金子 勝

【授業科目の内容】

1920年代、失業、貧困・争議といった問題が大きくクローズアップされ、小泉信三は『社会問題研究』を書いた。今日もグローバル化の果てに、世界中でまた国内で格差が拡大し続けている。急速に少子高齢化が進む一方で、バブル破綻処理の過程で膨大な財政赤字が累積している。なぜ、こうした状況が起きるのか。大恐慌期と比較しつつ、金融自由化によるグローバル化の実相、バブルとバブル崩壊、経済格差の拡大と格差論争、年金改革や地方分権などの検討を通じて明らかにしてゆきたい。

【参考書】

金子勝・大澤真幸『見たくない思想的現実を見る』岩波書店

金子勝『経済大転換』ちくま新書

社会問題 2単位 秋学期  
津谷 典子

【授業科目の内容】

経済のグローバル化が進行する中、さまざまな内外の人口問題が関心を集めている。60億を超えてなお増加を続ける世界人口、そしてそれをもたらしているアフリカや南アジアなどにおける急速な人口増加とその資源・環境への影響が議論される一方、わが国をはじめとする多くの先進諸国では「少子化」とよばれる超低水準への出生率低下とそれによる人口減少が憂慮されている。この少子化の背景には、未婚化などの結婚行動の変化や妻の就業にともなう家庭内役割分担の変化などの家族の変容がある。さらに、出生率と死亡率の低下により、多くの先進諸国およびアジア諸国で急速な人口高齢化が進行している。人口はその国の社会経済を左右する下位構造(demographic infrastructure)であると同時に、さまざまな人口変動の構造や要因を解明することにより、変化を続ける「社会のかたち」を見ることができるという意味で、社会変動の多面的実相を映す「鏡」でもある。本講義では、「社会問題(1)」の内容を受け、国際比較の視点を取り入れながら、人口増加と少子高齢化について考えてみたい。また、人口・社会統計の読み方や指標の計算方法についても手ほどきする。

【教科書】

特に指定しない。

【参考書】

河野稔果『世界の人口』(第2版)東京大学出版会(2000年)

マルクス経済学 2単位 春学期  
北村 洋基 駒形 哲哉  
延近 充

【授業科目の内容】

カール・マルクスの名著『資本論』は、資本主義社会の経済的運動法則を解明することを目的として、資本主義経済の特質を総体的に明らかにした著書である。同書が出版されて1世紀以上過ぎたが、資本主義のメカニズムを構造的・体系的に明らかにした著書として、今日においてもなお有効性をもっている。

もちろん今日の資本主義はマルクスの時代とはかなり変化したところもある。「マルクス経済学」は資本主義の変化をも踏まえながら、現代資本主義を総体として把握するとともに、現代経済の諸問題を批判的に解明する理論的基礎を提供することを目的としている。

【教科書】

担当者が個別に指定する。

【参考書】

担当者が個別に指定する。

マルクス経済学 2単位 秋学期  
北村 洋基 駒形 哲哉  
延近 充

【授業科目の内容】

「マルクス経済学」における叙述を参照されたい。

【教科書】

担当者が個別に指定する。

【参考書】

担当者が個別に指定する。

解析学入門 2単位 春学期  
「距離空間と位相構造」 西岡久美子

【授業科目の内容】

解析学入門、においては、確率論入門、ファイナンス数学、数理ファイナンスなどの解析学的色彩の強い分野を学習する際に必要と考えられる、位相や多変数解析学に関して基本的なことを学習する。

解析学入門において解説される、距離空間や位相といった概念は解析学を学ぶ際の言葉であり、早い時期にこれを習得することで、以後の解析学の学習を確実なものにすることができる。数学における証明に慣れる良い機会でもある。

【教科書】

講義中に印刷物を配布する。

## 解析学入門

「多変数関数の微分、リーマン積分」 2単位 秋学期  
西岡久美子

## 〔授業科目の内容〕

解析学入門 において、多変数関数の微分積分について、様々な分野で使われる基本的な結果を学ぶ。いずれも、理論的側面を強調していく。この講義を履修するには解析学入門 を履修していることが必要である。

## 〔教科書〕

講義中に印刷物を配布する。

## 確率論入門

2単位 春学期  
戸瀬 信之

## 〔授業科目の内容〕

近年、金融業務のリスク管理のために確率論を用いる手法が盛んに用いられている。「金融工学」という言葉を諸君は聞いたことがあるだろうが、金融工学を学ぶためには、それなりに数学の「修行」が必要である。そのために、今年度から経済学部2年生に対して開講するのが「確率論入門」、「」および「解析学入門」、「」である。東京工業大学、一橋大学などでは、すでに金融工学の大学院が開設されているが、この科目はその進学をサポートすることをその目的の一つとしている。もちろん、金融工学に興味を持たないものも、確率的な発想は知的に生きるための一つの知恵であるので、履修する価値は十二分にある。

確率に関しては、「統計学」、「」でも、初歩的なことを学ぶことができるが、それでは将来、金融工学を学ぶために不十分であろう。また、「統計学」、「」では、数学的に厳密な構成がなされていない部分が多いが、この講義では完全とは言わないが、それなりに数学的な論理性を重視して教えるつもりである。その意味で、「統計学」、「」の別の意味での理解を促す役割も果たしたいと考えている。多くの計算実例を与えるので、「統計学」、「」の演習ともなるであろう。

講義の内容は常に具体的なモデルや実例を多く用いて理解を促すつもりである。そのために、多くの計算練習をしてもらう予定である。

## 〔教科書〕

講義の最初に指定する予定である。

## 〔参考書〕

P. ブレモー著『モデルで学ぶ確率入門』Springer東京  
コルモゴロフ他著『コルモゴロフの確率論入門』森北出版

## 確率論入門

2単位 秋学期  
戸瀬 信之

## 〔授業科目の内容〕

この科目では、前期の「確率論入門I」に引き続き、確率論の初歩を学ぶ。前期では離散的なモデルを多く扱

うが、後期では連続的なモデルを多く扱うこととする。後期だけの履修は望ましくない。数学は積み上げていくものであり、一夜にして理解することは不可能だからである。

## 〔教科書〕

講義の最初に指定する予定である。

## 〔参考書〕

P. ブレモー著『モデルで学ぶ確率入門』Springer東京  
コルモゴロフ他著『コルモゴロフの確率論入門』森北出版

## 簿記

4単位 通年  
横田 絵理

## 〔授業科目の内容〕

簿記は、企業の経営状態や財務状況を知る上で必要なものであり、経理担当者だけでなく、企業活動に関係する全ての人々の基礎となる知識です。

この授業では簿記の最も基本的な部分について、修得することを目的とします。そのために、講義だけでなく、練習問題での簿記の計算を行なうことでの学習が不可欠です。したがって、授業中は、講義と演習を行います。

## 〔教科書〕

加古宜士、渡部裕巨著『新検定簿記ワークブック3級商業簿記』中央経済社  
加古宜士、渡部裕巨著『新検定簿記講義3級商業簿記』中央経済社

## 簿記

「財務諸表の技術的基礎」 4単位 通年  
李 精

## 〔授業科目の内容〕

複式簿記とは、企業の行う経済活動を帳簿に複式記録することによって、企業の財政状態と経営成績を明らかにするものである。財政状態は貸借対照表（バランスシート）、経営成績は損益計算書によって示されるが、これらは複式簿記の手続きを経て誘導的に作成される。貸借対照表や損益計算書は企業の決算書類であるが、財務諸表と呼ばれる。

本講義は、複式簿記の基礎知識を提供するものであり、決算に至るまでの一巡の簿記手続きの理解を図ることを目的としている。

## 〔教科書〕

新田忠誓編著『エッセンス簿記会計』森山書店  
なお、演習用に問題集を使うことも予定している。

## 総合教育科目

経済数学入門 2単位 春学期  
戸瀬 信之

### 【授業科目の内容】

この講義では、高校2年生程度の復習から出発して経済学や数理ファイナンスへの応用を念頭として、数学を学びます。1年前期の「微分積分」の進度に合わせながら、厳密な構成はこの科目に任せて、数学の応用的な内容を教えることを目的とします。「微分積分」で扱わない内容、例えば後期で学ぶ「線形代数」や確率の内容は、簡単な場合を先取りして丁寧に教えていきます。具体的なトピックスの一つとして、金融工学のポートフォリオ理論の簡単な話を取り上げていきます。

この授業は主に1年生を対象とします。経済学部の1年生が、「微分積分」や「線形代数」を学ぶ必要があるのかが、具体的に理解できる講義にします。

### 【教科書】

戸瀬信之『経済数学』新世社  
津野義道『ポートフォリオ選択論入門』共立出版

### 【参考書】

西村和雄『経済数学早わかり』日本評論社  
西村和雄『入門経済学ゼミナール』実教教育出版

経済数学入門 2単位 秋学期  
戸瀬 信之

### 【授業科目の内容】

この講義では、高校2年生程度の復習から出発して経済学や数理ファイナンスへの応用を念頭として、数学を学びます。1年後期の「線形代数」の進度に合わせながら、厳密な構成はこの科目に任せて、数学の応用的な内容を教えることを目的とします。前期に学んだ「微分積分」に続く内容や「微分積分」で取り上げられなかったトピックスも取り上げていきます。具体的なトピックスの一つとして、金融工学のポートフォリオ理論の簡単な話を、前期に引き続き取り上げていきます。また、マクロ経済学やミクロ経済学でどのように数学を用いるかについても教えていきます。

この授業は主に1年生を対象とします。前期の「経済数学入門」を履修しないで、この科目を学ぶことは、あまりお勧めしません。

### 【教科書】

戸瀬信之『経済数学』新世社  
津野義道『ポートフォリオ選択論入門』共立出版

### 【参考書】

西村和雄『経済数学早わかり』日本評論社  
西村和雄『入門経済学ゼミナール』実教教育出版

積分入門 2単位 春学期 / 秋学期  
池田 薫 光 道隆  
宮崎 直哉

### 【授業科目の内容】

この講義では経済学部生にとって必要と思われる積分のエッセンスについて解説する。最近の経済学の中で確率論がよく使われるようになっている。社会にでると金融派生商品（デリバティブ）を理解するには、確率的なものの考え方が必須である。そのためにも、基礎となる積分を学ぶことは諸君の一生の財産となるに違いない。経済学部では統計学、が必修であり、積分を理解することは統計学を理解する上でも重要である。

講義を受ける前提として、高校2年生までに学ぶべき積分を仮定する。高度な微分法を学んでいないことを考慮しながら、まず1変数の積分のイメージをしっかりと教える。その後、様々な公式、部分積分、変数変換の公式を教える。さらには、多重積分を実践的に教える。すなわち、2重積分の定義を教えた後、Fubiniの定理、変数変換の具体的な公式（線形座標変換、極座標変換など）について解説する。その中で、統計学を学ぶ上で必要な積分の計算についても解説する。

### 【教科書】

講義の冒頭で指定する。

### 【参考書】

講義の冒頭で指定する。

データ解析 「線形モデルとデータ」 2単位 春学期  
今泉 忠

### 【授業科目の内容】

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。そこでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要がある。その場合、収集されたデータを分析するだけではなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、説明変数と被説明変数が想定される場合のデータ解析について講義する。受講者が、  
(1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる  
(2) 多変量データについて統計分析が可能となること  
を目標とする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

### 【教科書】

講義リプリントはwebサイト<http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析  
「特徴の抽出」

2単位 秋学期  
今泉 忠

#### 〔授業科目の内容〕

近年、データを解析して、それをどのような観点から比較評価するかがより重要になってきた。ここでは、評価の視点を明確にし、他の比較検討が十分に可能なようにする必要がある。その場合、収集されたデータを分析するだけではなく、そのようなデータを生じせしめると考えられる構造を推測することにより、より一般的な推論が可能となる。

この講義では、特に、多変量データが得られた場合に、それを要約する場合のデータ解析について講義する。受講者が、

- (1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
- (2) 多変量データについて統計分析が可能となることを目標にする。これらのために、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

#### 〔教科書〕

講義リプリントはwebサイト <http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析入門  
「データを探る」

2単位 春学期  
今泉 忠

#### 〔授業科目の内容〕

ある事柄についてデータをもとに分析する場面が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、1変数の場合のデータ解析について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標とする。

- (1) データから基礎的な統計推論が可能となる
- (2) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる

#### 〔教科書〕

講義リプリントはwebサイト <http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

データ解析入門

「データによるモデル構成を行うには」 2単位 秋学期  
今泉 忠

#### 〔授業科目の内容〕

ある事柄についてデータをもとに分析する場面が多くなってきた。この講義では、統計学にもとづいてデータを解析する観点からのデータ解析について講義する。特に、2変数の場合について講義する。講義では、コンピュータソフトを利用した講義・演習を行う。

受講生に関しては、以下のことが行えることを目標とする。

- (1) 統計的な仮説構築、検討、評価を行うことができる
- (2) 2変数間の関係について、仮説構築、検討、評価を行うことができる。

#### 〔教科書〕

講義リプリントはwebサイト <http://stat.tama.ac.jp/>よりダウンロードできます。

ファイナンス数学

「ファイナンス数学の基礎（確率論の基礎と金融商品価格決定）」

2単位 春学期  
伊藤 幹夫

#### 〔授業科目の内容〕

この講義と秋学期に開講されるファイナンス数学 では、近年ますます重要となっている金融工学の初歩を、微分積分と線形代数の知識を前提として、わかりやすく解説する。春学期のファイナンス数学 は、直感的に把握しやすい離散モデルを主題とする。

具体的には、現代の金融システムを簡単に解説したのち、金融商品の収益率に関する計算を学ぶ。その後、直感的に理解しやすいモデルで確率の基礎を講義する。その上で、個別主体の行動としてのポートフォリオ選択の理論を示す。次に、経済学における需要均衡とならば重要性をもつ、ファイナンスにおける根本原理である「無裁定」の考え方を数理的に整理する。金融派生商品の価格が、無裁定を基礎にしてどのように決定されるかを示す。鍵となる概念はリスク中立確率である。

#### 〔教科書〕

津野義道著『ポートフォリオ選択理論入門』共立出版  
刈屋武昭・小暮厚之著『金融工学入門』東洋経済新報社  
レジュメは講義後、HPにおいて公開する。

#### 〔参考書〕

伊藤幹夫・戸瀬信之訳『デリバティブの数学入門』共立出版  
戸瀬信之・伊藤幹夫著『経済数学』エコノミスト社  
日本銀行金融研究所編『あたらしい日本銀行』有斐閣

ファイナンス数学

「ファイナンス数学の基礎（デリバティブの価格決定理論）」

2単位 秋学期  
伊藤 幹夫

#### 〔授業科目の内容〕

この講義と春学期に開講されるファイナンス数学 では、近年ますます重要となっている金融工学の初歩を、微分積分と線形代数の知識を前提として、わかりやすく解説する。秋学期のファイナンス数学 は、応用が広い連続モデルを主題とする。

具体的には、春学期に開講されるファイナンス数学 で学んだリスク中立確率測度を復習したのち、離散形モデルと連続形モデルがどのように関連するかをながめる。次に不確実な現象を表現するための手段としてのブラウン運動についての基礎を講義する。その後、ブラウン運動で表現される原資産価格とデリバティブ（金融派

生商品)価格の関係を計算するために必要な確率積分と伊藤の公式を学ぶ。有名なブラック・ショールズ公式を導出したのち、リスク中立確率測度が連続形でもデリバティブ価格決定に重要な位置を占めることを再確認する。

**【教科書】**

蓑谷千鳳彦『よくわかるブラック・ショールズモデル』  
東洋経済新報社

レジュメは講義後、HPにおいて公開する。

**【参考書】**

伊藤幹夫・戸瀬信之訳『デリバティブの数学入門』共立出版

ネフツィ著『ファイナンスへの数学』(第2版)朝倉書店

## 3 法学部

### 数学・統計・情報処理科目

#### 基礎数学

「初等整数論」

2単位 春学期

山内 憲一

#### 〔授業科目の内容〕

平成6年10月ついにフェルマーの大定理「 $n$ が3以上の自然数ならば、 $x^n+y^n=z^n$ を満足する自然数 $x$ 、 $y$ 、 $z$ は存在しない」の証明が完成したというニュースが、新聞に掲載していましたが、この問題は過去350年間にわたって数学者を悩ませてきた大問題でした。整数論にはこの他にも未解決の問題が沢山あります。この講義では整数論に於て、今までどのような問題が考えられ、それらがどのように解決されたのか、あるいはまた未だに解けていないのかを話題にしながら、初等整数論の基本的事項を取り扱う。なるべくいい証明をつけます。我々が普段、無意識に使用している定理にも意外と深い真理を見出してきっと感銘をうけられるでしょう。予備知識は前提としないが、教科書をよく読み積極的に授業に参加してもらいたい。尚、便宜上科目名は基礎数学となっておりますが、他の数学の授業と同じレベルであることを申し添えておきます。“基礎”という文言にこだわらないで下さい。

#### 〔教科書〕

北村泰一著『数論入門（改訂版）』槇書店

#### 基礎数学

「整数の合同と平方剰余の相互法則」

2単位 秋学期

山内 憲一

#### 〔授業科目の内容〕

この講義は基礎数学（初等整数論）と密接に関連しているが、予備知識や基礎数学の内容を前提としないで授業を進めて行く。我々は7で割って余りが同じであるような日付け（たとえば4月2日、9日、16日）には、同じ曜日を当てる。このようなことは時刻を表わすときにも生じる。（今度は7の代わりに12が基準となる。）これらのことを抽象化して、整数の合同という概念が得られる。これは整数論ばかりでなく、代数学に於ても基本的な役割をはたす。平方剰余の相互法則はガウスによって証明された。それまではクイズ的な性格をもった整数論を、ガウスはこの定理を証明することによって学問的な水準にまで引き上げた。1920年高木貞治博士が類体論を証明したが、平方剰余の相互法則はこの類体論の原形をなすものである。またこれはフェルマーの大定理の解決にも深くかかわっている。このように平方剰余の相互法則は整数論に於て本質的な意味をもっている。証明も時間をかけてできるだけいいにしますので、その定理

の意味するところをよく理解してもらいたい。また理解を助ける意味で沢山の例題や計算問題を扱う予定である。尚、便宜上科目名は基礎数学となっておりますが、他の数学の授業と同じレベルであることを申し添えておきます。“基礎”という文言にこだわらないで下さい。

#### 〔教科書〕

北村泰一著『数論入門（改訂版）』槇書店

#### 基礎統計学

2単位 春学期

中野 文平

#### 〔授業科目の内容〕

コインを何回か振ったとき表が出る回数は、およそ $1/2$ と予想されるが、実際、10回程度振ったとき、いつも振った回数 $1/2$ だけ表が出るとは限らない。しかし、多数回振れば、表が出る回数は、 $1/2$ にだんだん近くなるであろう。このような現象は、私たちの身の回りにいろいろあり、たくさんのデータがあって初めてその様子が分かる現象である。ここでは、多数あるデータの取り扱いの基礎を解説する。

#### 1章 順列・組み合わせ

(1) 順列 (2) 組み合わせ (3) 二項定理と組み合わせ

#### 2章 確率

(1) 専門用語と記号 (2) 和の法則 (3) 乗法定理 (4) 余事象の定理 (5) ベルヌイ試行 (6) メレの臨界値

#### 3章 確率変数と確率分布

(1) 離散型確率変数 (2) 連続型確率変数 (3) 確率の平均 (4) 分散・標準偏差 (5) 確率変数の変換

#### 4章 代表的な確率分布

(1) 二項分布 (2) 二項分布の平均・分散・標準偏差 (3) 大数の法則 (4) 正規分布 (5) 標準化正規分布 (6) 標準化正規分布とその応用

#### 5章 データの整理

(1) 頻度分布 (2) 頻度分布表 (3) 累積分布関数 (4) 資料の代表値

#### 〔教科書〕

勝野恵子著『確率・統計入門』八千代出版

#### 〔参考書〕

福井幸男著『知の統計学』共立出版

#### 基礎統計学

2単位 秋学期

中野 文平

#### 〔授業科目の内容〕

基礎統計学では確率の基礎とデータ整理まで学んだので、後期では体重と身長の関係などの扱い方、シミュレーション実験の基礎としての乱数の発生と使い方、標本調査の話などを解説する。基礎統計学を学んでいることを前提として進める。

#### 6章 相関関係

- (1) 共分散 (2) 相関関係 (3) 相関係数 (4) 回帰直線  
7章 確率現象のコンピュータシミュレーション  
(1) 乱数とは (2) 一様乱数 (3) 正規乱数 (4) 二項乱数 (5) Excelを用いた様々な乱数の発生と分布の作成  
8章 母集団と標本  
(1) 母集団 (2) 標本調査 (3) 確率変数の一次結合の平均と分散 (4) 中心極限定理  
9章 推定  
(1) 点推定 (2) 不偏推定量 (3) 母平均の区間推定 (4) t分布 (5) 母比率の区間推定 (6) カイ自乗分布 (7) 母分散の区間推定  
10章 仮説検定  
(1) 帰無仮説 (2) 片側検定と両側検定 (3) 平均値の検定

【教科書】

勝野恵子著『確率・統計入門』八千代出版

【参考書】

福井幸男著『知の統計学』共立出版

数学

「微分と積分」

2単位 春学期  
山内 憲一

【授業科目の内容】

この講義の中心テーマは微分法と積分法である。微分法の基本的な考え方は関数のある点の近くにおける行動を一次関数で近似するという、幾何学的に言えば直線で近似するということである。この単純なアイデアが大変有効で、経済学やその他の分野において大いに応用されている。

また積分法に関して言えば、長さ、面積、体積などを求める求積法はギリシャ時代からいろいろと考えられている。しかし17世紀にニュートンとライプニッツにより微分法が発見されてからは、微分法の逆演算を用いれば求積問題が統一的に解けることがわかり、それによって求積法が長足の進歩を遂げた。微分法の逆演算が積分法であり、積分法は求積問題だけではなく多くの問題を解決するのに利用されている。

この講義では理論的な厳密さよりも多くの具体的な問題を解くことによって基本的な考え方を理解してもらうように努力する。

【教科書】

渡部隆一・深見哲造著『文科系の数学(第4版)』森北出版

数学

「線形代数入門」

2単位 秋学期  
山内 憲一

【授業科目の内容】

この講義の中心テーマはベクトル、行列と行列式である。

社会科学における数学的モデルでは、1つの数値ではなく、いくつかの数値の組によって表現される量がしば

しば登場する。そのような量はベクトルで表し、日常接している平面や空間にあてはめて考えると直感的でわかりやすい。我々はまず平面ベクトルと空間ベクトルについて学び、その応用として基本的な図形の方程式やその性質を調べることにする。

さらに進んで一般のベクトル空間を定義する。そうすれば平面上(或いは空間上)の向きと大きさをもった量の集まりはベクトル空間になるし、 $m \times n$ 型行列の全体もベクトル空間になる。これら以外にもベクトル空間の例は社会現象の中に沢山存在する。このことは形式的で公理的な取り扱いが可能であることを意味するものである。

また行列は行列式とも深く関係している。行列式の発見は連立一次方程式の研究に端を発している。重要なことは線形代数のさまざまな概念は行列式を用いることにより簡潔に記述されることである。

多くの具体的な問題を解くことにより明確に内容を理解してもらうように努力する。

【教科書】

渡部隆一・深見哲造著『文科系の数学(第4版)』森北出版

数学

「行動科学における数学(集合論)」

2単位 春学期  
松岡 勝男

【授業科目の内容】

数学は、自然科学、工学はもとより、社会科学、人文科学におけるいろいろな現象の解明のための基本的な道具としての役割を果たしている。そこで、テーマとしては、

- (1) 現代数学の最も重要な基礎をなし、哲学や論理学の現代化にも著しい影響を与えている「集合論」
- (2) 確率論をはじめとして、物理学、工学、統計学、制御理論、学習理論、ORなど、非常に広汎な分野に現れる「エントロピーとマルコフ連鎖」
- (3) 経済、社会、政治、などで現れる競争状態の数学的モデルを扱う「ゲームの理論」などについて、適宜選択の上、「行動科学における数学」という立場から講義する。

【教科書】

特に指定しません。

数学

「行動科学における数学(エントロピーとマルコフ連鎖)」

2単位 秋学期  
松岡 勝男

【授業科目の内容】

数学は、自然科学、工学はもとより、社会科学、人文科学におけるいろいろな現象の解明のための基本的な道具としての役割を果たしている。そこで、テーマとしては、

- (1) 現代数学の最も重要な基礎をなし、哲学や論理学の

現代化にも著しい影響を与えている「集合論」

- (2) 確率論をはじめとして、物理学、工学、統計学、制御理論、学習理論、ORなど、非常に広汎な分野に現れる「エントロピーとマルコフ連鎖」
- (3) 経済、社会、政治、などで現れる競争状態の数学的モデルを扱う「ゲームの理論」などについて、適宜選択の上、「行動科学における数学」という立場から講義する。

#### 【教科書】

特に指定しません。

#### 統計学

「データの視覚的呈示法と読み取り方」 2単位 春学期  
広田すみれ

#### 【授業科目の内容】

情報化の進んだ現代においてコンピュータによるデータの計量的分析は必須の教養となりつつある。統計学はその基礎であるが、文系にとっては数学の一分野としての印象が強く、ともすれば敬遠しがちなことも事実である。そこで、本講義は「文系のための」社会科学の実証研究の基礎としての統計学の講義を行う。

内容は法学部の学生が調査・分析をしようとする際の入門的知識のうち、特にデータ収集とデータの基本的なまとめ方を中心に講義を行う。また雇用や犯罪などの社会統計を例に、様々なデータの読み取り方や嘘の見破り方、図表による効果的な呈示法など、データの読み方・記述の基礎を視覚的に示しながら講義する。

#### 【教科書】

広田すみれ著『読む統計学 使う統計学(仮題)』慶應義塾大学出版会(2005.3発行予定)

#### 【参考書】

上田尚一著『統計グラフの賢い見方・作り方』講談社ブルーバックス(1988年)

#### 統計学

「データの記述と予測、推測の基礎」 2単位 秋学期  
広田すみれ

#### 【授業科目の内容】

情報社会の進展に伴いインターネット等の媒体を通じ定量的情報を入手できる機会が飛躍的に増大した。これに伴い、これら莫大なデータをコンピュータを利用し適切に処理・理解し、有効利用する能力の重要性もまた高まっている。本講義では調査や実験において収集されるデータを記述・理解する方法について、人口・雇用・環境などの社会統計/国際統計を利用しながら統計学よりやや踏み込んで、具体的な手法から説明する。また、コンピュータでこれらの手法を実行する方法についても簡単に講義する。受講生諸君には「データを解読する楽しみ」を知ってほしい。

#### 【教科書】

広田すみれ著『読む統計学 使う統計学(仮題)』慶應義塾大学出版会(2005.3発行予定)

#### 【参考書】

鳥居泰彦著『はじめての統計学』日本経済新聞社、福井幸男『知の統計学(第2版)』共立出版

#### 統計学

「推測統計学の基礎」

2単位 春学期

大森 貴秀

#### 【授業科目の内容】

統計学の基礎知識(記述統計・確率分布)を持つ学生を対象に、推測統計の論理と基本的な統計検定の手法を解説します。ばらつきを持ったデータを用いてどのようにして事象の白黒を判断できるのかという検定の論理を理解し、実際の個々の検定手法の使い方を実習を通じて身につけてもらうことを目指します。

#### 【教科書】

なし

#### 【参考書】

P.G.ホーエル著、「初等統計学」(培風館、1981、1650円)  
白旗慎吾著「統計解析入門」(共立出版、1992、2400円)  
その他、講義内で適宜紹介します。

#### 統計学

「多変量解析の基礎」

2単位 秋学期

大森 貴秀

#### 【授業科目の内容】

統計検定の基礎知識を持つ学生を対象に、より複雑で多数のデータに対しておこなう多変量解析の主な手法について、その論理を解説し、Excelを用いて計算の実習をおこないます。また、SPSSによる実習を通して、どのようなデータがあるときに、どの分析法を選び、どうやって分析をおこない、どのように結果を解釈するのかについても学んでもらいます。

#### 【教科書】

なし

#### 【参考書】

田中豊・脇本和昌著、「多変量解析法」(現代数学社、1983、2900円)

その他、講義内で適宜紹介します。

#### 情報処理 / 情報処理

2単位 春学期

2単位 秋学期

恩田 憲一 木元 宏次

遠山 朋子 鼠屋 将志

松永 賢次 吉舗 紀子

#### 【授業科目の内容】

日吉ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わり・使用上の倫理的注意などを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要なら加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出ても役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶える

のではなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェア、の仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについても理解することが大切である。

【教科書】

講義のはじめに指示する。

【参考書】

講義中に適宜指示する。

---

情報処理 2単位 春学期  
担当者未定

---

4月に法学部掲示板を参照のこと。

---

情報処理 2単位 秋学期  
担当者未定

---

4月に法学部掲示板を参照のこと。

## 法律学科

### 2004年度以前入学者参照

2004年度以前入学者が法学（憲法を含む）・憲法・民法・刑法・民法演習を履修する場合は下記の表に従ってシラバスを参照してください。

2004年度以前入学者の科目名	春学期のシラバス	秋学期のシラバス
法学(憲法を含む)	法学（憲法を含む）	法学（憲法を含む）
憲法	憲法 A	憲法 B
民法	民法 A	民法 B
刑法	刑法 A	刑法 B
民法演習	民法演習 A	民法演習 B

---

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）\*2004年度以前入学者

2単位 春学期

4単位 通年

霞 信彦

---

### 【授業科目の内容】

本講義は、今後「法」との長い関わりをもつことになるであろう諸君達が、そのスタートにあたって、どうしても知っておかなければならない最も基礎的かつ必須の事項について、共通知識をもってもらうことを目的として開講される。本講義では、まずわが国において「法」を学習するために必要な諸種の基本情報を提供したいと思う。すなわち、現行司法制度の概要と問題点、今回の司法制度改革の内容（国民の司法参加と陪審・参審制および法曹養成を中心に）、法典近代化の経緯、法律関係基本文献、「六法」の利用方法、法と言葉の諸問題、といった内容を講じるつもりである。

### 【教科書】

霞信彦『法学講義ノート』慶應義塾大学出版会

授業出席に際しては、必ず「六法」を持参すること（ただし最初の授業において「六法」についてのガイダンスをするので、それを聞いてから選択することをすすめる）

### 【参考書】

講義において必要に応じて指摘する

---

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）\*2004年度以前入学者

2単位 秋学期

4単位 通年

霞 信彦

---

### 【授業科目の内容】

本講義は、「法学」に連続し、今後「法」との長い関わりをもつことになるであろう諸君達が、そのスタートにあたって、どうしても知っておかなければならない最も基礎的かつ必須の事項について、共通知識をもってもらうことを目的として開講される。ここでは、「法律

学」に取り組むための基礎知識として、法の存在形式、法の種類、法の効力、法の解釈と適用、法律学の学問体系等について、逐次述べていきたいと思う。併せて、上掲各項目の説明を進めるなかで、必要に応じて、わが国の法の歴史や、明治期以降の重要著名判例についても紹介する機会をもちたいと考えている。受講を通じて、学生諸君の「法」への、より強い興味が喚起できればと望んでいる。

#### 【教科書】

霞信彦『法学講義ノート』慶應義塾大学出版会  
授業出席に際しては、必ず「六法」を持参すること

#### 【参考書】

講義において必要に応じて指摘する。

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）\*2004年度以前入学者

「法を学ぶ - 基礎編 - 」 2単位 春学期  
4単位 通年  
森 征一

#### 【授業科目の内容】

これから法学を専門に学ぼうとする者が、「法とは何か」という法学の究極的な問いに対する答えを探し求めて旅立つ前に、先ず知っておかなければならない法の基本的な知識を学びます。

#### 【教科書】

特に指定しません。その都度、講義内容に即した資料プリントを教材として配布します。

#### 【参考書】

五十嵐清『法学入門』（一粒社）池田真朗他『法の世界へ』（有斐閣）倉沢康一郎『ブレップ 法と法学』（弘文堂）P.カラマンドレイ（小島・森訳）『訴訟と民主主義』（中央大学出版局）

法学（憲法を含む）/

法学（憲法を含む）\*2004年度以前入学者

「法を考える - 応用編 - 」 2単位 秋学期  
4単位 通年  
森 征一

#### 【授業科目の内容】

これから法学を専門に学ぼうとする者が、「法とは何か」という法学の究極的な問いに対する答えを探し求めて旅立つ前に、先ず考えておかなければならない法の基本的な問題に論じます。

#### 【教科書】

特に指定しません。その都度、講義内容に即した資料プリントを教材として配布します。

#### 【参考書】

五十嵐清『法学入門』（一粒社）池田真朗他『法の世界へ』（有斐閣）倉沢康一郎『ブレップ 法と法学』（弘文堂）P.カラマンドレイ（小島・森訳）『訴訟と民主主義』（中央大学出版局）

憲法 A / 憲法 B /

憲法 \*2004年度以前入学者

「憲法原理と基本的人権」 2単位 春学期 / 秋学期  
4単位 通年

小林 節

#### 【授業科目の内容】

国家生活の基本法たる憲法の基本原則とその憲法が私達に保障している基本的人権について、標準的な見解を体系的に語る。

#### 【教科書】

小林節・園田康博著『憲法』（全訂版）南窓社

#### 【参考書】

小林節・平沢勝栄著『憲法危篤！』KKベストセラーズ

憲法

4単位 通年

「憲法と統治機構」

小林 節

#### 【授業科目の内容】

政治の基本法たる憲法と統治機構の在り方について、標準的な見解を体系的に語る。

#### 【教科書】

小林節・園田康博著『憲法』（全訂版）南窓社

#### 【参考書】

小林節・平沢勝栄著『憲法危篤！』KKベストセラーズ

憲法

4単位 通年

小山 剛

#### 【授業科目の内容】

憲法 では統治について講述する。このうち、前期には、基本概念の整理（国民主権の意義、「ナシオン主権・プープル主権」論争、権力分立の基本理念、法治主義・法の支配など） 国家意思形成の基本構造（代表制、政党、選挙など） 国会（国会の地位と構造、立法権の基本問題、議院の諸権限、議員特権など）について学ぶ。

後期には、議院内閣制（首長制・会議制・議院内閣制の違い、責任本質説・均衡本質説・国民内閣制論、行政権の概念、内閣の構造と権限、独立行政委員会の合憲性など） 司法権の観念（「法律上の争訟」の意味、主観訴訟と客観訴訟の区別、例えば宗教紛争、自律権問題、自由裁量問題、統治行為、団体の内部紛争などの司法の限界の問題） 司法の独立と裁判所の構造、違憲審査制（違憲審査制の類型、違憲判決の効力・事後処理、憲法判断の方法など） 財政、地方自治について学ぶ。

統治を理解するには、国会と地方議会との比較、法律と命令・裁判所規則・条例との比較といった、比較の視点が重要である。講義でもこの点を重視したい。

#### 【教科書】

野中俊彦ほか『憲法（第3版）』有斐閣

【参考書】

適宜指示する。

民法 A /

民法 \*2004年度以前入学者

「民法「総論」 私法入門」 2単位 春学期  
4単位 通年  
齋藤 和夫

【授業科目の内容】

テキスト1頁 - 140頁参照：キーワードを列挙すれば、民法の基本構造・民法学の発展・民法典の成立・民法の基本原則・権利（私権）の体系・私法関係と公法関係・民法典「総則」編の通則性、等

【教科書】

齋藤和夫編『レーアブーフ民法（総則）』（第2版）中央経済社（2004年）

【参考書】

齋藤執筆の参考論文として、現在順次公刊中（民事研修468号・470号・472号・473号・474号・476号・478号・480号・482号・484号・486号・488号・490号以下...法務省総合研究所）

遠藤浩編『民法注解財産法（第1巻民法総則）』（消滅時効制度齋藤執筆）青林書院

民法 B /

民法 \*2004年度以前入学者

「民法典・「総則」編」 2単位 秋学期  
4単位 通年  
齋藤 和夫

【授業科目の内容】

ドイツ民法学の卓越した成果である「総則」編について、単に条文解釈域に留まることなく、その理論的・体系的意義をふまえながら、講義を進めたい。

【教科書】

齋藤和夫編『レーアブーフ民法（総則）』（第2版）中央経済社（2004年）

【参考書】

随時、指示します。

民法 A /

民法 \*2004年度以前入学者

「民法の基本原則と民法総則の基礎理論（1）」 2単位 春学期  
4単位 通年  
松尾 弘

【授業科目の内容】

この授業では、民法の基本原則と民法総則の基礎理論を、具体的な事例に置き換えながら、かつ体系的に理解することを目的とする。それによって法学の基礎知識をしっかりと身に付け、法的思考方法の基本をマスター

するとともに、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。

民法は、私人間の法律関係において、誰に、どのような権利が帰属するのかを決定する実体法の一般原則を定めている。そこには、権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についての基本ルールが含まれている。日本民法はこれらを、総則、物権、債権、親族および相続の5つの部分に分けて規定している。民法 A は、このうちの総則の前半に重点を置き、権利の主体および客体について検討するとともに、法律学の基本概念や民法の基本原則についても解説する。

【教科書】

松尾弘『民法の体系 市民法の基礎（第4版）』慶應義塾大学出版会（2005年 刊行予定）

【参考書】

内田貴『民法（第2版・補訂版）』東京大学出版会（2000年）、川井健『民法概論1（民法総則）（第2版）』有斐閣（2000年）

民法 B /

民法 \*2004年度以前入学者

「民法の基本原則と民法総則の基礎理論（2）」 2単位 秋学期  
4単位 通年  
松尾 弘

【授業科目の内容】

この授業では、民法の基本原則と民法総則の基礎理論を、具体的な事例に置き換えながら、かつ体系的に理解することを目的とする。それによって法学の基礎知識をしっかりと身に付け、法的思考方法の基本をマスターするとともに、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。

民法は、私人間の法律関係において、誰に、どのような権利が帰属するのかを決定する実体法の一般原則を定めている。そこには、権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についての基本ルールが含まれている。日本民法はこれらを、総則、物権、債権、親族および相続の5つの部分に分けて規定している。民法 B は、このうちの総則の後半に重点を置き、権利の変動について検討するとともに、権利の一般原則についても解説する。

【教科書】

松尾弘『民法の体系 市民法の基礎（第4版）』慶應義塾大学出版会（2005年 刊行予定）

【参考書】

内田貴『民法（第2版・補訂版）』東京大学出版会（2000年）、川井健『民法概論1（民法総則）（第2版）』有斐閣（2000年）

## 民法

(春学期)「物権法」

(秋学期)「担保物権法 - 民法典中の担保物権 - 」

4単位 通年

(春)花房 博文

(秋)斎藤 和夫

## (春学期)

## 〔授業科目の内容〕

本講義は、前・後期を通じて民法典第二編「物権」を対象とした講義です。春学期は、第一章「総則」から第六章「地役権」までを範囲とし、物権の分類、物権変動、登記の機能や、所有権（共有も含む）・占有権・用益物権等に関する効力等を説明します。

前半（春学期）の講義では、特に、排他的な支配権を確立させるための前提となる制度、物権変動における静的安全と動的安全の調和、共同所有・共同利用関係の法理、多数の権利者間における権利の優先関係を決定する基準、等への理解を深めていただき、秋学期以降の講義へと繋げたいと考えています。

## 〔教科書〕

本年度は特に指定はしませんが、さし当たり淡路・鎌田他編『民法 - 物権法（第2版補訂）』有斐閣Sシリーズ（有斐閣、2003年、1900円）を推選します。

また、理解状況をみながらレジュメを配布したり、適宜指示したいと考えています。

## 〔参考書〕

適宜指示します。

## (秋学期)

## 〔授業科目の内容〕

民法典中の担保物権、民事執行法による実行手続が二つの柱となります。

## 〔教科書〕

レジュメ配布の予定。

## 〔参考書〕

随時、指示します。

浦野編・基本法コンメンタール・民事執行法（第5版）（担保権の実行：斎藤）・日本評論社・2004年

## 民法

「物権法の基礎および諸問題」

4単位 通年

武川 幸嗣

## 〔授業科目の内容〕

民法の物権法分野に関する講義を行なう。物権とは、特定の物を支配することにより財産的利益を享受する権利であるが、その種類、内容はどのようなものであるか、いかなる規律が設けられているか、その運用をめくり、どういった問題が生じているか。これらを明快に説きながら、基本的理解の確立と問題思考力の養成を図りたい。講義は、担当者作成・配布によるレジュメにしたがって

行なう。

## 〔教科書〕

自習用テキストとして、森泉章『物権法』日本評論社、森泉章『担保物権法』日本評論社（秋に補訂版を刊行予定）

## 〔参考書〕

同上

## 民法

「契約および不法行為の基礎理論」

4単位 通年

(春)片山 直也

(秋)北居 功

## 〔授業科目の内容〕

債権各論（契約、事務管理、不当利得および不法行為）

## 〔教科書〕

特に指定しない。担当教員の作成したレジュメを配布する。

## 〔参考書〕

講義の初回に解説する。

## 民法

「債権各論」

4単位 通年

平野 裕之

## 〔授業科目の内容〕

本講義では、講学上「債権各論」と呼ばれる、民法典の契約の部分から不法行為まで（521条から724条まで）の部分の講義する。専門的な法的知識や応用能力などは、専門演習また法科大学院で習得することになっているので、ここでは、法科大学院の入試で既修者として認定を受けられるために十分な知識を習得できるよう、要領よく判例・学説を説明していく。2年生を対象としているため、なるべく事例を挙げながら分かりやすい講義に勤めたい。対象領域が膨大であるため、なるべくすべての領域を話すことができるようにしたいと思っているが、そのためにはかなりのスピードアップをしなければならないという、ジレンマがある。予習をしている者がついていける程度のスピードに止める予定である。

## 〔教科書〕

私の教科書で恐縮であるが、平野裕之『基礎コース民法（第3版）』（新世社）を用いて、これをペースメーカーとして進めていく。ただし、飽くまでも全体をざっと理解するための概説書であるので、詳しい勉強をしようとする場合には、より詳しい教科書を併読する必要があり、参考書は次に説明する。

## 〔参考書〕

特に指定しない。判例ものは教科書の副読本として必ず何かを用意し、講義の予習・復習の際に目を通していただきたい。『民法判例百選』（百選と俗称されるシリーズ。有斐閣）、『新判例マニュアル債権各論』（三省堂）、『判例講義民法 債権』（悠々社）は解説つきであるが、『民法判例集（債権各論）』（有斐閣）は解説がない。教科書と併読するのであれば、解説のない後者で十分である。現行司法試験受験生に多く支持されているのは、内

田貴『民法 債権各論』（東大出版会）であるが、近時の教科書としては、その他に近江幸治『契約法』『事務管理・不当利得・不法行為』（成文同）、加藤雅信『事務管理・不当利得・不法行為』（有斐閣）を参考書としてあげておく。

刑法 A /

刑法 \*2004年度以前入学者

「刑法の基礎理論と解釈論入門」

2単位 春学期

4単位 通年

伊東 研祐

#### 〔授業科目の内容〕

本講義は、刑法 Bと実質的には一体化して展開されるものである。刑事法の全体像・枠組みを全法秩序との関連において把握すると共に、その各領域を支配・構成する諸理念・原則等を概観し、特に刑法に関ひて詳細に検討し、確実に理解することを、第1の目的とする。次いで、近時における幾つかの身近な社会的問題への刑法的対応の可能性、それがもたらす理念的変動の批判的検討等を通じて、現代社会における刑法解釈論の基礎を固めることを第2の目的とする。今後、刑法・同・刑事訴訟法・刑事政策・被害者学等々の刑事法を学習していく上で常に立ち返ることの必要な正に基礎となる理論（学）領域を対象とするものである。

#### 〔教科書〕

伊東研祐（編著）『はじめての刑法』、成文堂（2004年）、『別冊ジュリスト刑法判例百選 総論 [第5版]』、有斐閣（2003年）

#### 〔参考書〕

授業の進行に伴い、適宜、授業中に指示する。

刑法 B /

刑法 \*2004年度以前入学者

「刑法の基礎理論と解釈論入門」

2単位 秋学期

4単位 通年

伊東 研祐

#### 〔授業科目の内容〕

本講義は、刑法 Aと実質的には一体化して展開されるものである。刑事法の全体像・枠組みを全法秩序との関連において把握すると共に、その各領域を支配・構成する諸理念・原則等を概観し、特に刑法に関するものを詳細に検討して、確実に理解することを、第1の目的とする。次いで、近時における幾つかの身近な社会的問題への刑事法的対応の可能性、それがもたらす理念的変動の批判的検討等を通じて、現代社会における刑法解釈論の基礎を固めることを第2の目的とする。今後、刑法・同・刑事訴訟法・刑事政策・被害者学等々の刑事法を学習していく上で常に立ち返ることの必要な正に基礎となる理論（学）領域を対象とするものである。

#### 〔教科書〕

伊東研祐（編著）『はじめての刑法』、成文堂（2004年）、『別冊ジュリスト刑法判例百選 総論 [第5版]』、有斐閣

（2003年）

#### 〔参考書〕

授業の進行に伴い、適宜、授業中に指示する。

刑法 A / 刑法 B

刑法 \*2004年度以前入学者

各2単位 春学期 / 秋学期

4単位 通年

加藤 久雄

#### 〔授業科目の内容〕

刑法（A）前期・（B）後期は、通年で4単位の必須科目である。従って、授業内容も前期・後期を分けていない。

刑法 で学ぶ基本的問題点と学習の仕方：

刑法 では、刑事法学（刑法総論・各論、刑事訴訟法、刑事政策 少年法、行刑法、犯罪者処遇制度 など）と言われる領域の諸問題を総合的に学習する科目である。拙著「加藤久雄『ポストゲノム社会における医事刑法入門』新訂版・2004年・東京法令出版」を教科書として、刑事法学に関する基礎的知識を学んで行く。わたしの講義は、「刑事法学は人間学である」というテーゼからスタートする。わたしの「刑事法学」研究のアプローチは、学祖福澤諭吉先生の現場主義、人道主義、人間平等主義に基礎を置いたものである。刑法の目的・機能とは何か、刑法はどのような法益（国家・社会・個人）を保護することにより犯罪の予防と防止、社会の安全の確保、犯罪者と被害者の権利の確保をしようとしているのか、などについて学んでいく。

刑法を学ぶ上での基本的視点として、人道主義的な刑事政策の「最後の手段性」（ウルティマ・ラティオ）という性質から派生する（1）罪刑法定主義、（2）責任主義、（3）刑法の謙抑性・補充性の原則を尊重するところにある。これらの重要なキーワードである「罪刑法定主義」とは、「責任主義」とは何かなどについて具体的・基礎的判例・学説について学んでいく。

刑法の基礎判例の徹底的研究：例えば、（1）信賴の原則（最高裁昭和42年10月13日）、（2）刑法における生命の「始期」と「終期」：末期医療における刑法の介入（東海大学病院殺人被告事件判決）、（3）統合失調症（精神分裂病）犯罪者の刑事責任能力の判定（元自衛官の殺人・殺人未遂事件：最高裁第2小法廷判1978年3月24日刑集32巻2号408頁以下）などの基本的判例の分析・検討の仕方を学ぶ。

隣接諸科学の研究の必要性：科学鑑定と刑事司法制度運用の科学化に関して、例えば、（1）刑事訴訟手続きにおけるDNA鑑定、（2）染色体異常と刑事責任能力、（3）SIDS（乳幼児突然死症候群）訴訟と司法鑑定制度などのテーマを検討することにより隣接諸科学への関心を広げ、刑法の研究対象となるテーマを学際的に研究していく方法を学ぶ。

比較法的アプローチの重要性：ボーダーレス社会における刑法解釈論にとって大切なのは、日本人のみに通用する独り善がりの狭い価値観に基づく法解釈を克服する

ために国際的な視野を身に付けることである。この国際比較法的アプローチにとって重要なのは、マスメディアなどの情報だけに頼らず情報のオリジナリティーを求めるのは当然であるが、可能なかぎり、現場主義に基づいて情報の正確性や客観性を確認するか、その情報の時代背景、著者の基本的立場、他の関連著作や情報との比較を行って、参考にしていく必要がある。法律学に入門したばかりの諸君には、まだこうしたアプローチの方法は難しいので、国際経験に基づくわたしの講義における情報を通してこうしたアプローチの方法を身につけて、「刑事法学」は「人間」を理解するために必要な法領域であることを学んでほしい。

#### 【教科書】

加藤久雄『ポストゲノム社会における医事刑法入門』（新訂版）東京法令出版（2004年）

#### 【参考書】

加藤久雄『人格障害犯罪者と社会治療』成文堂（2003年）、井田良『基礎から学ぶ刑事法』有斐閣（2002年）、伊藤孝夫『瀧川幸辰 汝の道を歩めー』ミネルウア書房（2003年）

刑法	4単位 通年 鈴木左斗志
----	-----------------

#### 【授業科目の内容】

「刑法典第2編 罪」に規定されている個別の犯罪の検討

#### 【教科書】

西田典之・山口厚・佐伯仁志 編『判例刑法各論』有斐閣

#### 【参考書】

最初の講義で説明する。

刑法	4単位 通年 高橋 則夫
----	-----------------

#### 【授業科目の内容】

刑法総論が犯罪の一般的成立要件すなわち構成要件該当性・違法性・責任を中核とする犯罪論体系を問題とするのに対して、刑法各論は個々の具体的な犯罪（殺人罪、窃盗罪など）の成立要件を問題とする。

刑法各論は、各構成要件上保護される法益によって、その対象を区分する。すなわち、個人的法益、社会的法益、国家的法益の三分類がこれである。この中でもとくに重要な領域は財産犯であり、財産犯については体系的に全体を包括する形で勉強することが望ましい。

刑法各論における解釈論の基本的視点は次のとおりである。

各規定の解釈論の現状を明確に把握する必要がある。そのためには、判例と学説を整理して学習し、よく検討し、自分が採用したいと考える説を選択し、自説の根拠づけと反対説に対する批判を熟考しなければならない。

各犯罪の解釈に際して、現実的な意味、機能および実益という観点から考察することも必要である。

総論における基本的アプローチ、とくに行為無価値と結果無価値の対立が各論における解釈にどのように反映しているかを考える必要がある。

憲法との関係・接点を意識して各論の解釈を展開する必要がある。刑法の憲法的前提を解釈の枠組みとして設定する必要がある。

そして、最後に、処罰の限界を明確化させなければならない。

#### 【教科書】

高橋則夫著『刑法各論講義ファイル』成文堂、大谷實著『新版刑法講義各論（追補版）』成文堂

#### 【参考書】

『刑法判例百選 各論（第5版）』有斐閣

民法演習 A /			
民法演習	*2004年度以前入学者	2単位	春学期
		4単位	通年
			小坏 淳子

#### 【授業科目の内容】

初めて民法を勉強する方を対象に、民法総則の基礎的な理解を目標とします。

最初に民法全体の構造を見渡した後、具体的事例について考えながら民法総則の条文を読み、基礎的知識を習得し、法解釈の考え方を学びます。

#### 【教科書】

特に指定しませんが、各自何か1冊用意をして、授業で扱った部分を読み進めることをお勧めします。

#### 【参考書】

内田貴著『民法（第2版）』（補訂版）東京大学出版会

民法演習 B /			
民法演習	*2004年度以前入学者	2単位	秋学期
		4単位	通年
			小坏 淳子

#### 【授業科目の内容】

前期に続き、民法総則の基礎的理解を前提に、事例問題を考えながら、民法総則についての理解を深め、法律家らしい考え方を身に付けることを目標とします。

#### 【教科書】

特に指定しませんが、各自何か1冊用意をして、授業で扱った部分を読み進めることをお勧めします。

#### 【参考書】

内田貴著『民法（第2版）』（補訂版）東京大学出版会

---

民法演習 A /			
民法演習 *2004年度以前入学者	2単位	春学期	
	4単位	通年	
			菅野 智巳

---

**〔授業科目の内容〕**

主として民法総則分野にかかわる事例を題材に議論を行うことにより、法律的な考え方、民法的な思考法を身につけることを目的とします。あわせて総則分野の基本的知識の習得を目指します。当初は基本的概念の解説が主になりますが、できるだけ受講生に具体的な事例について議論してもらえらる場面を設けたいと考えています。

**〔教科書〕**

内田貴『民法（総則・物権）』

**〔参考書〕**

ガイダンスで紹介します。

---

民法演習 B /			
民法演習 *2004年度以前入学者	2単位	秋学期	
	4単位	通年	
			菅野 智巳

---

**〔授業科目の内容〕**

前半（A）に引き続き、事例演習を主に行う。

---

民法演習 A /			
民法演習 *2004年度以前入学者	2単位	春学期	
「民法入門 民法総則を理解する」	4単位	通年	
			菅原万里子

---

**〔授業科目の内容〕**

民法総則について、授業時間前半では学部での講義を念頭においてその補習的な意味合いを含めた形で講義を行う。適宜リーディングケースとなる判例を中心に説明を加えていきたい。授業時間後半では、事例解決のための演習問題、実社会での役立つ法律問題についての演習をしていきたい。（民法演習 Aでは民法の構造から民法総則の法律行為総則までを予定し、民法演習 BではAに引き続き法律行為から時効までを予定している）

**〔教科書〕**

適宜指定する。

**〔参考書〕**

内田貴著『民法』東大出版会、『判例百選民法』

---

民法演習 B /			
民法演習 *2004年度以前入学者	2単位	秋学期	
「民法入門 民法総則を理解する」	4単位	通年	
			菅原万里子

---

**〔授業科目の内容〕**

前期民法演習 Aに引き続き、民法総則を学ぶ。授業時間前半は補習的講義、授業時間後半は演習。演習は実務的なものから判例研究までバラエティをもって行いたい。尚、後期の演習については、受講者のレベルに応じ、場合によっては司法試験の試験問題もテーマに取り入れて実施する。

**〔教科書〕**

適宜指定する。

**〔参考書〕**

内田貴著『民法』東大出版会、『判例百選民法』

---

民法演習			
「物権法の基本的知識と事例分析力を修得するための科目」	4単位	通年	
			浅井 隆

---

**〔授業科目の内容〕**

授業の目的は、物権分野の、(1)基礎知識の習得と、(2)事例を考えることによって応用力を身につけることです。

そして授業は、当初の数ヶ月間は基礎知識の習得を重点に、その後は事例中心に行う予定です。事例を考えることで学生のみなさんが、いわゆるリーガルマインドを身につけられることを期待しています。

教科書は、内田貴著「民法」（総則・物権総論）、同「民法」第2版（債権総論・担保物権）を使用し、事例問題についても、同教科書にある事例を中心に使います。

各授業は、対象範囲をあらかじめ指定しますので、事前にその部分を読んで参加すると、より効果が上がるようになっています。また、六法は、必ず用意して授業に出席してください。

**〔教科書〕**

内田貴著『民法』、同『民法』（第2版）東京大学出版会

**〔参考書〕**

六法（模範六法がよりベター）

---

民法演習			
「民法の基礎を習得する」	4単位	通年	
			岡 伸浩

---

**〔授業科目の内容〕**

民法の物権法、担保物権法の分野を中心に、基本的事項を習得することを目指します。原則として講義形式とし、随所に民法総則の復習を織り交ぜながら、指定の教科書の内容をわかりやすく解説します。

教科書に掲載された事例や参考書として指定した判例百選の重要判例の検討を通じて、民法の考え方や事例分析能力を身に付け、塾生の皆さんが興味をもって楽しみながら学習できるよう工夫したいと考えています。また、弁護士としての法律実務の話などにも触れたいと考えています。

前半は物権法、後半は担保物権法を対象とする予定です。毎回、指定教科書（前半は「民法」、後半は「民

法』)と六法全書、判例百選を持参して下さい。

【教科書】

内田貴『民法 総則・物権総論』(第2版補訂版)、  
『民法 債権総論・担保物権』(第2版)東京大学出版  
会

【参考書】

「民法判例百選 総則・物権」(第5版)ジュリスト

民法演習 4単位 通年  
流矢 大士

【授業科目の内容】

民法総則を一通り学習し、民法物権法をこれから学習しようとする諸君を対象とします。

「法律的なものの考え方」「民法的なものの考え方」の基本を習得し、さらに理解を深めることを目的とします。また、訴訟実務を念頭に置き、訴状の記載事項、主張と認否、要件事実、立証責任、民事執行法等についても学習します。

教科書として内田貴著『民法』(第2版)補訂版、  
『民法』(第2版)(東京大学出版会)を指定します。精  
読して行きますので、各自で用意して下さい。

範囲は、前期は物権総論、後期は担保物権を中心に行  
います。

最初は、教科書に従って、基本的な概念、用語の意味、  
制度趣旨・立法趣旨の把握等に主眼をおいて進めます  
が、それと共に、実際の判例や演習問題を題材として、  
紛争解決に向けての心構え、考え方、結論の出し方等を  
みんなで考えて行きます。したがって、受講生一人ひと  
りの考え方を聞いて行きます。

なお、毎回出席を取ります。

【教科書】

内田貴著『民法』(第2版)補訂版、『民法』(第2  
版)(東京大学出版会)

【参考書】

我妻栄著『新訂担保物権法』(民法講義 )岩波書店、  
『民法判例百選 総則・物権』(第5版)(別冊ジュリス  
トNo.159、有斐閣)

法学情報処理 2単位 秋学期  
池田 真朗 高山 正也 他

【授業科目の内容】

この講義においては、法学研究および生涯学習に必要な各種の学術情報源、情報処理方法、図書館利用法について説明するとともに、法学関係資料・文献の利用法、法学論文の書き方などについて解説する。各テーマにつき、本塾大学文学部教授(図書館・情報学専攻)高山正也、原田隆史、法学部法律学科の池田真朗、井田良ら(担当者には追加変更があり得る)がそれぞれ講義を担当し、メディアセンター職員が図書館利用法について説明を行う。

【教科書】

web site 上におかれている「資料検索法テキスト」を利用する。

<http://www.slis.keio.ac.jp/~takayama/library/> で教科書(「資料検索法テキスト」)にアクセス可。

【参考書】

いしかわよりこ=村井のり子=藤井康子『リーガル・リサーチ』日本評論社(2003年)

団体法 2単位 春学期  
阿久沢利明

【授業科目の内容】

権利の主体は、自然人と法人に分かれる。われわれは、民法その他の法分野における法律関係を考えるとき、自然人という個人を念頭において考えがちである。しかし、人の人たるゆえんは、団体に結合することにあると言われるように、個人の限界を意識して、人と人が重合して大きな力を発揮する団体の存在が歴史を支えてきたことも事実である。われわれは、自然人個人に対してもう一方の法主体である法人を中心とした団体について、その存在の意義と内容および使命・課題を十分理解しておく必要があるであろう。

本講義は、そこで、以下のようなことを明らかにしたい。

【教科書】

森泉章著『新・法人法入門』有斐閣(2004年 2300円)

法制史 (基礎) /  
法制史(基礎)\*2004年度以前入学者  
「法と文化の歴史的展開」 2単位 春学期  
4単位 通年(春学期分)  
森 征一 岩谷 十郎(共同担当)

【授業科目の内容】

日本の現行法システムを形成する制度的・思想的基幹部分は、その殆どが明治時代以降に西欧諸国から導入されたものである。本講義では、東西の様々な法文化論的観点から法を語る枠組みを受講者に提示し、法を形作る文化的要素やその歴史的形成過程の諸相を学んでゆくことを目的としている。

春学期は(または「法制史(基礎)」は)その前半部分においては、古代ローマ法に遡る西洋における法の歴史を入門的に概説しつつ、現在のEUを形成する諸国法の法文化的な多様性と一体性について講述する。それをふまえて、後半部分では、「書かれた法」のみならず「描かれた法」を素材として取り上げ、法および法律学をその背景としての歴史や文化との関連から語り出す新しい視点を提示してみたい。古来より西洋では法はどのようにイメージされ図像として残されてきたのか。様々な絵画や彫刻などに表象された「法」を読み解く方法を講義する。

【教科書】

森征一・岩谷十郎他編著『法と正義のイコノロジー』慶應義塾大学出版会

【参考書】

勝田有恒・森征一・山内進編著『概説西洋法制史』ミネルヴァ書房

法制史（基礎）／

法制史（基礎）＊2004年度以前入学者

「法と文化の歴史的展開」 2単位 秋学期  
4単位 通年(秋学期分)  
森 征一 岩谷 十郎

【授業科目の内容】

春学期（「法制史（基礎）」）にて展開された課題を特に日本を素材としてさらに深めてゆく。前半部分では、西洋法との接触の中で形成されていった近代日本の法はどのようなシンボルを歴史の中に産み落としたのか。「図像の中の法」の比較を通して、西洋と我が国における法観念、法文化の異同に受講者の関心を拓くことを目的とする(以上は、春学期（「法制史（基礎）」）同様、下記の教科書1を用いる)。また本講義の後半部分では視点を変えて、近代日本におけるお雇い法律顧問が、日本法の近代化に果たした役割について解説する。アメリカ、イギリス、フランス、ドイツ、イタリア、オランダといった西洋諸国から招聴された異文化の法律家たちが、異国の日本にどのように生き、また近代日本の法制度の形成にいかに関わったのか、具体的な出来事や人物をあげて説明する。なお、授業では、慶應義塾における法学教育の歴史にも言及し、福澤諭吉の法思想についても時間を割いて解説する(下記の教科書2を購入され受講されたい)。

【教科書】

教科書1：森征一・岩谷十郎他編著『法と正義のイコノロジー』慶應義塾大学出版会

教科書2：森征一・安西敏三・岩谷十郎編著『福澤諭吉の法思想』慶應義塾大学出版会

【参考書】

授業内で適宜紹介する。必要に応じてプリントを配布する。

法制史（基礎）／

法制史（基礎）＊2004年度以前入学者

2単位 春学期  
4単位 通年(春学期分)  
霞 信彦

【授業科目の内容】

法律学という学問に取り組み、これから長い期間にわたり法との関わりをもつであろう学生諸君にとって、古代より近代までのわが国の法の変遷を承知することは、法に対する知見を広げ、現行法理解に向けて豊かな基礎力を涵養するために、有効な手段のひとつであると考えられる。そこで本年度日吉では、古代を中心として、主に、国家制度・刑法・刑事裁判・刑事政策に焦点を定め、日

本法の足跡をたどり論じてみたいと思う。なお、本講義は、「法制史（基礎）」および三田において霞が担当している「法制史（日本）」に連続するものであり、それらの講義を聞くことを通じて、学生諸君は、通史的に、わが国の法の流れを俯瞰することができることとなる。

さて、具体的な内容であるが、まず上古における「つみ」とはいかなるものであったのか、記紀にみる神話の世界にも視野を広げつつ、考えてみたい。次いで、聖徳太子の手になるといわれる「憲法十七条」をとりあげ、制定にいたる背景や各条の内容が置かれた意味について、同法の具体的な条文を読みながら分析するつもりである。さらに、古代律令制発祥の原点ともいべき大化改新という政変をとりあげ、その経緯にふれ、政変成功後に示された「改新詔」の内容について論じてみたい。

【教科書】

霞・漆原・浜野『日本法制史史料集』慶應義塾大学出版会

【参考書】

講義において必要に応じて指摘する

法制史（基礎）／

法制史（基礎）＊2004年度以前入学者

2単位 秋学期  
4単位 通年(秋学期分)  
霞 信彦

【授業科目の内容】

法律学という学問に取り組み、これから長い期間にわたり法との関わりをもつであろう学生諸君にとって、古代より近代までのわが国の法の変遷を承知することは、法に対する知見を広げ、現行法理解に向けて豊かな基礎力を涵養するために、有効な手段のひとつであると考えられる。そこで本年度日吉では、古代を中心として、主に、国家制度・刑法・刑事裁判・刑事政策に焦点を定め、日本法の足跡をたどり論じてみたいと思う。なお、本講義は、「法制史（基礎）」の履修を前提に、三田において霞が担当している「法制史（日本）」に連続するものであり、これらの講義を聞くことを通じて、学生諸君は、通史的に、わが国の法の流れを俯瞰することができることとなる。

さて、具体的な内容であるが、古代法制史の題材として中心的位置を占める、中国法継受の結果わが国にもたらされた「律令」をとりあげ、その編纂過程や具体的な内容を概観するとともに、特にそこにおける官僚制度の仕組みを明らかにし、併せて刑罰規定がいかなるものであったのか、それを適用しての裁判はどのようにおこなわれたのか等を、でき得る限り多面的に明らかにするつもりである。ちなみに、わが国古代の国家基本法である「律令」は、中世へと時代が移る中で、その役割を完全に終えてしまったかのような認識があるが、明治維新後、近代化の波が押し寄せるなかで、わが国が最初に定めた「新律綱領」と名づけられた国家統一刑法典は、まさに律系のものであった。そうした意味で、古代法制への認識をもつことは、単に過去の事実にもふれるに留まらず、

現行法制定までの法継受の過程を正しく知る上でも有用であろう。

【教科書】

霞・漆原・浜野『日本法制史史料集』慶應義塾大学出版会

【参考書】

講義において必要に応じて指摘する

## 政治学科

### 社会科学科目

社会学

4単位 春学期集中  
有末 賢

【授業科目の内容】

社会学は、近代社会の登場と軌を一にして「社会」（社交、世間など）という目に見えない存在の「発見」から出発した。この講義では、第一に「社会」の発見から、社会学の基礎としての行為、関係、相互作用、地位と役割、社会化、集団、制度、組織、構造、変動、情報、コミュニケーション、社会調査などの基礎知識を学ぶ。そして、後半では「21世紀社会」として、ジェンダー、国際化とエスニシティ、高齢化社会と福祉、公害問題と環境社会学、日本の社会学史などについて、講義を行う。基本的には、テキストに沿って解説していくが、抽象的な諸概念を暗記するのではなく、具体的な社会の諸問題を通して現代社会のしくみや変動について、自分自身の頭で考えられるようになるのが授業の目標である。

【教科書】

有末賢・霜野壽亮・関根政美編著『社会学入門』弘文堂（1996年）

【参考書】

- ・川合隆男他『社会学 現代社会学の課題』勁草書房（1984年）
- ・鈴木智之・澤井敦編著『ソシオロジカル・イマジネーション』八千代出版（1997年）

社会学

「社会学でみる現代社会と文化の変動 現代社会学入門」  
4単位 春学期集中  
関根 政美

【授業科目の内容】

従来の講義要綱に相当する部分

本講義では、19世紀の近代社会の生成から現代21世紀初頭までの間、主な社会・文化変動を探求し続けてきた社会学について紹介したい。それは、諸君らが今生きている現代社会を自分の力で分析し、理解し、対応できるようになってほしいからである。基本的には、19世紀後半から20世紀の社会・文化変動を概観し、21世紀の変動について予測してみたい。授業の進行具合により内容の変更はありうるが、必修授業なので第1回目より授業に入る。教科書は2回目授業より必要になる。

【教科書】

有末賢・霜野壽亮・関根政美編著『社会学入門』弘文堂（1997年）。教科書は授業の予習・復習に欠かせないものである。必ず購入すること。

【参考書】

宮島喬編『岩波小辞典 社会学』2003年10月。社会学の授業を効率的に進めるため、簡単な概念はこの辞書参

照で済ませるので、できるだけ購入し利用すること。

法学（憲法を含む）  
「法と権利」

4単位 春学期集中  
島原 宏明

#### 【授業科目の内容】

秩序を守るための「国家権力」の必要性和、そのフレームワークとしての法との関係を総論的に考察すると同時に、刑法、民法、商法等の体系と、それらにおける具体的な法の適用場面の解説を通して、その意義を見据えていく。

1年間の講義を聴くだけで法的な思考力が身に付くわけではないが、法律ないしは法学に興味を持つための導入部として、意味のあるものになりたい。

#### 【教科書】

使用しない。

#### 【参考書】

開講時に指示する。

法学（憲法を含む）  
「私たちの社会に存在する法と、その性質の理解」

4単位 春学期集中  
三上 威彦

#### 【授業科目の内容】

第1編 序論的考察	
法学を学ぶにあたって	2回
1. 文献案内等	
2. 法学を学ぶ意義 - 我々はなぜ法学を学ぶのか -	
日本法の歩み	2回
第2編 私たちの暮らす社会と法	
わが国の憲法	2回
日常生活における契約 - 民法の話 -	2回
日常生活における事故 - 民法の話 -	2回
家族関係と法 - 民法の話 -	2回
犯罪と刑罰 - 刑法の話 -	2回
企業活動と法 - 商法を中心に -	2回
雇用と法 - 労働法の話 -	1回
紛争とその解決 - 民事裁判の話 -	3回
第3編 法の性質	
法規範と他の社会規範	1回
法規範の特色	1回
法の存在形態・分類と法の効力	2回
法源と法の解釈	2回
合計	26回

#### 【教科書】

教科書はとくに指定しないで、毎回かなり詳しいレジユメを配布して授業を進める。

#### 【参考書】

初回の授業の際に紹介する。

#### 憲法

「立憲主義、人権、統治機構」

4単位 秋学期集中  
大沢 秀介

#### 【授業科目の内容】

この授業では、法学部政治学科の学生として理解しておくことが望ましい日本国憲法について、一通りの基本的な知識を身に付けることを目的とする。具体的な項目としては、基本的人権を中心に、国民主権、平和主義、国会、内閣などをとりあげる。

#### 【教科書】

大沢秀介著『憲法入門（第三版）』成文堂、野中俊彦・江橋崇編著『憲法判例集（第九版）』有斐閣、六法（小型のもの）

#### 【参考書】

芦部信喜（高橋和之補訂）『憲法（第三版）』岩波書店

#### 憲法

「日本国憲法が私たちの生活と私たちのための政治・行政に欠かすことのできない法であると実感するために」

4単位 秋学期集中  
小林 伸一

#### 【授業科目の内容】

憲法に関する歴史、思想、基本概念等を概観した上で、日本国憲法の基本的人権規定と統治機構規定について平易に解説します。具体的には、憲法条文と標記の教科書にそくして、主要な条文に明記されている事項とそこから論理必然的に導き出される事柄の意味内容を講述することになります。表現の自由を保障した第21条のように解釈上の議論の多い条文については、最高裁判所の判例や学説にも言及することになります。

#### 【教科書】

大沢秀介著『憲法入門（第3版）』成文堂（2003年）  
六法 - 『ポケット六法』（有斐閣）等のコンパクトなものでよいが、必ず平成17年度か平成18年度のいずれかの版

#### 【参考書】

芦部信喜著・高橋和之補訂『憲法（第3版）』岩波書店（2002年）、大沢秀介編著『はじめての憲法』成文堂（2003年）

#### 民法

「民法総論および民法総則・物権法の基礎」

4単位 春学期集中  
武川 幸嗣

#### 【授業科目の内容】

民法は、財産上の権利義務関係を規律する最も基本的な法律である取引・経済活動に関する基本法となる。本講義は、民法入門・民法総論および、民法典の第一編「総則」・第二編「物権」を対象とする。主要な制度ならびに重要な問題点につき、できるだけ平易に説くよう

心がけつつ、問題理解力と法的思考力の養成に努めたい。  
なお、講義は担当者作成・配布によるオリジナルのレジ  
ュメに基づいて行なう。

#### 【教科書】

上記の通り、講義はオリジナルのレジュメに沿って行  
なうが、自習用テキストとして、我妻栄・有泉亨・川井  
健『民法 総則・物権法』（勁草書房）を挙げておく。

#### 【参考書】

同上

#### 民法

「債権法の基礎」

4単位 秋学期集中  
武川 幸嗣

#### 【授業科目の内容】

民法 は、民法典の中の「第三編・債権」における諸  
制度を主要な対象とする。債権法は、債権総論と各論と  
に分かれているが、本講義では、それらの全体像を効果  
的に概観すると共に、主要な諸制度につき、わかり易く  
解説していくよう、心がけたい。

講義の際にはレジュメを配布する予定である。受講に  
あたっては、六法全書を必ず持参されたい。

成績評価は学期末試験の結果に基づいて行う。なお、  
民法 の講義は、民法 を受講しているか、それに相当  
する学習がされていることを前提として行う。

#### 【教科書】

池田真朗著『スタートライン債権法』日本評論社（自  
習用テキストとして）

#### 【参考書】

森泉章編『入門民法』有斐閣、笠井修ほか『はじめて  
の契約法』有斐閣

#### 行政法

4単位 秋集中  
青木 淳一

#### 【授業科目の内容】

行政法総論及び行政救済法の領域を講義する。

行政法総論の領域では、様々な行政の活動に関し、そ  
の内容や手続に対する統制の在り方が議論される。法治  
行政の原理、情報公開論（情報公開法、個人情報保護法）、  
行政手続論（行政手続法）、行政の行為形式論（行政立  
法、行政行為、行政指導、行政契約、行政計画等に対す  
る統制法理）を扱う。

行政救済法の領域では、様々な行政の活動による何ら  
かの損害なり不利益に対する事後的な救済の在り方が議  
論される。国家賠償、損失補償、行政不服審査、行政事  
件訴訟を扱う。

#### 【教科書】

櫻井敬子・橋本博之『現代行政法』（有斐閣、2004年）  
六法（平成17年（2005年）版の最新のもの）

#### 【参考書】

必要な範囲内で、その都度、指示する。

#### 刑法

「刑法一般」

4単位 秋集中  
亀井源太郎

#### 【授業科目の内容】

刑法総論および刑法各論につき講義する。

#### 【教科書】

木村光江『刑法（第2版）』（2002年・東大出版社）

前田雅英『再審重要判例250刑法（第5版）』（2004年弘  
文堂）

#### 【参考書】

島伸一編『ロースクール生のための刑事法総合演習』  
（2004年・現代人文社）

#### 国際法

「国際関係における法秩序の構造と機能」

4単位 春学期集中  
児矢野マリ

#### 【授業科目の内容】

現代の国際関係を支える法秩序・法制度の構造と機能  
について解説する。授業の目的は、受講生が国際関係を  
法的に把握するための基本的な能力を養うことである。

#### 【教科書】

杉原高嶺『現代国際法講義（第3版）』有斐閣（2003年）

大沼保昭・藤田久一編集代表『国際条約集2004年版』  
有斐閣（2004年）

#### 【参考書】

大沼保昭編著『資料で読み解く国際法（第2版）』東信  
堂（2002年）、山本草二他編集『別冊ジュリスト 国際  
法判例百選』有斐閣（2001年）

#### 経済原論

「マクロ経済学入門」

4単位 秋学期集中  
麻生 良文

#### 【授業科目の内容】

経済学はマクロ経済学とミクロ経済学に分かれるが、  
マクロ経済学では、GDPや物価水準、失業率、経済成  
長率などのマクロ経済変数がどのように決まるかが議論  
される。一方、ミクロ経済学は、個人や企業がどのよう  
に行動するかというミクロ的視点で分析を行なう。

現代のマクロ経済学は、ケインズ経済学と古典派マク  
ロ経済学の二つの対立がある。こうした対立があること  
を踏まえてマクロ経済学の入門的講義を行なう。主な講  
義の内容は以下の通り。

1. マクロ経済学とは何か
2. 長期均衡（古典派モデル）
3. 短期均衡（乗数理論、IS-LMモデル、フィリップス  
曲線とAD-ASモデル）
4. 開放経済モデル
5. 消費関数・投資関数の理論
6. 経済成長モデル

#### 【教科書】

特定の教科書は使用しない。講義ノートは次のホームページを参照のこと。

[http://www.law.keio.ac.jp/ aso/](http://www.law.keio.ac.jp/aso/)

【参考書】

マンキュー『マクロ経済学 I・II』東洋経済新報社、マンキュー『マンキュー経済学II マクロ編』東洋経済新報社（入門用）

経済原論

「マクロの経済理論（所得分析）」 4単位 秋学期集中  
田中 宏

【授業科目の内容】

マクロの経済理論の基本を解説。議論の大筋を把握することに力を置く。

【教科書】

田中宏『マクロ経済学入門講義』（第2版）慶應義塾大学出版会（2004年）

注意：購入に際し第2版であることを確認されたい。

【参考書】

講義の折に指示する。

経済原論

「ミクロ経済学入門」 4単位 春学期集中  
麻生良文

【授業科目の内容】

ミクロ経済学の入門的講義を行う。租税政策、国際貿易政策、競争政策、環境政策など、さまざまな公共政策の目的や効果を理解するために、ミクロ経済学の習得は不可欠である。マクロ経済学が経済全体の変数（GDPやインフレ・失業率など）に注意を集中するのに対し、ミクロ経済学では消費者や生産者が価格や政策にどのように反応するかという個別の意思決定の問題を明示的に扱う。ミクロ経済学を学ぶことによって、市場メカニズムがどのように機能し、そしてその限界がどこにあるのかを理解できるようになる。講義内容は以下の通り。

- 1) 経済学入門
- 2) 市場メカニズムの機能と限界
- 3) 消費者行動の理論
- 4) 生産者行動の理論
- 5) 独占・寡占

【教科書】

特定の教科書は使用しない。講義ノートは次のホームページを参照のこと。

[http://www.law.keio.ac.jp/ aso/](http://www.law.keio.ac.jp/aso/)

【参考書】

スティグリッツ『スティグリッツ ミクロ経済学』東洋経済新報社、ヴァリアン『入門ミクロ経済学』勁草書房、奥野正寛『新版 ミクロ経済学入門』日経文庫

経済原論

「ミクロ経済理論（価格理論）」 4単位 春学期集中  
田中 宏

【授業科目の内容】

ミクロの経済理論の初歩を解説。中級への橋渡しとなるように配慮する。そのために図、式、言葉の対応に注意して説明する。

議論の大筋が明らかになるようにしたい。

【教科書】

田中宏『ミクロ経済学入門講義』慶應義塾大学出版会（2004年）

【参考書】

講義の折に適宜指示。

文化人類学

「異文化への視点」 2単位 春学期  
禪野 美帆

【授業科目の内容】

近年、異文化を有した人々と直接的・間接的に触れる機会は急増している。そこでこの講義では、私たちが異文化や異なる民族について考えを深めていけるように、文化人類学においてこれまで取り上げられてきた様々な視点や理論を学習する。

【教科書】

なし

【参考書】

松田素二・川田牧人 編 『エスノグラフィー・ガイドブック』嵯峨野書院、2002年。

山下晋司・船曳建夫 編 『文化人類学キーワード』有斐閣、1997年。

他、授業中に紹介する。

文化人類学

「変動する世界と文化人類学」 2単位 秋学期  
禪野 美帆

【授業科目の内容】

文化および社会は常に変化している。なかでも近年、世界は急速に都市化、グローバル化している。そうしたなかで文化をめぐるテーマはどのように記述されているのか。具体的に著作や事例を紹介しながら考えていく。担当教員の調査地であるメキシコの事例もとりあげる。

【教科書】

なし

【参考書】

松田素二・川田牧人 編 『エスノグラフィー・ガイドブック』嵯峨野書院、2002年。

山下晋司・船曳建夫 編 『文化人類学キーワード』有斐閣、1997年。

他、授業中に紹介する。

## 政治学科目 - 基礎科目 (必修)

政治学基礎 2単位 春学期  
「政治学の基礎概念・理論・アプローチ」 萩原 能久

### 【授業科目の内容】

この講義では政治学の基礎概念、理論、アプローチについて、以下のような順序でできるだけわかりやすく説明していくつもりです。

- 1) 権力、権威、自由、正統性、イデオロギー  
これらの諸概念について、特に相互の関連に留意して説明し、いくつかの理論を紹介します。
- 2) 国家  
ネーション・ステートおよびナショナリズムの成立・展開と現在におけるその問題点を示し、未来の世界への展望を考えます。
- 3) 民主主義  
近代民主主義の成立と現代における様々な民主主義・民主化理論を検討します。
- 4) 戦争と平和  
平和の構築という課題の重要性と、政治学における戦争と平和の関係について様々な角度から考えます。

### 【教科書】

特に用いませんが、Web上に置いた、関連する様々な私の文章をあらかじめ読んで受講すれば理解が高まるでしょう。

### 【参考書】

逐一、講義・レジュメのなかで示していきます。多いです。

### 政治学基礎

「政治学入門 - Who gets what from government.」  
2単位 春学期  
河野 武司

### 【授業科目の内容】

この講義では、日本のような代議制民主主義という政治システムを前提としながら、政策決定に関与している様々な政治的アクターの行動を規定する諸制度、及び各アクターの行動に関する理論と現実とについて、説明します。

### 【教科書】

特に指定しません。

### 【参考書】

随時、授業の中で示します。

### 政治思想基礎

「政治思想における「近代」」  
2単位 春学期  
蔭山 宏

### 【授業科目の内容】

思想史入門的講義。基本的用語をわかり易く説明したい。

### 1. 近代化の精神構造

#### 1. 近代の政治思想

#### 1. 大衆社会と現代

こうした内容をとりあげる予定です。

### 政治思想基礎

「西欧政治思想史概説 近代を中心に」2単位 春学期  
田上 雅徳

### 【授業科目の内容】

西欧政治思想史の入門講義を行います。

授業の中心は近代となります。これは、受講者の関心が例えば「日本」や「現代」の政治（思想）にあるとしても、近代ヨーロッパに登場した著名な政治思想家たちの理論を理解しておくことは（引照基準を設定する意味でも）極めて大切だと、担当者が考えているからです。

また授業では、思想家たちが生きた時代状況の説明に多少なからぬ時間を割く予定です。思想の学習で大切なのは、思想内容を把握し性急にその是非を論じることよりも、個々の思想家が自分を取り巻く環境の中にいかなる問題を見出したのか・そしてそれにどれだけ真摯に答えようとしたのか、そのことへの理解にあると思われるからです。「理論としては矛盾だらけだが、問題意識は恐ろしく一貫している」、時にはこういう事例をも紹介しながら、受講者に思想を学ぶ面白さをお伝えできればと思っています。

### 【参考書】

授業中に適宜紹介していきますが、さしあたって福田 歓一『政治学史』（東京大学出版会）、佐々木・鷲見・杉田共著『西洋政治思想史』（北樹出版）をあげておきます。

### 日本政治基礎

「現代日本における政治過程」  
2単位 秋学期  
小林 良彰

### 【授業科目の内容】

この授業では、公共政策や官僚、政治家、政党、有権者、利益集団、マスメディアなどが相互に交わる現代日本の政治過程について、分析のための理論と現実を説明します。したがって、国家公務員や地方公務員、マスメディアなどを志望する学生にとっては必須の内容となるものと思われます。

### 【教科書】

小林良彰著『選挙・投票行動』東京大学出版会（2500円 税別）

### 【参考書】

小林良彰著『現代日本の政治過程』東京大学出版会、小林良彰著『選挙制度』丸善、小林良彰著『現代日本の選挙』東京大学出版会。小林良彰著『公共選択』東京大学出版会、テリークラーク・小林良彰編『地方自治の国際比較』慶應義塾大学出版会、小林良彰編『地方自治の実証分析』慶應義塾大学出版会 ほか

## 日本政治基礎

「日本政治の論点」

2単位 秋学期  
寺崎 修

## 【授業科目の内容】

最近わが国政治上の重要な課題として政権交代、地方分権、行政改革、財政改革等々があるが、このような状況がなぜ生まれたのか。このような状況に至る過程をとりあげつつ、日本政治のありようを考える。

## 【教科書】

なし。

## 【参考書】

適宜指示する。

## 地域研究基礎

2単位 秋学期  
出岡 直也

## 【授業科目の内容】

「授業の計画」に示したような内容で、政治学の立場からの地域研究の入門的な講義を行います。

## 【教科書】

全体を通しての教科書は使用しません。

## 【参考書】

個々の箇所、教室にて指示します。

## 地域研究基礎

「下から見る現代世界」

2単位 秋学期  
国分 良成

## 【授業科目の内容】

地域研究（area studies）の入門講義を通じて、その面白さを伝える。

## 【参考書】

授業のさい指示する。

## 国際政治基礎

2単位 秋学期  
小此木政夫

## 【授業科目の内容】

国際政治論の基礎を平易に論ずるので、学生諸君はそれをしっかりと身に付けて、専門過程に進んでほしい。講義の内容は以下の通りである。

1. 国際政治の主体と国際社会
2. 国益、パワー、勢力均衡、覇権
3. 相互依存、従属、世界システム
4. 政策決定過程論
5. 冷戦の起源
6. 冷戦の展開
7. 朝鮮戦争
8. 核抑止論の基礎
9. 中ソ対立
10. ベトナム戦争

## 11. デタントとその崩壊

## 12. 冷戦終結と東アジア

## 【参考書】

岡部達味『国際政治の分析枠組』東京大学出版会、小此木・赤木『冷戦期の国際政治』慶應義塾大学出版会、小此木政夫『朝鮮戦争』中央公論新社

## 国際政治基礎

2単位 秋学期  
山本 信人

## 【授業科目の内容】

本講義では国際政治学・国際関係論の基本的な考え方・視点について紹介する。また、現実に変化しつつある国際関係の現状についても適宜講義のなかで事例として触れる予定である。

## 【教科書】

特に指定しません。

## 【参考書】

適時提示します。

## 政治学科目 - 選択科目

### 行政学

「『独立自尊の行政学』は可能か」 2単位 春学期  
大山 耕輔

#### 〔授業科目の内容〕

行政学 (public administration) の前半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学 とセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「独立自尊の行政学」の可能性と限界について考察してみたいと考えています。

#### 〔教科書〕

村松岐夫『行政学教科書(第2版)』有斐閣(2001年)

#### 〔参考書〕

西尾勝『行政学(新版)』有斐閣(2001年)、福田耕治・真淵勝・縣公一郎共編著『行政の新展開』法律文化社(2002年)、拙著『行政学入門 CDブック』慶大通信教育部(2000年)等

### 行政学

「『独立自尊の行政学』は可能か」 2単位 秋学期  
大山 耕輔

#### 〔授業科目の内容〕

行政学 (public administration) の後半部分を講義します。履修者はできるだけ行政学 とセットで履修してください。この講義では、伝統的な「国家中心の行政学」を批判的に検討するとともに、グローバル化のなかの「国から地方へ民間へ」という時代における「独立自尊の行政学」の可能性と限界について考察してみたいと考えています。

#### 〔教科書〕

村松岐夫『行政学教科書(第2版)』有斐閣(2001年)

#### 〔参考書〕

西尾勝『行政学(新版)』有斐閣(2001年)、福田耕治・真淵勝・縣公一郎共編著『行政の新展開』法律文化社(2002年)、拙著『行政学入門 CDブック』慶大通信教育部(2000年)等

### 現代中東論

「中東のエスニシティと政治秩序」 2単位 春学期  
富田 広士

#### 〔授業科目の内容〕

次の講義項目を予定している。若干変更するかもしれない。

##### (1) 一体性

- 1 国家概念の重層性
- 2 アラブ・アイデンティティの構成要素

##### (2) 多様性

- 1 少数宗派・宗教・民族

- 2 地域紛争の構造
- (3) 政治文化
  - 1 アラブの社会構造
  - 2 ベドウィン(遊牧民部族)の意志決定様式
  - 3 イスラームの展開
  - 4 中東経済の歴史的背景と現状
- (4) 国際環境
  - 1 植民地支配と「国民国家」の成立
  - 2 パレスチナ問題の発生と展開
  - 3 域内国際関係
- (5) 政治体制の国別比較(政党・選挙・議会)

#### 〔教科書〕

立山良司他『国際情勢ベーシックシリーズ 中東』(第3版)自由国民社(2002年)

#### 〔参考書〕

学期中、図書館リザーブ・ブックとして閲覧可。

### 国際政治論

「対外政策分析」 2単位 春学期  
小笠原高雪

#### 〔授業科目の内容〕

国際政治学の研究分野の一つに対外政策分析がある。この授業では、「国家が国益の最大化を標榜しておこなう国際環境に対する働きかけの総称」として対外政策を捉え、その分析のための枠組をさまざまな具体例を交えながら説明してゆく。30~60分間程度のVTRを用いた事例研究を数回おりこむ予定である。

#### 〔教科書〕

指定しない。

#### 〔参考書〕

授業中に随時紹介する。

### 政治文化論

「都市と政治文化」 2単位 春学期  
蔭山 宏

#### 〔授業科目の内容〕

政治文化の単位として「都市」をとらえ、理論的に解明したい。

1. 古典的都市論(ジンメルやベンヤミン)
  - 19世紀から20世紀前半の都市の精神と政治
1. 現代的都市論
  - P.ヴィリリオ「速度と政治」の他、Z.パウマンやR.セネットの都市論をとりあげる予定。

### 西洋外交史

「近代ヨーロッパの国際政治史」 2単位 春学期  
細谷 雄一

#### 〔授業科目の内容〕

本講義では、近代国際社会の成立から第二次世界大戦勃発までの、近代ヨーロッパ外交史を検討することになる。主要なテーマは、以下の通り。

## 【教科書】

渡邊啓貴編『ヨーロッパ国際関係史』有斐閣、佐々木雄太・木畑洋一編『イギリス外交史』有斐閣

## 【参考書】

キッシンジャー、岡崎久彦監訳『外交』(上)日本経済新聞社、クレイグ＝ジョージ、木村修三他訳『軍事力と現代外交』有斐閣、ジョセフ・S・ナイ、田中明彦・村田晃嗣訳『国際紛争 理論と歴史』有斐閣、石井修『国際政治史としての二〇世紀』有信堂、細谷雄一・矢澤達宏編『国際学入門』創文社、細谷雄一『大英帝国の外交官たち』筑摩書房(近刊予定)、細谷雄一『外交による平和』有斐閣

## 日本外交史

「明治から昭和へ」

2単位 秋学期  
服部 龍二

## 【授業科目の内容】

幕末明治期から昭和戦前期に至る日本の対外関係を、主として外交の面から論じます。

## 【教科書】

特に指定しない。

## 【参考書】

池井優『日本外交史概説』慶應義塾大学出版会(1992年)、井上寿一『日本外交史講義』岩波書店(2003年)、服部龍二『東アジア国際環境の変動と日本外交 1918-1931』有斐閣(2001年)、同『満州事変と重光駐華公使報告書』日本図書センター(2002年)、同『国際政治史の道標 実践的入門』中央大学出版部(2004年)、細谷千博『日本外交の軌跡』日本放送出版協会(1993年)、増田弘、木村昌人編『日本外交史ハンドブック』有信堂(1999年)

## 日本政治運動史

「自由民権運動の展開」

2単位 秋学期  
寺崎 修

## 【授業科目の内容】

政治運動を歴史的にアプローチする立場から近代日本における一大政治運動であった自由民権運動をとりあげる。

## 【教科書】

寺崎『明治自由党の研究』(上巻)慶應義塾大学出版会

## 【参考書】

適宜紹介する。

## 比較地域研究論

「「比較」重視の地域研究」

2単位 秋学期  
粕谷 祐子

## 【授業科目の内容】

すでに、(日本を含む)ある地域の政治に関心をもっている学生に対し、その地域を「比較」の視点から分

析・理解するための道具だてを提供する講義。ここでいう「比較」とは、二国間や多国間の比較だけではなく、同一国内の時間的、空間的な差異を比べることをもめている。

地域研究には、2つの異なる立場が存在するといえるだろう。一方の極には、ある地域の政治はその地域固有の要因に規定されており、他国との比較や、一般化・理論化は意味がない、という立場である。その対極には、地域の独自性などは捨ておいて、比較分析をおこない、なるべく多くの地域・時代に共通する一般理論をみつけだそうとする地域研究(比較政治学)がある。本講義は、そのほぼ中間の立場をとる。サブタイトルを「『比較』重視の」としたが、ここでの比較分析の目的は、あくまで「地域」の理解であり、一般理論の形成ではない。しかし、比較なしには「地域」の理解もすまない。例えば、地域固有のものと考えられている要因が実際にそうであるかどうかは、他と比較しなければ判断できない。また、仮にそれが固有のものであっても、他の事例と比較対照したり、一般理論のロジックを借りて分析したほうが、その地域の「土地勘」がない人にとっても理解しやすい形で説明することができる。要するに、ある地域そのものを理解するにあたって「比較」のメリットは大きい、というのが本講義の基本的立場である。

各回の講義では、主に、最近の比較政治学における代表的な理論体系を紹介する。また、理論紹介と同時に、先進国・途上国の両方を含む事例研究を用いて、理論を実際の政治に応用する方法について適宜解説する。受講者に比較実証分析の「センス」を身につけてもらうのが本講義のねらいである。

## 【教科書】

特になし。シラバス及び講義資料は講師のホームページ(<http://homepage3.nifty.com/yukokasuya/>)より授業前にダウンロードできるようにする。

## 【参考書】

随時紹介する。

## マス・コミュニケーション論

「マス・コミュニケーションと社会」

2単位 春学期  
川端 美樹

## 【授業科目の内容】

現在われわれの日常生活に深く関わっているマスメディアがどのようにして誕生し、発達してきたのか。また、社会にどのような影響を与え、その中でどのように機能してきたのか。さらに、マス・コミュニケーションは人間の社会的行動や心理にどのような影響を与えているのか。

本講義の目的は、以上のようなトピックについて学び、理解した上で現在の自分を取り巻く現状を見直し、マス・コミュニケーションをめぐる状況について客観的・批判的に考え、分析することである。

## 【教科書】

大石裕『コミュニケーション研究』慶應義塾大学出版会

## 【参考書】

授業時に必要に応じて指示する。

民主主義思想論  
「人権の政治理論」 2単位 秋学期  
鷲見 誠一

## 【授業科目の内容】

前半で人権思想に言及し、後半で人権を実現し易い政治体制としての「市民参加の政治」すなわち民主主義政治体制を述べる。

## 【教科書】

なし。

## 【参考書】

樋口陽一『人権』三省堂、鷲見誠一『人権の政治理論・事始』『近代国家の再検討』所収 慶應義塾大学出版会

## 政治学科目 - 集中学習科目

## 演習

「上野千鶴子の社会学」を読む」 2単位 春学期  
有末 賢

## 【授業科目の内容】

政治学科の必修授業では「社会学入門」や「社会学概論」を講義しているが、この演習では、もっとしぼり込んだ「誰々の社会学」について、取り上げてみたい。

## 【教科書】

- ・上野千鶴子『増補 私 探しゲーム』ちくま学芸文庫（1987年）
- ・上野千鶴子『ナショナリズムとジェンダー』青土社（1998年）

## 演習

「国際政治学からみた世界」 2単位 春学期  
小笠原高雪

## 【授業科目の内容】

国際政治を見る眼を養うことを目標とする。具体的には、日本における国際政治研究の先達の一人であり、論壇と学界に大きな影響を与えた高坂正堯教授（1934～1996）の著作を掘り下げて検討する。

## 演習

「政治家の個性とそのリーダーシップ」 2単位 春学期  
奥 健太郎

## 【授業科目の内容】

この授業では、『近代日本の政治家』、『近衛文麿 運命の政治家』という二冊の伝記（評伝）を輪読する。前者は、伊藤博文、大隈重信、原敬、犬養毅、西園寺公望の5名の政治家の性格とそのリーダーシップを分析した文献である。後者は、昭和戦前期の重要な国策決定を行った近衛文麿の生涯を描いた伝記である。この授業では、これらの政治家の個性とリーダーシップを検討することを通じ、概説書とは異なる角度から近代日本政治史の理解を深めたい。

## 【教科書】

岡義武『近代日本の政治家』岩波現代文庫（平成13年 1155円）、岡義武『近衛文麿 運命の政治家』岩波新書（平成15年 819円）

## 【参考書】

岡崎久彦『陸奥宗光とその時代』（PHP文庫 平成15年）、岡崎久彦『小村寿太郎とその時代』（PHP文庫 平成15年）、岡崎久彦『幣原喜重郎とその時代』（PHP文庫 平成15年）、岡崎久彦『重光、東郷とその時代』（PHP文庫 平成15年）

## 演習

「政党政治の実証分析」

2単位 春学期  
粕谷 祐子

## 【授業科目の内容】

「政党」は謎の多い政治組織である。民主主義の規範理論では、政党は民主的な代議政治にとって必要不可欠な制度であり、市民と公共政策とを結ぶ「要」であるというコンセンサスがある。しかし、実証政治学における政党研究を概観すると、いまだ研究者の間で論争され、「謎」とされている点が多い。例えば、そもそもなぜ政党という組織がつけられるのか。なぜある国の政党は政策志向が強く「クリーン」なのに、他の国の政党は汚職にまみれているのか。なぜ一部の政党には党内派閥が存在するのか。なぜ、一見不利に見える少数派内閣を形成する政党があるのか。より身近な例では、なぜ1993年選挙改革後の日本の政党政治は二大政党化しそうでしないのか。このような、理想ではなく現実の政党をめぐるさまざまな疑問について考えようとするのが本演習の目的である。より具体的には、(1) 最近の比較政治学における政党研究の主要な分析枠組みを学び、(2) それらの枠組みを現実の政党政治分析に応用する能力を身につける、の二点をめざす。毎回の授業の進め方は、まず、報告担当者が教科書の1章分の理論をまとめたうえで、各章の最後にある「設問」のなかから、あるいは独自に興味のある論点に関して簡単なプレゼンテーションをし、その後クラス全体でディスカッションをおこなう。期末レポート（A4用紙2行間隔で5枚程度）では、授業で学んだ理論を自分の興味のある国・地域での政党政治に応用した分析をおこなってもらう（対象国は途上国、先進国、どこでも可）。

## 【教科書】

川人貞史・吉野孝・平野浩・加藤淳子『現代の政党と選挙』有斐閣アルマ（2000年 1800円）（各自購入してください）

## 【参考書】

随時紹介します。

## 演習

「近代日本と戦争」

2単位 春学期  
加地 直紀

## 【授業科目の内容】

学校教育、あるいはマス・メディアの報道により、戦争＝悪という一面的な捉えられ方がなされている。しかし戦争は、政治・経済・軍事・文化・思想・科学等の総力をあげて遂行される国策であり、道徳で割り切れるものではない。本演習は近代日本が遂行した戦争を検討し、その上で、今後日本が選択すべき国家戦略について討論したい。

## 【教科書】

平間洋一『日英同盟』PHP新書

## 演習

「マス・コミュニケーションと社会をめぐる諸問題」

2単位 春学期  
川端 美樹

## 【授業科目の内容】

本演習では、マス・コミュニケーションと社会、特に政治、文化、そして人間の現実認識に関する諸問題をさまざまな側面からとりあげ、学び、考え、そして議論することを目的とする。マス・コミュニケーション論に関する基礎的な知識など、こちらから提供する内容を身につけた上で、受講者がテレビ、新聞などさまざまなマスメディアに関して興味のある具体的なテーマについて考え、調べ、発表し、議論することを最終的な目標としている。

## 【教科書】

授業時に必要に応じて指示する。

## 【参考書】

授業時に必要に応じて指示する。

## 演習

「若者文化の社会学」

2単位 春学期  
小谷 敏

## 【授業科目の内容】

下記テキストを読みながら、若者文化について考えてみたい。

## 【教科書】

中西新太郎『若者たちに何が起っているのか』花伝社（2400円）

## 【参考書】

ゼミの時間に指示します。

## 演習

「現代日本の政治過程を考える」

2単位 春学期  
佐々木孝夫

## 【授業科目の内容】

現代日本の政治過程について政治学の基本をまなびながら一緒に考えます。この演習の履修によって毎日の新聞記事の内容を十分理解できるようになると思われます。政治・社会現象の解読に関する基礎力を身につけることが本講義の目標です。

## 【教科書】

最初の講義で詳細を説明します。

## 【参考書】

講義中に指示。

## 演習

「グローバリゼーションと多文化交錯社会における市民意識の動態」

2単位 春学期  
関根 政美

## 〔授業科目の内容〕

従来の講義要綱に相当する部分

本授業では、履修者の自発的な調査報告とそれらを土台に討論を行う演習授業を実施したい。履修者の数にもよるが、毎回2、3名の報告者による競争的報告を行ってもらい、それらを土台に討論をしてゆきたい。また、必要に応じて本授業のテーマに沿ってビデオを見て討論したいと思っている。

授業のテーマは以下の通り。現代世界はグローバリゼーション（国際化）の影響を経験し大きな文化・社会変動を経験している。「グローバリゼーションは」、近年日本でも盛んに使われるようになった言葉だが、グローバリゼーションそのものは多様な現象であり、一筋縄ではその実態をつかむことが難しい。通常、本授業では、人口移動のグローバリゼーションに焦点を当てて、国民国家の多文化・多民族社会化の動きと、その社会・文化的影響について議論しながら考察を加えることにしている。

## 〔教科書〕

未定（最新のものを利用したいので、未定である。著書の墓に論文の輪読も予定している）。

## 〔参考書〕

関根政美『多文化主義社会の到来』朝日新聞社（2000年）、D・ヒーター、田中・関根訳『市民権とは何か』岩波書店（2003年）。

## 演習

「平和学入門」

2単位 春学期  
萩原 能久

## 〔授業科目の内容〕

この演習では『平和学をはじめ』（晃洋書房、池尾靖志編）を議論の土台にして、平和学という新しい学際的な学問の可能性と限界について議論していきたいと思っています。

## 〔教科書〕

池尾靖志編、『平和学をはじめ』、晃洋書房

## 〔参考書〕

必要だと思う文献は議論のなかでアドバイスをしていきます。

## 演習

「現代日本の都市」

2単位 春学期  
真下 英二

## 〔授業科目の内容〕

現代社会において、日本の都市は様々な問題を抱えている。この演習では、討論と講読を通じてこれらの問題を明らかにし、その解決方法を考察していく。

## 〔教科書〕

最初の授業時に指示。

## 〔参考書〕

最初の授業時に指示。

## 演習

2単位 秋学期  
小此木政夫

## 〔授業科目の内容〕

ハンチントン著『引き裂かれる世界』（ダイヤモンド社）を読み進みながら、討論する。毎回担当者を決めるが、全員が討議に参加されたい。早期に読了した場合には別のテキストに入る。

## 演習

「現代における政治を考える目」

2単位 秋学期  
小林 良彰

## 〔授業科目の内容〕

この授業では、現代の政治についての自分の疑問や興味関心を自由に議論することを通して、履修者が自分の中にある漠然とした政治に関する問題意識を深めていくことができれば何よりと思っています。特に、三田でゼミに入るために必要な基本的な「政治をみる目」を養うことを目指しています。

## 〔教科書〕

小林良彰・金泰昌編『リーダーシップから考える公共性』東京大学出版会、将基面貴巳『反「暴君」の思想史』平凡社

## 〔参考書〕

小林良彰・名取良太著『地方分権と高齢者福祉』慶應義塾大学出版会

## 演習

「旧ソ連における体制転換」

2単位 秋学期  
宮澤 秀爾

## 〔授業科目の内容〕

スターリン主義体制の特質、スターリン死後の旧ソ連における体制の変容とソ連崩壊後の民主主義、市場経済への体制転換について学びます。また、体制転換の分析に有用な新制度派政治経済学アプローチの基礎を勉強し、同アプローチのいくつかの分析概念を用いて、体制転換の困難さを分析的（理論的）に理解できるようになることを目指します。

## 〔教科書〕

袴田茂樹『現代ロシアを読み解く』ちくま新書（2002年 700円）、ティモシー・J・イエーガー、青山繁訳『新制度派経済学入門』東洋経済新報社（2001年 2600円）

## 〔参考書〕

アラム・ブロック、鈴木主税訳『ヒトラーとスターリン』草思社（2003年 3900円）

## 演習

「権力のメタフィジクス」

2単位 春学期  
石川 晃司

## 【授業科目の内容】

この授業では、現代思想の成果なども射程に入れながら、また政治領域に限らずより広いコンテキストで権力を捉えながら、権力の本質にせまってみたい。その際、見える権力だけではなく、見えない権力にも力点を置きたいと考えている。テキストを手がかりにしながら自由に「越境」して議論を進めたいとおもう。

## 【教科書】

コピーして配布する。

## 【参考書】

杉田敦『権力』（岩波書店）をあげておくが、その他随時指摘する。

## 演習

「旧ソ連における体制転換」

2単位 春学期  
宮澤 秀爾

## 【授業科目の内容】

共産主義体制崩壊後の旧ソ連における民主主義、市場経済への移行を分析的（理論的）に理解できるようになることを目指します。

## 【教科書】

Thane Gustafson, *Capitalism Russian Style* (Cambridge University Press, 1999) の第1章、*Parign Affairs* の論文、*The Economist* の記事をコピーして配布します。

## 演習

「世界政治の動向と分析」

2単位 秋学期  
小野 直樹

## 【授業科目の内容】

履修者が、現在の世界政治の動向を把握し、社会科学としての国際関係論を適用してそれらを理解出来るようになることを目的として、報告、討論を行う。

## 【教科書】

授業後半で、ラセット、スター、キンセラ、『世界政治の分析手法』、論創社、2002年を使用する予定。

## 【参考書】

授業の中で適宜紹介する。

## 演習

「途上国の民主化とガバナンス」

2単位 秋学期  
粕谷 祐子

## 【授業科目の内容】

1980年代以降、アジア、ラテンアメリカなどで多くの途上国が民主化を果たしました。一方で、いまだに権威主義体制を維持している国も中東やアフリカを中心に多

く存在します。本演習では、発展途上国を対象に、なぜ、どのように民主化するのか、なぜ民主化しないのか、そして、民主化した後の政治運営（ガバナンス）はどのような問題を抱え、どのような解決策がありうるのか、という疑問について考えます。毎回の授業の進め方は、前半に英語論文（10～25枚程度）を輪読し、後半は参加学生による自由研究報告にあてます。英語論文は学術雑誌や国際機関刊行物からの抜粋を使用しますが、毎週かなりの負担となることを覚悟してください。英語論文の読解・討論により理論的知識を身につけ、自由研究において各自興味を持っているテーマ・地域にそれを応用してもらうのがねらいです。また、学期末には、自由研究報告を基にしたレポート（A4用紙2行間隔で5枚から10枚程度）を提出してもらいます。

## 【教科書】

特になし。必要な資料は授業時に配布する。

## 【参考書】

随時紹介する。

## 演習

「問題史としての政治思想史」

2単位 秋学期  
田上 雅徳

## 【授業科目の内容】

政治思想史に関する英語の文献を講読します。

その際、古典古代から始まる通史ではなく、「自由」「秩序」といった個々のトピックに思想家たちがどのように立ち向かったかを描く「問題史」の構成を採用したテキストを用いたいと思います。

## 【教科書】

John Morrow: *History of Political Thought: A Thematic Introduction* (Macmillan, 1998) .

## 演習

「冷戦史を考える」

2単位 秋学期  
細谷 雄一

## 【授業科目の内容】

9.11テロやイラク戦争を経験した世界は、十年わずかに前に終結した冷戦の歴史を忘却しつつある。しかしながら現在の世界はその多くの問題を冷戦時代から継承しており、また現在の国際政治の構造はその多くが冷戦期につくられている。したがって現代の国際政治を理解する上でも、冷戦の歴史を学ぶことは重要な意味を持つ。本演習では、マーティン・マコーレーによる英語の冷戦史のテキストを読んで、冷戦の歴史を理解することを目指す。マコーレーの著書は平易な文章で読みやすく、またバランスよく広範な問題が描かれており、冷戦史の入門書としては適していると考えられる。

## 【教科書】

Martin MacCauley, *Russia, America and the Cold War*, 2nd Edition (London: Longman, 2004) . 「初版」ではなく「第2版」を用いるので、注意していただきたい。

---

**【参考書】**

ヘンリー・キッシンジャー『外交』(下)日本経済新聞社、ジョン・ルイス・ギャディス『ロング・ピース』芦書房、ジョン・ルイス・ギャディス『歴史としての冷戦』慶應義塾大学出版会、ヴォイチェフ・マストニー『冷戦とは何だったのか 戦後政治史とスターリン』柏書房、下斗米伸夫『アジア冷戦史』中公新書、松岡完・広瀬佳一・竹中佳彦編『冷戦史』同文館出版、佐々木卓也編『戦後アメリカ外交史』有斐閣

---

**演習**

「現代の都市と政策」

2単位 秋学期

真下 英二

---

**【授業科目の内容】**

グローバル化の進む現代にあって、都市は様々な形で変革を迫られている。こうした中、諸外国の都市ではどのような状況におかれ、そしてどのような対応をとっているのか、外書の論読を通じて考察していく。

**【教科書】**

最初の授業で指示。

---

**演習**

「東南アジアの民族と国家」

2単位 秋学期

山本 信人

---

**【授業科目の内容】**

本演習では、東南アジアに関する専門的知識の習得とアカデミックな問題設定のあり方について学ぶことを目的とする。東南アジア地域は多民族多文化という特徴が際立っているとされる。そうした特徴は現代的な民族・国民の形成や国家建設へいかなる影響を及ぼしているのか。東南アジア史に関する入門的な英書を読みながら、この問題に接近していきたい。

**【教科書】**

Nicholas Tarling, Nations and States in Southeast Asia (Cambridge: Cambridge University Press, 1998)

**【参考書】**

適時提示する。

## 4 商学部

商学部では2005年4月一年次入学者より新カリキュラムが導入されました。それにより設置科目や設置形態が学則により異なりますので、シラバスを読む際に気をつけてください。参照ページは以下のとおりです。

2005年4月一年次入学者 306ページ～  
2004年以前入学者(2005年度二年編入含) 320ページ～

### 2005年4月一年次入学者用

#### 基礎科目 類 (基礎必修科目)

##### 経済学基礎

「マクロ経済学・ミクロ経済学の基礎」 2単位 春学期  
桜本 光 牧 厚志 他

##### 〔授業科目の内容〕

初級の経済学を講義する。

##### 〔教科書〕

井原哲夫・牧厚志・桜本光・辻村和佑著『経済学入門』  
日本評論社(2003年)

##### 〔参考書〕

牧担当のクラスのみ牧厚志著『日本人の消費行動』ちくま新書(1998年)

##### 経済学基礎

「マクロ経済学・ミクロ経済学の基礎」 2単位 秋学期  
桜本 光 牧 厚志 他

##### 〔授業科目の内容〕

初級の経済学を講義する。

##### 〔教科書〕

井原哲夫・牧厚志・桜本光・辻村和佑著『経済学入門』  
日本評論社(2003年)

##### 微積分

「微分積分の基礎(前)」 2単位 春学期/秋学期  
小宮 英敏 白旗 優  
深谷太香子 安田 公美  
渡部 睦夫

**この科目を履修し不合格だった場合は秋学期開講「微積分」を履修できません。履修申告の方法については履修案内を参照してください。**

##### 〔授業科目の内容〕

社会科学の様々な学問において、数学的な考え方や数学的手法が必要とされています。専攻科目の基礎となる経済学、経営学などを、数学を用いて理解、研究する時

に必要となる、微分、積分の基礎について学ぶのがこの「微積分I」です。

##### 〔教科書〕

最初の授業の時に指示。

##### 〔参考書〕

最初の授業の時に指示。

##### 微積分

「微分積分の基礎(後)」 2単位 秋学期  
小宮 英敏 白旗 優  
深谷太香子 安田 公美  
渡部 睦夫

**この科目は春学期開講「微積分」が不合格だった場合は履修できません。履修申告の方法については履修案内を参照してください。**

##### 〔授業科目の内容〕

「微積分I」に引き続き、微分、積分の基礎について学びます。

##### 〔教科書〕

最初の授業の時に指示。

##### 〔参考書〕

最初の授業の時に指示。

#### 基礎科目 類 (基礎基盤科目)

##### 経済史

「近代日本経済史入門」 2単位 春学期  
平野 隆

##### 〔授業科目の内容〕

開港・明治維新期から1920年代(昭和恐慌)までの時期を対象として、日本の経済・社会の歴史的展開を概観することによって、現代の様々な経済・社会問題の背景を理解するための視野と基礎知識を提供する。

##### 〔教科書〕

特定の教科書は使用しないが、次の資料集を講義中に参照するので準備すること。

安藤良雄編『近代日本経済史要覧』(第2版)東京大学出版会

##### 〔参考書〕

三和良一『概説日本経済史・近現代』(第2版)東京大学出版会、中村隆英『日本経済』(第3版)東京大学出版会、梅村又次他編『日本経済史』(1~6巻)岩波書店、尾高煌之助・斎藤修(編)『日本経済の200年』日本評論社。その他の参考文献は講義中に適宜紹介する。

## 経済史

「現代日本経済史入門」

2単位 秋学期  
平野 隆

## 〔授業科目の内容〕

経済史 を受けて、1930年代（高橋財政）から21世紀初頭までの時期を対象として、現代日本の経済・社会の歴史的背景を理解するための視野と基礎知識を提供する。

## 〔教科書〕

特定の教科書は使用しないが、次の資料集を講義中に参照するので準備すること。

安藤良雄編『近代日本経済史要覧』（第2版）東京大学出版会

## 〔参考書〕

三和良一『概説日本経済史・近現代』（第2版）東京大学出版会、中村隆英『日本経済』（第3版）東京大学出版会、梅村又次他編『日本経済史』（6～8巻）岩波書店、中村隆英『昭和経済史』岩波書店、橋本寿朗『戦後の日本経済』岩波新書、その他の参考文献は講義中に適宜紹介する。

## 経済史

「戦後日本経済の復興・発展過程の考察」2単位 春学期  
吉田 正樹

## 〔授業科目の内容〕

第二次大戦後の復興期から1990年代までの日本の経済の歩みを理解してもらおう。敗戦の混乱とGHQ主導の経済民主化から説明を始め、技術革新によって国際競争力を確立した1970～90年代を講義していく。

## 〔教科書〕

とくに指定しません。

## 〔参考書〕

安藤良雄編『近代日本経済史要覧』東京大学出版会

## 経済史

「戦後日本経済発展の特徴とその要因の考察」

2単位 秋学期  
吉田 正樹

## 〔授業科目の内容〕

日本経済の再建・発展を促した諸要因を考察します。

## 〔教科書〕

とくに指定しません。

## 〔参考書〕

必要に応じて講義のなかで指示します。

## 社会経済学

2単位 春学期  
赤川 元章

## 〔授業科目の内容〕

数理主義的観点から「経済人」の効率的な経済行為を

基本として構成される経済学に対し、社会経済学は歴史的・社会的諸現象全体との関連を重視する。すなわち、社会制度の発展に応ずる政治的・社会的・倫理的・地政学的諸要因などを包括する現実態としての社会経済を対象とし、これを経済的観点から整理・分析して、その構造・実体を究明する。その意味では、本講義は現代経済の提起する社会制度上の諸問題への導入口であるにとどまらず、広い世界認識を養うと同時に細分化された専門領域に入る前にその領域の位置を確認する契機ともなる。本講義は以下の順序で行う予定である。

## 社会経済学

2単位 秋学期  
赤川 元章

## 〔授業科目の内容〕

数理主義的観点から「経済人」の効率的な経済行為を基本として構成される経済学に対し、社会経済学は歴史的・社会的諸現象全体との関連を重視する。すなわち、社会制度の発展に応ずる政治的・社会的・倫理的・地政学的諸要因などを包括する現実態としての社会経済を対象とし、これを経済的観点から整理・分析して、その構造・実体を究明する。その意味では、本講義は現代経済の提起する社会制度上の諸問題への導入口であるにとどまらず、広い世界認識を養うと同時に細分化された専門領域に入る前にその領域の位置を確認する契機ともなる。本講義は以下の順序で行う予定である。

## 私法基礎

「民事法の基礎」

2単位 春学期  
本田 耕一

## 〔授業科目の内容〕

民法・民事訴訟法など民事法について初歩的な知識を身につけることをめざします。

## 〔教科書〕

池田真朗著『民法への招待』税務経理協会

## 〔参考書〕

必要に応じて講義の際に指示します。

## 私法基礎

「民事法の基礎」

2単位 秋学期  
本田 耕一

## 〔授業科目の内容〕

民法・民事訴訟法など民事法について初歩的な知識を身につけることをめざします。

## 〔教科書〕

池田真朗著『民法への招待』税務経理協会

## 〔参考書〕

必要に応じて講義の際に指示します。

## 私法基礎

「市民法の基本概念と基礎理論(1)」 2単位 春学期  
松尾 弘

## 【授業科目の内容】

この授業では、家族、財産、契約などを柱とする市民法の基本概念と基礎理論を、できるだけ具体的な事例に置き直しながら、かつ体系的に整理して解説することを目的とする。それにより、法律学の基礎知識と法的思考方法の基本をマスターし、市民社会を支える最も基本的な法制度の特色を理解することを通じて、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。私法は、民法、商法、その他の特別法を通じて、誰に、どのような私法上の権利(人格権、物権、債権および家族法上の権利を中核とする、いわゆる私権)が帰属するのかを決定する実体法の中心部分を占めている。そこには、私法上の権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についてのルールが含まれている。私法基礎(春学期分)では、こうしたルールの基本的な仕組みに焦点を当て、民法上定められた権利の主体および客体を中心に解説を行う。

## 【教科書】

松尾弘『民法の体系 市民法の基礎 (第4版)』慶應義塾大学出版会(2005年 刊行予定)。

## 【参考書】

道垣内弘人『ゼミナール民法入門(第2版)』日本経済新聞社(2003年)、二宮周平『家族法』新世社(1999年)。

## 私法基礎

「市民法の基本概念と基礎理論(2)」 2単位 秋学期  
松尾 弘

## 【授業科目の内容】

この授業では、家族、財産、契約などを柱とする市民法の基本概念と基礎理論を、できるだけ具体的な事例に置き直しながら、かつ体系的に整理して解説することを目的とする。それにより、法律学の基礎知識と法的思考方法の基本をマスターし、市民社会を支える最も基本的な法制度の特色を理解することを通じて、社会を見る目を涵養することが、この授業の最終的な狙いである。私法は、民法、商法、その他の特別法を通じて、誰に、どのような私法上の権利(人格権、物権、債権および家族法上の権利を中核とする、いわゆる私権)が帰属するのかを決定する実体法の中心部分を占めている。そこには、私法上の権利の主体、権利の客体、権利の変動および権利の効果についてのルールが含まれている。私法基礎(秋学期分)では、こうしたルールの基本的な仕組みに焦点を当て、民法上定められた権利の変動を中心に解説を行う。

## 【教科書】

松尾弘『民法の体系 市民法の基礎 (第4版)』慶應義塾大学出版会(2005年 刊行予定)。

## 【参考書】

道垣内弘人『ゼミナール民法入門(第2版)』日本経済新聞社(2003年)、二宮周平『家族法』新世社(1999年)。

## 専攻科目 類(専攻核科目)

基本簿記と財務諸表の見方 2単位 春学期  
坂口 博

## 【授業科目の内容】

今日簿記はビジネスのことばとされています。現代の複雑な企業社会の実態を正しく理解するためには、簿記知識の修得が不可欠になりますので、この授業では複式簿記システムの基本フレームワークについて学びます。

## 【教科書】

坂口博著『現代企業の簿記会計提要』泉文堂

## 【参考書】

日本商工会議所編『商業簿記・3級』一橋出版等

基本簿記と財務諸表の見方  
「複式簿記論と財務諸表分析」 2単位 春学期  
佐藤 康廣

## 【授業科目の内容】

複式簿記の処理手続を体系的知識として修得すること。更に、記録に基づき財務諸表の作成・分析の技法を修得することを目的とする。このため、講義資料により内容を分析・整理した上で、その確認・理解のために練習を行う。

## 【教科書】

講義資料プリントを配布します。

## 【参考書】

『新検定簿記講義3級』中央経済社、『新検定ワークブック3級』中央経済社

基本簿記と財務諸表の見方  
「企業活動の記録システムを学ぶ」 2単位 春学期  
高田 京子

## 【授業科目の内容】

本講義では、複式簿記の概要と、財務諸表の基本的な見方とを学習する。複式簿記とは、企業の経済活動を翻訳し、記録し、報告するためのシステムである。このようなシステムによって作成される情報(財務諸表)は、企業の財政状態や経営成績を表し、企業をとりまく種々の利害関係者によって利用される。したがって、複式簿記システムとその見方を学習することにより、企業や企業をとりまく経済環境を理解するための基礎とする。

## 【教科書】

友岡賛、福島千幸著『アカウンティング・エッセンシャルズ』有斐閣、1996年

基本簿記と財務諸表の見方 2単位 春学期  
鷹野 宏行

〔授業科目の内容〕

企業は、その経済活動を継続的に記録し、それを加工して、定期的に報告していかなければならない。この一連の流れは、ふつう、企業会計と呼ばれている。企業会計が、企業を取り巻く利害関係者への一種のコミュニケーションの手段であるということに注目すると、企業会計は、ことばの体系にたとえることができよう。このようにたとえた場合、簿記は、さしずめ企業会計の文法規約であると考えられるであろう。

〔教科書〕

友岡賛、福島千幸著『アカウンティング・エッセンシャルズ』有斐閣

基本簿記と財務諸表の見方 2単位 春学期  
永見 尊

〔授業科目の内容〕

企業の成績を評価するためには、会計数値を理解することが不可欠です。どの企業がより優れているのか、あるいは一企業の3年間の成績はどのように推移しているのか、といった側面を知るためには、たとえば売上高、経常利益、流動資産あるいは自己資本といった会計用語や数値の意味が理解できなければなりません。この授業は、簿記の仕組み、貸借対照表および損益計算書の意味、そして財務諸表の分析といった幅広い領域を対象として、簿記および会計の基本的な考え方を学びます。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

経営学（環境と戦略） 2単位 春学期  
今口 忠政 岡本 大輔  
谷口 和弘 佐藤 和  
前田 淳 渡部 直樹

〔授業科目の内容〕

国際化や情報化の進展とともに今日の企業経営を取り巻く状況は大きく変化している。またそれとともに「経営学」の名において扱われる問題領域もますます多岐に渡っている。本講義では、このような経営学の全体像を明らかにするために、経営学の主要なテーマについて論じ、企業行動の分析のための基本的な知識の理解と習得を目指す。

〔教科書〕

初回の講義で説明する。

〔参考書〕

初回の講義で説明する。

経営学（組織と管理） 2単位 秋学期  
今口 忠政 岡本 大輔  
神戸 和雄 佐藤 和  
前田 淳 渡部 直樹

〔授業科目の内容〕

国際化や情報化の進展とともに今日の企業経営を取り巻く状況は大きく変化している。またそれとともに「経営学」の名において扱われる問題領域もますます多岐に渡っている。本講義では、このような経営学の全体像を明らかにするために、経営学の主要なテーマについて論じ、企業行動の分析のための基本的な知識の理解と習得を目指す。

〔教科書〕

初回の講義で説明する。

〔参考書〕

初回の講義で説明する。

商業学 2単位 春学期  
齊藤 通貴

〔授業科目の内容〕

本講義はミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究領域の中でマクロ・マーケティング論の基礎的な知識の獲得を目的とし、また、さらに専門的な研究への導入の役割を持つ。講義内容は以下の通りである。

- ・ 商業学とマーケティング論
  1. 商業学とはなにか
  2. 商業学研究の領域 - ミクロおよびマクロ・マーケティング
- ・ マクロ・マーケティング論
  1. 社会における流通・商業の役割と昨日
  2. 日本の流通システムおよび商業の特質
  3. 小売業の発展と諸理論
  4. 小売流通の特質と課題
  5. 卸売業の特質と課題
  6. マーケティングと環境

〔教科書〕

講義で指示する。

〔参考書〕

特に定めないが適宜適切な参考書を講義で紹介していく。

商業学 2単位 秋学期  
齊藤 通貴

〔授業科目の内容〕

本講義はミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究のミクロ・マーケティング論部分の基礎的な知識の獲得を目的とし、また、さらに専門的な研究への導入の役割を持つ。また、春学期に開講される商業学を同時に受講することが望ましい。講義内容は以下

の通りである。

- ・商業学とマーケティング論
  1. 商業学とはなにか
  2. 商業学研究の領域 - ミクロおよびマクロ・マーケティング
- ・ミクロ・マーケティング論
  1. マーケティングの生成と発展
  2. マーケティング戦略意思決定とそのプロセス
  3. マーケティング・ミックスの構成要素
  4. サービス・マーケティング
  5. 生産財 (B to B) マーケティング
  6. ブランド戦略
  7. 競争の戦略
  8. 消費者行動研究とマーケティング

【教科書】

講義で指示する。

【参考書】

特に定めないが適宜適切な参考書を講義で紹介していく。

商業学

「マクロ・マーケティング論」 2単位 春学期  
高橋 郁夫

【授業科目の内容】

マクロとミクロの両面から捉えることのできるマーケティング論を商業学と位置づけた上で、特に、マクロ的視点からのマーケティング論を講義する。講義の中心は生産と消費を結びつける流通の社会的経済的役割とその変化にある。

【教科書】

毎回プリントを配布する。

【参考書】

矢作敏行『現代流通 - 理論とケースで学ぶ』有斐閣 (平成8年)、高橋郁夫『増補 消費者購買行動 - 小売マーケティングへの写像』千倉書房 (平成16年)、日経流通新聞

商業学

「ミクロ・マーケティング論」 2単位 秋学期  
高橋 郁夫

【授業科目の内容】

マクロとミクロの両面から捉えることのできるマーケティング論を商業学と位置づけた上で、特に、ミクロ的視点からのマーケティング論を講義する。講義の中心は個別企業のマーケティング戦略とそれに関連する消費者行動の分析にある。

【教科書】

高橋郁夫『増補 消費者購買行動 - 小売マーケティングへの写像』千倉書房 (平成16年)。加えて、プリントを毎回配布する。

【参考書】

適宜、指示する。

商業学

2単位 春学期  
堀越比呂志

【授業科目の内容】

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とする。商業学は、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果と、個別経済主体に焦点を当てたミクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をマクロ・マーケティング論、後者をミクロ・マーケティング論と呼んでいる。商業学では、商業学全体にかかわる総論的イントロダクションに続いて、マクロ的研究成果の概観とその基礎知識の提供を目的とする。内容としては、商業史、流通論、流通政策といった分野の成果に焦点を置いたものとなる。

【教科書】

特に使用しない。講義資料は適宜配布する。できるだけ、板書を詳しくするつもりなので、ノートの整理をきちんとするよう心がけてほしい。

【参考書】

久保村隆祐・荒川祐吉編『商業学』有斐閣、佐藤肇著『日本の流通機構』有斐閣、渡辺達朗著『現代流通政策』中央経済社

商業学

2単位 秋学期  
堀越比呂志

【授業科目の内容】

本講義は、三田における商業分野設置の専門科目の基礎を提供することを目的とする。商業学は、社会経済的流通全体を取り扱うマクロ的研究成果と、個別経済主体に焦点を当てたミクロ的研究成果とから構成されており、三田においては、前者をマクロ・マーケティング論、後者をミクロ・マーケティング論と呼んでいる。商業学では、上記のような商業学の構造の説明をした上で、ミクロ的研究成果の概観とその基礎知識の提供を目的とする。内容としては、商業経営論、マーケティング管理論、消費者行動論といった分野の成果に焦点を置いたものとなる。

【教科書】

特に使用しない。講義資料は適宜配布する。できるだけ、板書を詳しくするつもりなので、ノートの整理をきちんとするよう心がけてほしい。

【参考書】

久保村隆祐・荒川祐吉編『商業学』有斐閣、P. コトラー著『マーケティング・マネジメント』(邦訳の4版、7版 (プレジデント社)、ミレニアム版 (ピアソン・エデュケーション) のどれでもよし)、村田昭治・田内幸一編著『現代マーケティングの基礎理論』同文館

## 専攻科目 類 (専攻基本科目)

応用簿記 4単位 秋学期集中  
佐藤 康廣

### 〔授業科目の内容〕

「基本簿記と財務諸表の見方」の科目で修得した基本原則・知識を基礎にして、個人企業及び株式会社を対象にした複式簿記を学習する。このため講義資料・教科書により内容を分析・整理した上で、その確認・理解のために記帳練習を行う。

### 〔教科書〕

講義資料プリント・『新検定簿記講義 商業簿記2級』中央経済社、『新検定簿記ワークブック 商業簿記2級』中央経済社

### 〔参考書〕

『日商簿記検定試験問題集3級、2級』日本商工出版

応用簿記 4単位 秋学期集中  
高田 京子

### 〔授業科目の内容〕

本講義では、「基本簿記と財務諸表の見方」をふまえ、日商簿記2級程度の習得を目処に学習を進める。

### 〔教科書〕

開講時に指示する。

応用簿記 4単位 秋学期集中  
鷹野 宏行

### 〔授業科目の内容〕

本講義は、春学期科目「基本簿記と財務諸表の見方」を履修済みの学生を対象に、株式会社で行われる簿記の諸手続を中心に展開される。概ね日商簿記検定2級商業簿記の学習範囲を対象とする。

### 〔教科書〕

開講時に指示する。

応用簿記 4単位 秋学期集中  
永見 尊

### 〔授業科目の内容〕

複式簿記の原理から始まり、特殊売買取引、本支店の簿記、あるいは複雑な帳簿組織といった商業簿記の応用項目まで学びます。さまざまな取引、仕訳あるいは帳簿の意味を学び、できるだけ多くの問題を解いていくことによって、最終的に日商商業簿記2級程度の実力を付けることを目標とします。

### 〔教科書〕

中村忠『新訂 現代簿記』白桃書房

## 総合教育科目 (類)

情報リテラシー基礎

4単位 春学期集中 / 秋学期集中  
飯箸 泰宏 恩田 憲一  
河内谷幸子 瀬川 清  
吉舗 紀子

### 〔授業科目の内容〕

ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わりを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要ならば加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのではなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについて理解することが大切である。

授業計画については講義担当者によって細部に違いがあるが、全般的な内容を次に示す。なお、春学期は5月、秋学期は10月に、メディアセンターにおける文献検索などについての講義を行う。

### 〔教科書〕

山本喜一著：入門情報処理 Office XP版、J.B.企画、2100円

### 〔参考書〕

慶應義塾大学日吉メディアセンター編：情報リテラシー入門、慶應義塾大学出版会、1200円

情報リテラシー基礎 (既習者)

4単位 秋学期集中  
山本 喜一

### 〔授業科目の内容〕

情報処理 他の講義と同様に、ITCのパソコンを利用してコンピュータを使った情報処理について講義と演習を行う。

この講義は、高校で情報関連の科目を既に履修し、パソコンを一通りは使える諸君を対象とする。したがって、情報リテラシー基礎の他の講義とは異なり、パソコンの利用に関する詳細は省略する。ほとんど毎回課題を与えるので、実習の時間内あるいは空いた時間を利用してレポートを提出する必要がある。

なお、春学期は5月、秋学期は10月に、メディアセンターにおける文献検索などについての講義を行う。

### 〔参考書〕

山本喜一著：入門情報処理 Office XP版、J.B.企画、2100円

慶應義塾大学日吉メディアセンター編：情報リテラシー入門、慶應義塾大学出版会、1200円

---

日本の産業と経営 2単位 秋学期  
コーディネーター 早見 均  
前川 千春

---

〔授業科目の内容〕

日本の産業と経営に関する諸問題あるいは課題について、下記（予定）のテーマごとに、それぞれの専門家がオムニバス形式で講義をおこなう。本講義の目的は、商学部で勉強をはじめるとにさいし、当学部の研究対象がいかに多様かつ興味ある課題をかかえているかを知り、問題意識をもってもらうことにある。したがって、各講演者は、興味深い話題の選択と、1回ずつの講義が完結したものであるように配慮している。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

なし。

---

## 総合教育科目（類）

---

線形代数 2単位 春学期 / 秋学期  
深谷太香子 安田 公美

---

〔授業科目の内容〕

社会科学のかなりの分野で、その理論が数学を用いて記述されたり、数学的手法により問題解決が図られたりして、数学の知識の必要性が増してきている。この講義では、線形代数の中でも、特に、行列の理論を中心に講義する。行列は経済学、経営学においても用いられているので、この講義を通して、行列を自由に使いこなせるようになることを期待したい。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示。

〔参考書〕

最初の授業の時に指示。

---

確率論基礎 2単位 秋学期  
安田 公美

---

〔授業科目の内容〕

ランダムに起こる現象を数学的に取り扱う、確率論の基礎を学びます。

〔教科書〕

最初の授業の時に指示。

〔参考書〕

最初の授業の時に指示。

---

ゲーム理論基礎 2単位 秋学期  
木戸 一夫

---

〔授業科目の内容〕

ゲーム理論とは、互いに無視し得ない力を持つ、複数

の主体に係る最適化問題である。この授業では、ゲーム理論の基本概念および定理を、わかりやすいストーリーと対比させながら学ぶことにより、「使えるゲーム理論」を身に付けることを目指す。つまり、問題に直面した時、鋭く現状分析をし、現実的な解決策を提案する能力を養成する。

〔教科書〕

逢沢明著『ゲーム理論トレーニング あなたの頭を「勝負頭脳」に切り換える』かんき出版

〔参考書〕

中山幹夫著『はじめてのゲーム理論』有斐閣ブックス

---

データとの対話D

「表計算応用」

4単位 春学期集中

木戸 一夫

---

〔授業科目の内容〕

EXCELの機能はあまりに豊富で、全てを予め覚えることは不合理である。こういうことをしたいという問題が生じた時に、最後までくじけずに試行錯誤し、自分の力で解決法を探すことを身につけたい。このような状況は予め解答が用意されていない世の中では必ず発生するものであり、この授業を通じて、一生を通じて役に立つ問題解決能力養成を目指す。最後までがんばれば、立派なEXCEL使いになっていることも必然である。

〔教科書〕

清水 誠著『データ分析 はじめの一步』講談社ブルーバックス

---

データとの対話D (Delphi)

「オブジェクト指向プログラミングとは」 4単位 通年

田村 高幸

---

〔授業科目の内容〕

DELPHIはWINDOWS形式で、WINDOWSプログラミングを簡単に行うことができる言語です。

そして、この言語はオブジェクトPASCALを基にしています。JAVAなどに代表されるオブジェクト指向のプログラミングの概念を実際のWINDOWSプログラミングを通して、理解してもらうことを目的としています。

オブジェクト指向プログラミングの考え方はこのネットワーク社会において重要な役割を果たしているとともに、問題解決手法としても大変重要な方法であり、この点もあわせて、明らかにしていきます。

〔教科書〕

Delphiオブジェクト指向プログラミング 塚越一雄 著 / 技術評論社 / ISBN4-7741-0427-2 /

〔参考書〕

Delphiによるプログラミング入門 山崎 秀記 著 / 培風館 / ISBN 4-5630-1413-3 /

## データとの対話D (ネットワーク活用)

「コンピュータネットワークセキュリティ入門」

4単位 通年  
田村 高幸

## 【授業科目の内容】

コンピュータネットワークセキュリティの基礎となるTCP/IPプロトコルを中心にコンピュータネットワークにおける重要なプロトコルについて学び、それらが、コンピュータネットワークセキュリティに果たしている役割について、学びます。

## 【教科書】

図解標準 最新TCP/IPハンドブック 若林 宏 著 秀和システム 2002年 ISBN4-7980-0244-5

## 【参考書】

久米原栄『TCP/IPセキュリティ』ソフトバンクパブリッシング

## データとの対話D

「Rによる経済分析のための統計的方法」 4単位 通年  
新保 一成

## 【授業科目の内容】

この授業は、コンピューターを使うことによって「統計学」および「統計学」で学習する内容の理解を深めることを目的にします。授業では、フリーソフトウェアとして国際共同開発されているRという統計分析のためのソフトウェアを使って、経済現象の実証分析に役立つプログラミング能力も養いながら、統計学上の重要な概念の確認と実際のデータを用いた実習を行います。

## 【教科書】

特になし。

## 【参考書】

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』(第2版) 東洋経済新報社、小尾恵一郎・尾崎巖・松野一彦・宮内環『統計学』NTT出版、中澤港『Rによる統計解析の基礎』ピアソンエデュケーション

## 2004年以前入学者用

## 基礎科目 類

商学概論 2単位 春学期/秋学期  
(なし)

「商学概論」は以下の科目を読み替え科目としますので、単位未取得者は5科目の中から選択してください。

- ・基本簿記と財務諸表の見方 (P.311～312参照)
- ・経営学(環境と戦略) (P.312参照)
- ・経営学(組織と管理) (P.313参照)
- ・商業学 (P.313～315参照)
- ・商業学 (P.313～315参照)

なお以下の表のとおり履修出来ないケースもありますので注意してください。

	経営学既習者もしくは 今年度履修希望者	商業学既習者もしくは 今年度履修希望者
基本簿記と財務諸表の見方		
経営学(環境と戦略)	×	
経営学(組織と管理)	×	
商業学		×
商業学		×

経済学(旧学則) 4単位 通年  
桜本 光 牧 厚志  
他

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済学基礎」「経済学基礎」(P.306)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

## 基礎科目 類 (A群)

## 簿記論

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、経済学部設置の講義要綱「簿記」(P.256)を参照してください。

## 社会科学の考え方

「社会科学の考え方」は以下の科目を読み替え科目としますので、履修希望者は2科目の中から選択してください。

- ・社会科学概論 (小野修三) (P.34参照)
- ・近代思想史 (小野修三) (P.19参照)

ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

情報処理 4単位 春学期集中/秋学期集中  
飯箸 泰宏 恩田 憲一  
河内谷幸子 瀬川 清  
吉鋪 紀子

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「情報リテラシー基礎」(P.316)を参照してください。

## 情報処理 (既習者)

4単位 春学期集中/秋学期集中  
山本 喜一

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「情報リテラシー基礎」(P.317)を参照してください。

## 情報処理

「表計算応用」 4単位 春学期集中  
木戸 一夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新  
学則者用の講義要綱「データとの対話D」(P.318)を参  
照してください。

## 情報処理 (Delphi)

「オブジェクト指向プログラミングとは」 4単位 通年  
田村 高幸

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新  
学則者用の講義要綱「データとの対話D」(P.319)を参  
照してください。

## 情報処理 (ネットワーク活用)

「コンピュータネットワークセキュリティ入門」  
4単位 通年  
田村 高幸

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新  
学則者用の講義要綱「データとの対話D」(P.319)を参  
照してください。

## 情報処理

「Rによる経済分析のための統計的方法」 4単位 通年  
新保 一成

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新  
学則者用の講義要綱「データとの対話D」(P.319)を参  
照してください。

## 基礎科目 類 (B群)

## 解析

「微分積分学の完結に向けて」 2単位 春学期  
渡部 睦夫

## 【授業科目の内容】

経済学を学ぶためには、数学の知識は不可欠です。こ  
の講義では、1学年配当の「微分法」の知識に加えて、  
統計学、経済学を理解するために必要となる「積分」に  
ついて学びます。面積、体積などを求める際に、小さな  
部分に細分して和を求める区分求積法を極限の概念を通  
して発展させたものが積分です。積分は微分の逆操作と  
なっています。微分の逆算法を用いれば求積問題は統一  
的に取り扱えます。また、積分法は求積問題のみならず  
物理学、経済学などに現われる多くの問題を解くのに用  
いられます。

「微分法」と「解析」を学ぶことにより、最低限の  
微分積分学の知識を得ることとなります。

## 【教科書】

特に指定しない。プリントを配布する。

## 【参考書】

講義の中で紹介する。

## 解析

「経済学への応用のための微分積分学」 2単位 秋学期  
渡部 睦夫

## 【授業科目の内容】

現今の経済学を学ぶためには、数学の知識とその運用  
能力が求められています。この講義では、経済学の問題  
を分析する際に必要な道具としての数学 特に、与えら  
れた制約条件の下で目的関数の値を最大あるいは最小に  
するという「最適化問題」を解くための必要最小限の数  
学を学びます。

## 【教科書】

特に指定しない。プリントを配布する。

## 【参考書】

講義の中で紹介する。

## 数学基礎

2単位 春学期  
白旗 優

## 【授業科目の内容】

この授業では、高校で学ぶ数学 I だけを前提にして、  
微分法と積分法を基礎から学びます。数学的な厳密さ  
にはあまりこだわらないで、直観的な理解の獲得と、基  
本的な計算能力の習得をめざします。

## 【教科書】

使用しません。

## 【参考書】

ガイダンス時に紹介します。

## 数理計画法

2単位 秋学期  
木戸 一夫

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新  
学則者用の講義要綱「ゲーム理論基礎」(P.318)を参照  
してください。

## 線形代数

2単位 春学期 / 秋学期  
深谷太香子 安田 公美

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新  
学則者用の講義要綱「線形代数」(P.317)を参照してく  
ださい。

## 微分法

2単位 春学期  
白旗 優

## 【授業科目の内容】

社会科学のさまざまな分野で、数学は広く応用されて  
います。この授業で学ぶ微分法は、経済学を形成してい  
る基本概念を理解する上で、必須のものです。

## 〔教科書〕

津野義道著『経済数学1-微分と偏微分-』培風館  
(1990年)

## 基礎科目 類 (C群)

統計学 2単位 春学期  
新保 一成 早見 均  
吉岡 完治

## 〔授業科目の内容〕

統計学 および統計学 を通じて、統計学が基本的知識のうち特に重要と思われるものを選んで、可能な限り易しく講義する。統計学 と の二つの講義で統計学の基本がカバーされるので、統計学 および統計学 の両方を履修することを強く希望する。

## 〔教科書〕

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』(第2版) 東洋経済新報社

## 〔参考書〕

小尾恵一郎・尾崎巖・松野一彦・宮内環『統計学』NTT出版

統計学 2単位 秋学期  
新保 一成 早見 均  
吉岡 完治

## 〔授業科目の内容〕

統計学 に引き続き統計学の基本的知識のうち特に重要と思われるものを選んで、可能な限り易しく講義する。統計学 と で統計学の基本がカバーされるので、統計学 および統計学 の両方を履修することを強く希望する。

## 〔教科書〕

岩田暁一『経済分析のための統計的方法』(第2版) 東洋経済新報社

## 〔参考書〕

小尾恵一郎・尾崎巖・松野一彦・宮内環『統計学』NTT出版

## 専攻科目 類

経済史 4単位 通年  
平野 隆

## 〔授業科目の内容〕

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済史」「経済史」(P. 307)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

経済史 4単位 通年  
吉田 正樹

## 〔授業科目の内容〕

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経済史」「経済史」(P. 308)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

社会経済学 4単位 通年  
赤川 元章

## 〔授業科目の内容〕

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「社会経済学」「社会経済学」(P. 308)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

私法基礎 4単位 通年  
本田 耕一

## 〔授業科目の内容〕

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「私法基礎」「私法基礎」(P. 309)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

私法基礎 4単位 通年  
松尾 弘

## 〔授業科目の内容〕

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「私法基礎」「私法基礎」(P. 310)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

## 専攻科目 類

### 会計学

「財務会計論、管理会計論、監査論、会計史の基礎」  
4単位 通年  
友岡 賛 伊藤 眞  
園田 智昭 前川 千春

#### 【授業科目の内容】

会計というのは、企業における経済活動ないし資本運動を組織的体系的に記録し、最終的に、企業資本がどれだけ増減したかということ、および、企業資本がどのような構成状態にあるのかということ、それぞれ損益計算書および貸借対照表によって総合化するプロセスである。今日、企業には多くの利害関係者が存在するが、彼等にとり企業の実状を知るための源泉は、主として、企業から公表される財務諸表(損益計算書・貸借対照表等)であり、彼等は、これに基づいてその行動を決定している。

現代社会における企業の重要性を考えるならば、会計は、今日、動的な経済秩序を形成する基礎的要因をなすまでに至っており、その社会的意義は飛躍的に増大している。会計学は、そうした企業会計を研究対象として、その歴史的生成を跡づけつつ、その統一的な説明原理を探究する学問領域である。

本講義は、原則的には簿記論を習得した学生を対象にして、会計学全般に関する基礎的理解を与えることを目的としているが、春学期および秋学期の講義内容は、次のとおりである。

企業会計をその機能に従って分別すれば、企業外部の利害関係者への報告を目的とする財務会計と、企業内部の利害関係者への報告を目的とする管理会計とに大別できる。春学期は、この2領域に関わる理論を概観する。秋学期は、まず監査を扱う。企業外部の利害関係者に公表される財務諸表は、社会に与える影響の大きさから、単に有用な情報内容を含んでいるだけではなく、他方で信頼できるものでなくてはならない。そうした信頼性の検証を遂行するものが、正に監査に他ならない。そこで、監査に関わる理論および制度を概観する。秋学期の後半は会計の歴史を取り上げる。とりわけ複式簿記の成立から期間損益計算の成立にいたるまでが概観される。

#### 【教科書】

友岡賛著『歴史にふれる会計学』有斐閣アルマ(秋学期後半)

#### 【参考書】

笠井昭次著『会計の論理』税務経理協会、千代田邦夫著『会計学入門』中央経済社(秋学期前半)、友岡賛著『株式会社とは何か』講談社現代新書(秋学期後半)

### 経営学

4単位 通年  
今口 忠政 岡本 大輔  
谷口 和弘〔春〕 佐藤 和  
神戸 和雄〔秋〕 前田 淳  
渡部 直樹

#### 【授業科目の内容】

講義内容、授業計画、成績評価の方法に関しては、新学則者用の講義要綱「経営学(環境と戦略)」「経営学(組織と管理)」(P. 312)を参照してください。ただし、成績は1科目通年4単位として取り扱われます。

### 産業経済論

4単位 通年  
コーディネーター 中条 潮  
八代 充史

#### 【授業科目の内容】

本講義は、商学部の4大専攻分野のひとつである「経済・産業」に属する諸分野の総合的な入門講義である。他の3分野(経営、会計、商業)については、それぞれ入門的な講義が用意されているので、日吉の学生諸君にも比較的なじみがあるものと思われる。しかし、「経済・産業」を構成する様々な分野、すなわち、国際経済、労働経済、労務管理、社会保障、財政、金融、国際金融、保険、産業組織、交通・公共政策、産業史・経営史については、必ずしも十分には知られていないのが実情である。いずれも経済学(ミクロ経済学およびマクロ経済学)を基礎とする学問であるという点は共通性を持つが、取り上げる題材は異なり、アプローチの仕方も一様ではない。そこで、各分野の担当者による入門講義を集中的に組むことで、これらの学問に対する認識を深めてもらい、あわせて三田でそれらを学ぶのに必要な基礎知識を身につけてもらうというのがこの講義のねらいである。

#### 【教科書】

本講義に関する統一の教科書はない。文献は必要に応じて各担当者が講義中に指示する。

#### 【参考書】

上に同じ。

### 商業学

4単位 通年  
斎藤 通貴

#### 【授業科目の内容】

本講義はミクロおよびマクロ・マーケティング論からなる商業学研究の基礎的知識の習得を目的とし、さらに専門的な研究への導入の役割を持つ。講義内容は以下の通りである。

##### 商業学とマーケティング論

1. 商業学とはなにか
2. 商業学研究の領域 - ミクロおよびマクロ・マーケティング

##### ミクロ・マーケティング論

1. マーケティングの生成と発展

2. マーケティング戦略意思決定とそのプロセス
3. マーケティング・ミックスの構成要素
4. サービス・マーケティング
5. 生産財 (B to B) マーケティング
6. ブランド戦略
7. 競争の戦略
8. 消費者行動研究とマーケティング

#### マクロ・マーケティング論

1. 社会における流通・商業の役割と昨日
2. 日本の流通システムおよび商業の特質
3. 小売業の発展と諸理論
4. 小売流通の特質と課題
5. 卸売業の特質と課題
6. マーケティングと環境

#### 【教科書】

講義で指示する。

#### 【参考書】

特に定めないが適宜適切な参考書を講義で紹介していく。

#### 商業学

「ミクロおよびマクロの視点からのマーケティングの理解」 4単位 通年  
里村 卓也

#### 【授業科目の内容】

本講義の目的は三田において提供されるミクロおよびマクロ・マーケティング論の講義に必要な基礎を提供することにある。春学期では個別企業の活動を対象としたミクロ・マーケティングの研究成果について、秋学期は産業や社会経済を対象としたマクロ・マーケティングの研究成果についての概観を提供する。

#### 【教科書】

特に指定しない。講義資料を適宜配布する。

#### 【参考書】

講義の中で必要に応じて指示する。

#### 商業学

「企業、社会とマーケティング」 4単位 通年  
濱岡 豊

#### 【授業科目の内容】

身のまわりには、新製品の発売、テレビ広告、商店街の活性化、さらには消費者問題など、マーケティングに関わる現象が多く生じている。この授業の前半部分では、特にメーカーのマーケティング意思決定というミクロな観点から、後半では、商業およびそれらを包摂する流通、さらには社会全体というマクロな観点から、マーケティングにおいて開発されてきた理論や概念を紹介する。様々なマーケティングにおける問題を理解、分析し、活用できるようになってもらうことが、この授業の目的である。

#### 【教科書】

講義資料は濱岡のホームページからダウンロード可能。

<http://news.fbc.keio.ac.jp/hamaoka/>

#### 【参考書】

上記の資料を参照。

#### 理論経済学

「専門課程へ向けてのわかりやすい経済学」4単位 通年  
中島 隆信

#### 【授業科目の内容】

本講義は「わかりやすさ」をモットーに、三田の専門課程で各種応用経済学（計量経済学を含む）を選択する学生のための経済学の授業である。経済学の理論を勉強することの意味は経済学を現実に当てはめる能力を身につけることにある。すなわち、本講義では、1年生で一通り学んだ経済学の知識を前提とし、「世の中を観察し、ひとつの角度から切る」ための視点、あるいは「世の中の出来事を深く考えるための道具」としての経済学を学生諸君にマスターしてもらうことを主眼とする。

#### 【教科書】

黒田昌裕・中島隆信『テキストブック入門経済学』東洋経済新報社

#### 理論経済学

「現実社会や政策を理解するための経済理論の考察」 4単位 通年  
樋口 美雄

#### 【授業科目の内容】

この授業では身の回りの経済問題を取り上げ、ミクロ経済学、マクロ経済学の両面から考察する。たとえば近年交通事故件数が急増しているが、こうした現象は経済要因と深く関わっている。交通事故死亡者の統計を見ると、確かにここ数年、毎年新記録を更新しているが、実は第1次石油危機前の昭和40年代後半にも事故死亡者の多かった時期があった。それが50年代になって減少していたのである。

交通事故件数は自動車の保有台数、自動車1台あたりの年間走行距離、走行距離あたりの事故発生件数の各要因に分解することができる。これらの要因は直接的にはスピードの出しすぎ等に左右されるのであるが、その背後では景気の動向や所得、ガソリン価格が強く影響していることがわかる。はたしてこれらの要因が交通事故件数といった具体的現象にどのように結びついていくのか。この授業では経済学の分析ツールを学ぶのと同時に、身近な問題にそれらをどのように応用したら問題の本質に近づけるのかを考えていく。春学期では完全競争、独占、寡占市場における企業行動、家計行動といったミクロ経済学を、秋学期では経済成長や景気変動、インフレ、失業、経常収支といったマクロ経済学を中心に授業を進めていく。

#### 【教科書】

樋口美雄著『労働経済学』東洋経済新報社

#### 【参考書】

中馬宏之・樋口美雄著『労働経済学』岩波書店

## 総合教育科目（ 類）

### 社会との対話S / 社会との対話D

「短期インターンシップ科目」	2単位	秋学期（S）
	4単位	通年（D）
高橋 郁夫	吉田 友子	
梅津 光弘	吉川 肇子	
新保 一成	森吉 直子	
	安井 伸	

#### 【授業科目の内容】

この授業は商学部2年生を対象に、平成11年度に設置されました。他の授業との最大の違いは、夏休み中の2週間ないし3週間に企業・機関で実地研修を受けるといふ点にあります。

##### 開講の趣旨

商学部では、これまでもカリキュラムの抜本的改革を通して、学生の自主性を引き出す試みを様々に展開してきましたが、大学で学ぶ理論と自らの社会的体験の不一致に起因するところに問題の根本が存在しているように思われます。このような事態を克服し、社会に占める自らの位置を確認し、学外での実地研修を通じて大学における教育内容と現実問題との関連を自覚的に把握できる機会を新たに提供する目的で、短期インターンシップ科目「社会との対話」を平成11年度から開講し、毎年向上心の強い学生が参加しています。

学生に現実の業務を体験させるという実施形態は、近年増えてきた「ビジネスインターンシップ」と類似していますが、当学部が設置する「社会との対話」は、以下の点で「ビジネスインターンシップ」とは根本的に異なります。

(1) 学業へのフィードバックを目的とするものであり、その後の研究・勉学、学生生活の改善、目的意識の明確化などに役立てることが期待されており、実地研修により就職の適性を確認することは副次的目的に過ぎません。また、学業へのフィードバックを目的とすることから、対象を2年生としています。

(2) 学生は与えられたテーマを年間をとおして研究・検討し、改善案を提示することを要求されます。したがって、実地研修は重要な構成要素であるとはいえ、年間授業のあくまでも一部にすぎません。事前教育、実地研修、事後教育をきっかけにしてテーマに対する理解を段階的に深め、粘り強く自主的に研究を進める事により、総合的な問題解決能力を高めていく授業であることを理解しておいてください。

(3) 上記(2)の理由により、実地研修だけで成立する科目ではないので、7名の商学部専任教員が、研修計画の決定から、研修先の訪問、学生の事前教育、事後教育、最終報告会まで指導を行います。

(4) 人気の高い大企業だけではなく、中小の特徴ある優良企業、成長著しい新興のベンチャー企業、非営利組織など、多様な企業・機関に研修先を求めています。

##### 授業の概要

- ・設置学年

商学部2年生

・単位数

「社会との対話S」(秋学期・2単位)、「社会との対話D」(通年・4単位)

(注意)同一研修先に希望者が集中した場合には、事前教育の結果に基づいて選考(マッチング)を行います。実地研修に派遣されることが決定した場合には、「社会との対話D」(通年・4単位)を履修することになります。マッチングが成立しなかった場合には実地研修には派遣されません。しかし、十分な意欲と能力があると認められた場合には、年間をとおして事前・事後教育に出席し、実地研修を除くすべての課題を達成した場合には、「社会との対話S」(秋学期・2単位)が取得可能となります。詳細については第一回目の授業で説明します。

・学生への報酬

無給

・講義概要

事前・事後教育および研修先での実地研修からなります。

・研修時期と期間

8月15日(月)~9月2日(金)を中心とする2週間ないし3週間研修先によって研修期間が若干異なる場合があります。

・実施規模

履修学生30名~40名程度

研修先として30~40社・機関を予定しています。

・開設曜日・時限

火曜日4限。ただし、授業は4・5限を使って行います。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

特に指定しませんが、各自が年間を通じて取り組むテーマに応じて、多くの参考図書を自分で見つけて内容を良く理解する必要があります。

日本の産業と経営

2単位 秋学期

コーディネーター 早見 均

前川 千春

【授業科目の内容】

日本の産業と経営に関する諸問題あるいは課題について、下記(予定)のテーマごとに、それぞれの専門家がオムニバス形式で講義をおこなう。本講義の目的は、商学部で勉強をはじめるとにさいし、当学部の研究対象がいかに多様かつ興味ある課題をかかえているかを知り、問題意識をもってもらふことにある。したがって、各講演者は、興味深い話題の選択と、1回ずつの講義が完結したものとなるように配慮している。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

## 自主選択科目

---

### 微積分演習

「解析」の内容に沿った演習」 2単位 春学期  
深谷太香子

---

#### 【授業科目の内容】

「解析」の内容に沿って、「解析」の内容の理解を深めるための演習を行います。問題を出題し、問題への取り組み方や、適宜この問題の周辺についての解説をします。その上でレポートや宿題を課します。授業中にレポートや宿題の内容についての説明を要求することもあります。

#### 【教科書】

特に指定しません。

#### 【参考書】

授業の中で紹介します。

---

### 線形代数演習

「解析」で使われる線形代数の演習」 2単位 秋学期  
深谷太香子

---

#### 【授業科目の内容】

「解析」で使われる線形代数の内容について、「解析」では詳しく触れられない部分も含め、演習と適宜講義を行います。講義「線形代数」にひき続く内容でもあります。定義等について講義をし、更に問題を出し、問題への取り組み方や、この問題の周辺についての解説を行います。その上でレポートや宿題を課します。授業中にレポートや宿題の内容についての説明を要求することもあります。

#### 【教科書】

授業の中で指示します。

#### 【参考書】

授業の中で指示します。

## 5 医学部

### 【第1学年】

#### 基礎科学必修科目

数学

02学則 数学

「線形代数学」

2単位 春学期

竹下 彬 鈴木 由紀

#### 【授業科目の内容】

線形代数の基礎理論を学びます。

線形空間、行列、行列式、線形写像、内積空間、固有値問題を理解できるようにします。

#### 【教科書】

青木利夫・大野勝寛・川口俊一共著『改訂 線形代数要論』培風館

数学

02学則 数学（春学期分）

「微分学」

2単位 春学期

竹下 彬 鈴木 由紀

#### 【授業科目の内容】

1変数関数および多変数関数の微分に関する基礎理論とその応用を学びます。

極限と連続関数、微分、偏微分を理解できるようにします。

#### 【教科書】

難波誠著『微分積分学』裳華房

数学

02学則 数学（秋学期分）

「積分学」

2単位 秋学期

竹下 彬 鈴木 由紀

#### 【授業科目の内容】

1変数関数および多変数関数の積分に関する基礎理論とその応用を学びます。

1変数関数の積分、多変数関数の重積分、級数を理解できるようにします。

#### 【教科書】

難波誠著『微分積分学』裳華房

物理学（未習）

02学則 物理学（春学期分）

「力学」

2単位 春学期

古野 泰二

#### 【授業科目の内容】

物理学では、数少ない原理や法則を組み合わせて、多

くの自然現象を理解し予測する。考え方ひとつで、答えが簡単に見つかることもあるし、物理量の間を数学的に表現し、あとは方程式を解くだけということもある。数学の解がなぜ現実を表現できるのか、考えると不思議であるが、物体の落下や振り子の振動など、方程式を立てて解いてみると解が実際の現象を正しく表現していることが分かる。1)物理法則とはどんなものか、2)物理的な考え方とは何か、3)物理量の関係を方程式で表現するとは何か、これらについて理解してもらうのもこの講義の目標である。簡単な数値的問題を解いてもらい、物理法則が正しい解を与えることを実感してもらう。

春学期は力学を中心とした講義をおこなう。力学は物理学の出発点および基礎として重要である。途中に1回の中間テストをおこない、さらに1回の特別講義（生物物理学関連の最近の話題について）を行う予定である。

#### 【教科書】

講義資料プリントを配布する。

#### 【参考書】

原康夫著『力学と電磁気学』東京教学社

物理学（未習）

02学則 物理学（秋学期分）

「電磁気学・放射線・電磁波と光」

2単位 秋学期

古野 泰二

#### 【授業科目の内容】

秋学期は電磁気学・放射線・電磁波と光に関する講義をおこなう。電磁気学は力学と同様、物理学の基礎として重要である。静電気学と電流に関する講義を6回の予定でおこなう。また、2回の予定で原子物理学および放射線の基礎について学び、これに関して中間テストをおこなう。残りを電流と磁気、交流回路、電磁波と光の講義に充てる。

#### 【教科書】

講義資料プリントを配布する。

#### 【参考書】

原康夫著『力学と電磁気学』東京教学社

物理学（既習）

02学則 物理学（春学期分）

「力学および熱現象」

2単位 春学期

三井 隆久

#### 【授業科目の内容】

生命を含む自然現象は複雑で理解しがたいように思えるが、自然現象の中の幾つかは物理法則として既に解明されており、厳密な記述が容易に可能である。容易に記述できることについて無意味な苦勞や誤解をしないため、物理学の基本法則を理解している必要がある。

第1回目の講義では、表現について述べる。ガリレオ

が述べたように、「自然という書物は数学の言葉で書かれている」。ここでは、自然現象を数学の言葉で表現するとはどのようなことなのかについて述べる。写生と同じような感覚で、自然現象を数式で表現できるようになって頂きたい。

力学では、運動の基礎について述べたあと、コマの運動を最終目標とした回転運動について述べる。コマの運動は、力学だけでなく、後に述べる磁気共鳴イメージングを理解するためにも重要である。

熱力学では、複雑なように思える熱現象が、エネルギー保存則とエントロピー増大の法則をもちいれれば、熱平衡状態に関しては厳密な記述が可能であることを理解していただきたい。

統計力学では、エントロピーが熱現象に対してはたす役割と、ボルツマン分布を理解して頂きたい。

#### 【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

#### 【参考書】

以下に参考書を示すが、講義で興味を持ち深く調べてみたい場合に、図書館などで利用してほしい。

1. ファインマン、レイトン、サンズ著『ファインマン物理学』岩波書店
2. 戸田盛和著『力学（物理入門コース）』岩波書店
3. エンリコ フェルミ著『フェルミ熱力学』三省堂
4. キッテル著『熱物理学』丸善

物理学（既習）

02学則 物理学（秋学期分）

「電磁気学および医用画像診断装置」 2単位 秋学期  
三井 隆久

#### 【授業科目の内容】

電磁気学の基礎について述べたあと、電磁気現象を利用した計測技術の集大成ともいえるx線CTおよび磁気共鳴イメージング（MRI）について述べる。

#### 【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

#### 【参考書】

以下に参考書を示すが、講義で興味を持ち深く調べてみたい場合に、図書館などで利用してほしい。

1. ファインマン、レイトン、サンズ著『ファインマン物理学』岩波書店
2. 長岡洋介著『電磁気学（物理入門コース）』岩波書店

化学

02学則 化学（春学期分）

「現代物理化学の基礎」 2単位 春学期  
久保田真理

#### 【授業科目の内容】

一般に物理化学とよばれる化学の理論的分野を学ぶ。物理化学の理論は、微視的観点からのものと巨視的観点からのものに大別できる。微視的観点からの理論として

は、量子力学が代表格であるが、その量子力学に立脚して原子の電子構造や化学結合のメカニズムについて考える。また、巨視的観点からの理論である化学反応速度論と化学熱力学の基本的考え方についても学ぶ。

#### 【教科書】

小林常利著『基礎化学結合論』培風館

#### 【参考書】

1. 玉虫伶太他編『エッセナル化学辞典』東京化学同人
2. 吉岡甲子郎著『化学通論』裳華房
3. 児島邦夫他著『基礎物理化学（上、下）』朝倉書店
4. P.W.アトキンス著『アトキンス 物理化学（上、下）』東京化学同人
5. 原田義也著『化学熱力学』裳華房

化学

02学則 化学（秋学期分）

「現代有機化学の基礎」 2単位 秋学期  
小林 常利

#### 【授業科目の内容】

有機化学の基礎について学ぶ。化学反応は、結局は、電子の働きによって起きる。本講義では化学、化学（春学期分）に学んだ定性的量子論の考え方を早速活かして、有機化学反応のメカニズムを量子論的に考えてゆく。また、有機化学の構造決定には、現代では、分子分光学的手法が盛んに用いられるので、分子分光学の基本的考え方についても解説する。

#### 【教科書】

小林常利著『基礎化学結合論』培風館  
J.マクマリ-著『有機化学概説（第5版）』東京化学同人

#### 【参考書】

玉虫伶太他編『エッセナル化学辞典』東京化学同人  
補助教材：HGS分子構造模型B型セット（丸善）

生物学

2単位 春学期  
長井 孝紀 松本 緑

#### 【授業科目の内容】

この講義の生物学の対象は生物個体ばかりでなく、細胞の次元、もっと小さな分子の世界へと、あるいは逆に地球全域へと広がる。その広がりのゆえ、また科学としての進歩の急速さのゆえ、現代の生物学はそのほかの自然科学の学問領域からの知識を統合したものとなっている。したがって学ぶべき項目は非常に多い。しかし、よく整理して学べば恐れることはない。整理された生物学の知識は医学での基礎専門分野である解剖学、生理学などを学ぶために不可欠である。学習内容の量、詳細さ、常に最新の知見に基づき更新されている現状などを考え、海外で出版されている英文の教科書をそのまま使用する。

#### 【教科書】

N. A. Campbellほか著『Biology（最新版，2004）』Benjamin/Cummings（春学期開始時までに購入すること）

## 【参考書】

なし。

---

物理学実験	1単位 通年隔週
	古野 泰二 三井 隆久 浜野 明子

---

## 【授業科目の内容】

多くの諸君は、将来、信濃町あるいはそれ以後において、短期あるいは長期に亘って実験研究を経験する筈である。発見・発明・理論の検証など、創造的な研究はとて楽しいものであるが、すぐにこのレベルに達するのは困難である。そのための導入・練習として、日吉での実験科目が用意されている。

物理学実験では、長さの測定から始まり、オシロスコープによる電圧変化、パソコンを使った計測からプロテイングラフィックスまで、1年間に12課題を設定している。高校や大学の物理学講義で習った現象も出てくるし、物理法則や演繹法の有用性が実感できるので面白いはずである。長さ・質量・温度・時間など、必要な物理量を測定で求め、電卓を使ってそれらを数式に代入し、得られた結果をグラフ用紙にプロットし曲線でつないでみる。場合によっては、まったくのばれぬ値や奇妙なグラフになってしまい、大いに悩むこともあると思われるが、「まずは自分で手を動かしてやってみる」、これが実験の基本であり、とても大切である。

## 【教科書】

慶應義塾大学医学部物理学教室編『物理学実験』を実験初日に配布する。

## 【参考書】

特に指定しないが、必要に応じて図書館備え付けの物理教科書および物理学実験書などを利用。

---

化学実験	1単位 通年隔週
	小林 常利 久保田真理

---

## 【授業科目の内容】

春学期には、無機陽イオンの定性分析を題材として、化学実験の基本操作と実験のマナーを身に付けると共に、無機化学の各論的分野を主体的・体験的に学ぶ。

秋学期は、有機化学実験を行う。有機化合物の抽出・分離精製・同定、定性分析とスペクトルによる構造決定、有機化合物の合成を行う。基礎的な有機化学実験を通して有機化学の理解を深めると共に、有機化合物の取扱法、安全に実験を行うために注意すべき事項などを学ぶ。

## 【教科書】

J.マクラー-著『有機化学概説』東京化学同人

## 【参考書】

## 【通年】

- (1) 阿部光雄編『分析化学実験』裳華房
- (2) 木下是雄著『理科系の作文技術』中央公論新社
- (3) 泉美治他監『化学のレポートと論文の書き方』化学同人
- (4) 玉虫伶太他編『イゼツル化学辞典』東京化学同人

## 【春学期】

- (1) 松浦二郎他著『無機半微量分析』東京化学同人
- (2) 高木誠司著『定性分析化学(上、中、下)』南江堂
- (3) F.A.コットン、G.ウィルキンソン著『基礎無機化学』培風館
- (4) F.B.ヘスロップ、K.ジヨーンズ著『無機化学(上、下)』東京化学同人
- (5) F.A.コットン、G.ウィルキンソン著『無機化学(上、下)』培風館

## 【秋学期】

- (1) 畑一夫、渡辺健一著『基礎有機化学実験』丸善
- (2) L.F.フィーザー、K.L.ウィリアムソン著『有機化学実験』丸善
- (3) R.M.シルバースタイン、F.X.ウェプスター著『有機化合物のスペクトルによる同定法』(東京化学同人)
- (4) J.R.グイヤ-著『有機化合物への吸収スペクトルの応用』東京化学同人
- (5) 日本化学会編『実験化学講座』(丸善)シリーズ

---

生物学実験	2単位 通年
	長井 孝紀 中澤 英夫 羽田 幸祐

---

## 【授業科目の内容】

生物学実験ではアメーバ、ゾウリムシなど単細胞生物から始めて、マウス(ラット)までが観察対象として用意される。顕微鏡観察のために標本化された試料を観察する場合もあるが、その他に多くの生きた材料が提供される。動き回る精子、そして卵細胞が細胞分裂する瞬間を観て欲しい。そして観たものには、それを同定する和名、英名、ラテン名を与えてやって欲しい。3つの表記を用いなければならないのは、我が国の自然科学者の宿命である。自らの手を動かすことで、記憶の脳細胞は活性化される。

## 【教科書】

1. 医学部生物学教室編『生物学実験』(春学期に配布する)
2. 木村雄吉著『動物の解剖と観察(再改版)』成文堂

## 【参考書】

なし。

---

## 医学基礎教育科目

---

基礎分子細胞生物学	4単位 秋学期
「基礎医学科目への準備と入門」	末松 誠(医化学)他

---

## 【授業科目の内容】

基礎分子細胞生物学は高校で十分な生物学教育を受けなかった学生が第2学年から信濃町キャンパスで基礎教育科目の専門的で且つ広範な領域での勉強についていけるよう、ごく基本的な生命現象の物質論的理解と総合的把握を目ざすために設けられた科目である。教科書はMolecular Cell Biologyを用いるが、全24章の網羅的読

破を目的とするのではなく、各章内の重要な概念や生命活動の「しくみ」をピンポイントに理解してもらい、第2学年以降の専門教育の礎としていただきたい。講義ではVisual Aidsとハンドアウトを使用する。

**【教科書】**

『Molecular Cell Biology 5th Edition』WH Freeman & Company

---

医療科学 4単位 通年  
樽井 正義 他

---

詳細は初回授業で説明します。

---

**EEP**

「本格的医学教育前の早期医療現場体験実習」

1単位 春学期特定

戸山 芳昭	鹿島 晴雄	長谷 公隆	棚橋 紀夫
山岸 敬幸	村松 太郎	広瀬 信義	古野 泰二
大塚 宣夫	川城 丈夫		木村 彰男

---

**【授業科目の内容】**

EEPは医療現場における実習であり、医学教育の早期の段階から色々な医療現況、現場を医学生が見学ないし自らが参加し、その現場において直接的に患者さんから、またその家族から、そして医者以外の多く医療関係者（看護師、PT、OT、福祉関係者など）から医療の実際、現実を身を持って体験することを目的としている。

---

## 人文・社会科学科目（選択履修）

---

**心理学**

「医学のためのミニマム・サイコロジー」 4単位 通年  
増田 直衛

---

**【授業科目の内容】**

将来医学を学ぶ学生であることを考慮し、その専門に必要なと考えられる心理学の問題を中心に捉えて、基礎的な心理学の問題を扱います。人間を理解するためにはどのような枠組みがあり、心理学はそれらに対してどのような立場をとり、どのような事実を明らかにしてきたかを考えます。

**【教科書】**

山田 富美雄（監修）『シリーズ 医療の行動科学 医療行動科学のためのミニマム・サイコロジー』北大路出版 1900円

**【参考書】**

講義に関連した文献は授業中に随時紹介します。

## 6 理工学部

### 基礎教育科目

数学A1 (学門1、3、4、5)

「微分法の基礎と応用」

2単位 春学期

石川 史郎	加藤 剛
亀谷 幸生	菊池 紀夫
小松 建三	塩川 宇賢
谷 温之	田村 要造
中野 實	宮崎 琢也
	森吉 仁志

#### 【授業科目の内容】

1変数関数および多変数関数の微分法に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を身につけるのが本講義の目的です。

#### 【教科書】

慶應義塾大学理工学部数理科学科 編「数学A1・B1」  
(生協で購入可能)

数学B1 (学門1、3、4、5)

「重積分の基礎と応用」

2単位 秋学期

石川 史郎	加藤 剛
亀谷 幸生	菊池 紀夫
小松 建三	塩川 宇賢
谷 温之	田村 要造
中野 實	宮崎 琢也
	森吉 仁志

#### 【授業科目の内容】

1変数および多変数関数の積分に関する基礎概念の理解とそれに裏打ちされた計算力を習得することが本講義の目標です。

#### 【教科書】

慶應義塾大学理工学部数理科学科 編「数学A1・B1」  
(生協で購入可能)

数学A2 (学門1、3、4、5)

「線形代数」の入門としての行列(特に2次行列)の理論とその応用」

2単位 春学期

太田 克弘	小田 芳彰
清水 邦夫	下村 俊
田村 明久	仲田 均
	前田 吉昭

#### 【授業科目の内容】

線形代数の基礎を2次行列の計算を通して習得する。また、線形微分方程式の解法を通して、「線形性」の重要性を理解する。その過程で行列の対角化と線形微分方程式の解を求める計算の基礎が身に付くようにする。

#### 【教科書】

指定のテキスト(生協で販売)

数学B2 (学門1、4、5)

「線形代数の基礎を学んだ学生がさらに深くその内容を理解するためのコース」

2単位 秋学期

太田 克弘	小田 芳彰
田村 明久	仲田 均
	前田 吉昭

#### 【授業科目の内容】

数学A2で2次行列で学んだ線形代数の基本計算を3、4次行列で習得し多元連立方程式を解けるようにする。さらに多変数関数の極値問題を固有値問題と共に理解し、具体的計算法を身につける。

#### 【教科書】

指定のテキスト(生協で販売)

数学A3 (学門2)

「解析学の基礎その1」

2単位 春学期

下村 俊 前島 信

#### 【授業科目の内容】

解析学の基礎理論を講義する。この講義においては論理的厳密性にもかなりの重点をおく。

1. 実数の定義、性質(上限、下限、実数の連続性)
2. 数列とその極限(収束の定義、コーシー列、基本性質)
3. 級数(定義、収束性、絶対収束)
4. 1変数関数の連続性とその性質(最大値の定理、中間値の定理)
5. 定積分の定義、計算
6. 1変数関数の微分法(平均値の定理、逆三角関数)
7. 微分積分法の基本定理

#### 【参考書】

伊藤雄二『微分積分学』朝倉数学講座

数学B3 (学門2)

「解析学の基礎その2」

2単位 秋学期

下村 俊 前島 信

#### 【授業科目の内容】

数学A3の続き

1. ベキ級数(収束性、収束半径)
2. テーラー展開(剰余項の評価、初等関数の展開)
3. 多変数関数(連続性、偏微分、全微分)
4. 多変数関数のテーラー展開
5. 極値問題

#### 【参考書】

伊藤雄二『微分積分学』朝倉数学講座

---

 数学A4 (学門2)

「線形代数」

2単位 春学期

石井 一平 栗原 将人

---

**【授業科目の内容】**

線形代数とは、ベクトルや行列を扱う数学の分野であり、理工学の数学の基礎の大きな部分を占めるものである。この講義では線形代数の基礎概念である「ベクトル」「ベクトル空間」「行列」「行列式」「線形変換」などを学び、また実際の計算方法を習得する。

**【教科書】**

中岡稔、服部晶夫著『線形代数入門』紀伊国屋書店

---

 数学B4 (学門2)

「線形代数」

2単位 秋学期

石井 一平 栗原 将人

---

**【授業科目の内容】**

春学期の数学A4に引き続き、線形代数の基礎を学ぶ。この講義の主な内容は、「固有値」「固有ベクトル」および「行列の対角化」である。

**【教科書】**

中岡稔、服部晶夫著『線形代数入門』紀伊国屋書店

---

 物理学A (全学門)

2単位 春学期

齋藤 幸夫 志澤 一之  
福田礼次郎

---

**【授業科目の内容】**

高校時代の力学とは異なり、ニュートン方程式を微分方程式と捉えて、すべての力学の法則はここから出てくるといふ、力学はまさに近代的な物理の理論の始まりといわれるゆえんを味わっていただく。微分、積分、ベクトルなどの基本的な知識を仮定する。

**【教科書】**

教科書としてつぎのものを使用します。

佐川弘幸、本間道雄著『力学』シュプリンガーフェアラーク東京

なお、物理学Aの最初の講義で、物理学A&Cの共通補助教材（講義の追加資料、問題集、解答集）を販売します。価格は現在のところ決定していませんが、およそ500円程度です。履修者全員が購入するようにしてください。

**【参考書】**

特に指定しません。

---

 物理学C (全学門)

2単位 秋学期

齋藤 幸夫 杉浦 壽彦  
福田礼次郎

---

**【授業科目の内容】**

物理学Aに続いて、力学の後半を学ぶ。主に、中心力の場の中の運動、多粒子系の運動、剛体の運動である。

**【教科書】**

教科書としてつぎのものを使用します。

佐川弘幸、本間道雄著『力学』シュプリンガーフェアラーク東京

なお、物理学Aの最初の講義で、物理学A&Cの共通補助教材（講義の追加資料、問題集、解答集）を販売します。価格は現在のところ決定していませんが、およそ500円程度です。履修者全員が購入するようにしてください。

**【参考書】**

特に指定しません。

---

 物理学B (全学門)

「真空中の静電磁気学と電磁誘導」

2単位 春学期

小原 實 神成 文彦  
高野 宏 日向 裕幸

---

**【授業科目の内容】**

電界、電位、磁気密度、電流、起電力など電磁気学の基本概念を学びながら、例えば対称性のよい電荷分布による電界の計算法などを身につける。さらに、流体力学、弾性体力学などの背景にある「場」というものの概念も身につける。

**【教科書】**

「物理学B&amp;D」(プリント)

毎年更改されますので、当該年度版を生協で購入のこと。

**【参考書】**

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

---

 物理学D (全学門)

「物質中の電界・磁界からマックスウェル方程式まで」

2単位 秋学期

小原 實 神成 文彦  
高野 宏 日向 裕幸

---

**【授業科目の内容】**

誘電体にはどのような電界ができるか、磁性体中にはどのような磁界ができるか、ということを理解する。さらに、電磁気学の基本法則を微分形で表してマックスウェル方程式を導出したのち電磁波についての基本知識を身につける。同時にベクトル解析の基礎を身につける。

**【教科書】**

「物理学B&amp;D」(プリント)

毎年更改されますので、当該年度版を生協で購入のこと。

**【参考書】**

授業中に、学生の質問に応じて推薦します。

## 化学A (全学門)

「原子や分子の電子構造論と化学結合論入門」

2単位 春学期

伊藤 正時	中嶋 敦
藪下 聡	山元 公寿
	吉岡 直樹

## 〔授業科目の内容〕

原子構造論の基礎として、1s,2s,2pなどの原子軌道および原子の電子配置と周期律の関係を理解します。また簡単な分子の電子状態についても学び、1年生秋学期の化学B、あるいは化学C、Dの基礎となることを目指します。

## 〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

講義で使用するOHPの原稿はwebサイト <http://sepia.chem.keio.ac.jp/chemA/chemA.html>よりダウンロードできます。パスワードなどは最初の授業でお知らせします。

## 〔参考書〕

教科書として特に指定はしませんが、以下の参考書の中から自分に合ったものを買っておくと便利です。

伊藤正時『物理化学演習』裳華房

中田宗隆『量子化学』東京化学同人

ウィンター著、西本吉助訳『フレッシュマンのための化学結合論』化学同人

田中政志・佐野充著『原子・分子の現代化学』学術図書出版社

小林常利著『基礎化学結合論』培風館

平尾公彦・加藤重樹著『化学の基礎』講談社サイエンスフィク

## 化学B (学門1、2、4、5)

「無機化学、物理化学、有機化学の基礎 (化学全般におけるものづくりの基礎)」

2単位 秋学期

磯部 徹彦	今井 宏明
伊藤 正時	栄長 泰明
須貝 威	千田 憲孝
中田 雅也	山田 徹

## 〔授業科目の内容〕

理工学部1年生においては、数学、物理、化学を基礎科目として全員履修します。化学は「もの」づくりの基本となる分野であり、私達の身の回りにたくさんある「もの」を、サイエンスの立場から理解するためには、化学全般に渡る知識が必要です。講義の前半では無機化合物を、後半には有機化合物をとりあげ、サイエンスの化学的基礎知識、ものづくりの基礎知識を修得することを目標としています。

## 〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

## 〔参考書〕

茅幸二著『物理化学演習』裳華房、太田博道著『コン

パクト基本有機化学』三共出版

## 化学C (学門3)

「初等物理化学」

2単位 秋学期

美浦 隆

## 〔授業科目の内容〕

1. 分子科学の基礎
  - 1.1 結合エネルギー
  - 1.2 結合のイオン性と原子の電気陰性度
  - 1.3 分子の極性と誘電分極
  - 1.4 分子間相互作用
  - 1.5 実在気体の状態方程式
2. イオン結晶
  - 2.1 イオン配列の規則性
  - 2.2 クーロンポテンシャルとイオン間平衡距離
  - 2.3 イオン半径
  - 2.4 イオン半径比と配位数
  - 2.5 イオン結晶の溶解 (溶媒和) とイオン伝導
3. 金属・半導体
  - 3.1 等大球の充填と最密充填：金属結晶
  - 3.2 異種原子の混在：合金
  - 3.3 自由電子と束縛された電子
  - 3.4 価電子帯・禁止帯・伝導帯
  - 3.5 不純物半導体
  - 3.6 電子伝導率の温度変化
4. 錯体・錯イオン
  - 4.1 配位共有結合と配位子
  - 4.2 配位子場中の d 軌道電子
  - 4.3 d 軌道を含む混成
  - 4.4 不対電子と常磁性
  - 4.5 吸光スペクトルと分光化学系列
5. 化学熱力学の基礎
  - 5.1 系と外界
  - 5.2 系の内部エネルギー
  - 5.3 系の状態変化とエネルギー保存則
  - 5.4 熱が状態量となる条件; エンタルピー
  - 5.5 可逆過程での熱とエントロピー変化
  - 5.6 自発変化の判定条件
  - 5.7 純化学変化の自発性判定条件; 自由エネルギー
  - 5.8 H、S、Gの温度変化
  - 5.9 体積仕事以外の仕事も関わる化学変化
6. 化学反応速度論の基礎
  - 6.1 応速度式：微分形と積分形
  - 6.2 気体分子間の衝突反応
  - 6.3 活性錯体
  - 6.4 反応速度定数の温度変化

## 〔教科書〕

なし。

## 〔参考書〕

一般に「物理化学」に分類される書籍。

特定のものには推奨しないが、アトキンス、パーローなどが著名。どうせ購入するならば英語リプリント版の方が安価で、後々の役に立つ。

---

**化学D (学門3)**

「有機化学の基礎。有機化合物と反応」 2単位 秋学期  
西山 繁

---

**【授業科目の内容】**

炭素原子を中心に構成される有機化合物に特有の電子配置と立体化学を解説します。さらに、有機化合物の変化(反応)にともなう電子の動きを理解できるようにします。以上のような基本事項は、生命現象に関わる生体反応の仕組みを理解する上で非常に重要な手がかりとなります。

**【教科書】**

なし。必要に応じて、PDFファイルとして配布します。

**【参考書】**

ボルハルト・ショアー著『現代有機化学』(上・下) 化学同人、ストライトウィーザー著『有機化学解説』(1、2) 廣川書店

---

**生物学序論**

「ヒトの理解を目指して」 2単位 春学期 / 秋学期  
小野 裕剛 金子 洋之  
長井 孝紀 中島 陽子  
星 元紀 松本 緑

---

**【授業科目の内容】**

科学や技術を通じて次の時代を担う人材となることが期待されている理工学部の学生にとって、基礎的な生物学の知識(敢えていえば、生命のしなやかさとしたたかさをもたらず複雑なシステムの理解)は欠くことの出来ない素養であり、それ無しには人類が解決すべき諸問題に立ち向かうことはおぼつかないといっても過言ではない。生物は、歴史的に獲得した情報を内包している遺伝プログラムの枠組みのうちで、環境からの刺激に応答しながら、複雑な系を安定な状態に維持することのできる統合システムとしてとらえることができる。このような柔軟な統合システムの考え方・見方を学ぶことは、理工学部の学生にとっては特に意義深いものと考えられる。また、すべてのテクノロジーはヒトによって担われ、最終的にヒトを対象としたものであり、生物としてのヒトという観点を抜きにしたテクノロジーは本来ありえない。

生物学序論はこのような認識に基づいて昨年度より新たに開講されたもので、細胞と個体を中心にすえて生命現象の多様性と共通性を見るときにも、それぞれのシステムの成り立ちとその活動の基本的な機構を学ぶことによって、生物の“しなやかさ”と“したたかさ”、およびそれらの裏返しでもある“もろさ”を理解し、その延長としてヒトHomo sapiensのより深い理解を目指す。それぞれのテーマにつき、典型的なあるいは理解しやすい具体例を用いて説明するが、さらに深く学ぶために、関連する書籍等を随時紹介する。

**【教科書】**

指定せず。

**【参考書】**

随時紹介する。

---

**自然科学実験**

「科学の基礎に関する物理および化学実験」  
2単位 春学期 / 秋学期  
西山 繁 他

---

**【授業科目の内容】**

自然科学実験は、物理学編と化学編から構成されています。物理学編は、重要な物理現象と基本的な測定技術習得を目的として各テーマを置いています。また、化学編は化学の基礎を理解する上で役立つ「ものを作る実験」と「物の性質を調べる実験」を中心にテーマを組み立てています。この実験を受講することで、あらゆる分野に関連する科学の基礎知識を習得します。

**【教科書】**

自然科学実験 物理学編および化学編の2冊があり生協で購入して下さい。

**【参考書】**

特にありません。

---

**情報処理同実習**

「パソコンを使いこなす」 2単位 春学期  
大野 義夫 小川 邦康  
佐藤 健吾 佐藤 春樹  
篠沢 佳久 高田 眞吾  
只野 裕一 中西はるみ  
萩原 将文 三田 彰  
山本 喜一

---

**【授業科目の内容】**

これからの科学者、技術者にとってコンピュータを使いこなせることはもっとも基礎的な技術です。この科目では、ITCのパソコンを利用して、コンピュータに馴れ、その特徴を知るところを目的としています。このため、コンピュータ・リテラシー(コンピュータの基本的な使い方)を短期間に密度濃く実習します。

**【教科書】**

教科書は講義のはじめに指示します。また、Webに講義資料を載せておきます。

---

**理工学概論**

2単位 春学期 / 秋学期  
山田 邦博 小山内州一

---

**【授業科目の内容】**

新聞や雑誌でしか知らなかった、最新学問分野あるいは社会の大きな潮流とその背景を把握するとともに、自身が目指す勉強あるいは働く分野の中身を十分に理解することを目的としている。

**【教科書】**

なし。

**【参考書】**

木下是雄著『理科系の作文技術』中公新書(700円)  
慶應義塾大学日吉メディアセンター編『情報リテラシー入門』慶應義塾大学出版会(1200円)

## 専門基礎科目

アルゴリズム 2単位 秋学期  
大野 義夫

### 【授業科目の内容】

コンピュータを用いて解きたい問題には、いくつかの典型的なパターンがあります。また代表的なパターンの問題に対しては、解法の定跡が確立しています。

この科目では、定跡となっているアルゴリズムやデータ構造を学ぶとともに、アルゴリズム同士の定量的な比較の仕方についても考えます。

### 【教科書】

石畑清『アルゴリズムとデータ構造』岩波書店

アルゴリズム論 2単位 秋学期  
山口 高平

### 【授業科目の内容】

さまざまな問題解決の場で利用することになるアルゴリズムの基本的な考え方と手法を学ぶ。また、これらアルゴリズムの現実の場での利用についても話をします。

### 【教科書】

資料配布。あるいは指定したWebページ各自ダウンロードして持参すること。

### 【参考書】

講義中に示す。

位相数学 「トポロジー」 2単位 秋学期  
亀谷 幸生

### 【授業科目の内容】

トポロジー(位相)は、場所(Topos)の概念を美しく抽象化した学問です。高度の抽象化により大幅に適用範囲が広がり、あらゆる数理科学分野に欠くことのできない礎となっています。ここでは、「もの」の中の点や集合の間の位置関係の基礎諸概念を実例をあげつつ学びます。たとえば、点と点の近さ(距離)、点と点が線でつなげるか(連結性)、集合の中の点が無限小に動いたとき外にはみ出るか(開集合)、与えられた写像が、入力を無限小に動かせば出力も無限小に動くか(連続性)、さらに、他分野で極めて重要な応用をもつコンパクト性、分離性、完備性を学びます。

### 【教科書】

特になし。

### 【参考書】

松坂和夫『集合・位相入門』(第4章~)岩波書店

インダストリアル・エンジニアリング 「作業システムの分析と改善」 2単位 春学期  
松本 俊之

### 【授業科目の内容】

経営工学で中心的役割を果たすインダストリアル・エンジニアリング(IE)の諸手法を、歴史的な観点や哲学的な観点を加えながら説明する。本講義では、企業活動におけるIEの役割、「改善のための発想」に重点をおいた仕事の方法の分析、仕事の時間の把握、工場設計の基礎知識に関して講義する。

### 【教科書】

藤田彰久著『IEの基礎』建帛社

### 【参考書】

川瀬武志著『IE問題の解決』日刊工業新聞社

応用解析第1 「常微分・偏微分方程式」 2単位 春学期  
朝倉 浩一

### 【授業科目の内容】

化学及び物理現象の解明に必要な種々の微分方程式に対する解析法の基礎を学びます。単に数学としての講義ではなく、化学及び物理現象と関連させて説明します。

### 【教科書】

志水・鈴木著『常微分・偏微分方程式ノート』コロナ社(1995年)

応用解析第1 「常微分・偏微分方程式及び関数解析・変分問題への入門」 2単位 春学期  
菊池 紀夫

### 【授業科目の内容】

常微分及び偏微分方程式の初期値問題及び境界値問題、積分方程式、Fourier展開、変分問題。

### 【教科書】

担当教員による講義原稿を配布。

### 【参考書】

高橋陽一郎『微分方程式入門』東京大学出版会

応用解析第1 2単位 春学期  
佐野 昭

### 【授業科目の内容】

微分方程式は、理工学分野に現れる現象を記述し解析するための重要なツールの一つである。常微分方程式、偏微分方程式の基礎を理解し、実際に微分方程式を導出したり解いたりできる応用能力を修得することが目的である。

### 【教科書】

プリントを配布する。

### 【参考書】

志水・鈴木：常微分・偏微分方程式ノート、コロナ社

### 応用解析第1

「微分方程式の理解とその解法/ベクトル微分演算の基礎」  
2単位 春学期  
澤田 達男 松尾亜紀子

#### 〔授業科目の内容〕

本講義は大きく2つに分けられる。

- (a) 微分方程式の解法
- (b) ベクトルの微分演算

の2つについてそれぞれ6回の講義が行われる。演習・宿題を数多く取り入れ、理解が深まるようにする。担当教員も(a)松尾、(b)澤田、が行う。(a)微分方程式の解法では、常微分方程式・偏微分方程式の性質を理解、その解法をマスターすることが目標である。(b)ベクトルの微分演算では、添字表示に基づくベクトルの微分演算法をマスターし、微分演算の物理的性質を理解することが目標である。

#### 〔教科書〕

渋谷仙吉・内田伏一、物理数学コース『常微分方程式』  
裳華房(1998年)

#### 〔参考書〕

なし。

### 応用解析第2

「線形システム解析の基礎理論」 2単位 秋学期  
池原 雅章

#### 〔授業科目の内容〕

線形常微分方程式で記述される対象(現象)すなわち、線形動的システムの基礎的理解を深めることを目的とし、線形システム理論、回路網理論、制御理論等への準備と位置付けられる。線形代数の基礎、ラプラス変換、Z変換を履習したあと、常微分方程式、差分方程式の解法、解析へ向かう。したがって、応用解析第1の履修を前提としない。

#### 〔教科書〕

高橋進一、高橋徹 共著『線形システム解析入門』培風館

### 応用化学計算基礎

「コンピュータ操作のスキルアップと化学計算へ適用法」  
2単位 秋学期  
寺坂 宏一 吉岡 直樹

#### 〔授業科目の内容〕

化学分野においてもコンピュータは必要不可欠な道具となっており、実験結果の整理および論文作成、実験操作の支援、反応装置の開発や設計を目的とした数値計算あるいは分子構造のシミュレーションなどを行う機会が非常に多くなってきました。

そこで、応用化学分野においてコンピュータ計算を必要とする例題を、Windows上の表計算ソフトやプログ

ラミング言語を用いた実習の中で解きながら、コンピュータの操作方法や応用方法について理解を深めます。

表計算ソフトの実習ではExcelを用い、主としてデータの整理法および公的論文や報告書のグラフ様式として不都合のない作図法について学び、さらにマクロやVBAを使ったプログラミングへの入門へ導きます。

プログラミング言語の実習ではVisual Basic for Applicationsを用い、主としてコンピュータ処理の流れおよびコンピュータ言語に共通のプログラミング技術の基礎に関して学習します。

履修学生は学内に設置されたパソコン等を利用し、普段からキーボードやマウス操作に十分慣れ、また興味のある学生はWindows上にインストールされている各ソフトのヘルプや専門書籍を参照し、実習で用いなかった機能などについても十分に体験しておくことを望みます。

#### 〔教科書〕

毎回プリントを配布します。

#### 〔参考書〕

大村あつし『かんたんプログラミングVBA基礎編』  
技術評論社

応用確率論 2単位 春学期  
「確率の基礎から確率過程まで」 中川 正雄

#### 〔授業科目の内容〕

本講義は確率の基礎から確率過程まで、豊富な応用と例題を示しながら解説する。雑音、音声信号、画像信号、電話の呼び、カオス、量子雑音などを共通に表現するのは確率論のなせる業である。実に確率は広い分野で利用され、情報理論、通信理論、ネットワーク工学、信号処理、制御などの工学から文科系の分野まで利用される。

#### 〔教科書〕

中川正雄、真壁利明著「確率過程」培風館

応用確率論 2単位 秋学期  
本田 郁二

#### 〔授業科目の内容〕

電子工学科の応用確率論は熱電子や気体分子運動、情報信号などにみられる物理的な不規則現象を確率論的に理解することを目標とする。特に不規則現象の時間発展を記述するために具体的な確率分布の発生メカニズムと確率過程の考え方に重点をおくこととする。

#### 〔教科書〕

用いない。補充プリントを配布する。

#### 〔参考書〕

必要に応じて参考書を紹介する。

---

**応用確率論**

「確率論・統計学を基礎にした乱数を用いたシミュレーション法」

2単位 秋学期  
横井 康平

---

**【授業科目の内容】**

質点の運動はおなじみの運動方程式で表され、初期条件さえ決まれば完全に決定できます。しかし、我々が現実に出会う現象には、とても解けないほど数の多い気体分子の運動や、複雑な要因がからんで解が決定できない射的の的当てやサイコロ投げなどの確率的に扱わなければならないものがあります。ミクロの世界では、量子効果のため現象の記述に本質的に確率が使われます。ここでは、このような確率現象をどのように取り扱うかということと、このような現象を理工学の問題に応用する方法について解説します。

まず、確率の基礎を説明し種々の確率分布になじんでもらい、統計手法への応用を扱います。ついで、乱数を用いた確率論的なモンテカルロ・シミュレーションでいくつかの自然科学現象を調べます。そこでは確率を自由にコントロールしてその現象と同じ確率をもつ「粒子」を発生させ、その振る舞いを観察します。

**【教科書】**

なし。

**【参考書】**

1.ガットマン、S.S.ウィルクス共著（石井恵一、堀素夫共訳）『工科系のための統計概論』 培風館

---

**応用数学**

2単位 秋学期  
岡田 英史

---

**【授業科目の内容】**
**【講義項目】**

1. ラプラス変換と常微分方程式の解法
2. フーリエ級数
3. フーリエ変換
4. フーリエ級数、フーリエ変換との偏微分方程式の解法

理工学に於ける現象の解明、工学機器の設計のための言葉となるものが応用数学です。この授業では、微積分、関数論を学んだ皆さんを対象に、振動、波動現象を理解するための数学、具体的にはラプラス変換、フーリエ級数、フーリエ変換、偏微分方程式などの入門解説を行います。またこのとき、単なる数学の授業とならないように、具体的応用例をあげ、理工学との接点を意識して配慮したいと考えています。

1. ラプラス変換と常微分方程式の解法

常微分方程式を微分、積分操作ではなく、代数演算におきかえて解く便利な方法を身につける！

2. フーリエ級数

周期振動、周期波動現象を自由に合成したり、分解したりする方法を身につける。

3. フーリエ変数

一般の振動、波動の波数合成、波数分解を知り、波数スペクトルの考え方を身につける。

4. フーリエ級数、フーリエ変換と偏微分方程式の解法

第3節の具体的、実用的応用として2階の偏微分方程式、ラプラス方程式、熱伝導方程式、波動方程式などの解法を身につけ、応用数学を恐らなくすることを試みる。

**【教科書】**

田代嘉宏著 『ラプラス変換とフーリエ解析要論』 森北出版

---

**応用数学**

2単位 春学期  
「デジタル情報処理のための数学」 斎藤 英雄

---

**【授業科目の内容】**
**【講義項目】**

1. フーリエ級数
2. フーリエ変換
3. ラプラス変換
4. z変換

画像や音声等のマルチメディア情報を解析・処理するために必須となる数学の基礎として、フーリエ・ラプラス変換を用いた信号解析法について講義します。

**【教科書】**

特に指定しません。プリントを配布します。

**【参考書】**

- ・キーポイントフーリエ解析 船越満明 岩波書店 ISBN4-00-007869-0
  - ・ラプラス変換とフーリエ解析要論 田代嘉宏 森北出版 ISBN4-627-02610-2
  - ・フーリエ解析とその応用 洲之内源一郎 サイエンス社 ISBN4-7819-0134-4
  - ・信号解析のための数学 三谷政昭 森北出版 ISBN4-627-78521-6
  - ・フーリエ解析・ラプラス変換 寺田文行 サイエンス社 ISBN4-7819-0893-4
  - ・フーリエ解析 大石進一 岩波書店 ISBN4-00-007776-7
  - ・現代複素関数通論 樋口・田代・瀧島・渡邊 培風館 ISBN4-563-00572-X
- 

**応用電気電子回路**

「実践的な電気回路・電子回路演習」 1単位 秋学期  
松本 佳宣

---

**【授業科目の内容】**
**概要**

電気回路と電子回路に関して、身の回りや研究で良く用いられている回路を中心に概説して、演習問題等を通して各種回路理論を理解する。また、回路の設計論と実際の回路の限界などについても説明する。

**学習の目標**

電気回路と電子回路の基礎知識をもとにして、様々な用途の回路の具体例を理解しながら、実際に道具として

使いこなせるように回路理論を修得する。また、身近にある電気機器の仕組みがある程度わかるようにする。

【教科書】

プリント配布。

【参考書】

授業中に適宜紹介する。

応用電磁気学同演習

2単位 秋学期

畑山 明聖 白鳥 世明

【授業科目の内容】

1. マクスウェル方程式が記述する物理現象及び法則のしっかりとした理解、2. 電磁気学の応用問題を自分自身でモデル化し、解くことができる、3. そのための数学的な力を身につける。

【教科書】

プリント配布。

オペレーションズ・リサーチ第1

「計画の科学としてのORのアプローチ」 2単位 秋学期

森 雅夫

【授業科目の内容】

オペレーションズ・リサーチ (OR) とは、システムの計画や管理の主として計量的な側面に焦点を当て、社会や企業の諸システムの中に内在する法則性を知り、その情報を意思決定の一助とするための“道具”であると云えます。システムの大規模化・複雑化に伴って、ORの管理技法を有効に活用することは、適正な意思決定を下すためにも、また、意思決定の根拠を他の人々に理解してもらうためのコミュニケーションのツールとしても、重要な“道具”である。いわば、物理学が諸工学のbasisであるように、ORは社会や経済などの人間活動の諸問題を科学的に解明するbasisと云えます。それでは、新聞や世間でORの手法やその活躍ぶりが、なぜ喧伝されないのでしょうか？しかし、開発された手法やそれを用いたソフトが、すでに多くのシステムに組み込まれ、知らず知らずのうちに社会で利用されています。身近なところでは、コンビニの商品の無駄の少ない在庫の管理や、適切なタイミングでの配送の計画などなど…。OR第1では、ORの考え方や、ORの方法についての基礎を習得することを目的とする。まず、問題を理解する上で、対象を“モデル化”して考えます。その造ったモデルにいろいろな手法を適用して思考実験を行います。これらのプロセスについて学習します。モデルには、大きく分けて“確定的なモデル”と偶然現象をも考慮するための“確率的なモデル”があります。ことにOR第1では、主として、確定的なモデルに対するアプローチである「数理計画法」の基礎について学習します。

【教科書】

特に定めなし。プリントを配布する。

【参考書】

授業のときに、案内する。

解析力学

2単位 春学期

江藤 幹雄

【授業科目の内容】

「物理学A」、「物理学C」で学んだニュートン力学は、変分原理に基づいて解析力学と呼ばれる新しい形式に体系化されます。それは現代物理学の理論体系の基礎となるものです。本講義では、解析力学のうち、「ラグランジュの運動方程式」と「ハミルトンの正準方程式」について解説をします。それを用いてエネルギーや運動量などの保存法則の物理的な意味を考えます。解析力学を使うと力学の演習問題を見通しよく、容易に解くことができますが、その力を身につけることを目指します。

【参考書】

小出昭一郎『解析力学』岩波書店

ランダウ、リフシッツ『力学』東京図書

回路とシステム第1

「電気回路の表現と解析」

2単位 春学期

大森 浩充 浜田 望

【授業科目の内容】

電気工学の中心的な理論である回路論の体系化された表現法・解析法・設計法は、電磁気現象がその他の物理現象と類似していることから、力学、化学、生物学など他の工学分野へ広く導入され、それぞれの分野で独自の理論へと発展している。このように、電気回路理論の概念は、多くの工学理論の根拠を支える重要な考え方となっている。講義では、電気回路を用いてシステムを表現するセンスを養うことをひとつの目的とし、その基礎として、回路素子の性質と回路に関する諸定理を述べ、回路方程式による表現法を習得した後、回路解析法として過渡応答解析法と交流回路解析法を習得する。授業は理論的内容を具体的に直ちに理解・確認できるように、演習・例題を含めた構成とする。

【教科書】

システムデザイン工学科配布のテキストを使用する。

【参考書】

浜田望著『電気回路』森北出版(株)

森真作著『電気回路ノート』コロナ社

森真作、南谷晴之著『電気回路演習ノート』コロナ社など

回路とシステム第2

「回路とシステムのアドバンスな内容」 2単位 秋学期

浜田 望

【授業科目の内容】

回路解析手法のオーバービュー

回路の電力・エネルギーと受動性

3相交流回路と電力伝送

2端子対回路 - 回路の特性表示 -

演算増幅器 (オペアンプ) 便利な機能素子

分布線路 - 回路における波動現象 -  
 周期信号に対する回路の解析  
 信号処理機能としての回路  
 非線形回路とシステム  
 動的システムのアナロジー電気回路と他の動的システム

化学統計熱力学 2単位 春学期  
 中嶋 敦 平島 碩

### 〔授業科目の内容〕

- Introduction 熱、温度、仕事（熱力学第0法則）  
 Part 1 エネルギー（気体分子運動論と熱力学第1法則）  
 §1 気体の状態方程式  
 §2 気体分子運動論  
 分子の運動と温度  
 §3 エネルギーと熱力学第1法則  
 仕事と熱、エネルギー  
 内部エネルギー、エンタルピー、比熱、熱化学  
 Part 2 エントロピー（統計熱力学と熱力学第2法則）  
 §4 気体分子の量子力学  
 §5 分子のエネルギー分布---統計熱力学入門  
 §6 量子統計（Bose-Einstein分布、Fermi-Dirac分布）  
 とMaxwell-Boltzmann分布  
 §7 エントロピーと第2法則  
 統計熱力学的エントロピー、第2法則、第3法則  
 Part 3 自由エネルギー（平衡）  
 §8 自由エネルギーと化学ポテンシャル  
 §9 化学平衡  
 化学反応と自由エネルギー、平衡定数、平衡定数の温度変化、  
 §10 相平衡  
 実在気体の挙動と相平衡、Clausius-Clapeyronの式、Gibbsの相律、平衡状態図、  
 §11 物質の混合：理想溶体と実在溶体  
 §12 「平衡状態」と「定常状態」

### 〔教科書〕

プリントを配付します。

### 〔参考書〕

茅 幸二、他『物理化学演習』裳華房  
 バーロー『物理化学（第6版）』（上・下）東京化学同人  
 アトキンス『物理化学（第6版）』（上・下）東京化学同人  
 ライフ『統計熱力学の基礎』吉岡書店  
 その他、講義の進行に合わせて紹介する。

化学統計熱力学演習 1単位 春学期  
 中嶋 敦 平島 碩  
 朝倉 浩一 三井 正明

### 〔授業科目の内容〕

「化学統計熱力学」の講義に対応して、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギーといった重要な新しい考え方を中心として、これらの理解を具体的な問題を解くことを通じて深めるために演習を行なう。講義「化学統計熱力学」と進度をあわせて補足・先取りしながら進め

るので、効果的な学習が期待できる。

### 〔参考書〕

アトキンス『物理化学』東京化学同人  
 バーロー『物理化学』東京化学同人  
 ライフ『統計熱力学の基礎』吉岡書店

### 化学平衡論

「内部エネルギー、エンタルピー、エントロピー、自由エネルギー、化学ポテンシャル、物理平衡、化学平衡、状態図、蒸気圧、束一的性質」 2単位 秋学期  
 木村 敏夫

### 〔授業科目の内容〕

物質に起こる変化には、融解や蒸発のような物理的状态の変化と、化学反応のような化学的状态の変化があります。温度や圧力などの外的な因子が変化したときに、物理的状态がどの方向に変化するか？（液体から気体へ、あるいはその反対）や、化学反応がどこまで進むか？を決める原理を理解することが、この講義の第1の目標です。つぎに、この原理を純物質と溶液に適用し、物質の状态変化の方向を判断する方法を身につけることが第2の目標です。この講義を受講した結果、物質の状态の安定性について理解することができ、所望の性質を持つ物質（材料）を合成する方法を考える基礎が身につきます

### 〔教科書〕

『アトキンス物理化学（上）（第6版）』東京化学同人（2001年）  
 講義資料（プリント）を配布します。

### 〔参考書〕

多くの「物理化学」という名前の教科書が出版されていますが、教科書を含め、どれか1冊を読むとよいでしょう。

学外実習第1 2単位 秋学期  
 岡 浩太郎

### 〔授業科目の内容〕

定められたカリキュラム以外に理工学部外、塾外の大学等での授業の履修、あるテーマに関する講習会等の受講、企業・研究機関等での一定期間以上の実習等の内容が専門基礎科目の単位として相応しい内容を有するものであると認定されたとき、本学科目の単位として認定する。すなわち、内容（場所・時間等を含む）については学生自身が企画することになる。

### 確率

「統計解析の基礎」 2単位 春学期  
 竹内寿一郎

### 〔授業科目の内容〕

不確実な現象を数学的に扱うために、確率論の基礎を学ぶ。講義は解析を中心に進められ、推定、検定等、統計解析の入門として確率を学ぶ。

### 〔教科書〕

清水良一著『確率と統計』新曜社（1980年）  
講義資料プリントを配布します。講義は概ね講義資料  
プリントに従いますが、テキストも参照してください。

確率 2単位 春学期  
増田 靖

#### 〔授業科目の内容〕

不確実な現象を数学的に扱うために、確率論の基礎を  
学ぶ。工学的・社会的現象への応用についても話す。

#### 〔教科書〕

清水良一著『確率と統計』新曜社（1980年）  
講義資料プリントはwebサイト<http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masuda-hp/lectures.htm>よりダ  
ウンロードできる。講義は概ね講義資料プリントに従う  
が、テキストも参照のこと。

#### 〔参考書〕

伏見正則著『確率と確率過程』講談社（1987年）

関数論第1同演習  
「複素変数関数についての微積分学」 3単位 秋学期  
下村 俊 田中 孝明

#### 〔授業科目の内容〕

関数論の基本事項について解説する。これらが自由自  
在に活用できるようになることを目標にする。

1. 複素平面、複素関数、数列、級数
2. 正則関数、べき級数の正則性
3. コーシーの積分定理、コーシーの積分公式とその応  
用
4. テーラー展開、一致の定理
5. 有理型関数、留数
6. ローラン展開、孤立特異点

#### 〔教科書〕

田村二郎『解析関数』裳華房

管理工学基礎演習 1単位 春学期  
篠崎 信雄 他

#### 〔授業科目の内容〕

管理工学における基礎的な概念や手法について演習を  
通して理解を深める。演習は、全体を2班に分け、原則  
として各班隔週で2時限連続して行なう（班分けは事前  
に掲示する）。また、最終回に演習内容全般についての  
試験を行なう。なお、毎回電卓は必要であるので持参す  
ること。

#### 〔教科書〕

演習で使用するテキストは、慶応コピーセンターで購  
入すること。

テキストには、演習で使用する用紙などが綴じこま  
れているので、毎回持参すること。

#### 〔参考書〕

それぞれのテーマの参考書等については、担当者に尋  
ねること。

管理工学基礎演習 1単位 秋学期  
篠崎 信雄 他

#### 〔授業科目の内容〕

管理工学における基礎的な概念や手法について演習を  
通して理解を深める。演習は、全体を2班に分け、原則  
として各班隔週で2時限連続して行なうが、そうでない  
ものもあるので注意すること。班分けについては事前に  
掲示する。また、最終回に演習内容全体についての試験  
を行なう。なお、毎回電卓は必要であるので持参す  
ること。

#### 〔教科書〕

演習で使用するテキストは、慶応コピーセンターで購  
入すること（管理工学基礎演習 で購入するテキストの  
後半部分）。テキストには、演習で使用する用紙などが  
綴じこまれているので、毎回持参すること。

#### 〔参考書〕

それぞれのテーマの参考書等については、各担当者に  
尋ねること。

管理工学用数学第1  
「管理工学のための線形数学」 2単位 春学期  
森 雅夫 小澤 正典

#### 〔授業科目の内容〕

1年生のときに線形代数の基本的なことは勉強してい  
ると思いますが、これから管理工学を学ぶ上で、線形代  
数が大事な用具・方法となります。この授業では、線形  
代数の幾何学的なイメージを養い、アルゴリズムを学ぶ  
ことを主眼とし、その工学や統計への応用、最適化の考  
え方などについて紹介し、講義＋演習の形でしっかりと  
修得してもらうことを狙っています。

#### 〔教科書〕

適宜、プリントを配布する。

#### 〔参考書〕

授業のときに紹介する。

機械工学創造演習 2単位 秋学期  
「自主的行動力と表現力の向上」 小茂鳥 潤 他

#### 〔授業科目の内容〕

機械工学創造演習は、各人の興味や才能に基づき、自  
らの発想でテーマを決め、自分で考えた実験や物作りを  
実際に行うことで、学びつつあることの具体的な意味や  
相互の関連を理解し、主体的な勉学の習慣を身につける  
ことを目的とした実技科目です。演習の進行はおおよそ  
以下ようになります。テーマの検討などは4クラス×2曜  
日（20人程度）に分かれて行いますが、実験・加工など  
の相談についてはすべての科目担当者が対応します。こ  
のような自主的活動を通して、専門学力のみならず、こ  
れからの科学技術者に求められる行動力と表現力も向上  
することを期待しています。

## 【教科書】

テキストを配布する。

## 【参考書】

特に指定しない。

機械力学の基礎 2単位 春学期  
「機械を動かすための仕組みと運動の力学」

杉浦 壽彦 森田 寿郎  
山崎 信寿

## 【授業科目の内容】

目的とする動きを実現するための機構要素と、そのために必要な力やモーメントの計算方法を学びます。これにより、ある機能を達成するにはどのような仕掛けにすればよいのか、それが動くときにはどのような力が加わるのか、あるいはどのような運動が起こるのかがわかるようになることを目指します。機構の発想力や運動の解析力を養うために、毎回演習を行います。

## 【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

## 【参考書】

(講義の前半) 森田均：機構学、サイエンス社  
(講義の後半) S・ティモシェンコ・D・H・ヤング、  
渡辺茂・三浦宏文訳：応用力学(動力  
学編) 好学社

基礎化学実験 2単位 秋学期  
鈴木 孝治 他

## 【授業科目の内容】

化学実験の基礎となる操作、考え方並びに専門知識を修得するため、以下の内容について、少人数単位の実験実習を行う。

- ・実験ガイダンス
- ・過マンガン酸カリウムによる酸化還元滴定
- ・アルカリ金属の原子発光分析
- ・遷移金属錯体の可視スペクトル
- ・電解質溶液の電導度
- ・臭化アルキルの生成反応速度
- ・D グルコースの変換光速度
- ・アズラクトンの合成と同定
- ・ポリマー粒子の作製と粒度分布

## 【教科書】

専門の実験テキストを生協で販売する。

## 【参考書】

理工学部のメディアセンターなどを利用のこと。

基礎生物学 2単位 春学期  
星 元紀

## 【授業科目の内容】

生物の世界は、地球のごく表面を占めるに過ぎず、物理量としても微々たるものであるが、数千万種あるいは数億種からなる多彩な世界である。しかし、そのような

多様性を示すにもかかわらず、生命体の基本構造やその営みの素過程は、驚くほどに共通性が認められる。この講義では、現代生物学の基礎知識として、生命活動の基本単位である細胞の構造と機能、生命活動を支える物質およびエネルギーの流れ、個体としての統一性を支える情報の処理と統合、個性性の認識、生命の連続性を支える生命情報の流れ、につき学習する。

## 【教科書】

指定せず。

## 【参考書】

Molecular Biology of the Cell (細胞の分子生物学) 等を随時紹介する。

基礎生命実験 2単位 秋学期  
井本 正哉 他

## 【授業科目の内容】

生命現象を理解するには、化学、生物、物理・情報の総合的な理解が必要である。

本講義では、実験を通してそれらの基礎を習得することを目的とする。

空間設計製図A 3単位 秋学期  
岸本 達也 隈 研吾  
妹島 和世 檜原 徹  
桑原 立郎 後藤 武

## 【授業科目の内容】

設計製図の基礎と空間構成手法を習得する。平面図、立面図、断面図、立面図の描き方、パース(透視図)の描き方、模型製作など建築の各種設計・表現手法を学ぶ。さらに用途を限定した小建築、小住宅の設計を通して空間構成手法の基礎を体得し、製図の基礎から小規模建築の空間構成手法までを習得することを目標とする。

## 経営管理論

「組織体における経営管理とは何か」 2単位 春学期  
福川 忠昭

## 【授業科目の内容】

組織体の経営管理活動に関する理解を深めるために、ここでは企業を代表例として取り上げます。企業は財やサービスなどの社会的な価値の生産と分配に携わる経済主体であるとともに、複数の構成員からなる組織体でもあります。そこで、経営管理活動に関わる経済的、財務的、社会心理的諸側面の基本的概念の理解や知識の習得を図るとともに、組織構造的な側面と組織行動的な側面から経営管理活動のあり方、およびそれらの活動を支える経営管理システムのあり方を学びます。

## 【教科書】

テキストは特に指定しません。講義資料は、毎回の講義の折に配布します。

## 【参考書】

適宜、講義の中で示します。

計算機科学同実習  
「コンピュータ言語 (C-言語) 入門」 3単位 秋学期  
野寺 隆

#### 〔授業科目の内容〕

マルチメディアやバーチャルリアリティなど、インターネットを使ったサイバースペースの世界が次々に出現している。このような現代社会で、新たに人とコンピュータのコミュニケーションを考えることは重要な事柄である。本講義は、最初に数式を含む文書処理の入門として、LaTeXの基本概念について実習を通して学習する。次に、コンピュータのプログラミングの入門として、C言語を利用し、その実習を通してアルゴリズムの構成法やコンピュータの役割などについて学習する。C言語は、ワークステーション用のオペレーティングシステムUNIXの記述に利用され、高水準プログラミング言語の持つ「構造化」と呼ばれる機能を持ち、コンピュータの金物（ハードウェア）としての機能を充分発揮できるように考えられた高級言語である。この講義では、C言語の学習を通してコンピュータの持つ力を各自の情報処理の仕事に充分発揮できるための基礎的な素養を育成することにある。

#### 〔教科書〕

なし。

#### 〔参考書〕

野寺隆志著『楽々LaTeX (第2版)』共立出版  
野寺隆志著『これだけは知っておきたい数学ツール』共立出版  
浦昭二、原田賢一共著『C入門』培風館  
B.W.カーニハン、D.M.リッチー著、石田晴久訳『プログラミング言語C』共立出版

計算機基礎  
「デジタル回路、情報の表現、ノイマン型計算機、プログラミング」 2単位 春学期  
矢向 高弘

#### 〔授業科目の内容〕

文書整形や表計算、通信などの情報リテラシに計算機を利用するだけならば、ソフトウェアの使い方だけ知っていれば十分であろう。しかし、研究の現場では計算機を研究装置に接続して制御する能力や計算精度に対する検討能力が必要とされており、単に既存のソフトウェアが利用できるだけでは十分ではない。研究に必要な基礎知識としての計算機を学習してもらうため、本講義では現在主流の計算機の動作の仕組みを全般的に取り扱い、プログラミングの初歩的な概念についても講義する。

#### 〔教科書〕

矢向高弘、村上俊之、大西公平共著 数理工学基礎シリーズ5『コンピュータの数理』朝倉書店

計算機基礎 2単位 春学期  
「ブール代数、デジタル回路、コンピュータアーキテクチャの基礎」 山崎 信行

#### 〔授業科目の内容〕

現在、ありとあらゆる場所にコンピュータは組み込まれ利用されているが、本講義では、コンピュータ自身の仕組みと動作を理解することを目的とする。実際にコンピュータがどのように動作しているのかを理解するための基礎知識を演習を行いながら学習する。

#### 〔教科書〕

特に指定しません。

以下のURLから授業で使用するパワーポイントのスライドをPDF形式で配布します。

<http://www.ny.ics.keio.ac.jp/>

#### 〔参考書〕

相磯秀夫、松下温共著 電子情報通信学会編『電子計算機I 基礎編』コロナ社

計算機基礎  
「ブール代数、デジタル回路、コンピュータアーキテクチャの基礎」 2単位 春学期  
山中 直明

#### 〔授業科目の内容〕

現在、ありとあらゆる場所にコンピュータは組み込まれ利用されているが、本講義では、コンピュータ自身の仕組みと動作を理解することを目的とする。実際にコンピュータがどのように動作しているのかを理解するための基礎知識を演習を行いながら学習する。

#### 〔教科書〕

特に指定しません。以下のURLから授業で使用するパワーポイントのスライドをPDF形式で配布する予定です。

<http://www.yamanaka.ics.keio.ac.jp/>

#### 〔参考書〕

相磯秀夫、松下温共著 電子情報通信学会編『電子計算機I 基礎編』コロナ社

計算機構成同演習 2単位 秋学期  
天野 英晴

#### 〔授業科目の内容〕

マイクロコンピュータのCPUをHDL (Hardware Description Language) を用いて設計しながら、その内部構造を理解する。16bit RISC 型CPU (パイプライン化されていないもの) の設計までを半期で行なう。1コマの授業の後に1コマの設計演習を行なう。具体的には、(1) 加算、減算回路、パレルシフトを含むALUの設計ができる。(2) アキュムレータマシンの設計ができ、アセンブラで簡単なプログラムができる。(3) 16bit RISCに独自の命令を付け加えることができ、アセンブラで簡単なプログラムができる。を目標とする。

## 【教科書】

天野、西村『作りながら学ぶコンピュータアーキテクチャ』培風館

## 計算論理学

「論理と計算のつながり」

2単位 秋学期

岡田 光弘

## 【授業科目の内容】

計算機科学や情報工学の理解のために必要な論理的基礎を与えることを目的とする。論理的言語及び論理的知識表現論、論理的意味論、ルールベースの推論システム、証明論等の基礎理論を与える。又、それらと計算モデル理論（チューリングマシンやラムダ計算等）、プログラム言語理論、フォーマルメソッド、AI分野等で提案されてきた推論エンジンモデル等との関係を示す。計算機や計算理論の基礎は論理学分野で確立されたが、それらの歴史的経過についても解説する。

## 【教科書】

教材については秋学期開始時に授業及び掲示で指示する。

## 【参考書】

授業の中で紹介する。

## 形状情報の表現

2単位 秋学期

「三次元物体を二次元の図面に表現する方法、技術内容の指示方法等の習得」

徳岡 直静 志澤 一之  
前野 隆司 小川 邦康  
井上 全人 赤木 三昌

## 【授業科目の内容】

図面は、設計技術者の世界共通言語である。将来、機械技術者として自ら設計を行う場合は、自分が意図した機械等の構造や形状、精度、特性等を図面上に自由に表現するとともに、他の技術者の意図を自由に読み取ることができなければならない。また、直接設計に携わらない場合でも、製品の良否を判断する上で、図面内容を適確に把握できる能力が必要である。特に、グローバル化された現在、世界的に活躍するためには国際基準の図面を作成する能力が必要である。本講義では、グローバルに活躍できる技術者になるために、図面に記入すべき項目や国際基準に準拠した指示方法等を、CADを使った実習を通して教授する。

## 【教科書】

特に指定しない。必要に応じてプリントを配布する。

## 【参考書】

日本機械学会編「機械実用便覧」(常に持参してください)

## 計測工学

「電気計測を中心とする「はかる」ことの方と技術」

2単位 秋学期

本多 敏

## 【授業科目の内容】

はかるということは、観察・調査・実験などに基づいて、自然・事物・対象についての知識を手に入れることです。私達が科学的に物事を進めようとする場合、まずはかることから始めます。これを称して「計測なくして科学なし」といいます。もちろん、科学のみでなく、技術の発展にもはかることは欠かすことができません。この講義では、個別の測定法や測定装置もあげますが、それを通じて優れた計測システムの構成方法を理解できるように進めます。

## 【教科書】

なし。講義に関する図・資料は、配布します。

## 【参考書】

南谷晴之・山下久直著『よくわかる電気電子計測』オーム社、南茂夫・木村一郎・荒木勉著『はじめての計測工学』談社サイエンティフィック

## 光学基礎

2単位 秋学期

木下 岳司

## 【授業科目の内容】

光技術は現在最も急速に発展している技術の一分野です。レーザを応用した多くのハイテク機器が身近に使われています。光の波としての性質と代表的な応用例について講義します。

## 【教科書】

プリントを配布します。

## 【参考書】

左貝潤一著『光学の基礎』コロナ社  
Eugene Hecht 著『Optics』Addison- Wesley (丸善から和訳3冊組があります)  
大頭仁、高木康博著『基礎光学』コロナ社  
大坪順次著『光入門』コロナ社

## 光学システム

「Optics System」

2単位 秋学期

内山 太郎

## 【教科書】

『光学の基礎』

## 工学数学

2単位 春学期

大西 公平 野口 裕久

## 【授業科目の内容】

工学をシステム論から解析し、設計しようとするれば、必ず数学の助けが必要になる。本講では、級数、微積分、複素解析、ベクトル解析等を横断的に取り上げ、総合的

な見方が出来るよう講義を行う。

**【教科書】**

資料プリント配布。

**高分子化学基礎**

「分子レベルから材料レベルまでの“高分子”」

2単位 秋学期

川口 春馬

**【授業科目の内容】**

‘高分子とは’から始め、「構造」「構造をつくり出す方法」「構造がもたらす物性」「物性に由来する機能」を学び、‘高分子を理解しながら使いこなす’能力をつける。同時に、高分子を題材として、科学する力を培う。

1. 序論

1.1 概念と定義

1.2 1次構造

1.3 凝集エネルギー密度

2. 物理的な状態と転移

2.1 物理的な状態

2.2 融点とガラス転移温度

2.3 可塑化

2.4 結晶性と結晶化

3. 高分子の合成

3.1 Functionality

3.2 速度論からみた重合法の分類

3.3 連鎖重合

3.4 逐次重合

3.5 共重合

3.6 生合成と天然高分子

3.7 ポリマーの改質・高分子反応

3.8 分解・劣化

4. 高分子の分子量

4.1 平均分子量

4.2 理論的予測と実際の結果

4.3 分子量分布の測定

4.4 平均分子量の測定

5. 高分子溶液

5.1 高分子溶液の熱力学

5.2 希薄溶液の粘度と分子の大きさ

5.3 濃厚溶液の粘度

6. 材料物性

6.1 機械的変形に関する術後と定義

6.2 ゴム弾性

6.3 半結晶性プラスチックの性状におよぼす温度、分子量の影響

6.4 粘弾性

**【教科書】**

教材印刷物を配布。

**【参考書】**

成智聖司他著 基礎化学シリーズ3『基礎高分子化学』朝倉書店

蒲池幹治著『高分子化学入門』NTS

**コンピュータ実習**

「UNIXの基礎」

2単位 春学期

斎藤 博昭 寺岡 文男

**【授業科目の内容】**

現在のコンピュータには様々な種類がある。その中にUNIXに基づいて動くものがあるが、UNIXはコマンドラインを中心としたものであり、Windowsと異なる部分が多々ある。本講義では、UNIXを利用する際の基本的なコマンドや基本的なソフトウェアを実習することにより、UNIXに関する基礎の習得を目指す。

**【教科書】**

講義の初めに指示する。

**【参考書】**

講義の初めに指示する。

**コンピュータシミュレーション同実習**

「数値計算アルゴリズムのプログラミングによる体験と理系文書作成練習」

2単位 秋学期

本田 郁二

**【授業科目の内容】**

コンピュータシミュレーションは現実の現象をモデル化して計算機によって数値的に研究する技術で数値実験ともいう。いわゆる数値解析や数値計算より広く、数式にのらない物理現象や経済現象なども扱われる。しかし特に体系化されたものではなく個々の問題をモデル化し計算すること一般をさしているようである。この授業では春学期に学んだC言語を用いた実際のプログラミングを行い、レポートを作成することによりシミュレーションを学ぶ。

**【教科書】**

特に用いないが、課題の書かれた補充プリントを配布する。

**【参考書】**

授業中に参考書を紹介する。

**コンピュータアナリシス**

「コンピュータを使った数値計算および実習」

2単位 秋学期

泰岡 顕治

**【授業科目の内容】**

本科目では主に以下の内容をおこなう。

A基本的なコンピュータ言語の習得

Bワークステーションの利用

C簡単な数値計算のプログラムの作成・実行

ソフトウェアとしてMATLABを用い、数値計算のプログラムを作成・実行できるようになることを目的とする。3年生の計算力学演習、熱流体の数値解析、分子動力学、機械工学実験の結果の整理をはじめ4年生の卒業研究の基礎につながる実習をおこなう。コンピュータ（UNIX）に関する知識は前提としない。

## 【教科書】

戸川隼人著『ザ・数値計算リテラシ』サイエンス社

## 【参考書】

戸川隼人著『ザ・FORTRAN』サイエンス社  
 『矢上キャンパスIT利用バイブル』慶應義塾大学理工  
 学インフォメーションテクノロジーセンター  
 芦野隆一、Remi Vaillancourt共著『はやわかり  
 MATLAB』共立出版  
 森下信編著『(機械工学基礎コース) コンピュータの  
 基礎と数値計算』丸善株式会社

細胞生物学第1

2単位 秋学期  
井本 正哉

## 【授業科目の内容】

生命を分子レベルで研究する上で必要な分子細胞生物学の基礎知識を教科書に沿って学ぶ。

## 【教科書】

『分子細胞生物学 第4版』(上巻)東京化学同人

材料力学の解法

「はり軸の強度・変形に関する事例と解法」

2単位 春学期  
志澤 一之 宗宮 詮  
高橋 邦弘

## 【授業科目の内容】

必修科目「材料力学の基礎」と表裏を成す科目であり、選択科目ですが是非履修するよう勧めます。本科目では「材料力学の基礎」で学んだ原理あるいは定理を用いて、実際の構造物を解析する上での解決能力を養うことを目的としています。すなわち機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材に関する理解を演習を通じて深めることとなります。

個々人に対して丁寧な説明を行いながら演習問題を解説します。実際の計算の例題を豊富に提示することになりますから、「材料力学の基礎」の良き復習となるように構成されています。

内容は「材料力学の基礎」と同様で、下に示す項目です。教科書、参考書は特に定めません。必修科目である「材料力学の基礎」の講義の5日後に、本科目で例題を解くこととなりますので、「材料力学の基礎」の授業を良く把握して臨んで下さい。

材料力学の基礎

「はり軸の強度と変形」

2単位 春学期  
志澤 一之 宗宮 詮  
高橋 邦弘

## 【授業科目の内容】

機械・構造物の構成部材として最も基本的で重要な細長い部材、すなわち棒材を取り上げます。はりや軸のような棒材における力と変形、あるいは応力とひずみについて解析を行います。材料力学の基本的考え方、基本原

理を解説し、3年次以降の材料力学関連科目を学ぶ上での基礎固めを目的としています。

基本事項の理解を深めることを主要課題とするとともに、計算に慣れることにも力を注ぎます。同時に開講されている選択科目「材料力学の解法」では、この「材料力学の基礎」における講義内容を基に、練習問題を解くこととなります。「材料力学の解法」では個々人に対し丁寧に解説を加えますから、併せて履修することにより深い理解が得られるよう配慮されています。

教科書、参考書は特に定めませんが、材料力学のテキストには市販のものが多いため個人的に参照することが可能です。ただし本授業独自の内容も多いので、授業を基に理解を進める必要があります。

酸塩基及び酸化還元

「あらゆる化学現象を理解するための基礎的概念」

2単位 春学期  
大坂 武男

## 【授業科目の内容】

化学全般の基礎である「酸・塩基反応」および「酸化・還元反応」を理解できるようにします。

## 【教科書】

特に用いない。毎回、講義内容のプリント(A4用紙10枚程度)を配布し、同じ内容のOHPを用いて講義する。

## 【参考書】

「物理化学」関連の参考書、藤永太郎訳『酸塩基の理論』化学同人、曾根興三著『酸化と還元』培風館

システム制御論

2単位 秋学期  
富田 豊

## 【授業科目の内容】

1. Introduction
2. Control Systems Terminology
3. Differential Equations and Linear Systems
4. Laplace Transform
5. Stability
6. Transfer Functions
7. Block Diagram Algebra and Transfer Functions of Systems
8. System Sensitivity Measures and Classification of Feedback Systems
9. Analysis and Design of Feedback Systems with Bode Plot
10. Introduction to Nonlinear Control Systems
11. Controller

## 【教科書】

Joseph J. Distefano, et al., 「Schaum's Outlines Feedback and Control Systems Second Edition」, McGraw Hill, Paperback

システムデザイン工学概論 2単位 春学期  
村上 周三 矢向 高弘

〔授業科目の内容〕

「システムデザインとは何か」について、特別講義、課外講義を通して学ぶ。

システムデザイン工学が目指すものは何か、何をどのように学ぶべきか？ システムデザイン工学に関して、学内の講義のみではない課外講義を含む活力ある形式により、その理念とその視点からの先端技術の状況を講義する。

この講義では、人類（社会・経済・文化）と自然との調和を考えた工学の必要性、情報化社会に適したシステムづくり、複雑そして総合的なシステムを扱える工学の確立など、社会で本学科が果たす役割を理解して、既成の分野に拘らない広い学識を持ち、新しい発想から新分野を開拓できる、横断的な思考と学際的な発想からシステムデザイン目指して学ぶその動機づけを与えることを目的としている。

機能を追求するだけでなく、現象の本質をグローバルな視点で解析するとともに取り巻く環境との調和にも十分配慮してシステムデザインすることを学びひとりひとりが積極的にシステムデザイン工学そのものを創造することを目指してほしい。

システムデザイン工学基礎演習 1単位 秋学期  
佐藤 春樹 他

〔授業科目の内容〕

本科目は、システムデザイン工学2年生春学期に開講した「熱流体システム第1」「力学的モデリング」「電磁気工学」「回路とシステム第1」なる4つの基礎必修科目に関する理解を深めさせ、学生に十分にその内容を身に付かせることを目的として設置した演習科目であり、基礎的な問題に対処できるようになることと、これら基礎科目に関する分野横断的な側面もカバーしている。春学期に履修した授業内容の演習を秋学期に行うことで、さらなる習熟度向上が期待され、同時に、秋学期に履修しているアドバンスな関連科目に関する理解向上に貢献することもねらいである。本演習科目は、上記基礎必修科目の担当教員8名による2クラス制のオムニバス形式で開講される。

〔教科書〕

『熱流体システム第1』『力学的モデリング』『電磁気工学』『回路とシステム第1』のテキスト

社会・経済と工学 2単位 秋学期  
青山藤詞郎 長島 昭

〔授業科目の内容〕

科学技術を道具として出発したコンピューターを例にとれば、単なる計算道具でなく、経済活動や社会システムまでも変えてしまう、予期しなかった大きな影響を生

み出している。あるいはエネルギーの例に見れば、生活を豊かにしただけでなく、地球温暖化や資源競争など、国際・法律・社会心理へも及ぶ広い影響がある。科学技術者には、一方では技術の波及効果について社会的責任を求められる機会が増えており、また、他方では経済や社会の広い知識と問題意識を持つ人が社会で求められている。この講義では、一部は外部専門家の話を依頼して、現在の具体的な事例を挙げることにより、科学技術の影響の広がりを知り、将来の対応の糸口を考える。

周期表の化学基礎

「元素各論」 2単位 春学期  
山元 公寿

〔授業科目の内容〕

宇宙と地球における元素の誕生と分布の過程を知る。また、周期表にしたがって各元素の特性を把握し、それが化学物質の構造や性質にどのように反映されているかを理解する。特に、類似の性質を持つ元素群（族）に分類して、具体的な特徴を解説する。

1. 元素の誕生
2. 周期律
3. 元素各論

〔参考書〕

コットン、ウイルキンソン、ガウス著（中原訳）『基礎無機化学』培風館  
田中政志、佐野充著『原子、分子の現代化学』学術図書  
井口洋夫『元素と周期律』裳華房

周期表の化学第1

「無機化学、錯体化学、配位子場理論、群論入門、群論の化学への応用」 2単位 秋学期  
伊藤 正時

〔授業科目の内容〕

無機化学の基礎となる配位子場の考え方、配位結合について述べます。無機化合物を学ぶ上で最も大切な基礎を扱います。

〔教科書〕

特になし、プリントを配布する。

〔参考書〕

F. Basolo, R.C. Johnson (山田祥一郎訳)『配位化学』化学同人

集合論

「数学の基礎的手法」 2単位 春学期  
石井 一平

〔授業科目の内容〕

素朴であったはずの「集合」の概念も、ちょっと立ち止まって考えてみると、それを支えるには非自明な理性や態度が要求されることに気がきます。特に要素が無限個ある無限集合に対してそこで行う数学的演算の実在性や性質をどうやって認識しかつ表現していくのか、その

方法をはっきりさせることは有用でしょう。現在、数学的な文章の記述にごく普通に用いられている記号法や議論の方法について慣れましょう。後半ではもう一つ距離空間の話題を扱います。単純なゆえに様々な場面で利用できる距離の概念についてその公理を紹介し、それから派生する位相的諸性質について説明します。

【参考書】

内田伏一『集合と位相』裳華房、  
松阪和夫『集合・位相入門』岩波書店、  
齋藤正彦『数学の基礎 - 集合・数・位相』(基礎数学14) 東京大学出版会

情報経済学

2単位 秋学期  
増田 靖

【授業科目の内容】

この科目では、管理工学の経済的側面からのアプローチを考え、企業間・企業内活動を主な分析対象とする。具体的には、二つのテーマを取り扱う。第一のテーマは価格設定である。企業の行動に焦点をあて、市場と企業組織内部の両方に対する価格の役割を調べる。第二のテーマは不確実性と情報である。意思決定者が不確実性にどのように取り組むかという問題を、モデル分析を通じて検討する。そのために不可欠な道具である期待効用理論を学び、危険回避行動を議論する。典型的な応用問題として保険を扱う。

【教科書】

教科書は指定しない。講義資料はwebサイト <http://www.ae.keio.ac.jp/lab/soc/masuda/masuda-hp/lectures.htm>よりダウンロードできる。

【参考書】

奥野正寛・鈴木興太郎著『ミクロ経済学』岩波書店(1985年、1988年)  
H.R.ヴァリアン著、佐藤隆三・三野和雄訳『ミクロ経済分析』勁草書店(1986年)、P.ミルグローム・J.ロバーツ著『組織の経済学』NTT出版(1997年)

情報数学概論

「計算機科学に使われる数学」 2単位 春学期  
田村 明久

【授業科目の内容】

計算機科学でよく使われる数学概念を概説する。特に、論理的推論、集合、同値関係、半順序関係、グラフ、組合せ論、簡単なアルゴリズムなどに重点をおく。広い範囲の話題を扱うので、それぞれの話題についてはあまり深入りせず、具体的な例を通じて概念や記法を理解してもらうことに主眼をおく。

【教科書】

使用せず。

【参考書】

特に指定せず。

情報通信工学基礎

2単位 春学期  
小沢 慎治

【授業科目の内容】

情報・通信分野の基礎を統括する科目として、以下の項目の概要が把握でき、重要な術語が理解できることを目的とする。また3年で設置される、情報・通信関連科目の関連、系統が理解できるように配慮する。

【参考書】

授業で用いるスライドのコピーを配布する。

情報理論

「情報を把握するための第一歩」 2単位 秋学期  
中川 正雄

【授業科目の内容】

情報とは何か、情報の量とは何か、情報をどう伝えるのか等、情報の本質に迫ります。情報理論は確率の基礎がわかれば、きわめて簡単な法則でするので理解の容易な分野です。以下に目次を示します。

1. 情報理論の背景
2. 離散的情報源の性質
3. 離散系における情報量(エントロピー)
4. 情報の伝送(通信路)
5. 離散的情報源の符号化
6. 連続的情報源の情報量

【教科書】

藤田広一著『基礎情報理論』昭晃堂

振動と波動

2単位 春学期  
下村 晋

【授業科目の内容】

振動と波動は、力学以外にも様々な物理系においてあらわれる現象である。本講義では、振動・波動現象を共通する性質としてとらえ、その考え方を理解することを目的とする。また、フーリエ級数、フーリエ変換について学び、その応用にもふれる。

【教科書】

特に指定しません(参考書の欄を参照してください)。

【参考書】

いくつか良いと思われる教科書をあげます。

長岡洋介『振動と波』裳華房、小形正男『振動・波動』裳華房テキストシリーズ

フーリエ級数・変換については、物理数学の教科書を含め数多く出ていますが、例えば、大石進一『フーリエ解析』岩波書店

振動波動論

2単位 秋学期  
大橋 良子

【授業科目の内容】

私達の身の回りには機械の振動、水の波、音、光(電

磁波)など色々な種類の振動波動現象が見られます。これらはそれぞれ異なった原因で起こる現象ですが、そこには物質の一部や電場、磁場など対象が時間的、空間的に周期的な変化をするという共通の性質があります。振動波動論では、この共通する性質を統一的に把握する方法を身につけ、現象を横断的に理解するための数学的手法に慣れることを目的の一つとしています。

【教科書】

特に指定しない。プリントを配布する。

【参考書】

講義の中で紹介する。

数学解析第1 2単位 春学期  
石川 史郎 谷 温之

【授業科目の内容】

数学A1、B1及び数学A3、B3にひきつづき解析学の基礎を学ぶ。

数学A1、B1を履修したクラスでは解析の基本的な概念を学ぶ。予定している主な内容は、数列の収束性と極限、関数の連続性及びその基本的性質、関数列の収束性と極限、級数、ベキ級数等である。

数学A3、B3を履修したクラスでは陰関数定理と積分論を主に学ぶ。予定している内容は、陰関数定理とその応用、重積分と累次積分、変数変換、線積分と面積分、積分定理、ベクトル解析等である。

演習はレポート提出の形で行なう。

数学解析第2 2単位 秋学期  
石川 史郎

【授業科目の内容】

微分方程式(常微分方程式)についての基礎的な内容を講義する。微分方程式はいろいろな力学的現象や電気的現象などの数学的な記述として現れ、応用上も重要であり、もちろん数学の様々な分野でも基礎的な概念となる。

この講義の主な内容は次の通りである。なお、履修者は「線形代数」、「数学解析第1」を既に履修していることが望ましい。

1. 微分方程式の基礎概念(定義、解、解の延長など)
2. 解の存在と一意性
3. 線形常微分方程式(独立解、一般解、解空間の構造)
4. 定数係数同次線形常微分方程式の解法
5. 定数係数非同次線形常微分方程式の解法(定数変化法)
6. 線形常微分方程式の級数解

数学解析第2 2単位 秋学期  
「常微分方程式の解法」 中野 實

【授業科目の内容】

自然現象や化学反応、電気回路、伝染病の感染などは

微分方程式で表される。そこで基本的な微分方程式の解法、応用例について学ぶ。

【教科書】

技術者のための数学の要点4『常微分方程式の解法』理工図書刊

【参考書】

特に無い。

数理科学基礎第1 2単位 春学期  
太田 克弘

【授業科目の内容】

1年生で学んだ数学の内容の復習を中心に、解析学、線形代数の基礎事項に関し演習を中心にして学ぶ。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

数理科学基礎第2 2単位 秋学期  
「数理科学の論理基礎」 田村 明久

【授業科目の内容】

数理科学の基礎となる下記の内容について、演習を中心に学ぶ。

1. 命題・論理
2. 集合・順序・同値
3. 位相構造
4. 代数構造

【教科書】

なし。

【参考書】

特に指定せず。

数理計画法 2単位 秋学期  
「Mathematical Programming」 佐野 昭

【授業科目の内容】

与えられた目的関数の最小値または最大値を求めるために必要となる数理的最適化の手法の基礎を身につけ、さらにそれを応用できる能力を修得することが目的である。講義内容は、最適化問題を取り扱うために必要な基礎的な数学、線形計画法の原理とその応用、拘束条件のない非線形計画法およびその繰り返し計算法、拘束条件のある非線形最適化問題へのアプローチ、さらに時間を含む工学システムや物理システムに関連した多くの最適化問題を、変分法やダイナミックプログラミングからアプローチする。また最近の話題にも触れる。

【教科書】

プリントを配布する。

【参考書】

各内容の理解のための参考書をそのつど紹介する。

---

図形情報処理 2単位 春学期  
小茂鳥 潤 他

---

〔授業科目の内容〕

設計を行う際に必要となる図形情報の表現・伝達に関して、講義および演習を行う。具体的には、まず、CAD/CAM/CAEの製品開発における位置づけ、ならびにその現状と動向に関して、基礎知識の解説を交えて講義する。つぎに、図形情報の表現・伝達に関する基本スキルの修得を図るべく、CADおよび簡単なCGの演習を行う。さらに、その基本スキル習得のために不可欠な立体表現能力の養成に関しても、スケッチや概案図などの演習を通じて試みる。

〔教科書〕

CADの利用法に関してはマニュアルを配布する。

〔参考書〕

とくに指定しない。

---

生化学

「生命現象を分子のレベルで理解する」 2単位 春学期  
松本 緑

---

〔授業科目の内容〕

複雑な生命現象を分子レベルで理解するために必要な基礎を習得する。生命活動の基本である細胞を作っている分子とそこで働いている分子の構造と機能およびそれらの代謝過程を理解する。

〔教科書〕

『分子細胞生物学 第4版』東京化学同人

〔参考書〕

『細胞の分子生物学 第4版』トッパン

---

生体計測論

「電気・電子回路を用いた生体計測方法の理解」  
2単位 秋学期  
岡 浩太郎

---

〔授業科目の内容〕

本講義では生命現象を解析する計測方法のうち、特に電気回路を利用した計測方法を理解するための基礎的な知識について講義する。まず電気回路を構成する基本的な受動素子(RCL)について理解を深め、回路網を記述する方法と電気回路の諸定理について説明する。また能動素子の例としてトランジスタとオペアンプに着目し、加算減算、微分・積分回路を取り扱う。生体信号の取得はノイズとの戦いでもあるので、フィルタ回路(受動・能動)についても詳述する。また生命現象との関係として、生体膜等価回路としての電気回路についても述べる。本講義を履修することにより、基礎生命情報実験で扱う電子回路の動作についても理解が深まるものと考えている。

〔教科書〕

毎回プリントを配布する。

---

〔参考書〕

安藤繁『電子回路 基礎からシステムまで』培風館  
伊藤正夫他『応用システム数学』共立出版  
藤原修『電子回路A』オーム社

---

生体反応論第1

「有機化学、反応機構」 2単位 秋学期  
宮本 憲二

---

〔授業科目の内容〕

有機化合物の反応がどのように進行するかを予測すること、反応の結果をきちんと解釈し理論的な説明を付けることは非常に重要である。新しい化学反応を見出すという有機化学的な意味だけではなく、生体内の様々な合成反応、代謝反応も有機化学の反応理論によって説明できる。したがって生命機能、生命システムを理解する上で必須の素養である。有機化合物の反応はおよそ以下の要素に支配されていることを様々な場面で応用できるよう理解を深めていきたい。

- (1) 電子の片寄りの度合い
- (2) 立体化学的嵩高さ
- (3) 立体化学的な形
- (4) HOMOおよびLUMOのエネルギーレベル、ローブの大きさと方向

この講義を理解した後に生体反応をその観点から見たとき、それがいかに巧みにデザインされているか実感できるようになることを到達目標としたい。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

右田俊彦、永井洋一郎『有機反応機構』裳華房

---

生体物質の化学

2単位 秋学期  
梅澤 一夫

---

〔授業科目の内容〕

生化学の基礎と最近のトピック

以前の生物学が主に事実の集積であったのに比べ、現代の生物学は、有機化学、物理化学で多くの部分が説明される、系統的に整理された科学になった。本講では生体分子の構造と機能を中心に、生物学の骨子を解説する。生命科学における最近のトピックも合わせて紹介する。

1. 蛋白質の構造と機能
  2. 酸素の構造と作用機構
  3. 脂質の構造と機能
  4. 糖質の構造と機能
  5. 生体エネルギーの生成
  6. 核酸の生化学
- 

生体分子構造論

「生命を支える有機化合物の構造化学」 2単位 秋学期  
小川誠一郎

---

〔授業科目の内容〕

生命現象を支える有機化合物分子の構造と構造に密接に関わる化学的性質について概説する。

1. 有機化合物の命名法、構造化学、結合論
2. 生体有機化合物概論：アミノ酸、脂質、糖質の分類と命名法、構造、化学
3. 多糖類と糖複合体、細胞表面のオリゴ糖鎖および核酸類の構造化学
4. 脂質および糖脂質の構造化学
5. ペプチド、タンパク質および糖タンパク質の構造化学

#### 【参考書】

ライフサイエンスの有機化学

#### 生物量子化学

「化学結合論、分子軌道法、分子の振動回転運動、生物量子化学基礎」

2単位 秋学期  
藪下 聡

#### 【授業科目の内容】

現在、量子化学を代表とする分子科学における理論的手法は非常に高度に発展し、そのターゲットはより複雑な化学現象に向かっている。生命現象に関わりをもつ分子の構造や機能を解明する手段としても、近い将来大いに威力を発揮するものと予想出来る。この授業では、化学的な視点から量子論の基本的な考え方を論じ、分子中の電子の運動（分布）および分子の振動回転運動を概説し、化学現象との関わりを述べる。取り扱う内容は、

- (1) 古典力学の復習。ハミルトンの運動方程式。
- (2) シュレディンガーの波動方程式と、簡単な系への応用。不確定性原理。波動関数の直交性、対称性など。
- (3) 軌道角運動量、水素原子、および多電子原子。
- (4) 二原子分子の電子状態。LCAO近似。
- (5) 多原子分子とヒュッケル分子軌道法。  
HOMO-LUMO相互作用と反応性。
- (6) 分子の振動回転運動と分子分光法入門。
- (7) 生物量子化学。分子軌道法の応用。

#### 【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントはwebサイト <http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html> よりダウンロードできます。

パスワードなどは最初の授業時にお知らせします。

#### 【参考書】

田中政志、佐野充『原子・分子の現代化学』学術図書  
茅幸二編著『物理化学演習』裳華房  
朽津耕三・濱田嘉昭『量子化学』放送大学教育振興会  
小林常利『基礎化学結合論』培風館  
藤永茂『入門分子軌道法』講談社サイエンティフィック  
平尾公彦・加藤重樹『化学の基礎』講談社サイエンティフィック

生命科学のための確率論  
「生命科学の鍵となる確率論」

2単位 秋学期  
柴田 里程

#### 【授業科目の内容】

生命科学で必要となる確率論を、それがどのように役立っているかという視点で、その基礎からはじめるが駆使できるようになるのが目標である。初年度なので、履修者の理解の速度に合わせて講義をすすめる。必要に応じて演習や、レポート課題を課す。

#### 【教科書】

特に指定しません。資料は web サイトからダウンロードできるようにする予定です。

#### 【参考書】

講義中に随時紹介します。

生命系の数学

2単位 春学期  
富田 豊 岡 浩太郎

#### 【授業科目の内容】

生命現象を記述するのに必要な数学、すなわち線形代数および微分方程式を学ぶ。主要な項目は、

1. 量の演算（次元解析）
2. 線形システムの数学（線形システムとは何か、行列、1次独立と1次従属、逆行列、基底と基底変換、固有値、部分ベクトル空間、システム変数の並び替え、グラフの行列表現）
3. 連続システムの数学（常微分方程式、定常解と周期解、解の安定性、偏微分方程式、熱伝導・拡散・波動・膜振動の方程式）
4. 確率的モデル  
毎週演習（宿題）できるよう、プリントを配布する。

#### 【教科書】

伊理他『応用システム数学』共立出版社

生命系の有機化学

「分子レベルの生命科学」を指向した有機化合物の合成と反応入門

2単位 春学期  
太田 博道

#### 【授業科目の内容】

1年生の化学B、Dで有機化学の電子論、立体化学を総論的に学んだことを基礎に、重要な官能基について個々に合成法、反応性を解説する。

遺伝子の情報とは要するにどのようなタンパク質を創り出すかという情報である。そのタンパク質は、酵素として生体内で様々な有機化合物の反応を促進したり、レセプターとして機能して必要な情報の伝達を担っている。したがって生命機能を語る時、有機化学の基本的知識は本質的に重要であり、これ無しに生命の機能を理解することは難しい。生命体の中で起こる化学反応の理解に最低限必要なことをていねいに論述する。また、生命機能を理解したり、物質変換に応用するときには有機化学との相互作用が必要になることが多い。有機化学分野

との会話を可能にする最小限の「知識と言葉」は身につける必要がある。そこへ到達することを目標としたい。

各化合物間の相互関係についても考察し、体系化した視点から俯瞰的に有機化学全体を眺めることの面白さも忘れないようにしたい。

#### 【教科書】

太田博道、西山繁著『ビギナーのための有機合成反応』三共出版

生命系の量子力学 2単位 春学期  
「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」 川村 清

#### 【授業科目の内容】

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

#### 【教科書】

川村清「量子力学」(産業図書)

生命物理化学  
「生命現象を理解するための論理を学ぶ」2単位 春学期  
岡 浩太郎

#### 【授業科目の内容】

化学A、化学Bでの物質の物理的・化学的側面に関する知識を前提として、生命現象を物理学の基本原則に基づいて理解するために、熱力学(化学反応でのエネルギー変化、エントロピーと反応の進む方向、自由エネルギー、化学平衡)、輸送過程と膜現象、反応速度論(酵素反応速度論を含む)、電気化学を中心に講義を行う。特に生命現象を定量的に把握することに重点を置き、適宜演習を行う予定である。本講義と共に生化学、生命系の量子力学、生物量子化学を受講することにより、生命系に必要な物理化学について全般の知識を取得することが可能となる。

#### 【教科書】

早川勝光、白浜啓四郎、井上亨『ライフサイエンス系の基礎物理化学』三共出版

#### 【参考書】

猪飼篤『生物工学基礎コース 物理化学』丸善

線形代数  
「線形空間の理論と行列の標準化(対角化とジョルダン標準形)」 2単位 春学期  
小田 芳彰

#### 【授業科目の内容】

線形空間の基礎的な概念と計算をマスターすることを

目標とします。具体的には、線形代数が単にベクトルと行列の話にとどまらずに幅広い応用があることを理解することと、対称行列の対角化やジョルダン標準形の計算ができるようになることが目標となります。

#### 【教科書】

講義内で指示します。

#### 【参考書】

佐武一郎著『線型代数学』裳華房  
斎藤正彦著『線型代数入門』東京大学出版会  
川久保勝夫著『線形代数学』日本評論社

線形代数 2単位 春学期  
「対称行列の対角化問題」 塩川 宇賢

#### 【授業科目の内容】

##### 目的

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用される。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

##### 内容

1. ベクトル空間についての基本的性質について、一年次で行った数学A2、B2での内容の復習および補足をやる。
2. 内積と直交行列の性質を調べる。
3. 線形空間の基本的性質について。
4. 行列の固有値・固有ベクトル。
5. 対称行列の対角化。
6. 2次形式の標準形と応用問題。
7. ジョルダン標準形。

#### 【教科書】

授業内で指示します。

#### 【参考書】

斎藤正彦著『線型代数入門』東京大学出版会  
斎藤正彦著『線型代数演習』東京大学出版会  
佐竹一郎著『行列と行列式』裳華房

線形代数 2単位 春学期  
「対称行列の対角化問題」 前田 吉昭

#### 【授業科目の内容】

##### 目的

「線形代数」は理工系の学生が習得していなければならない基礎科目の一つであり、理学、工学を含めて幅広く応用される。全学科の学生を対象に分かりやすく線形代数の基礎的な概念と計算をマスターしてもらうことを目的とする。特に対称行列の対角化と2次形式の標準形問題に重点をおく。

##### 内容

1. ベクトル空間についての基本的性質について、一年

次で行った数学A2、B2での内容の復習および補足をする。

2. 内積と直交行列の性質を調べる。
3. 線形空間の基本的性質について。
4. 行列の固有値・固有ベクトル。
5. 対称行列の対角化。
6. 2次形式の標準形と応用問題。
7. ジョルダン標準形。

〔教科書〕

中岡稔・服部昌夫著『線型代数入門』紀伊国屋書店

〔参考書〕

斉藤正彦著『線型代数入門』東京大学出版会  
 斉藤正彦著『線型代数演習』東京大学出版会  
 佐竹一郎著『行列と行列式』裳華房

ソフトウェア工学

2単位 秋学期  
 櫻井 彰人

〔授業科目の内容〕

アセンブリ言語を通じて、コンピュータの基本的な機能、構成あるいはその可能性と限界などを修得する。

〔教科書〕

プリントを配布。

〔参考書〕

なし。

代数学基礎同演習

「基礎的な群の理論」

3単位 秋学期  
 宮崎 琢也 田中 孝明

〔授業科目の内容〕

正多角形や正多面体をみたとき、回転させたり折り返したりという操作、つまり「対称性」があるということは経験的に理解できるでしょう。またある種のパズルで見られる並べ換えの操作や、もうすこし高級な感じでは代数方程式の解の間に考えられる置き換え操作（互いに共役という感じ）もある種の「対称性」だと理解することもできます。このような「対称性」を代数的にとらえるものとして、「群」の概念はわれわれの前に姿を現します。今では幾何学や物理学でも群の作用という基本的な考え方は深く浸透していると考えられます。理論にまとめられたのは19世紀半ばくらいからで、それからおよそ本講義で扱うような内容が定式化されてきました。なかなか根源的であるゆえに結構高級な概念なので最初難しいですが、慣れてくれば不思議といろいろ調和のとれていることに気付くでしょう。ゲームみたいで面白いです。演習もがんがんやって下さい。

〔参考書〕

永尾汎『代数学』朝倉書店  
 今井淳、寺尾宏明、中村博昭『不変量とはなにか』講談社ブルーバックスB1393  
 原田耕一郎『群の発見』（数学、この大きな流れ）岩波書店

ダイナミカルシステム

「ダイナミカルシステムのモデリングと制御」

2単位 秋学期  
 江上 正

〔授業科目の内容〕

現在の状態が過去の入力に依存して変化するシステムがダイナミカルシステム（動的システム）であり、メカニカルシステムの多くはダイナミカルシステムです。ダイナミカルシステムを制御するためには、まずこのダイナミカルシステムを数式を用いてモデル化し、そのモデルを解析して、特性を調べる必要があります。

本講義ではこのダイナミカルシステムのモデル化の方法や、その特性について述べます。さらにこの特性を望みのものに変えるフィードバック制御系の基礎について論じます。

〔教科書〕

土谷武士・江上正『新版現代制御工学』産業図書

〔参考書〕

土谷武士・江上正『基礎システム制御工学』森北出版  
 溝田喬・中溝高好『自動制御の講義と演習』日新出版

ダイナミカルシステム

「Dynamical Systems」

2単位 秋学期  
 佐野 昭

〔授業科目の内容〕

工学システムを構成する力学系、電気系、熱系、化学系などのアナロジー（相似性）を通して線形システムのダイナミクスの表現とその性質や構造の共通点や相違点など関連性を理解し、ダイナミクスを表現し解析する手法として、ラプラス変換、システムの入出力表現、微分方程式や状態変数表現、安定性の解析、状態空間の構造などの基礎知識を修得することを目標とする。

〔教科書〕

プリントを配布する。

〔参考書〕

関連する参考書については授業で紹介する。

通信システム

2単位 秋学期  
 重野 寛

〔授業科目の内容〕

通信ネットワークの基礎的な概念や技術とともに、電話網、ISDN、ATMネットワーク、移動体通信網などの構成や仕組みについて学びます。

〔教科書〕

松下温著『図解 通信ネットワークの基礎』昭晃堂  
 講義資料はwebサイトで提供します。

〔参考書〕

講義の中で適宜紹介します。

デジタル回路 2単位 秋学期  
天野 英晴

〔授業科目の内容〕

現在のIT産業で不可欠なデジタル回路のデバイスレベル、回路レベルの設計技術を習得する。ブール代数等の論理回路の基礎は「計算機基礎」で、ハードウェア記述言語によるRTL (Register Transfer Level) 設計は「計算機構成」でそれぞれ習得するため、この授業では、それらの技術により設計されたデジタル回路が動作するデバイスの特性、利用法に関してが中心となる。今後、情報工学科で行なうLSI設計関連の基礎科目である。具体的には、(1) CMOS回路の動作を判別でき、簡単なゲートのレイアウトを行なうことができる(2) 規格表を見て、動作レベル、消費電力を見積もることができる(3) 規格表から簡単な順序回路のSTA (Static Timing Analysis) ができる(4) パス構成用の素子の記号と意味を判別する(5) SRAM回路を設計できる(6) FPGA,GPLDの分類を知り、簡単な回路の設計ができる。を目標とする。

〔教科書〕

天野『デジタル設計者のための電子回路』コロナ社

デザインリテラシー演習 2単位 春学期  
青山藤詞郎 他

〔授業科目の内容〕

工業図面を正確に読みとりかつ作成できることは、物づくりの基本能力の一つである。この講義では、工業図面情報の理解とその記述を行うための基礎知識を教授する。すなわち、工業図面の機能と規格、投影法、公差、はめあい、部品の簡略図法などについて具体的な解説を行い、実際の機能部品を図面上に記述する能力を養う。また、演習においては、CAD (コンピュータ援用設計) システムを利用して、機能部品の設計を行い、部品の形状・寸法を、2次元図面情報あるいは3次元図面情報として記述するトレーニングを行う。

〔教科書〕

独自の資料を使用する。

デジタル基礎 「計算機を構成するデジタル回路の基礎」2単位 春学期  
内山 孝憲

〔授業科目の内容〕

計算機の内部では、どのように数が扱われているのか、またそれらはどのように計算されているのかについて学びます。

〔教科書〕

なし。

〔参考書〕

「Digital Fundamentals」, Floyd, Prentice Hall International

電気回路基礎 「電気回路理論と回路解析の基礎を学ぶ」2単位 春学期  
津田 裕之

〔授業科目の内容〕

この科目では電気、電子、情報、通信などの諸分野に共通した基礎である電気回路についてその基本的な部分を中心に解説します。また、理解を深めるために演習を行います。回路解析に必要な微分方程式の解法についても理解できるようにします。

1. キルヒホッフの法則
2. 回路素子の性質
3. 基本回路の性質
4. ラプラス変換
5. 正弦波定常状態の解析
6. 回路方程式
7. 回路における諸定理

〔教科書〕

森真作著『電気回路ノート』コロナ社

〔参考書〕

森真作、南谷晴之共著『電気回路演習ノート』コロナ社

電気回路基礎 「電気回路の基本的性質」 2単位 春学期  
松本 佳宣

〔授業科目の内容〕

本科目では、基本的に線形、時不変、受動素子の電気回路を対象にしますが、電気の本質である電流と電圧の関係がいろいろな回路素子の組み合わせによってどうなるか、急に回路の状態が変化する過渡現象や正弦波交流を加えた定常状態の回路の取り扱いをどうすればよいかなどを考えていきます。既に「物理学」で学んだ“電磁気学”も密接に関連していますので、その知識は十分に役立ちますし、別物と考えずに活用して下さい。数理的には簡単な微分・積分と初歩的な行列の計算だけで記述することが可能であり、これまで学習してきた数学の知識があれば十分に理解できます。講義は一方向的に聴くだけのものにならないよう、各時間の1/3を演習にあて学習効果が上がるようにしています。

〔教科書〕

南谷晴之、松本佳宣共著『詳しく学ぶ 電気回路 - 基礎と演習 - 』コロナ社

〔参考書〕

森真作、南谷晴之共著『電気回路演習ノート』コロナ社  
森真作著『電気回路ノート』コロナ社

電気回路同演習 「電気回路の基本的性質」 2単位 春学期  
松本 佳宣

〔授業科目の内容〕

本科目では、基本的に線形、時不変、受動素子の電気

回路を対象にしますが、電気の本質である電流と電圧の関係がいろいろな回路素子の組み合わせによってどうなるか、急に回路の状態が変化する過渡現象や正弦波交流を加えた定常状態の回路の取り扱いをどうすればよいかなどを考えていきます。既に「物理学」で学んだ“電磁気学”も密接に関連していますので、その知識は十分に役立ちますし、別物と考えずに活用して下さい。数理的には簡単な微分・積分と初歩的な行列の計算だけで記述することが可能であり、これまで学習してきた数学の知識があれば十分に理解できます。講義は一方的に聴くだけのものとならないよう、各時間の1/3を演習にあて学習効果が上がるようにしています。

#### 【教科書】

南谷晴之、松本佳宣共著『詳しく学ぶ 電気回路 - 基礎と演習 - 』コロナ社

#### 【参考書】

森真作、南谷晴之共著『電気回路演習ノート』コロナ社  
森真作著『電気回路ノート』コロナ社

### 電気回路理論

2単位 秋学期  
池原 雅章

#### 【授業科目の内容】

春学期の電気回路基礎に続く科目であり、電気・電子系に必要とされる回路に関するより高度な内容について講義する。

1. 複雑な回路の初期値
2. 2端子対回路
3. 三相交流回路
4. 分布定数回路
5. 波形解析

#### 【教科書】

高橋進一著『定常回路解析』オーム社

#### 【参考書】

末崎輝雄、森真作、高橋進一著『回路理論例題演習』コロナ社

### 電気電子工学セミナー

「エレクトロニクスの基礎と実際」 1単位 春学期  
黒田 忠広

#### 【授業科目の内容】

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどうよう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらうのが目的である。セミナーは、電気メーカ等の見学による課外講義と講演を軸に行う。講演は、電子工学科教員が順番に自分の専門分野を例にとって、

産業界における技術開発と講義を通しての学問習得の関連を平易に解説する。また、企業見学に関連して企業から講師を招き、わかりやすく産業界の動向を講演いただき、同時に大学時代の勉学の姿勢を含めてアドバイスをいただく。

### 電気電子工学セミナー

「エレクトロニクスの展望」 1単位 秋学期  
黒田 忠広

#### 【授業科目の内容】

電気電子技術は、情報技術産業を支えるために不可欠であり、日本の産業はこの電気電子技術を軸に発展していくのは明らかであるが、ソフトやブラックボックスとしての電気電子システムの陰にあって必ずしも大学1、2年の学生諸君には見えにくいのも確かである。

そこで、本セミナーでは、電気電子技術開発において、どのような人間社会構築を目標にしてどうよう開発が行われているのか、そしてその開発のためには大学ではどのような学問の習得が必要であるのかを具体例を持って実感してもらうのが目的である。セミナーは、電気メーカ等の見学による課外講義と講演を軸に行う。講演は、電子工学科教員が順番に自分の専門分野を例にとって、産業界における技術開発と講義を通しての学問習得の関連を平易に解説する。また、企業見学に関連して企業から講師を招き、わかりやすく産業界の動向を講演いただき、同時に大学時代の勉学の姿勢を含めてアドバイスをいただく。

(基本的に電気電子工学セミナー の継続である。)

### 電磁エネルギー変換工学

2単位 秋学期  
「モータ、アクチュエータの原理と解析法」  
沢 孝一郎

#### 【授業科目の内容】

物理現象の中には、圧電効果、Seebeck 効果などエネルギー変換に関する様々な現象が存在する。特に、電磁エネルギーから機械エネルギーへの変換は産業の発展に関わる重要な工学分野であり、現在の科学文明を支える分野といっても過言ではない。こうした観点から、電気-機械エネルギー変換の基本原則からはじめ電気-機械システムの統一的解析手法までを概説し、電気-機械エネルギー変換システムの基本を知る。

#### 【教科書】

村上 他著『電磁気工学』培風館と配布プリント

#### 【参考書】

宮入庄太『大学講義最新電気機器学』丸善  
難波江章『電気学会大学講座 基礎電気機器学』電気学会

## 電子回路基礎

「アナログ回路の基礎と等価回路による解析」

2単位 秋学期  
岡田 英史

## 〔授業科目の内容〕

非線形な特性をもつトランジスタ回路を、小信号等価回路で表現することで線形回路として解析する方法について解説します。トランジスタやオペアンプを利用したアナログ電子回路（増幅回路、発振回路）の基本動作を解析できるようになることをめざします。

## 〔教科書〕

電気・電子・情報工学系テキストシリーズ3  
高橋進一・岡田英史共著『電子回路』培風館

## 電子回路基礎

2単位 春学期  
小沢 慎治

## 〔授業科目の内容〕

トランジスタ等の素子を含む回路の動作についての講義を行う。電気・電子回路における現象の解析法とともに、増幅回路、演算増幅器などについて学ぶ。また2年秋学期に開講される「デジタル回路」への導入とする。

## 〔教科書〕

竹村裕夫著『電子回路の基礎』コロナ社

## 〔参考書〕

一部、授業で用いるスライドのコピーを配布します。

## 電子回路同演習

「トランジスタと演算増幅器を用いた能動回路」

2単位 秋学期  
宮下 照夫

## 〔授業科目の内容〕

増幅機能を持つ素子をふくんだ基本的な電子回路を取り上げて、能動回路の解析方法や実用回路の設計方法を易しく解説します。また、講義の中でしめされる演習問題を各自が解くことによって回路の動作を理解し、解析方法を身に付けるとともに応用力を養います。講義は、「電子回路基礎」の講義内容に含まれる受動回路の知識を踏まえて、トランジスタ素子や演算増幅器の回路要素としての特性を解説し、更にこれらを用いた実用的な能動回路網の特性解析や設計方法を、例題を用いて説明します。

## 〔教科書〕

プリントを配布します。

## 電磁気学第1

「Maxwell方程式に立脚し真空・物質中の電磁場を解析する」

2単位 秋学期  
宮島 英紀

## 〔授業科目の内容〕

電磁気学は1年生の物理学B・Dで、現象や分野別に勉強してきた。これらの電磁気学の諸現象は、物理学の中で最も美しい方程式、Maxwell方程式として集約される。物理学B・Dとは逆に電磁気学第1では、Maxwell方程式を出発点として、主として時間に依存しない静的な電磁気現象、回路素子の特性、および物質の電磁氣的性質などについて解説する。なお、時間を陽に含んだ動的な電磁気学は、3年次に電磁気学第2で講義する。

## 〔教科書〕

毎回プリントを配布し、これをもとに講義を行う。

## 〔参考書〕

1年生のときの教科書『物理学B、D』

後藤憲一、山崎修一郎共編『詳解電磁気学演習』共立出版

両者とも生協の書籍部で入手できる。

## 電磁気学同演習

3単位 秋学期  
木下 岳司

## 〔授業科目の内容〕

物理学B、Dでの基礎的電磁気学をさらに深め、専門科目にも十分対応できる電磁気学を身につける。理解を確かなものとするため演習も同時に行う。

## 〔参考書〕

砂川重信著『電磁気学』岩波書店

## 電磁気学同演習

2単位 春学期  
畑山 明聖 伊藤 公平

## 〔授業科目の内容〕

授業のターゲット/ゴール：

- 1) 真空中のマクスウェル方程式を書き下すことができる
- 2) 各方程式が記述する物理現象及び法則のしっかりとした理解
- 3) 電磁気学の基本的問題を自分自身でモデル化し、解ける
- 4) そのための数学的な基礎力を身につける

## 〔教科書〕

プリント配布。

## 電磁気工学

「Electromagnetic Engineering」 2単位 春学期  
内山 太郎 村上 俊之

## 〔授業科目の内容〕

現代の産業機器システムの動力メカニズムは力学と電磁気学にその基礎を置いているといっても過言ではない。本科目はそのうち電磁気現象について電磁気力、電磁エネルギーに重点を置き、さらに電磁波までを理解することを目的とする。電磁気学は、とかく物理現象の解釈に偏りがちであるが、ここではとくに工学的視野に立って、具体例をあげてわかりやすい身近な学問としてシステムの設計に役立つ電磁気学を身につける。

1. 電荷と力
2. 電界中のエネルギーと力
3. 電流と力
4. 磁界中のエネルギーと力
5. 電磁界

#### 【教科書】

『電磁気工学』培風館

電子デバイス・材料基礎 2単位 春学期  
「電気・電子材料」 山下 久直

#### 【授業科目の内容】

電子デバイスには多くの種類が用いられています。これらの材料は最先端の科学技術を支える重要な基盤となるものです。この講義では、電子工学科の基盤分野の基礎として、材料の種類、特性、応用などについて、解りやすく概説します。

#### 統計解析

「データ解析のための基礎としての統計的推測」  
2単位 秋学期  
篠崎 信雄

#### 【授業科目の内容】

標本データを記述するための基礎的概念・道具としての平均や分散の議論から始め、分割表、散布図、相関係数といった2次元データの記述について学びます。その上で、標本分布、推定・検定の統計的推測の議論に進みます。現実の問題に適用し情報を引き出すためには、統計学のもの見方・考え方を正しく理解することが必要であり、その修得に努めます。基本的な信頼区間や仮説検定の手法を使いこなせるようになり、その意味を正しく理解できるようになることをめざします。

#### 【教科書】

篠崎信雄著『統計解析入門』サイエンス社

#### 【参考書】

鷲尾泰俊著『日常のなかの統計学』岩波書店、  
東京大学教養学部統計学教室編『統計学入門』東京大学出版会

統計力学基礎 2単位 秋学期  
中村 義春

#### 【授業科目の内容】

われわれが目にする物理現象、たとえば、気体が示すさまざまな熱・力学的性質（気体の圧力や拡散など）やコンピュータ内の電子回路素子の動作特性（金属や半導体の電気伝導など）、さらには、物質の磁氣的性質はその根底に非常に多数の粒子の運動がかかわっています。粒子の数が多いため1つ1つの粒子の運動方程式からその全体の現象を解明することは不可能ですが、逆に、粒子数の多いことを利用し確率論の助けを借りることで、多数の粒子が作る現象の全体像を粒子固有の性質から解明することができます。この講義では統計力学の最

新の展開について述べることはできませんが、さまざまな応用例をなるべくたくさん織り込んで統計力学の基本的な考え方を紹介します。それが今後皆さんが会うさまざまな問題を理解する助けになれば幸いです。参考書を下を選んでおりますが、特に統計力学に関してはすぐれた図書がたくさん出版されていますので、ここにあげた書物以外にも目を通し、幾通りかの説明・記述を比較しながら理解を深めることを是非奨めます。

#### 【参考書】

市村浩著『統計力学』裳華房  
朝永振一郎著『物理学とは何だろう(上・下)』岩波新書  
長岡洋介著『統計力学』岩波書店

#### 熱物理

「巨視的な現象の理解の基礎をかためよう。」  
2単位 秋学期  
藤谷 洋平

#### 【授業科目の内容】

見通しよく一新された最近の熱力学理論の枠組みで解説する。旧来の多くの熱力学の教科書では、なにが仮定で、どういう前提条件でなにが結論されるのかが、全く不明確であった。本講義ではこの点が明確になる。

#### 【参考書】

田崎晴明著『熱力学』培風館

#### 熱力学

「巨視系の現象論」  
2単位 秋学期  
齋藤 幸夫

#### 【授業科目の内容】

熱力学は、巨視的物体の関係する現象を経験的にまとめた三法則から、多くの物理量を定義し、多岐に渡る現象を統一的に理解できる美しい学問である。熱平衡に関係する部分は、将来力学や量子力学を用いた統計力学で基礎付けされる。

#### 【教科書】

プリントを配布する。

#### 【参考書】

三宅哲『熱力学』裳華房、同名の著者、本名、出版社の演習書もあるので注意。

演習書として、久保亮五編『大学演習 熱学・統計力学』裳華房

#### 熱力学の基礎

「熱力学の基礎となる第一、第二法則、実在気体と理想気体」  
2単位 秋学期  
小川 邦康 川口 修  
泰岡 顕治

#### 【授業科目の内容】

熱力学は機械工学の体系を支える重要な柱であり、広く工学全般の基礎となる学問分野である。主として理想気体を対象として熱力学の第一、第二法則が完全に理解

できるように平易に講義を行う。理解を助けるために講義時間内に簡単な演習を行う。主要な講義の内容を以下に示す。

- (1) 熱と力学的エネルギーの関係について学び、熱と温度の概念を理解する。
- (2) 熱力学におけるエネルギーの保存則にあたる第一法則を学び、熱と仕事の等価性を理解する。
- (3) 本講義で対象とする理想気体の性質について学び、理想気体の状態変化と仕事、熱の出入りについて学ぶ。
- (4) 自然界の変化の方向とその不可逆性を表した第二法則を学ぶとともに、自然現象の不可逆性の尺度であるエントロピーの概念を理解する。また、変化の進む方向と平衡の条件についても理解する。
- (5) 実在気体について理想気体との違いについて理解し、相の変化と平衡、実在気体の状態方程式を学ぶ。

【参考書】

谷下市松著『工学基礎熱力学』

熱流体システム第1

「モデリングと熱力学」

2単位 春学期

佐藤 春樹 長坂 雄次

【授業科目の内容】

熱および流体の関わる問題を、総合的に理解するための基礎的な科目である。従来の熱力学、流体力学を部分的に講義するのではなく、非平衡開放系からスタートし、熱流体システムにおける基礎方程式とモデル化の基本を教える。身近なテーマの演習問題やアニメーション等を利用して、本講義内容がデザインにどのように役立つかを強調する。熱流体システム第2とは内容が連続している。

【教科書】

学科で作成し配布するテキスト。

【参考書】

JSMEテキストシリーズ『熱力学』日本機械学会(2002年 1886円)

熱流体システム第2

2単位 秋学期

佐藤 洋平 谷下 一夫

【授業科目の内容】

システムデザインに即座に適用できる、流体力学及び流体工学に関して授業を行う。

【教科書】

システムデザイン工学科用意

バイオプログラミング第1

2単位 春学期

榊原 康文

【授業科目の内容】

C言語の学習と実践を通して、プログラミングの基本

的な考え方と、技術を習得することを目標とする。C言語は、現在もっとも広く使われている実際的なプログラミング言語である。まずはじめに、プログラムの制御構造と基本的なデータ型、及び関数の使い方を学習する。次に、より実際的なプログラミング技術を習得することを目指し、関数の再起処理やポインタ、ファイル処理などを学習する。毎回、講義中にプログラミングの演習を行う。成績評価は、4回くらいを予定しているレポートと期末試験により行う。プログラミングの勉強は、とにかく自分でプログラムを作成して、何度も間違いを起こすことを通じて、プログラミング技法を覚えていくことが重要である。

【教科書】

石田晴久他著『入門ANSI-C』実教出版

【参考書】

カーニハン・リッチー著 石田訳『プログラム言語C(第2版)』共立出版

バイオプログラミング第2

2単位 秋学期

榊原 康文 富田 豊

岡 浩太郎

【授業科目の内容】

バイオプログラミング第1でのC言語習得を踏まえて、第2ではより実際的な問題の解法のために必要となるプログラミング手法とアルゴリズムについて学ぶ。プログラミング言語の文法を学んだだけでは問題の解を計算するためのプログラムを書くことは出来ない。効率的なプログラムを書くためには、アルゴリズムと呼ばれる基本的ないくつかのプログラム手法を習得して、それらを組み合わせることにより目的の問題のためのプログラムを作成できる。本講義では、微分方程式や線形代数を扱うための数値計算アルゴリズムと、木やグラフ構造などの離散データを扱うアルゴリズムを中心に勉強する。毎回、講義中にプログラミングの演習を行なう。

【教科書】

なし。

【参考書】

なし。

パターン情報処理

「学習理論と計算機科学の基礎」

2単位 秋学期

榊原 康文

【授業科目の内容】

コンピュータを用いてデータの中から特徴的なパターンや規則を抽出する技術をパターン認識という。本講義では、パターン認識の基本および必要とされる情報科学の基礎的な内容を生命科学に応用する立場から説明する。多次元のデータ解析として線形識別関数やベイズの確率論、DNAなどの配列解析のためにオートマトンや文脈自由文法などの形式言語理論を中心に説明する。

【教科書】

なし。

【参考書】

榊原・小林・横森著『計算論的学習』培風館、  
石井健一郎 他著『パターン認識』オーム社

反応速度論

「化学反応の起こりやすさと仕組み」 2単位 秋学期  
仙名 保

【授業科目の内容】

すぐれた機能を持つ材料を作り、エネルギーを使いやすい形に変え、物を有効に再利用して地球をこれ以上汚さないようにするにはどうしたらよいか、といった大切な問題の核心には、必ず化学反応が関係しています。目的に合った化学反応を、効率よく起こさせるためにはまず、それぞれの反応の仕組みを知る必要があります。原子や分子が、どのように出会ってその姿を変えていくかは、反応の速さが、温度と共にどのように変化していくかを詳しく調べることから、だんだんと解っていきます。その際、反応が起こるときにどうしても越えなければならないエネルギーの山?活性化エネルギー?の正体を理解することが大切です。反応速度論という、ちょっといかめしい名前の講義の中味は、実はこのような原子や分子の出会いと別れのドラマです。反応の速さはどうやったら測れるか、分子の衝突と反応速度とはどのような関係があるかなど、現象と理論の両面から、たくさんの実例やイラストを使って、できるだけわかりやすく解説します。

【教科書】

指定しませんが、毎回プリントを配布します。

【参考書】

最近10年以内に書かれた物理化学のテキストを一冊持っている、ハンドブック代わりにもなって便利です。具体的には、最初の授業のときに示します。

反応有機化学

「有機化学反応をいかに理解するか」 2単位 秋学期  
山田 徹

【授業科目の内容】

複雑で膨大な数の有機化学反応を反応形式で分類し、電子密度の片寄り、立体規制などの基本原理にもとづく理解を目指す。有機反応の基礎・酸と塩素・求核置換反応・脱離反応・求核付加反応・求核付加-脱離反応・求電子付加反応・芳香族求電子置換反応・芳香族求核置換反応「曲がった矢印」で電子の流れを記述できること、反応を理解することを学ぶ。

【参考書】

ボルハルト・ショアー、古賀・野依・村橋監訳『現代有機化学』化学同人、ストライトウィーザー、湯川泰秀監訳『有機化学解説』廣川書店、畑一夫著『有機化合物の命名-解説と演習-』培風館、ISBN 4-563-04222-6 演習書：吉原・神川・上方・藤原・鍋島共著『有機化学演習』三共出版

ヒューマン・ファクターズ

「人間の諸特性に関する管理工学的基礎」2単位 秋学期  
岡田 有策

【授業科目の内容】

作業者と機械・製品だけでなく、作業者をとりまくシステム、組織・社会までを対象とし、そこにおける人間に関わる諸要因を総合的に評価する学問であるヒューマンファクターズの基本概念とアプローチの仕方について概説する。

【教科書】

ヒューマンファクターズ概論(予定)

複素解析

「正則関数とその応用」 2単位 春学期  
中野 實

【授業科目の内容】

いままで学んできた実変数関数の微分積分学に対して、この講義では複素数を独立変数とする『複素微分可能な関数(正則関数)』について学ぶ。

正則関数は実微分可能関数ではみられなかった様々な性質を備えており、それゆえに理学・工学においての応用上 非常に重要である。

【教科書】

R.V.チャーチル、J.W.ブラウン共著、中野實訳『複素関数論入門』サイエンティスト社

【参考書】

特には無い。

複素解析

「複素変数複素数値関数の微分積分」 2単位 春学期  
本田 郁二

【授業科目の内容】

複素関数の微分積分計算が行えるようになることを当面の目標とします。

そのために原則として毎回講義の後に演習を行います。

【教科書】

使いません。補充プリントを配布します。

【参考書】

補充プリント内で提示します。

物質の精製分析

「相平衡の物理学」 2単位 秋学期  
山元 公寿

【授業科目の内容】

物質の機能や物性を正確にしかも効率よく引き出し利用するために、分離・精製して高純度の物質を得ることは極めて大切である。物質の分離・精製の過程は相平衡を基盤にしているものが多く、これを中心に物理化学の

立場から平易に解説する。次の項目について演習も含めて講義する。

1. 相平衡
2. 分配平衡 (溶媒抽出)
3. 沈殿平衡 (沈殿、再結晶)
4. クロマトグラフィー
5. 蒸留による分離 (気液平衡)
6. 結晶化による分離 (固液平衡)

【教科書】

なし。

【参考書】

プリント配布。

物理学演習第1

1単位 秋学期  
江藤 幹雄

【授業科目の内容】

「量子力学第1」の演習をおこなう。したがって本科目の受講者は上記の講義を受講しているものと仮定して授業をおこなう。量子力学の具体的な問題や、その解法に必要な数学の問題を解くことで、講義の理解を深めることを目的とする。

物理学演習第2

1単位 秋学期  
江藤 幹雄 光武亜代理

【授業科目の内容】

「電磁気学第1」の講義、物理数学 (複素解析、フーリエ変換、ラプラス変換、特殊関数など) に関する演習を行う。従って、本科目の受講者は「電磁気学第1」、「複素解析」の講義を受講しているものと仮定して、授業を行う。また、「振動波動論」、「応用数学」、「応用解析第1」を受講していることが望ましい。

【参考書】

電磁気学 (学部生の時に、下記の参考書または自分が気に入った本を読むことを望みます。)

後藤憲一、山崎修一郎著『詳細電磁気学演習』共立出版

砂川重信著『理論電磁気学』紀伊国屋書店

後藤尚久『なっとくする電磁気学』講談社

砂川重信著『物理テキストシリーズ 電磁気学』岩波書店)

砂川重信著『物理テキストシリーズ 電磁気学演習』岩波書店

ファインマン著『ファインマン物理学 電磁気学』岩波書店

ランダウ=リフシッツ『電磁気学』東京図書株式会社  
ジャクソン著『ジャクソン 電磁気学』(上) 吉岡書店

物理数学 (下記の参考書から問題を出す場合が多い)  
弥永守著『理工学部のための応用数学』朝倉書店

後藤健一、山本郁夫、神吉健著『詳細 応用物理数学演習』共立出版

神部勉、有馬朗人『物理のための数学入門 複素関数論』共立出版

物理情報数学A

2単位 春学期  
大橋 良子

【授業科目の内容】

様々な物理現象の理解とその工学上の応用の基礎として重要となる。

1) 複素解析、および 2) フーリエ解析の基礎を学ぶ。

【教科書】

特に指定しない。プリントを配布する。

物理情報数学B

「数理から物理まで横断的に「線形性」を学ぶ」

2単位 春学期  
相吉英太郎

【授業科目の内容】

大学での「線形代数」という科目で初めて「線形」という用語に接しますが、小学校で習う「1次関数」から、高校で習う「ベクトルや行列」や「微分・積分」まで、そして高校の物理で習う「運動方程式」から「電気回路」に至るまで、これらすべてに「線形」という共通した性質があります。つまり、これまで習得してきた数学や物理の多くの事柄が、場合によっては経済現象や社会現象までも「線形現象」として、統一的に把握できます。そして、これらの性質が工学的に利用され、様々な技術を生み出してきました。この科目では、小学生以来大学1年生までに習得したことを、「線形」という概念の「横系を通す」ことによって、統一的に把握してその知識を工学の分野に応用できるようにし、1冊の教科書には書けない、きわめて横断的な数理的知識を学習します。

【教科書】

数回に1回の割合で、パワーポイントの内容を縮刷したプリントを配布します。欠席した人には、原則として渡しません。この授業およびプリントの内容は非公開としますので、プリントのコピー・転用・他人への譲渡を厳禁とします。

【参考書】

授業全体の参考になるような1冊を紹介することは不可能ですので、授業中に適宜紹介します。

プログラミング演習

「システムデザインのためのプログラミング技法」

2単位 秋学期  
大森 浩充 中澤 和夫  
矢向 高弘 高橋 正樹

【授業科目の内容】

講義目的

物理システムを対象として、高性能な計測制御システムを総合的に構築するには、実際の物理モデルと整合性のあるプログラムの作成法を習得し、情報の処理・変

換・伝送などをマイクロコンピュータに実行させる必要がある。本講義では、単にソフトウェアを使用した情報の取り扱い手法を習得することよりも、物理システムとマイクロコンピュータ間の情報のやりとりを通して最適なシステムをデザインすることを目的としたプログラミングの方法論の習得に重点が置かれている。具体的には、計測制御用コンピュータを理解する上で基礎となる計算機の基本構成、入出力インターフェースの基礎を理解し、C言語を用いたプログラミング実習により、計算機ユーザとして必要とされるシステム計測・制御と画像処理等の情報処理の基礎知識およびプログラミング技法を習得する。

#### 【教科書】

配布資料。

#### プログラミング基礎同演習

「C言語によるプログラミング入門」 2単位 秋学期  
田中 敏幸 中村 一尊

#### 【授業科目の内容】

C言語を用いて、コンピュータシミュレーションに必要なプログラミング技法の基礎を習得することを目的とする。各講義時間の後半に、その日に習ったC言語文法を用いたプログラミング実習を行い授業内容の理解を深める。また、実習は短時間でできる簡単な題材を扱うため、3週に一度程度の割合でプログラミングに時間のかかる課題を宿題とし、結果を提出してもらう。課題の作成によってそれまでに習ったC言語文法を体系的に理解し、いろいろな問題を解決できるようになる。授業の内容は次のようになっている。

#### 【教科書】

田中敏幸著『C言語によるプログラミングの基礎』コロナ社

#### プログラミング言語

「コンピュータのプログラムを作ってみよう」  
2単位 春学期  
櫻井 彰人

#### 【授業科目の内容】

自分でコンピュータのプログラムが書けるようになるためのプログラムの基礎を学ぶ。プログラミング言語はJava言語を使用する。授業時間外にパソコンでプログラムを作成し、レポートとして提出する。

#### 【教科書】

特に指定しない。

#### 【参考書】

Java入門書がたくさん書かれています。自分の気に入ったものを選べばよい。また、WWW上にも多くあります。

#### プログラミング実習

2単位 春学期  
江藤 幹雄 古池 達彦

#### 【授業科目の内容】

物理学における計算機の役割は、最近ますます重要になって来ている。複雑な現象を解明する理論研究の手段として、実験結果の解析の道具として、計算機を使用する機会は非常に多い。この授業では計算機のプログラミングを初歩から解説し、その実習を行う。言語はFORTRANを使用する。物理学の基本的な問題を中心に課題を与え、各自がプログラムを作って計算する形の実習を行う。

#### プログラミング第1同演習

「初めてのプログラミング」 2単位 春学期  
岡田 謙一 重野 寛

#### 【授業科目の内容】

プログラミングの未経験者もしくは初心者を対象として、Cによるプログラミングの基礎を学ぶ。講義では主に文法の基礎を、コンピュータを操作しながら学ぶ。演習では若干進んだプログラミング技法を説明し、毎回プログラミングレポートを提出する。

#### 【教科書】

岡田謙一、屋代智之：改訂新版C/C++教科書（ソフトリサーチセンター）

#### 【参考書】

岡田謙一、重野寛他：C/C++ワークブック（ソフトリサーチセンター）

#### プログラミング第3同演習

「C言語中級コース」 2単位 秋学期  
斎藤 博昭 山崎 信行

#### 【授業科目の内容】

C言語を正確により深く理解するとともに、C言語を用いたプログラミング能力を磨く。

#### 【教科書】

独自のものを販売します。

#### 【参考書】

カーニハン&リッチー著（石田晴久訳）「プログラミング言語C」（共立出版）がお奨めです。他は、授業時に紹介します。

#### プログラム実習

「プログラミング言語Cとその応用」 2単位 春学期  
眞田 幸俊 中野 誠彦

#### 【授業科目の内容】

コンピュータを用いて問題を解決するためのアルゴリズムとそのプログラミング言語での記述について講義および実習を行う。プログラミング言語にはC言語を用いる。初回の講義は全体で行うが、実習は原則としてプロ

グラミング言語の習熟度に応じたグループに分けて行うことにする。

【参考書】

中野 誠彦『プログラミング言語C』

分子生物学第1

2単位 秋学期  
柳川 弘志

【授業科目の内容】

2003年4月、ヒトゲノムの全塩基配列解読完了が宣言され、これまで166個のゲノム(145個の原核生物ゲノム、21個の真核生物ゲノム)が解読されている。さらに現在、775のゲノム解読プロジェクト(415個の原核生物ゲノム、360個の真核生物ゲノム)が進行中である。2003年には、アメリカでENCODE(ENCyclopedia Of DNA Elements)計画が発表され、いよいよポストゲノム時代が始まった。日本でも、文科省のゲノムネットワークプロジェクトが2004年10月にスタートした。ゲノムネットワーク解析は、ポストゲノム時代の最も重要な課題であり、その成果は生命現象の統合的理解と共に、ゲノム産業やゲノム創薬といった具体的実用化が期待されている。

また2002年1月には、チンパンジーのゲノムが解読され、ヒトのゲノム配列との差はわずか1.23%しかないとわかった。ヒトとチンパンジーの差はゲノム配列からだけではとても説明できないものであった。ここからわかることは、我々はまだ、「進化」を記録したゲノム地図の読み方、ゲノム配列が意味することを知らないということである。ポストゲノム研究とは、このゲノム地図の読み方を知ることにあるだろう。すなわち、ヒトとチンパンジーの差は、ゲノム配列から翻訳されるタンパク質とそのタンパク質間相互作用に支えられた遺伝子ネットワークのパターンの違いによる可能性がある。ポストゲノム研究に求められるものは、従来の一遺伝子を深く掘り下げる研究だけではなく、網羅的な遺伝子群の機能解析研究である。

このような日進月歩の生命科学の進展を背景に、21世紀のゲノムサイエンス時代を切り拓いて行く若い人達に、その基礎となるこれまでにわかった分子生物学の知識を、広くかつ深く理解してもらい、問題解決能力を養ってもらおうのが本科目の主旨である。

【教科書】

『分子細胞生物学』(上)第4版、H. Lodishら著、野田春彦ら訳、東京化学同人

【参考書】

配布プリント。

分析化学

「Analytical Chemistry」

2単位 秋学期  
鈴木 孝治

【授業科目の内容】

前提科目である「分析化学基礎」の授業で、“化学物質”に関する十分な知識を身につけた。また、物質を分

離する手法や理論的思考方を学んだ。この授業では、“物質”を検出する手法を学ぶことを中心に、分離分析の実際と使う機会の多い汎用の機器分析の基礎を講義とビデオで学ぶ。

1. 化学分析と機器分析の基礎
2. 分離分析
3. 光関連分析
4. 磁気関連分析
5. 電子関連分析
6. 分析化学トピックス

【教科書】

生協から販売予定。

分析化学基礎

「Basic Analytical Chemistry」

2単位 春学期  
鈴木 孝治

【授業科目の内容】

物質を分離し、同定し、定量する。この操作を確実にを行うためには、先ず様々な物質そのものの性質や特性を十分理解していなければならない。このことを念頭に置き、本科目では物質化学に立脚した分析化学および機器分析の基礎について学ぶ。

- ・分析化学体系
  - ・化学物質の性質と見方
  - ・化学物質の平衡
  - ・物質の分離と検出
- 必要に応じて演習を行う。

【教科書】

生協から販売予定。

【参考書】

基礎化学コース『分析化学』及び『分析化学』丸善

分布系の数理

2単位 秋学期  
本多 敏

【授業科目の内容】

概要

物理現象を情報として扱うということはシンボル/記号化するということから始まります。物理的变化を担う媒質が空間的に連続に分布しているような、物理学工学のいろいろな分野で現れる連続体の問題を、線形分布定数系という共通性に着目して理解できるようにします。数学的には応用偏微分方程式論に相当する内容ですが、物理的工学的意味を物理情報として理解できるようにします。

学習の目標

講義計画に示した毎回の演習を通じて

- ・放物型・楕円型・双曲型偏微分方程式が表現する拡散、熱移動、対流、振動、波動、ポテンシャル等の物理現象が理解できる。
- ・現実のそれらの問題を境界条件も含めて定式化できる。

・あたえられた問題を、変数分離法、積分変換法等を用いて解くことができる。

よくなることをめざします。

〔参考書〕

スタンリー・ファーロウ（伊理訳）『偏微分方程式』啓学出版

無機化学 2単位 秋学期

「無機化合物の構造と性質を理解するための基礎」

井上 秀成

〔授業科目の内容〕

無機化学100以上の元素とそれらの化合物を対象にしますが、この講義では時間的な制約から無機化学を理解するために必要な事柄のみを扱うことにする。まず、水素原子のSchrodinger方程式から出発して水素原子の電子構造、多電子原子の電子構造、元素の周期律について復習する。その上で、二原子分子および簡単な分子の電子構造を分子軌道法により把握する。この分子軌道法を結晶あるいは連続体に応用して、固体の電子状態（あるいはバンド構造）を理解する。また、無機化学に登場する分子や金属錯体の幾何学的構造を群論の初歩によりとらえる。この分子の対称性の知識に基づいた配位子場理論により金属錯体の電子状態を解釈する。これらの無機化学の基礎を修得した後、d およびf ブロック元素とそれらの化合物について解説する。具体的には、各元素の精錬法、金属錯体、工業的用途、材料としての利用、生物との関わりなどについて説明する。

〔教科書〕

特に指定しない。

〔参考書〕

D.F.Shriver,P.W.Atkins,C.H.Langford 著（玉虫、佐藤、垣花 訳）『無機化学』（上・下）東京化学同人、1998年  
福田、海崎、北川、伊藤 編 『詳説無機化学』講談社サイエンティフィック、1997年

有機化学基礎

「有機化合物の合成と反応入門」 2単位 春学期

山田 徹

〔授業科目の内容〕

1年生の化学Dで有機化学の電子論、立体化学を総論的に学んだことを基礎に、重要な官能基について、個々に合成法、反応性を解説する。各化合物間の相互の関係についても考察し、体系化した視点から俯瞰的に有機化学全体を眺めることの面白さをも忘れないようにしたい。内容を箇条書きにすると以下のようである。

〔参考書〕

ポルハルト・ショアー著『現代有機化学』（第3版 上・下）化学同人  
畑一夫著『有機化合物の命名 解説と演習』培風館、ISBN 4-563-04222-6

有機立体化学

「三次元で見た有機化合物の構造と反応性」

2単位 秋学期

只野 金一

〔授業科目の内容〕

天然より見出される多種多様な有機化合物も、実験室で化学合成される有機化合物も、それらの大半は三次元立体構造をもつ。sp<sup>3</sup>混成をした炭素原子が、正四面体構造をとる事に由来した結果である。酵素などの生体触媒により司られる生体内での化学反応の本質を理解するためにも、機能性分子を創製する際にも、研究目的とする有機分子を三次元構造で捉えねばならない。2001年度のノベル化学賞が我が国の野依良治博士に授与されたが、この快挙は「有用な有機化合物を望む三次元構造をもつものとして化学合成する」という野依博士の研究業績が評価された結果である。本講義ではまず有機化合物を立体構造の視点から説明し、ついで有機化合物が行う化学反応を立体化学的な見地から考察し、さらには三次元構造をもつ有機化合物を実際に合成する手段について順次講述していく。受講者に、有機化合物を三次元構造で捉えることに慣れ、また有機化学反応を立体的に考えるようになってもらうことを講義の目的・目標としている。

〔教科書〕

特に指定はしません。

〔参考書〕

カガン著、小田順一訳『有機立体化学』化学同人、バクストン、ロバーツ著、小倉克之他訳『基礎立体化学』化学同人 等。

力学的アナリシス

2単位 秋学期

野口 裕久 吉田 和夫

〔授業科目の内容〕

静力学と動力学に関するモデリングの基礎を力学的モデリングで学んだ後、その特性と応答解析の基礎を学ぶために設けられた科目である。機械工学、建築工学、土木工学の基礎としての静力学、動力学、機械力学、材料力学などの基礎知識を習得でき、基礎的で重要な科目である。近年制御工学、ロボット工学などの学際的な分野においても、対象は力学系であることが多く、エンジニアリングの広範な分野の基礎を学ぶことができる。

〔教科書〕

自作テキスト。

〔参考書〕

坂田勝著『工学力学』共立出版、  
下郷、田島著『振動学』コロナ社、  
日本機械学会『機械システムのダイナミックス入門』丸善

力学的モデリング 2単位 春学期  
野口 裕久 吉田 和夫

〔授業科目の内容〕

システムデザイン工学部のカリキュラムの一つの重要な柱として、静力学および動力学がある。これらの基礎知識はエンジニアにとって必須の基礎学力である。本科目は、静力学と動力学の学問的な基礎を学び、それらの知識を基にして物理現象のモデリングの方法を学ぶために設けられた基礎科目である。なお、力学を横断的に学ぶことができるように縦割りの内容を講義するのではなく、静力学と動力学を融合した教育を行う。以下の項目について講義する。

〔教科書〕

自作テキスト。

〔参考書〕

坂田勝著『工学力学』共立出版、  
L.Meirovitch“ Introduction to Dynamics and Control ”  
Wiley

理工学基礎実験 2単位 春学期 / 秋学期  
富田 豊 他

〔授業科目の内容〕

春学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からABCを、また、秋学期に履修する学科群に属する者は下記テーマ群の中からABDの組合せによって全12課題について実験、レポートの提出、討論を完結する。

- A実験 1 トランジスタ増巾回路  
2 熱の移動  
3 機械加工  
4 応力およびひずみの測定  
5 流体の流動
- B実験 1 音波の干渉  
2 偏光  
3 分光測定  
4 回路の共振  
5 マイケルソンの干渉計
- C実験 1 吸光光度法による銅の定量  
2 ガスクロマトグラフ法  
3 pHと電離平衡  
4 可逆電池の超電力と平衡定数
- D実験 1 表示系のヒューマンインターフェース  
2 コンピューテーションコンプレキシティ  
3 経営意思決定問題  
4 グラフィカルデータ解析  
5 幾何学的確率の実験

〔教科書〕

理工学基礎実験（慶應義塾大学理工学部編）

流体力学の基礎 2単位 秋学期  
植田 利久 小尾晋之介  
澤田 達男

〔授業科目の内容〕

地球や惑星大気の運動、海流、河川の流れ、建物周辺の風や室内の気流、液体金属や液晶、血液、呼気の流れ、大気圏を飛行する物体の運動や発熱、自動車エンジンや蒸気タービン内部のガスや蒸気の流れ、ミクロな粒子やバクテリアの運動など、我々の身の回りには流れの問題があふれている。しかも、それらは大抵の場合、システムにとって致命的なほど重要である。様々な流れの問題を力学的に解決する学問が流体力学で、その骨組みの部分をこの「流体力学の基礎」および3年春学期の「流体力学」において学ぶ。

〔教科書〕

F.M.White “ Fluid Mechanics ” 5th Edition, McGraw-Hill International Editions

量子化学基礎

「化学結合論、分子軌道法、分子の振動回転運動」

2単位 秋学期  
藪下 聡

〔授業科目の内容〕

化学的な視点から量子論の基本を学び、分子中の電子状態および分子の振動回転運動を題材に、様々な化学現象にとって量子論の考え方がなぜ必要なのかを理解する。

〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントはwebサイト  
<http://sepia.chem.keio.ac.jp/qchem/qchem.html>よりダウンロードできます。

パスワードなどは最初の授業にお知らせします。

〔参考書〕

田中政志、佐野充『原子・分子の現代化学』学術図書  
茅幸二編著『物理化学演習』裳華房  
朽津耕三・濱田嘉昭『量子化学』放送大学教育振興会  
小林常利『基礎化学結合論』培風館  
藤永茂『入門分子軌道法』講談社サイエンティフィック  
平尾公彦・加藤重樹『化学の基礎』講談社サイエンティフィック

量子力学基礎同演習

「『エレクトロニクス』を学ぶための基礎物理の1つ」

3単位 春学期  
梅垣 真祐

〔授業科目の内容〕

本科目は、電磁気学、統計力学と共に、20世紀後半の技術社会の根幹を成した「エレクトロニクス」を理解する上で不可欠な基礎物理の1つである。21世紀は、さらに発展させた「電子技術」と、20世紀後半になって現れ

たレーザーを基とする「光技術」とを融合した「フォトニクス」の時代と言われる。レーザーもまた基礎物理に立脚した電子技術の産物である一方、将来の電子デバイス、光デバイスにおいては量子効果を十分に発揮させたデバイスが多用されるものと予想される。授業は教科書中心に進めるが、上述の応用を念頭におき、固体物理、レーザー物理さらには量子化学との関連を理解するため、随時、参考書の内容についても触れる。教科書の範囲外の内容についてはプリントを配布する予定であるが、教科書の範囲内の内容についても教科書だけに頼らない自習を勧める。そのための参考書等は、授業を進めていく中で紹介する。また、自習できるという学生諸君には授業への出席は強要しないが、3回のテスト形式の演習以外にもほぼ毎回、小演習を実施する。学生の講義への理解を深めるだけでなく、学生の理解度を教員が知っておく必要があるからである。

#### 【教科書】

砂川重信著『量子力学の考え方』岩波書店（物理の考え方シリーズ4）

#### 【参考書】

朝永振一郎著『量子力学』みすず書房  
R.H.Pantell and H.E.Puthoff, John “ Fundamentals of Quantum Electronics ” Wiley & Sons, Inc.  
山下次郎他訳『キッテル固体物理学入門』（上・下）丸善  
原田義也著『量子化学』裳華房

量子力学第1

2単位 秋学期  
福田礼次郎

#### 【授業科目の内容】

本格的な量子力学の履修の始まりと考える。量子力学の基本原理解、数学的な構造、観測量と観測値、シュレーディンガー表示とハイゼンベルグ表示、対称性と保存則、（できれば群論との関係）、時間発展と定常問題、角運動量、など

#### 【参考書】

特に指定しない。

量子力学入門

2単位 春学期

「電子、光子、シュレーディンガー方程式、プランク定数、不確定性関係」 川村 清 高野 宏

#### 【授業科目の内容】

量子現象は、物理学・化学の分野のみならず工学の分野でもポピュラーになりつつある。量子力学の現状を踏まえ、その基本概念を学ぶ。

ビデオ教材を使って、「波と粒子の2重性」を体験して、量子力学が必要だということを認識してもらう。次に、波動力学の基礎にあるシュレーディンガー方程式と1次元系での解の性質を調べながら、量子力学のエッセンスを理解してもらう。

#### 【教科書】

川村清「量子力学」(産業図書)

量子力学入門

2単位 秋学期  
椎木 一夫

#### 【授業科目の内容】

原子、分子などのミクロな世界を支配する物理法則は日常世界における常識とは必ずしも相いれない。ミクロ世界の法則を理解して、ここから情報を得て制御する、つまり新しい機能性材料を開発したり電子波デバイスなどの先端素子を研究する、その準備段階として、量子力学の基礎を学ぶ。演習を行い、勉強した内容が使えるようになることを目標にする。

#### 【教科書】

椎木一夫著『工科系 量子力学』裳華房

#### 【参考書】

小出昭一郎著『量子力学(1)』裳華房

## 総合教育科目

遺伝子の科学

2単位 春学期  
梅澤 一夫

### 【授業科目の内容】

1950年代にWatson-Crickのモデルが提唱され、分子レベルの生物学が盛んになった。1970年代にはDNAの操作技術が飛躍的に進歩して、現在では生物学のほとんどすべての分野で、DNAがかかわって研究が行われるようになった。本講ではDNA操作の実際(ビデオ使用)、最近の生物学と医療をDNAの役割を中心に説明してゆきたい。

1. 生体物質入門
2. 生命の情報の流れ
3. 遺伝子の構成
4. 遺伝子操作
5. ノックアウトマウス
6. その他のトピック

初学者用に「生体物質入門」を入れ、遺伝子は実際にどんな風に扱われているかをビデオで説明。

宇宙科学

「宇宙人はいるだろうか」

2単位 春学期  
加藤万里子

### 【授業科目の内容】

この講義では、現代天文学が明らかにした宇宙の姿を解説する。宇宙はビッグバンで始まり、大規模構造や銀河、最初の星が形成された。

星は今でも生まれたり死んだりしている。星の中では核融合反応により重い原子核ができ、超新星爆発などの折りに宇宙にまきちらされる。太陽系は宇宙誕生後100億年たってから誕生した。惑星の形成についてもかなりわかってきている。それらの知識をふまえて、宇宙人はいるのかについても考えたい。

### 【教科書】

加藤万里子著『100億年を翔ける宇宙』恒星社厚生閣

### 【参考書】

プリントを配布します。

現代物理学概論

「原子核物理学の過去・現在・未来」

2単位 秋学期  
平田 光司

### 【授業科目の内容】

原子核物理学は、物質の根源的な存在形態を研究する分野であり、現代では素粒子物理学とも呼ばれている。物質の根源形態を探求して、人類は原子、原子核、核子(陽子や中性子、中間子)、そして核子を構成する基本粒子クォークにいきついた。現在では、クォークとレプトン(電子やニュートリノ)、そしてそれらの相互作用を媒介するゲージ粒子によって、(重力を除く)すべての

現象が理解されている、と信じられている(素粒子の標準理論)。

この過程で、20世紀前半には、原子核変換が発見され、核兵器および原子力へとつながっていった。しかし、20世紀後半には(1)核兵器は国際政治を大きく変えた、(2)夢のエネルギー源と思われた原子力の様々な問題も明らかになった(3)巨大加速器の進歩によって、高エネルギー物理学が発達し、標準理論へとつながったが、巨額の資金を要し、産業に貢献しない「知識のための科学」は、今後も続けられるのか不明である。

このような、輝かしい、かつ、問題を含んだ原子核物理学について、その発展と社会の中での役割を知るとは、理工系の学生にとって必須の課題であろう。

講義は(1)原子核・素粒子物理学の発展(2)原爆の開発と国際政治(3)原子力の利用と問題点(4)巨大科学となった素粒子物理学、それぞれ解説する。歴史的には、これらすべてが半ば独立に、なかばもつれあって進んできたので、これら4つのテーマを別個にあつかうことはできないが、最低限、それぞれについての基本的な知識を持つように、授業を進めたい。

### 予備知識

高校までの数学。物理学の知識は必要に応じて復習するようにします。

### 【教科書】

なし。

### 【参考書】

レーダーマン・シュラム著『クォークから宇宙へ』東京化学同人

平田光司著『加速器とビームの物理』(岩波講座・物理の世界)岩波書店

人体の生理

「人体調節の分子機構とその破綻」

2単位 秋学期  
河上 裕

### 【授業科目の内容】

担当教員：河上裕・桑名正隆・桜井敏晴・藤田知信・松崎ゆり子・住本秀敏・塚本真

医学部先端医学研究所では生体防御機構の一つである免疫システムの研究を行っている。免疫系はリンパ球などの様々な血液細胞がネットワークを形成して、細菌やウイルスなどの微生物から体を守っている。AIDSでは、HIVによりリンパ球が破壊されるために、通常ではかからない微生物や癌におかされてしまうことは、免疫機構の重要性を示している。また、免疫ネットワークは神経・内分泌・免疫と呼ばれるように、神経系による情報伝達や内分泌系の各種ホルモンとも相互作用を行っている。このように、人体は、外界からの影響に対して、様々な制御システムにより、その恒常性が維持されているが、それが破綻したときに病気となる。例えば、免疫機構の異常により、免疫系が自己の体を障害してしまう自己免疫疾患や、外来分子に異常に反応してしまうアレルギーなども起こる。本講義では、人体の恒常性維持機構に関して、マクロな生理学から、細胞生物学としての

細胞間相互作用、細胞内での遺伝子、蛋白質などの分子調節機構まで、その概要を解説する。正常調節機構の破綻による病気の一つとして、癌や自己免疫疾患などの病態も紹介する。現在、多くの生命現象が分子レベルで説明できるようになってきたが、まだ、不明なことだらけである。そのために、多くの病気の発症機構は明らかでなく、よい治療法も存在しない。これらを解決していくためには、今後の分子レベルでの、さらなる研究が必要である。そこで、最近、話題のヒトゲノム計画も含めて、現代の医学研究の手法についても紹介したい。理工学部の学生にとっても、このような生物の巧妙なシステムとその破綻による異常、またその研究方法を知っておくことは、役立つのではないかと思う。知的好奇心旺盛な熱意のある方の受講を希望します。

#### 【教科書】

特定の教科書は指定しませんが、生理学、細胞生物学の薄い本を読むことを勧めます。

#### 【参考書】

必要であれば講義で紹介します。(オックスフォード生理学、丸善など)

### 心理学

「個性・発達」

2単位 春学期

村瀬 旻

#### 【授業科目の内容】

今日の心理学は自然科学・人文科学・社会科学の領域を含む大きな学問体系です。そうしたなかで、私は自分のバックボーンとなっているカウンセリング心理学と実験心理学を反映した講義を行います。講義は「私たちの日常生活を“心理学の目”(心理学の概念)で見ることができるようになること」をねらいとし、生活のなかでのさまざまな出来事と心理学研究での知識とを結びつけて、人間の心理への理解と生活への応用とを考えていきます。

心理学 は私の学んだカウンセリング心理学を背景としています。人間の生涯にわたる発達と個性の形成をテーマとし、出生から死去まで、私たちがまわりの人たといかにかかわり合い成長発達していくかを考えていきます。

心理学 では授業の進め方としてグループ・ディスカッションを多く用います。これはテーマにしたがって自他の“個性”を知り、まわりの人たちとのかかわり合いを知るということだけでなく、心理学 が春学期科目であり、履修者の多くが1年生であることから、お互いを知り合い、キャンパスライフにできるだけ早く馴染めるようにと考えて行っています。

なお、今年度が私にとって日吉で「心理学」を講義する最後の年となります。

#### 【教科書】

特に指定しません。

#### 【参考書】

講義内容に応じて紹介します。

### 心理学

「学習・認知」

2単位 秋学期

村瀬 旻

#### 【授業科目の内容】

講義は、心理学 と同様に、「私たちの日常生活を“心理学の目”(心理学の概念)で見ることができるようになること」をねらいとし、生活のなかでのさまざまな出来事と心理学研究での知識とを結びつけて、人間の心理への理解と生活への応用とを考えていきます。

心理学 は私の学んだ実験心理学を背景としています。私たちが(心理学 のテーマである、人間の生涯にわたる発達と個性の形成のもとにある)経験から学ぶこと(学習)、またそこから自分自身や自分のまわりの世界にたいする見方・考え方を形成していくこと(認知)とをテーマとし、それらについて主に実験心理学的な手法によって得られた知識を紹介していきます。

内容として心理学 の後に心理学 を履修することを標準に考えていますが、心理学 を先に履修しても理解できるように、また心理学 だけの履修であってもまともまりがあるように計画されています。

なお、今年度が私にとって日吉で「心理学」を講義する最後の年となります。

#### 【教科書】

特に指定しません。

#### 【参考書】

講義内容に応じて紹介します。

### 生物科学入門

「ヒトの生物学：疾患を分子で捉える」

2単位 春学期

中村真理子

#### 【授業科目の内容】

生体を1つの宇宙と見なすと、その中で起こっていることは無数のランダムなイベントの結果であることがわかります。近年問題になっている抗生物質に対する耐性菌の問題、免疫系の多様性を説明するclonal selection theoryなどは、まさに生物がランダムな事象から成り立っていることを示しています。

21世紀の医学では、病気の原因と治療について考える際に、生体反応を分子や細胞のレベルで考えることは必須であります。病気とは、前述の様なランダムな偶然が重なり、遺伝子が先天的あるいは後天的に極端に振れる結果として生じるわけですから、逆に病気は正常を知るための良いモデルとなるわけです。

社会のグローバル化、生態系の変化と共に、SARS、AIDS、エボラなどの新興感染症の出現がめまぐるしく、人類に脅威を与えています。感染症の古典的な理解は同じ病気に2度かからないという免疫の基本を教えてください。自己免疫疾患、アレルギー、糖尿病や高血圧など体質依存性といわれている疾患や悪性腫瘍などのいわゆる難病には、生体防御系としての免疫反応が強く関与し

ています。さらにこれら疾病の発病に関しては、遺伝子変異に起因する部分と環境因子が作用した結果であることが知られています。さらに、細胞の分化誘導と幹細胞の再生医療への応用可能性の模索、gene chipを用いた診断法の確立など最近の生物学に関する手法の進歩は著しく、以前には未知の世界と思われていた事象も次々に明らかにされてきました。今後の10年を考えるならばその進歩はさらに加速されるに違いなく、現時点では想像もできないような世界が拓かれている可能性が大きいと言わざるを得ません。こうした内なる宇宙への探索の旅に携えるべき知恵と知識を求めての講義を進行させたいと考えています。

オリエンテーションとして生物学の基本言語について説明しながら、AIDS、癌、遺伝子治療を中心に、最新の知見も加えながら生物学について学びます。その際に微生物（特にウイルス）という観点から病気の理解をしてゆきたいと考えています。なぜならば、今日の分子生物学の発展はウイルス研究に端を発しているからであり、生物の内包する原理を理解するための最もシンプルな実験系として当時の科学者がウイルスを選択したその視点も、今後の私たちの真理追究へのヒントを与えてくれると感じるからであります。

#### 【教科書】

特に指定しませんが、分子生物学の簡単なテキストを一読することをお勧めします。

#### 生物学実験

「生物のかたち、機能、メカニズムの理解 細胞を中心として」  
2単位 春学期  
金子 洋之

#### 【授業科目の内容】

生物が持つ多様なかたち、機能、それらを裏打ちするいくつかの巧緻なメカニズムを理解するためには、それらの構成単位となる細胞をいろいろなテーマのもとで体験することが重要である。本実習では、種々の生物を材料に、細胞のかたちや動態を観察する。また細胞を構成する分子の同定操作も行う。これらの過程で、本質を見抜く眼力、柔軟な思考をトレーニングしたい。この科目は教職科目の「生物学実験（コンピュータ活用を含む）」との併設である。

#### 【教科書】

指定しない。教材は教員が準備する。

#### 【参考書】

指定しない。推薦図書を講義中に知らせる。

#### 生物学実験集中

「臨海実習」  
2単位 春学期集中  
星 元紀 松本 緑  
佐藤 寅夫

#### 【授業科目の内容】

生物世界の多様性と豊饒性を体験するとともに、分類体系の基本を理解することを目標にして、三浦半島西

海岸のほぼ先端に位置する東京大学三崎臨海実験所において、夏休み期間中に実施する（日程は未定）。各種採集法により自ら集めた磯の生物、プランクトン、ベントス等を材料にして観察と同定、ならびに初期発生の観察を行う。4月中旬に行うガイダンスに参加すること、上記の全期間参加することが条件。収容人員は20名以内。ガイダンス日程は別途掲示参照のこと。

#### 【教科書】

指定せず。

#### 【参考書】

随時紹介する。

#### 世界の経済

2単位 秋学期  
竹森 俊平

#### 【授業科目の内容】

今日の世界経済が抱える課題や問題をとらえ、それを経済理論の立場から検討する。

経済理論についてはテクニカルな説明や数式は使わずに、直観的な「勘所」のみを説明するが、経済理論的に考える能力は必用であるし、またその能力を鍛えるのが、この授業の重要な目的である。また、現状の国際経済問題を考えるにあたっては、過去の経験がたいへん参考になるので、授業の中には歴史的な視野も取り入れる。

#### 【教科書】

竹森俊平著『世界経済の謎』東洋経済新報社

#### 天文学

「重力の不思議」  
2単位 秋学期  
加藤万里子

#### 【授業科目の内容】

重力は宇宙の現象の中で重要な位置をしめている。星の形や進化、宇宙膨張や宇宙空間の曲がり、ブラックホールなど重要な現象にかかわっている。ここでは重力という観点から宇宙をみていく。「宇宙科学」はいろいろな天文現象を広々ととりあつかうが、この天文学では、テーマをしぼって、やや深く考えることを目的とする。

#### 【教科書】

加藤万里子著『100億年を翔ける宇宙』恒星社厚生閣

#### 【参考書】

プリントを配布します。

#### 日本の経済

「平成大不況長期化の要因とこれからの日本経済」  
2単位 秋学期  
相沢 幸悦

#### 【授業科目の内容】

1980年代の終わりにどうしてバブル経済が生じたのか、その崩壊過程としての平成大不況がなぜ長期化したのかということ、歴史的、国際的、構造的に解説し、これからの日本経済は、マネーゲームに翻弄されることなく、よいものづくり国家として堅実に生きていかなければ

ればならないという根拠を披瀝します。

**【教科書】**

相沢幸悦著『平成大不況』ミネルヴァ書房（2001年、3200円）

**【参考書】**

相沢幸悦著『現代資本主義の構造改革』ミネルヴァ書房（2002年、3200円）

相沢幸悦著『日本経済再生論』同文館出版（2003年、2000円）

比較文化論

「中国文化とフランス文化」 2単位 春学期 / 秋学期  
森 英樹

**【授業科目の内容】**

中国文化とフランス文化、この二つの文化伝統の性格の対比ないし相互の交渉を、さまざまな個別的テーマのもとに考察することによって、われわれの生活の基盤である文化や文明への幅広い視野を獲得します。

**【教科書】**

森英樹（南仙）著『比較文化論・講義要旨』改訂版

物性科学

「身のまわりのモノの世界」 2単位 春学期  
伊藤 公平

**【授業科目の内容】**

私たちの身のまわりはモノ（materials）であふれ返っています。特に炊飯器からロケットまでの日用品？となると、それらは自然に存在したモノではなく、人々が工夫に工夫を重ねて生み出した製品です。物性科学では、私たちの生活を豊かにするモノを支える科学を物質・材料という観点から講義します。高校の物理と化学の知識のみを前提として、できるだけ式を使わずに物質・材料の世界を探検します。講義内容は目安として以下のとおりです。

**【参考書】**

毎回の講義で必要な資料は配付します。ただし、『材料科学1 - 材料の微視的構造 - 』C.R. バレット、W.D. ニックス、A.S.テテルマン著、培風館は参考にすると良い本なので興味のある学生は是非購入してください。



# 研究所設置講座、履修案内

# 1 メディア・コミュニケーション研究所

## 【メディア・コミュニケーション研究所とは】

メディア・コミュニケーション研究所 (Institute for Media and Communications Research, <http://mwr.mediacom.keio.ac.jp>) は、昭和21年(1946年)に産声を上げた新聞研究室を母体とする歴史の長い研究所です。新聞研究室は、後に新聞研究所と名称を改め、平成8年(1996年)に50回目の誕生日を迎えました。まさに、研究所は日本の戦後とともに歩んできたこととなります。新聞研究所は、第2次世界大戦前と戦争中、新聞報道を中心とする日本のマスメディアが軍国主義に迎合した報道姿勢をとったことを憂いた連合軍占領軍が、戦後の民主化に新聞を中心とする言論報道機関の果たす役割の大きさを考慮して、その役割の遂行に貢献しうる人材の育成とともに、マス・メディア研究を行いうる研究機関の設置を幾つかの日本の大学に求めました。選ばれた大学の一つが慶應義塾であり、後に法学部の学部長になった米山桂三教授に研究所の運営が任されることになったというのがその発端であると伝えられています。

既述のとおり、当初、新聞研究所は新聞研究室として出発しましたが、後に研究機能の重視を目的に研究所に名称を改めました。かつては、新聞を実際に発行して実習授業を盛んに行っていましたが(当時発行された新聞はマイクロフィルム化されていますので読もうと思えば読めます)、今日では実習的な側面よりは研究生(新聞研究所に入所した学生はこう呼ばれます)にはマス・メディアおよびマス・コミュニケーション研究の基礎的教育を行い、専任教員を中心として基礎的な研究に力を入れてきました。メディア業界からは、テクニカルな知識や技術を身に付けた人間よりは、基礎的な知識や思考能力そして人間関係能力に裏打ちされ、しっかりとした考えと独創的な発想力をもつ人材が求められており、そうした要求に沿った教育と、各種メディア・コミュニケーション産業にとり有益な研究成果を提供することに新聞研究所は力を入れてきました。

しかし、時代は急速に変わりつつあります。戦後50年の情報通信技術の革新の動きは目覚ましく、新聞研究所がスタートした頃の報道機関といえば活字メディアが中核で、ラジオがそれに多少付け加わっているだけでした。その後、テレビ放送が本格化しメディアの中核は電気通信・放送へと移行して行きました。近年では地上波だけではなく、衛星放送・衛星通信、ケーブルテレビなど多面的かつグローバルにコミュニケーションが展開する時代になってきました。また、スーパー情報ハイウェイとインターネットを中核とし、パソコン通信ネットワークを土台にマルチ・メディアの展開が叫ばれ、コンピュータ・メディアの時代へと大きく変化し、新聞、ラジオ・テレビの融合現象も注目されるようになりました。と同時に、かつては一方向的な伝達が中心であったものが、

コンピュータ・メディアの発達により双方向的なものとなると同時に、その情報通信範囲もパーソナルなレベルからグローバルなレベルへと拡大し、コミュニケーション能力の著しい発展と質的な変化は驚くべきものとなりました。また、多チャンネル時代を迎え、放送内容も多様なものになり、アイデアや創造力がメディア業界で働く人々に要求される度合いも格段に高くなりました。

こうなってくると、新聞研究所という名称はさすがに古めかしさを感じさせるようになったため、平成8年(1996年)には、研究所50年の記念式典を行い翌平成9年度より名称を変更いたしました。それが、メディア・コミュニケーション研究所出発の経緯です。新しいメディアの発展による新しいコミュニケーションの時代に合致した名称に変更したというわけです。もっとも、メディア・コミュニケーションの形態・技術は変化しても、報道ジャーナリズムの健全な発達のため、つまり、民主主義的で自由で公正なる報道を行うための前途有為な人材育成の目的はそのままです。そして、そのための少人数精鋭教育のためのカリキュラム変更も行いました。研究生には、報道ジャーナリズムやマス・コミュニケーション研究の基本を学び、新しいメディア(とくにコンピュータ・メディア)をある程度理解した上に自由に使いこなせるだけの能力も身に付けて欲しいと思っています。そのために、平成11年(1999年)10月より、この方面のメディア・リテラシー向上を求めて、「メディア・ワークショップルーム(MWR)」を開設致しました(本格的稼働は平成12年4月より)。インターネット放送もはじめました。今では大学生になるまでに、インターネットに十分習熟した学生も増え、より高度なメディア・リテラシーが期待できるので、インターネット放送やオン・ライン新聞を盛んにしたいと思っています。

1996年秋に新聞研究所は記念式典を実施し、その際に新しい名称を与え新たなスタートを切りました。基本的な研究所の研究生教育とメディア・コミュニケーション研究は変わりませんが、新たな名称のもとに生まれ変わった研究所の次の50年の発展が大変期待されます。なお、現在のスタッフは所長、専任および兼担所員、事務職員総勢でも10名に満たない小さな研究所ですが、非常勤講師の諸先生のご協力を得て研究生150名(2~4年生)の教育を行っております。本年入所される研究生を含め現在の研究生は、新たな歴史を刻む当事者となります。研究所が大きな成果を生むために大いに頑張ってくださいと思います。

なお、メディア・コミュニケーション研究所の名称は長いので、通常は「メディアコム」と呼ばれます。「メディコム」ではありません。

## 平成17年度 カリキュラム

### 1 設置科目について

研究所には、基礎科目、研究会、特殊研究、基礎演習の4つの講義群がある。

このうち、基礎科目は研究生以外（2年生以上）でも履修可能なオープン科目となっている。但し、2年生以上で、三田設置科目を含めて履修可能であるが、学部によっては履修できない場合もあるので、学部履修要項等で確認すること。また、学部での単位の取扱いは、学部履修要項を熟読すること。

- ・基礎科目（オープン科目）  
メディア・コミュニケーション研究に必要な基礎的知識を提供する講義群。
- ・研究会（研究生のみ対象）  
研究所における学習の中心となる科目で、2年生より履修できる。
- ・特殊研究（研究生のみ対象）  
少人数の講義で、実務家を中心とした特殊講義と大学教員による特殊研究がある。
- ・基礎演習（研究生のみ対象）  
メディア・コミュニケーション関連分野の調査方法の学習を目的とした講義群。

### 2 研究生制度

研究所には研究生制度がある。研究生制度は、メディア・コミュニケーションの研究、あるいは将来マス・メディアへの就職を希望するものに総合的な教育を行い、

同時に研究の場を与えるために設けられている。

例年12月中旬に行われる入所選考に合格し、研究生となることを許可された者は、修了までに合計28単位以上取得しなければならない。所定の単位を取得した研究生には修了証書が与えられる。各学部の授業科目で研究所が認めたものは修了単位に含めることができるが、それでも一般の塾生より余分な科目を履修しなければならず、それだけ余力のあることが入所の条件といえる。

- (1) 入所説明会（入所申込書配布）11月中旬三田、日吉、藤沢の各キャンパスで行う。これについては掲示する。
- (2) 入所試験（選考）12月中旬三田で行う。

### 3 修了単位について

研究生が研究所の課程を修了するためには、以下の各群から所定の単位を合計28単位以上取得しなければならない。

- ・基礎科目 10単位以上
- ・研究会 8単位以上
- ・特殊研究 4単位以上
- ・基礎演習 2単位以上
- 合計 28単位以上

2～4年春学期までに研究会I～Vを順番に履修し6単位以上取得する。4年秋学期には必ず研究会VI（論文指導）を履修すること。すなわち、研究会I～IIIと研究会VIIは全員が履修するが、研究会IVとVは必修ではない。

3～4年では原則として同一研究会を履修すること。

## 平成17年度慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所基礎科目（オープン科目）一覧

\* 基礎科目（オープン科目）研究生以外も履修可能

設置場所	科目名	単位数	講師
三田設置科目	マス・コミュニケーション論 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	大石 裕
三田設置科目	マス・コミュニケーション発達史 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	大井 眞二
三田設置科目	国際コミュニケーション論 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	伊藤 英一
三田設置科目	メディア社会論 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	北田 暁大
三田設置科目	メディア法制 ・	春2 / 秋2	林 紘一郎
三田設置科目	ジャーナリズム論 ・	春2 / 秋2	伊藤 高史
三田設置科目	世論 ・	春2 / 秋2	小川 恒夫
三田設置科目	情報行動論 ・	春2 / 秋2	福田 充
三田設置科目	異文化間コミュニケーション	秋2	浅井亜紀子
三田設置科目	メディア文化論	春2	鳶 信彦
三田設置科目	メディア文化論	秋2	白水 繁彦
三田設置科目	メディア産業と政策 ・	春2 / 秋2	菅谷 実
三田設置科目	情報産業論 ・	春2 / 秋2	宿南達志郎
三田設置科目	ジャーナリズム総合講座 ・	春2 / 秋2	木下和寛・伊藤高史（2名で行う）
日吉設置科目	マス・コミュニケーション論 （法学部併設）	春2	川端 美樹
日吉設置科目	社会心理学 ・ （法学部併設）	春2 / 秋2	萩原 滋

日吉キャンパスに設置されている「基礎演習」の科目（研究生以外は履修不可）についての講義内容等は、メディア・コミュニケーション研究所で配布される案内を参照のこと。

印は朝日新聞寄付講座

時事英語、  
「英語で学ぶ世界情勢」 各2単位 春・秋  
【日吉設置科目】 小林 雅一

【授業科目の内容】

New York Timesなど米主要紙の記事を教材にして、時事英語の読解力を養い、併せて現在の世界情勢を学ぶ。

【教科書】

特に指定しません。講義資料を配布します。

【参考書】

特に指定しません。

文章作法、 各2単位 春・秋  
【日吉設置科目】 栗田 亘

【授業科目の内容】

文章を磨き、企業などの競争試験に備える。

【参考書】

「書き上手」(栗田亘 / 五月書房)

映像コンテンツ制作、  
映像メディア・コミュニケーションの実践 各2単位 春・秋  
【日吉設置科目】 金山 勉

【授業科目の内容】

本講座では、映像コンテンツ制作への取り組みを通じて、映像コンテンツの中に含まれる独特の映像作法、メディア環境、さらに映像文化について考えてもらいます。クラスでは番組制作を編成し、企画提案から番組制作まで、実践について個別に指導します。

【教科書】

金山勉・金山智子『やさしいマスコミ入門』勁草書房(2005年)

【参考書】

授業時に紹介する。

電子ネットワーク調査法、  
ネットの世界を探求する。 各2単位 春・秋  
【日吉設置科目】 金山 智子

【授業科目の内容】

インターネット(ネット)の普及は、人々のコミュニケーションや情報行動に大きな影響を及ぼしており、また電子ネットワーク上では新しいメディア空間が展開されています。多種多様な情報をスピーディに検索・収集する上で、ネットはもはや不可欠なツールと言えるでしょう。また、ネットを活用した調査やマーケティングもますます重要になっています。人々がネット上で繰り広げるコミュニケーション行動や情報行動、ヴァーチャル・コミュニティのありよう、さらに電子ネットワーク空間で伝達されるさまざまなメディア・メッセージなどを対象とした研究も今後増えていくでしょう。本講義では、主に下記の4点を学びます。

- (1) ネットを活用した情報検索・収集方法
- (2) ネットを活用した調査方法
- (3) ネット上のコミュニケーションやメディア内容を対象とした調査
- (4) ウェブを活用した成果発表

【教科書】

講義資料プリントを配布します。

【参考書】

電子ネットワークに関する調査事例及び関連ウェブサイトを指示します。

## 2 体育科目（体育研究所）

### 体育学講義

#### 体育学講義

「スポーツの技と文化を探る」

植田 史生 綿田 博人  
石手 靖 須田 芳正

#### 〔授業科目の内容〕

スポーツ文化は人類の遺産として21世紀も益々発展するであろう。一方、人間の身体能力によって極められてきた「技」「技術」も、スポーツ文化を形成する重要な構成要素といえる。本講義は、人間のスポーツ技能の獲得や発達を基礎に置き、スポーツ文化を幅広く解説することを目的としている。世界のスポーツ技術やトレーニング方法の最前線、文化的側面からみたスポーツの現状、そして、そこから市民スポーツのレベルに応用・示唆されることは何か？スポーツをする者にも見る者にも役立つ講義内容を目指し、4名の担当者のオムニバス形式で、様々な専門種目から話題を提供する。

#### 体育学講義

「スポーツ心理学の世界」

近藤 明彦

#### 〔授業科目の内容〕

20世紀はスポーツが大きく飛躍した世紀でした。そのスポーツの発展とともにスポーツ心理学が誕生し最近急速にその広がりが増えています。運動心理学・体育心理学・スポーツ心理学といった分野から現在ではスポーツの実施と健康の関連が着目され健康運動心理学という新しい領域も広がっています。この授業では、スポーツに関連する様々な心理学の分野からのアプローチを概観し、スポーツ実施に伴う心理的側面で現在どのような知見があるかを学びます。

#### 〔教科書〕

特に指定しません。

#### 体育学講義

「アスリートのためのスポーツ科学」

近藤 明彦 佐々木 玲子

#### 〔授業科目の内容〕

競技者にとって効果的・合理的なトレーニング計画を立てることは重要な課題です。そしてこの目的を達成するためにはスポーツトレーニングに関する様々な基礎的知識が必要です。この講座では「心・技・体」の三つの観点から効果的なトレーニングを考える上で必要な基本的知識の習得を目指します。

#### 〔教科書〕

特に指定しません。

#### 体育学講義

「健康と運動の科学」

近藤 明彦 齊藤 郁夫  
辻岡 三南子 和井内由充子  
森 正明

#### 〔授業科目の内容〕

高度な文明化が達成された現代を生きる我々が健康な生活をおくるために必要な知識を体系的に学んでいく。本講座では、人体の主要な臓器の機能、健康と生活習慣（運動、食事、喫煙、飲酒など）との関連を学び、健康な生活習慣が健康の保持増進に必要なことを理解する。疾病に関しては、青年期に正確な知識を身につけておくことが特に重要なものを取りあげる。さらには運動が健康とどのように係わるかについて理解する。

#### 〔教科書〕

指定しない

#### 体育学講義

「政治社会とスポーツ/スポーツ事故と法」

高嶺 隆二 加藤 大仁

#### 〔授業科目の内容〕

スポーツは元来、私的な活動で非政治的なものであり、公的な権力が介入すべきではないと論じられることが多い。

しかしながら現実には、スポーツは社会の中に制度化されており、国際的、国内的にも政治と無関係には存在できないものである。さらに、スポーツに関わる人々や団体もまた、さまざまな形で法の下に規制や指導を受け、時には責任を負わされる場合も多々ある。

そこで、本講義では、1) スポーツと政治・社会の関係、2) 体育・スポーツ事故における個人や団体の法的責任について、具体例を示しながら解説する。

#### 〔教科書〕

特に指定しない。適宜講義資料プリントを配布する。

#### 体育学講義

「スポーツの効用を科学的にみる（スポーツ総論）」

村山 光義 佐々木 玲子  
近藤 明彦 吉田 泰将

#### 〔授業科目の内容〕

スポーツは社会の中で文化として多様な姿を持ちますが、その中心は我々が身体活動をすることです。体育・スポーツ活動は、ヒトの身体（こころとからだ）に多くの影響を与えます。本講義はこうした体育・スポーツ活

動が我々に与える効用についてオムニバス形式で解説します。身体に関する知識を得るとともに、人文・社会・自然の科学的視点から身体活動実践の現代的意義を考えます。スポーツ実施・指導および教育場面に幅広く役立つ内容（教職や体育会・スポーツサークルのリーダーを目指す人に適切な内容）となるでしょう。

【教科書】

特に指定しません。

【参考書】

授業の中で随時紹介します。

---

体育学講義

「アウトドアを考える」

村山 光義 野口 和行

---

【授業科目の内容】

1999年8月、神奈川県玄倉川の河原でキャンプをしていた人々が大雨による増水に流され、13名もの犠牲者を出す大事故が起きてしまった。また、2004年は台風や地震による自然災害が日本列島を震撼させた。被災地では大自然の中で厳しい避難生活が続いた。こうした事故や災害から我々は何を学ぶべきなのだろう。

休日ともなると、思い思いのキャンプ道具や遊び道具を車に積んで、海や山に出かける人々で道路は渋滞している。町に出ればパタゴニアやノースフェイスといったアウトドア・ブランドに身を包んだ人々が闊歩している。こうした現代の「アウトドア文化」は、レジャーであり、スポーツであり、ファッションである。しかし、そこには本来自然の中に生まれ育って来た我々人間が失いかけている何かが映し出されているのではないだろうか。ある調査では、都会の人間の7割以上が自然に対して「中にいるとほっとする」「出かけるのが好き」「安らぎの場である」と感じている。アウトドアでの活動が我々に魅力的で有益なものであることも事実である。本講義では「アウトドア」をQuality of Life（生活の質）を高めるライフスタイルのひとつとして享受していく上で、今何をしていくべきかを一緒に考えていきたい。

【教科書】

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

【参考書】

授業の中で随時紹介します。

---

体育学講義

「スポーツと身体（からだ）の基礎理論」

吉田 泰将

---

【授業科目の内容】

健康の大切さを実感するのは、その肝心な健康を損なってしまったときでしょう。現代社会において、私達は様々なストレスに曝されながら生活をしています。そこで、本講義では身体のメカニズムやスポーツ・トレーニングの基礎知識を学習することにより、「心身の状態を常に良好に保つ」方法を身につけることを目的とします。日々の生活をいかに送っていくのか、どのように生活を

プログラムしていくのか、一緒に考えて行きましょう。

## 体育学演習

体育学演習

「スポーツメンタルトレーニング」

近藤 明彦

### 〔授業科目の内容〕

スポーツにおけるメンタルトレーニングの重要性が指摘されている。この講義では体力のトレーニングや技術の練習との係わりを基本に現在行われているメンタルトレーニング技法の理論と実際について学ぶことを目的とする。

### 〔教科書〕

指定しない

体育学演習

「からだの動きをはかる（バイオメカニクス）」

佐々木 玲子 村松 憲

村山 光義

### 〔授業科目の内容〕

私たちのからだは、脳からの指令により筋を収縮させ骨格を動かして運動を行っています。本授業では生体の筋機能をはじめ、ヒトの運動の基礎となる身体諸機能のメカニズムを知り、あわせて実際の動きを測定・解析し、実習することで、動くからだの仕組みを体験的に理解することを目指します。

実習を中心に行うため、定員を15名とします。

### 〔教科書〕

特にありません。

### 〔参考書〕

授業の中で紹介します。

体育学演習

「自然体験活動演習」

野口 和行

### 〔授業科目の内容〕

近年、夏休み等を利用した自然体験を中心にしたキャンプ等の活動が各所で行われるようになり、ボランティアとして子どものキャンプ等に参加する学生も増えている。そこで、さまざまな自然体験活動にボランティアとして参加したいと考えている学生を対象に、自然体験活動に関する知識・技術、対人関係トレーニング等を学び、夏休みに行われるキャンプにボランティアとして参加し、OJT（on the job training）を行う。

### 〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学演習

「ライフセービング（救急処置法の基礎）」

山内 賢 西村 忍

### 〔授業科目の内容〕

事故に出あったり、怪我をしてしまった場合、その直後の処置がとても大切です。この授業の目的は、第一に「事故防止」の考え方を身につけてもらうこと。第二に緊急時に備え、各種の処置を実際に身につけることにあります。いつ、どこで、どのような事故にあったとしても、医師に患者を手渡すまでに落ち着いて適切な処置ができるような理論と対処の方法について、実技を伴い学んでもらいます。

### 〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

### 〔参考書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

体育学演習

「アスレチックトレーニング演習」

山内 賢 西村 忍

### 〔授業科目の内容〕

「アスレチックトレーニング演習」では、多くの学生がこれから経験する可能性のある学校教育現場やレクリエーションスポーツ現場などで発生する損傷や疾病に対する予防法や心肺蘇生法を含む応急処置法に関する基礎知識を身に付けることを目標として授業を展開していきます。また体を鍛えるために必要なスポーツ栄養学やトレーニング方法論に関する内容についても指導を行う予定である。

### 〔教科書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

### 〔参考書〕

特に指定しません。講義資料プリントを配布します。

## 体育実技A(ウィークリー・スポーツ)

### ウィークリー・スポーツ【球技】

体育実技A(アメリカンタッチフットボール)  
(初級) 後藤 完夫

#### 【授業の目的】

1. スポーツを通じての、自由(創造)と規律(実践)の体得
2. アメリカスポーツの社会性(コミュニケーション)の学習
3. 基礎体力の向上

#### 【実施場所】

陸上競技場

#### 【服装・携行品・その他】

一般的なスポーツウェア・シューズ

体育実技A(サッカー)  
上向 貫志

#### 【授業の目的】

サッカーに必要とされる基本技術の習得を目指すと同時に、身体の活動レベルを向上させる。

さらに、ミニゲームからフルコートゲームといった様々な形式のゲームを通して、情緒面(コミュニケーション)と機能面(基本戦術など)からのチームワークの獲得を目的とする。

#### 【実施場所】

陸上競技場

#### 【服装・携行品・その他】

サッカーのできる常識的な服装を準備すること。スパイクはあった方が良いが、新規に購入する必要はない。

体育実技A(サッカー)  
(初心者・経験者問わず) 須田 芳正

#### 【授業の目的】

世界のスポーツであるサッカーの魅力、楽しさを体験するとともに、競技力向上を目指すことを目的とする。

#### 【実施場所】

陸上競技場

#### 【服装・携行品・その他】

運動できる服装とシューズ

体育実技A(サッカー)  
安松 幹展

#### 【授業の目的】

世界で最も多くの人が行っているスポーツはサッカーである。英語を話せると10億人と会話ができるが、サッカーができるとそれに匹敵する、もしくはそれ以上の人

とコミュニケーションできる。さらに、サッカーは脂肪の燃焼に有効な有酸素運動と筋肉や骨を強化する無酸素運動の両方を兼ね備えた運動である。つまり、サッカーは国際的かつ健康的な種目である。本講座は、この種目の特性を理解し、サッカーを通して運動習慣を身につけることを目的とする。

#### 【実施場所】

陸上競技場フィールド内(1限)、下田グラウンド(2・3限)

#### 【服装・携行品・その他】

サッカーの出来る服装

体育実技A(サッカー)  
(上級・中級・初級など) 李 宇燾

#### 【授業の目的】

チームスポーツであるサッカーを通してコミュニケーションの重要性を理解する。

生涯スポーツとしてサッカーを楽しんでいけるように、基本的な技術及び戦術を習得する。

#### 【実施場所】

陸上競技場

#### 【服装・携行品・その他】

運動できる服装とシューズ

体育実技A(ソフトテニス)  
(初心者より上級者まで) 濱名 邦雄

#### 【授業の目的】

日本で生まれ、現在国際化の進行しているソフトテニスの楽しさを授業で体験し、生涯スポーツとして実践して行く動機(キッカケ)作りを行う。

#### 【実施場所】

日吉下田地区 体育会ソフトテニス部コート

#### 【服装・携行品・その他】

運動可能な服装・テニスシューズ・ラケット(用意有り)

体育実技A(ソフトボール)  
遠藤 千草

#### 【授業の目的】

ソフトボールの基本技術(投球法、打撃法、守備法、走塁法など)を習得し、ゲームを中心とする実践練習にて、ゲームの進め方、ルールを学習する。

ソフトボールを通して、スポーツに取り組む楽しさや社会性を学び、自主性や協調性の態度を身につける。

#### 【実施場所】

陸上競技場

#### 【服装・携行品・その他】

運動のできる服装、運動靴を使用すること

## 体育実技A(ソフトボール)

望月 康司

## 〔授業の目的〕

ソフトボールの基本的な技術・知識を習得するとともに、スポーツの楽しさを実感し、生涯スポーツの足がかりとなること目標とする。

## 〔実施場所〕

陸上競技場

## 〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装およびシューズを持参すること

## 体育実技A(卓球)

松田 雅之

## 〔授業の目的〕

手軽に楽しめる卓球の特性を活かし、それぞれのレベルにあった技術の向上とゲームの展開を目的とする。

## 〔実施場所〕

体育館卓球場

## 〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・室内シューズ・ラケット(持っている人は持参)

## 体育実技A(卓球)

吉田 武

## 〔授業の目的〕

1. 基礎知識の習得・技術の向上と卓球の楽しさの体験
2. スポーツを通してのコミュニケーションづくり

## 〔実施場所〕

日吉体育館卓球場

## 〔服装・携行品・その他〕

運動できる服装、室内用運動靴、タオル

## 体育実技A(テニス)

(初級)

加藤 大雄

## 〔授業の目的〕

生涯スポーツとしてのテニスの基本的技術と、ルールの習得

## 〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート

## 〔服装・携行品・その他〕

テニスラケット、テニスシューズ、運動ができるウェア

## 体育実技A(テニス)

(中級)

加藤 大雄

## 〔授業の目的〕

生涯スポーツとしてのテニスの基本的技術と、ルールの習得ならびに、テニスの戦術指導

## 〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート

## 〔服装・携行品・その他〕

テニスラケット、テニスシューズ、運動ができるウェア

体育実技A(テニス)

(初級)

竹村 りょうこ

## 〔授業の目的〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、心・技・体の向上

## 〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート

## 〔服装・携行品・その他〕

硬式テニスラケット

テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)

体育実技A(テニス)

(中級)

竹村 りょうこ

## 〔授業の目的〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、実践練習、心・技・体の向上

## 〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート

## 〔服装・携行品・その他〕

硬式テニスラケット

テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)

体育実技A(テニス)

(上級)

竹村 りょうこ

## 〔授業の目的〕

テニスの技術習得と基礎体力の向上、実践練習、心・技・体の向上

## 〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート

## 〔服装・携行品・その他〕

硬式テニスラケット

テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)

体育実技A(テニス)

(初級)

手島 智佳子

## 〔授業の目的〕

テニス技術の向上

## 〔実施場所〕

蝮谷インドアテニスコート

## 〔服装・携行品・その他〕

- ・運動の出来る服装(出来ればテニスウェアが望ましい)
- ・テニスシューズ(ハードコート用又はオールコート用)
- ・テニスラケット

## 体育実技A(テニス)

(中級)

手島 智佳子

## 〔授業の目的〕

テニス技術の向上並びに試合での戦術

## 〔実施場所〕

虻谷インドアテニスコート

## 〔服装・携行品・その他〕

- ・運動の出来る服装(出来ればテニスウェアが望ましい)
- ・テニスシューズ(ハードコート用又はオールコート用)
- ・テニスラケット

## 体育実技A(テニス)

(初級)

平田 大輔

## 〔授業の目的〕

テニスの技術だけでなく、マナーやルールを学び、生涯スポーツとしてテニスを楽しめるようにする。

## 〔実施場所〕

虻谷インドアテニスコート

## 〔服装・携行品・その他〕

ラケット、テニスシューズは各自で準備(テニスシューズはハードコートまたはオールコートシューズを準備)

## 体育実技A(テニス)

(中級)

平田 大輔

## 〔授業の目的〕

いままでの技術の向上を目指し、試合に生かせるようにする。

## 〔実施場所〕

虻谷インドアテニスコート

## 〔服装・携行品・その他〕

ラケット、テニスシューズは各自で準備(テニスシューズはハードコートまたはオールコートシューズを準備)

## 体育実技A(テニス)

(初級)

村松 憲

## 〔授業の目的〕

テニスを楽しむために必要な技術、エチケット、ルールを身につけます。

## 〔実施場所〕

虻谷インドアテニスコート

## 〔服装・携行品・その他〕

テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)・テニスラケット

(注意)シューズ・ラケットの貸し出しはありません。

## 体育実技A(テニス)

(中級)

村松 憲

## 〔授業の目的〕

試合を楽しむために役立つ技術・戦術を身につけます。また、エチケット、ルールを再確認します。

## 〔実施場所〕

虻谷インドアテニスコート

## 〔服装・携行品・その他〕

テニスシューズ(ハードコート用またはオールコート用)・テニスラケット

(注意)シューズ・ラケットの貸し出しはありません。

## 体育実技A(軟式野球)

鈴木 秀五郎

## 〔授業の目的〕

野球の基本技術の習得とチームプレイの習得を通じて、自己の認識を深め、人との関係を学び、豊かな人間性の形成を目指す一助とする。

また生涯を通じて軟式野球にかかわり、楽しんで貰うことを目指す。

## 〔実施場所〕

日吉台野球場(虻谷)

## 〔服装・携行品・その他〕

服装は野球用ユニフォームが望ましいがトレーナー等の運動着でも可。野球用スパイクが望ましいが、運動靴でも可。グローブ、ミット、帽子、タオル、夏季はスポーツドリンクが必要。

## 体育実技A(バスケットボール)

加藤 大仁

## 〔授業の目的〕

バスケットボールを通じて基礎体力の向上を図ると同時に、基本的な技術・戦術の理解・習得を目標とする。初級者から経験者まで、あらゆるレベルの学生の履修を認めるが、主として体育の授業以外ではバスケットボールに取り組んだことのない学生を念頭においた授業内容となっている。

## 〔実施場所〕

記念館

## 体育実技A(バスケットボール)

(経験者)

加藤 大仁

## 〔授業の目的〕

基礎体力の向上を図ると同時に、基本的なMan Offense/Man Defenseの考え方やプレーの習得を目指す。対象は小・中・高の何れかの時期にクラブ活動や愛好会活動を通じてバスケットボールに取り組んだことのある学生とする。

## 〔実施場所〕

記念館

## 体育実技A(バスケットボール)

(全レベル:1・3時限)

木塚 孝幸

## 〔授業の目的〕

この授業は、初心者から経験者まで全てのレベルの学生を対象とする。

体力の向上と技術の修得を図りながら、ゲームを通じてバスケットボールを楽しむことを目的とする。

## 〔実施場所〕

日吉記念館

## 〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装・室内シューズ着用

## 体育実技A(バスケットボール)

(経験者:2時限)

木塚 孝幸

## 〔授業の目的〕

この授業は、小・中・高いずれかで、クラブ活動などを通じてバスケットボールを経験した学生を対象とする。

5人で攻め、守ることの実現を目的として、体力・技術の向上を図り、毎時限実施されるゲーム内容(レベル)を上げていくこと。

## 〔実施場所〕

日吉記念館

## 〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、バスケットシューズ着用

## 体育実技A(バスケットボール)

山内 賢

## 〔授業の目的〕

バスケットボール競技に必要な運動技術を学んでもらうとともに、バスケットボールの動きを構成している、跳ぶ、走る、止まる、投げるといった運動能力の向上を目指す。併せてその学習過程において、競技態度や安全性等の社会性の育成を図る。同時に、授業に参加しているもの同志のコミュニケーションの充実により、バスケットボールの楽しさを学んでもらう。

## 〔実施場所〕

日吉記念館

## 〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、室内シューズ、タオル

## 体育実技A(バスケットボール)

依田 珠江

## 〔授業の目的〕

バスケットボールの基本技術を身につけ、ゲームを楽しむ。バスケットボールというチームスポーツを通して、コミュニケーションの重要性を理解し、また自主的に練習・ゲームを運営する能力を養う。

## 〔実施場所〕

日吉記念館

## 〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装・室内シューズ

## 体育実技A(バドミントン)

加藤 幸司

## 〔授業の目的〕

バドミントンの基礎技術を身につけ、ゲームを楽しむ。また審判法も学ぶ。

## 〔実施場所〕

日吉記念館

## 〔服装・携行品・その他〕

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを必ず用意すること。

## 体育実技A(バドミントン)

(中・上級者:競技としてのバドミントン経験者) 加藤 幸司

## 〔授業の目的〕

バドミントンの技術を再確認しながら、技能を向上させ、高いレベルでゲームを楽しめるようにする。

## 〔実施場所〕

日吉記念館

## 〔服装・携行品・その他〕

バドミントンをするための常識的な服装とシューズを用意し、自分のラケットを使うこと。

## 体育実技A(バドミントン)

(初心者)

平井 克英

## 〔授業の目的〕

## 【気軽に楽しめるバドミントン】

バドミントンの基礎知識と基本ストロークの技術を習得し、審判方法とルールを理解する。又、試合を通して、生涯スポーツ、社会体育、ファミリースポーツとしてのバドミントンの本来の楽しさも学ぶことを目的とする。

## 〔実施場所〕

日吉記念館

## 〔服装・携行品・その他〕

屋内シューズとスポーツ出来る服装

## 体育実技A(バドミントン)

(経験者:基本ストロークをひと通り行えることが望ましい)

平井 克英

## 〔授業の目的〕

バドミントンの基本技術の向上をはかり、審判方法とルールを理解し、応用、試合を通して、戦略、戦術を学ぶ。又、競技スポーツ、生涯スポーツ、社会体育、ファミリースポーツとしてのバドミントンの本来の楽しさも学ぶことを目的とする。

## 〔実施場所〕

日吉記念館

## 〔服装・携行品・その他〕

## 屋内シューズとスポーツできる服装

体育実技A(バレーボール)  
(初心者から経験者まで可) 額田 信相

## 〔授業の目的〕

バレーボールという種目を通し、基本技術の習得とチーム編成とゲーム展開をみんなで力を併せ実行する経験の中で、人の意見と自己主張とのバランスをとりながら、コミュニケーションの重要性を認識させる。

## 〔実施場所〕

第3校舎下バレーボールコート

## 〔服装・携行品・その他〕

トレーニング上下スタイル・運動靴

体育実技A(バレーボール) 野口 和行

## 〔授業の目的〕

チームスポーツであるバレーボールの実践を通して、個々の技術レベルに応じた役割分担をしながら、相互のコミュニケーションを促進する。

## 〔実施場所〕

日吉記念館

## 〔服装・携行品・その他〕

運動できる服装・屋内シューズ

体育実技A(バレーボール) 村山 光義

## 〔授業の目的〕

バレーボール実践における技能向上と戦術の理解を通じてバレーボール競技を理解するとともに、リーダーシップとメンバーシップを発揮したコミュニケーション能力を養う。

## 〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

## 〔服装・携行品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴(必須)

体育実技A(バレーボール) 山田 美絵子

## 〔授業の目的〕

「バレーボール」という種目の特性を活かし、コミュニケーションをとりながら、個人の体力と技術の向上、集団での技能と知識の修得をねらいとする。

## 〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

## 〔服装・携行品・その他〕

「バレーボール」を行うのにふさわしい服装(ジャージ、Tシャツ等)シューズ、タオル等

体育実技A(ハンドボール) 山内 賢

## 〔授業の目的〕

ハンドボール競技に必要な運動技術を学んでもらうとともに、ハンドボールの動きを構成している、跳ぶ、走る、投げるといった運動能力の向上を目指す。併せてその学習過程において、競技態度や安全性等の社会性の育成を図る。同時に、授業に参加しているもの同志のコミュニケーションの充実により、ハンドボールの楽しさを学んでもらう。

## 〔実施場所〕

日吉記念館

## 〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、室内シューズ、タオル

体育実技A(フットサル) 大嶽 真人

## 〔授業の目的〕

「いつでも・どこでも・だれでも」楽しくプレーすることができるフットサルの基本技術、基本戦術の習得を目指すと同時に、試合を通じてコミュニケーションを図り、チームワークの獲得を目指す。

## 〔実施場所〕

日吉記念館

## 〔服装・携行品・その他〕

運動ができる服装・ゴム底の室内シューズ

体育実技A(野球)  
(初心者) 綿田 博人

## 〔授業の目的〕

硬球を握り、野球の楽しさを知ることが目的とする。

## 〔実施場所〕

下田野球場

## 〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム又はトレーニングウェア・帽子・グラブ・アップシューズ

体育実技A(野球)  
(経験者) 綿田 博人

## 〔授業の目的〕

各個人の技術のレベルアップを図り、またチームプレーを習得し、エンジョイベースボールに触れることを目的とする。

## 〔実施場所〕

下田野球場

## 〔服装・携行品・その他〕

ユニフォーム、又はトレーニングウェア・帽子・アップシューズ・グラブ

## ウィークリー・スポーツ【格技・武道】

体育実技A(合気道)

藤平 信一

### 〔授業の目的〕

合気道の実技を通して、心と身体の正しい使い方を学ぶ。心身統一を日常の一挙手一投足で活用できるように修得する。

### 〔実施場所〕

蝮谷合気道場

### 〔服装・携行品・その他〕

道着は貸与・Tシャツ(女子のみ)・タオル(汗をふくため)・道着を持ち運ぶバッグ等。

体育実技A(剣道)

(経験は問わないクラス)

植田 史生

### 〔授業の目的〕

剣道は相手を尊重する立場から礼儀を重んじ、技術の基礎となる姿勢と構え(心構え、身構え)から、いろいろな「技」を用いて「有効な打突」を競い合う運動である。この剣道の特性を通じて豊かな人間性をつくりあげることが目的とする。また、このクラスにおいては上級者、初級者に分け技術レベルに応じて正しい剣道を学習する。上級者は初級者への指導法も含め技術の向上と高度な内容を持った剣道をねらいとする。

### 〔実施場所〕

体育館剣道場

### 〔服装・携行品・その他〕

剣道の防具、竹刀、剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の方は、運動できる服装とし、防具、竹刀は貸与する。手ぬぐいは全員持参する事。

体育実技A(剣道)

(有段者クラス)

植田 史生

### 〔授業の目的〕

剣道は相手を尊重する立場から礼儀を重んじ、技術の基礎となる姿勢と構え(心構え、身構え)から、いろいろな「技」を用いて「有効な打突」を競い合う運動である。この剣道の特性を通じて豊かな人間性をつくりあげることが目的とする。また、各自ひとつ上の段(全日本剣道連盟)の昇段を各自の目標とし、技術の向上と高度な内容を持った剣道をねらいとする。(試合や審判技術等の理解と実践。日本剣道形や古文書を通し、より深い知識を学習する。)

### 〔実施場所〕

体育館剣道場

### 〔服装・携行品・その他〕

剣道の防具、竹刀、剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の方は、運動できる服装とし、防具、竹刀は貸与する。手ぬぐいは全員持参する事。

体育実技A(剣道 日本剣道形クラス)

(経験は問わない)

植田 史生

### 〔授業の目的〕

日本剣道形は、大正元年(1912年)10月に制定、大正6年(1917年)9月に加注を行い、昭和8年(1933年)5月に加注を増補した。現在は全てこれを定本として実施している。打太刀(うちだち) 仕太刀(しだち)の二名によって実施され、「太刀の形」が七本、「小太刀の形」が三本、計十本の技によって構成されている。この剣道形を学習する事により、1.正しい打突の筋を知る。2.正しい打撃の間合いを知る。3.正しい身体のさばきを知る。4.気位が養われる。これらの事を体得でき、現代剣道に果たす役割は大きいと考える。

### 〔実施場所〕

体育館剣道場

### 〔服装・携行品・その他〕

剣道着、袴を持っている人は持参する。それ以外の方は、運動できる服装とし、木刀、形用模擬刀は貸与する。

体育実技A(剣道)

(初心者から有段者まで)

吉田 泰将

### 〔授業の目的〕

剣道をはじめて行うものから、有段者まですべてのレベルを対象に、初心者は一級に、有段者はさらにひとつ上の段に挑戦するために、基本的な技術、知識、日本剣道形を学習します。それぞれのレベルの人が協力して、クラス全体の実力アップを図りましょう。そして、生涯を通じて実践できる剣道をしっかりと身につけましょう。

### 〔実施場所〕

体育館剣道場

### 〔服装・携行品・その他〕

剣道着・袴(運動に相応しい服装も可)・手ぬぐい  
剣道着(防具)・竹刀は準備しています。

体育実技A(柔道)

(初心者、経験者を問わない:男女共習) 安藤 勝英

### 〔授業の目的〕

柔道を通して技術、体力の向上を図り、これから生涯スポーツとして取り組むことの出来るよう行う。

中でも礼法、受身、正しい技の掛け方等をより深く解説する。

また、見る柔道の立場から、国際、国内ルールを説明する。

更に、昇段希望者にはこの授業の中で実施指導する。

### 〔実施場所〕

体育館柔道場

### 〔服装・携行品・その他〕

柔道着(希望者には貸与する)・タオル・Tシャツ  
(女子のみ)

## 体育実技A(フェンシング)

(初級～上級)

田中 由美子

## 【授業の目的】

ヨーロッパに起源を持ち、発達してきたフェンシングの基本技術を習得し、試合形式の練習でさらに興味を深めていく。

## 【実施場所】

蝮谷フェンシング場

## 【服装・携行品・その他】

半袖及び長袖のトレーニングウェア上下、シューズ(すべりにくいもの)

## 体育実技A(ボクシング)

(初心者～上級)

島田桂太郎

## 【授業の目的】

ボクシング基本実技の習得・体験

## 【実施場所】

ボクシング道場(日吉蝮谷)

## 【服装・携行品・その他】

運動着・室内用シューズ・バンテージ又は軍手

## 体育実技A(レスリング)

(初級)

大津 信行

## 【授業の目的】

レスリングを通しての基礎体力作り、身体能力の開発向上。

## 【実施場所】

蝮谷レスリング部道場

## 【服装・携行品・その他】

運動着上下・ソックス・タオル(別途、レスリングシューズ・ヘッドギアがあると良い。)

## ウィークリー・スポーツ【個人種目】

## 体育実技A(アーチェリー)

(初・中級)

川西 大介

## 【授業の目的】

- ・スポーツ経験の少ない者も基礎練習から技術向上のための工夫を通じてスポーツの面白さを体験する。
- ・個人の身体能力に関わらず、学習し努力すれば達成できる体験を得る。
- ・的中の向上という目に見える結果に向かって集中力を養う。
- ・生涯スポーツへの取り組みのきっかけとする。

## 【実施場所】

日吉台洋弓場(蝮谷東側の丘の上の高校野球場隣) = 慶應義塾WebのCampus Map31番

## 【服装・携行品・その他】

上衣：運動に適したもので、特に腕、胸や首の周囲がだぶつかないもの。

下衣：スカートでの参加は認めません。

靴：ゴム底の運動靴・トレッキングシューズ等のランニングも可能なスポーツシューズ以外での参加は認めません。

服装や態度が不適で、安全の確保ができないと講師が判断した場合は受講を認めません。

着替えが必要な者は、予め記念館・体育研究所内の更衣室を利用すること。

## 体育実技A(ウォーキング・エクササイズ)

近藤 明彦

## 【授業の目的】

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、その予防・改善を目的とした有酸素運動としてのウォーキングの実践を通し、継続的な運動の実施および様々な生活習慣が健康にどのような影響を与えるかについて理解を深める。この授業では単に「歩けば健康になる」ということを強調するのみではなく、歩くことから派生する様々な文化的事象をも取り上げウォーキングへの興味を高めることを意図する。体力レベルが低い、あるいは技術系のスポーツ種目が不得意な者でも取り組みやすい種目である。誰でも出来るウォーキングの楽しみ方を理解し、継続的な運動実施習慣の形成を目指す。

## 【実施場所】

陸上競技場・日吉周辺

## 【服装・携行品・その他】

運動に適した服装、靴、タオル、帽子

## 体育実技A(エアロビクス)

佐々木 玲子

## 【授業の目的】

日常生活を円滑に行うための体力、主に呼吸循環系機

能の向上を目指すとともに、シェイプアップも含めた総合的な体力・健康づくりを目指します。エアロビックダンスエクササイズを中心に行いますが、ストレッチング、リラクゼーション、筋力アップのためのエクササイズなども含め、広く身体についての理解を深めながら自身の身体で実体験します。

〔実施場所〕

体育研究所エクササイズスタジオ

〔服装・携行品・その他〕

運動着、室内用運動靴は必須。タオル、飲料など適宜。

体育実技A(エアロビクス)

清水 静代

〔授業の目的〕

エアロビクスについての基礎知識や基本的なステップを習得しながら、エアロビクス(有酸素運動)の特性を理解し、自らの健康の維持・増進のために、音楽に合わせて安全で楽しいエクササイズを実践する。

〔実施場所〕

体育研究所エクササイズスタジオ

〔服装・携行品・その他〕

運動着に着替えて、上履きを持参して授業に出席してください。また、水分の補給は各自で行なえるように用意してください。

体育実技A(ゴルフ)

(初級者)

勝又 正浩

〔授業の目的〕

- ・スポーツとしてのゴルフを通じ体力の向上、技術、ルール、マナーを習得する。
- ・ゴルフを始めたばかりの方々をコースラウンドができるレベルに向上させる。
- ・ゴルフ本来の楽しさを学ぶ事により幅広い人間関係が構築できるように図る。

〔実施場所〕

ゴルフ部練習場(矢上下)

〔服装・携行品・その他〕

動きやすい服装、運動靴(ゴルフスパイクは不可)、練習用クラブ数本、ゴルフグローブ

体育実技A(ゴルフ)

(中・上級者)

勝又 正浩

〔授業の目的〕

- ・スポーツとしてのゴルフを通じ、体力の向上、技術、ルール、マナーを習得する。
- ・従来よりゴルフに取り組んでいる、中・上級者を、更にもう一段上のレベルに引き上げる。
- ・ゴルフ本来の楽しさを学ぶ事により、幅広い人間関係が構築できるように図る。

〔実施場所〕

ゴルフ練習場(矢上下)

〔服装・携行品・その他〕

動きやすい服装、運動靴(ゴルフスパイクは不可)、練習用クラブ数本、ゴルフグローブ

体育実技A(ゴルフ)

(初心者)

綿田 博人

〔授業の目的〕

ゴルフの基本動作、打ち方を習得し、またゴルフのマナーを知ることが目的とする。

〔実施場所〕

梅里カントリークラブ

〔服装・携行品・その他〕

ゴルフスラックス、ポロシャツ又はトレーニングウェア・アップシューズ

体育実技A(自動車)

(初級:普通自動車免許のない方 前後期とも同じ)

松山 保幸

〔授業の目的〕

自動車運転の基本操作に不可欠な知識と操作技術の習得。

(普通運転免許取得希望者が、正確な操作手順を身に付け、安全性への高い配慮ができるようになることを到達点とします)

〔実施場所〕

日吉宮崎台自動車部専用練習場(塾高等学校グラウンド裏)

〔服装・携行品・その他〕

運動の出来る服装・運動靴(かかとの高い靴、サンダルは運転安全性の面で問題があるため避けて下さい)

体育実技A(ジョギング)

松田 雅之

〔授業の目的〕

歩行・ジョギング・ランニングへと基本的な正しい走り方を学び、有酸素能力の向上を図る。野外走などを通じ、ジョギングの効用や楽しさを体験する。

〔実施場所〕

陸上競技場ほか

〔服装・携行品・その他〕

トレーニングウェア・ジョギングシューズ

体育実技A(水泳)

小森 康加

〔授業の目的〕

この授業では、生涯にわたって水泳を楽しむための技術の習得とともに、体力の向上を目的とします。また、水の事故から身を守る安全対策についても実践します。

〔実施場所〕

日吉屋外50mプール(温水)

**〔服装・携行品・その他〕**

水着・スイミングキャップ・ゴーグル

体育実技A(水泳)春学期

(上級者(火・木・金曜日の2時限)水泳経験が豊富で、個人メドレーができるレベル)

高嶺 隆二

**〔授業の目的〕**

- ・競泳4種目の技術の特性を学び、合理的技能の修得を目指すと同時に指導法を学ぶ。
- ・着衣水泳の体験を通して水難事故から身を守る方法を学ぶ。
- ・競技力の向上、体力の維持・増進、エンジョイ・スイミング

**〔実施場所〕**

日吉プール(公認50m 9コース 屋外温水)

**〔服装・携行品・その他〕**

水泳用品一式(水着、スイムキャップ、ゴーグル)、タオル、運動着上・下(Tシャツ、短パン)

ゴムサンダル等、(コンタクトレンズ使用者は、保管用のケース持参のこと)

\* 着衣水泳の用品：ジーンズパンツ、長袖トレーナー、運動靴

体育実技A(水泳)春学期

(中級者(火・金曜日の3時限)クロール、平泳ぎ、背泳ぎのいずれか一つの泳法で50m以上泳げるレベル)

高嶺 隆二

**〔授業の目的〕**

- ・競泳4種目の技術の特性を学び、合理的で美しい泳ぎの修得し、長い距離を泳げるようになる。
- ・着衣水泳の体験を通して水難事故から身を守る方法を学ぶ。
- ・水泳の楽しさを見つけて、夏のマリン・スポーツに備える。

**〔実施場所〕**

日吉プール(公認50m 9コース 屋外温水)

**〔服装・携行品・その他〕**

水泳用品一式(水着、スイムキャップ、ゴーグル)、タオル、運動着上・下(Tシャツ、短パン)

ゴムサンダル等、(コンタクトレンズ使用者は、保管用のケース持参のこと)

\* 着衣水泳の用品：ジーンズパンツ、長袖トレーナー、運動靴

体育実技A(水泳)春学期

(初級者(木曜日・3時限)水泳未習者、息継ぎが難しい、少し泳げるレベル)

高嶺 隆二

**〔授業の目的〕**

水中で意のままに自分のからだを操って、浮き、潜り、

進む技術を身につけてもらい、生活を豊かにすると共に、万が一の水難事故に際して、自らの生命を守る技能を修得することを目的とする。

さらに、泳げるようになって健康維持・増進のための手段として水泳を活用できるようになることを目的とする。

**〔実施場所〕**

日吉プール(公認50m 9コース 屋外温水)

**〔服装・携行品・その他〕**

水泳用品一式(水着、スイムキャップ、ゴーグル)、タオル、運動着上・下(Tシャツ、短パン)

ゴムサンダル等、(コンタクトレンズ使用者は、保管用のケース持参のこと)

\* 着衣水泳の用品：ジーンズパンツ、長袖トレーナー、運動靴

体育実技A(水泳)秋学期

(上級者(木・1時限)；水泳経験が豊富で、個人メドレーができるレベル)

高嶺 隆二

**〔授業の目的〕**

- ・競泳4種目の技術の特性を学び、合理的技能の修得を目指すと同時に指導法を学ぶ。
- ・水難救助に役立つ競泳以外の泳法(日本古式泳法)の習得。
- ・競技力の向上、体力の維持・増進、エンジョイ・スイミング

**〔実施場所〕**

エポック・スポーツクラブ日吉(民間クラブ 室内25mプール)

所在地；横浜市港北区箕輪町2-3-7(日吉駅から綱島街道を綱島方面へ徒歩12分)

**〔服装・携行品・その他〕**

水泳用品一式(水着、スイムキャップ、ゴーグル)、タオル等(コンタクトレンズ使用者は、保管用のケース持参のこと)

体育実技A(水泳)秋学期

(初・中級者(火・1時限)；水泳未習者、上手く泳げないと思っているレベル)

高嶺 隆二

**〔授業の目的〕**

水中で意のままに自分のからだを操って、浮き、潜り、進む技術を身につけてもらい、水泳を楽しむと共に、万が一の水難事故に際して、自らの生命を守る技能を修得することを目的とする。さらに、泳げるようになって健康維持・増進のための手段として水泳を活用できるようになることを目的とする。

**〔実施場所〕**

エポック・スポーツクラブ日吉(民間クラブ 室内25mプール)

所在地；横浜市港北区箕輪町2-3-7(日吉駅から綱島街道を綱島方面へ徒歩12分)

**〔服装・携行品・その他〕**

水泳用品一式(水着、スイムキャップ、ゴーグル)、タオル等(コンタクトレンズ使用者は、保管用のケース持参のこと)

体育実技A(体力UPコース)

牛山 潤一

〔授業の目的〕

基礎的なトレーニングを通じて、人間の身体の構造・機能に関心をもつとともに、目的に即したトレーニング方法を考案すること

〔実施場所〕

体育研究所1階トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装ならびに靴を持参すること

体育実技A(体力UPコース)

近藤 明彦

〔授業の目的〕

運動不足が原因となる疾患が話題となっているが、この講座ではレジスタンストレーニングマシンを用いた筋力のトレーニング、エアロバイクを用いた持久力のトレーニングそして、いつでもどこでも出来る自分の体重を負荷としたトレーニングを行うことにより、運動を継続的に行うことの重要性を理解するとともに、継続的な運動実施習慣の形成を目指す。

〔実施場所〕

体育研究所1階トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装、室内用運動靴、タオル

体育実技A(体力UPコース)

西村 忍

〔授業の目的〕

体を鍛える為のトレーニングの授業だけでなく、一生を通じての健康維持・増進する方法論として、体と知を育む授業を目的とする。

〔実施場所〕

体育研究所1階トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動着、インシューズ、タオル、ドリンク(ルーム内での飲食は禁止)

体育実技A(体力UPコース)

山内 賢

〔授業の目的〕

この授業は、トレーニングの理論を基に、人間の体力を構成する筋力、パワー、柔軟性、持久力等をバランスよく鍛え、同時にトレーニングによる効果や体組成(体内脂肪量)の変化を自己観察するための授業である。この授業の目的は、自己の健康関連体力を観察し、その体

力の向上と改善を個々のペースで管理するボディビルディングとコンディショニングのすすめにある。

〔実施場所〕

体育研究所1階トレーニングルーム

〔服装・携行品・その他〕

運動のできる服装、室内シューズ、タオル

体育実技A(ダンス)

「ボールルームダンス」

(入門及び初級)

篠原 しげ子

〔授業の目的〕

・種目ごとのリズムの特徴を理解し、動けるようになる。  
相手の動きも理解して協力して動けるようになる。

〔実施場所〕

体育研究所3階エクササイズルーム

〔定員〕

男性10名、女性10名

〔服装・携行品・その他〕

動きやすい服装・ソックス

体育実技A(トランポリン)

(初心者向け)

菊池 秀悦

〔授業の目的〕

トランポリン運動を安全に楽しく実施できる技術を習得する

〔実施場所〕

日吉記念館

〔服装・携行品・その他〕

運動に適した服装(詳細はガイダンスで説明します)

体育実技A(ニュースポーツ)

野口 和行

〔授業の目的〕

1. 一般的に「ニュースポーツ」と呼ばれるレクリエーション的なスポーツを取り上げ、幅広いスポーツ文化を体験する。
2. スポーツの実践を通して、仲間とのコミュニケーションを図り、生涯にわたってスポーツを楽しむ心を養う。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

運動できる服装・屋外シューズ

体育実技A(フライングディスク)

村山 光義

〔授業の目的〕

FLYING DISCとは通称「frisbee」と呼ばれる円盤を使ったスポーツの総称で、数多くの専門競技があります。本授業は、こうしたFLYING DISCの専門競技

の紹介と実践をし「空中を浮遊するDISCを本能的に追いかける人間の営み」を通じて新たなスポーツ文化を吸収することをねらいとしています。DISCの最大の特徴は世界記録で200mを越す飛距離と円盤特性による曲進性・滞空性です。DISCを遠くへ、思う所へ投げることはとても難しく、投げ方も一通りではありません。このスポーツを楽しむ重要な要素が、投げる技術の獲得です。従って、技能向上も重要な目的として授業を展開します。

**【実施場所】**

陸上競技場

**【服装・携行品・その他】**

運動の出来る服装、運動靴(必須)

体育実技A(陸上競技)

松田 雅之

**【授業の目的】**

陸上競技に限らず、様々なスポーツに役立つ正しいランニングフォームを身に付ける。走・跳・投の各種目を通じて、陸上競技の楽しさを体験する。

**【実施場所】**

陸上競技場

**【服装・携行品・その他】**

トレーニングウェア・ランニングシューズ・スパイク(ある者のみ)

## 体育実技A(シーズン・スポーツ)

### シーズン・スポーツ【格技・武道】

体育実技A(空手)

蓮池 敬一郎

**【実施期間】**

7月28日(木)~8月4日(木)日曜を除く7日間

**【開始時間】**

10:00~

**【実施場所】**

蝮谷空手道場

**【定員】**

40名(男女共習)

**【目的】**

空手に親しむ。基本的な突き、蹴りを行なう。又、受けを行ない護身術程度の技術を習得する。初心者用の形1つ、あるいは組手を行なう。

**【授業内容】**

初日

基本の立ち方、突き、蹴り

2~6日目

1日目の内容。またミット、バッグを使う。

受け

形希望者と組手希望者に分け、それぞれに即した練習を行なう。

形...平安初段を行なう。

組手...いくつかの攻撃技を行なう。

7日目

形...演武披露

組手...部員と試合形式で組手

なお、経験者においては少しレベルアップした内容にする。

**【服装携帯品等】**

タオル、下着(着替え)を持参する事。女子は道着の下に着用するTシャツ等。

体育実技A(弓術)

上山 幸一

**【実施期間】**

7月28日(木)~8月4日(木)日曜を除く7日間

**【開始時間】**

9:00~12:00

**【実施場所】**

志正弓道場(蝮谷)

**【定員】**

40名(男女共習)

**【費用】**

500円(交通費を除く)

**【費用内訳】**

教本 下かみ代

### 【目的】

正射必中の技術の習得すると共に道場内での礼儀作法、射場に於ける体配(立居振舞い)を学び慶應弓術を理解してもらう。

### 【授業内容】

未経験者

- 初日 射法説明、イメージトレーニング  
2~4日目 イメージトレーニング、ゴム弓、素引き、巻藁  
5~6日目 素引き巻藁、的前射

経験者

- 初日 射法説明、各人の技術レベルチェック  
2~6日目 各人の習得希望技術指導

最終日

班を編成し、対抗戦を行い、試合の雰囲気を体験してもらう。

### 【服装携帯品等】

前ボタンのないTシャツの様なもの ピアス、アクセサリー類ははずす。

熱中症対策としての飲み物

## シーズン・スポーツ【個人種目】

体育実技A(器械体操)

首藤 聡史

### 【実施期間】

7月28日(木)~8月4日(木)日曜を除く7日間

### 【開始時間】

15:00~17:00

### 【実施場所】

日吉記念館

### 【定員】

20名

### 【目的】

タンブリングフロア、トランポリンその他の器具を使用して、身体バランス、巧緻性を養い安全で楽しく器械体操の基礎を学ぶ

### 【授業内容】

器械体操

- 1日目 ガイダンスおよび器具のセッティングの方法、各種目のポイントと説明  
2日目 床運動、トランポリンの基本練習(前転・後転・側転・倒立/基本ジャンプ)  
3日目 床運動、トランポリンの基本練習(前方倒立回転・ロングガード/開脚ジャンプ・閉脚ジャンプ・フィジカルトレーニング)  
4日目 床運動、トランポリン(前方倒立回転・後方倒立回転/補助帯を使用するの宙返り・フィジカルトレーニング)  
5日目 床運動、トランポリンの基礎練習 選択種目の練習  
6日目 床運動、トランポリンの基礎練習 選択種目の練習  
7日目 演技発表会(試験)

### 【服装携帯品等】

運動の出来る服装、時計、ネックレスなどは不可(ガイダンス時に詳しく説明)

## シーズン・スポーツ【水辺種目】

体育実技A(水泳)

峰岸 克行

### 【実施期間】

7月28日(木)~8月4日(木)日曜を除く7日間

### 【開始時間】

13:00

### 【実施場所】

日吉プール

### 【定員】

50名(男女共習)

### 【目的】

初心者、中級者、上級者それぞれの方に応じて、例えば「泳げない方が泳げるようになりたい」「綺麗なフォームで(または長い距離が)泳げるようになりたい」「水泳が好きで楽しみたい」というニーズにご答えるべく、指導を行います。泳ぐ技能を高める練習や、ボールを使用した水球を体験することを通じ、楽しみながら水泳の優れた体力・健康増進効果を体験してもらいます。また、服を着たままで泳ぐ(着衣泳)体験を通して水難事故防止のためのスキルを養ってもらいます。

### 【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

第1日目

- (1)開校式  
(2)水泳経験・技能・泳力調査等グループ編成(初級・中級・上級の班分け)  
(3)グループ別練習

第2日目~5日目

初級班:水に慣れる、浮く、呼吸法、習得を希望する(主にクロール、背泳ぎ、平泳ぎ)泳法の指導  
中級班:4種目(特にバタフライの習得)の基本フォームを指導。可能な限り、長距離を一気(約1000M)に泳ぐことにチャレンジする。また、ボールを使用した水球を楽しむ  
上級班:競泳種目の練習(スピード、持久力の向上)水球の簡単なテクニック習得と、ミニゲームの実施。

第6日目

着衣で泳ぐ(トレーナー、ジーンズ、運動靴を着用)

最終日

まとめ、班毎に課題へのトライアル

### 【服装・携行品・その他】

水泳用具一式(水着、水泳用キャップ、ゴーグル)タオル、運動着上下(プールサイドで着用するもの、Tシャツ、短パン等で可)水着は競泳用が望ましい

### 【雨天時の対応(屋外種目のみ)】

原則として実施する(但し、著しい荒天等悪条件の場合)

合は、その都度対応する)

体育実技A(端艇)

月村 繁雄

〔実施期間〕

9月15日(木)~24日(土)日曜・祝日を除く7日間

〔開始時間〕

9:00

〔実施場所〕

体育会端艇部戸田艇庫(埼京線戸田公園駅下車10分)

〔定員〕

20名(男女共習)

〔費用〕

交通費は実費

〔目的〕

日吉・三田といった従来のキャンパスを出て端艇部の施設を利用して、同じ塾内に運動に熱心に取り組んでいる塾生(端艇部員)の姿をみせつつ、普段慣れ親しみのない漕艇を体験し運動不足を解消し、また今後の体力増進のきっかけとなるように指導する。

〔授業内容〕

第1日目 - ボートに対する知識を教示する。艇庫利用および戸田コース使用上の注意説明。艇の取り扱い説明。基礎運動。バック台・エルゴ(陸上で漕ぐ動きを確認する機材)で体の動かし方を指導。

第2日目 - 前日と同様とする。乗艇練習の時間を増やす。

第3日目 - バック台・エルゴおよび乗艇練習。艇とオールさばきに個々のペースでまず慣れてもらう。

第4日目 - 乗艇練習。体の動きを合わせることを意識してもらう。第5日目\_乗艇練習。乗艇時間、距離ともに増やす。

第6日目 - 乗艇練習。\_第7日目\_他の練習艇と並べてボートの楽しさを実感してもらう。

〔服装携帯品等〕

着替えを用意していただきたい。風呂シャワーは艇庫のものを利用可。

〔雨天時の対応〕

多少の雨なら短時間で乗艇練習します。強風、豪雨の場合は座学とします。

## 体育実技B(ウィークリー・スポーツ)

### ウィークリー・スポーツ【球技(ネット)】

体育実技B(バレーボール)

石手 靖

〔授業の目的〕

バレーボールゲームを楽しみ、仲間と大いにコミュニケーションをとること

〔実施場所〕

日吉記念館(火1・2・3)及び 第3校舎下 バレーボールコート(月3・4)

〔服装・携行品・その他〕

スポーツウェア及びシューズ

体育実技B(バレーボール)

村山 光義

〔授業の目的〕

バレーボールゲームを用いてメンバー相互のコミュニケーションを深め、その過程における自己表現・リーダー/メンバーシップ等を発揮し合うグループワークを実践する。

〔実施場所〕

第3校舎下 バレーボールコート

〔服装・携行品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴(必須)

体育実技B(ニュースポーツ)

村山 光義

〔授業の目的〕

世界の様々なスポーツ文化・人間の遊びの文化を体験し理解する。スポーツ文化の歴史から、遊ぶ人間「ホモ・ルーデンス」を理解するとともに、スポーツ(遊び)の将来を考える。

〔実施場所〕

陸上競技場

〔服装・携行品・その他〕

運動の出来る服装、運動靴(必須)

体育実技B(フライングディスク)

野口 和行

〔授業の目的〕

フライングディスクは通称「frisbee」と呼ばれる円盤を使ったスポーツの総称です。ディスクは大きなカーブも長い滞空時間もスローイング次第で自由自在、人間が自力で最も遠くに投げられる物体のひとつです。この授業ではそのような特性を持ったディスクを使用した競技を紹介しながら、公園や海岸でも気軽に楽しむこと

のできるフライングディスクの楽しさを体感してもらいたいと思っています。

【実施場所】

陸上競技場

【服装・携行品・その他】

運動できる服装・屋外シューズ

## 体育実技B(シーズン・スポーツ)

### シーズン・スポーツ【球技(ネット)】

体育実技B(夏のバレーボール)

石手 靖

【実施期間】

9月15日(木)~22日(木) 日曜・祝日を除く6日間

【開始時間】

10:00~12:30 (初日、日吉記念館集合)

【実施場所】

日吉記念館及び県立湘南海岸公園内サーフビリッジ  
(神奈川県藤沢市鵜沼海岸)

【定員】

30名

【費用】

1,440円

【費用内訳】

鵜沼海岸への交通費(参考:日吉~鵜沼海岸往復)

【目的】

集中的な練習により、バレーボールを理解し技術の向上を目指す。またビーチでのバレーボールを通じて、仲間との新たな遊び方を体験する。

【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

1~2日:基礎技術の練習(パス・トス・レシーブ・サーブ・スパイク・ブロック)

3~4日:実践的な複合練習(攻撃法と守備法)

5~6日:ゲーム練習

ビーチバレーボール体験は、3日目と6日目の2日間の予定

実施時間は10:00~15:00

ただし期間中の天候(雨・風)により日程変更あり

【服装・携行品・その他】

スポーツウェア及びシューズ

### シーズン・スポーツ【個人種目】

体育実技B(アウトドアレクリエーション)

野口 和行

【実施期間】

9月5日(月)~9日(金)(合宿)

【実施場所】

長野県立科町 慶應義塾立科山荘

【定員】

50名(男女共修)

【費用】

27,000円(交通費を除く)

【費用内訳】

宿泊費、食費、プログラム費、傷害保険料、雑費費

〔目的〕

- ・自然の中でのレクリエーションな活動を通しての自然環境の理解
- ・各活動に関する技術とそれに伴うさまざまな知識の習得
- ・集団生活を通しての人間関係の理解

〔授業の内容〕(内容と順序は変更になる場合があります)

この授業は長野県立科町にある慶應義塾の山荘に宿泊しながら、周辺の豊かな自然環境を利用したさまざまなプログラムを行います。いくつかのプログラムから自分の希望するものをチョイスする選択プログラム制で、経験豊かなスタッフがそれぞれのプログラムのガイド役を務めます。立科での5日間を通して、自然、ひと、自分とうまく付き合っていく方法を学んでみませんか?

1日目:設営、夕食作り

2日目:選択プログラム1

登山、カヌー、サイクリング、シャワークライミング、ロッククライミングなどのプログラムから1つを選択し、体験する

3日目:選択プログラム2

登山、カヌー、サイクリング、シャワークライミング、ロッククライミングなどのプログラムから1つを選択し、体験する

4日目:森の時間、アウトドアパーティー

山荘周辺でクラフト、料理等の静的なプログラムの体験、会食形式のパーティー

5日目:撤収、ふりかえり

〔服装・携行品・その他〕

要項・オリエンテーション等で別途詳しい案内をします。

〔雨天時の対応(屋外種目のみ)〕

基本的にはプログラムどおり行います。

体育実技B(山岳)

岩永 治朗

〔実施期間〕

8月3日(水)~6日(土)(合宿)

〔実施場所〕

八ヶ岳連峰

〔定員〕

50名(男女共習)

〔費用〕

35,000円(交通費を除く)

〔費用内訳〕

食費・宿泊費 30,000円、雑費 5,000円

〔目的〕

1. 初心者を対象に、生涯スポーツとして登山の基礎を身につける。
2. 団体行動を通じてチームワーク、八ヶ岳の多様な自然を満喫する。

〔授業内容〕

8/3 JR茅野駅~バス~美農戸~赤岳鉱泉(泊)(歩行3時間)

8/4 赤岳鉱泉~赤岳往復~赤岳鉱泉(泊)(歩行5時間)

8/5 赤岳鉱泉~硫黄岳~本沢温泉(泊)(歩行3時間)

8/6 本沢温泉~稲子湯下山(歩行2時間半)

アルプス的な険しさを持つ赤岳へ登り、後半は北八ヶ岳の湖沼と森林の中を歩く。

日本最高所の露天風呂等、山登りの魅力を満喫できる初心者向けの計画。

〔服装携帯品等〕

登山用具一式、詳しくは実施要項を参照。

〔雨天の対応〕

雨天決行。ただし状況に応じて行程の変更有。

体育実技B(馬術)

細田 壮一

〔実施期間〕

7月31日(日)~8月3日(水)(合宿)

〔開始時間〕

集合7月31日(日)午前7時30分日吉キャンパス構内

解散8月3日(水)午後6時(予定)

〔実施場所〕

朝霧乗馬牧場(〒418-0190 静岡県富士宮市麓585 TEL 0544-52-0890)

宿泊 朝霧高原グリーンパーク 富士宮市麓字浅野146 TEL 0544-52-0101

〔定員〕

36名(男女共習)

〔費用〕

49,000円(交通費を含む)

〔費用内訳〕

宿泊代 交通費 食費 テキスト代 借馬料 施設使用料等込み

〔目的〕

馬術というスポーツを通じて、活発な身体活動を図り、体育会活動の経験をさせる。

馬上での技術向上と共に、馬の世話や厩舎作業など総合的な馬の管理を体得する。

合宿課目であるため、起床から就寝まで規則正しい生活をして、ルール・マナーの徹底を図る。

〔授業の内容〕(内容と順序は変更になる場合があります)

騎乗練習:乗馬、下馬、常歩・速歩での発進、停止、左右への回転

作業実習:厩舎作業、馬の手入れなどの体験

講義:馬の扱い方、馬術の基本、馬具・飼料についてなど

〔服装・携行品・その他〕

ポロシャツ(白) トレーニングウエア上下 運動靴 靴下 軍手 着替え 洗面用具 筆記用具 防寒具 帽子 虫除け 持薬 保険証のコピー 学生証 領収書

〔雨天時の対応(屋外種目のみ)〕

屋根付き馬場があるため練習可能。

ただし、場合によっては講義やビデオ鑑賞に振り替える。

## シーズン・スポーツ【水辺種目】

体育実技B(ヨット)

井上 進

### 【実施期間】

8月1日(月)~4日(木)(合宿)3泊4日

### 【実施場所】

神奈川県三浦市

### 【定員】

40名(男女共習)

### 【費用】

37,000円(交通費を除く)

### 【費用内訳】

宿泊費、食費、用具費、教材、他

### 【目的】

かつての小泉信三塾長は、ヨットについて「自然に従い、自然を制す」と表現し、スポーツとしてのヨットの意義について記されています。本クラスの目的は、人を相手とする他のスポーツと異なり、一切の妥協を許さぬ海上で、セーリング技術の習得を通じて、自然の素晴らしさと厳しさを体験し、理解することにあります。

### 【授業の内容】(内容と順序は変更になる場合があります)

短い期間なので、できるだけヨットに乗っている時間を長くするよう時間割を編成します。

第1日目 ガイダンス、座学;ヨットに関する基本知識(セーリングの原理、構造)ロープワーク実習ほか

第2日目 小型艇(ディンギー)、大型艇(クルーザー)を使用してセーリング実習

第3日目 セーリング実習

第4日目 セーリング実習

- ・小型艇は大学選手権に使われる2人乗りのレース艇です。インストラクター1名と履修性1~2名が乗艇します。大型艇は外洋帆走可能な10人以上乗れるヨットです。インストラクター1~2名と履修性5~7名が乗艇します。

- ・小型艇と大型艇それぞれ、できるだけ多くの艇種に乗れるよう配慮します。

- ・初めてヨットによる人を対象としますが、再受講者、経験者の参加も歓迎します。

- ・実習中は全員救命胴衣着用なので、泳げない人でも大丈夫です。船酔いする人もこの機会に乗り物酔いを克服しましょう。(酒酔い不可)

- ・大学での唯一の臨海学校ですので、毎年楽しい思い出ができますが、授業というルールのある合宿なので、団体生活の嫌いな人にはお勧めしません。

### 【服装・携行品・その他】

ヨットに乗ると必ず濡れますので、4日間の着替えは多めに持ってきてください。帽子は必携です。海水着、ポロシャツ、ウインドブレーカー、長ズボン、短パン、パジャマ、下着類、運動靴(2足)、洗面用具、タオル、手拭い、日焼け止め(必要な人)、筆記用具、演芸小道

具など

### 【雨天時の対応(屋外種目のみ)】

自然を相手にしたスポーツですので、台風など、気象状況によっては乗艇できない日があるかもしれません。雨天でも風、波が安全な状況なら実習は行います。夏でも雨天は寒い場合がありますので、ウインドブレーカーなどは持参願います。

## シーズン・スポーツ【冬季種目】

体育実技B(スキー)

吉田 久男

### 【実施期間】

2月8日(水)~11日(土)(合宿)

### 【実施場所】

志賀高原発着温泉スキー場周辺(長野県)

### 【定員】

150名

### 【費用】

45,000円(交通費を除く)

### 【費用内訳】

リフト代含む。

### 【目的】

合宿形式のスキー実習を通じ、雪山での自然体験と集団生活・グループ活動を体験する(自然・人間の理解)。また、個人の技術的課題を認識するとともに、設定された達成目標をクリアするための努力実践をする(自己への挑戦)。

達成目標の具体例

初心者:山頂からのツアーの達成

初級班:ブルークボーゲンの完成

中・上級班:緩斜面または中・急斜面パラレルターンの完成

### 【授業内容】

1日目

午後 開校式、実技(技術班分・導入実技)夕食後班別ミーティング

2日目

午前・午後 実技(ビデオ撮影・課題練習)夕食後班別ミーティング

3日目

午前・午後 実技(ポール体験・ツアー・課題練習)夕食後班別ミーティング

4日目

午前 実技(班別デモンストレーション・まとめ)閉校式

### 【服装携帯品等】

詳細は別途実施要項を参照のこと。

### 【雨天の対応】

基本的にリフトが運休しない限り実技を行う。実技不可能な場合は宿舎にて技術理論などを講義する。

---

体育実技B(スケート)

小山 正

---

**〔実施期間〕**

2月6日(月)~9日(木)(合宿)

**〔実施場所〕**

軽井沢スケートセンター

**〔定員〕**

40名(男女共習)

**〔費用〕**

27,000円(交通費を除く)

**〔費用内訳〕**

宿泊費、リンク貸切料、滑走料、障害保険料、雑費

**〔目的〕**

スケートに関する知識及び技術の習得・合宿生活の経験及び他学部との仲間との懇親

**〔授業の内容〕**(内容と順序は変更になる場合があります)

スケートの基礎知識を習得し、スケートの各種目(フィギュアスケート、アイスホッケー、スピードスケート)の体験をします(選択可能)。レベル別に班分けをし指導しますので初心者、経験者共に十分に楽しむことの出来る内容になっています。この機会にスケートの楽しさを体感しましょう!

一日目:開講式、基本技術の習得(フォア、バック、ストップ等)

二日目:基本技術の習得(ターン、クロス、ジャンプ、スピン)

三日目:フィギュア、アイスホッケー、スピードスケート、各種目の体験

四日目:氷上運動会、閉校式

**〔服装・携行品・その他〕**

防寒着、手袋、帽子など。要項・オリエンテーション等で別途詳しい案内をします。

**〔雨天時の対応(屋外種目のみ)〕**

室内での活動が主なため雨天の場合もスケジュールに大きな変更はありません。

## 平成17(2005)年度 体育実技A・体育実技B(シーズン・スポーツ)

春学期実施日程 7月28日(木)~8月4日(木) 日曜を除く7日間

秋学期実施日程 9月15日(木)~24日(土) 日曜・祝日を除く7日間

実施日 (学期)	科目	定員	開始時間	実施場所	初日 集合場所	備考
7・8月 (春)	体育実技A(空手)	40	10:00	空手道場(虻谷)	同左	
	体育実技A(弓術)	40	9:00	志正弓道場(虻谷)	同左	¥500(教本)
	体育実技A(水泳)	50	13:00	日吉プール	同左	
	体育実技B(山岳)(合宿)	50	8/3(水)~6(土)	ハケ岳連峰 (長野県)	同左	¥35,000 交通費除く
	体育実技B(馬術)(合宿)	36	7/31(日)~8/3(水)	朝霧乗馬牧場 (静岡県)	日吉キャンパス 7:30 集合	¥49,000 交通費含む
	体育実技B(ヨット)(合宿)	40	8/1(月)~4(木)	ヨット部合宿所 (神奈川県三浦市)	同左 14:00	¥37,000 交通費除く
9月 (秋)	体育実技A(器械体操) (新体操女子のみ含む)	30	9/13(火)~22(木) 土・日・祝日を除く 15:00	日吉記念館	同左	
	体育実技A(端艇)	20	9:00	端艇部合宿所(埼玉県)	同左	
	体育実技B(バレーボール)	30	9/15(木)~22(木) 日曜・祝日を除く6日間	日吉記念館および 湘南サーフビレッジ	日吉記念館 10:00 集合	¥1,440 (交通費)
	体育実技B(アウトドア レクリエーション)(合宿)	50	9/5(月)~9(金)	立科山荘(長野県)	同左	¥27,000 交通費除く
2月 (秋)	体育実技B(スキー)(合宿)	150	2/8(水)~11(土)	志賀高原発哺(長野県)	同左	¥45,000 交通費除く
	体育実技B(スケート)(合宿)	40	2/8(月)~9(木)	軽井沢スケートセンター (長野県)	スケートセン ターホテル	¥27,000 交通費除く

## 合宿種目費用納入

納入日時 4月25日(月)~28日(木) 8:45~17:00

納入場所 日吉学事センター7番窓口

(費用が納入期間に間に合わない場合は、窓口で相談してください。)

## 3 保健管理センター

### 1. 保健管理センター設置講座開講にあたり

めまぐるしい医学の進歩と社会情勢の変化に対応でき、健康で健康志向の強い人になるための独自の講座を設置しています。

### 2. 設置科目履修上の取扱について

「現代社会と医学」(月曜日4時限)と「現代社会と医学」(水曜日4時限)は、日吉キャンパスで春学期と秋学期にそれぞれ開講します。春学期と秋学期の講義内容は同じで、単位は2単位です。受講を希望する場合は履修の取扱について、各学部、研究科で確認の上、履修申告をして下さい。

現代社会と医学

「海外生活と医療」

【全】

2単位 春・秋

コーディネーター 保健管理センター教授  
南里清一郎 ほか

#### 〔授業科目の内容〕

現在の日本では、1500万人以上の人々が海外旅行をし、仕事や留学などの長期滞在者は、60万人以上です。途上国は医療事情が悪く、いざという時の緊急医療でさえも不安があります。先進国では医療費が高く医療機関受診方法に不安があります。感染症の予防に関しては、予防接種が重要な意味を持ちますが、途上国においては、個人防衛のために必要であり、先進国、特にアメリカでは集団生活(留学など)を行う際に義務となります。生活習慣病に関しては、環境の変化による持ち出し病の悪化や、発症を早める可能性もあります。また、カルチャーショックによる、精神保健的な問題も生じます。

以上のような事に関し、保健管理センターの各専門医がオムニバス形式で講義を行います。

#### 〔参考書〕

保健衛生、各担当者による資料の配布

現代社会と医学

「現代社会とCommon Disease」

【全】

2単位 春・秋

コーディネーター 保健管理センター所長  
齊藤郁夫 ほか

#### 〔授業科目の内容〕

高血圧症、高脂血症、糖尿病、肥満、がんなど、日本人の代表的な病気(common disease)は、運動不足、食べ過ぎ、喫煙などの生活習慣との関連が強いことから生活習慣病と呼ばれています。また、エイズ、結核などの感染症、ストレスと関連する精神疾患も増えてきています。アメリカのBreslowは7つの健康な生活習慣、喫煙をしない、適度な飲酒、定期的な運動、適正

体重の維持、適正な睡眠時間、毎日朝食を食べる、間食をしない、について健康習慣を多く続ける人ほど加齢による老化を相対的に遅らせ、不健康な生活習慣を続ける人ほど早く老化し、死亡率も高くなっているといっています。若いときから、common diseaseについて知り、健康的な生活習慣を理解し、実行するための保健教育の意義はますます大きくなっています。下記の講義内容に関し保健管理センターの各専門家がオムニバス形式で講義を行います。

#### 〔参考書〕

保健衛生、各担当者による資料の配布

## 4 外国語教育研究センター

外国語教育研究センターでは、英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、インドネシア語、およびアラビア語の8外国語について、「表現技法」をキーワードとし、「聴く」「話す」ことから出発し、「読み」「書き」さらに「発想・思考」にいたる外国語学習本来のプロセスを尊重し、各要素のバランスのとれた外国語コミュニケーション能力が確実に身につくよう、少人数編成のクラスで授業を行います。また、超上級クラス、基礎固めのクラス、各種の検定試験に特化したクラスも用意されています。さらに、これらの設置科目のほか、学部で開講されている外国語科目の一部が外国語教育研究センターに併設されています。

外国語教育研究センターでは、夏休みに慶應立科山荘で行う外国語集中セミナーや春休みに行う海外短期語学研修、および高校生から大学院生を対象としたアカデミ

ック論文コンテストなどを企画しています。詳細が決定し次第、外国語教育研究センターのホームページや掲示で広報し、参加者を募る予定です。

以下に本年度開講される外国語教育研究センター設置科目の一覧を掲載します。ガイダンス、履修の手続き、および各科目の詳しい講義内容ならびに併設科目については、別途配布の『外国語教育研究センター 履修案内・講義要綱』を参照してください。

なお、「外国語教育研究センター履修案内・講義要綱」は外国語教育研究センター事務室でも配付します。

ガイダンス日程：4月7日（木）17：00～ J14番教室

各科目の履修希望者が定員を超えた場合は抽選あるいは選考となります。

### 外国語教育研究センター設置科目一覧（日吉）

\* 科目名に(a)(b)と標記されている科目は春(a)・秋(b)をセットで履修することが義務付けられている科目です。

\* 科目名に( )( )と標記されている科目は春( )と秋( )どちらかひとつの履修あるいは両方の履修が可能です。

\* 英語初級1・英語初級2は「半期終了科目」です。春または秋どちらかの履修しかできません。

語種	科目名	担当講師名	設置学期	曜日・時限	定員	形態	単位数
英語	英語最上級 アドバンス英語(a)	レイサイド、ジェームズ	春	月・3	25	半期	1
	英語最上級 アドバンス英語(b)	レイサイド、ジェームズ	秋			半期	1
	英語最上級 アドバンス英語	レイサイド、ジェームズ	春 秋			通年	2
	英語最上級 アドバンス英語(a)	シェイ、デイビッド	春	木・3	25	半期	1
	英語最上級 アドバンス英語(b)	シェイ、デイビッド	秋			半期	1
	英語最上級 アドバンス英語	シェイ、デイビッド	春 秋			通年	2
	英語異文化トレーニング(a)	吉田 友子	春	水・4	25	半期	1
	英語異文化トレーニング(b)	吉田 友子	秋			半期	1
	英語異文化トレーニング	吉田 友子	春 秋			通年	2
	英語ドラマ(a)	横山 千晶	春	月・2	15	半期	1
	英語ドラマ(b)	横山 千晶	秋			半期	1
	英語ドラマ	横山 千晶	春 秋			通年	2
	英語翻訳(a)	武藤 浩史	春	木・2	20	半期	1
	英語翻訳(b)	武藤 浩史	秋			半期	1
	英語翻訳	武藤 浩史	春 秋			通年	2
	英語アカデミック・ライティング(a)	スネル、ウィリアム	春	金・4	25	半期	1
	英語アカデミック・ライティング(b)	スネル、ウィリアム	秋			半期	1
	英語アカデミック・ライティング	スネル、ウィリアム	春 秋			通年	2
	英語テスト対策 TOEFL( )	中村 優治	春	火・2	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEFL( )	中村 優治	秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEFL( )	バター、アン	春	水・3	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEFL( )	バター、アン	秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEIC( )	久我 俊二	春	水・2	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC( )	久我 俊二	秋			半期	1
	英語テスト対策 TOEIC( )	バロウス、リチャード	春	月・5	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC( )	バロウス、リチャード	秋			半期	1

英語	英語テスト対策 TOEIC( Ⅰ 上級 )	バロウス、リチャード	春		木・5	30	半期	1
	英語テスト対策 TOEIC( Ⅰ 上級 )	バロウス、リチャード		秋			半期	1
	英語テスト対策 IELTS( )	ギブソン、ロバート	春		水・4	30	半期	1
	英語テスト対策 IELTS( )	ギブソン、ロバート		秋			半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション( Ⅰ 初級 )	ファロン、ルース	春		月・2	20	半期	1
	英語オーラル・プレゼンテーション( Ⅰ 初級 )	ファロン、ルース		秋			半期	1
	英語初級1( 文法・作文・リーディング )	迫村 純男	春		木・4	30	半期	1
	英語初級1( 文法・作文・リーディング )	迫村 純男		秋	木・5	30	半期	1
	英語初級2( 発音・リスニング・スピーキング )	迫村 純男	春		木・5	30	半期	1
	英語初級2( 発音・リスニング・スピーキング )	迫村 純男		秋	木・4	30	半期	1
ドイツ語	ドイツ語表現技法1( a )( 初級発音・聴解練習 )	境 一三	春				半期	1
	ドイツ語表現技法1( b )( 初級発音・聴解練習 )	境 一三		秋	金・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法1( 初級発音・聴解練習 )	境 一三	春	秋			通年	2
	ドイツ語表現技法2( a )( ポキャブラリー・トレーニング )	中山 純	春				半期	1
	ドイツ語表現技法2( b )( ポキャブラリー・トレーニング )	中山 純		秋	月・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法2( ポキャブラリー・トレーニング )	中山 純	春	秋			通年	2
	ドイツ語表現技法3( a )( 初級文章表現法 )	ゲラート、アンネ	春				半期	1
	ドイツ語表現技法3( b )( 初級文章表現法 )	ゲラート、アンネ		秋	水・4	25	半期	1
	ドイツ語表現技法3( 初級文章表現法 )	ゲラート、アンネ	春	秋			通年	2
フランス語	フランス語表現技法1( Ⅰ 課題作文 )	前島 アンヌ= マリー	春		木・1	20	半期	1
	フランス語表現技法1( Ⅰ 課題作文 )	前島 アンヌ= マリー		秋			半期	1
ロシア語	ロシア語聴解( a )( ロシア語の音のシャワーを浴びよう )	杉野 由紀	春				半期	1
	ロシア語聴解( b )( ロシア語の音のシャワーを浴びよう )	杉野 由紀		秋	金・4	25	半期	1
	ロシア語聴解( ロシア語の音のシャワーを浴びよう )	杉野 由紀	春	秋			通年	2
中国語	中国語聴解1( ) ( 上級 Ⅰ 耳で中国語をキャッチしよう )	劉 穎	春		火・4	25	半期	1
	中国語聴解1( ) ( 上級 Ⅰ 耳で中国語をキャッチしよう )	劉 穎		秋			半期	1
	中国語表現技法1( ) ( 上級 ) ( 中国語作文・翻訳技法 )	呉 敏	春				半期	1
	中国語表現技法1( ) ( 上級 ) ( 中国語作文・翻訳技法 )	呉 敏		秋	金・5	25	半期	1
スペイン語	スペイン語表現技法1( a )( 初級 )	ウエチ、ナンシー	春				半期	1
	スペイン語表現技法1( b )( 初級 )	ウエチ、ナンシー		秋	火・4	25	半期	1
	スペイン語表現技法1( 初級 )	ウエチ、ナンシー	春	秋			通年	2
	スペイン語表現技法2( a )( 中級 )	大楠 栄三	春				半期	1
	スペイン語表現技法2( b )( 中級 )	大楠 栄三		秋	金・3	25	半期	1
	スペイン語表現技法2( 中級 )	大楠 栄三	春	秋			通年	2
インドネシア語	インドネシア語ベーシック( a )	野村 亨 ダタン、フランス・アシシ	春		月・3	30	半期	2
	インドネシア語ベーシック( b )			秋			半期	2
	インドネシア語ベーシック		春	秋	金・3		通年	4
アラビア語	アラビア語( a )	高田 康一	春				半期	1
	アラビア語( b )	高田 康一		秋	水・3	30	半期	1
	アラビア語	高田 康一	春	秋			通年	2
	アラビア語( a )	高田 康一	春				半期	1
	アラビア語( b )	高田 康一		秋	水・4	30	半期	1
	アラビア語	高田 康一	春	秋			通年	2

## 2005年度 外国語教育研究センター設置科目(日吉)春学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9:00~10:30		10:45~12:15		13:00~14:30		14:45~16:15		16:30~18:00	
月			英語オーラル・プレゼンテーション( ) (初級) 英語ドラマ(a) 英語ドラマ	ファロン 横山	英語最上級アドバンス英語(a) 英語最上級アドバンス英語 インドネシア語ベーシック(a) インドネシア語ベーシック	レイザレ 野村	ドイツ語表現技法2(a) ドイツ語表現技法2	中山	英語テスト対策 TOEIC( )	バロウス
火			英語テスト対策 TOEFL( )	中村			中国語聴解1( ) (上級) スペイン語表現技法1(a) (初級) スペイン語表現技法1(初級)	劉 ウエチ		
水			英語テスト対策 TOEIC( )	久我	英語テスト対策 TOEFL( ) アラビア語(a) アラビア語	ハトラ 高田	英語異文化トレーニング(a) 英語異文化トレーニング 英語テスト対策 IELTS( ) ドイツ語表現技法3(a) ドイツ語表現技法3 アラビア語(a) アラビア語	吉田 ギブソ グレート 高田		
木	フランス語 表現技法1( )	前島	英語翻訳(a) 英語翻訳	武藤	英語最上級アドバンス英語(a) 英語最上級アドバンス英語	シェイ	英語初級1	迫村	英語テスト対策 TOEIC( ) (上級) 英語初級2	バロウス 迫村
金					スペイン語表現技法2(a) (中級) スペイン語表現技法2(中級) インドネシア語ベーシック(a) インドネシア語ベーシック	大楠 ダタン	英語アカデミックライティング(a) 英語アカデミックライティング ドイツ語表現技法1(a) ドイツ語表現技法1 ロシア語聴解(a) ロシア語聴解	スネル 境 杉野	中国語表現技法1 ( ) (上級)	呉
土										

## 2005年度 外国語教育研究センター設置科目(日吉)秋学期時間割

時限	第1時限		第2時限		第3時限		第4時限		第5時限	
曜日	9:00~10:30		10:45~12:15		13:00~14:30		14:45~16:15		16:30~18:00	
月			英語オーラル・プレゼンテーション( ) (初級) 英語ドラマ(b) 英語ドラマ	ファロン 横山	英語最上級アドバンス英語(b) 英語最上級アドバンス英語 インドネシア語ベーシック(b) インドネシア語ベーシック	レイザレ 野村	ドイツ語表現技法2(b) ドイツ語表現技法2	中山	英語テスト対策 TOEIC( )	バロウス
火			英語テスト対策 TOEFL( )	中村			中国語聴解1( ) (上級) スペイン語表現技法1(b) (初級) スペイン語表現技法1(初級)	劉 ウエチ		
水			英語テスト対策 TOEIC( )	久我	英語テスト対策 TOEFL( ) アラビア語(b) アラビア語	ハトラ 高田	英語異文化トレーニング(b) 英語異文化トレーニング 英語テスト対策 IELTS( ) ドイツ語表現技法3(b) ドイツ語表現技法3 アラビア語(b) アラビア語	吉田 ギブソ グレート 高田		
木	フランス語 表現技法1( )	前島	英語翻訳(b) 英語翻訳	武藤	英語最上級アドバンス英語(b) 英語最上級アドバンス英語	シェイ	英語初級2	迫村	英語テスト対策 TOEIC( ) (上級) 英語初級1	バロウス 迫村
金					スペイン語表現技法2(b) (中級) スペイン語表現技法2(中級) インドネシア語ベーシック(b) インドネシア語ベーシック	大楠 ダタン	英語アカデミックライティング(b) 英語アカデミックライティング ドイツ語表現技法1(b) ドイツ語表現技法1 ロシア語聴解(b) ロシア語聴解	スネル 境 杉野	中国語表現技法1 ( ) (上級)	呉
土										

## 5 情報処理教育室

情報処理教育室では、情報処理に関する講座を開講しています。

情報処理に関する知識・技術を持つことは、学生諸君にとって今や必須のこととなっています。将来、各学部専門課程に進学してからの学習・研究活動に役立つだけでなく、1年生からの学習・学内の諸活動に大変有効です。なるべく早い機会に履修しておくことを勧めます。

### 1 ガイダンス

次の2回のうち、都合の良い時間に出席してください。

4月7日(木) 14:00~14:45 J21番教室

14:45~15:30 J21番教室

### 2 受講申し込み手続き

受講する科目が決まったら、証紙券売機で受講料分の証紙を購入し、申し込み用紙に貼付して窓口へ提出してください。各講座とも定員になり次第締め切ります。

日時：4月 8日(金) 9:00~16:00

4月11日(月) 9:00~16:00

4月12日(火) 9:00~16:00

場所：日吉学事センター 情報処理教育室窓口

### 3 履修上の注意

情報処理教育室に申し込みを行った科目については、必ず各学部の履修案内にしたがって各自で履修申告をしてください。履修申告を行わないと単位は与えられませんので特に注意してください。また、受講申し込みを提出しないで履修申告をしても単位は認められません。

履修申告により単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いのないようにしてください。

### 4 問合せ先

情報処理教育室(日吉学事センター内)

### 5 平成17年度開講科目及び受講料

設置講座は受講料(12,000円)が必要です。なお、文学部、経済学部、法学部、商学部生が当年度学部設置の情報処理基礎関連の科目(文学部：基礎情報処理 経済学部：情報処理 法学部：情報処理・商学部：情報リテラシー基礎)を定員の関係で履修できずに「情報処理概論」(パソコンによる情報整理学)を申し込む場合には受講料は免除されます。申し込み方法は変更ありませんが、学生証を提示してその旨申し出てください。

## 平成17年度 情報処理教育室設置講座(日吉)

講座名	クラス	担当者	時期	定員	受講料	単位
情報処理概論	11A	恩田 憲一	通年	100	12,000円	4
	11B	斎藤 博昭		50		
情報処理概論	13A	河内谷幸子		46		
情報処理応用	31A	大野 義夫	春学期	50	5,000円	2

開講曜日・時限は学部の時間割ではなく、情報処理教育室設置講座の時間割に記載されます。授業は、学部授業と同様4月8日(金)から開始されます。

## 情報処理概論

「C言語によるプログラミング入門」 4単位 通年  
恩田 憲一

## 【授業科目の内容】

初心者を対象として、コンピュータを用いて問題を解決する事を学ぶ。実現したい機能を解析することに重点を置き、手順(アルゴリズム)の理解、組み立てと改良、およびそれを実現する具体的手段としてのプログラミング技術を習得する。当科目ではコンピュータの原理、式、変数、入出力、条件分岐、ループ、配列、ポインタ、関数、記憶クラス、スコープ、構造体、ファイル入出力など、C言語における中級レベルのプログラミング能力獲得を目標として、プログラミング演習を交えた講義を行う。また講義の終盤にはWindowsプログラムの書き方も取り上げる予定である。演習はITCのパーソナルコンピュータにインストールされたMicrosoft VisualStudio.netを使用するが、自宅PCでの学習を希望する者を対象として、フリーソフトウェアのみで構成されたプログラミング環境の構築も指導する。

## 【教科書】

河西朝雄著『入門ソフトウェアシリーズ C言語』ナツメ社(2002年 1750円)

## 【参考書】

B.W.Kernighan,D.M.Ritchie著/石田晴久訳「プログラミング言語C」共立出版(2001年、2,800円)

Charles Petzold著/長尾高弘訳「プログラミングWindows 第5版(上・下)」MicrosoftPress(2002年、各5,200円)

## 情報処理概論

「C言語によるプログラミング入門」 4単位 通年  
斎藤 博昭

## 【授業科目の内容】

C言語を使ってプログラミングの基礎を習得します。C言語は広く世の中で使われているコンピュータ言語です。難しい数学は使わず、“きちんとした考え方”をするだけで、プログラミングの楽しさを味わえます。プログラミングをすることで、コンピュータの中でどのようなことが起こっているのかがわかり、IT社会で生きていく上で必ずや役に立つでしょう。

## 【教科書】

特定の教科書は使用しません。毎回プリントを配布します。

## 【参考書】

授業時に指示します。

## 情報処理概論

「パソコンによる情報整理学」 4単位 通年  
河内谷幸子

## 【授業科目の内容】

ITCのパソコンを利用して、コンピュータの仕組みや社会との関わりを、応用プログラムの使い方を学びながら理解する。けれども、それぞれの応用プログラムの使い方を学ぶことが目的ではなく、コンピュータを利用して、情報を獲得し、整理し、必要ならば加工し、伝達するための基礎知識を学び、これからの大学生活や社会に出てからも役立たせることが目的である。したがって、パソコンの使い方を憶えるのではなく、コンピュータのハードウェア、ソフトウェアの仕組みについて理解し、ネットワークを用いたコミュニケーションについても理解することが大切である。この講義では、できるだけ多くの実習をとり入れる予定であるが、限られた時間の中で細かな点までを教えることは到底できない。諸君が空いた時間を利用して、自発的に実習することが前提になっている。

## 【教科書】

山本喜一著『入門情報処理』J.B.企画(2100円)

## 情報処理応用

「コンピュータ・グラフィックス」 2単位 春  
大野 義夫

## 【授業科目の内容】

コンピュータを用いて画像やアニメーションを作る技術を、実習中心として学ぶ。実習には、大学のパソコンを使用し、フリーソフトであるPOV-Rayを用いる。フリーソフトなので、自宅のパソコンで続きを行うことも可能である。

## 【教科書】

特定の教科書は使いません。必要な教材はPowerPointファイルなどとしてWebに掲示します。

## 【参考書】

小室日出樹『はじめてのCG-POV-Rayで出会う3DCGの基礎』CG-ARTS協会

## 6 教養研究センター

### 大学教養研究センター設置科目(極東証券寄附講座)

人類の知的営為の成果を継承・発展させることは大学の重要な役割のひとつです。また、大学には実際に広大な「知」の世界が広がっています。この世界に触れることで多様な価値観を知り、そこから自分の関心と進むべき方向を定めることは有意義な大学生活を送るための不可欠な作業です。と同時に、大学では「自らを考え、選び、学ぶこと」も求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を支える「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。

そのために、教養研究センターでは、極東証券寄附講座として「生命の教養学」(春学期Iコマ)と「アカデミック・スキルズI」(春学期3コマ)、「同」(秋学期3コマ)を授業設置しています。「生命と自己」をキーワードとする「生命の教養学」は、広大な「知」の世界に触れるためのきっかけとなるはずの授業です。「アカデミック・スキルズ」の目的は、「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを、グループ作業と個人研究を通じて身につけることにあります。

#### 1. 平成 17 年度開講科目

春学期「アカデミック・スキルズI」(2単位)

月曜日5時限 定員15名

春学期「アカデミック・スキルズI」(2単位)

水曜日5時限 定員15名

春学期「アカデミック・スキルズI」(2単位)

木曜日5時限 定員15名

秋学期「アカデミック・スキルズ」(2単位)

月曜日5時限 定員15名

秋学期「アカデミック・スキルズ」(2単位)

水曜日5時限 定員15名

秋学期「アカデミック・スキルズ」(2単位)

木曜日5時限 定員15名

春学期「生命の教養学」(2単位)

木曜日3時限 定員120名

#### 2. ガイダンス

履修希望者は下記のガイダンスに必ず出席してください。積極的な履修を期待します。

教養研究センター設置科目全体ガイダンス

4月7日(木) 14:30~16:00

会場: J11番教室

科目・クラス別ガイダンス

1)「生命の教養学」

4月14日(木) 13:00~

会場: 来往舎IFシンポジウム・スペース

2)「アカデミック・スキルズ( / )」

4月11日(月) 16:30~

会場: 来往舎IFシンポジウム・スペース

4月13日(水) 16:30~

会場: 来往舎IFシンポジウム・スペース

4月14日(木) 16:30~

会場: 来往舎IFシンポジウム・スペース

#### 3. 受講申込み手続き

上記のガイダンス(初回の授業)に出席し、その際に氏名登録した学生のみ「受講申込み」の権利を与えます。ただし、定員オーバーの場合には抽選を行います。

「授業申込み」の権利を得た学生は、所属学部の履修案内にしたがって「履修申告」をしてください。

#### 4. 履修上の注意

教養研究センターの科目については、単位がどのように与えられるかは学部によって異なります。学部の履修案内を熟読して間違いのないようにしてください。

成績評価は各科目につきますが、履修上、次のことに注意してください。

\* 水曜日設置の「アカデミック・スキルズ」は春学期・法学部設置「身体/感覚文化」(水曜日2時限)とのセット履修になります。

\* 月・木曜日設置の「アカデミック・スキルズ」は春学期・教養研究センター設置「生命の教養学」(木曜日3時限)とのセット履修になります。

\* 「生命の教養学」だけを単独科目として履修することは可能です。

\* 「アカデミック・スキルズ」の履修希望者は、必ずそれぞれのセット授業の初回授業(ガイダンス)に参加してください。

#### 5. 問合せ先

教養研究センター事務室(来往舎I階事務室)

教養研究センター極東証券寄附講座担当

(TEL 045-566-1151 平日 8:30~16:30)

教養研究センター極東証券寄附講座

「アカデミック・スキルズ」[春学期]

「知の基盤を築く・」

湯川 武	近藤明彦
佐藤 望	石原あえか
鈴木伸一	鷗崎明彦
武藤浩史	横山千晶
	ほか

#### 【授業科目の内容】

大学では「自ら考え、調べ、論ずること」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生

を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。

「アカデミック・スキルズ」は、多分野にまたがる複数の教員によって行なわれる、学生の自主性を尊重し、かつ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、基礎編「アカデミック・スキルズⅠ」[春学期]と応用編にあたる「アカデミック・スキルズⅡ」[秋学期]がそれぞれ3コマ開講されます。

「アカデミック・スキルズⅠ」の履修者は、原則として秋学期に「アカデミック・スキルズⅡ」を履修することになります。また、「アカデミック・スキルズⅡ」の履修者は、必ず教養研究センター春学期設置の「生命の教養学」、もしくは法学部春学期設置の「身体/感覚文化」を併せて履修し、これらの授業で扱われた内容から「アカデミック・スキルズⅡ」における作業テーマを選び取ることとなります。したがって、「アカデミック・スキルズⅡ」(月・木曜日)と「生命の教養学」、あるいは「アカデミック・スキルズⅡ」(水曜日)と「身体/感覚文化」のセット履修が条件となります。

各「アカデミック・スキルズ」の定員は15名です。履修希望者が多い場合は抽選となります。履修希望者は、ガイダンス・ウィークに行なわれる「アカデミック・スキルズⅠ」およびセット授業となる「生命の教養学」もしくは「身体/感覚文化」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

#### 【教科書】

プリントを配布します。

#### 【参考書】

授業を通じて適宜指示します。

教養研究センター極東証券寄附講座  
「アカデミック・スキルズⅡ」[秋学期]  
「 知の基盤を築く・ 」

湯川 武	近藤明彦
佐藤 望	石原あえか
鈴木伸一	鷗崎明彦
武藤浩史	横山千晶
	ほか

#### 【授業科目の内容】

大学では「自ら考え、調べ、論ずること」が求められます。これは学問研究の出発点であると共に、長い人生を送る上で不可欠な「教養」という知的基礎体力を身につけるための基盤でもあります。そこでこの「自ら考え、調べ、論ずること」の体得を目指して、問題意識の喚起、具体的な問題発見に始まり、問題解決に至るまでに必要とされるさまざまな学問的・知的作業のためのスキルを身につけることがこの授業の目的です。

「アカデミック・スキルズ」は、多分野にまたがる複数の教員によって行なわれる、学生の自主性を尊重し、

かつ学問的関心を活性化させるための少人数セミナー形式の授業で、基礎編「アカデミック・スキルズⅠ」[春学期]と応用編にあたる「アカデミック・スキルズⅡ」[秋学期]がそれぞれ3コマ開講されます。

「アカデミック・スキルズⅡ」の履修は、原則として春学期に「アカデミック・スキルズⅡ」を履修することを前提とします。また、「アカデミック・スキルズⅡ」の履修者は、必ず教養研究センター春学期設置の「生命の教養学」、もしくは法学部春学期設置の「身体/感覚文化」を併せて履修し、これらの授業で扱われた内容から「アカデミック・スキルズⅡ」における作業テーマを選び取ることとなります。したがって、「アカデミック・スキルズⅡ」(月・木曜日)と「生命の教養学」、あるいは「アカデミック・スキルズⅡ」(水曜日)と「身体/感覚文化」のセット履修が条件となります。

各「アカデミック・スキルズ」の定員は15名です。履修希望者が多い場合は抽選となります。「アカデミック・スキルズⅡ」の履修希望者は、春学期のガイダンス・ウィークに行なわれる「アカデミック・スキルズⅡ」のガイダンスに必ず出席して説明を受けてください。

#### 【教科書】

プリントを配布します。

#### 【参考書】

授業を通じて適宜指示します。

教養研究センター極東証券寄附講座「生命の教養学」  
「生命と自己 今、『自分』が、『生きている』とは？」

石原あえか 熊倉 敬聡  
鈴木 伸一 武藤 浩史

#### 【授業科目の内容】

21世紀の人間社会において、生命科学の飛躍的な発展に伴う諸問題の生起とともに、そして複雑化する現代社会の生き難さとともに、ますます重要度を増してきた「生命」というテーマをめぐる、文系と理系のあらゆる学部を横断する総合的・複合的思考力の構築を目指した講義を行いたい。そのために、当講座では、塾内外を問わず第一線で活躍する研究者等を講師に招いて多彩な領域における多彩な講義を展開する。コーディネーター役は本塾の4人が担当する。

春学期開講の本年度は、「生命と自己」というテーマを設定して、「自分」が「生きている」という一見自明に思えて実のところは不思議きわまりない事態を、さまざまな観点から、根源的に見直してみたいと思う。脳科学と哲学と芸術と仏教などが出会う、他に類のない刺激的な場所にしたいと思っている。なお、定員は120名とする。

## 7 国際センター

### 研究講座

多くの方に外国および日本の文化や社会、国際関係を理解していただく為に国際センターでは英語による講座を開講しています。国際研究講座では、米国、カナダ、オーストラリア、アジア、ラテンアメリカ等、様々な国・地域を取り扱っています。一方日本研究講座では、経済、産業、文学、芸術、マスコミなど幅広い側面から日本を探究します。

内容については、国際センター発行のパンフレットもしくは以下のURLを参照してください。

<http://www.ic.keio.ac.jp/jp/iccourses/index.html>

履修に際して注意すべき点は次のとおりです。

- 1 講義は英語で行われます。
- 2 本講座の履修単位の取り扱いは各学部により異なるので、各学部の学習指導要項で確認すること。
- 3 受講手続は学事センター（履修申告）ですること。
- 4 参考書などは大学生協で購入すること。

### 在外研修プログラム

慶應義塾大学では、全学部および研究科に在籍している学生を対象に、夏季休業中に海外で在外研修プログラム「慶應義塾大学・ウィリアム・アンド・メアリー大学夏季講座」「慶應義塾大学・ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ夏季講座」を開講します。

これは、外国語による講義およびディスカッションのほか、大学内の寮生活などを初めとする多彩な諸活動を通して、さまざまな異文化交流を体験することで、国際性豊かな学生を育成することを目的としています。

短期間に質の高い充実した内容が盛り込まれていますので、海外生活体験をしたい方、外国語によるコミュニケーション能力向上を期待する方、将来長期の留学を考えている方などにとって、ふさわしい講座といえるでしょう。

形態は原則として、往復とも大学手配の航空便による団体旅行形式で、現地研修には本学の教職員が同行します。

また、現地への出発前には事前研修を数回実施します。（事後研修を実施する場合もあります。）

また、環境をめぐるテーマを扱い、講義やディスカッションだけでなく豊かな自然環境を活かした体験学習旅行を含むワシントン大学でのプログラムを今年度から開設します。

このほか、春季休業期間中には、パリ政治学院の講師陣によるEUに関する講義のほか、フランス語会話のクラスやEUの諸機関の訪問も含む「パリ政治学院春季講座」についても引き続き実施することを計画しています。

これら2つのプログラムについては国際センターのホームページを参照してください。

なお、プログラムは、自然災害、戦争、航空機等交通

機関にかかわる事故ならびに前記以外の人為的、不慮不可抗力による事故などのために中止する場合があります。をあらかじめご了承ください。

### 【問合せ先】

三田国際センター

URL : <http://www.ic.keio.ac.jp/j-index.html>

詳細や変更は、随時ホームページ等で発表します。

### 【ガイダンス】

4月4日（月）三田528番教室 13:00～14:30

4月5日（火）SFC 12番教室 15:45～17:15

4月6日（水）矢上14-201番教室 13:00～14:30

日吉J11番教室 17:00～18:30

### 慶應義塾大学・ウィリアム・アンド・メアリー大学 夏季講座

ウィリアム・アンド・メアリー大学は、米国東海岸ヴァージニア州ウィリアムズバーグにあり、教育・研究で高い評価を得ている州立大学です。創立は1693年で、アメリカではハーバード大学について古い歴史を誇っています。

本講座は、毎年定められるテーマに沿った英語による講義、グループワーク、フィールドワーク、インタビュー、プレゼンテーション等で構成されています。また、大学内での寮生活や、ボランティアワーク、住民との交流、講演会、ワシントンDC近郊の家庭でのホームステイ等を通じ、さまざまな異文化交流を体験することができます。

### 【現地研修期間】

2005年7月29日（金）～8月16日（火）（予定）

4月下旬より事前研修（6回程度）、また、帰国後には事後研修（2回程度）を行います。

### 【研修内容】

ウィリアム・アンド・メアリー大学の教員による講義および質疑応答、ダイアログクラス、ウィリアム・アンド・メアリー大生をまじえてのグループワーク、フィールドワーク、プレゼンテーション、ワシントンDC近郊の家庭でのホームステイなど

### 単位数：

4単位

本講座の科目は、卒業に必要な単位として認められることがあります。その扱いは各学部・研究科によって異なりますので各自確認をしてください。

### 【参加申込について】

(1) 募集人数 40名(提出書類により選考を行ないます。)

(2) 募集対象 全学部、研究科正規生（ただし通信教育部をのぞく）

(3) 提出書類

1 参加申込書（所定用紙）

2 学習計画書（日本語および英語、各A4一枚程度）

3 最新の学業成績表のコピー（3月中旬に保証人宛て

に送付されるもの、1年生は不要)

- 4 英語能力証明書のコピー (TOEFL、TOEIC、各種英語検定など)
- 5 RESEARCH PROPOSAL (所定用紙) 書類選考後、グループ分けの時に利用します。

(4) 募集期間 4月7日(木)～4月14日(木)

(5) 選考結果発表 4月28日(木) 13:00(予定)

#### 慶應義塾大学 - ケンブリッジ大学ダウニングコレッジ 夏季講座

ケンブリッジ大学は、オックスフォード大学と並ぶ英国の名門校で、美しいキャンパスは勉学に最適な環境にあります。

授業は英語による講義、ケンブリッジ大学在籍生を交えてのディスカッション、エッセイの作成・提出を中心としており、ケンブリッジ大学の教員が指導にあたります。講座期間中は、専門分野の知識を深めるだけでなく、ダウニングコレッジ内での寮生活や、ケンブリッジ大生が企画する諸活動に積極的に参加することで、幅広い異文化交流を体験することができます。

#### 【現地研修期間】

2004年8月8日(月)～9月7日(水)(予定)

5月～7月に三田キャンパスにて事前研修を3回程度行います。

#### 【講義日程】

現地研修期間第1週

English & writing preparation classes

現地研修期間第2～4週

下記の6科目から3科目選択履修

開講予定科目

English Literature, Society and Politics in Contemporary Britain,

Ancient Greece and Western Civilization,

Astronomy: Unveiling the Universe, The Science of Chaos, Genethics : ethical issues arising from development in genetics

各クラス30名定員。事前に参加者の希望をもとに履修科目の調整を行います。

なお開講科目は、事情により変更されることがあります。

#### 【研修内容】

ケンブリッジ大学の教員による講義および質疑応答(午前)

ケンブリッジ大生(TA: Teaching Assistant)をまじえてのディスカッション(午後)、エッセイ作成・提出。

単位数:

4単位

本講座の科目は、卒業に必要な単位として認められることがあります。その扱いは各学部・研究科によって異なりますので各自確認をしてください。

#### 【参加申込について】

- (1) 募集人数 60名(提出書類により選考を行いません。)
- (2) 募集対象 全学部、研究科正規生(ただし通信教育部をのぞく)
- (3) 提出書類

- 1 参加申込書(所定用紙)
  - 2 学習計画書(日本語および英語、各A4一枚程度)
  - 3 最新の学業成績表のコピー(3月中旬に保証人宛てに送付されるもの、1年生は不要)
  - 4 英語能力証明書のコピー(TOEFL、TOEIC、各種英語検定など)
  - 5 履修希望科目申告表(所定用紙)
- (4) 募集期間 4月7日(木)～4月14日(木)
- (5) 選考結果発表 4月28日(木) 13:00(予定)

## 8 言語文化研究所

言語文化研究所特殊講座は三田に設置されています。時間割は文学部（2・3・4年）時間割に掲載してありますので履修希望者は文学部時間割を参照してください。

〔参考〕平成17年度言語文化研究所特殊講座

科目名	教員名	単位数
サンスクリットI（初級）	土田龍太郎	通年 2単位
サンスクリットII（中級）	土田龍太郎	
アラビア語I（基礎）	尾崎貴久子	
アラビア語II（現代文講読）	稲葉隆政	
アラビア語II（古典）	岩見 隆	
アラビア語文献講読	岩見 隆	
ヴェトナム語I（初級）	春日 淳	
ヴェトナム語II（中級）	嶋尾 稔	
ヴェトナム語文献講読	嶋尾 稔	
ペルシア語I（初級）	関 喜房	
ペルシア語II（中級）	岩見 隆	
タイ語I（初級）	三上直光	
タイ語II（中級）	ポンシー・ライト	
トルコ語I（初級）	アイドゥン・ヤマンラール	
トルコ語II（中級）	アイドゥン・ヤマンラール	
朝鮮語文献講読	野村伸一（春学期） 李 泰文（秋学期）	
カンボジア語I（初級）	三上直光	
ヘブライ語I（初級）	笈川博一	
ヘブライ語II（中級）	笈川博一	
古代エジプト語I（初級）	笈川博一	
古代エジプト語II（中級）	笈川博一	
アッカド語I（初級）	高井啓介	
アッカド語II（中級）	高井啓介	

日吉キャンパスに設置されている「特殊研究」および「基礎演習」の科目（研究生以外は履修不可）についての講義内容等は、メディア・コミュニケーション研究所で配布される案内を参照のこと。

---

 サンスクリット (初級)

 言語文化研究所 講師 土田龍太郎
 

---

**〔授業科目の内容〕**

サンスクリット語入門の講義である。ほぼ一年かけて、サンスクリット語文法体系のあらましを修得することを目的とする。参加者は、練習問題の予習が必要となる。

**〔教科書〕**

ヤン・ホンダ著・鎧淳譯『サンスクリット語初等文法』春秋社 辻直四郎著『サンスクリット文法』岩波書店

---

## サンスクリット (中級)

 言語文化研究所 講師 土田龍太郎
 

---

**〔授業科目の内容〕**

サンスクリット語の初歩をすでに一通り修得したもののための授業である。

テキスト等は参加者の希望で決める。

---

## アラビア語 (基礎)

 言語文化研究所 尾崎貴久子
 

---

**〔授業科目の内容〕**

正則アラビア語(フスハー)のアラビア文字の読み方、綴り方からはじめ、一年間で基礎文法を習得することを目的とします。また正則アラビア語による簡単な日常会話フレーズも練習します。

**〔教科書〕**

佐々木淑子著『アラビア語入門』(翔文社、2004年、1800円)

必要に応じて説明補助プリント、練習問題を配布します。

**〔参考書〕**

David Cowan, An introduction to Modern Literary Arabic (Cambridge University Press)

---

## アラビア語 (現代文講読)

 言語文化研究所 講師 稲葉隆政
 

---

**〔授業科目の内容〕**

基礎文法を学んだ人を対象として現代文の講読を行う。講読を通じて文章の基本的構造に対する理解を深め、併せて読解力を養成することを目的とする。

授業は、極めて平易な文章から読み始め、既習の基礎的知識を再確認しながら順次程度の高い文章を講読し、文語学習の当面の目標の一つである、母音記号等補助記号がついていない文章に対処できる力をつけることを目指す。

**〔教科書〕**

プリントを配布します。

---

## アラビア語 (古典)

 言語文化研究所 講師 岩見 隆
 

---

**〔授業科目の内容〕**

母音符号のついていない普通のアラビア語テキストを読めるようになるための演習です。文法の知識をテキスト読みにどう生かすかを課題としてやります。

**〔教科書〕**

Brünnow-Fischer: Arabische Chrestomathie プリントで配ります

**〔参考書〕**

井筒俊彦: アラビア語入門、慶應出版社1950

---

## アラビア語文献講読

 言語文化研究所 講師 岩見 隆
 

---

**〔授業科目の内容〕**

アラビア語の定評ある古典の中、平易な散文(叙事の文)をあたりまえに読めるようになることを目指します。

**〔教科書〕**

受講者と相談して決めます

**〔参考書〕**

Wright: Arabic Grammar Cambridge Univ. Press, 1962

---

## ヴェトナム語 (初級)

 言語文化研究所 講師 春日 淳
 

---

**〔授業科目の内容〕**

ベトナム語を初歩から学び、初級文法を一通り終える。最初は発音と綴り字から始め、初歩的な会話が可能程度を目指す。

**〔教科書〕**

『ベトナム語入門』(慶應義塾外国語学校)

---

## ヴェトナム語 (中級)

 言語文化研究所 助教授 嶋尾 稔
 

---

**〔授業科目の内容〕**

初級ヴェトナム語を学び終えた人を対象に文献講読を行う。最初は簡単なものから始めるが、受講者のレベル・要望に応じて、雑誌・新聞の記事などを読んでいくことにしたい。

**〔教科書〕**

初回に受講者と相談して決める。

**〔参考書〕**

初回に指示する

---

## ヴェトナム語文献講読

 言語文化研究所 助教授 嶋尾 稔
 

---

**〔授業科目の内容〕**

ヴェトナム語で書かれた歴史関係の論文あるいは研究

---

書を講読する。

【教科書】

初回に受講者と相談して決める

【参考書】

初回に指示する

ペルシア語 (初級)

言語文化研究所 講師 関 喜房

【授業科目の内容】

現代ペルシア語文法を全くの初歩から講義します。教科書の文法が終わり次第、易しい文章を読むつもりです。その際、文法書には記されていない文法上の例外事項などについて詳しく説明するつもりです。

【教科書】

岡崎正孝著『基礎ペルシア語』(大学書林)

【参考書】

黒柳恒男著『ペルシア語の話』大学書林

ペルシア語 (中級)

言語文化研究所 講師 岩見 隆

【授業科目の内容】

ペルシア語の文の流れをつかみとれるように、平易なペルシア語散文をできるだけたくさん読みます。

【教科書】

受講する人と相談して決めます。

【参考書】

Lambton : Persian grammar. Cambridge Univ. Press, 1974

タイ語 (初級)

言語文化研究所 教授 三上直光

【授業科目の内容】

タイ語入門講座。発音、文字の読み書き、初級文法、基本表現の修得を目標とします。

【教科書】

開講時に指示します。

タイ語 (中級)

言語文化研究所 講師 ポンシー・ライト

【授業科目の内容】

このクラスでは、主にタイの小学校二年生の教科書から短編ストーリーを抜粋し、読解力、ライティングの向上を目指します。

更にスピーキング・リスニングによる理解にも、焦点をあてていきます。

【教科書】

特に指定しません。

講義資料プリントを配布します。

トルコ語 (初級)

言語文化研究所 講師 アイドウン・ヤマンラール

【授業科目の内容】

トルコ共和国の現代トルコ語初級文法を講義します。基礎的な文法事項を学習しますが、簡単な講読も行います。

【教科書】

プリント使用

トルコ語 (中級)

言語文化研究所 講師 アイドウン・ヤマンラール

【授業科目の内容】

初級文法を学んだ人を対象に講読を行います。文法事項の復習にも重点を置きます。

【教科書】

プリント使用

【成績評価方法】

平常点：出席状況および授業態度による評価

朝鮮語文献講読

〔春学期〕文学部教授 野村伸一

〔秋学期〕言語文化研究所 講師 李 泰文

【授業科目の内容】

朝鮮民族、朝鮮社会、朝鮮の文化を知るためのテキストを購読します。読む対象は言語で表現されたものを第一義としつつ、随時、図像、写真、映像などを解読します。対象とする時代は特に限定しませんが、現代の朝鮮民族を理解するためには、やはり近代を扱う必要があります。一冊の本を選択し講読するかたちになります。

【教科書】

開講時に指定します。

カンボジア語 (初級)

言語文化研究所 教授 三上直光

【授業科目の内容】

カンボジア語入門講座。発音、文字の読み書き、初級文法、基本表現の修得を目標とします。

【教科書】

開講時に指示します。

古代ヘブライ語 (初級)

言語文化研究所 講師 笈川博一

【授業科目の内容】

旧約聖書ヘブライ語の初歩。まったくの初心者想定している。

【教科書】

テキストは比較的繰り返しが多い創世記を用いるが、プリントを授業で配布する。

---

古代ヘブライ語 (中級)  
言語文化研究所 講師 笈川博一

---

**〔授業科目の内容〕**

旧約聖書サムエル記の講読。

**〔教科書〕**

テキストはプリントを授業で配布する。

**〔参考書〕**

英語ないしドイツ語による辞書(¥2500~¥10000)が必要となるが、それについては授業で案内する。

---

古代エジプト語 (初級)  
言語文化研究所 講師 笈川博一

---

**〔授業科目の内容〕**

文法体系が比較的よく分かっている後期エジプト語の初歩。まったくの初心者をも想定している。

**〔教科書〕**

テキストは「ヴェナモン」を用いるが、プリントを授業で配布する。

**〔参考書〕**

5月ごろから辞書(約¥9000)が必要となるが、それについては授業で案内する。

---

古代エジプト語 (中級)  
言語文化研究所 講師 笈川博一

---

**〔授業科目の内容〕**

中期エジプト語の初歩。

**〔教科書〕**

テキストは「難破した水夫」であるが、プリントを授業で配布する。

**〔参考書〕**

辞書はRaymond O. Faulkner "A Concise Dictionary of Middle Egyptian" Oxford (Amazon JPで¥3542)、あるいはその日本語訳が必要となる。

---

アッカド語 (初級)  
言語文化研究所 講師 高井啓介

---

**〔授業科目の内容〕**

アッカド語を学ぶ際の基礎となる古バビロニア方言(Old Babylonian)の初級文法及び文字表記システムの修得を目的とします。下記に指定した教科書を使いますが、足りないところは適宜プリントによって補っていく予定です。文法事項を学び進めながら、アッカド語が記されるときに使われた楔形文字のうち主要なものを覚えていきます。秋学期以降には、ハンムラビ法典など著名な作品の雰囲気にも触れていきたいと考えています。

**〔教科書〕**

Richard Caplice, *Introduction to Akkadian* (Biblical Institute Press)

**〔参考書〕**

開講時に指示します。

---

アッカド語 (中級)  
言語文化研究所 講師 高井啓介

---

**〔授業科目の内容〕**

アッカド語の初級文法を一通り学んだ人を対象に文献講読を行います。文法事項の再度確認しながら、簡単なものからはじめていろいろなジャンルのテキストを読んでいくことにします。具体的なテキストは受講者と相談して選びます。

**〔教科書〕**

テキストはプリントを準備します。

## 9 知的資産センター設置講座（平成17年度開講）

### 1. 知的資産センター設置講座開講にあたり

慶應義塾大学では、研究成果の社会への還元を、教育・研究と並ぶ大学の使命と考えています。そして、「慶應義塾で生れた研究成果は義塾にとって貴重な知的資産であり、大学はこれら知的資産の保護と活用を積極的に促進・支援する」という理念を公表しています。

こうした方針に基づき、知的資産センターは慶應義塾で生れた研究成果を社会へ還元するために、慶應義塾大学の技術移転機関として1998年11月に設立されました。技術に関するものだけでなく、電子メディアを始めとして広汎な研究成果を対象とするとともに、新しい事業の創出に資するという意味をこめて「知的資産センター」と名付けられました。

知的資産センターの事業は、研究成果の特許保護、技術の移転、起業の支援と拡大しています。そして、教職員の熱意と高いポテンシャルをもった研究成果に支えられ、既に数多くの慶應義塾の特許出願が生まれ、技術移転も活発化し、多くの新製品を生み出しています。さらに、バイオ分野を中心にベンチャー企業のスタートアップも相次いでいます。

また、知的資産センターは技術移転に密接に関係する知的財産に関する教育・研究も任務としています。

情報技術の劇的な革新に伴い電子メディア、ビジネスモデル特許に代表されるように、知的財産は社会のあらゆる分野に密接に関係してきました。こうした時代の変化に対応していくためには、専攻分野に係わらず知的財産に関する幅広い知識と理解が求められています。

そこで、知的財産に関する教育の一環として、全学部 of 学生を対象として知的財産全般について基本的な事項の理解を図るため、設置講座を開設しました。

### 2. 設置科目、履修上の取扱いについて

今年度は「知的資産概論」の1科目を、春学期 三田キャンパスで開講します。

授業時間は水曜日 18:10~19:40、単位は2単位です。その他授業に関する情報は、三田掲示板、<http://www.ipc.keio.ac.jp>でお知らせします。受講を希望する場合は、履修の取扱いについて各学部、研究科の履修案内で確認の上、各学部窓口で履修申告をしてください。

#### 知的資産概論

「知的財産の保護と活用をめぐる課題（ナテグリニド特別講座）」  
知的資産センター所長（商学部教授） 清水 啓助

#### 〔授業科目の内容〕

研究活動や創造活動の成果を知的財産として、戦略的に保護・活用し、我が国産業の国際競争力を強化するという国家戦略が策定され、知的財産に対する関心は高まっています。知的財産には、技術（特許）、デザイン

（意匠）、ブランド（商標）、音楽・映画のコンテンツ（著作権）といったものがあり、権利の内容や活用法はそれぞれ固有な特色があります。本講義では、代表的な知的財産の権利保護・活用における現状と課題についての理解を深め、知的財産に関する幅広い知識を得ることを目標とします。

#### 〔教科書〕

講義資料を配布します。

#### 〔参考書〕

清水啓助他著「知的創造時代の知的財産」慶應義塾大学出版会

竹田著「特許がわかる12章」ダイヤモンド社

岡本著「著作権の考え方」岩波新書

#### 〔授業の計画〕（内容と順序は変更になる場合があります）

1. 知的財産の新たな時代
2. 特許の仕組み
3. 著作権の仕組み
4. 商標ブランドの価値
5. マルチメディアに関する知的財産
6. キャラクタービジネス
7. 音楽に関する著作権問題
8. 企業における知的財産戦略
9. 知的財産に関する世界の動向
10. 知的財産の紛争処理
11. ベンチャー・起業の仕組み
12. 知的財産ビジネス
13. 技術の移転

なお、講義は外部講師を含め、オムニバス形式で行います。

#### 〔担当教員から履修者へのコメント〕

積極的に学ぶ意欲を持つ学生を歓迎します。

単位の取扱いについては、学部により異なりますので注意してください。

#### 〔成績評価方法〕

平常点及びレポートによる評価

#### 〔質問・相談〕

授業の最後に質問の時間を設けます。

## 10 教職課程センター

教員免許を取得しようと考えている学生は、「教職課程」を履修しなければなりません。本塾大学では「教職課程センター」が、教職課程履修者の指導に当たっています。

教職課程センターでは、毎年学年初めに教職課程の履修を希望する学生を対象に「教職課程ガイダンス」を実施しています。履修希望者は、その教職課程ガイダンスに出席し、本塾大学における教員養成について十分理解した上で、教職課程を履修してください。

1998年に教育職員免許法の改正がなされ、2000年度入学者から新免許法が適用されることになりました。それ以前に入学した人は88年改正免許法が適用されます。したがって、入学年度により免許状取得に必要な履修科目および単位数が異なりますので、注意してください。

以下の説明は、98年改正法適用者向けとなっています。

本塾大学の教職課程で取得できる教員免許状の種類および教科は以下のとおりです。

文学部	人文社会学科	中学校 1種	国語、社会、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語）
		高等学校 1種	国語、地理歴史、公民、外国語（英語・ドイツ語・フランス語・中国語） 情報
経済学部	経済学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
法学部	法律学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
	政治学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民
商学部	商学科	中学校 1種	社会
		高等学校 1種	地理歴史、公民、商業
理工学部	機械工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	数学
		高等学校 1種	工業
	電子工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	数学
	応用化学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	工業
	物理情報工学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	理科
	管理工学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	情報
	数理科学科	中学校 1種	数学
		高等学校 1種	情報
	物理学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	理科
	化学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	理科
	システムデザイン工学科	中学校 1種	理科
		高等学校 1種	情報
	情報工学科	中学校 1種	数学
高等学校 1種		情報	
生命情報学科	中学校 1種	理科	
	高等学校 1種	理科	

## 教職課程履修案内

### 【教職課程の履修・登録の学年について】

#### 1 教職課程の履修学年

教職課程を区分しますと、次の4領域にわたっています。

- (1) 教科に関する科目
- (2) 教職に関する科目
- (3) 教科又は教職に関する科目
- (4) (1)と(2)と(3)以外の科目

以上のうち、(1)はそのほとんどを第3学年から履修します。(2)および(3)は第2学年から履修できます。(4)は「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけるための科目で、学部によって名称が異なりますが、総合教育科目などと呼ばれている科目です。この科目は第1学年から履修します。以上はおおよその目安であり、学部のカリキュラムによって多少の違いがあります。

(注) 法学部秋学期入学の学生は教職課程の履修の仕方に異なる点がありますから、個別に学習指導を受けてください。

#### 2 教職課程の登録

教職課程を履修しようとする人は、所定の登録をしなければなりません。教職課程登録は第2学年から行っています。

登録学年		登録場所
文学部	第2学年	(三田)教職課程センター
経済学部	第2学年	(日吉)学事センター
法学部	第2学年	
商学部	第2学年	
理工学部	第2学年	

参考：登録の際「教職課程費」(現行30,000円)を納入しなければなりません。

### 【2 科目の履修について】

前述の教職課程の4つの領域について、各領域ごとにその履修解説をしておきます。

#### 1 教科に関する科目

この科目群の詳細については、教職課程の登録の際の三田または矢上で行われる「教職課程ガイダンス」で学習指導担当者が説明します。ここでは履修上学生がよく誤解する点のみ以下に述べます。

- (1) 「教科に関する科目」は、学則上以下の3つの科目区分にわたって設置されています。
  - 所属学部・学科の専門的領域に属する科目
  - 各学部・学科の「教職課程教科に関する科目」
  - 教職課程センター設置の「教科に関する科目」

この科目の名称は、学部ごとに異なり、以下のようになっています。

文学部                    専門教育科目

経済学部                専門教育科目  
 法学部法律学科        法律学科目  
 法学部政治学科        政治学科目、社会科学科目  
 商学部                    専攻科目  
 理工学部                専門教育科目、基礎教育科目

以上の科目のうちすべてが「教科に関する科目」とはなりません。当該学部・学科で取得できる免許教科に関連する科目が「教科に関する科目」となります。学部1・2学年に配当されている所属学部・学科の科目のうち、この科目にあたるものがありますので、なるべく単位を取得しておく方が望ましいです。第1・2学年に配当されている「教科に関する科目」のうち、特に第1・2学年で単位取得が望ましい科目については、4月の「教職課程ガイダンス」で説明しますので、必ず出席するようにしてください。

この科目は、第2学年以降で履修しますので、教職課程登録を行う学年に進級した際に各キャンパスで行われる「教職課程ガイダンス」に出席し、学習指導担当者の説明を聞いて履修してください。

- (2) 同一名称や類似名称の科目であっても、専門教育科目・法律学科目・政治学科目・専攻科目および「教職課程教科に関する科目」でない科目は、原則として「教科に関する科目」とならないので、注意してください。詳細につきましては、「教職課程ガイダンス」で説明します。

#### 2 教職に関する科目

「教職に関する科目」は、教職課程を登録する学年から履修できます。これらの科目に関する学部での履修上の扱いは、多くは「自由科目」となっています。学部によって「自由科目」の扱いが異なる場合がありますので、学生諸君は履修申告の際、十分注意をはらう必要があります。

#### 3 教科又は教職に関する科目

主に三田キャンパスに設置されている科目です。履修については「教職課程ガイダンス」で説明します。

#### 4 1、2、3以外の科目

教育職員免許法施行規則には「教員として必要な幅広く深い教養」を身につけることが規定されています。各学部で以下のような科目区分で設置されている科目を所属学部・学科の学則に従って履修すれば、この規定の要件は達成されます。

文学部                    総合教育科目  
 経済学部                総合教育科目、保健体育科目  
 法学部                    人文科学科目、自然科学科目、数学・統計・情報処理科目、社会科学科目、保健体育科目  
 商学部                    総合教育科目  
 理工学部                総合教育科目

しかし、教員免許取得のためには、特に、次の単位が

必修となっていますので注意してください。

(1)「法学(憲法を含む)」必修

(2)「体育」2単位必修

このうち、1単位は必ず実技科目でなくてはなりません。残りの1単位は、体育学講義、体育学演習、体育実技のうちから選択できます。

(3)「外国語コミュニケーション」必修

卒業するための単位に含まれている外国語に関する必修科目を履修することによって単位修得できます。

(4)「情報機器の操作」必修

以下の科目のいずれかを修得しなければなりません。

文学部 基礎情報処理

経済学部 情報処理I・II・III

法学部 情報処理I・II・III・IV

商学部 情報処理I・II

理工学部 情報処理同実習

なお、「法学(憲法を含む)」と「体育」は、第1・2学年に配当・設置されていることが多いので、なるべく配当学年の内に取得しておくこと。また、所属学部を設置されている科目を原則として履修すること。

### 【3 教職課程履修開始の心構え】

安易な気持ちで教職課程を履修することがないようにしてください。特に以下の点は十分に理解することが必要です。

(1) 教員免許状を取得するには卒業に必要な単位のほかに、かなり多くの単位を余分に履修しなければならないということ。

(2) 教員免許状が取得できたとしても、教員の需給の関係からして就職は最近特に困難であるということ。

将来中学校・高校の教員になることを志望している学生諸君は、以上の点をよく考慮した上で、教職課程の履修を第2学年からはじめてください。

### 【4 介護等体験について】

「小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律」(通称・介護等体験特例法)が成立し、平成10年4月1日から施行されました。これにより、小学校教諭または中学校教諭の普通免許状は取得しようとする人には、7日間を下らない範囲内で、盲学校、聾学校若しくは養護学校または社会福祉施設等で、障害者、高齢者等に対する介護、介助、これらの人との交流等が必要となります。この法律は平成10年4月1日以降に入学した学生に適用されます。教職課程ガイダンスで、そのことについての説明がありますので、注意して聞いてください。なお、教職課程登録をした、3年生以上の学生のみが大学を通して社会福祉施設等に申し込むことができます。

### 【5 その他の注意】

(1) 教職課程の掲示板は、第4校舎19番教室手前にあります。重要な事項および各種ガイダンス日程などを掲示します。見落としのないよう十分注意してくだ

さい。

(2) 教職課程ガイダンスについて

教職課程に興味のある1年生は、1年生向けの教職課程ガイダンスに出席してください。また、教職課程を履修しようとする2年生は、新規登録希望者向けの教職課程ガイダンスに必ず出席してください。

## 11 外国語学校

外国語学校、昭和17年10月語学研究所（現在の言語文化研究所）の設置と同時にその実践部門として開校され、以来塾生はもとより、他校学生、一般社会人の外国語学習の場として、高い評価を得ています。現在、欧米諸国語はもとより、アジア諸言語など14外国語科を設置し、約1,000名の学生が在学しています。授業は、義塾内外の外国語担当教授をはじめ、外国語を使って実際の場で活躍している職業人、外国人講師など、優れた教員によって行われています。

授業時間は、全科目三田6時限（18：30～20：00）（英会話のみ5時限もあり）です。受講に当たっては外国語学校の定める入学手続きが必要で、詳細については、「外国語学校入学案内」（一部500円、三田・日吉正門警備室でも取扱う）を参照して下さい。開講は4月と10月で入学願書の受付は2月上旬～3月上旬、8月上旬～9月上旬の年2回です。

文学部・法学部及び商学部の学生は、それぞれの学部教授会によって認定された右表の科目（文学部は（10）、法学部は（1）～（14）、商学部は（10））を自由科目として春・秋学期各2単位履修することができます。履修申告の方法は、各学部の自由科目の申告方法と同じです。必ず学部にお問い合わせください。

外国語学校の入学手続は、4月期（春学期）の場合、履修申告手続よりも前に行わなければならないので、後日もし学部の履修科目と時間が重なったことが判った時は、直ちに外国語学校事務室に相談してください。

また、日吉では日吉特別講座を6時限（18：30～20：00）に開講しています。開講する語学は英語・ドイツ語・フランス語・中国語・ロシア語の5カ国語です。詳しくは、外国語教育研究センター日吉事務室へお問合せください。

語学科	クラス	週間授業数
(1) 英語	上 級	3回
(2) 英会話	中 級 上 級	2回 2回
(3) ビジネス・イングリッシュ		2回
(4) ドイツ語	基礎級	3回
(5) フランス語	初 級	3回
(6) スペイン語		
(7) 中国語	中 級	3回
(8) イタリア語	上 級	3回
(9) ロシア語	基礎級	2回
(10) インドネシア語		
(11) アラビア語	初 級	2回
(12) 朝鮮語		
(13) ベトナム語	中 級	2回
(14) タイ語	上 級	2回

スペイン語上級は週2回

# 索引

## 索引

## 科目

あ	アカデミック・スキルズ	266	科学史	10
	アカデミック・スキルズ	267	科学史	10
	アカド語 (初級)	273	科学史	10
	アカド語 (中級)	273	科学史	11
	アラビア語 (基礎)	271	化学実験	194
	アラビア語 (現代文購読)	271	化学統計熱力学	204
	アラビア語 (古典)	271	化学統計熱力学演習	204
	アラビア語文献購読	271	化学平衡論	204
	アルゴリズム	200	学外実習第1	204
	アルゴリズム論	200	確率	204, 205
い	EEP	195	確率論入門	148
	位相数学	200	確率論入門	148
	遺伝子の科学	230	確率論基礎	184
	医療科学	195	関数論第1同演習	205
	インダストリアル・エンジニアリング	200	漢文	11
う	ヴェトナム語 (初級)	271	漢文a	11
	ヴェトナム語 (中級)	271	漢文b	11
	ヴェトナム語文献購読	271	カンボジア語 (初級)	272
	宇宙科学	230	管理工学基礎演習	205
え	映像・音響文化論	4	管理工学基礎演習	205
	映像コンテンツ制作	238	管理工学用数学第1	205
	演習	173~175	き	
	演習	176, 177	機械工学創造演習	205
お	応用解析第1	200, 201	機械力学の基礎	206
	応用解析第2	201	基礎化学実験	206
	応用化学計算基礎	201	基礎情報処理	130
	応用確率論	201, 202	基礎数学	153
	応用数学	202	基礎数学	153
	応用電気電子回路	202	基礎生物学	206
	応用電磁気学同演習	203	基礎生命実験	206
	応用簿記	183	基礎統計学	153
	オペレーションズ・リサーチ第1	203	基礎統計学	153
	音楽	4~8	基礎の数学	11
	音楽	4~8	基礎分子細胞生物学	194
	音楽	4~8	基本簿記と財務諸表の見方	180, 181
	音楽a	6~8	教育学	11, 12
	音楽b	6~8	教育学	11
か	会計学	188	教育学	12
	解析	186	行政学	171
	解析	186	行政学	171
	解析学入門	149	行政法	167
	解析学入門	149	近代思想史	12, 13
	解析力学	203	近代思想史	12, 13
	回路とシステム第1	203	近代思想史	12, 13
	回路とシステム第2	203	近代思想史a	13
	化学	192	近代思想史b	13
	化学 (実験を含む)	8~10	近代日本と福沢諭吉	14
	化学	193	く	
	化学 (実験を含む)	8~10	空間設計製図A	206
	化学	193	け	
	化学 (実験を含む)	8~10	経営学	181, 188
	化学A	198	経営管理論	206
	化学B	198	経済学	14, 185
	化学C	198	経済学	14
	化学D	199	経済学	14
			経済学基礎	178
			経済学基礎	178
			経済原論	167, 168
			経済原論	168
			経済史	187
			経済史	142, 178, 179
			経済史	142, 179
			経済思想の歴史	143, 144

経済思想の歴史	144, 145	古代エジプト語 (初級)	273
経済人類学	14	古代エジプト語 (中級)	273
経済人類学a	14	古代ヘブライ語 (初級)	272
経済人類学b	14	古代ヘブライ語 (中級)	273
経済数学 A	145	コンピュータアナリシス	209
経済数学 B	145	コンピュータ実習	209
経済数学	146	コンピュータシミュレーション同実習	209
経済数学入門	150	さ 細胞生物学第1	210
経済数学入門	150	材料力学の解法	210
経済と環境	146, 147	材料力学の基礎	210
計算機科学同実習	207	酸塩基及び酸化還元	210
計算機基礎	207	産業経済論	188
計算機構成同演習	207	サンスクリット (初級)	271
計算論理学	208	サンスクリット (中級)	271
形状情報の表現	208	し 時事英語	238
計測工学	208	辞書の世界	130
刑法	167	システム制御論	210
刑法	160	システムデザイン工学概論	211
刑法 A	160	システムデザイン工学基礎演習	211
刑法 B	160	自然科学研究会	100, 101
刑法	161	自然科学研究会	100 ~ 102
計量経済学概論	147	自然科学実験	199
ゲーム理論基礎	184	自然科学総合講座	19
言語	125	自然科学特論	20, 129
健康科学	15	自然科学特論	20, 129
言語学	15, 126	自然人類学	20
言語学	15	私法基礎	187
言語学	15	私法基礎	179, 180
言語学	15	私法基礎	179, 180
言語学	16	社会・経済と工学	211
言語認識論	16	社会科学概論	20
現代化学概論	16	社会科学概論	21
現代芸術論	16	社会科学特論	129, 130
現代思想論	16, 17	社会科学特論	130
現代社会と医学	260	社会科学特論	130
現代社会と医学	260	社会学	21, 22, 165
現代社会論	17	社会学	21
現代生物学概論	18	社会学	21
現代世界史	18	社会学a	21, 22
現代中東論	171	社会学b	21, 22
現代日本史	18	社会経済学	187
現代物理学概論	230	社会経済学	179
現代メディア論	18, 19	社会経済学	179
憲法	166	社会心理学	22
憲法	157	社会心理学	22
憲法 A	157	社会との対話D	190
憲法 B	157	社会との対話S	190
憲法	157	社会問題	148
こ 光学基礎	208	社会問題	148
光学システム	208	周期表の化学基礎	211
工学数学	208	周期表の化学第1	211
高分子化学基礎	209	宗教学	22
国語国文	19	宗教学a	22
国語国文	19	宗教学b	22
国語国文	19	自由研究セミナー	91 ~ 100
国語国文a	19	自由研究セミナーa	91 ~ 99
国語国文b	19	自由研究セミナーb	91 ~ 99
国際政治基礎	170	集合論	211
国際政治論	171	住宅・建築史概論	22
国際法	167	商学概論	185

商業学	188, 189	政治学	30 ~ 34
商業学	181, 182	政治学	30 ~ 35
商業学	181, 182	政治学基礎	169
情報経済学	212	政治学基礎	169
情報処理	138, 139, 155, 185	政治思想基礎	169
情報処理	139, 140, 155, 186	政治文化論	170
情報処理	140, 141, 156	生体計測論	214
情報処理	156	生体反応論第1	214
情報処理応用	265	生体物質の化学	214
情報処理概論	265	生体分子構造論	214
情報処理概論	265	生物科学	35 ~ 37
情報処理同実習	199	生物科学入門	231
情報数学概論	212	生物学	193
情報通信工学基礎	212	生物学 (実験を含む)	35 ~ 41
情報リテラシー基礎	183	生物学 (実験を含む)	35 ~ 40
情報理論	212	生物学 (実験を含む)	35 ~ 41
女性学	22	生物学実験	194, 232
書物の世界	131	生物学実験集中	232
身体 / 感覚文化	23	生物学序論	199
人体の生理	230	生物量子化学	215
身体文化論	23	生命科学のための確率論	215
振動と波動	212	生命系の数学	215
振動波動論	212	生命系の有機化学	215
人文科学特論	126 ~ 129	生命系の量子力学	216
人文科学特論	102 ~ 104	生命現象の分子科学	41
人文科学特論	102 ~ 104	生命の科学	41
人文総合講座	23	生命の教養学	267
人文総合講座	23	生命物理化学	216
心理学	25, 195	西洋外交史	171
心理学	25 ~ 28, 231	世界経済の現状と問題	134
心理学	25 ~ 29, 231	世界の経済	232
人類学	28, 126	世界の政治	41
人類学	28	積分入門	150
人類学	28	線形代数	132, 133, 184, 186, 216
人類学a	29	線形代数演習	133, 191
人類学b	29	戦争と社会	42
<b>す</b> 数学	28	<b>そ</b> 造形・デザイン論	42
数学	29, 154, 192	総合教育セミナー	90, 116 ~ 120
数学	30, 154, 192	総合教育セミナー	90, 91, 120 ~ 123
数学	154, 192	総合教育セミナーD	105 ~ 116
数学	154	ソフトウェア工学	217
数学A1	196	<b>た</b> 体育学演習	241
数学A2	196	体育学講義	239, 240
数学A3	196	体育学実技A (アーチェリー)	248
数学A4	197	体育学実技A (合気道)	247
数学B1	196	体育学実技A (アメリカンタッチフットボール)	242
数学B2	196	体育学実技A (ウォーキング・エクササイズ)	248
数学B3	196	体育学実技A (エアロビクス)	248, 249
数学B4	197	体育学実技A (空手)	252
数学解析第1	213	体育学実技A (器械体操)	253
数学解析第2	213	体育学実技A (弓術)	252
数学概論	134	体育学実技A (剣道 日本剣道形クラス)	247
数学概論	134	体育学実技A (剣道)	247
数学基礎	186	体育学実技A (ゴルフ)	249
数理科学基礎第1	213	体育学実技A (サッカー)	242
数理科学基礎第2	213	体育学実技A (自動車)	249
数理計画法	186, 213	体育学実技A (柔道)	247
図形情報処理	214	体育学実技A (ジョギング)	249
<b>せ</b> 生化学	214	体育学実技A (水泳)	249, 250, 253
政治学	30 ~ 35	体育学実技A (ソフトテニス)	242

体育学実技A (ソフトボール)	242, 243	地理学b	54, 55
体育学実技A (体力UPコース)	251	つ 通信システム	217
体育学実技A (卓球)	243	て デジタル回路	218
体育学実技A (ダンス)	251	データ解析	150
体育学実技A (端艇)	254	データ解析	151
体育学実技A (テニス)	243, 244	データ解析入門	151
体育学実技A (トランポリン)	251	データ解析入門	151
体育学実技A (軟式野球)	244	データとの対話D	184, 185
体育学実技A (ニュースポーツ)	251	デザインリテラシー演習	218
体育学実技A (バスケットボール)	244, 245	デジタル基礎	218
体育学実技A (バドミントン)	245	哲学	55 ~ 58
体育学実技A (バレーボール)	246	哲学a	55 ~ 58
体育学実技A (ハンドボール)	246	哲学b	55 ~ 58
体育学実技A (フェンシング)	248	電気回路基礎	218
体育学実技A (フットサル)	246	電気回路同演習	218
体育学実技A (フライングディスク)	251	電気回路理論	219
体育学実技A (ボクシング)	248	電気電子工学セミナー	219
体育学実技A (レスリング)	248	電気電子工学セミナー	219
体育学実技A (野球)	246	電磁エネルギー変換工学	219
体育学実技A (陸上競技)	252	電子回路基礎	220
体育学実技B (アウトドアレクリエーション)	255	電子回路同演習	220
体育学実技B (山岳)	256	電磁気学第1	220
体育学実技B (スキー)	257	電磁気学同演習	220
体育学実技B (スケート)	258	電磁気工学	220
体育学実技B (夏のバレーボール)	255	電子デバイス・材料基礎	221
体育学実技B (ニュースポーツ)	254	電子ネットワーク調査法	238
体育学実技B (馬術)	256	天文学	58, 232
体育学実技B (バレーボール)	254	天文学a	58
体育学実技B (フライングディスク)	254	天文学b	58
体育学実技B (ヨット)	257	と 統計解析	221
タイ語 (初級)	272	統計学	141, 155, 187
タイ語 (中級)	272	統計学	142, 155, 187
代数学基礎同演習	217	統計学	155
ダイナミカルシステム	217	統計学	155
団体法	163	統計力学基礎	221
ち 地域研究基礎	170	トルコ語 (初級)	272
地域研究 スペイン事情	42	トルコ語 (中級)	272
地域研究 スペイン事情	42	に 21世紀の実学	58
地域研究 中国事情	42	日本外交史	172
地域研究 中国事情	43	日本経済の現状と問題	134
地域研究 北米事情	43	日本政治運動史	172
地域研究 北米事情	43	日本政治基礎	169, 170
地域生態文化論	43	日本の経済	232
地域文化論	43, 44	日本の産業と経営	184, 190
地域文化論	46 ~ 49	日本の政治	58
地域文化論	46 ~ 49	ね 熱物理	221
地域文化論	49 ~ 51	熱力学	221
地域文化論	49 ~ 51	熱力学の基礎	221
地学	52	熱流体システム第1	222
地学a	52	熱流体システム第2	222
地学b	52	は バイオプログラミング第1	222
地球科学概論	52, 53	バイオプログラミング第2	222
知的資産概論	274	パターン情報処理	222
中国事情	53	反応速度論	223
朝鮮語文献購読	272	反応有機化学	223
朝鮮文化・文学の歴史	131	ひ 比較地域研究論	172
地理学	53 ~ 55	比較文化論	59, 233
地理学	53	比較文化論a	59
地理学	53	比較文化論b	59
地理学a	54, 55	東アジアの中の近代日本	60

美術	60 ~ 62	法学 (憲法を含む)	72 ~ 76, 156, 157
美術a	60 ~ 62	法学情報処理	163
美術b	60 ~ 62	法制史	163, 164
微積分	178	法制史	163, 164
微積分	178	法制史	164
微積分演習	191	簿記	149
人の尊厳	62	<b>ま</b> マクロ経済学初級	141
微分積分	132	マクロ経済学初級	141
微分積分演習	133	マス・コミュニケーション論	172
微分法	186	マルクス経済学	148
ヒューマン・ファクターズ	223	マルクス経済学	148
表象文化論	62	<b>み</b> ミクロ経済学初級	142, 143
表象文化論a	62	ミクロ経済学初級	142, 143
表象文化論b	62	民主主義思想論	173
<b>ふ</b> ファイナンス数学	151	民法	158, 166
ファイナンス数学	151	民法 A	158
複素解析	223	民法 B	158
物質の精製分析	223	民法	159, 167
物性科学	233	民法	159
物理学 (実験を含む)	63 ~ 65	民法演習	161, 162
物理学 (実験を含む)	63 ~ 66	民法演習 A	161, 162
物理学 (未習)	192	民法演習 B	161, 162
物理学 (既習)	192	民法演習	162, 163
物理学 (実験を含む)	63 ~ 66	<b>む</b> 無機化学	227
物理学 (既習)	193	<b>ゆ</b> 有機化学基礎	227
物理学A	197	有機立体化学	227
物理学B	197	<b>ら</b> ラテンアメリカ研究	76
物理学C	197	ラテンアメリカ研究a	76
物理学D	197	ラテンアメリカ研究b	76
物理学演習第1	224	<b>り</b> 力学的アナリシス	227
物理学演習第2	224	力学的モデリング	228
物理学実験	194	理工学概論	199
物理情報数学A	224	理工学基礎実験	228
物理情報数学B	224	流体力学の基礎	228
プログラミング演習	224	量子化学基礎	228
プログラミング基礎同演習	225	量子力学基礎同演習	228
プログラミング言語	225	量子力学第1	229
プログラミング実習	225	量子力学入門	229
プログラミング第1同演習	225	理論経済学	189
プログラミング第3同演習	225	倫理学	76 ~ 78
プログラム実習	225	倫理学	76 ~ 78
文学	66 ~ 70	倫理学	76 ~ 78
文学	66 ~ 70	倫理学a	77, 78
文学	66 ~ 70	倫理学b	77, 78
文学a	66 ~ 70	<b>れ</b> 歴史	79 ~ 86
文学b	66 ~ 70	歴史	79 ~ 85
文化人類学	71	歴史	79 ~ 85
文化人類学	72, 168	歴史a	83, 85
文化人類学	72, 168	歴史b	83, 85
分子生物学第1	226	<b>ろ</b> 論理学	85, 86
文章作法	238	論理学a	85, 86
分析化学	226	論理学b	85, 86
分析化学基礎	226	論理学序論	86
分布系の数理	226	論理学本論	86
文明学説史	72		
文明学説史	72		
<b>へ</b> ペルシア語 (初級)	272		
ペルシア語 (中級)	272		
<b>ほ</b> 法学 (憲法を含む)	72 ~ 76, 156, 157, 166		
法学 (憲法を含む)	72 ~ 76, 156, 157		

## 教員名

- あ
- 相沢 幸悦(アイザワ コウエツ) 232
- 相磯 貞和(アイソ サダカズ) 41
- アイドゥン・ヤマンラール 272
- 相吉英太郎(アイヨシ エイタロウ) 224
- 青木 健一(アオキ ケンイチ) 20
- 青木健一郎(アオキ ケンイチロウ) 63, 91, 146
- 青木 淳一(アオキ ジュンイチ) 73, 167
- 青山藤詞郎(アオヤマ トウジロウ) 211, 218
- 青山 宏夫(アオヤマ ヒロオ) 53
- 赤川 元章(アカガワ モトアキ) 179, 187
- 赤木 三昌(アカギ ミツマサ) 208
- 赤林 由雄(アカバヤシ ヨシオ) 138, 140~142
- 秋山 豊子(アキヤマ トヨコ) 19, 35, 100
- 秋山 裕(アキヤマ ユタカ) 91, 141, 142
- 阿久沢利明(アクザワ トシアキ) 163
- 浅井 隆(アサイ タカシ) 162
- 浅川 順子(アサカワ ジュンコ) 107
- 朝倉 浩一(アサクラ コウイチ) 200, 204
- 朝比奈 緑(アサヒナ ミドリ) 66, 107
- 浅見 昇吾(アサミ ショウゴ) 116, 120
- 浅見 雅一(アサミ マサカズ) 79
- 麻生 良文(アソウ ヨシブミ) 167, 168
- 足立 典子(アダチ ノリコ) 107
- 厚地 淳(アツジ アツシ) 132, 133, 145
- 阿部 祥人(アベ ヨシト) 128
- 天野 英晴(アマノ ヒデハル) 207, 218
- 新井 拓児(アライ タクジ) 92
- 荒金 直人(アラカネ ナオト) 17
- 有末 賢(アリスエ ケン) 165, 173
- 有田 栄(アリタ サカエ) 4, 5
- 安藤 勝英(アンドウ カツヒデ) 247
- 安藤 寿康(アンドウ ジュコウ) 62
- 安藤 広道(アンドウ ヒロミチ) 79, 128
- 安藤 道夫(アンドウ ミチオ) 55
- い
- 李 宇諤(イ ウヨン) 242
- 李 泰文(イ ムテン) 131, 272
- 飯田 恭(イイダ タカシ) 142
- 飯箸 泰宏(イイハシ ヤスヒロ) 183, 185
- 井垣 竹晴(イガキ タケハル) 130
- 池田 薫(イケダ カオル) 132, 133, 145, 150
- 池田 真朗(イケダ マサオ) 163
- 池田 緑(イケダ ミドリ) 17
- 池田 康夫(イケダ ヤスオ) 41
- 池田 幸弘(イケダ ユキヒロ) 144
- 池原 雅章(イケハラ マサアキ) 116, 120, 201, 219
- 石井 明(イシイ アキラ) 5, 6, 92, 115
- 石井 一平(イシイ イッペイ) 197, 211
- 石井 達朗(イシイ タツロウ) 66
- 石井 康史(イシイ ヤスシ) 59, 62, 76, 92
- 石川 晃司(イシカワ コウジ) 12, 176
- 石川 史郎(イシカワ シロウ) 196, 213
- 石川 透(イシカワ トオル) 19, 128
- 石多 正男(イシタ マサオ) 6
- 石手 靖(イシデ ヤスシ) 239, 254, 255
- 石橋 孝次(イシバシ コウジ) 143
- 石原あえか(イシハラ アエカ) 107, 266, 267
- 石光 輝子(イシミツ テルコ) 108
- 石渡 哲(イシワタ サトシ) 73
- 井関 睦美(イゼキ ムツミ) 76
- 磯部 徹彦(イソベ テツヒコ) 198
- 井田 三夫(イダ ミツオ) 102
- 板橋 勇仁(イタバシ ユウジン) 55
- 市川 崇(イチカワ タカシ) 129
- 一ノ瀬祥一(イチノセ ショウイチ) 63, 64
- 出岡 直也(イズオカ ナオヤ) 30, 76, 170
- 伊東 研祐(イトウ ケンスケ) 160
- 伊藤 公平(イトウ コウヘイ) 220, 233
- 伊藤誠一郎(イトウ セイイチロウ) 143
- 伊藤 眞(イトウ マコト) 188
- 伊藤 正時(イトウ マサトキ) 198, 211
- 伊藤 幹夫(イトウ ミキオ) 142, 151
- 伊東 裕司(イトウ ユウジ) 129
- 伊藤 行雄(イトウ ユキオ) 92
- 稲田奈緒美(イナタ ナオミ) 23
- 稲葉 隆政(イナバ タカマサ) 271
- 井上 逸兵(イノウエ イッペイ) 15, 16
- 井上 京子(イノウエ キョウコ) 71
- 井上 進(イノウエ ススム) 257
- 井上 秀成(イノウエ ヒデナリ) 227
- 井上 全人(イノウエ マサト) 208
- 猪股 光夫(イノマタ ミツオ) 116
- 今井 宏明(イマイ ヒロアキ) 198
- 今泉 忠(イマイズミ タダシ) 150, 151
- 今口 忠政(イマグチ タダマサ) 181, 188
- 今村 純子(イマムラ ジュンコ) 76
- 井本 正哉(イモト マサヤ) 206, 210
- 入野田義人(イリノダ ヨシンド) 108
- 色川 進(イロカワ ススム) 130
- 岩井 美好(イワイ ミヨシ) 77
- 岩下 眞好(イワシタ マサヨシ) 103
- 岩谷 十郎(イワタニ ジュウロウ) 14, 163, 164
- 岩永 治朗(イワナガ ジロウ) 256
- 岩間 一弘(イワマ カズヒロ) 80
- 岩松研吉郎(イワマツ ケンキチロウ) 128
- 岩見 隆(イワミ タカシ) 271, 272
- う
- 宇 振領(ウ シンリョウ) 42
- 植田 利久(ウエダ トシヒサ) 228
- 植田 史生(ウエダ フミオ) 239, 247

- 上野 健(ウエノ タケシ) 35, 36  
 上向 貫志(ウエムカイ カンシ) 242  
 鷗崎 明彦(ウザキ アキヒコ) 52, 266, 267  
 宇沢 美子(ウザワ ヨシコ) 90  
 牛島 利明(ウシジマ トシアキ) 115  
 牛山 潤一(ウシヤマ ジュンイチ) 251  
 内田 保廣(ウチダ ヤスヒロ) 66  
 内山 孝憲(ウチヤマ タカノリ) 218  
 内山 太郎(ウチヤマ タロウ) 208, 220  
 宇津木愛子(ウツギ アイコ) 108  
 馬田 啓一(ウマダ ケイチ) 134  
 梅垣 真祐(ウメガキ シンスケ) 228  
 梅澤 一夫(ウメザワ カズオ) 214, 230  
 梅津 光弘(ウメツ ミツヒロ) 190
- え** 栄長 泰明(エイナガ ヤスアキ) 16, 198  
 エインジ, マイケル 23, 92  
 江上 正(エガミ タダシ) 217  
 江藤 幹雄(エトウ ミキオ) 203, 224, 225  
 遠藤 千草(エンドウ チグサ) 242
- お** 笈川 博一(オイカワ ヒロカズ) 272, 273  
 大久保教宏(オオクボ ノリヒロ) 48  
 大坂 武男(オオサカ タケオ) 210  
 大沢 秀介(オオサワ ヒデユキ) 166  
 大路 樹生(オオジ タツオ) 52  
 太田 昭子(オオタ アキコ) 46, 49, 60  
 太田 克弘(オオタ カツヒロ) 196, 213  
 太田 博道(オオタ ヒロミチ) 18, 215  
 大嶽 真人(オオタケ マサト) 246  
 大津 信行(オオツ ノブユキ) 248  
 大塚 宣夫(オオツカ ノブオ) 195  
 大出 敦(オオデ アツシ) 67  
 大西 公平(オオニシ コウヘイ) 208  
 大西 瞳(オオニシ ヒトミ) 117, 120  
 大沼あゆみ(オオヌマ アユミ) 147  
 大野 義夫(オオノ ヨシオ) 199, 200, 265  
 大場 茂(オオバ シゲル) 8, 90  
 大橋 良子(オオハシ ヨシコ) 212, 224  
 大畑 純一(オオハタ ジュンイチ) 108  
 大前 和幸(オオマエ カズユキ) 41  
 大村 達弥(オオムラ タツヤ) 134  
 大森 貴秀(オオモリ タカヒデ) 155  
 大森 浩充(オオモリ ヒロミツ) 203, 223  
 大矢 玲子(オオヤ レイコ) 108  
 大山 耕輔(オオヤマ コウスケ) 170  
 岡 浩太郎(オカ コウタロウ) 204, 214~216, 222  
 岡 伸浩(オカ ノブヒロ) 162  
 岡崎 哲郎(オカザキ テツロウ) 146  
 小笠原高雪(オガサワラ タカユキ) 171, 173  
 岡田あおい(オカダ アオイ) 17  
 小瀧 昭夫(オガタ アキオ) 62, 93, 115  
 岡田 英史(オカダ エイジ) 202, 220
- 岡田 謙一(オカダ ケンイチ) 225  
 岡田 光弘(オカダ ミツヒロ) 85, 208  
 岡田 有策(オカダ ユウサク) 223  
 岡野 栄之(オカノ ヒデユキ) 41  
 岡本 大輔(オカモト ダイスケ) 181, 188  
 小川 邦康(オガワ クニヤス) 199, 208, 221  
 小川誠一郎(オガワ セイイチロウ) 214  
 奥 健太郎(オク ケンタロウ) 173  
 小此木政夫(オコノギ マサオ) 170, 175  
 尾崎貴久子(オザキ キクコ) 271  
 尾崎 裕之(オザキ ヒロユキ) 142  
 長田 進(オサダ ススム) 54, 93  
 長田 紀子(オサダ ノリコ) 117  
 長名 寛明(オサナ ヒロアキ) 93, 143  
 小山内州一(オサナイ シュウイチ) 199  
 小沢 慎治(オザワ シンジ) 212, 220  
 小澤 正典(オザワ マサノリ) 205  
 小田 芳彰(オダ ヨシアキ) 196, 216  
 尾高 暁子(オダカ アキコ) 6, 7  
 小野 修三(オノ シュウゾウ) 12, 14, 20, 21, 30, 109  
 小野 直樹(オノ ナオキ) 31, 175  
 小野 裕剛(オノ ヒロタケ) 36, 101, 199  
 小野 雅之(オノ マサユキ) 20  
 小原 實(オバラ ミノル) 197  
 小尾晋之介(オビ シンノスケ) 228  
 恩田 憲一(オンダ ノリカズ) 155, 183, 185, 265
- か** 蔭山 宏(カゲヤマ ヒロシ) 169, 171  
 笠井 裕之(カサイ ヒロユキ) 47  
 櫻原 徹(カシハラ トオル) 206  
 鹿島 晴雄(カシマ ハルオ) 41, 195  
 春日 淳(カスガ アツシ) 271  
 霞 信彦(カスミ ノブヒコ) 156, 164  
 粕谷 祐子(カスヤ ユウコ) 31, 172, 174, 176  
 片山 直也(カタヤマ ナオヤ) 159  
 加地 直紀(カチ ナオキ) 32, 174  
 勝又 正浩(カツマタ マサヒロ) 249  
 桂田 昌紀(カツラダ マサノリ) 132, 133, 145  
 加藤 幸司(カトウ コウジ) 245  
 加藤 剛(カトウ タケシ) 196  
 加藤 久雄(カトウ ヒサオ) 160  
 加藤 大雄(カトウ ヒロオ) 243  
 加藤 浩子(カトウ ヒロコ) 7  
 加藤 大仁(カトウ ヒロヒト) 239, 244  
 加藤万里子(カトウ マリコ) 58, 120, 230, 232  
 金谷 信宏(カナヤ ノブヒロ) 36, 37, 101  
 金山 勉(カナヤマ ツトム) 238  
 金山 智子(カナヤマ トモコ) 238  
 金子 信久(カネコ ノブヒサ) 60  
 金子 洋之(カネコ ヒロユキ) 39, 40, 90, 199, 232  
 金子 勝(カネコ マサル) 148  
 上山 幸一(カミヤマ コウイチ) 252

- 亀井源太郎(カメイ ゲンタロウ) 167  
 亀谷 幸生(カメタニ ユキオ) 196, 200  
 河井 啓希(カワイ ヒロキ) 141, 142, 147  
 川上新一郎(カワカミ シンイチロウ) 131  
 河上 裕(カワカミ ユタカ) 230  
 川口 修(カワグチ オサム) 221  
 川口 春馬(カワグチ ハルマ) 209  
 川城 丈夫(カウシロ タケオ) 195  
 河田 幸視(カワタ ユキチカ) 94, 147  
 河内 恵子(カワチ ケイコ) 128  
 河内谷幸子(カワチャ サチコ) 183, 185, 265  
 川西 大介(カウニシ ダイスケ) 248  
 川端 美樹(カワバタ ミキ) 172, 174  
 川村 清(カウムラ キヨシ) 216, 229  
 川村 晃生(カウムラ テルオ) 127  
 河村 好彦(カウムラ ヨシヒコ) 73  
 河原田有一(カワラダ ユウイチ) 74  
 神成 文彦(カンナリ フミヒコ) 197  
 神戸 和雄(カンベ カズオ) 188  
**き** 菊池 秀悦(キクチ シュウエツ) 251  
 菊池 紀夫(キクチ ノリオ) 196, 200  
 岸 由二(キシ ユウジ) 37, 43, 94  
 岸本 達也(キシモト タツヤ) 22, 206  
 喜田 浩平(キダ コウヘイ) 130  
 北居 功(キタイ イサオ) 159  
 北川 尚(キタガワ ヒサシ) 139, 140  
 北中 淳子(キタナカ ジュンコ) 130  
 北村 洋基(キタムラ ヒロモト) 148  
 木塚 孝幸(キヅカ タカユキ) 245  
 吉川 肇子(キッカワ トシコ) 190  
 木戸 一夫(キド カズオ) 184, 186  
 木下 亮(キノシタ アキラ) 60  
 木下 京子(キノシタ キョウコ) 18, 42, 121  
 木下 岳司(キノシタ タケシ) 208, 220  
 木原 弘行(キハラ ヒロユキ) 55  
 木村 彰男(キムラ アキオ) 195  
 木村 敏夫(キムラ トシオ) 204  
 木村 直也(キムラ ナオヤ) 80  
 木元 宏次(キモト ヒロツグ) 155  
 許 曼麗(キョ マンレイ) 109  
 許 光俊(キョ ミツトシ) 103  
 桐本 東太(キリモト トウタ) 127  
 金田一真澄(キンダイチ マスミ) 16, 117, 121, 126  
**く** 串田 裕彦(クシダ ヒロヒコ) 86  
 クナウプ, ハンス・ヨアヒム 94  
 久野 量一(クノ リョウイチ) 76  
 久保田真理(クボタ マリ) 193, 194  
 隈 研吾(クマ ケンゴ) 206  
 熊倉 敬聡(クマクラ タカアキ) 267  
 神代 光朗(クマシロ ミツオ) 94, 144  
 熊野谷葉子(クマノヤ ヨウコ) 117, 121  
 栗田 亘(クリタ ワタル) 238  
 栗原 将人(クリハラ マサト) 197  
 グレーヴァ香子(グレーヴァ タカコ) 143  
 黒田 忠広(クロダ タダヒロ) 219  
 桑原 立郎(クワバラ タツオ) 206  
**こ** 小坏 淳子(コアツク ジュンコ) 161  
 古池 達彦(コイケ タツヒコ) 225  
 河野 武司(コウノ タケシ) 32, 169  
 古賀 義顕(コガ ヨシアキ) 118, 121  
 国分 良成(コクブン リョウセイ) 170  
 小嶋 祥三(コジマ ショウゾウ) 25  
 児島やよい(コジマ ヤヨイ) 42  
 小菅 隼人(コスゲ ハヤト) 67  
 小瀬村誠治(コセムラ セイジ) 9, 101  
 小谷 敏(コタニ サトシ) 21, 174  
 後藤 完夫(ゴトウ サダオ) 242  
 後藤 武(ゴトウ タケシ) 206  
 小林 潔(コバヤシ キヨシ) 118, 121  
 小林 邦夫(コバヤシ クニオ) 67, 118, 122  
 小林 伸一(コバヤシ シンイチ) 166  
 小林 節(コバヤシ セツ) 157  
 小林 常利(コバヤシ ツネトシ) 193, 194  
 小林 雅一(コバヤシ マサカズ) 238  
 小林 正史(コバヤシ マサシ) 132, 133  
 小林 良彰(コバヤシ ヨシアキ) 169, 175  
 駒形 哲哉(コマガタ テツヤ) 148  
 小松 建三(コマツ ケンゾウ) 11, 196  
 小松 英海(コマツ ヒデミ) 28  
 小松 光彦(コマツ ミツヒコ) 126  
 小宮 英敏(コミヤ ヒデトシ) 58, 105, 177  
 小室 正紀(コムロ マサミチ) 14, 142, 144  
 小茂鳥 潤(コモトリ ジュン) 205, 214  
 小森 康加(コモリ ヤスカ) 249  
 小屋 逸樹(コヤ イツキ) 15, 103  
 小安 重夫(コヤス シゲオ) 41  
 児矢野マリ(コヤノ マリ) 167  
 小山 剛(コヤマ ゴウ) 157  
 小山 正(コヤマ タダシ) 258  
 近藤 明彦(コンドウ アキヒコ) 239, 241, 248, 251, 266, 267  
 近藤 光雄(コンドウ ミツオ) 23, 43  
 近藤 幸夫(コンドウ ユキオ) 16, 19, 61, 118, 122  
**さ** 齋藤 郁夫(サイトウ イクオ) 239, 260  
 齋藤 和夫(サイトウ カズオ) 158, 159  
 齋藤 暁(サイトウ サトル) 64  
 齋藤 太郎(サイトウ タロウ) 131  
 齋藤 直樹(サイトウ ナオキ) 18  
 齋藤 華子(サイトウ ハナコ) 48  
 齋藤 英雄(サイトウ ヒデオ) 202  
 齋藤 博昭(サイトウ ヒロアキ) 209, 225, 265  
 齋藤 文雄(サイトウ フミオ) 104

- 齊藤 通貴(サイトウ ミチタカ) 180, 188  
 齋藤 幸夫(サイトウ ユキオ) 197, 221  
 坂上 貴之(サカガミ タカユキ) 129  
 榊原 知美(サカキバラ トモミ) 11  
 榊原 康文(サカキバラ ヤスブミ) 222  
 坂口 尚史(サカグチ ナオフミ) 46  
 坂口 博(サカグチ ヒロシ) 180  
 坂倉 杏介(サカクラ キョウスケ) 118, 122  
 坂田 幸子(サカタ サチコ) 130  
 坂本 邦彦(サカモト クニヒコ) 71  
 坂本 達哉(サカモト タツヤ) 144  
 櫻井 彰人(サクライ アキト) 217, 225  
 桜井 準也(サクライ ジュンヤ) 72  
 櫻庭ゆみ子(サクラバ ユミコ) 53, 109  
 桜本 光(サクラモト ヒカル) 178, 185  
 佐古 彰史(サコ アキフミ) 132, 133  
 佐々木昭則(ササキ アキノリ) 86  
 佐々木孝夫(ササキ タカオ) 32, 174  
 佐々木孝浩(ササキ タカヒロ) 131  
 佐々木寿美(ササキ トシミ) 33  
 佐々木玲子(ササキ レイコ) 239, 241, 248  
 佐藤 健吾(サトウ ケンゴ) 199  
 佐藤 孝雄(サトウ タカオ) 128  
 佐藤 寅夫(サトウ トラオ) 232  
 佐藤 望(サトウ ノゾミ) 7, 8, 110, 266, 267  
 佐藤 春樹(サトウ ハルキ) 199, 211, 222  
 佐藤 方宣(サトウ マサノブ) 145  
 佐藤 道生(サトウ ミチオ) 19, 128, 131  
 佐藤 元英(サトウ モトエイ) 80  
 佐藤 康廣(サトウ ヤスヒロ) 180, 183  
 佐藤 和(サトウ ヤマト) 181, 188  
 佐藤 洋平(サトウ ヨウヘイ) 222  
 里村 卓也(サトムラ タクヤ) 189  
 眞田 幸俊(サナダ ユキトシ) 225  
 佐野 昭(サノ アキラ) 200, 213, 217  
 佐谷眞木人(サヤ マキト) 59  
 沢 孝一郎(サワ コウイチロウ) 219  
 澤田 達男(サワダ タツオ) 201, 228  
 三瓶 慎一(サンベ シンイチ) 47
- し 椎木 一夫(シイキ カズオ) 229  
 シェイ, デイビッド P 110  
 塩川 宇賢(シオカワ イエカタ) 196, 216  
 塩澤 修平(シオザワ シュウヘイ) 142  
 塩澤 寛樹(シオザワ ヒロキ) 61  
 鹿園 直建(シカゾノ ナオタツ) 52  
 識名 章喜(シキナ アキヨシ) 68, 110  
 重野 寛(シゲノ ヒロシ) 217, 225  
 志澤 一之(シザワ カズユキ) 197, 208, 210  
 篠崎 信雄(シノザキ ノブオ) 205, 221  
 篠沢 佳久(シノザワ ヨシヒサ) 199  
 篠原しげ子(シノハラ シゲコ) 251
- 柴田 里程(シバタ リテイ) 215  
 嶋尾 稔(シマオ ミノル) 271  
 島田桂太郎(シマダ ケイタロウ) 248  
 島田 晴雄(シマダ ハルオ) 95, 134  
 島原 宏明(シマバラ ヒロアキ) 166  
 清水 邦夫(シミズ クニオ) 196  
 清水 啓助(シミズ ケイスケ) 274  
 清水 健一(シミズ ケンイチ) 9, 147  
 清水 静代(シミズ シズヨ) 249  
 清水 透(シミズ トオル) 76  
 志村 正(シムラ タダシ) 10, 20, 102  
 下村 俊(シモムラ シュン) 196, 205  
 下村 晋(シモムラ ススム) 212  
 下村 裕(シモムラ ユタカ) 64, 65  
 首藤 聡史(シュトウ サトシ) 253  
 ジョエ, イニヤツイオ 130  
 白井 義昌(シライ ヨシマサ) 142  
 白崎 容子(シラサキ ヨウコ) 131  
 白鳥 世明(シラトリ セイメイ) 203  
 白旗 優(シラハタ マサル) 105, 178, 186  
 新保 一成(シンボ カズシゲ) 185~187, 190
- す 末木 友和(スエキ トモカズ) 110  
 末松 誠(スエマツ マコト) 41, 194  
 末吉 雄二(スエヨシ ユウジ) 61  
 須貝 威(スガイ タケシ) 198  
 菅野 智巳(スガノ サトシ) 162  
 菅野理樹夫(スガノ リキオ) 26, 27  
 菅原万里子(スガワラ マリコ) 162  
 杉浦 章介(スギウラ ノリユキ) 23, 146  
 杉浦 壽彦(スギウラ トシヒコ) 197, 206  
 杉田 敦(スギタ アツシ) 4  
 杉村 浩哉(スギムラ ヒロヤ) 61  
 杉本 剛(スギモト タケシ) 65  
 杉本 智俊(スギモト トモトシ) 128  
 杉山 伸也(スギヤマ シンヤ) 142  
 鈴木 晃仁(スズキ アキヒト) 81, 95  
 鈴木 啓子(スズキ ケイコ) 68  
 鈴木 孝治(スズキ コウジ) 206, 226  
 鈴木左斗志(スズキ サトシ) 161  
 鈴木 順二(スズキ ジュンジ) 111  
 鈴木 伸一(スズキ シンイチ) 43, 266, 267  
 鈴木 貴博(スズキ タカヒロ) 74  
 鈴木 達夫(スズキ タツオ) 132, 133  
 鈴木 恒男(スズキ ツネオ) 27  
 鈴木 透(スズキ トオル) 23, 46, 50  
 鈴木秀五郎(スズキ ヒデゴロウ) 244  
 鈴木 由紀(スズキ ユキ) 192  
 鈴木 直樹(スズムラ ナオキ) 15  
 須田 伸一(スダ シンイチ) 143  
 須田 芳正(スダ ヨシマサ) 239, 242  
 鷲見 誠一(スミ セイイチ) 173

- 鷺見 洋一(スミ ヨウイチ) 68  
 住吉 朋彦(スミヨシ トモヒコ) 130  
**せ** 瀬川 清(セガワ キヨシ) 183, 185  
 関 周一(セキ シュウイチ) 81  
 関 喜房(セキ ヨシフサ) 272  
 関根 謙(セキネ ケン) 128  
 関根 小織(セキネ サオリ) 56  
 関根 政美(セキネ マサミ) 165, 175  
 関場 武(セキバ タケシ) 62, 128, 130, 131  
 瀬古 美喜(セコ ミキ) 141  
 妹島 和世(セジマ カズヨ) 206  
 仙名 保(センナ マモル) 223  
 禪野 美帆(ゼンノ ミホ) 168  
**そ** 宗宮 詮(ソウミヤ サトシ) 210  
 曾我 重司(ソガ シゲジ) 25  
 園田 智昭(ソノダ トモアキ) 188  
**た** 平館 英子(タイラダテ エイコ) 68, 69  
 高井 啓介(タカイ ケイスケ) 273  
 高草木光一(タカクサギ コウイチ) 13  
 高乗 和巳(タカクワ カズミ) 16, 119, 122  
 高田 京子(タカタ キョウコ) 180, 183  
 高田 眞吾(タカダ シンゴ) 199  
 高野 宏(タカノ ヒロシ) 197, 229  
 鷹野 宏行(タカノ ヒロユキ) 181, 183  
 高橋 暁生(タカハシ アケオ) 82  
 高橋 郁夫(タカハシ イクオ) 182, 190  
 高橋 勇(タカハシ イサム) 128  
 高橋 邦弘(タカハシ クニヒロ) 210  
 高橋 智(タカハシ サトシ) 131  
 高橋 伸夫(タカハシ ノブオ) 33  
 高橋 宣也(タカハシ ノブヤ) 69  
 高橋 則夫(タカハシ ノリオ) 161  
 高橋 正樹(タカハシ マサキ) 224  
 田上 竜也(タガミ タツヤ) 115  
 高嶺 隆二(タカミネ リュウジ) 239, 250  
 高山 晶(タカヤマ アキ) 111  
 高山 博(タカヤマ ヒロシ) 29, 90, 91, 126  
 高山 正也(タカヤマ マサヤ) 163  
 高山 緑(タカヤマ ミドリ) 28  
 瀧本佳容子(タキモト カヨコ) 58, 76, 111  
 竹内寿一郎(タケウチ ジュイチロウ) 204  
 竹内 勤(タケウチ ツトム) 41  
 竹内美佳子(タケウチ ミカコ) 66, 112  
 竹下 彬(タケシタ アキラ) 192  
 竹中 淑子(タケナカ ヨシコ) 132, 133  
 竹村りょうこ(タケムラ リョウコ) 243  
 竹森 俊平(タケモリ シュンペイ) 134, 232  
 武山 政直(タケヤマ マサナオ) 95, 146  
 田子山和歌子(タゴヤマ ワカコ) 56  
 田島 久歳(タジマ ヒサトシ) 48  
 田代 真(タシロ マコト) 59  
 只野 金一(タダノ キンイチ) 227  
 只野 裕一(タダノ ユウイチ) 199  
 田中 淳一(タナカ ジュンイチ) 69  
 田中 孝明(タナカ タカアキ) 205, 217  
 田中 辰雄(タナカ タツオ) 147  
 田中 敏幸(タナカ トシユキ) 225  
 田中 宏(タナカ ヒロシ) 168  
 田中由美子(タナカ ユミコ) 248  
 棚橋 紀夫(タナハシ ノリオ) 195  
 田辺 秋守(タナベ シュウジ) 17  
 谷 温之(タニ アツシ) 196, 213  
 谷 寿美(タニ スミ) 127  
 谷口 和弘(タニグチ カズヒロ) 181, 188  
 谷下 一夫(タニシタ カズオ) 222  
 種村 和史(タネムラ カズフミ) 11, 112  
 田上 雅徳(タノウエ マサナル) 33, 169, 176  
 玉田 康成(タマダ ヤスナリ) 143  
 田村 明久(タムラ アキヒサ) 196, 212, 213  
 田村 俊作(タムラ シュンサク) 130, 131  
 田村 高幸(タムラ タカユキ) 184 ~ 186  
 田村 要造(タムラ ヨウゾウ) 196  
 樽井 正義(タルイ マサヨシ) 14, 195  
 段 瑞聡(ダン ズイソウ) 53, 112  
**ち** 崔 在佑(チェ ジェウ) 131  
 崔 在東(チェ ゼドン) 95, 142  
 千田 大介(チダ ダイスケ) 43  
 千田 憲孝(チダ ノリタカ) 198  
 中条 潮(チュウジョウ ウシオ) 188  
**つ** 月村 繁雄(ツキムラ シゲオ) 254  
 柘植 尚則(ツゲ ヒサノリ) 77  
 辻岡三南子(ツジオカ ミナコ) 239  
 津田 裕之(ツダ ヒロユキ) 218  
 鳶木 能雄(ツタキ ノリオ) 95, 96, 144  
 土田龍太郎(ツチダ リュウタロウ) 271  
 土屋 博政(ツチヤ ヒロマサ) 96  
 常山菜穂子(ツネヤマ ナホコ) 23, 46, 50  
 坪田 幸政(ツボタ ユキマサ) 52, 53  
 津谷 典子(ツヤ ノリコ) 96, 148  
**て** 手島智佳子(テシマ チカコ) 243, 244  
 手島 玲子(テシマ レイコ) 15  
 寺岡 文男(テラオカ フミオ) 209  
 寺坂 宏一(テラサカ コウイチ) 201  
 寺崎 修(テラサキ オサム) 170, 172  
**と** 土居 文朗(ドイ タケロウ) 97  
 土居 洋平(ドイ ヨウヘイ) 21  
 藤平 信一(トウヘイ シンイチ) 247  
 十重田裕一(トエダ ヒロカズ) 69  
 遠山 朋子(トオヤマ トモコ) 155  
 徳岡 直静(トクオカ ナオチカ) 208  
 戸瀬 信之(トセ ノブユキ) 132, 133, 149, 150  
 トビン, ロバートI 112

- 富田 章(トミタ アキラ) 62  
 富田 広士(トミタ ヒロシ) 171  
 富田 豊(トミタ ユタカ) 119, 210, 215, 222, 228  
 友岡 賛(トモオカ ススム) 188  
 友部 謙一(トモベ ケンイチ) 97, 142  
 戸山 芳昭(トヤマ ヨシアキ) 195  
**な** 長井 孝紀(ナガイ タカトシ) 193, 194, 199  
 長尾 真理(ナガオ マリ) 21  
 中川 純男(ナカガワ スミオ) 56  
 中川 正雄(ナカガワ マサオ) 200, 212  
 中川 雅博(ナカガワ マサヒロ) 77  
 長坂 雄次(ナガサカ ユウジ) 222  
 中澤 和夫(ナカザワ カズオ) 224  
 中澤 英夫(ナカザワ ヒデオ) 194  
 長島 昭(ナガシマ アキラ) 211  
 中嶋 敦(ナカジマ アツシ) 198, 204  
 中嶋 隆信(ナカジマ タカノブ) 189  
 中嶋 陽子(ナカジマ ヨウコ) 40, 41, 199  
 仲田 均(ナカダ ヒトシ) 196  
 中田 正隆(ナカタ マサタカ) 52  
 中田 雅也(ナカタ マサヤ) 198  
 中谷比呂樹(ナカタニ ヒロキ) 41  
 中妻 照雄(ナカツマ テルオ) 141, 142  
 中西はるみ(ナカニシ ハルミ) 199  
 中野 忠(ナカノ タダシ) 142  
 中野 誠彦(ナカノ ノブヒコ) 225  
 中野 文平(ナカノ ブンペイ) 153  
 中野 實(ナカノ ミノル) 196, 213, 223  
 中野 泰志(ナカノ ヤスシ) 25, 26  
 長堀 祐造(ナガホリ ユウゾウ) 97  
 永見 尊(ナガミ タカシ) 181, 183  
 中村 一尊(ナカムラ カズタカ) 225  
 中村 公則(ナカムラ キミノリ) 82  
 中村 公博(ナカムラ キミヒロ) 56  
 中村 慎助(ナカムラ シンスケ) 142  
 中村真理子(ナカムラ マリコ) 231  
 中村 義春(ナカムラ ヨシハル) 221  
 中山 幹夫(ナカヤマ ミキオ) 146  
 流矢 大士(ナガラヤ ヒロシ) 163  
 名倉 正剛(ナクラ マサタカ) 130  
 ナコルチェフスキー, アンドロイ 70, 91  
 成田 和信(ナリタ カズノブ) 78, 112  
 南里清一郎(ナンリ セイイチロウ) 260  
**に** 西尾 修(ニシオ オサム) 97  
 西岡久美子(ニシオカ クミコ) 132, 133, 145, 148, 149  
 西川 正二(ニシカワ ショウジ) 113  
 西川 僚介(ニシカワ リョウスケ) 113  
 西澤 直子(ニシザワ ナオコ) 14  
 西村 忍(ニシムラ シノブ) 241, 251  
 西村多美子(ニシムラ タミコ) 15  
 西村 太良(ニシムラ タロウ) 70, 130  
 西山 繁(ニシヤマ シゲル) 199  
 西山千恵子(ニシヤマ チエコ) 22  
 二瓶 栄輔(ニヘイ エイスケ) 122  
**ぬ** 額田 信相(ヌカダ シンスケ) 246  
**ね** 根岸寿美子(ネギシ スミコ) 37, 105  
 鼠屋 将志(ネズミヤ マサシ) 155  
**の** 納富 信留(ノウトミ ノブル) 57  
 野口 和行(ノグチ カズユキ) 240, 241, 246, 251, 254, 255  
 野口 建彦(ノグチ タケヒコ) 14  
 野口 裕久(ノグチ ヒロヒサ) 208, 227, 228  
 野寺 隆(ノデラ タカシ) 207  
 延近 充(ノブチカ ミツル) 98, 148  
 野村 伸一(ノムラ シンイチ) 130, 131, 272  
**は** 萩原 滋(ハギワラ シゲル) 22  
 萩原 将文(ハギワラ マサフミ) 199  
 萩原 能久(ハギワラ ヨシヒサ) 168, 175  
 橋本 順一(ハシモト ジュンイチ) 113  
 蓮池敬一郎(ハスイケ ケイイチロウ) 252  
 長谷 公隆(ハセ キミタカ) 195  
 長谷川由利子(ハセガワ ユリコ) 38, 106  
 長谷部浩二(ハセベ コウジ) 85  
 長谷部史彦(ハセベ フミヒコ) 82, 131  
 秦 順一(ハタ ジュンイチ) 41  
 羽田野洋子(ハタノ ヨウコ) 119  
 畑山 明聖(ハタヤマ アキヨシ) 203, 220  
 服部 龍二(ハットリ リュウジ) 172  
 花房 博文(ハナブサ ヒロフミ) 159  
 羽田 幸祐(ハネダ コウスケ) 194  
 浜 日出夫(ハマ ヒデオ) 129  
 濱岡 豊(ハマオカ ユタカ) 189  
 浜田 望(ハマダ ノゾム) 203  
 濱名 邦雄(ハマナ クニオ) 242  
 浜野 明子(ハマノ アキコ) 194  
 林 栄美子(ハヤシ エミコ) 62, 98  
 林 温(ハヤシ オン) 127  
 早見 均(ハヤミ ヒトシ) 184, 187, 190  
 原田 隆史(ハラダ タカシ) 129  
 針谷 寛(ハリガヤ ヒロシ) 13  
**ひ** 光 道隆(ヒカリ ミチタカ) 134, 150  
 樋口 美雄(ヒグチ ヨシオ) 189  
 日向 裕幸(ヒュウガ ヒロユキ) 197  
 平井 克英(ヒライ カツヒデ) 245  
 平島 碩(ヒラジマ ヒロシ) 204  
 平田 栄一郎(ヒラタ エイイチロウ) 129, 130  
 平田 光司(ヒラタ コウジ) 230  
 平田 大輔(ヒラタ ダイスケ) 244  
 平野 隆(ヒラノ タカシ) 14, 178, 179, 187  
 平野 裕之(ヒラノ ヒロユキ) 159  
 平林 正司(ヒラバヤシ マサジ) 83  
 平林 義彰(ヒラバヤシ ヨシアキ) 119, 123

- 広瀬 信義(ヒロセ ノブヨシ) 195  
 広田すみれ(ヒロタ スミレ) 155  
**ふ** フォーグル, ヴァルター 113  
 深澤はるか(フカザワ ハルカ) 114  
 深谷太香子(フカヤ タカコ) 106, 178, 184, 186, 191  
 福川 忠昭(フクカワ タダアキ) 206  
 福澤 利彦(フクザワ トシヒコ) 38, 106  
 福田 敦史(フクダ アツシ) 57  
 福田 真実(フクダ マミ) 27, 28  
 福田礼次郎(フクダ レイジロウ) 197, 229  
 福田 弥(フクダ ヲタル) 8  
 福山 欣司(フクヤマ キンジ) 39, 98, 147  
 藤川 千歳(フジカワ チトセ) 22  
 藤崎 康(フジサキ コウ) 62  
 藤田 祥子(フジタ サチコ) 75  
 藤田 康範(フジタ ヤスノリ) 98  
 藤田 祐幸(フジタ ユウコウ) 10, 11, 20, 101  
 藤谷 洋平(フジタニ ヨウヘイ) 221  
 藤原 茂樹(フジワラ シゲキ) 128  
 船越 正太(フナコシ ショウタ) 132, 133  
 舟山 俊明(フナヤマ トシアキ) 130  
 古田 和子(フルタ カズコ) 142  
 古野 泰二(フルノ タイジ) 192, 194, 195  
**ほ** 星 元紀(ホシ モトノリ) 199, 206, 232  
 星野 慎吾(ホシノ シンゴ) 86  
 細川 達己(ホソカワ タツミ) 140, 141  
 細田 壮一(ホソダ ソウイチ) 256  
 細谷 雄一(ホソヤ ユウイチ) 34, 171, 176  
 堀江 聡(ホリエ サトシ) 126  
 堀越比呂志(ホリコシ ヒロシ) 182  
 ポンシー, ライト 272  
 本田 郁二(ホンダ イクジ) 201, 209, 223  
 本田 耕一(ホンダ コウイチ) 75, 179, 187  
 本多 敏(ホンダ サトシ) 208, 226  
**ま** 真家 和生(マイエ カズオ) 29  
 前川 千春(マエカワ チハル) 184, 188, 190  
 前島 信(マエジマ マコト) 196  
 前田 淳(マエダ ジュン) 181, 188  
 前多 康男(マエダ ヤスオ) 142  
 前田 吉昭(マエダ ヨシアキ) 196, 216  
 前野 隆司(マエノ タカシ) 208  
 真壁 宏幹(マカベ ヒロモト) 12  
 牧 厚志(マキ アツシ) 178, 185  
 マクリン, ニールB. 104  
 真下 英二(マシタ エイジ) 34, 175, 177  
 増田早哉子(マスダ サヤコ) 28, 29  
 増田 直衛(マスダ ナオエ) 25, 195  
 増田 靖(マスダ ヤスシ) 205, 212  
 町田 一(マチダ ハジメ) 57  
 松尾亜紀子(マツオ アキコ) 201  
 松尾 弘(マツオ ヒロシ) 158, 180, 187  
 松岡 勝男(マツオカ カツオ) 29, 30, 154  
 松崎 欣一(マツザキ キンイチ) 14  
 松田 隆美(マツダ タカミ) 128, 131  
 松田 雅之(マツダ マサユキ) 243, 249, 252  
 松永 賢次(マツナガ ケンジ) 155  
 松原 彰子(マツバラ アキコ) 54, 99, 146  
 松村 高夫(マツムラ タカオ) 42, 141  
 松村 友視(マツムラ トモミ) 128  
 松村 宏(マツムラ ヒロシ) 13, 72, 116  
 松本 俊之(マツモト トシユキ) 200  
 松本 緑(マツモト ミドリ) 193, 199, 214, 232  
 松本 佳宣(マツモト ヨシノリ) 202, 218  
 松山 保幸(マツヤマ ヤスユキ) 249  
 丸山 文綱(マルヤマ フミツナ) 139, 140  
**み** 美浦 隆(ミウラ タカシ) 198  
 三上 威彦(ミカミ タケヒコ) 166  
 三上 直光(ミカミ ナオミツ) 272  
 水嶋 一雄(ミズシマ カズオ) 54  
 溝部 良恵(ミゾベ ヨシエ) 59, 99  
 三田 彰(ミタ アキラ) 199  
 三井 隆久(ミツイ タカヒサ) 192~194  
 三井 正明(ミツイ マサアキ) 204  
 光武垂代理(ミツタケ アヨリ) 224  
 水戸 克典(ミト カツノリ) 58  
 峰岸 克行(ミネギシ カツユキ) 253  
 宮内 環(ミヤウチ タマキ) 141, 142, 147  
 宮川 尚理(ミヤガワ ショウリ) 44  
 三宅 和朗(ミヤケ カズオ) 127  
 三宅 幸夫(ミヤケ ユキオ) 127  
 宮崎 琢也(ミヤザキ タクヤ) 196, 217  
 宮崎 直哉(ミヤザキ ナオヤ) 132, 133, 145, 150  
 宮崎 洋(ミヤザキ ヒロシ) 83, 114  
 宮澤 秀爾(ミヤザワ シュウジ) 175, 176  
 宮下 照夫(ミヤシタ テルオ) 220  
 宮島 英紀(ミヤジマ ヒデキ) 220  
 宮地 忠幸(ミヤチ タダユキ) 55  
 宮本 憲二(ミヤモト ケンジ) 214  
 宮本 忠(ミヤモト タダシ) 130  
**む** 武川 幸嗣(ムカワ コウジ) 159, 166, 167  
 武藤 功(ムトウ イサオ) 14  
 武藤 浩史(ムトウ ヒロシ) 23, 46, 49, 70, 266, 267  
 武藤 康史(ムトウ ヤスシ) 131  
 村上 周三(ムラカミ シュゾウ) 211  
 村上 達朗(ムラカミ タツロウ) 131  
 村上 俊之(ムラカミ トシユキ) 220  
 村上 康代(ムラカミ ヤスヨ) 123  
 村瀬 旻(ムラセ アキラ) 231  
 村松 憲(ムラマツ タダシ) 241, 244  
 村松 太郎(ムラマツ タロウ) 195  
 村山 光義(ムラヤマ ミツヨシ) 239~241, 246, 251, 254

- |                          |                    |                            |                   |
|--------------------------|--------------------|----------------------------|-------------------|
| 室田 憲司 (ムロタ ケンジ)          | 58                 | ゆ 湯浅 吉美 (ユアサ ヨシミ)          | 82                |
| <b>も</b> 望月 要 (モチヅキ カナメ) | 25                 | 由木 義文 (ユウキ ヨシフミ)           | 22                |
| 望月 康司 (モチヅキ コウジ)         | 243                | 湯川 武 (ユカワ タケシ)             | 85, 115, 266, 267 |
| 望月 敏弘 (モチヅキ トシヒロ)        | 41                 | 弓削 隆一 (ユゲ リュウイチ)           | 86                |
| 森 征一 (モリ セイイチ)           | 157, 163, 164      | <b>よ</b> 横井 康平 (ヨコイ コウヘイ)  | 202               |
| 森 英樹 (モリ ヒデキ)            | 70, 233            | 横田 絵理 (ヨコタ エリ)             | 149               |
| 森 正明 (モリ マサアキ)           | 239                | 横山 千晶 (ヨコヤマ チアキ)           | 49, 266, 267      |
| 森 雅夫 (モリ マサオ)            | 203, 204           | 吉岡 完治 (ヨシオカ カンジ)           | 187               |
| 森田 寿郎 (モリタ トシオ)          | 206                | 吉岡 忠昭 (ヨシオカ タダアキ)          | 14                |
| 森吉 直子 (モリヨシ ナオコ)         | 114, 190           | 吉岡 直樹 (ヨシオカ ナオキ)           | 198, 201          |
| 森吉 仁志 (モリヨシ ヒトシ)         | 196                | 吉舖 紀子 (ヨシキ ノリコ)            | 155, 183, 185     |
| 諸隈 之彦 (モロクマ ユキヒロ)        | 65, 106            | 吉澤 徹 (ヨシザワ アキラ)            | 65, 66            |
| <b>や</b> 八木 輝明 (ヤギ テルアキ) | 99                 | 吉田 和夫 (ヨシダ カズオ)            | 227, 228          |
| 矢後 和彦 (ヤゴ カズヒコ)          | 142                | 吉田 量彦 (ヨシダ カズヒコ)           | 78                |
| 矢向 高弘 (ヤコウ タカヒロ)         | 207, 211, 224      | 吉田 恭子 (ヨシダ キョウコ)           | 130               |
| 矢澤 達宏 (ヤザワ タツヒロ)         | 76                 | 吉田 武 (ヨシダ タケシ)             | 243               |
| 八嶋由香利 (ヤシマ ユカリ)          | 42, 76             | 吉田 友子 (ヨシダ トモコ)            | 115, 190          |
| 八代 充史 (ヤシロ アツシ)          | 188                | 吉田 久男 (ヨシダ ヒサオ)            | 257               |
| 安井 伸 (ヤスイ シン)            | 76, 114, 190       | 吉田 正樹 (ヨシダ マサキ)            | 179, 187          |
| 泰岡 顕治 (ヤスオカ ケンジ)         | 209, 221           | 吉田 泰将 (ヨシダ ヤスマサ)           | 239, 240, 246     |
| 安田 公美 (ヤスダ クミ)           | 106, 178, 184, 186 | 吉武 憲司 (ヨシタケ ケンジ)           | 85, 128           |
| 安田 淳 (ヤスダ ジュン)           | 49                 | 依田 珠江 (ヨダ タマエ)             | 245               |
| 安松 幹展 (ヤスマツ ミキノブ)        | 242                | 頼松 瑞生 (ヨリマツ タマオ)           | 76                |
| 柳川 弘志 (ヤナガワ ヒロシ)         | 41, 226            | <b>り</b> 李 精 (リ セイ)        | 149               |
| 柳沢 遊 (ヤナギサワ アソブ)         | 99, 142            | 林 秀光 (リン シュウコウ)            | 49                |
| 柳田 利夫 (ヤナギダ トシオ)         | 18                 | <b>れ</b> レイサイド, ジェームズ M    | 71                |
| 矢野 誠 (ヤノ マコト)            | 143                | <b>わ</b> 和井内由充子 (ワイナイ ユミコ) | 239               |
| 藪下 聡 (ヤブシタ サトシ)          | 198, 215, 228      | 和気 洋美 (ワケ ヒロミ)             | 26                |
| 山内 賢 (ヤマウチ ケン)           | 241, 245, 246, 251 | 綿田 博人 (ワタダ ヒロヒト)           | 239, 246, 249     |
| 山内 憲一 (ヤマウチ ケンイチ)        | 153, 154           | 渡邊 千秋 (ワタナベ チアキ)           | 48                |
| 山岸 敬幸 (ヤマギシ ヒロユキ)        | 195                | 渡部 直樹 (ワタナベ ナオキ)           | 181, 188          |
| 山口 高平 (ヤマグチ タカヒラ)        | 200                | 渡部 睦夫 (ワタベ ムツオ)            | 107, 178, 186     |
| 山口 徹 (ヤマグチ トオル)          | 128                |                            |                   |
| 山崎 達也 (ヤマザキ タツヤ)         | 58                 |                            |                   |
| 山崎 信寿 (ヤマザキ ノブトシ)        | 120, 206           |                            |                   |
| 山崎 信行 (ヤマザキ ノブユキ)        | 207, 225           |                            |                   |
| 山下 輝彦 (ヤマシタ テルヒコ)        | 130                |                            |                   |
| 山下 久直 (ヤマシタ ヒサナオ)        | 221                |                            |                   |
| 山田 篤裕 (ヤマダ アツヒロ)         | 100                |                            |                   |
| 山田 邦博 (ヤマダ クニヒロ)         | 199                |                            |                   |
| 山田 太門 (ヤマダ タモン)          | 142                |                            |                   |
| 山田 徹 (ヤマダ トオル)           | 197, 223, 227      |                            |                   |
| 山田 恒 (ヤマダ ヒサシ)           | 47                 |                            |                   |
| 山田美枝子 (ヤマダ ミエコ)          | 75, 246            |                            |                   |
| 山中 直明 (ヤマナカ ナオアキ)        | 207                |                            |                   |
| 山道 佳子 (ヤマミチ ヨシコ)         | 83, 127            |                            |                   |
| 山本 賀代 (ヤマモト カヨ)          | 71                 |                            |                   |
| 山元 公寿 (ヤマモト キミヒサ)        | 198, 211, 223      |                            |                   |
| 山本 剛史 (ヤマモト タカシ)         | 78                 |                            |                   |
| 山本 信人 (ヤマモト ノブト)         | 170, 177           |                            |                   |
| 山本 喜一 (ヤマモト ヨシカズ)        | 183, 185, 199      |                            |                   |